
桶川市第六次総合振興計画 市民意識調査 報告書

令和 2 年 1 2 月

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 調査内容	2
(4) 調査結果の留意点	2
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について	3
(1) 住みやすさ	3
(2) 住みにくさ	8
(3) 生活環境の満足度	11
(4) 定住意向	21
(5) 転出したい理由	24
(6) 自由時間の過ごし方	27
3. 桶川市のまちづくりについて	34
(1) まちづくり全般	34
(2) 今後の土地利用の方向性	43
(3) 今後の住宅地のあり方の方向性	47
(4) 今後の工業地のあり方の方向性	50
(5) 今後の商業地のあり方の方向性	54
(6) 今後の市街化調整区域のあり方の方向性	57
4. 分野ごとの状況について	61
(1) 都市整備	61
(2) 景観	64
(3) 協働と参画のまちづくり	69
(4) 子育て支援	80
(5) 高齢者の生活	85
(6) 地球温暖化への取り組み	90
(7) 観光振興	96
(8) 公共施設の利用	102
(9) 桶川駅周辺の中心市街地	108
(10) 日常生活で利用する施設	110
5. 市政について	117
(1) 市政全般への関心度	117
(2) 市政情報	119
(3) 行政サービスと負担	123
(4) 施策の満足度と充実希望度	134
6. イメージや将来像などについて	168
(1) 桶川市の将来像	168
(2) 将来の不安	172
7. 回答者の属性	174

問－１	性別	174
問－２	年齢	176
問－３	職業	177
問－４	居住地区	179
問－５	同居家族（回答者含む）	180
問－６	住居形態	181
問－７	居住年数	182
８．	自由意見	183
参考資料		220
	依頼文及び調査票	222

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市政運営の指針となる「第五次総合振興計画」の後期基本計画の進行状況を把握するとともに、次期計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の概要

調査結果の概要は以下のとおりである。

市民意識調査の概要

調査地域	桶川市全域
調査対象	桶川市在住の満 18 歳以上の個人 (令和元年 12 月現在)
調査方法	郵送配付、郵送回収 インターネットによる回答
対象者数(配付数)	3,000 人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回答数	1,324 (郵送 1,082、インターネット 242)
有効回答率	44.1%
実施期間	令和元年 12 月 21 日～令和 2 年 1 月 17 日

1. 調査の概要

(3) 調査内容

●住みやすさ、生活環境、定住意向

〔住みやすさ、住みにくさ、生活環境の満足度、定住意向、転出したい理由、自由時間の過ごし方〕

●まちづくり

〔まちづくり全般、今後の土地利用の方向性、今後の住宅地のあり方の方向性、今後の工業地のあり方の方向性、今後の商業地のあり方の方向性、今後の市街化調整区域のあり方の方向性〕

●分野ごとの状況

〔都市整備、景観、協働と参画のまちづくり、子育て支援、高齢者の生活、地球温暖化への取り組み、観光振興、公共施設の利用、桶川駅周辺の中心市街地、日常生活で利用する施設〕

●市政

〔市政全般への関心度、市政情報、行政サービスと負担、施策の満足度と充実希望度〕

●イメージや将来像

〔桶川市の将来像、将来の不安、自由意見〕

●回答者の属性

〔性別、年齢、職業、居住地区、同居家族（回答者含む）、住居形態、居住年数〕

(4) 調査結果の留意点

① 単数回答の場合の集計及び表示

- ・設問どおり「1つ」を回答したものが対象となる。
- ・単数回答の場合は、「全体」の値（無回答を含む）と合計値とが一致する。

② 複数回答の場合の集計及び表示

- ・設問どおり「2つ」「3つ」等を回答したものが対象となる。
- ・複数回答の場合、「全体」の値（無回答を含む）と合計値とは一致しない。
- ・構成比は、各々の回答数を該当する「全体」数で除した値であり、合計値は100%にならない。

③ 構成比の算出及び表示

- ・構成比は表内の各項目の値を「全体」の値で除して算出している。
- ・小数点第2位を四捨五入しているので、各構成比と合計値は一致しない場合がある。
- ・図表中の「N」は、該当質問における有効回答者総数を表す。

④ クロス集計の表示

- ・クロス集計は、基本的に「性別」「年齢」「地区」の3項目で行っている。
- ・表の各項目の1行目は回答者数、2行目は構成比(%)を表す。
- ・は横に見て第1位の項目、は横に見て第2位の項目を表す。
- ・生活環境については得点による表示であり、満足している(4点)、どちらかといえば満足している(2点)、ふつうである(0点)、どちらかといえば不満である(-2点)、不満である(-4点)をそれぞれの標本数に乗じて得た値の総和を、(有効回答者総数－無回答)で除して得た得点を表示している。

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

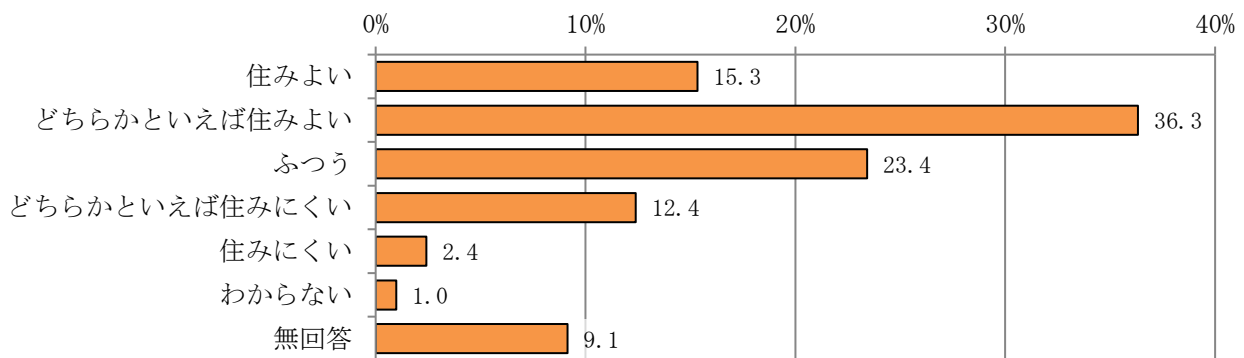
(1) 住みやすさ

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所だと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「どちらかといえば住みよい」が36.3%と最も高くなっており、次いで「ふつう」23.4%、「住みよい」15.3%、「どちらかといえば住みにくい」12.4%となっており、「住みにくい」は2.4%となっている。

『住みよい』（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）との回答は51.6%、一方『住みにくい』（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）との回答は14.8%であり、全体としては『住みよい』と感じている人が多くなっている。

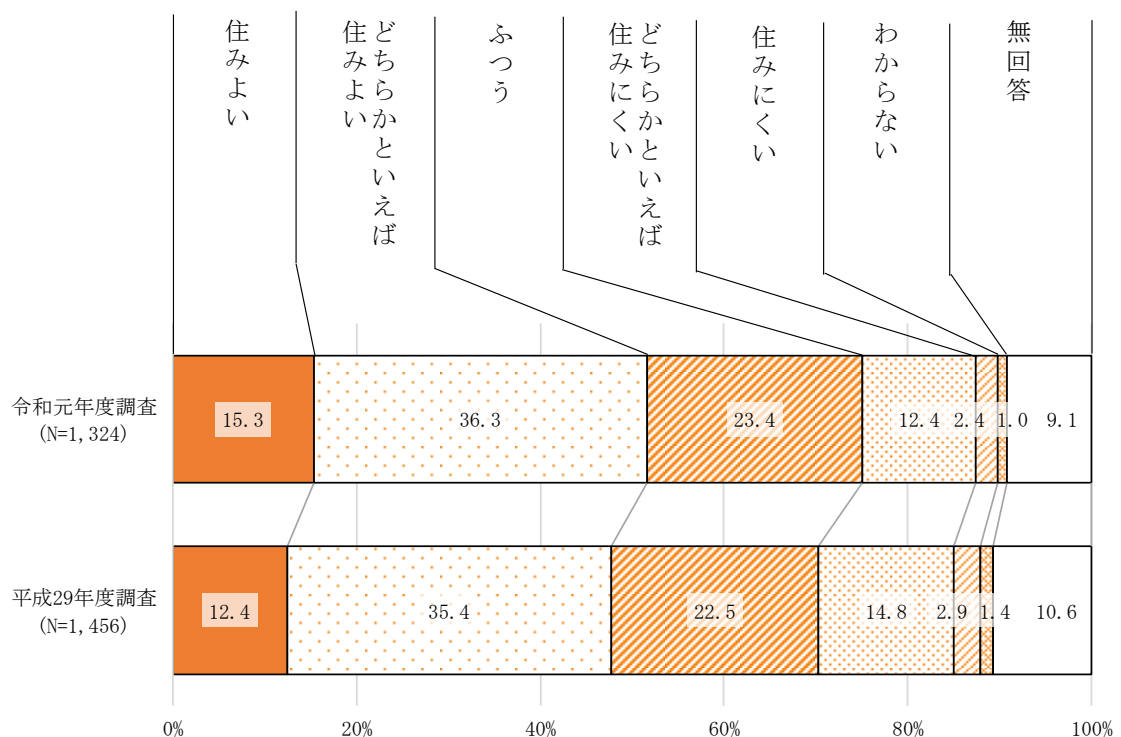


(N=1,324)

【経年変化／住みやすさ】

桶川市の住みやすさについて前回調査（平成29年度）と比較すると、『住みよい』との回答は増加している。

一方で、『住みにくい』と答えた人の割合は減少している。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／住みやすさ

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

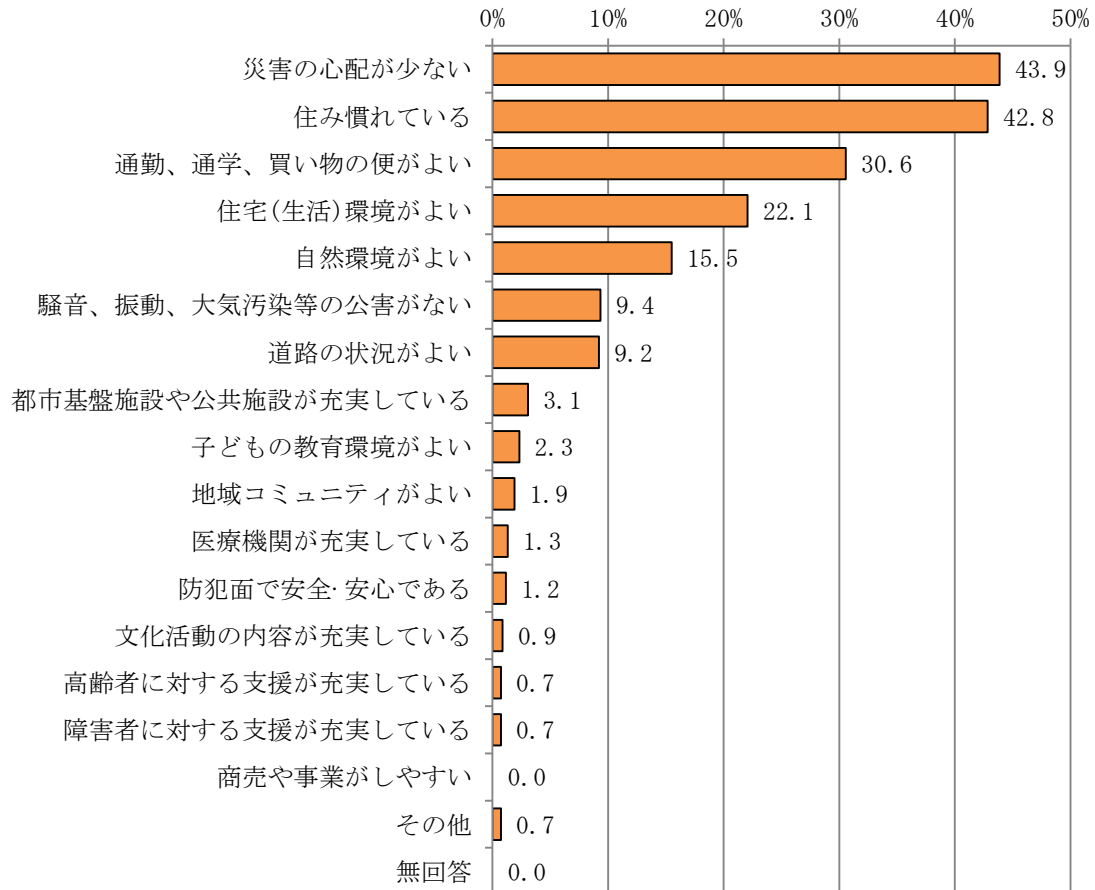
地区で見ると、加納地区では「どちらかといえば住みよい」及び「ふつう」が最も高くなっている。
その他の地区では「どちらかといえば住みよい」が最も高くなっている。

		調査数 (N)	住 み よ い	住 ど ち ら か と い え ば	ふ つ う	住 ど ち ら か と い え ば	住 み に く い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,324	203	481	310	164	32	13	121
		100.0%	15.3%	36.3%	23.4%	12.4%	2.4%	1.0%	9.1%
性別	男性	567	96	188	147	78	9	4	45
		100.0%	16.9%	33.2%	25.9%	13.8%	1.6%	0.7%	7.9%
	女性	700	99	272	149	81	21	8	70
		100.0%	14.1%	38.9%	21.3%	11.6%	3.0%	1.1%	10.0%
	無回答	57	8	21	14	5	2	1	6
		100.0%	14.0%	36.8%	24.6%	8.8%	3.5%	1.8%	10.5%
年齢	18歳～19歳	42	8	18	11	2	0	1	2
		100.0%	19.0%	42.9%	26.2%	4.8%	0.0%	2.4%	4.8%
	20歳～29歳	127	19	51	38	12	3	1	3
		100.0%	15.0%	40.2%	29.9%	9.4%	2.4%	0.8%	2.4%
	30歳～39歳	166	21	61	43	25	5	1	10
		100.0%	12.7%	36.7%	25.9%	15.1%	3.0%	0.6%	6.0%
	40歳～49歳	242	36	99	50	37	3	2	15
		100.0%	14.9%	40.9%	20.7%	15.3%	1.2%	0.8%	6.2%
	50歳～59歳	187	28	68	38	30	3	3	17
		100.0%	15.0%	36.4%	20.3%	16.0%	1.6%	1.6%	9.1%
	60歳～64歳	82	13	27	17	13	2	1	9
		100.0%	15.9%	32.9%	20.7%	15.9%	2.4%	1.2%	11.0%
	65歳～69歳	98	19	32	22	12	3	0	10
		100.0%	19.4%	32.7%	22.4%	12.2%	3.1%	0.0%	10.2%
地区	70歳～74歳	113	15	41	27	11	0	2	17
		100.0%	13.3%	36.3%	23.9%	9.7%	0.0%	1.8%	15.0%
	75歳以上	218	39	64	51	18	12	1	33
		100.0%	17.9%	29.4%	23.4%	8.3%	5.5%	0.5%	15.1%
	無回答	49	5	20	13	4	1	1	5
		100.0%	10.2%	40.8%	26.5%	8.2%	2.0%	2.0%	10.2%
	駅東側周辺	217	29	76	51	33	7	2	19
		100.0%	13.4%	35.0%	23.5%	15.2%	3.2%	0.9%	8.8%
	駅西側周辺	266	48	118	49	23	6	2	20
		100.0%	18.0%	44.4%	18.4%	8.6%	2.3%	0.8%	7.5%
	日出谷地区	283	49	99	64	37	8	0	26
		100.0%	17.3%	35.0%	22.6%	13.1%	2.8%	0.0%	9.2%
	坂田地区	266	41	96	68	29	5	2	25
		100.0%	15.4%	36.1%	25.6%	10.9%	1.9%	0.8%	9.4%
	加納地区	127	16	39	39	13	4	2	14
		100.0%	12.6%	30.7%	30.7%	10.2%	3.1%	1.6%	11.0%
	川田谷地区	109	14	31	24	25	1	4	10
		100.0%	12.8%	28.4%	22.0%	22.9%	0.9%	3.7%	9.2%
	無回答	56	6	22	15	4	1	1	7
		100.0%	10.7%	39.3%	26.8%	7.1%	1.8%	1.8%	12.5%

問1-1 「1. 住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

全 体

「災害の心配が少ない」との回答が43.9%と最も高くなっており、次いで「住み慣れている」42.8%、「通勤、通学、買い物の便がよい」30.6%、「住宅（生活）環境がよい」22.1%が主な理由となっている。



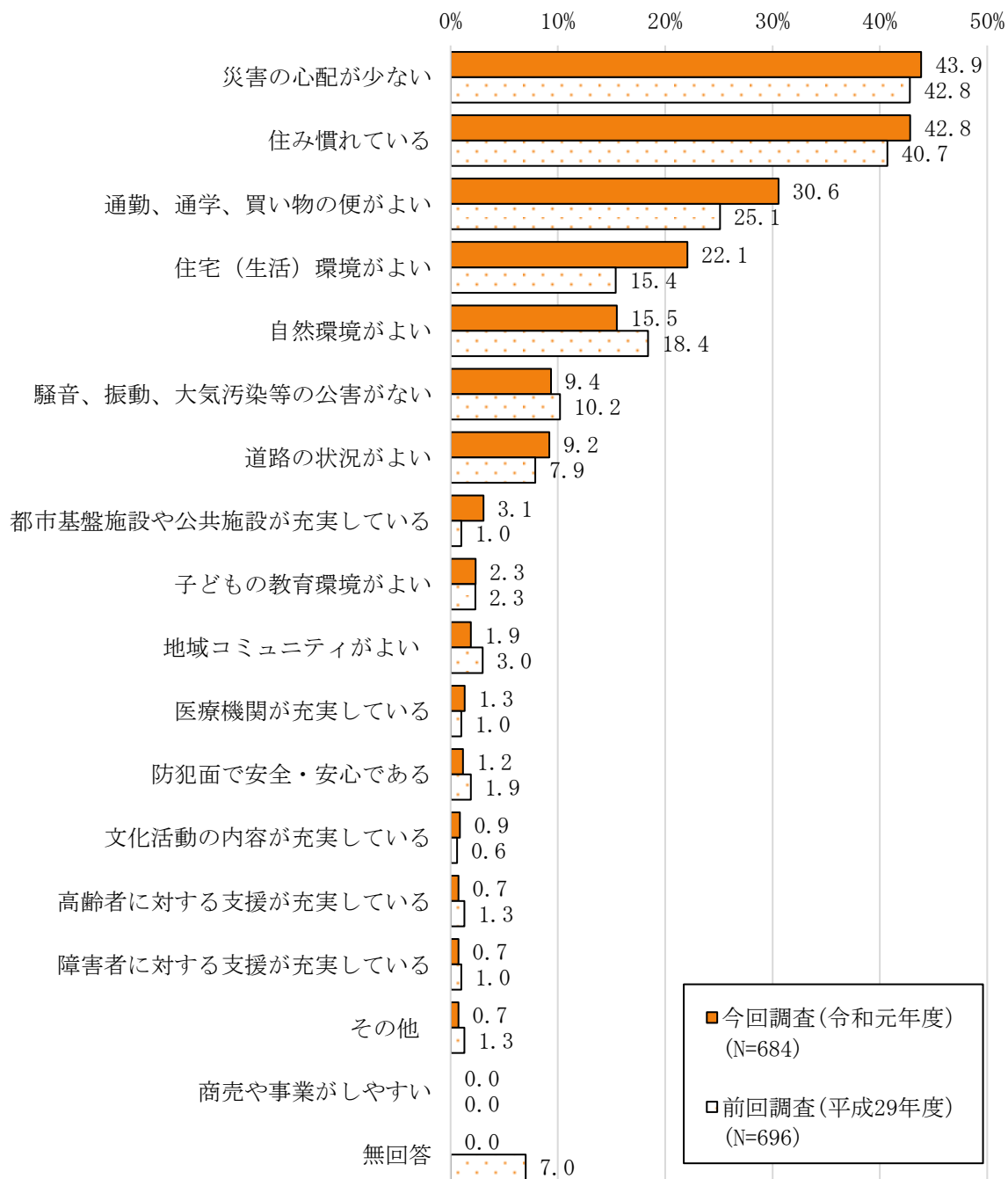
(N=684)

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

【経年変化／住みよい理由】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「住宅（生活）環境がよい」、「通勤、通学、買い物の便がよい」、「住み慣れている」、などが増加している。

一方で、「自然環境がよい」、「地域コミュニティがよい」、「騒音、振動、大気汚染等の公害がない」などが減少している。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／住みよい理由

性別で見ると、男性では「住み慣れている」、女性では「災害の心配が少ない」がそれぞれ最も高くなっている。

年齢で見ると、49歳以下では「住み慣れている」が、50歳以上では「災害の心配が少ない」が最も高くなっている。

地区で見ると、川田谷地区では「自然環境がよい」及び「住み慣れている」、加納地区では「住み慣れている」、駅東側周辺では「通勤、通学、買い物の便がよい」及び「災害の心配が少ない」、その他の地区では「災害の心配が少ない」が最も高くなっている。

		調査数（N）	自然環境がよい	道路の状況がよい	都市基盤施設や公共施設が充実している	住宅（生活）環境がよい	通勤、通学、買い物の便がよい	子どもの教育環境がよい	地域コミュニティがよい	住み慣れている	騒音、振動、大気汚染等の公害がない	災害の心配が少ない	商売や事業がしやすい	防犯面で安全・安心である	高齢者に対する支援が充実している	医療機関が充実している	障害者に対する支援が充実している	文化活動の内容が充実している	その他	無回答
性別	全体	684	106	63	21	151	209	16	13	293	64	300	0	8	5	9	5	6	5	0
		100.0%	15.5%	9.2%	3.1%	22.1%	30.6%	2.3%	1.9%	42.8%	9.4%	43.9%	0.0%	1.2%	0.7%	1.3%	0.7%	0.9%	0.7%	0.0%
	男性	284	44	32	11	71	82	2	2	120	27	118	0	1	5	4	4	3	5	0
		100.0%	15.5%	11.3%	3.9%	25.0%	28.9%	0.7%	0.7%	42.3%	9.5%	41.5%	0.0%	0.4%	1.8%	1.4%	1.4%	1.1%	1.8%	0.0%
性別	女性	371	59	29	9	76	118	13	9	159	36	167	0	6	0	5	1	2	0	0
		100.0%	15.9%	7.8%	2.4%	20.5%	31.8%	3.5%	2.4%	42.9%	9.7%	45.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.3%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%
	無回答	29	3	2	1	4	9	1	2	14	1	15	0	1	0	0	0	1	0	0
		100.0%	10.3%	6.9%	3.4%	13.8%	31.0%	3.4%	6.9%	48.3%	3.4%	51.7%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
年齢	18歳～19歳	26	5	0	3	1	11	0	1	16	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	19.2%	0.0%	11.5%	3.8%	42.3%	0.0%	3.8%	61.5%	3.8%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	70	9	6	6	9	22	0	1	45	6	21	0	0	0	1	0	1	1	0
		100.0%	12.9%	8.6%	8.6%	12.9%	31.4%	0.0%	1.4%	64.3%	8.6%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%
	30歳～39歳	82	11	10	2	28	27	0	1	37	3	23	0	3	0	3	1	0	2	0
		100.0%	13.4%	12.2%	2.4%	34.1%	32.9%	0.0%	1.2%	45.1%	3.7%	28.0%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	1.2%	0.0%	2.4%	0.0%
	40歳～49歳	135	19	21	3	34	41	12	1	54	13	49	0	1	0	3	1	0	1	0
		100.0%	14.1%	15.6%	2.2%	25.2%	30.4%	8.9%	0.7%	40.0%	9.6%	36.3%	0.0%	0.7%	0.0%	2.2%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%
	50歳～59歳	96	13	12	1	24	31	2	2	37	6	42	0	0	2	0	1	1	0	0
		100.0%	13.5%	12.5%	1.0%	25.0%	32.3%	2.1%	2.1%	38.5%	6.3%	43.8%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%
	60歳～64歳	40	7	0	2	7	15	0	1	18	6	20	0	0	1	0	0	0	0	0
		100.0%	17.5%	0.0%	5.0%	17.5%	37.5%	0.0%	2.5%	45.0%	15.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	65歳～69歳	51	14	4	0	14	9	1	1	17	5	28	0	1	1	1	1	0	0	0
		100.0%	27.5%	7.8%	0.0%	27.5%	17.6%	2.0%	2.0%	33.3%	9.8%	54.9%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳～74歳	56	10	2	2	10	15	0	1	18	4	40	0	0	0	0	0	1	0	0
		100.0%	17.9%	3.6%	3.6%	17.9%	26.8%	0.0%	1.8%	32.1%	7.1%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
	75歳以上	103	16	7	1	21	30	0	2	39	18	57	0	2	1	1	1	2	1	0
		100.0%	15.5%	6.8%	1.0%	20.4%	29.1%	0.0%	1.9%	37.9%	17.5%	55.3%	0.0%	1.9%	1.0%	1.0%	1.0%	1.9%	1.0%	0.0%
	無回答	25	2	1	1	3	8	1	2	12	2	12	0	1	0	0	0	1	0	0
		100.0%	8.0%	4.0%	4.0%	12.0%	32.0%	4.0%	8.0%	48.0%	8.0%	48.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%
地区	駅東側周辺	105	8	6	2	22	47	4	4	42	11	47	0	2	0	0	0	1	1	0
		100.0%	7.6%	5.7%	1.9%	21.0%	44.8%	3.8%	3.8%	40.0%	10.5%	44.8%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%
	駅西側周辺	166	16	9	8	41	63	0	2	66	15	78	0	1	1	2	0	4	1	0
		100.0%	9.6%	5.4%	4.8%	24.7%	38.0%	0.0%	1.2%	39.8%	9.0%	47.0%	0.0%	0.6%	0.6%	1.2%	0.0%	2.4%	0.6%	0.0%
	日出谷地区	148	32	22	2	32	30	4	2	63	15	64	0	0	2	3	2	0	1	0
		100.0%	21.6%	14.9%	1.4%	21.6%	20.3%	2.7%	1.4%	42.6%	10.1%	43.2%	0.0%	0.0%	1.4%	2.0%	1.4%	0.0%	0.7%	0.0%
	坂田地区	137	12	14	6	37	50	5	1	56	10	59	0	2	0	2	2	0	0	0
		100.0%	8.8%	10.2%	4.4%	27.0%	36.5%	3.6%	0.7%	40.9%	7.3%	43.1%	0.0%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	加納地区	55	11	5	1	12	7	0	1	29	7	27	0	1	2	1	0	0	2	0
		100.0%	20.0%	9.1%	1.8%	21.8%	12.7%	0.0%	1.8%	52.7%	12.7%	49.1%	0.0%	1.8%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
	川田谷地区	45	24	6	1	4	2	2	1	24	4	12	0	1	0	1	1	0	0	0
		100.0%	53.3%	13.3%	2.2%	8.9%	4.4%	4.4%	2.2%	53.3%	8.9%	26.7%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	28	3	1	1	3	10	1	2	13	2	13	0	1	0	0	0	1	0	0
		100.0%	10.7%	3.6%	3.6%	10.7%	35.7%	3.6%	7.1%	46.4%	7.1%	46.4%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%

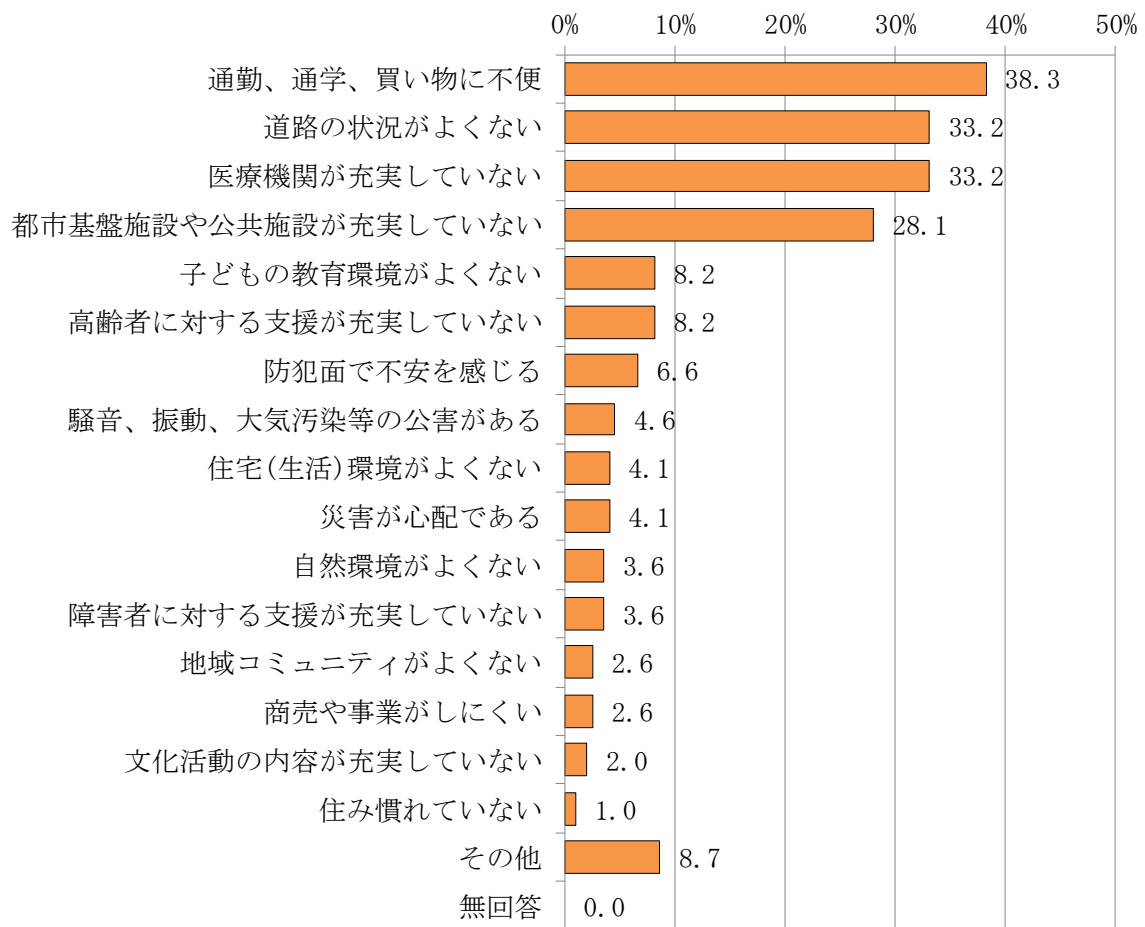
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

(2) 住みにくさ

問1-2 「4. どちらかといえば住みにくい」「5. 住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(〇は2つまで)

全 体

「通勤、通学、買い物に不便」が38.3%と最も高くなっている。次いで、「道路の状況がよくない」及び「医療機関が充実していない」33.2%、「都市基盤施設や公共施設が充実していない」28.1%が、主な理由である。



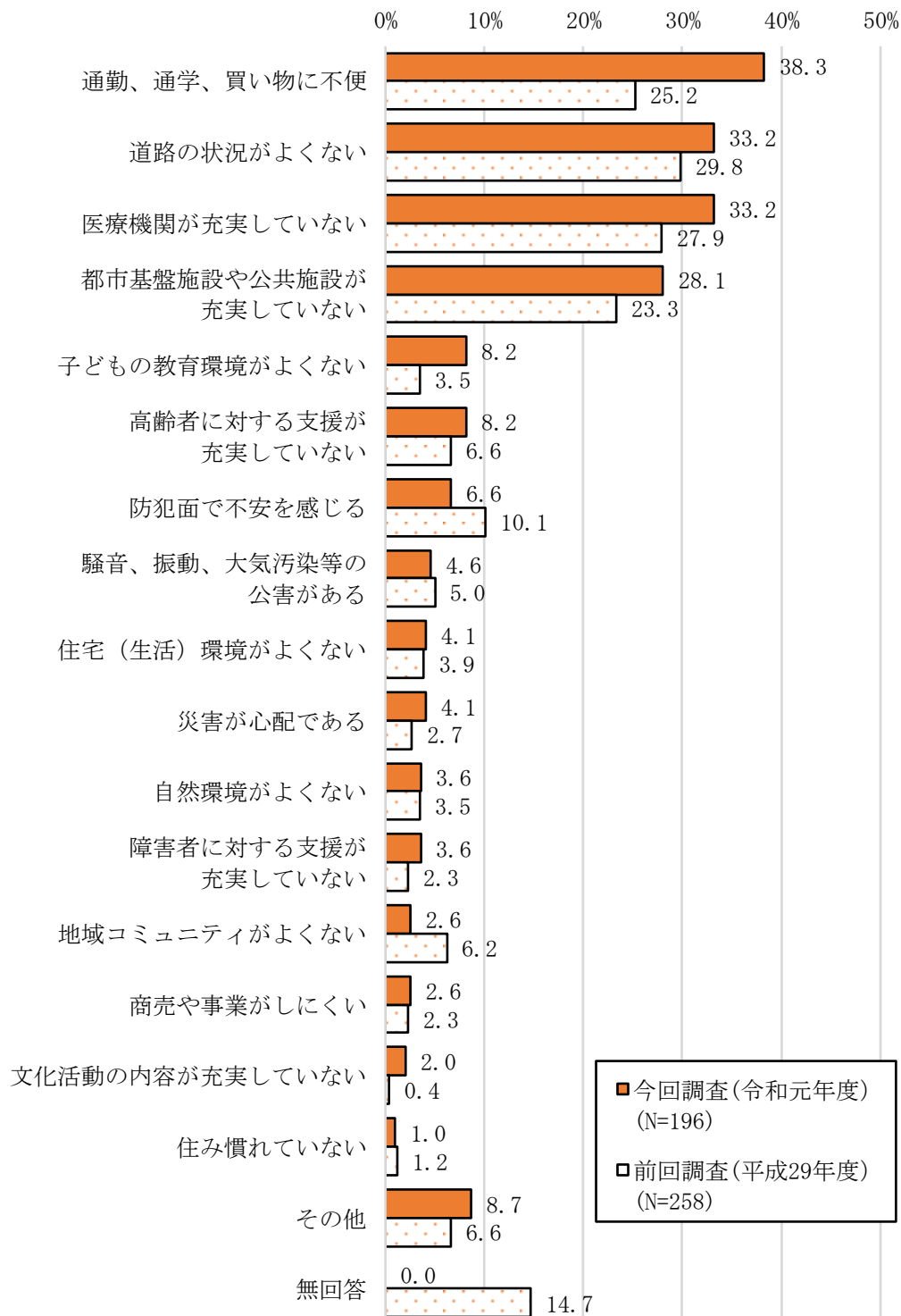
(N=196)

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

【経年変化／住みにくい理由】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「地域コミュニティがよくない」、「防犯面で不安を感じる」、「騒音、振動、大気汚染等の公害がある」などが減少している。

一方で、「通勤、通学、買い物に不便」、「医療機関が充実していない」、「都市基盤施設や公共施設が充実していない」などが増加している。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／住みにくい理由

性別で見ると、男性は「道路の状況がよくない」が、女性は「通勤、通学、買い物に不便」が、それぞれ最も高くなっている。

年齢で見ると、49歳以下では「通勤、通学、買い物に不便」、50歳～59歳では「通勤、通学、買い物に不便」及び「医療機関が充実していない」、60歳～64歳では「道路の状況がよくない」及び「都市基盤施設や公共施設が充実していない」、65歳～69歳、75歳以上では「医療機関が充実していない」、70歳～74歳では「高齢者に対する支援が充実していない」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺では「道路の状況がよくない」、日出谷地区、川田谷地区では「通勤、通学、買い物に不便」、坂田地区、加納地区では「医療機関が充実していない」が最も高くなっている。

	調査数 (N)	自然環境が よくない	道路の状況が よくない	都市基盤施設や公共施設が 充実していない	住宅(生活)環境が よくない	通勤、通学、 買い物に不便	子どもの教育環境が よくない	地域コミュニティが よくない	住み慣れていない	騒音、振動、大気汚染等の 公害がある	災害が心配である	商売や事業がしにくい	防犯面で不安を感じる	高齢者に対する支援が 充実していない	医療機関が充実していない	障害者に対する支援が 充実していない	文化活動の内容が充実 していない	その他	無回答
全体	196	7	65	55	8	75	16	5	2	9	8	5	13	16	65	7	4	17	0
	100.0%	3.6%	33.2%	28.1%	4.1%	38.3%	8.2%	2.6%	1.0%	4.6%	4.1%	2.6%	6.6%	8.2%	33.2%	3.6%	2.0%	8.7%	0.0%
性別	男性	87	3	30	28	7	28	4	4	0	2	2	4	9	28	5	2	6	0
		100.0%	3.4%	34.5%	32.2%	8.0%	32.2%	4.6%	4.6%	0.0%	2.3%	2.3%	4.6%	10.3%	32.2%	5.7%	2.3%	6.9%	0.0%
	女性	102	3	33	26	1	45	11	1	2	6	6	1	9	4	36	1	2	10
		100.0%	2.9%	32.4%	25.5%	1.0%	44.1%	10.8%	1.0%	2.0%	5.9%	5.9%	1.0%	8.8%	3.9%	35.3%	1.0%	2.0%	9.8%
無回答	7	1	2	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	3	1	1	0	1	0
		100.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
年齢	18歳～19歳	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	15	0	4	7	1	8	1	0	0	1	1	4	0	2	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	26.7%	46.7%	6.7%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	26.7%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳～39歳	30	1	10	5	1	11	7	0	2	3	1	0	2	1	8	0	1	3
		100.0%	3.3%	33.3%	16.7%	3.3%	36.7%	23.3%	0.0%	6.7%	10.0%	3.3%	0.0%	6.7%	3.3%	26.7%	0.0%	3.3%	10.0%
	40歳～49歳	40	2	13	7	3	17	4	2	0	1	3	1	4	1	12	3	0	4
		100.0%	5.0%	32.5%	17.5%	7.5%	42.5%	10.0%	5.0%	0.0%	2.5%	7.5%	2.5%	10.0%	2.5%	30.0%	7.5%	0.0%	10.0%
	50歳～59歳	33	0	12	11	1	15	0	0	0	2	0	2	1	0	15	1	0	4
		100.0%	0.0%	36.4%	33.3%	3.0%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	6.1%	3.0%	0.0%	45.5%	3.0%	0.0%	12.1%
	60歳～64歳	15	1	6	6	0	4	0	1	0	0	0	1	2	2	5	1	1	0
		100.0%	6.7%	40.0%	40.0%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%
75歳以上	65歳～69歳	15	1	3	5	0	4	1	0	0	2	1	0	0	1	7	0	0	2
		100.0%	6.7%	20.0%	33.3%	0.0%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%	46.7%	0.0%	0.0%	13.3%
	70歳～74歳	11	0	3	2	0	3	1	1	0	0	1	0	0	5	3	1	1	0
		100.0%	0.0%	27.3%	18.2%	0.0%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
	75歳以上	30	2	11	11	2	9	0	1	0	1	1	0	0	6	12	0	1	2
		100.0%	6.7%	36.7%	36.7%	6.7%	30.0%	0.0%	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	3.3%	6.7%
地区	無回答	5	0	3	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	駅東側周辺	40	1	21	14	3	5	5	1	0	2	0	2	0	7	9	3	0	5
		100.0%	2.5%	52.5%	35.0%	7.5%	12.5%	12.5%	2.5%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	17.5%	22.5%	7.5%	0.0%	12.5%
	駅西側周辺	29	0	10	8	2	7	4	0	1	2	0	0	2	3	9	1	4	3
		100.0%	0.0%	34.5%	27.6%	6.9%	24.1%	13.8%	0.0%	3.4%	6.9%	0.0%	0.0%	6.9%	10.3%	31.0%	3.4%	13.8%	10.3%
	日出谷地区	45	2	8	17	1	21	2	1	0	2	2	1	2	3	18	2	0	2
		100.0%	4.4%	17.8%	37.8%	2.2%	46.7%	4.4%	2.2%	0.0%	4.4%	4.4%	2.2%	4.4%	6.7%	40.0%	4.4%	0.0%	4.4%
	坂田地区	34	4	13	8	1	10	3	2	1	1	1	2	3	0	14	1	0	2
		100.0%	11.8%	38.2%	23.5%	2.9%	29.4%	8.8%	5.9%	2.9%	2.9%	2.9%	5.9%	8.8%	0.0%	41.2%	2.9%	0.0%	5.9%
川田谷地区	加納地区	17	0	4	5	0	7	0	1	0	1	0	0	4	1	8	0	0	2
		100.0%	0.0%	23.5%	29.4%	0.0%	41.2%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	23.5%	5.9%	47.1%	0.0%	0.0%	11.8%
	川田谷地区	26	0	6	2	1	23	0	0	0	1	5	0	2	2	6	0	0	2
		100.0%	0.0%	23.1%	7.7%	3.8%	88.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	19.2%	0.0%	7.7%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%
無回答	5	0	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%

(3) 生活環境の満足度

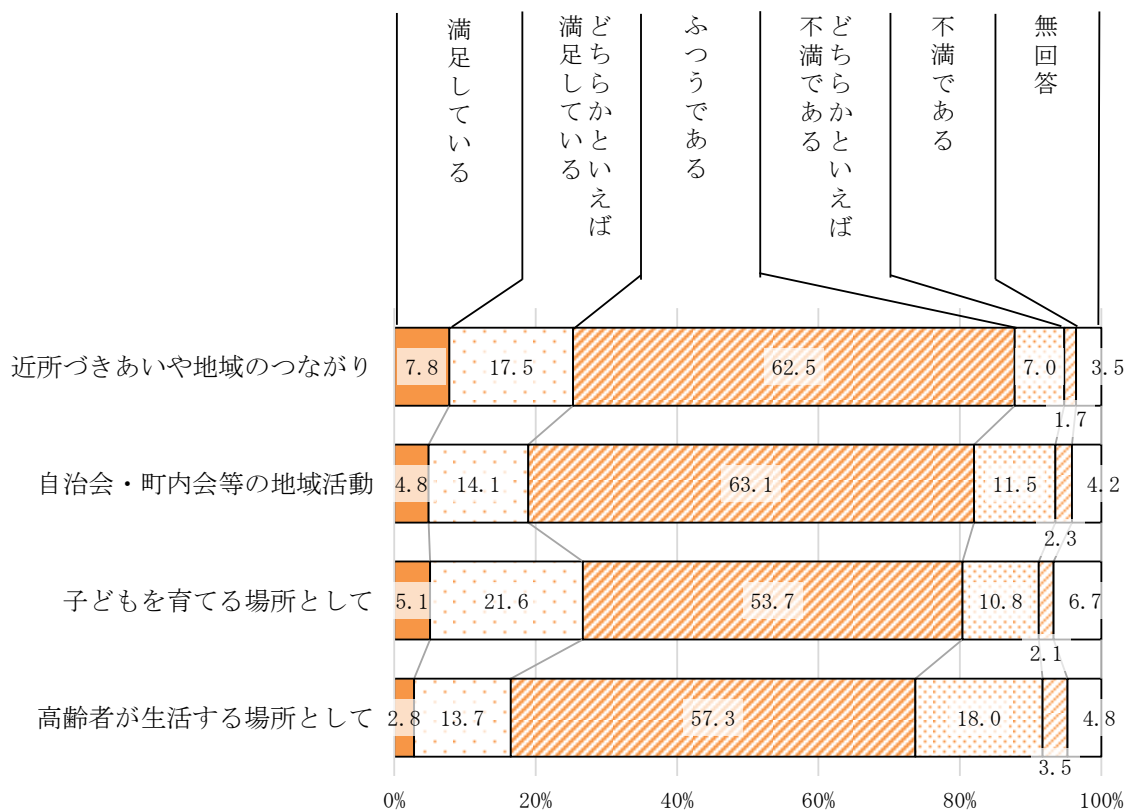
問2 あなたは、次に示す桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

①地域社会、教育・文化、保健医療・福祉、衛生について

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るのは、「近所づきあいや地域のつながり」、「自治会・町内会等の地域活動」、「子どもを育てる場所として」、「図書館や公民館などにおける社会教育活動」、「健康診断などの保健活動」、「保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス」、「家庭ゴミの収集・処理」、「し尿や家庭雑排水の処理」となっている。

一方、『不満』が『満足』を上回るのは、「高齢者が生活する場所として」、「文化・芸術活動」、「スポーツ・レクリエーション活動」、「生涯学習の機会・内容」、「国際交流の推進」、「病院・診療所などの医療機関」、「高齢者福祉サービス」、「障害者福祉サービス」となっている。

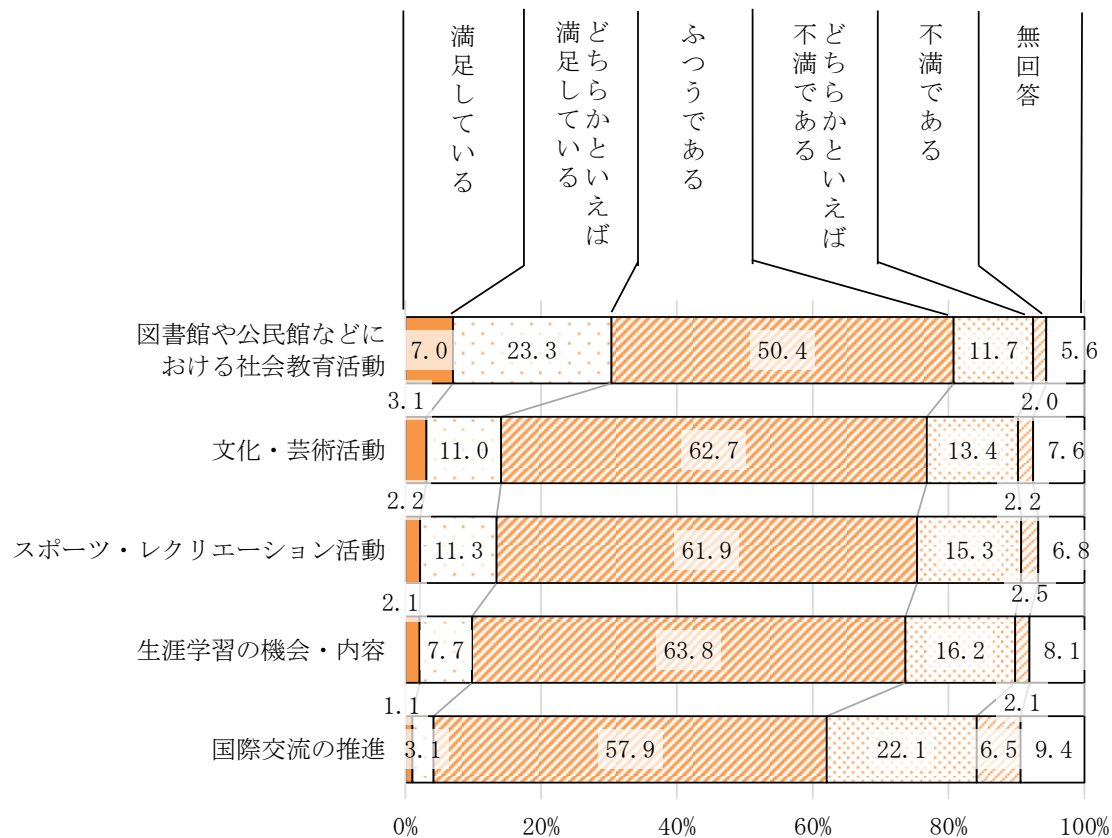
①ー1 地域社会について



(N=1,324)

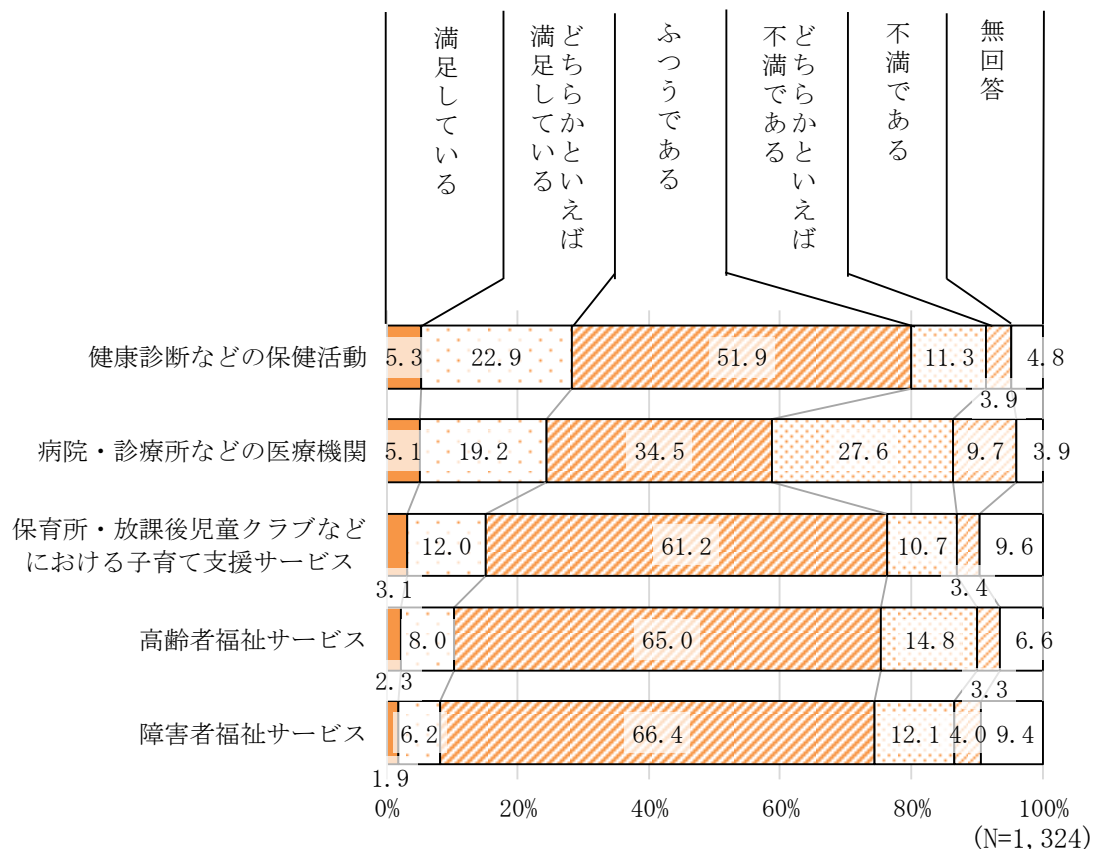
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

①ー2 教育・文化について



(N=1, 324)

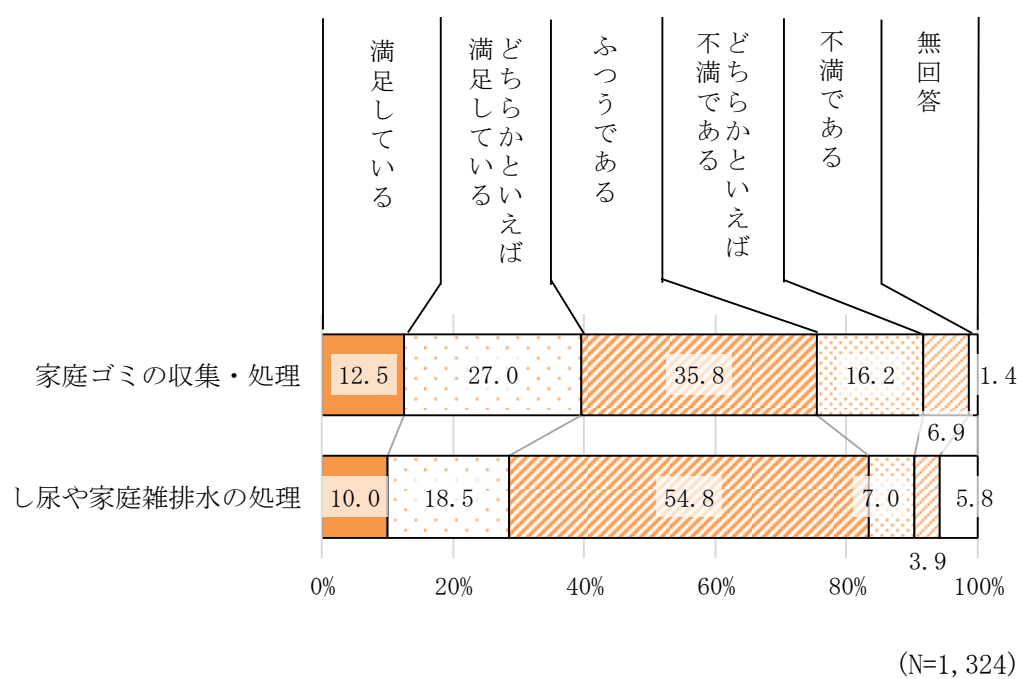
①ー3 保健医療・福祉について



(N=1, 324)

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

①－4 衛生について



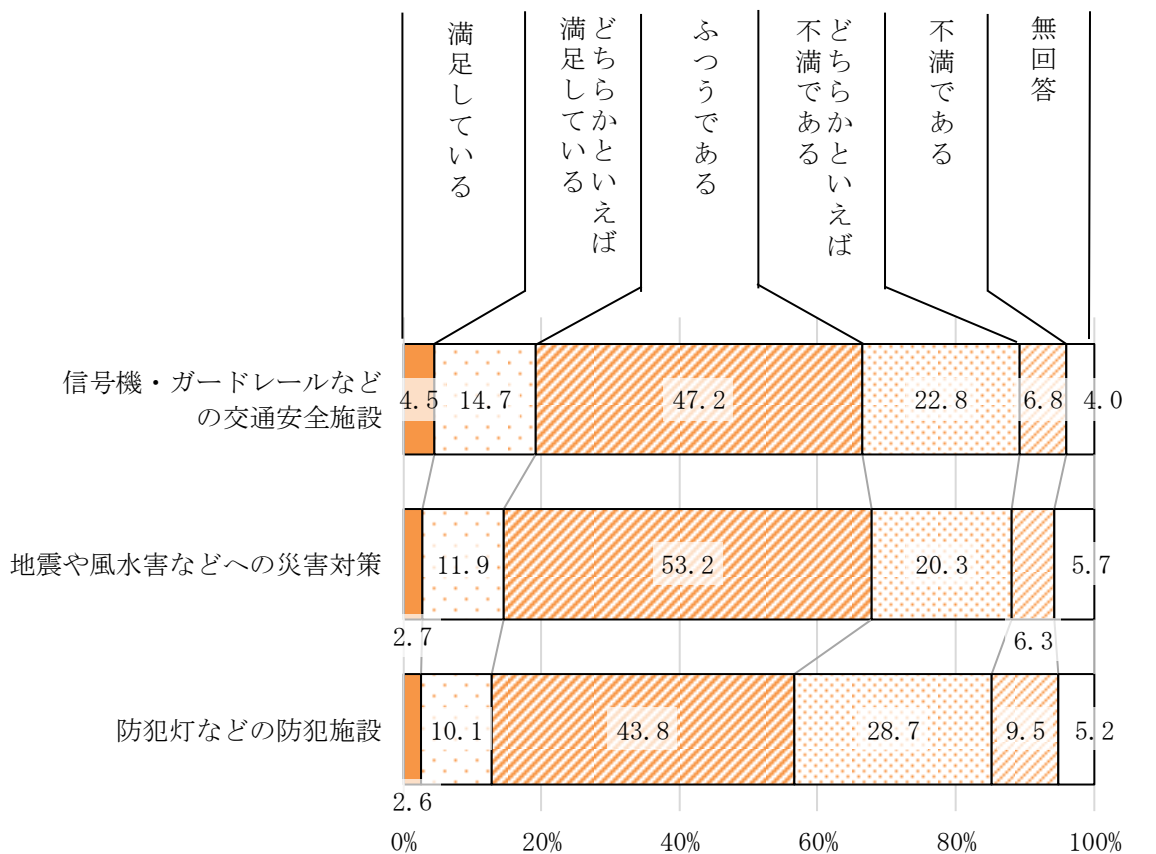
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

②安全性、便利さ、快適さ、公共施設、市政について

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）が『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）を上回るのは、「鉄道の利用」、「買い物・金融機関などの利用」、「みどりの豊かさなどの自然環境」、「音や振動のない静けさ」、「空気のきれいさ」、「保育所や幼稚園などの施設」、「小学校や中学校などの施設」、「下水道の整備状況」、「窓口・電話口での職員の対応」、「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、「広報「おけがわ」の内容」、「市のホームページの内容」となっている。

一方、『不満』が『満足』を上回るのは、「信号機・ガードレールなどの交通安全施設」、「地震や風水害などへの災害対策」、「防犯灯などの防犯施設」、「バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）」、「バスの利用（路線バス）」、「川などの水辺と親しめる環境」、「子どもの遊び場や公園など」、「道路の整備状況」、「趣味や学習のための施設」、「グラウンドなどのスポーツ施設」、「行政のスリム化」、「市民意見・要望の市政への反映」となっている。

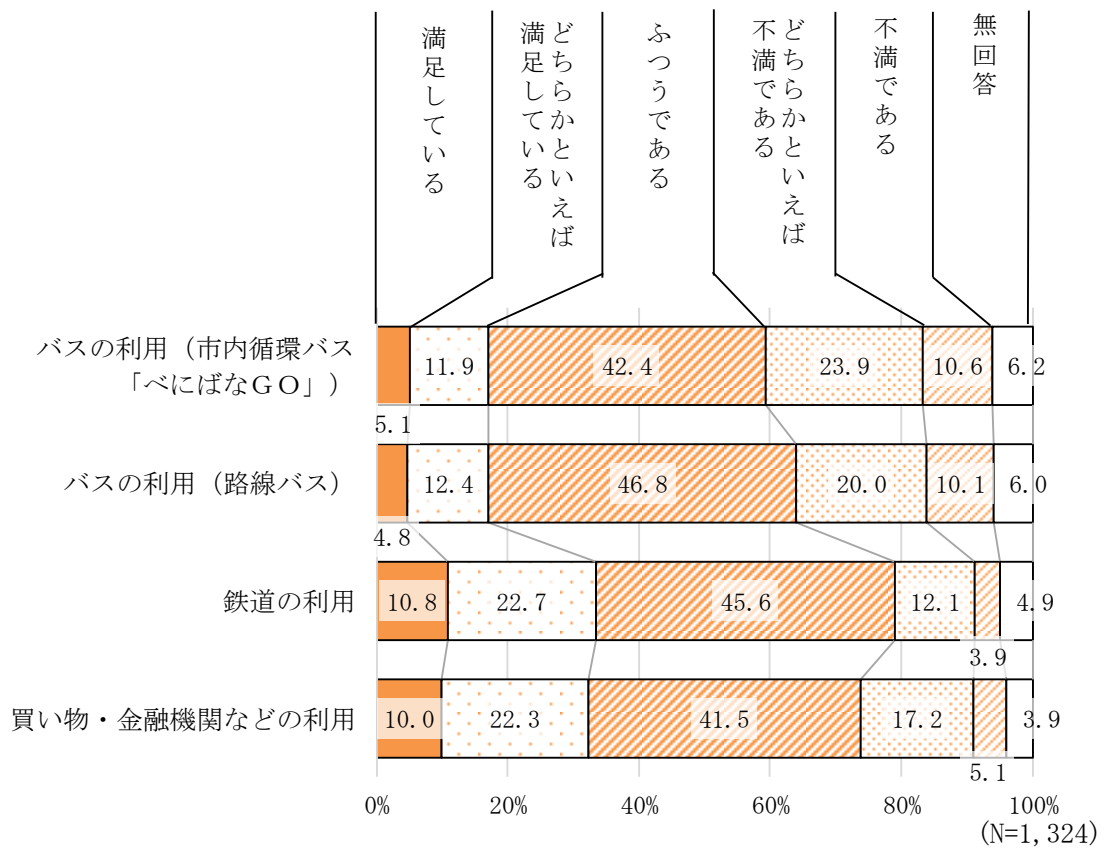
②－1 安全性について



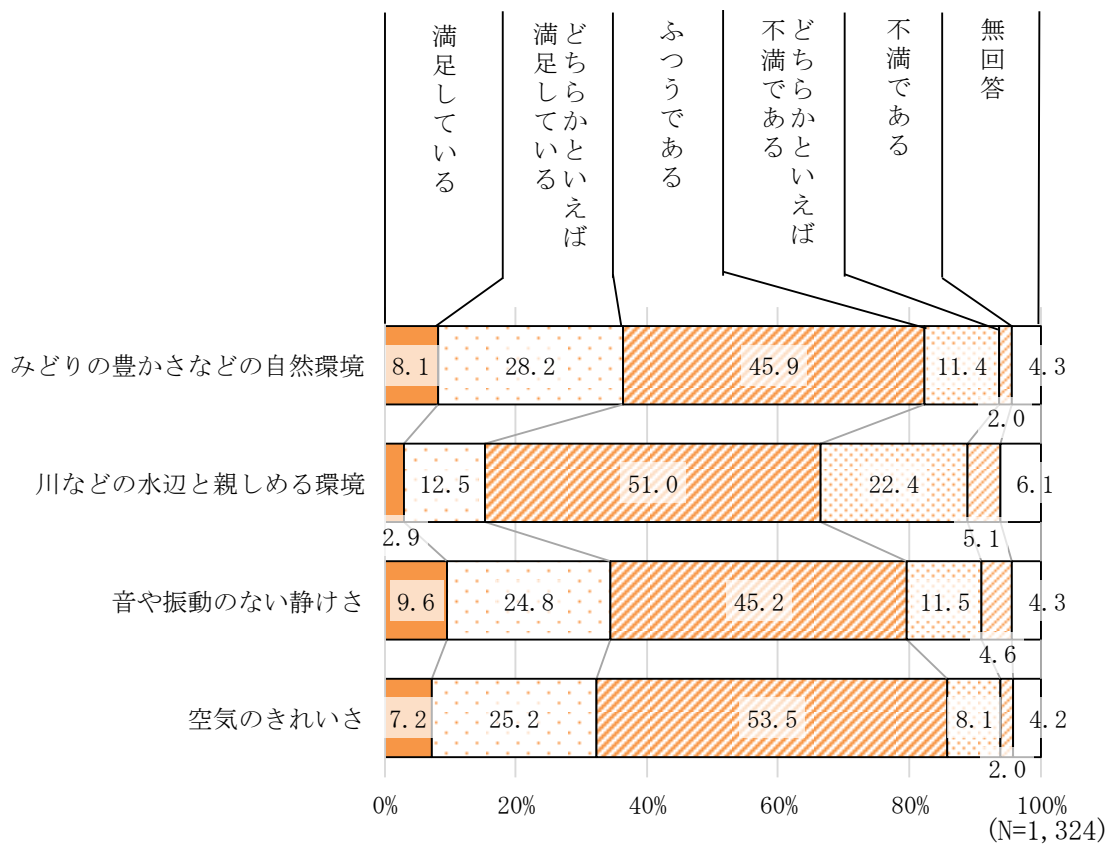
(N=1,324)

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

②-2 便利さについて

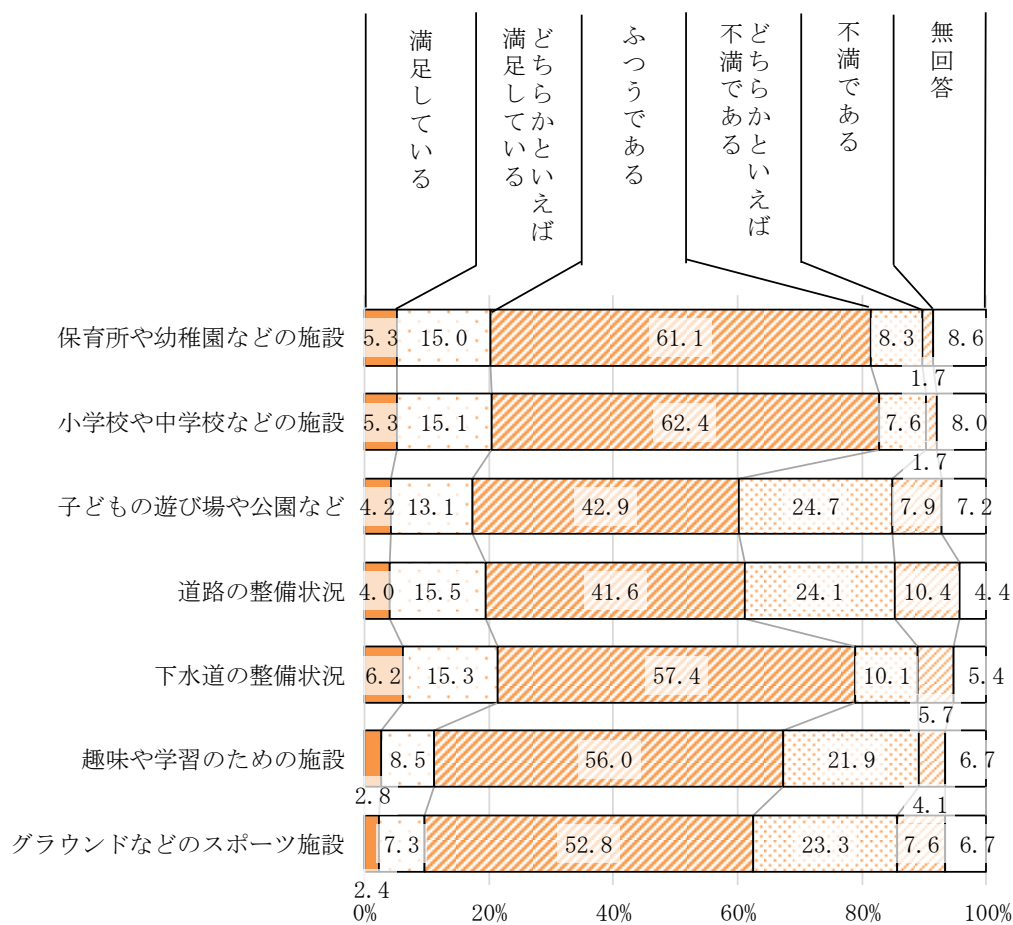


②-3 快適さについて



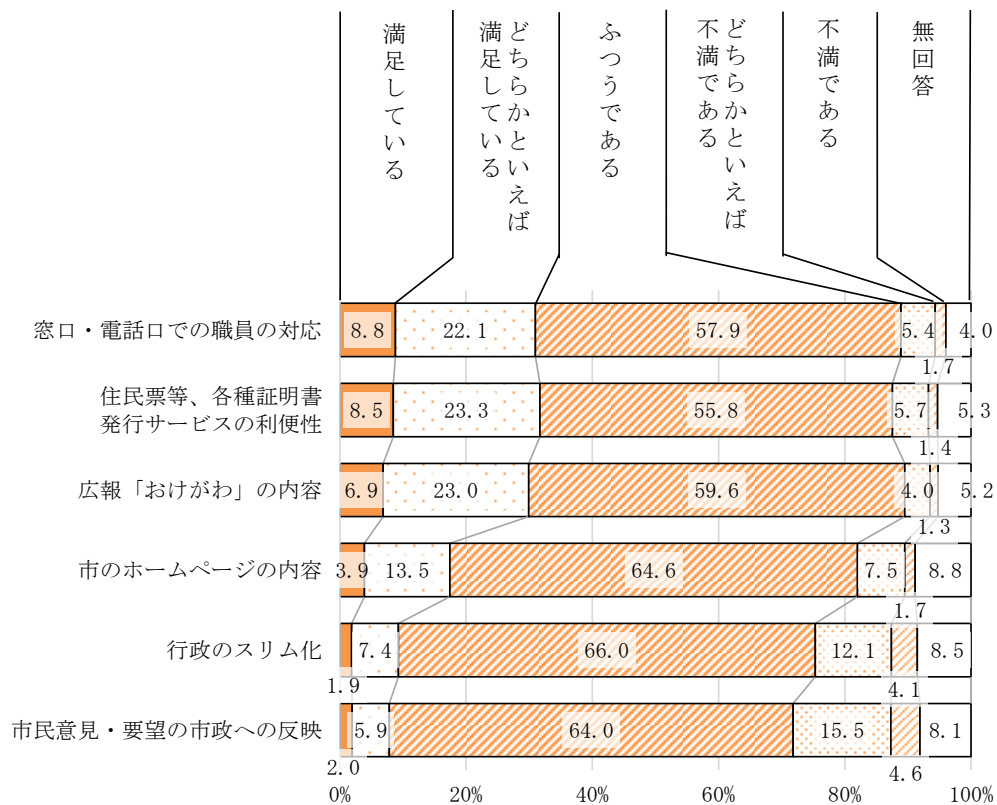
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

②-4 公共施設等について



(N=1, 324)

②-5 市政について



(N=1, 324)

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

【経年変化／生活環境の満足度】

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキングで、前回調査よりも順位が上がっているものは「音や振動のない静けさ」、「鉄道の利用」、「図書館や公民館などにおける社会教育活動」となっている。

一方、『不満』（「どちらかといえば不満である」＋「不満である」）ランキングで、前回調査より順位が上がっているものは「防犯灯などの防犯施設」、「グラウンドなどのスポーツ施設」、「バスの利用（路線バス）」、「信号機・ガードレールなどの交通安全施設」となっている。

『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）ランキング

	前回調査 (平成29年度)		今回調査 (令和元年度)		H29との 順位比較
1位	家庭ゴミの収集・処理	38.3%	家庭ゴミの収集・処理	39.5%	→
2位	みどりの豊かさなどの自然環境	36.1%	みどりの豊かさなどの自然環境	36.3%	→
3位	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	33.0%	音や振動のない静けさ	34.4%	↑
4位	窓口・電話口での職員の対応	32.3%	鉄道の利用	33.5%	↑
5位	空気のきれいさ	32.1%	空気のきれいさ	32.4%	→
6位	買い物・金融機関などの利用	30.6%	買い物・金融機関などの利用	32.3%	→
7位	音や振動のない静けさ	30.4%	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	31.8%	↓
8位	鉄道の利用	30.4%	窓口・電話口での職員の対応	30.9%	↓
9位	し尿や家庭雑排水の処理	27.7%	図書館や公民館などにおける社会教育活動	30.3%	↑
10位	広報「おけがわ」の内容	27.3%	広報「おけがわ」の内容	29.9%	→

『不満』（「どちらかといえば不満である」＋「不満である」）ランキング

	前回調査 (平成29年度)		今回調査 (令和元年度)		H29との 順位比較
1位	病院・診療所などの医療機関	41.1%	防犯灯などの防犯施設	38.2%	↑
2位	防犯灯などの防犯施設	40.3%	病院・診療所などの医療機関	37.3%	↓
3位	道路の整備状況	37.0%	道路の整備状況	34.5%	→
4位	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	36.4%	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	34.5%	→
5位	子どもの遊び場や公園など	32.8%	子どもの遊び場や公園など	32.6%	→
6位	川などの水辺と親しめる環境	31.9%	グラウンドなどのスポーツ施設	30.9%	↑
7位	国際交流の推進	31.1%	バスの利用（路線バス）	30.1%	↑
8位	バスの利用（路線バス）	30.8%	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	29.6%	↑
9位	趣味や学習のための施設	30.0%	国際交流の推進	28.6%	↓
10位	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	28.7%	川などの水辺と親しめる環境	27.5%	↓

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／生活環境の満足度

※本項目のクロス集計については得点による表示である。すなわち、満足している（4点）、どちらかといえば満足している（2点）、ふつうである（0点）、どちらかといえば不満である（-2点）、不満である（-4点）を、それぞれの標本数に乗じて得た値の総和を、（有効回答者総数－無回答）で除して得た得点を表示している。

【性別】

生活環境の満足度について最も点数が高いのは、男性では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、女性では「広報「おけがわ」の内容」となっている。次いで、男性は「窓口・電話口での職員の対応」、女性は「みどりの豊かさなどの自然環境」及び「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」となっている。男性の第3位は「鉄道の利用」となっている。

また、最も点数が低いのは、男性では「国際交流の推進」、女性では「防犯灯などの防犯施設」となっている。男性の第2位は「グラウンドなどのスポーツ施設」、第3位は「防犯灯などの防犯施設」となっており、女性の第2位は「国際交流の推進」及び「バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）」となっている。

分野	項目	男性	女性
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	0.36	0.55
	自治会・町内会等の地域活動	0.22	0.13
	子どもを育てる場所として	0.35	0.38
	高齢者が生活する場所として	-0.06	-0.17
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	0.49	0.44
	文化・芸術活動	-0.06	0.03
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.12	-0.06
	生涯学習の機会・内容	-0.19	-0.17
	国際交流の推進	① -0.75	② -0.57
保健医療福祉	健康診断などの保健活動	0.35	0.29
	病院・診療所などの医療機関	-0.34	-0.37
	保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	0.01	0.05
	高齢者福祉サービス	-0.16	-0.20
	障害者福祉サービス	-0.18	-0.23
衛生	家庭ゴミの収集・処理	0.53	0.40
	し尿や家庭雑排水の処理	0.64	0.39
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	-0.20	-0.29
	地震や風水害などへの災害対策	-0.25	-0.38
	防犯灯などの防犯施設	③ -0.54	① -0.81
便利さ	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	-0.34	② -0.57
	バスの利用（路線バス）	-0.24	-0.49
	鉄道の利用	3 0.65	0.39
	買い物・金融機関などの利用	0.28	0.30
快適さ	みどりの豊かさなどの自然環境	0.61	2 0.60
	川などの水辺と親しめる環境	-0.38	-0.22
	音や振動のない静けさ	0.45	0.52
	空気のきれいさ	0.62	0.53
公共施設等	保育所や幼稚園などの施設	0.34	0.28
	小学校や中学校などの施設	0.38	0.29
	子どもの遊び場や公園など	-0.32	-0.46
	道路の整備状況	-0.39	-0.51
	下水道の整備状況	0.27	0.02
	趣味や学習のための施設	-0.34	-0.35
	グラウンドなどのスポーツ施設	② -0.69	-0.46
市政	窓口・電話口での職員の対応	2 0.74	0.58
	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	1 0.75	2 0.60
	広報「おけがわ」の内容	0.56	1 0.70
	市のホームページの内容	0.22	0.25
	行政のスリム化	-0.17	-0.20
	市民意見・要望の市政への反映	-0.27	-0.36

※数字は点数の高い順位、丸数字は点数の低い順位を示す。

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

【年齢】

生活環境の満足度について最も点数が高いのは、18歳～19歳では「図書館や公民館などにおける社会教育活動」及び「広報「おけがわ」の内容」、20歳～29歳、65歳～69歳では「鉄道の利用」、30歳～39歳では「図書館や公民館などにおける社会教育活動」及び「みどりの豊かさなどの自然環境」、40歳～49歳、50歳～59歳では「みどりの豊かさなどの自然環境」、60歳～64歳では「空気のきれいさ」、70歳～74歳、75歳以上では「家庭ゴミの収集・処理」となっている。第2位は、20歳～29歳、50歳～59歳では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、40歳～49歳では「音や振動のない静けさ」、60歳～64歳では「みどりの豊かさなどの自然環境」、65歳～69歳では「空気のきれいさ」、70歳～74歳、75歳以上では「窓口・電話口での職員の対応」となっている。

また、最も点数が低いのは、18歳～19歳では「バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）」、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「防犯灯などの防犯施設」、50歳～59歳、60歳～64歳では「病院・診療所などの医療機関」、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「国際交流の推進」となっている。第2位は、18歳～19歳、20歳～29歳では「国際交流の推進」、30歳～39歳、75歳以上では「グラウンドなどのスポーツ施設」、40歳～49歳では「バスの利用（路線バス）」、50歳～59歳では「防犯灯などの防犯施設」、60歳～64歳では「道路の整備状況」、65歳～69歳では「病院・診療所などの医療機関」及び「市民意見・要望の市政への反映」、70～74歳では「子どもの遊び場や公園など」となっている。

分野	項目	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	1.10	0.44	0.27	0.39	0.37	0.48	0.32	0.50	0.72
	自治会・町内会等の地域活動	0.54	0.21	-0.10	-0.04	0.15	0.25	0.09	0.28	0.49
	子どもを育てる場所として	0.80	0.48	0.23	0.32	0.39	0.36	0.47	0.30	0.35
	高齢者が生活する場所として	0.54	0.25	-0.12	-0.15	-0.32	-0.54	-0.13	-0.04	-0.13
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	① 1.19	0.76	① 0.60	0.43	0.38	0.05	0.26	0.28	0.43
	文化・芸術活動	0.62	0.13	-0.01	0.04	-0.02	-0.31	-0.23	-0.04	-0.08
	スポーツ・レクリエーション活動	0.33	-0.02	-0.12	-0.04	-0.10	-0.23	-0.22	-0.13	-0.13
	生涯学習の機会・内容	0.10	0.08	-0.17	-0.16	-0.29	-0.31	-0.28	-0.28	-0.23
	国際交流の推進	② -0.29	② -0.56	-0.60	-0.61	-0.65	③ -0.74	① -0.59	① -0.91	① -0.81
・保健医療福祉	健康診断などの保健活動	0.90	0.51	-0.27	0.05	-0.15	0.15	0.59	0.69	1.09
	病院・診療所などの医療機関	1.02	0.28	-0.27	-0.56	① -0.94	① -1.04	② -0.57	-0.22	-0.05
	保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	1.05	0.26	-0.10	0.01	-0.12	-0.03	-0.18	0.04	0.04
	高齢者福祉サービス	0.57	0.03	-0.10	-0.18	-0.48	-0.39	-0.25	-0.22	-0.18
	障害者福祉サービス	0.52	0.03	-0.25	-0.20	-0.43	-0.47	-0.23	-0.13	-0.30
衛生	家庭ゴミの収集・処理	1.05	0.55	-0.38	0.12	-0.05	0.18	0.73	① 1.22	① 1.36
	し尿や家庭雑排水の処理	0.86	③ 0.84	0.23	0.41	0.07	0.03	0.47	0.73	③ 1.12
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	0.48	0.22	-0.58	-0.24	-0.45	-0.62	-0.42	-0.18	-0.08
	地震や風水害などへの災害対策	0.43	0.05	-0.40	-0.22	-0.60	-0.60	-0.34	-0.27	-0.47
	防犯灯などの防犯施設	③ -0.24	① -0.68	① -1.20	① -0.84	② -0.91	-0.62	-0.56	-0.42	-0.20
利便性	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	① -0.38	-0.03	-0.68	③ -0.65	③ -0.77	-0.61	-0.49	-0.20	-0.14
	バスの利用（路線バス）	-0.14	0.02	-0.41	② -0.66	-0.75	-0.56	-0.25	-0.29	-0.03
	鉄道の利用	1.05	① 0.97	0.12	0.22	0.11	0.13	① 0.92	0.69	1.04
快適さ	買い物・金融機関などの利用	0.81	0.62	0.07	0.12	0.15	-0.05	0.11	0.61	0.58
	みどりの豊かさなどの自然環境	1.00	0.58	① 0.60	① 0.79	① 0.61	② 0.69	0.40	0.30	0.52
	川などの水辺と親しめる環境	0.14	-0.03	-0.30	-0.20	-0.19	-0.33	-0.41	③ -0.52	-0.60
	音や振動のない静けさ	0.71	0.63	③ 0.49	② 0.66	0.20	0.37	0.46	0.41	0.50
公共施設等	空気のきれいさ	0.62	0.48	0.18	③ 0.61	0.37	① 0.72	② 0.86	0.72	0.77
	保育所や幼稚園などの施設	0.81	0.39	0.32	0.46	0.00	0.15	0.18	0.28	0.35
	小学校や中学校などの施設	③ 1.10	0.63	0.23	0.36	0.07	0.33	0.31	0.33	0.28
	子どもの遊び場や公園など	0.43	-0.29	③ -0.72	-0.30	-0.43	-0.37	-0.26	② -0.61	-0.48
	道路の整備状況	0.33	-0.02	-0.54	-0.35	-0.59	② -0.99	-0.27	-0.51	③ -0.68
	下水道の整備状況	0.00	0.58	0.06	0.21	-0.23	-0.35	0.19	0.16	0.37
	趣味や学習のための施設	0.14	-0.29	-0.38	-0.32	-0.58	-0.48	-0.32	-0.18	-0.33
	グラウンドなどのスポーツ施設	0.14	③ -0.38	② -0.75	-0.50	-0.69	-0.63	-0.44	-0.51	② -0.73
	窓口・電話口での職員の対応	0.57	0.60	0.18	0.45	0.43	0.49	0.81	② 1.16	② 1.29
市政	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	0.95	② 0.95	0.30	0.53	② 0.59	③ 0.53	0.74	③ 0.87	0.94
	広報「おけがわ」の内容	① 1.19	0.81	0.25	0.53	③ 0.51	0.48	③ 0.84	0.73	0.95
	市のホームページの内容	0.57	0.50	-0.05	0.16	0.10	0.03	0.30	0.37	0.50
	行政のスリム化	0.39	0.29	-0.34	-0.18	-0.31	-0.36	-0.32	-0.17	-0.27
	市民意見・要望の市政への反映	0.34	-0.06	-0.29	-0.46	-0.36	-0.36	② -0.57	-0.21	-0.37

※数字は点数の高い順位、丸数字は点数の低い順位を示す。

※少数第3位を四捨五入しているため、数値が同じでも順位が異なる場合がある。

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

【地区】

生活環境の満足度について最も点数が高いのは、駅東側周辺では「鉄道の利用」、駅西側周辺では「買い物・金融機関などの利用」、日出谷地区、川田谷地区では「みどりの豊かさなどの自然環境」、坂田地区では「し尿や家庭雑排水の処理」、加納地区では「窓口・電話口での職員の対応」となっている。第2位は、駅東側周辺では「窓口・電話口での職員の対応」、駅西側周辺では「鉄道の利用」、日出谷地区では「住民票等、各種証明書発行サービスの利便性」、坂田地区では「家庭ゴミの収集・処理」、加納地区、川田谷地区では「空気のきれいさ」となっている。

また、最も点数が低いのは、駅東側周辺では「子どもの遊び場や公園など」、駅西側周辺、坂田地区では「国際交流の推進」、日出谷地区では「防犯灯などの防犯施設」、加納地区では「道路の整備状況」、川田谷地区では「下水道の整備状況」となっている。第2位は、駅東側周辺では「道路の整備状況」、駅西側周辺では「バスの利用（路線バス）」、日出谷地区では「バスの利用（市内循環バス「べにばなGO）」、坂田地区では「グラウンドなどのスポーツ施設」、加納地区、川田谷地区では「防犯灯などの防犯施設」となっている。

分野	項目	駅東側周辺	駅西側周辺	日出谷地区	坂田地区	加納地区	川田谷地区
地域社会	近所づきあいや地域のつながり	0.41	0.50	0.43	0.48	0.45	0.49
	自治会・町内会等の地域活動	0.23	0.29	0.10	0.22	0.10	-0.17
	子どもを育てる場所として	0.14	0.49	0.36	0.57	0.12	0.37
	高齢者が生活する場所として	-0.10	0.12	-0.24	0.00	-0.10	-0.73
教育・文化	図書館や公民館などにおける社会教育活動	0.37	0.71	0.28	0.55	0.40	0.30
	文化・芸術活動	-0.06	0.06	0.05	-0.13	0.00	0.02
	スポーツ・レクリエーション活動	-0.23	-0.04	-0.05	-0.20	-0.03	0.16
	生涯学習の機会・内容	-0.29	-0.19	-0.10	-0.25	-0.14	-0.08
	国際交流の推進	③	①	③	①	-0.36	-0.73
保健医療	健康診断などの保健活動	0.35	0.36	0.20	0.26	0.53	0.33
	病院・診療所などの医療機関	-0.39	-0.17	-0.44	-0.42	-0.41	-0.38
	保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	-0.07	0.07	0.05	0.03	0.05	0.02
	高齢者福祉サービス	-0.24	-0.13	-0.23	-0.13	-0.32	-0.10
	障害者福祉サービス	-0.39	-0.17	-0.16	-0.19	-0.19	-0.19
衛生	家庭ゴミの収集・処理	0.62	0.51	0.29	2	0.73	0.21
	し尿や家庭雑排水の処理	0.67	0.74	0.51	1	0.79	-0.07
安全性	信号機・ガードレールなどの交通安全施設	-0.32	-0.03	-0.20	-0.34	-0.40	-0.44
	地震や風水害などへの災害対策	-0.41	-0.04	-0.41	-0.25	-0.18	③
	防犯灯などの防犯施設	-0.76	-0.45	①	③	②	②
	バスの利用（市内循環バス「べにばなGO）」	-0.14	③	②	-0.73	-0.51	-0.21
便利さ	バスの利用（路線バス）	-0.24	②	-0.53	-0.08	-0.40	-0.54
	鉄道の利用	1	2	0.86	0.51	0.32	0.07
	買い物・金融機関などの利用	0.42	1	0.87	0.07	0.36	0.00
	みどりの豊かさなどの自然環境	-0.01	0.68	1	0.79	0.30	0.56
快適さ	川などの水辺と親しめる環境	-0.55	-0.30	-0.22	-0.38	-0.40	0.36
	音や振動のない静けさ	0.13	0.63	0.52	0.38	0.44	3
	空気のきれいさ	0.27	0.65	0.64	0.36	2	2
	保育所や幼稚園などの施設	0.14	0.29	0.33	0.48	0.09	0.41
	小学校や中学校などの施設	0.22	0.36	0.39	0.40	0.16	0.36
公共施設等	子どもの遊び場や公園など	①	-0.20	-0.21	-0.12	-0.67	-0.42
	道路の整備状況	②	-0.07	-0.07	-0.53	①	-0.74
	下水道の整備状況	0.27	0.44	0.26	0.40	-0.45	①
	趣味や学習のための施設	-0.55	-0.25	-0.38	-0.28	-0.29	-0.33
	グラウンドなどのスポーツ施設	-0.81	-0.41	-0.52	②	③	-0.69
	窓口・電話口での職員の対応	2	0.78	0.63	0.61	1	0.80
	住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	3	0.71	0.81	0.73	0.50	0.71
市政	広報「おけがわ」の内容	0.66	0.74	0.66	0.67	0.56	0.42
	市のホームページの内容	0.26	0.30	0.20	0.24	0.21	0.24
	行政のスリム化	-0.29	-0.11	-0.21	-0.19	-0.16	-0.16
	市民意見・要望の市政への反映	-0.45	-0.22	-0.27	-0.42	-0.17	-0.36

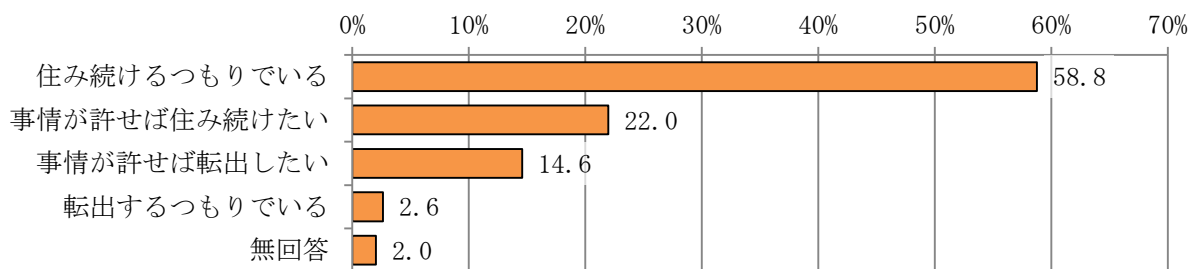
※数字は点数の高い順位、丸数字は点数の低い順位を示す。

(4) 定住意向

問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

全 体

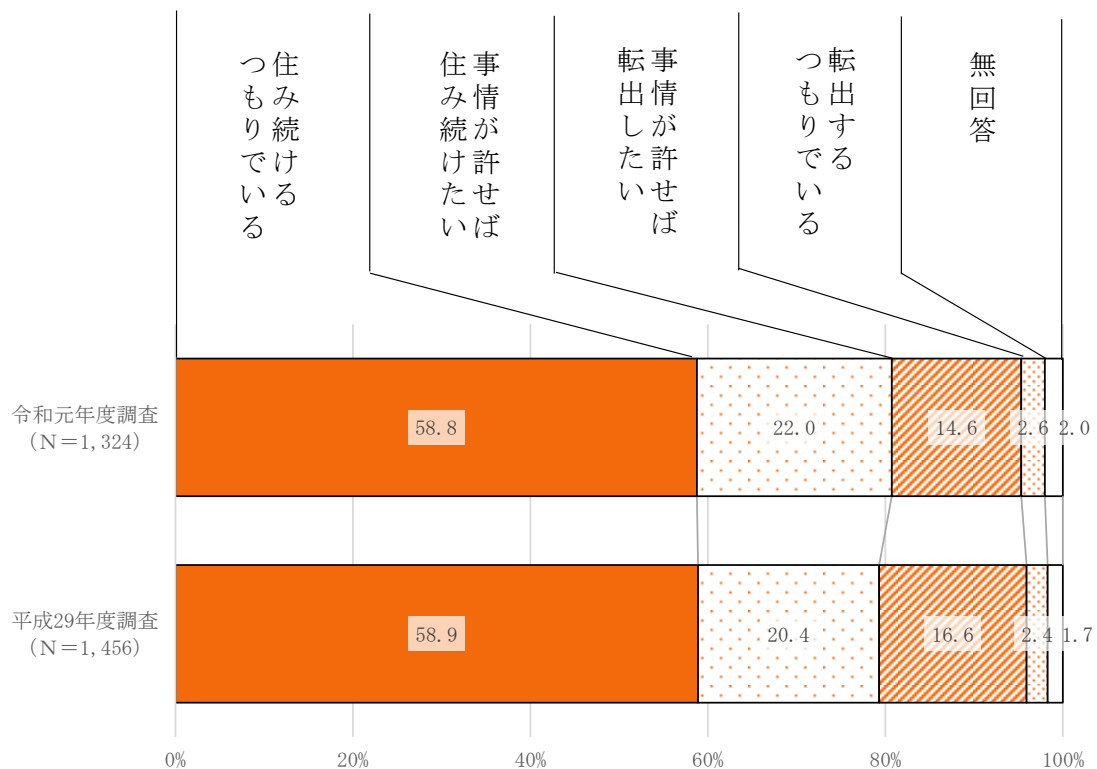
「住み続けるつもりでいる」との回答が58.8%と最も高くなっており、次いで「事情が許せば住み続けたい」が22.0%となっている。『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答は80.8%となっており、全体の約8割が定住意向を示している。



(N=1,324)

【経年変化／定住意向】

桶川市での定住意向について前回調査（平成29年度）と比較すると、『住み続けたい』（「住み続けるつもりでいる」＋「事情が許せば住み続けたい」）との回答は、1.5ポイント増加した。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／定住意向

性別で見ると、男性・女性ともに「住み続けるつもりでいる」がそれぞれ過半数を占め、最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳では「事情が許せば住み続けたい」、その他の年齢では「住み続けるつもりでいる」が最も高くなっており、次いで18歳～19歳、20歳～29歳では「住み続けるつもりでいる」、60歳～64歳、65歳～69歳では「事情が許せば転出したい」、その他の年齢では「事情が許せば住み続けたい」となっている。

地区で見ると、全体を通じて「住み続けるつもりでいる」が最も高く、次いで川田谷地区では「事情が許せば転出したい」、駅東側周辺では「事情が許せば住み続けたい」及び「事情が許せば転出したい」、その他の地区では「事情が許せば住み続けたい」となっている。

		調査数 (N)	住み続けるつもり でいる	事情が許せば住み続けたい	事情が許せば転出したい	転出するつもり でいる	無回答
	全体	1,324	778	291	193	35	27
		100.0%	58.8%	22.0%	14.6%	2.6%	2.0%
性別	男性	567	349	131	70	10	7
		100.0%	61.6%	23.1%	12.3%	1.8%	1.2%
	女性	700	403	147	119	22	9
		100.0%	57.6%	21.0%	17.0%	3.1%	1.3%
	無回答	57	26	13	4	3	11
		100.0%	45.6%	22.8%	7.0%	5.3%	19.3%
年齢	18歳～19歳	42	17	20	2	3	0
		100.0%	40.5%	47.6%	4.8%	7.1%	0.0%
	20歳～29歳	127	51	52	14	9	1
		100.0%	40.2%	40.9%	11.0%	7.1%	0.8%
	30歳～39歳	166	88	38	34	6	0
		100.0%	53.0%	22.9%	20.5%	3.6%	0.0%
	40歳～49歳	242	127	58	48	7	2
		100.0%	52.5%	24.0%	19.8%	2.9%	0.8%
	50歳～59歳	187	105	43	34	3	2
		100.0%	56.1%	23.0%	18.2%	1.6%	1.1%
	60歳～64歳	82	59	10	11	1	1
		100.0%	72.0%	12.2%	13.4%	1.2%	1.2%
地区	65歳～69歳	98	70	9	16	0	3
		100.0%	71.4%	9.2%	16.3%	0.0%	3.1%
	70歳～74歳	113	80	18	10	2	3
		100.0%	70.8%	15.9%	8.8%	1.8%	2.7%
	75歳以上	218	160	31	20	1	6
		100.0%	73.4%	14.2%	9.2%	0.5%	2.8%
	無回答	49	21	12	4	3	9
		100.0%	42.9%	24.5%	8.2%	6.1%	18.4%
	駅東側周辺	217	119	45	45	5	3
		100.0%	54.8%	20.7%	20.7%	2.3%	1.4%
	駅西側周辺	266	161	67	28	8	2
		100.0%	60.5%	25.2%	10.5%	3.0%	0.8%
	日出谷地区	283	193	49	30	8	3
		100.0%	68.2%	17.3%	10.6%	2.8%	1.1%
	坂田地区	266	147	70	39	7	3
		100.0%	55.3%	26.3%	14.7%	2.6%	1.1%
	加納地区	127	70	28	22	2	5
		100.0%	55.1%	22.0%	17.3%	1.6%	3.9%
	川田谷地区	109	64	16	25	2	2
		100.0%	58.7%	14.7%	22.9%	1.8%	1.8%
	無回答	56	24	16	4	3	9
		100.0%	42.9%	28.6%	7.1%	5.4%	16.1%

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス【職業・同居家族の年齢・住居形態】／定住意向

職業で見ると、学生では「事情が許せば住み続けたい」、その他の職業において「住み続けるつもりでいる」が最も高くなっている。次いで、農林水産業、派遣社員・パート・アルバイトでは「事情が許せば転出したい」、学生では「住み続けるつもりでいる」、その他の職業では「事情が許せば住み続けたい」となっている。

同居家族の年齢で見ると、全年齢において「住み続けるつもりでいる」が最も高くなっている。

住居形態で見ると、持家一戸建て、持家分譲マンション、県営住宅・市営住宅、社宅・公務員宿舎では「住み続けるつもりでいる」、賃貸一戸建て、民間賃貸マンション・アパート、公団（UR）賃貸住宅、同居・間借り・住み込み、その他では、「事情が許せば住み続けたい」が、それぞれ最も高くなっている。

		調査数 (N)	も住 みで 続け るつ	住 事 情が 許さ ば	転 事 出 情が 許さ ば	り転 出 する つも	無 回 答
職業	全体	1,324	778	291	193	35	27
		100.0%	58.8%	22.0%	14.6%	2.6%	2.0%
	農林水産業 (第1次産業)	7	5	0	1	0	1
		100.0%	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
	建設・土木業 (第2次産業)	39	21	8	7	1	2
		100.0%	53.8%	20.5%	17.9%	2.6%	5.1%
	製造業など建設・土木業以外 (第2次産業)	104	50	31	17	6	0
		100.0%	48.1%	29.8%	16.3%	5.8%	0.0%
	社会福祉関係 (第3次産業)	53	27	18	7	1	0
		100.0%	50.9%	34.0%	13.2%	1.9%	0.0%
	商業・サービス業など 社会福祉関係以外 (第3次産業)	199	112	53	30	3	1
		100.0%	56.3%	26.6%	15.1%	1.5%	0.5%
	派遣社員・パート ・アルバイト	239	140	41	51	6	1
		100.0%	58.6%	17.2%	21.3%	2.5%	0.4%
同居家族の年齢	学生	63	23	30	5	5	0
		100.0%	36.5%	47.6%	7.9%	7.9%	0.0%
	専業主婦・専業主夫	208	140	34	27	4	3
		100.0%	67.3%	16.3%	13.0%	1.9%	1.4%
	無職	286	199	44	34	2	7
		100.0%	69.6%	15.4%	11.9%	0.7%	2.4%
	その他	70	38	17	10	3	2
		100.0%	54.3%	24.3%	14.3%	4.3%	2.9%
	無回答	56	23	15	4	4	10
		100.0%	41.1%	26.8%	7.1%	7.1%	17.9%
住居形態	0～6歳	153	94	25	27	5	2
		100.0%	61.4%	16.3%	17.6%	3.3%	1.3%
	7～15歳	174	108	39	25	1	1
		100.0%	62.1%	22.4%	14.4%	0.6%	0.6%
	16～19歳	147	78	42	23	4	0
		100.0%	53.1%	28.6%	15.6%	2.7%	0.0%
	20～64歳	905	522	208	140	25	9
		100.0%	57.8%	23.0%	15.5%	2.8%	1.0%
	65歳以上	557	374	89	77	10	7
		100.0%	67.1%	16.0%	13.8%	1.8%	1.3%
	無回答	98	43	30	9	4	12
		100.0%	43.9%	30.6%	9.2%	4.1%	12.2%
	持家一戸建て	994	653	166	145	18	12
		100.0%	65.7%	16.7%	14.6%	1.8%	1.2%
	賃貸一戸建て	30	11	13	4	2	0
		100.0%	36.7%	43.3%	13.3%	6.7%	0.0%
	持家分譲マンション	85	41	25	13	2	4
		100.0%	48.2%	29.4%	15.3%	2.4%	4.7%
	民間賃貸マンション ・アパート	110	29	51	23	7	0
		100.0%	26.4%	46.4%	20.9%	6.4%	0.0%
	公団（UR）賃貸住宅	21	8	12	0	1	0
		100.0%	38.1%	57.1%	0.0%	4.8%	0.0%
	県営住宅・市営住宅	6	5	1	0	0	0
		100.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	社宅・公務員宿舎	3	2	1	0	0	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	同居・間借り・住み込み	13	4	5	3	1	0
		100.0%	30.8%	38.5%	23.1%	7.7%	0.0%
	その他	8	1	3	2	1	1
		100.0%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%
	無回答	54	24	14	3	3	10
		100.0%	44.4%	25.9%	5.6%	5.6%	18.5%

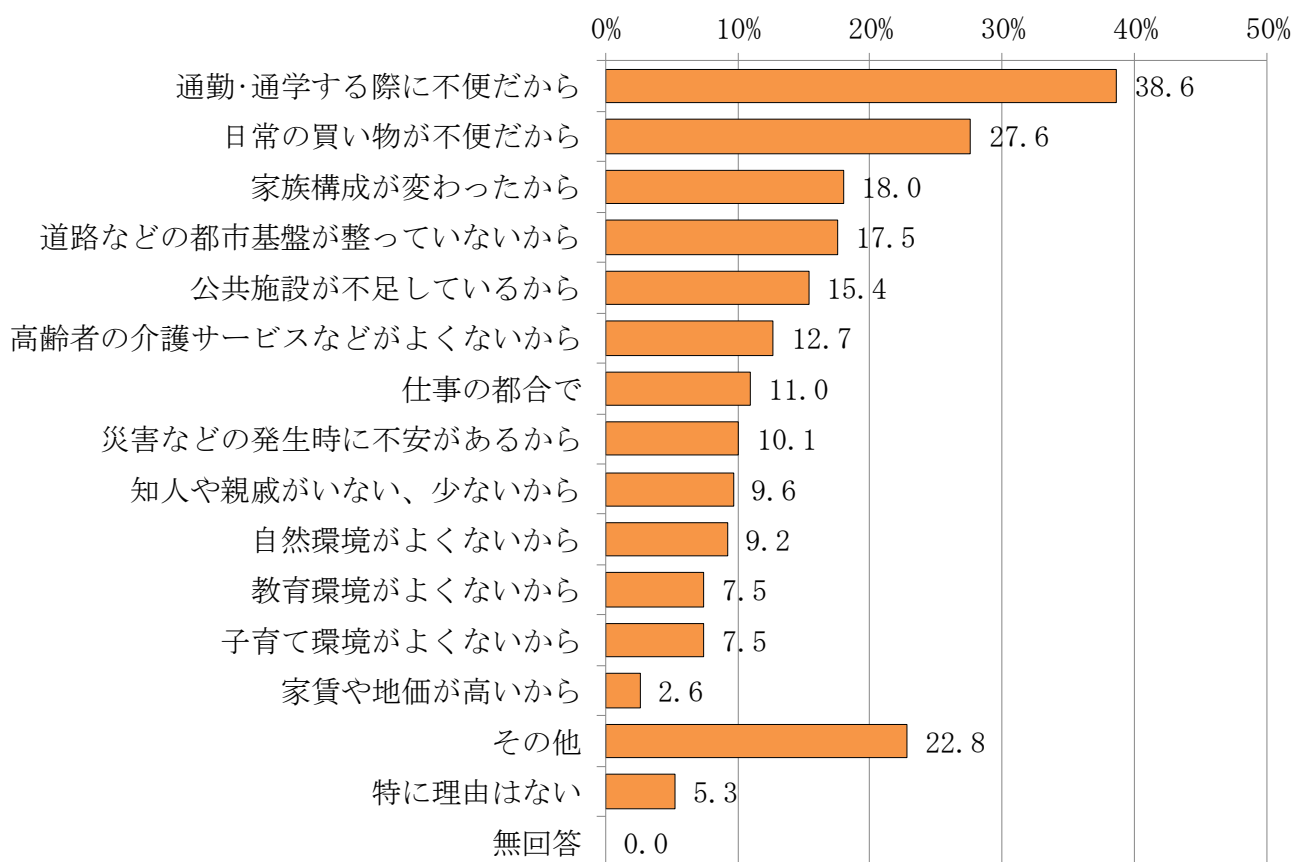
2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

(5) 転出したい理由

問4 前問で「3. 事情が許せば転出したい」、あるいは「4. 転出するつもりでいる」を選んだ方におたずねします。その理由は何でしょうか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

転出したい理由については、「通勤・通学する際に不便だから」の38.6%が最も高くなっており、次いで「日常の買い物が不便だから」27.6%、「家族構成が変わったから」18.0%、「道路などの都市基盤が整っていないから」17.5%となっている。

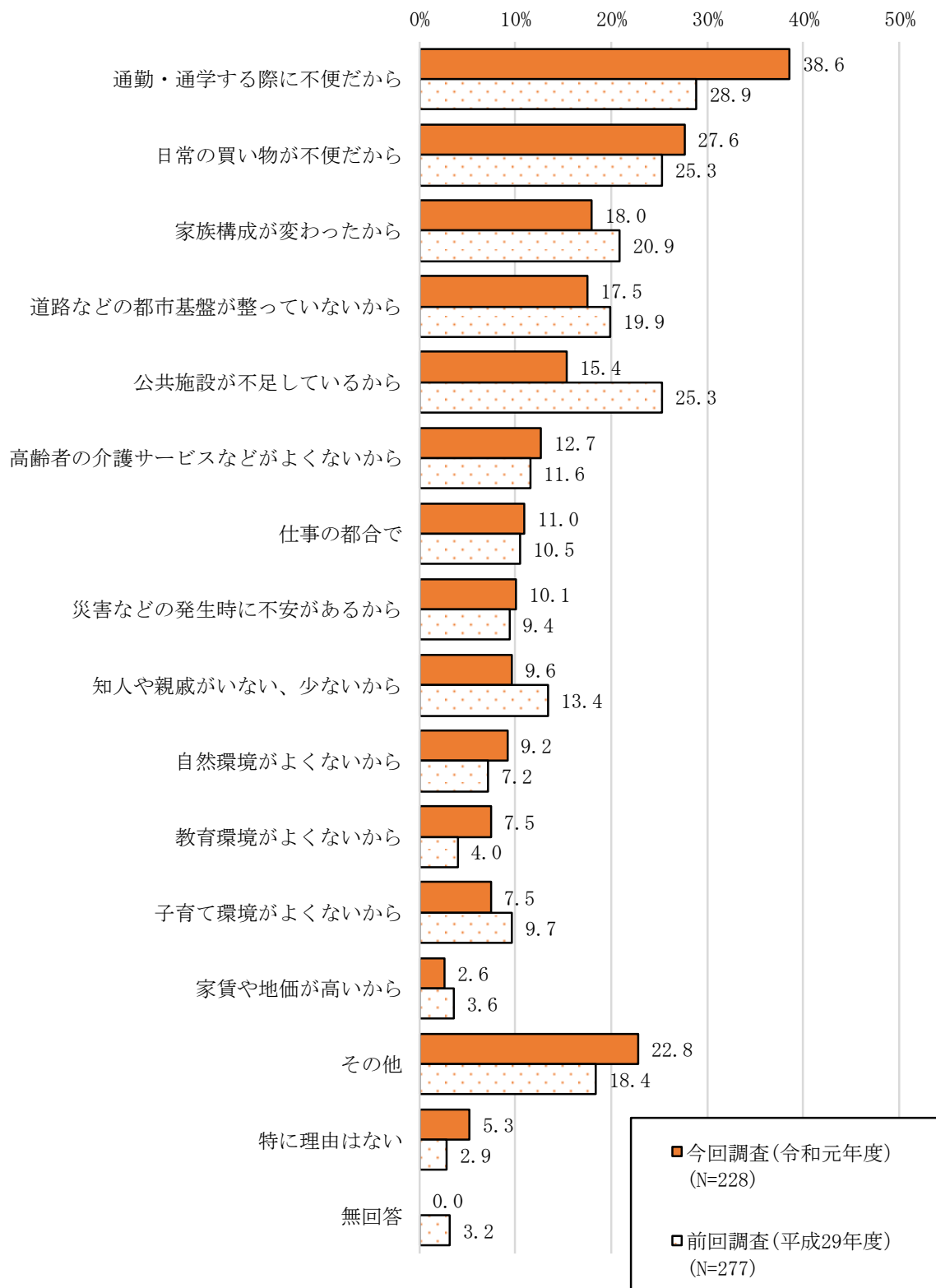


(N=228)

【経年変化／転出したい理由】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「公共施設が不足しているから」が大きく減少しており、「知人や親戚がいない、少ないから」、「家族構成が変わったから」、「道路などの都市基盤が整っていないから」なども減少している。

一方で、「通勤・通学する際に不便だから」は大きく増加しており、「日常の買い物が不便だから」なども増加している。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／転出したい理由

性別で見ると、男性・女性ともに「通勤・通学する際に不便だから」が最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、65歳～69歳では「通勤・通学する際に不便だから」、65歳～69歳では加えて「公共施設が不足しているから」、「その他」が最も高くなっている。60歳～64歳では「高齢者の介護サービスなどがよくないから」、70歳～74歳では「家族構成が変わったから」、75歳以上では「道路などの都市基盤が整っていないから」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺、日出谷地区、坂田地区、加納地区では「通勤・通学する際に不便だから」、川田谷地区では「日常の買い物が不便だから」が最も高くなっている。

		調査数（N）	家族構成が変わったから	家賃や地価が高いから	仕事の都合で	通勤・通学する際に不便だから	日常の買い物が不便だから	知人や親戚がいらない、少ないから	教育環境がよくないから	高齢者の介護サービスなどがよくないから	自然環境がよくないから	道路などの都市基盤が整っていないから	公共施設が不足しているから	災害などの発生時に不安があるから	子育て環境がよくないから	その他	特に理由はない	無回答
全体		228	41	6	25	88	63	22	17	29	21	40	35	23	17	52	12	0
		100.0%	18.0%	2.6%	11.0%	38.6%	27.6%	9.6%	7.5%	12.7%	9.2%	17.5%	15.4%	10.1%	7.5%	22.8%	5.3%	0.0%
性別	男性	80	12	2	6	26	19	6	5	10	8	19	15	9	2	22	6	0
		100.0%	15.0%	2.5%	7.5%	32.5%	23.8%	7.5%	6.3%	12.5%	10.0%	23.8%	18.8%	11.3%	2.5%	27.5%	7.5%	0.0%
	女性	141	27	4	17	60	41	14	12	17	12	21	19	14	15	30	6	0
		100.0%	19.1%	2.8%	12.1%	42.6%	29.1%	9.9%	8.5%	12.1%	8.5%	14.9%	13.5%	9.9%	10.6%	21.3%	4.3%	0.0%
無回答		7	2	0	2	2	3	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0
		100.0%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	18歳～19歳	5	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	23	2	0	7	17	7	0	1	0	1	3	4	5	0	3	0	0
		100.0%	8.7%	0.0%	30.4%	73.9%	30.4%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	13.0%	17.4%	21.7%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%
	30歳～39歳	40	6	2	3	17	10	5	6	2	2	3	5	2	9	9	1	0
		100.0%	15.0%	5.0%	7.5%	42.5%	25.0%	12.5%	15.0%	5.0%	5.0%	7.5%	12.5%	5.0%	22.5%	22.5%	2.5%	0.0%
	40歳～49歳	55	8	1	6	24	15	5	6	4	6	11	8	2	8	11	5	0
		100.0%	14.5%	1.8%	10.9%	43.6%	27.3%	9.1%	10.9%	7.3%	10.9%	20.0%	14.5%	3.6%	14.5%	20.0%	9.1%	0.0%
	50歳～59歳	37	8	0	4	15	7	3	2	4	5	5	5	3	0	9	1	0
		100.0%	21.6%	5.4%	10.8%	40.5%	18.9%	8.1%	5.4%	10.8%	13.5%	13.5%	13.5%	8.1%	0.0%	24.3%	2.7%	0.0%
	60歳～64歳	12	4	0	0	2	6	1	0	7	1	3	1	1	0	3	0	0
		100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	8.3%	0.0%	58.3%	8.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
年齢	65歳～69歳	16	3	0	0	5	4	0	0	4	2	2	5	3	0	5	3	0
		100.0%	18.8%	0.0%	0.0%	31.3%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	31.3%	18.8%	0.0%	31.3%	18.8%	0.0%
	70歳～74歳	12	5	1	0	0	2	2	1	1	1	3	2	2	0	3	2	0
		100.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	25.0%	16.7%	16.7%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%
	75歳以上	21	4	0	1	2	8	5	0	5	2	9	4	5	0	8	0	0
		100.0%	19.0%	0.0%	4.8%	9.5%	38.1%	23.8%	0.0%	23.8%	9.5%	42.9%	19.0%	23.8%	0.0%	38.1%	0.0%	0.0%
無回答		7	1	0	2	2	4	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0
		100.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地区	駅東側周辺	50	11	1	5	16	11	7	4	7	4	11	10	3	6	10	5	0
		100.0%	22.0%	2.0%	10.0%	32.0%	22.0%	14.0%	8.0%	14.0%	8.0%	22.0%	20.0%	6.0%	12.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	駅西側周辺	36	8	2	3	11	6	4	5	7	2	6	4	2	2	10	2	0
		100.0%	22.2%	5.6%	8.3%	30.6%	16.7%	11.1%	13.9%	19.4%	5.6%	16.7%	11.1%	5.6%	5.6%	27.8%	5.6%	0.0%
	日出谷地区	38	5	2	4	14	12	5	3	2	2	6	6	6	4	12	1	0
		100.0%	13.2%	5.3%	10.5%	36.8%	31.6%	13.2%	7.9%	5.3%	5.3%	5.3%	15.8%	15.8%	10.5%	31.6%	2.6%	0.0%
	坂田地区	46	8	1	6	21	5	2	3	7	6	10	8	5	2	10	2	0
		100.0%	17.4%	2.2%	13.0%	45.7%	10.9%	4.3%	6.5%	15.2%	13.0%	21.7%	17.4%	10.9%	4.3%	21.7%	4.3%	0.0%
	加納地区	24	4	0	3	11	8	1	0	3	4	4	4	0	2	5	1	0
		100.0%	16.7%	0.0%	12.5%	45.8%	33.3%	4.2%	0.0%	12.5%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	20.8%	4.2%	0.0%
地区	川田谷地区	27	4	0	2	13	17	2	1	1	2	6	2	7	1	5	1	0
		100.0%	14.8%	0.0%	7.4%	48.1%	63.0%	7.4%	3.7%	3.7%	7.4%	22.2%	7.4%	25.9%	3.7%	18.5%	3.7%	0.0%
無回答		7	1	0	2	2	4	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0
		100.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

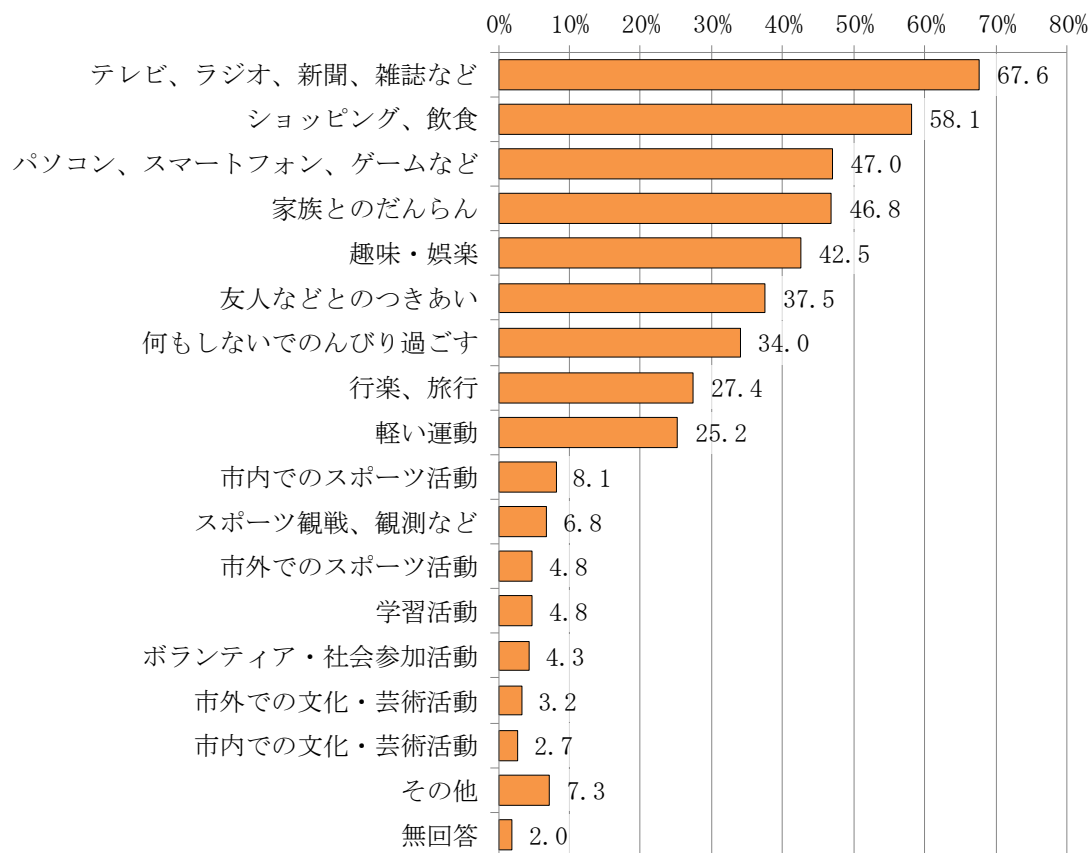
(6) 自由時間の過ごし方

問5 あなたは、平日の自由時間や、週末などの休日の自由時間に、現在どのように過ごしていますか。また、どのような過ごし方をしたいと希望していますか。次の中から主なもの5つまでを選び、番号に○印をおつけください。

①現在の過ごし方

全 体

「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」が67.6%と最も高くなっており、次いで「ショッピング、飲食」58.1%、「パソコン、スマートフォン、ゲームなど」47.0%、「家族とのだんらん」46.8%、「趣味・娯楽」42.5%、「友人などとのつきあい」37.5%となっている。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／自由時間の過ごし方①現在の過ごし方

性別で見ると、男性・女性ともに「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」が最も高くなっている。次いで男性は「パソコン、スマートフォン、ゲームなど」、女性は「ショッピング、飲食」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「パソコン、スマートフォン、ゲームなど」、40歳～49歳では「ショッピング、飲食」、50歳以上では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」が最も高くなっている。次いで18歳～19歳では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」、20歳～39歳、50歳～69歳では「ショッピング、飲食」、40歳～49歳では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」、「家族とのだんらん」、70歳～74歳では「趣味・娯楽」、75歳以上では「軽い運動」となっている。

地区で見ると、川田谷地区では「ショッピング、飲食」、その他の地区では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」が最も高くなっており、次いで川田谷地区では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」、その他の地区では「ショッピング、飲食」となっている。

		調査数（N）	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など	パソコン、スマートフォン、ゲームなど	家族とのだんらん	友人などとのつきあい	軽い運動	市内でのスポーツ活動	市外でのスポーツ活動	市内での文化・芸術活動	市外での文化・芸術活動	ボランティア・社会参加活動	スポーツ観戦、観測など	趣味・娯楽	学習活動	ショッピング、飲食	行楽、旅行	何もしないでのんびり過ごす	その他	無回答
性別	全体	1,324	895	622	620	497	334	107	63	36	43	57	90	563	63	769	363	450	96	26
		100.0%	67.6%	47.0%	46.8%	37.5%	25.2%	8.1%	4.8%	2.7%	3.2%	4.3%	6.8%	42.5%	4.8%	58.1%	27.4%	34.0%	7.3%	2.0%
	男性	567	388	284	227	149	190	48	38	15	13	29	64	279	33	283	160	189	32	10
		100.0%	68.4%	50.1%	40.0%	26.3%	33.5%	8.5%	6.7%	2.6%	2.3%	5.1%	11.3%	49.2%	5.8%	49.9%	28.2%	33.3%	5.6%	1.8%
性別	女性	700	478	313	377	331	131	52	23	21	28	25	23	260	28	463	190	248	56	7
		100.0%	68.3%	44.7%	53.9%	47.3%	18.7%	7.4%	3.3%	3.0%	4.0%	3.6%	3.3%	37.1%	4.0%	66.1%	27.1%	35.4%	8.0%	1.0%
	無回答	57	29	25	16	17	13	7	2	0	2	3	3	24	2	23	13	13	8	9
		100.0%	50.9%	43.9%	28.1%	29.8%	22.8%	12.3%	3.5%	0.0%	3.5%	5.3%	5.3%	42.1%	3.5%	40.4%	22.8%	22.8%	14.0%	15.8%
年齢	18歳～19歳	42	24	35	17	23	3	2	1	0	1	0	1	18	11	20	6	17	0	0
		100.0%	57.1%	83.3%	40.5%	54.8%	7.1%	4.8%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%	42.9%	26.2%	47.6%	14.3%	40.5%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	70	103	58	64	14	7	3	0	3	0	6	59	15	74	19	60	5	2
		100.0%	55.1%	81.1%	45.7%	50.4%	11.0%	5.5%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	4.7%	46.5%	11.8%	58.3%	15.0%	47.2%	3.9%	1.6%
	30歳～39歳	166	94	121	114	59	23	5	6	1	4	1	12	53	5	118	48	50	13	0
		100.0%	56.6%	72.9%	68.7%	35.5%	13.9%	3.0%	3.6%	0.6%	2.4%	0.6%	7.2%	31.9%	3.0%	71.1%	28.9%	30.1%	7.8%	0.0%
	40歳～49歳	242	150	138	150	76	38	15	14	0	6	6	19	104	8	160	64	88	11	3
		100.0%	62.0%	57.0%	62.0%	31.4%	15.7%	6.2%	5.8%	0.0%	2.5%	2.5%	7.9%	43.0%	3.3%	66.1%	26.4%	36.4%	4.5%	1.2%
	50歳～59歳	187	129	89	82	58	34	8	8	2	5	8	11	90	7	127	48	67	22	3
		100.0%	69.0%	47.6%	43.9%	31.0%	18.2%	4.3%	4.3%	1.1%	2.7%	4.3%	5.9%	48.1%	3.7%	67.9%	25.7%	35.8%	11.8%	1.6%
	60歳～64歳	82	64	30	34	34	23	7	4	2	5	5	5	40	1	57	31	27	3	1
		100.0%	78.0%	36.6%	41.5%	41.5%	28.0%	8.5%	4.9%	2.4%	6.1%	6.1%	6.1%	48.8%	1.2%	69.5%	37.8%	32.9%	3.7%	1.2%
年齢	65歳～69歳	98	81	26	45	37	42	6	7	6	5	4	3	36	2	53	36	30	12	2
		100.0%	82.7%	26.5%	45.9%	37.8%	42.9%	6.1%	7.1%	6.1%	5.1%	4.1%	3.1%	36.7%	2.0%	54.1%	36.7%	30.6%	12.2%	2.0%
	70歳～74歳	113	92	20	41	44	44	19	5	3	5	12	14	51	6	47	34	36	16	3
		100.0%	81.4%	17.7%	36.3%	38.9%	38.9%	16.8%	4.4%	2.7%	4.4%	10.6%	12.4%	45.1%	5.3%	41.6%	30.1%	31.9%	14.2%	2.7%
	75歳以上	218	168	39	62	87	100	32	14	22	8	19	16	90	8	93	66	64	11	3
		100.0%	77.1%	17.9%	28.4%	39.9%	45.9%	14.7%	6.4%	10.1%	3.7%	8.7%	7.3%	41.3%	3.7%	42.7%	30.3%	29.4%	5.0%	1.4%
	無回答	49	23	21	17	15	13	6	1	0	1	2	3	22	0	20	11	11	3	9
		100.0%	46.9%	42.9%	34.7%	30.6%	26.5%	12.2%	2.0%	0.0%	2.0%	4.1%	6.1%	44.9%	0.0%	40.8%	22.4%	22.4%	6.1%	18.4%
地区	駅東側周辺	217	145	105	104	83	44	13	11	8	9	13	15	101	13	114	61	73	18	2
		100.0%	66.8%	48.4%	47.9%	38.2%	20.3%	6.0%	5.1%	3.7%	4.1%	6.0%	6.9%	46.5%	6.0%	52.5%	28.1%	33.6%	8.3%	0.9%
	駅西側周辺	266	187	132	124	96	72	28	10	10	11	15	21	117	19	152	86	81	11	3
		100.0%	70.3%	49.6%	46.6%	36.1%	27.1%	10.5%	3.8%	3.8%	4.1%	5.6%	7.9%	44.0%	7.1%	57.1%	32.3%	30.5%	4.1%	1.1%
	日出谷地区	283	190	139	145	109	69	20	11	11	9	10	18	116	10	165	75	98	19	5
		100.0%	67.1%	49.1%	51.2%	38.5%	24.4%	7.1%	3.9%	3.9%	3.2%	3.5%	6.4%	41.0%	3.5%	58.3%	26.5%	34.6%	6.7%	1.8%
	坂田地区	266	191	127	126	96	67	20	19	6	7	8	19	110	9	162	63	108	23	2
		100.0%	71.8%	47.7%	47.4%	36.1%	25.2%	7.5%	7.1%	2.3%	2.6%	3.0%	7.1%	41.4%	3.4%	60.9%	23.7%	40.6%	8.6%	0.8%
	加納地区	127	85	61	52	46	36	7	6	0	4	2	5	50	8	83	36	39	10	4
		100.0%	66.9%	48.0%	40.9%	36.2%	28.3%	5.5%	4.7%	0.0%	3.1%	1.6%	3.9%	39.4%	6.3%	65.4%	28.3%	30.7%	7.9%	3.1%
地区	川田谷地区	109	69	36	48	49	30	13	5	1	2	7	9	46	4	70	28	38	10	1
		100.0%	63.3%	33.0%	44.0%	45.0%	27.5%	11.9%	4.6%	0.9%	1.8%	6.4%	8.3%	42.2%	3.7%	64.2%	25.7%	34.9%	9.2%	0.9%
	無回答	56	28	22	21	18	16	6	1	0	1	2	3	23	0	23	14	13	5	9
		100.0%	50.0%	39.3%	37.5%	32.1%	28.6%	10.7%	1.8%	0.0%	1.8%	3.6%	5.4%	41.1%	0.0%	41.1%	25.0%	23.2%	8.9%	16.1%

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス【居住評価・居住意向】／自由時間の過ごし方①現在の過ごし方

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」が最も高くなっており、次いで「ショッピング、飲食」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」が最も高くなっており、次いで「ショッピング、飲食」となっている。

		調査数 (N)	テレビ、 ラジオ、 新聞、 雑誌	パソコン、 ゲームなど	家族との だんらん	友人など とのつきあい	軽い運動	市内での スポーツ活動	市外での スポーツ活動	市内での文化・ 芸術活動	市外での文化・ 芸術活動
居住評価	全体	1,324	895	622	620	497	334	107	63	36	43
		100.0%	67.6%	47.0%	46.8%	37.5%	25.2%	8.1%	4.8%	2.7%	3.2%
	『住みよい』	684	476	338	345	260	181	62	33	20	21
		100.0%	69.6%	49.4%	50.4%	38.0%	26.5%	9.1%	4.8%	2.9%	3.1%
	ふつう	310	195	146	142	115	68	23	16	8	10
		100.0%	62.9%	47.1%	45.8%	37.1%	21.9%	7.4%	5.2%	2.6%	3.2%
	『住みにくい』	196	132	96	81	69	46	11	8	3	3
居住意向		100.0%	67.3%	49.0%	41.3%	35.2%	23.5%	5.6%	4.1%	1.5%	1.5%
	わからない	13	9	7	2	5	1	0	0	0	1
		100.0%	69.2%	28.9%	41.3%	39.7%	31.4%	9.1%	5.0%	4.1%	6.6%
	無回答	121	83	35	50	48	38	11	6	5	8
		100.0%	68.6%	28.9%	41.3%	39.7%	31.4%	9.1%	5.0%	4.1%	6.6%
	『住み続けたい』	1,069	732	506	524	419	281	93	49	34	34
		100.0%	68.5%	47.3%	49.0%	39.2%	26.3%	8.7%	4.6%	3.2%	3.2%
居住意向	『転出したい』	228	158	115	95	76	48	12	14	2	9
		100.0%	69.3%	50.4%	41.7%	33.3%	21.1%	5.3%	6.1%	0.9%	3.9%
	無回答	27	5	1	1	2	5	2	0	0	0
		100.0%	18.5%	3.7%	3.7%	7.4%	18.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%

		ボランティア・ 社会参加活動	スポーツ観戦、 観測など	趣味・ 娯楽	学習活動	ショッピング、 飲食	行楽、 旅行	何もしないで のんびり過ごす	その他	無回答
居住評価	全体	57	90	563	63	769	363	450	96	26
		4.3%	6.8%	42.5%	4.8%	58.1%	27.4%	34.0%	7.3%	2.0%
	『住みよい』	27	39	297	42	396	185	225	34	13
		3.9%	5.7%	43.4%	6.1%	57.9%	27.0%	32.9%	5.0%	1.9%
	ふつう	12	18	133	12	178	80	120	37	5
		3.9%	5.8%	42.9%	3.9%	57.4%	25.8%	38.7%	11.9%	1.6%
	『住みにくい』	11	24	84	7	128	57	62	16	1
居住意向		5.6%	12.2%	42.9%	3.6%	65.3%	29.1%	31.6%	8.2%	0.5%
	わからない	0	1	7	0	3	3	9	3	0
		0.0%	7.7%	53.8%	0.0%	23.1%	23.1%	69.2%	23.1%	0.0%
	無回答	7	8	42	2	64	38	34	6	7
		5.8%	6.6%	34.7%	1.7%	52.9%	31.4%	28.1%	5.0%	5.8%
	『住み続けたい』	47	68	472	53	633	294	368	75	7
		4.4%	6.4%	44.2%	5.0%	59.2%	27.5%	34.4%	7.0%	0.7%
居住意向	『転出したい』	10	21	88	10	131	68	80	20	1
		4.4%	9.2%	38.6%	4.4%	57.5%	29.8%	35.1%	8.8%	0.4%
	無回答	0	1	3	0	5	1	2	1	18
		0.0%	3.7%	11.1%	0.0%	18.5%	3.7%	7.4%	3.7%	66.7%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

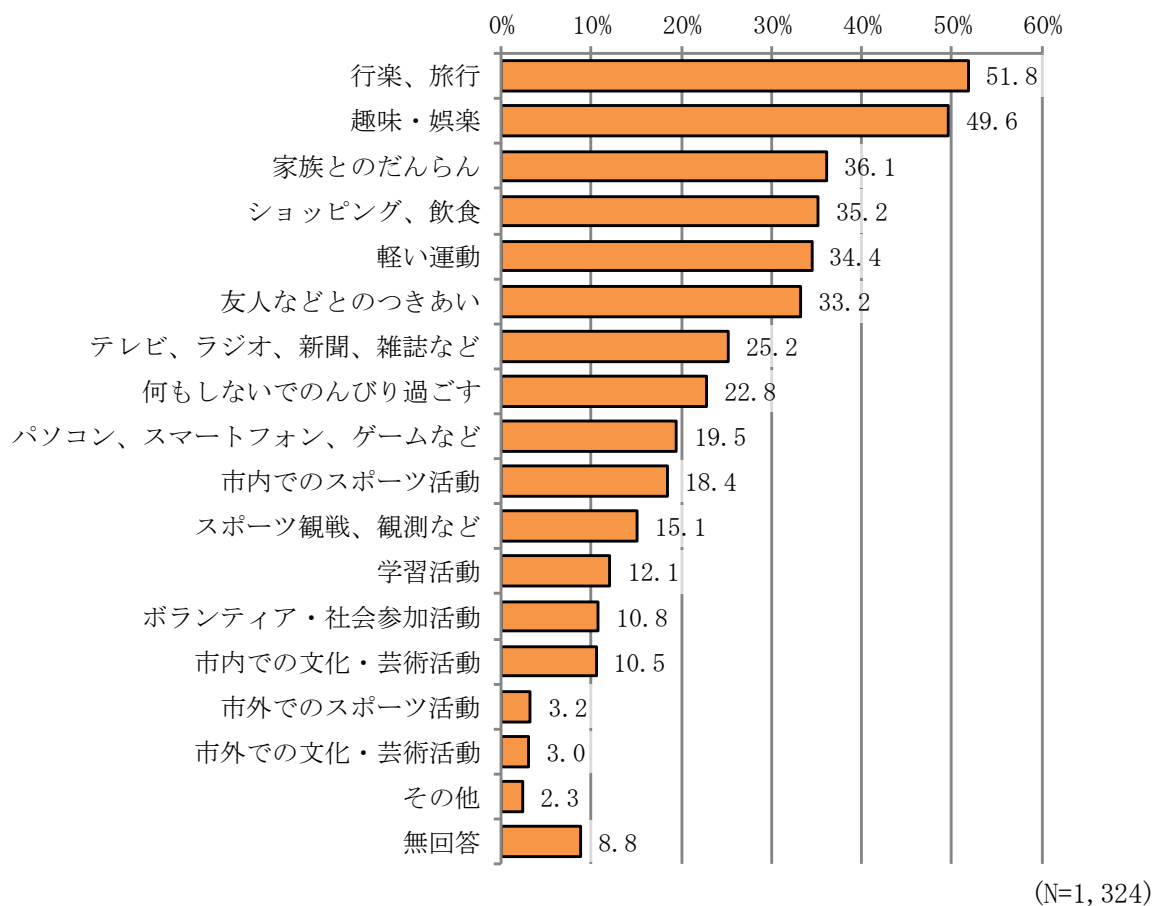
『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

②希望の過ごし方

全 体

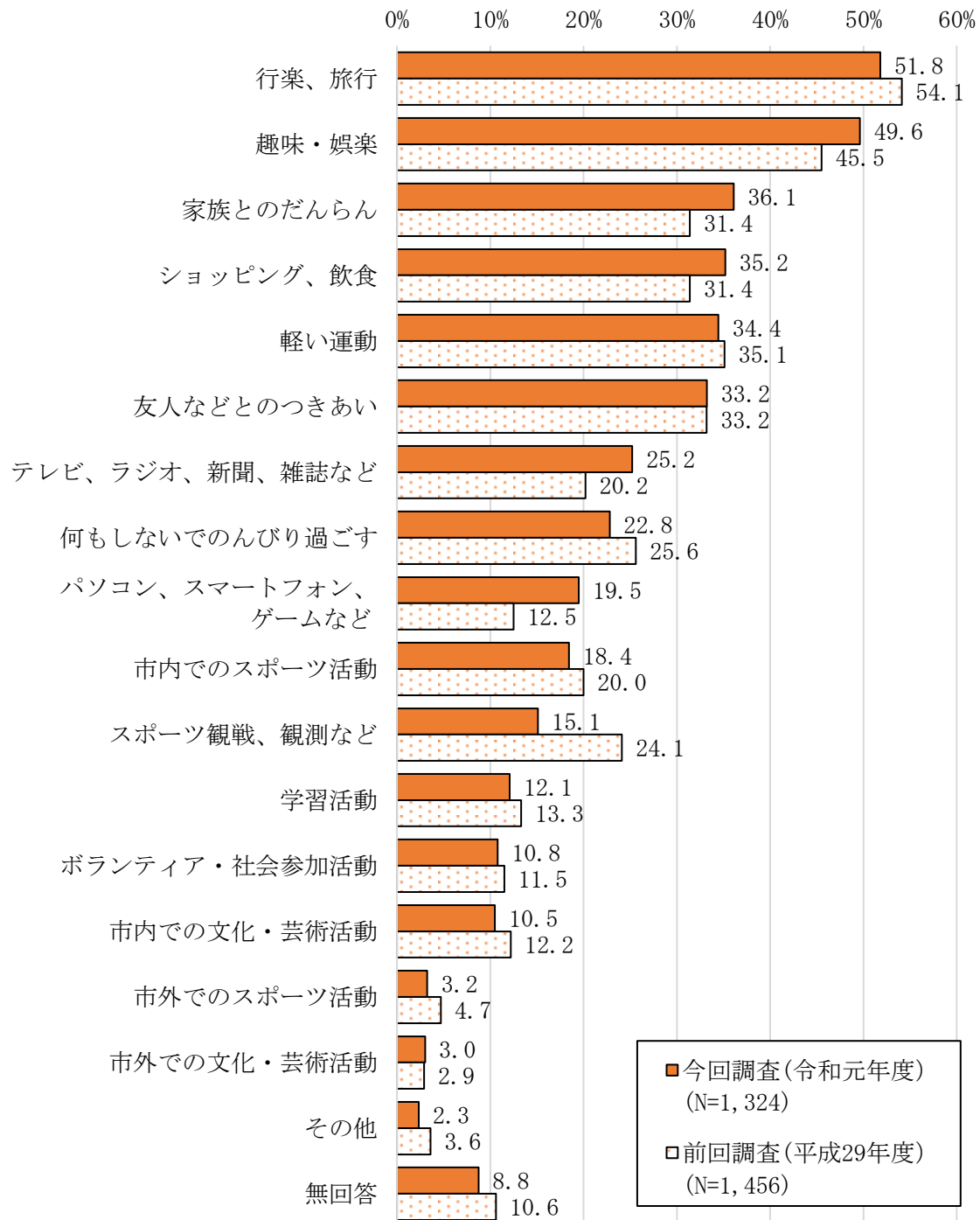
「行楽、旅行」が51.8%と最も高くなっており、次いで「趣味・娯楽」49.6%、「家族とのだんらん」36.1%、「ショッピング、飲食」35.2%、「軽い運動」34.4%、「友人などとのつきあい」33.2%となっている。



【経年変化】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「スポーツ観戦、観測など」が大きく減少しており、「何もしないでのんびり過ごす」、「行楽、旅行」、「市内での文化・芸術活動」なども減少している。

一方で「パソコン、スマートフォン、ゲームなど」、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など」は大きく増加しており、「家族とのだんらん」、「趣味・娯楽」、「ショッピング、飲食」なども増加している。



2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス／自由時間の過ごし方②希望の過ごし方

性別で見ると、男性は「趣味・娯楽」、女性は「行楽、旅行」が最も高くなっており、次いで男性は「行楽、旅行」、女性は「趣味・娯楽」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「パソコン、スマートフォン、ゲームなど」、20歳～29歳、30歳～39歳、50歳～59歳、60歳～64歳、75歳以上では「行楽、旅行」、その他の年齢では「趣味・娯楽」が最も高くなっている。

地区で見ると、駅西側周辺では「趣味・娯楽」、川田谷地区では「趣味・娯楽」及び「行楽、旅行」、その他の地区では「行楽、旅行」が最も高くなっている。

	調査数（N）	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など	パソコン、スマートフォン、ゲームなど	家族とのだんらん	友人などとのつきあい	軽い運動	市内でのスポーツ活動	市外でのスポーツ活動	市内での文化・芸術活動	市外での文化・芸術活動	ボランティア・社会参加活動	スポーツ観戦、観測など	趣味・娯楽	学習活動	ショッピング、飲食	行楽、旅行	何もしないでのんびり過ごす	その他	無回答
全体	1,324	334	258	478	440	456	244	43	139	40	143	200	657	160	466	686	302	31	116
	100.0%	25.2%	19.5%	36.1%	33.2%	34.4%	18.4%	3.2%	10.5%	3.0%	10.8%	15.1%	49.6%	12.1%	35.2%	51.8%	22.8%	2.3%	8.8%
性別	男性	567	162	134	189	131	215	115	28	45	18	68	290	71	161	282	105	13	45
		100.0%	28.6%	23.6%	33.3%	23.1%	37.9%	20.3%	4.9%	7.9%	3.2%	12.0%	51.1%	12.5%	28.4%	49.7%	18.5%	2.3%	7.9%
	女性	700	162	113	271	296	230	119	14	87	20	70	345	78	296	385	185	16	56
		100.0%	23.1%	16.1%	38.7%	42.3%	32.9%	17.0%	2.0%	12.4%	2.9%	10.0%	49.3%	11.1%	42.3%	55.0%	26.4%	2.3%	8.0%
性別	無回答	57	10	11	18	13	11	10	1	7	2	5	22	11	9	19	12	2	15
		100.0%	17.5%	19.3%	31.6%	22.8%	19.3%	17.5%	1.8%	12.3%	3.5%	8.8%	38.8%	19.3%	15.8%	33.3%	21.1%	3.5%	26.3%
年齢	18歳～19歳	42	20	23	18	20	7	8	0	0	1	4	20	9	19	14	16	0	0
		100.0%	47.6%	54.8%	42.9%	47.6%	16.7%	19.0%	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	47.6%	21.4%	45.2%	33.3%	38.1%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	30	47	46	56	43	19	4	6	1	7	61	19	60	62	36	2	7
		100.0%	23.6%	37.0%	36.2%	44.1%	33.9%	15.0%	3.1%	4.7%	0.8%	5.5%	48.0%	15.0%	47.2%	48.8%	28.3%	1.6%	5.5%
	30歳～39歳	166	33	38	90	66	56	29	6	13	3	9	89	19	78	98	41	4	4
		100.0%	19.9%	22.9%	54.2%	39.8%	33.7%	17.5%	3.6%	7.8%	1.8%	5.4%	53.6%	11.4%	47.0%	59.0%	24.7%	2.4%	2.4%
	40歳～49歳	242	57	49	124	71	86	57	9	29	4	19	131	21	97	125	66	7	6
		100.0%	23.6%	20.2%	51.2%	29.3%	35.5%	23.6%	3.7%	12.0%	1.7%	7.9%	54.1%	8.7%	40.1%	51.7%	27.3%	2.9%	2.5%
	50歳～59歳	187	41	27	64	59	66	33	11	21	8	23	105	26	73	115	52	3	8
		100.0%	21.9%	14.4%	34.2%	31.6%	35.3%	17.6%	5.9%	11.2%	4.3%	12.3%	56.1%	13.9%	39.0%	61.5%	27.8%	1.6%	4.3%
	60歳～64歳	82	25	9	23	28	23	22	3	16	4	15	39	11	31	59	14	0	2
		100.0%	30.5%	11.0%	28.0%	34.1%	28.0%	26.8%	3.7%	19.5%	4.9%	18.3%	47.6%	13.4%	37.8%	72.0%	17.1%	0.0%	2.4%
	65歳～69歳	98	28	13	25	35	39	27	2	18	8	16	52	12	21	48	15	2	6
		100.0%	28.6%	13.3%	25.5%	35.7%	39.8%	27.6%	2.0%	18.4%	8.2%	16.3%	53.1%	12.2%	21.4%	49.0%	15.3%	2.0%	6.1%
	70歳～74歳	113	29	14	24	35	49	23	1	14	2	16	62	11	29	61	23	6	13
		100.0%	25.7%	12.4%	21.2%	31.0%	43.4%	20.4%	0.9%	12.4%	1.8%	14.2%	54.9%	9.7%	25.7%	54.0%	20.4%	5.3%	11.5%
	75歳以上	218	63	27	47	59	78	21	7	19	8	31	78	24	48	86	27	6	56
		100.0%	28.9%	12.4%	21.6%	27.1%	35.8%	9.6%	3.2%	8.7%	3.7%	14.2%	35.8%	11.0%	22.0%	39.4%	12.4%	2.8%	25.7%
地区	無回答	49	8	11	17	11	9	5	0	3	1	3	20	8	10	18	12	1	14
		100.0%	16.3%	22.4%	34.7%	22.4%	18.4%	10.2%	0.0%	6.1%	2.0%	6.1%	40.8%	16.3%	20.4%	36.7%	24.5%	2.0%	28.6%
	駅東側周辺	217	51	39	80	78	64	38	10	30	11	20	115	21	68	120	50	5	18
		100.0%	23.5%	18.0%	36.9%	35.9%	29.5%	17.5%	4.6%	13.8%	5.1%	9.2%	53.0%	9.7%	31.3%	55.3%	23.0%	2.3%	8.3%
	駅西側周辺	266	68	49	85	80	103	70	9	35	7	37	139	49	95	138	51	4	24
		100.0%	25.6%	18.4%	32.0%	30.1%	38.7%	26.3%	3.4%	13.2%	2.6%	13.9%	52.3%	18.4%	35.7%	51.9%	19.2%	1.5%	9.0%
	日出谷地区	283	69	57	101	92	91	47	9	24	11	31	129	32	93	141	71	5	26
		100.0%	24.4%	20.1%	35.7%	32.5%	32.2%	16.6%	3.2%	8.5%	3.9%	11.0%	45.6%	11.3%	32.9%	49.8%	25.1%	1.8%	9.2%
	坂田地区	266	70	53	97	93	98	47	10	25	4	30	141	27	102	148	66	6	16
		100.0%	26.3%	19.9%	36.5%	35.0%	36.8%	17.7%	3.8%	9.8%	1.5%	11.3%	53.0%	10.2%	38.3%	55.6%	24.8%	2.3%	6.0%
	加納地区	127	39	33	49	36	51	15	2	14	2	7	55	11	52	61	26	4	10
		100.0%	30.7%	26.0%	38.6%	28.3%	40.2%	11.8%	1.6%	11.0%	1.6%	5.5%	43.3%	8.7%	40.9%	48.0%	20.5%	3.1%	7.9%
	川田谷地区	109	28	16	47	48	36	22	3	7	4	14	56	12	45	56	26	4	6
		100.0%	25.7%	14.7%	43.1%	44.0%	33.0%	20.2%	2.8%	6.4%	3.7%	12.8%	51.4%	11.0%	41.3%	51.4%	23.9%	3.7%	5.5%
	無回答	56	9	11	19	13	13	5	0	3	1	4	22	8	11	22	12	3	16
		100.0%	16.1%	19.6%	33.9%	23.2%	23.2%	8.9%	0.0%	5.4%	1.8%	7.1%	39.3%	14.3%	19.6%	39.3%	21.4%	5.4%	28.6%

2. 桶川市の住みやすさや生活環境、定住意向について

クロス【居住評価・居留意向】／自由時間の過ごし方②希望の過ごし方

居住評価で見ると、『住みよい』では「趣味・娯楽」が最も高く、「ふつう」、『住みにくい』では「行楽、旅行」が最も高くなっている。次いで『住みよい』では「行楽、旅行」、「ふつう」、『住みにくい』では「趣味・娯楽」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「行楽、旅行」が最も高く、次いで「趣味・娯楽」となっている。

		調査数（N）	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など	パソコン、スマートフォンなど	家族とのだんらん	友人などのつきあい	軽い運動	市内でのスポーツ活動	市外でのスポーツ活動	市内での文化・芸術活動	市外での文化・芸術活動
全体		1,324 100.0%	334 25.2%	258 19.5%	478 36.1%	440 33.2%	456 34.4%	244 18.4%	43 3.2%	139 10.5%	40 3.0%
居住評価	『住みよい』	684 100.0%	181 26.5%	145 21.2%	257 37.6%	229 33.5%	256 37.4%	130 19.0%	20 2.9%	68 9.9%	17 2.5%
		310 100.0%	87 28.1%	66 21.3%	120 38.7%	106 34.2%	105 33.9%	41 13.2%	16 5.2%	25 8.1%	11 3.5%
	『住みにくい』	196 100.0%	45 23.0%	31 15.8%	64 32.7%	67 34.2%	54 27.6%	43 21.9%	5 2.6%	29 14.8%	8 4.1%
		13 100.0%	4 30.8%	3 23.1%	4 30.8%	5 38.5%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%
	わからない	121 100.0%	17 14.0%	13 10.7%	33 27.3%	33 27.3%	37 30.6%	30 24.8%	2 1.7%	15 12.4%	4 3.3%
		1,069 100.0%	274 25.6%	211 19.7%	399 37.3%	365 34.1%	378 35.4%	196 18.3%	33 3.1%	111 10.4%	28 2.6%
	居住意向	『住み続けたい』	228 100.0%	57 25.0%	47 20.6%	77 33.8%	74 32.5%	77 33.8%	47 20.6%	10 4.4%	27 11.8%
27 100.0%			3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%
『転出したい』		228 100.0%	57 25.0%	47 20.6%	77 33.8%	74 32.5%	77 33.8%	47 20.6%	10 4.4%	27 11.8%	12 5.3%
		27 100.0%	3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%
無回答	121 100.0%	17 14.0%	13 10.7%	33 27.3%	33 27.3%	37 30.6%	30 24.8%	2 1.7%	15 12.4%	4 3.3%	
	1,069 100.0%	274 25.6%	211 19.7%	399 37.3%	365 34.1%	378 35.4%	196 18.3%	33 3.1%	111 10.4%	28 2.6%	
『転出したい』		228 100.0%	57 25.0%	47 20.6%	77 33.8%	74 32.5%	77 33.8%	47 20.6%	10 4.4%	27 11.8%	12 5.3%
無回答		27 100.0%	3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%

		ボランティア・社会参加活動	スポーツ観戦、観測など	趣味・娯楽	学習活動	ショッピング、飲食	行楽、旅行	何もしないでのんびり過ごす	その他	無回答
全体		143 10.8%	200 15.1%	657 49.6%	160 12.1%	466 35.2%	686 51.8%	302 22.8%	31 2.3%	116 8.8%
居住評価	『住みよい』	84 12.3%	115 16.8%	354 51.8%	90 13.2%	243 35.5%	348 50.9%	152 22.2%	10 1.5%	50 7.3%
		18 5.8%	29 9.4%	153 49.4%	35 11.3%	117 37.7%	164 52.9%	80 25.8%	10 3.2%	25 8.1%
	『住みにくい』	27 13.8%	39 19.9%	91 46.4%	26 13.3%	66 33.7%	119 60.7%	46 23.5%	7 3.6%	14 7.1%
		2 15.4%	0 0.0%	7 53.8%	2 15.4%	1 7.7%	5 38.5%	6 46.2%	1 7.7%	1 7.7%
	わからない	12 9.9%	17 14.0%	52 43.0%	7 5.8%	39 32.2%	50 41.3%	18 14.9%	3 2.5%	26 21.5%
		121 11.3%	155 14.5%	536 50.1%	134 12.5%	374 35.0%	548 51.3%	241 22.5%	22 2.1%	85 8.0%
	居住意向	『住み続けたい』	22 9.6%	45 19.7%	118 51.8%	25 11.0%	90 39.5%	138 60.5%	61 26.8%	9 3.9%
0 0.0%			0 0.0%	3 11.1%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 85.2%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居注意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

3. 桶川市のまちづくりについて

3. 桶川市のまちづくりについて

(1) まちづくり全般

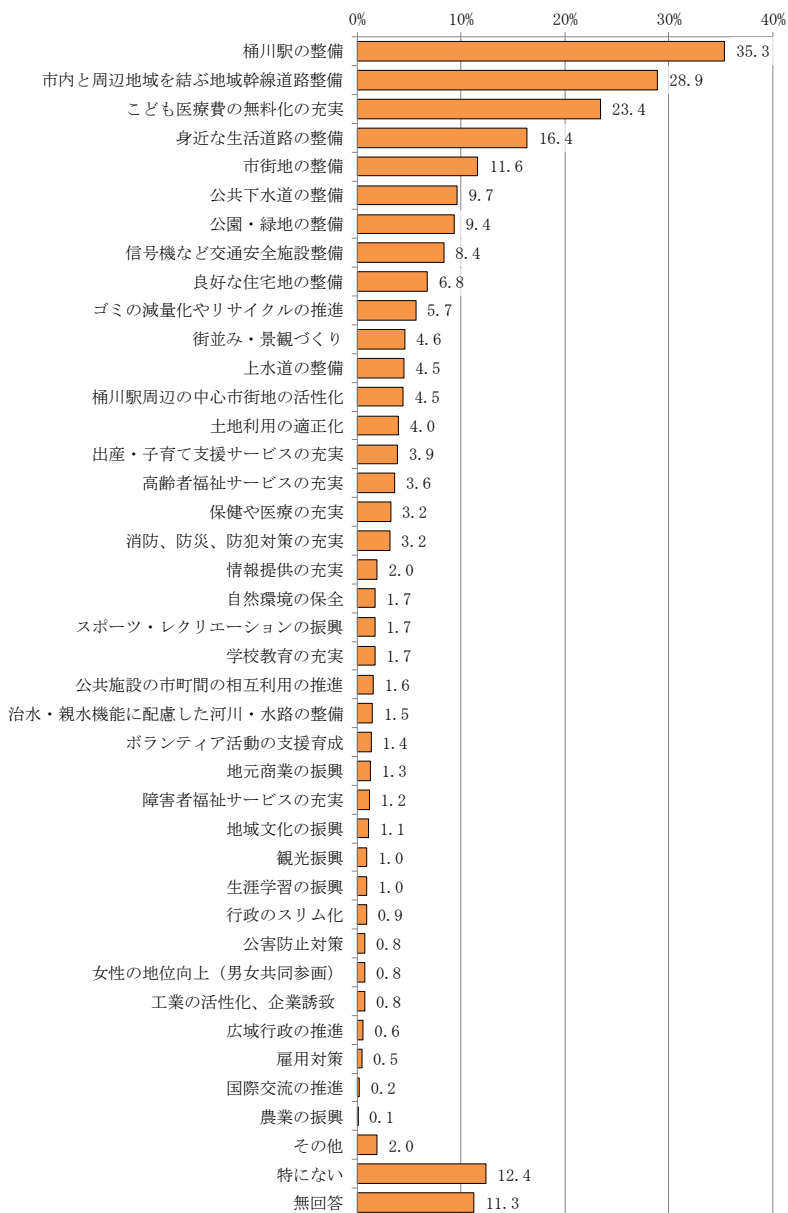
問6 次の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つ選んで、その番号を「回答欄ア」にご記入ください。

また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において、特に力を入れるべき項目を、次の中から3つ選び、その番号を「回答欄イ」にご記入ください。

① よくなったもの

全 体

「桶川駅の整備」が35.3%で最も高くなっており、次いで「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」28.9%、「こども医療費の無料化の充実」23.4%、「身近な生活道路の整備」16.4%、「市街地の整備」11.6%となっている。



(N=1,324)

クロス／まちづくり全般①よかったもの

性別で見ると、男性・女性ともに「桶川駅の整備」が最も高くなっており、次いで男性では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、女性では「こども医療費の無料化の充実」となっている。

年齢で見ると、40歳～49歳では「こども医療費の無料化の充実」、50歳～59歳、60歳～64歳では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、その他の年齢では「桶川駅の整備」が、それぞれ最も高くなっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺、坂田地区で「桶川駅の整備」、日出谷地区、加納地区、川田谷地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、川田谷地区では「こども医療費の無料化の充実」、駅西側周辺、坂田地区では「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」、日出谷地区では「身近な生活道路の整備」、加納地区では「桶川駅の整備」となっている。

	調査数（N）	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実
全体	1,324	53	154	468	383	217	60	128	20	23	90	61	111	10	42	124	75	43	48	16	52
性別	男性	567	31	76	202	173	92	23	66	13	47	33	59	7	23	60	29	17	25	9	13
	女性	700	20	74	250	203	121	34	55	6	39	28	52	3	19	58	43	24	21	6	36
	無回答	57	2	4	16	7	4	3	7	1	2	4	0	0	0	6	3	2	2	1	3
		100.0%	3.5%	7.0%	28.1%	12.3%	7.0%	5.3%	12.3%	1.8%	3.5%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	3.5%	3.5%	1.8%	5.3%
年齢	18歳～19歳	42	2	3	30	6	6	1	0	0	1	3	6	5	1	2	4	1	0	1	2
		100.0%	4.8%	7.1%	71.4%	14.3%	14.3%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	7.1%	14.3%	11.9%	2.4%	4.8%	9.5%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%
	20歳～29歳	127	6	20	68	27	27	1	3	0	2	8	10	12	2	7	5	2	3	2	3
		100.0%	4.7%	15.7%	53.5%	21.3%	21.3%	0.8%	2.4%	0.0%	1.6%	6.3%	7.9%	9.4%	0.8%	1.6%	5.5%	3.9%	1.6%	2.4%	1.6%
	30歳～39歳	166	8	21	88	45	26	1	1	3	0	9	7	18	1	20	6	1	2	0	11
		100.0%	4.8%	12.7%	41.0%	27.1%	15.7%	0.6%	0.6%	1.8%	0.0%	5.4%	4.2%	10.8%	0.6%	1.2%	12.0%	3.6%	0.6%	1.2%	0.0%
	40歳～49歳	242	12	21	74	83	38	4	13	1	2	14	11	25	3	5	19	6	6	2	16
		100.0%	5.0%	8.7%	30.6%	34.3%	15.7%	1.7%	5.4%	0.4%	0.8%	5.8%	4.5%	10.3%	1.2%	2.1%	7.9%	2.5%	2.5%	0.8%	1.2%
	50歳～59歳	187	6	35	61	82	28	4	15	4	7	21	7	10	2	6	14	11	3	7	10
		100.0%	3.2%	18.7%	32.6%	43.9%	15.0%	2.1%	8.0%	2.1%	3.7%	11.2%	3.7%	5.3%	1.1%	3.2%	7.5%	5.9%	1.6%	3.7%	1.6%
	60歳～64歳	82	6	7	28	31	15	5	4	2	2	7	6	8	0	2	9	6	5	1	1
		100.0%	7.3%	8.5%	34.1%	37.8%	18.3%	6.1%	4.9%	2.4%	2.4%	8.5%	7.3%	9.8%	0.0%	2.4%	11.0%	7.3%	6.1%	6.1%	1.2%
	65歳～69歳	98	5	13	31	30	22	6	19	2	2	6	3	7	0	5	13	10	6	1	4
		100.0%	5.1%	13.3%	31.6%	30.6%	22.4%	6.1%	19.4%	2.0%	2.0%	6.1%	3.1%	7.1%	0.0%	5.1%	13.3%	10.2%	6.1%	1.0%	4.1%
	70歳～74歳	113	1	11	32	25	15	11	17	4	1	7	8	12	1	6	13	11	9	1	1
		100.0%	0.9%	9.7%	28.3%	22.1%	13.3%	9.7%	15.0%	3.5%	0.9%	6.2%	7.1%	10.6%	0.9%	5.3%	11.5%	9.7%	8.0%	0.9%	0.9%
	75歳以上	218	6	19	60	47	38	26	50	3	4	11	3	14	1	12	20	17	9	17	4
		100.0%	2.8%	8.7%	27.5%	21.6%	17.4%	11.9%	22.9%	1.4%	1.8%	5.0%	1.4%	6.4%	0.5%	5.5%	9.2%	7.8%	4.1%	7.8%	0.5%
	無回答	49	1	4	16	7	2	1	6	1	2	4	0	0	0	5	2	2	1	1	3
		100.0%	2.0%	8.2%	32.7%	14.3%	4.1%	2.0%	12.2%	2.0%	4.1%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	10.2%	4.1%	4.1%	2.0%	2.0%	6.1%
地区	駅東側周辺	217	8	15	112	49	17	10	23	1	2	11	4	11	1	12	11	14	10	2	8
		100.0%	3.7%	6.9%	51.6%	22.6%	7.8%	4.6%	10.6%	0.5%	0.9%	5.1%	1.8%	5.1%	0.5%	5.5%	5.1%	6.5%	4.6%	0.9%	3.7%
	駅西側周辺	266	9	33	105	78	27	12	27	4	4	15	17	17	2	8	20	17	12	7	8
		100.0%	3.4%	12.4%	39.5%	29.3%	10.2%	4.5%	10.2%	1.5%	1.5%	5.6%	6.4%	6.4%	0.8%	3.0%	7.5%	6.4%	4.5%	2.6%	0.8%
	日出谷地区	283	11	44	68	99	81	21	38	6	8	23	21	31	3	6	20	11	4	10	12
		100.0%	3.9%	15.5%	24.0%	35.0%	28.6%	7.4%	13.4%	2.1%	2.8%	8.1%	7.4%	11.0%	1.1%	2.1%	7.1%	3.9%	1.4%	3.5%	4.2%
	坂田地区	266	17	36	97	67	52	11	25	0	2	23	12	32	2	6	45	19	7	8	10
		100.0%	6.4%	13.5%	36.5%	25.2%	19.5%	4.1%	9.4%	0.0%	0.8%	8.6%	4.5%	12.0%	0.8%	2.3%	16.9%	7.1%	2.6%	3.0%	3.8%
	加納地区	127	4	12	41	43	21	3	6	4	1	7	4	12	1	6	15	7	2	7	4
		100.0%	3.1%	9.4%	32.3%	33.9%	16.5%	2.4%	4.7%	3.1%	0.8%	5.5%	3.1%	9.4%	0.8%	4.7%	11.8%	5.5%	1.6%	5.5%	3.1%
	川田谷地区	109	3	10	27	39	17	2	3	4	4	6	2	8	1	4	8	4	6	5	7
		100.0%	2.8%	9.2%	24.8%	35.8%	15.6%	1.8%	2.8%	3.7%	3.7%	5.5%	1.8%	7.3%	0.9%	3.7%	7.3%	3.7%	5.5%	4.6%	6.4%
	無回答	56	1	4	18	8	2	1	6	1	2	5	1	0	0	0	5	3	2	1	3
		100.0%	1.8%	7.1%	32.1%	14.3%	3.6%	1.8%	10.7%	1.8%	3.6%	8.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%	5.4%	3.6%	1.8%	5.4%

3. 桶川市のまちづくりについて

		子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特にない	無回答
性別	全体	310 23.4%	10 0.8%	26 2.0%	3 0.2%	18 1.4%	1 0.1%	10 0.8%	17 1.3%	6 0.5%	59 4.5%	13 1.0%	23 1.7%	23 1.7%	13 1.0%	15 1.1%	8 0.6%	21 1.6%	12 0.9%	26 2.0%	164 12.4%	149 11.3%
	男性	91 16.0%	7 1.2%	14 2.5%	2 0.4%	6 1.1%	0 0.0%	5 0.9%	8 1.4%	3 0.5%	25 4.4%	9 1.6%	13 2.3%	9 1.6%	7 1.2%	7 1.2%	5 0.9%	9 1.6%	6 1.1%	7 1.2%	72 12.7%	60 10.6%
	女性	212 30.3%	3 0.4%	12 1.7%	1 0.1%	11 1.6%	1 0.1%	5 0.7%	9 1.3%	3 0.4%	31 4.4%	4 0.6%	10 1.4%	14 2.0%	6 0.9%	7 1.0%	3 0.4%	11 1.6%	6 0.9%	18 2.6%	84 12.0%	72 10.3%
	無回答	7 12.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	8 14.0%	17 29.8%
年齢	18歳～19歳	14 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	2 4.8%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	4 9.5%	7 16.7%	1 2.4%
	20歳～29歳	16 12.6%	0 0.0%	6 4.7%	2 1.6%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	6 4.7%	0 0.0%	13 10.2%	0 0.0%	3 2.4%	4 3.1%	1 0.8%	3 2.4%	2 1.6%	0 0.0%	2 1.6%	4 3.1%	23 18.1%	7 5.5%
	30歳～39歳	60 36.1%	1 0.6%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.2%	3 1.8%	0 0.0%	6 3.6%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	4 2.4%	1 0.6%	1 0.6%	39 23.5%	7 4.2%
	40歳～49歳	85 35.1%	4 2.1%	5 2.1%	1 0.4%	3 1.2%	0 0.0%	2 0.8%	3 1.2%	0 0.0%	14 5.8%	5 2.1%	7 2.9%	11 4.5%	1 0.4%	4 1.7%	1 0.4%	3 1.2%	5 2.1%	6 2.5%	32 13.2%	17 7.0%
	50歳～59歳	53 28.3%	0 0.0%	4 2.1%	0 0.0%	2 1.1%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.5%	1 0.5%	5 2.7%	3 1.6%	3 1.6%	2 1.1%	5 2.7%	3 1.6%	2 1.1%	2 1.1%	1 0.5%	4 2.1%	24 12.8%	8 4.3%
	60歳～64歳	20 24.4%	2 2.4%	4 4.9%	0 0.0%	3 3.7%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	8 9.8%	9 11.0%
	65歳～69歳	20 20.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	6 6.1%	2 2.0%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	2 2.0%	1 1.0%	3 3.1%	2 2.0%	0 0.0%	4 4.1%	12 12.2%
	70歳～74歳	19 16.8%	1 0.9%	3 2.7%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	2 1.8%	5 4.4%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 8.8%	18 15.9%
	75歳以上	16 7.3%	2 0.9%	2 0.9%	0 0.0%	5 2.3%	1 0.5%	1 0.5%	3 1.4%	1 0.5%	8 3.7%	1 0.5%	3 1.4%	2 0.9%	3 1.4%	2 0.9%	0 0.0%	5 2.3%	1 0.5%	4 1.8%	9 4.1%	56 25.7%
	無回答	7 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	8 16.3%	14 28.6%
地区	駅東側周辺	53 24.4%	1 0.5%	2 0.9%	1 0.5%	6 2.8%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	9 4.1%	3 1.4%	5 2.3%	3 1.4%	2 0.9%	3 1.4%	1 0.5%	4 1.8%	3 1.4%	5 2.3%	33 15.2%	28 12.9%
	駅西側周辺	61 22.9%	1 0.4%	8 3.0%	0 0.0%	5 1.9%	1 0.4%	0 0.0%	5 1.9%	0 0.0%	19 7.1%	4 1.5%	7 2.6%	4 1.5%	3 1.1%	5 1.9%	3 1.1%	6 2.3%	4 1.5%	8 3.0%	27 10.2%	30 11.3%
	日出谷地区	64 22.6%	2 0.7%	4 1.4%	0 0.0%	5 1.8%	0 0.0%	3 1.1%	5 1.8%	2 0.7%	10 3.5%	1 0.4%	6 2.1%	3 1.1%	2 0.7%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	3 1.1%	34 12.0%	22 7.8%
	坂田地区	58 21.8%	3 1.1%	7 2.6%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	4 1.5%	5 1.9%	1 0.4%	8 3.0%	2 0.8%	3 1.1%	8 3.0%	2 0.8%	3 1.1%	2 0.8%	5 1.9%	3 1.1%	6 2.3%	31 11.7%	25 9.4%
	加納地区	36 28.3%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	5 3.9%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	2 1.6%	1 0.8%	4 3.1%	0 0.0%	1 0.8%	17 13.4%	12 9.4%
	川田谷地区	30 27.5%	3 2.8%	3 2.8%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	6 5.5%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.8%	3 2.8%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	0 0.0%	2 1.8%	14 12.8%	14 12.8%
	無回答	8 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	8 14.3%	18 32.1%

3. 桶川市のまちづくりについて

クロス【居住評価・居住意向】／まちづくり全般①よくなったもの

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「桶川駅の整備」が最も高くなっており、次いで「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「桶川駅の整備」が最も高くなっており、次いで「市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備」となっている。

		調査数 （N）	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内・周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実
全体		1,324	53	154	468	383	217	60	128	20	23	90	61	111	10	42	124	75	43	48	16	52
居住評価	『住みよい』	684	27	91	269	229	120	27	71	10	11	60	39	51	7	26	75	44	23	29	10	31
	ふつう	310	17	34	101	74	51	16	30	3	7	16	9	26	0	9	24	5	12	6	2	8
	『住みにくい』	196	7	14	59	57	26	7	21	4	4	5	7	22	1	3	9	17	2	8	4	8
	わからない	13	0	0	4	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	1	1	0	0
	無回答	121	2	15	35	21	19	9	6	3	1	9	6	9	2	4	14	9	5	4	0	5
	『住み続けたい』	1,069	44	132	390	318	185	53	107	18	20	80	50	89	8	37	108	59	37	42	13	44
居住意向	『転出したい』	228	8	21	73	61	32	6	21	2	3	8	11	21	2	4	14	16	6	5	1	8
	無回答	27	1	1	5	4	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	2	0	0	1	2	0
		100.0%	3.7%	3.7%	18.5%	14.8%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	7.4%	0.0%	0.0%	3.7%	7.4%	0.0%

		子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特にない	無回答
居住評価	全体	310 23.4%	10 0.8%	26 2.0%	3 0.2%	18 1.4%	1 0.1%	10 0.8%	17 1.3%	6 0.5%	59 4.5%	13 1.0%	23 1.7%	23 1.7%	13 1.0%	15 1.1%	8 0.6%	21 1.6%	12 0.9%	26 2.0%	164 12.4%	149 11.3%
	『住みよい』	171 25.0%	3 0.4%	16 2.3%	1 0.1%	13 1.9%	0 0.0%	4 0.6%	11 1.6%	2 0.3%	37 5.4%	6 0.9%	13 1.9%	16 2.3%	10 1.5%	9 1.3%	5 0.7%	15 2.2%	4 0.6%	13 1.9%	66 9.6%	62 9.1%
	ふつう	60 19.4%	2 0.6%	2 0.6%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	3 1.0%	4 1.3%	3 1.0%	15 4.8%	4 1.3%	4 1.3%	1 0.3%	0 0.0%	3 1.0%	1 0.3%	3 2.2%	2 1.0%	8 2.6%	54 17.4%	38 12.3%
	『住みにくい』	50 25.5%	3 1.5%	4 2.0%	0 0.0%	4 2.0%	0 0.0%	4 1.5%	1 0.5%	1 0.0%	5 2.6%	2 1.0%	2 2.0%	3 1.5%	0 0.0%	0 1.0%	2 0.5%	1 1.0%	5 2.6%	2 1.0%	33 16.8%	20 10.2%
	わからない	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	3 23.1%
	無回答	25 20.7%	1 0.8%	4 3.3%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.8%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.7%	1 0.8%	2 1.7%	3 2.5%	3 2.5%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.7%	0 0.0%	3 7.4%	9 21.5%
居住意向	『住み続けたい』	259 24.2%	8 0.7%	23 2.2%	3 0.3%	14 1.3%	1 0.1%	7 0.7%	15 1.4%	6 0.6%	51 4.8%	12 1.1%	19 1.8%	20 1.9%	13 1.2%	9 0.8%	7 0.7%	19 1.8%	7 0.7%	21 2.0%	123 11.5%	111 10.4%
	『転出したい』	49 21.5%	2 0.9%	3 1.3%	0 0.0%	4 1.8%	0 0.0%	3 1.3%	2 0.9%	2 0.0%	8 3.5%	1 0.4%	3 1.3%	2 0.9%	0 0.0%	5 2.2%	1 0.4%	2 0.9%	5 2.2%	5 17.1%	39 10.5%	
	無回答	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	14 51.9%

＊居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

＊居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

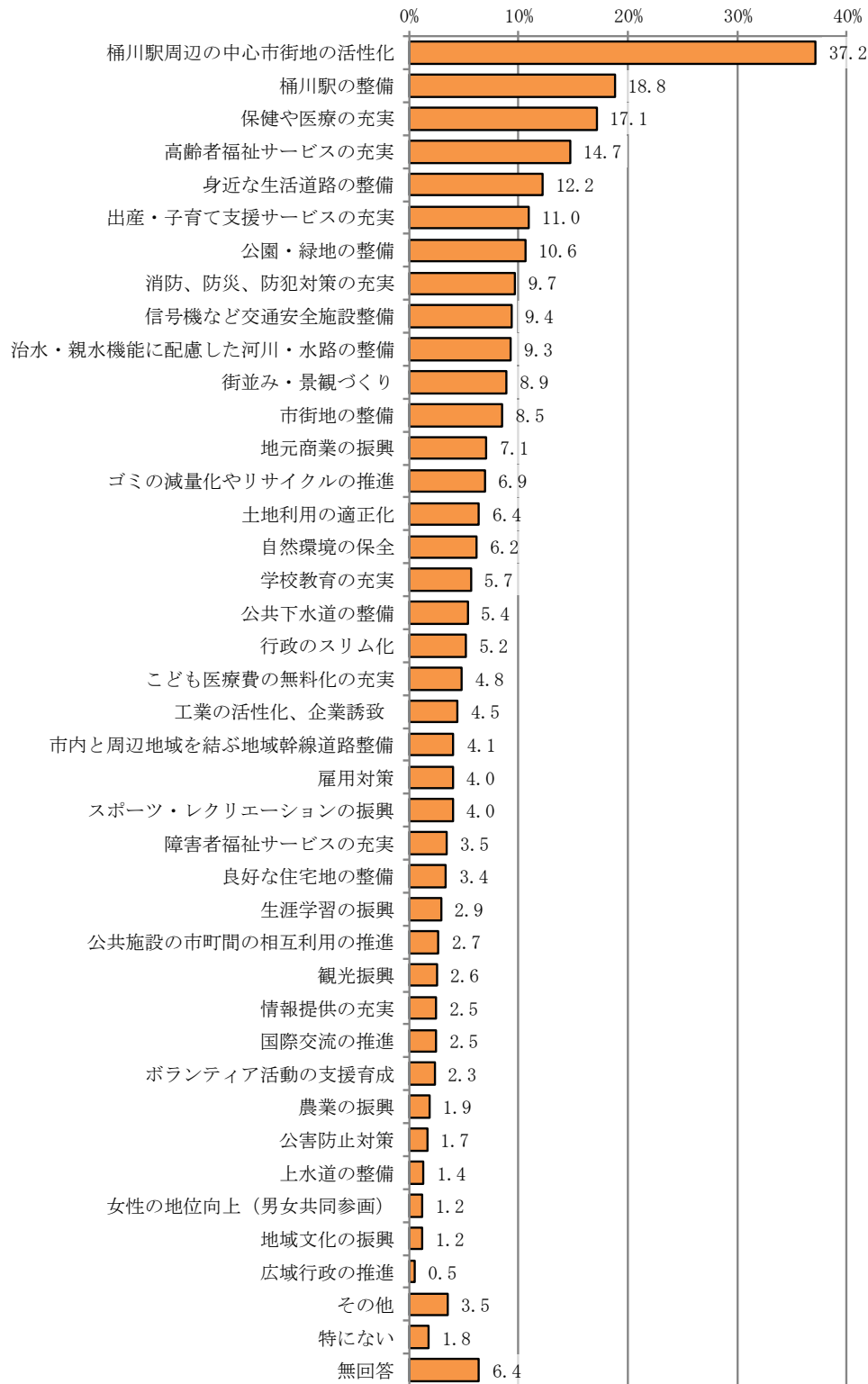
『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

3. 桶川市のまちづくりについて

②力をいれてほしいもの

全 体

「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が37.2%と最も高くなっており、次いで「桶川駅の整備」18.8%、「保健や医療の充実」17.1%、「高齢者福祉サービスの充実」14.7%、「身近な生活道路の整備」12.2%となっている。



(N=1, 324)

【経年変化／まちづくり全般】

ここ数年でよくなったものについて、前回調査（平成29年度）よりも順位が上がっているものは「桶川駅の整備」、「良好な住宅地の整備」となっており、「桶川駅の整備」は前回の6位から1位に順位が上がっている。

一方、力を入れてほしいものについて、前回調査（平成29年度）より順位が上がっているものは「信号機など交通安全施設整備」、「治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備」となっており、「治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備」は前回から順位を上げ、上位10項目に入った。1位から8位までの項目は、前回調査（平成29年度）とすべて同じ項目となっている。

よくなったもののランキング

	前回調査 (平成29年度)		今回調査 (令和元年度)		H29との 順位比較
1位	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	32.5%	桶川駅の整備	35.3%	↑
2位	身近な生活道路の整備	17.0%	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	28.9%	↓
3位	こども医療費の無料化の充実	15.8%	こども医療費の無料化の充実	23.4%	→
4位	市街地の整備	13.0%	身近な生活道路の整備	16.4%	↓
5位	公共下水道の整備	12.4%	市街地の整備	11.6%	↓
6位	桶川駅の整備	10.3%	公共下水道の整備	9.7%	↓
7位	公園・緑地の整備	10.1%	公園・緑地の整備	9.4%	→
8位	信号機など交通安全施設整備	8.8%	信号機など交通安全施設整備	8.4%	→
9位	ゴミの減量化やリサイクルの推進	7.2%	良好な住宅地の整備	6.8%	↑
10位	良好な住宅地の整備	6.3%	ゴミの減量化やリサイクルの推進	5.7%	↓

力を入れてほしいもののランキング

	前回調査 (平成29年度)		今回調査 (令和元年度)		H29との 順位比較
1位	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	35.6%	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	37.2%	→
2位	桶川駅の整備	28.4%	桶川駅の整備	18.8%	→
3位	保健や医療の充実	16.8%	保健や医療の充実	17.1%	→
4位	高齢者福祉サービスの充実	15.5%	高齢者福祉サービスの充実	14.7%	→
5位	身近な生活道路の整備	10.8%	身近な生活道路の整備	12.2%	→
6位	出産・子育て支援サービスの充実	9.8%	出産・子育て支援サービスの充実	11.0%	→
7位	公園・緑地の整備	9.3%	公園・緑地の整備	10.6%	→
8位	消防、防災、防犯対策の充実	8.9%	消防、防災、防犯対策の充実	9.7%	→
9位	街並み・景観づくり	7.9%	信号機など交通安全施設整備	9.4%	↑
10位	信号機など交通安全施設整備	7.6%	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	9.3%	↑

3. 桶川市のまちづくりについて

クロス／まちづくり全般②力をいれてほしいもの

性別で見ると、男性・女性ともに「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっており、次いで男性では「桶川駅の整備」、女性では「保健や医療の充実」となっている。

年齢で見ると、全ての年齢で「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「桶川駅の整備」、「街並み・景観づくり」、「公園・緑地の整備」、「その他」、20歳～29歳、40歳～49歳では「桶川駅の整備」、30歳～39歳では「出産・子育て支援サービスの充実」、50歳～59歳、60歳～64歳では「保健や医療の充実」、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳以上では「高齢者福祉サービスの充実」となっている。

地区で見ると、川田谷地区では「治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備」が最も高く、その他の地区では「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺では「桶川駅の整備」、「保健や医療の充実」、駅西側周辺、日出谷地区では「高齢者福祉サービスの充実」、坂田地区、加納地区では「桶川駅の整備」、川田谷地区では「土地利用の適正化」となっている。

	調査票（N）	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実
全体	1,324	85	113	249	54	162	18	71	123	82	45	118	124	22	128	141	92	227	195	46	145
	100.0%	6.4%	8.5%	18.8%	4.1%	12.2%	1.4%	5.4%	9.3%	6.2%	3.4%	8.9%	9.4%	1.7%	9.7%	10.6%	6.9%	17.1%	14.7%	3.5%	11.0%
性別	男性	567	36	56	118	30	78	7	22	65	32	19	55	55	12	46	59	41	80	77	27
	100.0%	6.3%	9.9%	20.8%	5.3%	13.8%	1.2%	3.9%	11.5%	5.6%	3.4%	9.7%	9.7%	2.1%	8.1%	10.4%	7.2%	14.1%	13.6%	4.8%	10.1%
	女性	700	48	54	124	22	80	11	44	50	47	26	59	65	10	78	76	50	140	114	18
	100.0%	6.9%	7.7%	17.7%	3.1%	11.4%	1.6%	6.3%	7.1%	6.7%	3.7%	8.4%	9.3%	1.4%	11.1%	10.9%	7.1%	20.0%	16.3%	2.6%	11.1%
年齢	無回答	57	1	3	7	2	4	0	5	8	3	0	4	4	0	4	6	1	7	4	1
	100.0%	1.8%	5.3%	12.3%	3.5%	7.0%	0.0%	8.8%	14.0%	5.3%	0.0%	7.0%	7.0%	0.0%	7.0%	10.5%	1.8%	12.3%	7.0%	1.8%	17.5%
	18歳～19歳	42	2	3	6	2	2	1	3	4	2	2	6	2	3	6	5	4	1	2	4
	100.0%	4.8%	7.1%	14.3%	4.8%	4.8%	2.4%	7.1%	9.5%	4.8%	4.8%	14.3%	4.8%	4.8%	7.1%	14.3%	11.9%	9.5%	2.4%	4.8%	9.5%
	20歳～29歳	127	8	13	27	6	18	1	6	8	9	23	10	6	10	16	9	18	4	2	23
	100.0%	6.3%	10.2%	21.3%	4.7%	14.2%	0.8%	0.8%	4.7%	6.3%	7.1%	18.1%	7.9%	4.7%	7.9%	12.6%	7.1%	14.2%	3.1%	1.6%	18.1%
	30歳～39歳	166	14	18	38	7	30	4	7	6	5	6	12	17	1	13	31	12	25	12	10
	100.0%	8.4%	10.8%	22.9%	4.2%	18.1%	2.4%	4.2%	3.6%	3.0%	3.6%	7.2%	10.2%	0.6%	7.8%	18.7%	7.2%	15.1%	7.2%	6.0%	30.1%
	40歳～49歳	242	19	22	47	15	35	3	10	28	16	10	20	32	1	34	24	18	43	22	10
	100.0%	7.9%	9.1%	19.4%	6.2%	14.5%	1.2%	4.1%	11.6%	6.6%	4.1%	8.3%	13.2%	0.4%	14.0%	9.9%	7.4%	17.8%	9.1%	4.1%	9.9%
	50歳～59歳	187	13	13	43	4	21	2	18	15	9	7	18	17	5	20	12	14	48	44	8
	100.0%	7.0%	7.0%	23.0%	2.1%	11.2%	1.1%	9.6%	8.0%	4.8%	3.7%	9.6%	9.1%	2.7%	10.7%	6.4%	7.5%	25.7%	23.5%	4.3%	8.0%
	60歳～64歳	82	7	6	16	2	5	0	4	14	3	0	5	6	0	11	6	8	21	14	4
	100.0%	8.5%	7.3%	19.5%	2.4%	6.1%	0.0%	4.9%	17.1%	3.7%	0.0%	6.1%	7.3%	0.0%	13.4%	7.3%	9.8%	25.6%	17.1%	4.9%	4.9%
	65歳～69歳	98	6	7	19	5	10	1	7	13	10	4	11	6	2	8	9	7	18	21	1
	100.0%	6.1%	7.1%	19.4%	5.1%	10.2%	1.0%	7.1%	13.3%	10.2%	4.1%	11.2%	6.1%	2.0%	8.2%	9.2%	7.7%	18.4%	21.4%	1.0%	3.1%
	70歳～74歳	113	6	9	20	7	12	1	7	13	12	5	11	1	13	17	6	10	23	3	3
	100.0%	5.3%	8.0%	17.7%	6.2%	10.6%	0.9%	6.2%	11.5%	10.6%	4.4%	4.4%	9.7%	0.9%	11.5%	15.0%	5.3%	8.8%	20.4%	2.7%	2.7%
	75歳以上	218	9	20	28	4	25	5	8	17	14	2	15	20	4	13	14	13	34	50	5
	100.0%	4.1%	9.2%	12.8%	1.8%	11.5%	2.3%	3.7%	7.8%	6.4%	0.9%	6.9%	9.2%	1.8%	6.0%	6.4%	6.0%	15.6%	22.9%	2.3%	4.1%
	無回答	49	1	2	5	2	4	0	6	7	3	0	3	3	0	3	6	0	6	4	1
	100.0%	2.0%	4.1%	10.2%	4.1%	8.2%	0.0%	12.2%	14.3%	6.1%	0.0%	6.1%	6.1%	0.0%	6.1%	12.2%	0.0%	12.2%	8.2%	2.0%	20.4%
地区	駅東側周辺	217	18	33	39	11	30	1	5	10	9	30	19	4	19	31	7	39	21	9	22
	100.0%	8.3%	15.2%	18.0%	5.1%	13.8%	0.5%	2.3%	3.2%	4.6%	4.1%	13.8%	8.8%	1.8%	8.8%	14.3%	3.2%	18.0%	9.7%	4.1%	10.1%
	駅西側周辺	266	11	22	42	11	30	1	8	21	17	15	21	33	7	32	23	21	49	51	8
	100.0%	4.1%	8.3%	15.8%	4.1%	11.3%	0.4%	3.0%	7.9%	6.4%	5.6%	7.9%	12.4%	2.6%	12.0%	8.6%	7.9%	18.4%	19.2%	3.0%	8.6%
	日出谷地区	283	19	12	46	10	24	0	9	42	22	12	17	26	5	34	32	25	57	58	10
	100.0%	6.7%	4.2%	16.3%	3.5%	8.5%	0.0%	3.2%	14.8%	7.8%	4.2%	6.0%	9.2%	1.8%	12.0%	11.3%	8.8%	20.1%	20.5%	3.5%	12.0%
	坂田地区	266	8	30	75	10	34	1	7	17	14	4	29	23	2	25	23	18	41	31	12
	100.0%	3.0%	11.3%	28.2%	3.8%	12.8%	0.4%	2.6%	6.4%	5.3%	1.5%	10.9%	8.6%	0.8%	9.4%	8.6%	6.8%	15.4%	11.7%	4.5%	10.9%
	加納地区	127	8	9	33	6	26	5	18	4	9	1	13	7	1	8	18	13	14	13	1
	100.0%	6.3%	7.1%	26.0%	4.7%	20.5%	3.9%	14.2%	3.1%	7.1%	0.8%	10.2%	5.5%	0.8%	6.3%	14.2%	10.2%	11.0%	10.2%	0.8%	10.2%
	川田谷地区	109	20	5	8	4	12	10	18	25	7	4	5	12	3	7	7	8	18	16	5
	100.0%	18.3%	4.6%	7.3%	3.7%	11.0%	9.2%	16.5%	22.9%	6.4%	3.7%	4.6%	11.0%	2.8%	6.4%	6.4%	7.3%	16.5%	14.7%	4.6%	12.8%
	無回答	56	1	2	6	2	6	0	6	7	3	0	3	4	0	3	7	0	9	5	1
	100.0%	1.8%	3.6%	10.7%	3.6%	10.7%	0.0%	10.7%	12.5%	5.4%	0.0%	5.4%	7.1%	0.0%	5.4%	12.5%	0.0%	16.1%	8.9%	1.8%	17.9%

3. 桶川市のまちづくりについて

		こども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策	桶川駅周辺を中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特にない	無回答
性別	全体	64 4.8%	16 1.2%	33 2.5%	33 2.5%	31 2.3%	25 1.9%	59 4.5%	94 7.1%	53 4.0%	492 37.2%	34 2.6%	53 4.0%	75 5.7%	39 2.9%	16 1.2%	7 0.5%	36 2.7%	69 5.2%	47 3.5%	24 1.8%	85 6.4%
	男性	31 5.5%	3 0.5%	17 3.0%	13 2.3%	16 2.8%	15 2.6%	30 5.3%	40 7.1%	20 3.5%	210 37.0%	13 2.3%	32 5.6%	28 4.9%	15 2.6%	3 0.5%	6 1.1%	20 3.5%	29 5.1%	22 3.9%	15 2.6%	30 5.3%
	女性	31 4.4%	12 1.7%	15 2.1%	20 2.9%	13 1.9%	9 1.3%	28 4.0%	52 7.4%	33 4.7%	272 38.8%	20 2.9%	21 3.0%	41 5.9%	23 3.3%	12 1.7%	0 0.0%	16 2.3%	36 5.1%	21 3.0%	9 1.3%	40 5.7%
	無回答	2 3.5%	1 1.8%	2 1.8%	0 0.0%	2 3.5%	1 1.8%	1 1.8%	2 3.5%	0 0.0%	10 17.5%	1 1.8%	0 0.0%	3 10.5%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	1 7.0%	0 7.0%	0 0.0%	0 26.3%	0 15
年齢	18歳～19歳	7 7.1%	2 2.4%	7 7.1%	11 11.9%	11 11.9%	2 2.4%	4 4.8%	9 9.5%	0 0.0%	33 33.3%	7 7.1%	11 11.9%	7 7.1%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	14 14.3%	7 7.1%	0 0.0%
	20歳～29歳	14 11.0%	2 1.6%	3 2.4%	4 3.1%	1 0.8%	5 3.9%	2 1.6%	5 3.9%	5 5.5%	37 37.0%	3 2.4%	4 3.1%	11 8.7%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 4.7%	8 4.7%	6 4.7%	2 2.4%
	30歳～39歳	12 7.2%	2 1.2%	5 3.0%	7 3.0%	2 1.2%	3 0.6%	13 1.8%	12 7.8%	4 4.2%	55 31.3%	6 3.6%	8 4.8%	20 12.0%	1 0.6%	3 1.8%	0 0.0%	4 0.6%	4 2.4%	7 4.2%	4 2.4%	0 0.0%
	40歳～49歳	15 6.2%	4 2.1%	5 2.1%	8 2.1%	2 0.8%	4 1.7%	13 5.4%	14 5.8%	16 6.6%	81 37.6%	8 2.5%	18 7.4%	28 9.5%	4 1.7%	0 0.4%	0 0.0%	8 2.5%	10 4.1%	11 2.1%	5 2.1%	15 2.1%
	50歳～59歳	8 3.2%	0 0.0%	2 1.1%	5 2.7%	3 1.6%	5 2.7%	5 2.7%	12 7.0%	9 4.8%	48 42.8%	4 2.1%	6 3.2%	3 1.6%	9 4.8%	0 0.0%	0 0.5%	10 5.3%	10 5.3%	5 2.7%	2 1.1%	4 2.1%
	60歳～64歳	4 4.9%	0 0.0%	4 4.9%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	3 3.7%	7 11.0%	6 7.6%	37 45.1%	8 9.8%	1 1.2%	0 0.0%	8 9.8%	3 3.7%	0 0.0%	6 7.3%	3 3.7%	1 1.2%	0 0.0%	3 3.7%
	65歳～69歳	4 4.1%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	3 3.1%	2 2.0%	3 3.1%	7 7.1%	2 2.0%	42 42.9%	0 0.0%	5 5.1%	4 4.1%	3 3.1%	2 2.0%	0 0.0%	2 2.0%	7 7.1%	4 4.1%	0 0.0%	7 7.1%
	70歳～74歳	2 1.8%	3 2.7%	2 1.8%	6 5.3%	3 2.7%	4 3.5%	9 8.0%	5 4.4%	8 4.4%	41 41.8%	2 1.8%	2 1.8%	0 0.9%	2 1.8%	1 1.8%	2 2.7%	1 1.8%	12 10.6%	0 0.9%	1 0.9%	10 8.8%
	75歳以上	2 0.9%	0 0.9%	7 3.2%	10 0.9%	2 4.6%	10 0.9%	17 7.8%	23 10.6%	0 0.5%	33 33.5%	2 0.9%	4 1.8%	4 1.8%	12 5.5%	1 0.5%	0 0.9%	8 3.7%	15 6.9%	8 3.7%	3 1.4%	40 18.3%
	無回答	2 4.1%	0 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	2 4.1%	1 2.0%	0 0.0%	9 18.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 12.2%	0 0.0%	0 2.0%	0 2.0%	0 0.0%	4 4.1%	0 8.2%	0 0.0%	13 26.5%
地区	駅東側周辺	10 4.6%	3 1.4%	2 0.9%	4 1.8%	2 0.9%	0 0.0%	7 3.2%	28 12.9%	11 5.1%	104 47.9%	5 2.3%	5 2.3%	8 3.7%	5 2.3%	1 0.5%	1 0.5%	5 2.3%	13 6.0%	11 5.1%	3 1.4%	14 6.5%
	駅西側周辺	13 4.9%	1 0.4%	12 4.5%	6 2.3%	10 3.8%	4 1.5%	16 6.0%	10 3.8%	9 3.4%	97 36.5%	10 3.8%	19 7.1%	18 6.8%	7 2.6%	2 0.8%	1 0.4%	4 1.5%	17 6.4%	6 2.3%	6 2.3%	15 5.6%
	日出谷地区	13 4.6%	3 1.1%	5 1.8%	12 4.2%	7 2.5%	6 2.1%	10 3.5%	22 7.8%	10 3.5%	86 30.4%	6 2.1%	12 4.2%	15 5.3%	12 4.2%	4 1.4%	1 0.4%	7 2.5%	12 4.2%	9 3.2%	5 1.8%	16 5.7%
	坂田地区	14 5.3%	3 1.1%	7 2.6%	6 2.3%	9 3.4%	6 2.3%	12 4.5%	18 6.8%	13 4.9%	128 48.1%	10 3.8%	11 4.1%	15 5.6%	10 3.8%	7 2.6%	2 0.8%	14 5.3%	11 4.1%	8 3.0%	4 1.5%	10 3.8%
	加納地区	6 4.7%	3 2.4%	5 3.9%	1 0.8%	0 0.0%	0 2.4%	3 3.9%	9 7.1%	3 2.4%	54 42.5%	1 0.8%	4 3.1%	5 3.9%	3 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.9%	9 7.1%	3 2.4%	5 3.9%	6 4.7%
	川田谷地区	5 4.6%	1 0.9%	2 1.8%	4 3.7%	2 1.8%	2 5.5%	7 6.4%	6 5.5%	6 5.5%	12 11.0%	2 1.8%	2 1.8%	7 6.4%	2 1.8%	1 0.9%	1 0.9%	1 4.6%	5 5.5%	6 0.9%	1 0.9%	9 8.3%
	無回答	3 5.4%	0 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	1 0.0%	2 3.6%	1 1.8%	1 1.8%	11 19.6%	0 0.0%	0 0.0%	7 12.5%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	4 7.1%	0 0.0%	15 26.8%

3. 桶川市のまちづくりについて

クロス【居住評価・居意向】／まちづくり全般②力をいれてほしいもの

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっており、次いで『住みよい』、『住みにくい』では「保健や医療の充実」、「ふつう」では「桶川駅の整備」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「桶川駅周辺の中心市街地の活性化」が最も高くなっており、次いで「桶川駅の整備」となっている。

		調査数（N）	土地利用の適正化	市街地の整備	桶川駅の整備	市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備	身近な生活道路の整備	上水道の整備	公共下水道の整備	治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備	自然環境の保全	良好な住宅地の整備	街並み・景観づくり	信号機など交通安全施設整備	公害防止対策	消防、防災、防犯対策の充実	公園・緑地の整備	ゴミの減量化やリサイクルの推進	保健や医療の充実	高齢者福祉サービスの充実	障害者福祉サービスの充実	出産・子育て支援サービスの充実
	全体	1,324	85	113	249	54	162	18	71	123	82	45	118	124	22	128	141	92	227	195	46	145
		100.0%	6.4%	8.5%	18.8%	4.1%	12.2%	1.4%	5.4%	9.3%	6.2%	3.4%	8.9%	9.4%	1.7%	9.7%	10.6%	6.9%	17.1%	14.7%	3.5%	11.0%
居住評価	『住みよい』	684	35	58	110	30	83	3	28	61	58	23	68	68	15	74	82	52	112	102	20	83
		100.0%	5.1%	8.5%	16.1%	4.4%	12.1%	0.4%	4.1%	8.9%	8.5%	3.4%	9.9%	9.9%	2.2%	10.8%	12.0%	7.6%	16.4%	14.9%	2.9%	12.1%
	ふつう	310	16	18	65	13	35	6	18	33	15	12	27	26	3	26	34	25	52	49	13	35
		100.0%	5.2%	5.8%	21.0%	4.2%	11.3%	1.9%	5.8%	10.6%	4.8%	3.9%	8.7%	8.4%	1.0%	8.4%	11.0%	8.1%	16.8%	15.8%	4.2%	11.3%
	『住みにくい』	196	18	26	48	4	30	7	18	21	3	5	15	20	3	20	14	11	49	24	6	18
		100.0%	9.2%	13.3%	24.5%	2.0%	15.3%	3.6%	9.2%	10.7%	1.5%	2.6%	7.7%	10.2%	1.5%	10.2%	7.1%	5.6%	25.0%	12.2%	3.1%	9.2%
居住意向	わからない	13	1	1	6	2	1	1	2	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	1	3	1
		100.0%	7.7%	7.7%	38.5%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	7.7%	23.1%	7.7%
	無回答	121	15	10	21	5	13	1	5	8	5	5	8	10	0	7	10	4	12	19	4	8
		100.0%	12.4%	8.3%	17.4%	4.1%	10.7%	0.8%	4.1%	6.6%	4.1%	4.1%	6.6%	8.3%	0.0%	5.8%	8.3%	3.3%	9.9%	15.7%	3.3%	6.6%
	『住み続けたい』	1,069	60	92	194	41	122	11	55	102	72	40	103	104	16	110	121	76	182	169	41	123
		100.0%	5.6%	8.6%	18.1%	3.8%	11.4%	1.0%	5.1%	9.5%	6.7%	3.7%	9.6%	9.7%	1.5%	10.3%	11.3%	7.1%	17.0%	15.8%	3.8%	11.5%
居住意向	『転出したい』	228	25	19	52	13	39	7	15	20	9	4	15	20	5	18	20	15	42	24	5	20
		100.0%	11.0%	8.3%	22.8%	5.7%	17.1%	3.1%	6.6%	8.8%	3.9%	1.8%	6.6%	8.8%	2.2%	7.9%	8.8%	6.6%	18.4%	10.5%	2.2%	8.8%
	無回答	27	0	2	3	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	3	2	0	2
		100.0%	0.0%	7.4%	11.1%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	11.1%	7.4%	0.0%	7.4%

		子ども医療費の無料化の充実	女性の地位向上（男女共同参画）	情報提供の充実	国際交流の推進	ボランティア活動の支援育成	農業の振興	工業の活性化、企業誘致	地元商業の振興	雇用対策	桶川駅周辺の中心市街地の活性化	観光振興	スポーツ・レクリエーションの振興	学校教育の充実	生涯学習の振興	地域文化の振興	広域行政の推進	公共施設の市町間の相互利用の推進	行政のスリム化	その他	特にない	無回答
	全体	64	16	33	33	31	25	59	94	53	492	34	53	75	39	16	7	36	69	47	24	85
		4.8%	1.2%	2.5%	2.5%	2.3%	1.9%	4.5%	7.1%	4.0%	37.2%	2.6%	4.0%	5.7%	2.9%	1.2%	0.5%	2.7%	5.2%	3.5%	1.8%	6.4%
居住評価	『住みよい』	34	4	20	19	16	17	28	50	23	268	18	28	52	21	7	5	13	27	32	8	42
		5.0%	0.6%	2.9%	2.8%	2.3%	2.5%	4.1%	7.3%	3.3%	39.2%	2.6%	4.1%	7.6%	3.1%	1.0%	0.7%	1.9%	3.9%	3.2%	1.2%	6.1%
	ふつう	17	8	8	7	7	3	13	19	11	103	6	18	14	7	5	0	9	14	15	13	17
		5.5%	2.6%	2.6%	2.3%	2.3%	1.0%	4.2%	6.1%	3.5%	33.2%	1.9%	5.8%	4.5%	2.3%	1.6%	0.0%	2.9%	4.5%	4.8%	4.2%	5.5%
	『住みにくい』	10	0	2	3	3	3	9	14	11	72	7	3	5	5	2	2	8	19	8	0	9
		5.1%	0.0%	1.0%	1.5%	1.5%	1.5%	4.6%	7.1%	5.6%	36.7%	3.6%	1.5%	2.6%	2.6%	1.0%	1.0%	4.1%	9.7%	4.1%	0.0%	4.6%
居住意向	わからない	0	1	1	0	0	1	0	0	1	4	0	0	0	0	1	0	0	4	0	1	0
		0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	7.7%	0.0%
	無回答	3	3	2	4	5	1	9	11	7	45	3	4	4	5	2	0	6	5	2	2	17
		2.5%	2.5%	1.7%	3.3%	4.1%	0.8%	7.4%	9.1%	5.8%	37.2%	2.5%	3.3%	3.3%	4.1%	1.7%	0.0%	5.0%	4.1%	1.7%	1.7%	14.0%
	『住み続けたい』	53	15	28	25	25	20	45	78	39	398	27	40	62	34	13	5	29	46	34	21	65
		5.0%	1.4%	2.6%	2.3%	2.3%	1.9%	4.2%	7.3%	3.6%	37.2%	2.5%	3.7%	5.8%	3.2%	1.2%	0.5%	2.7%	4.3%	3.2%	2.0%	6.1%
居住意向	『転出したい』	11	1	5	8	6	4	12	15	12	88	7	13	13	4	3	2	6	20	12	2	7
		4.8%	0.4%	2.2%	3.5%	2.6%	1.8%	5.3%	6.6%	5.3%	38.6%	3.1%	5.7%	5.7%	1.8%	1.3%	0.9%	2.6%	8.8%	5.3%	0.9%	3.1%
	無回答	0	0	0	0	0	1	2	1	2	6	0	0	0	1	0	0	1	3	1	1	13
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	7.4%	3.7%	7.4%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	11.1%	3.7%	3.7%	48.1%

＊居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

＊居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

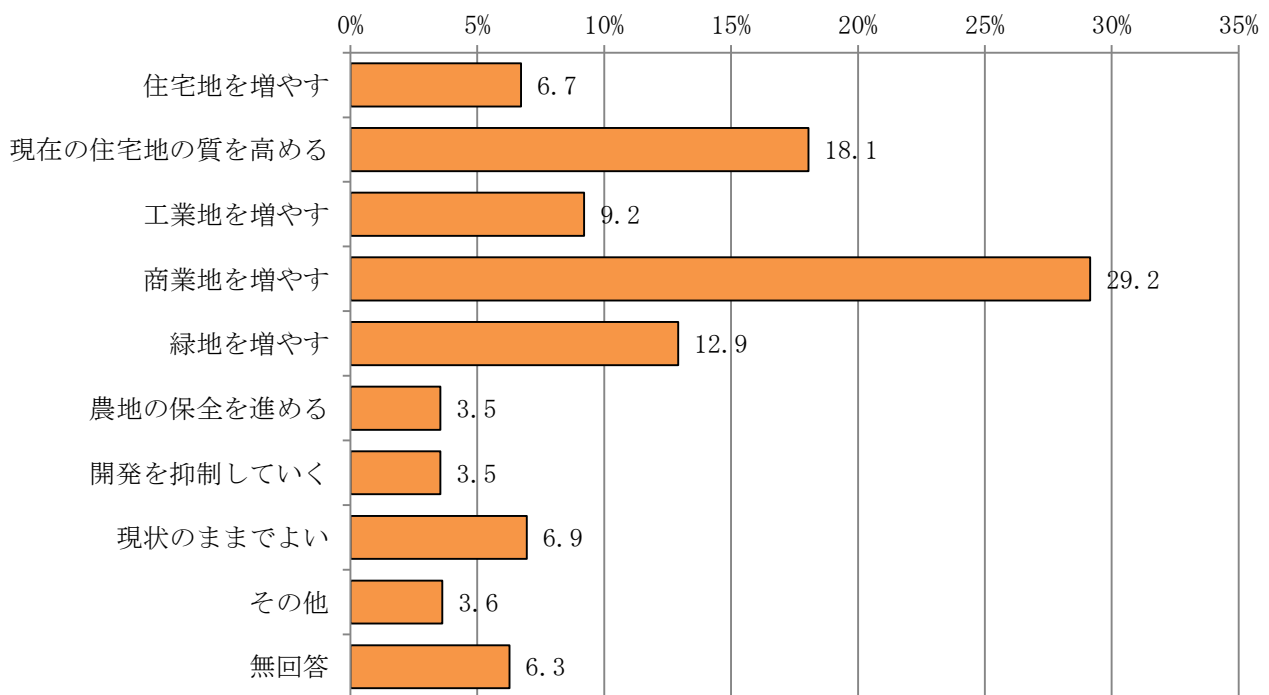
『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

(2) 今後の土地利用の方向性

問7 桶川市の将来を考える上で、土地を計画的に利用していく必要がありますが、今後どのような方向性が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「商業地を増やす」の回答が29.2%で高くなっている。次いで、「現在の住宅地の質を高める」が18.1%、「緑地を増やす」12.9%、「工業地を増やす」9.2%、「現状のままでよい」6.9%、「住宅地を増やす」6.7%となっている。また、「農地の保全を進める」、「開発を抑制していく」はそれぞれ3.5%となっている。



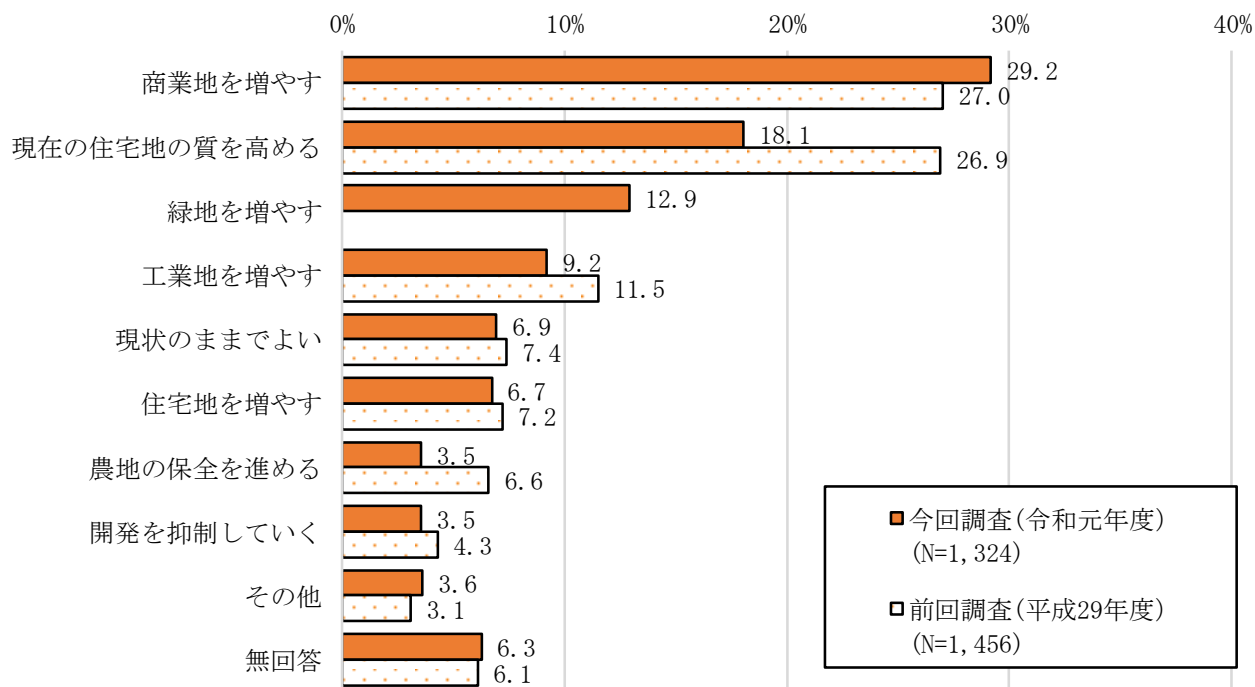
(N=1, 324)

3. 桶川市のまちづくりについて

【経年変化／今後の土地利用の方向性】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「商業地を増やす」は増加している。今回調査から追加した「緑地を増やす」の回答が12.9%となっている。

一方で、それ以外の「現在の住宅地の質を高める」、「農地の保全を進める」、「工業地を増やす」などは減少している。



クロス／今後の土地利用の方向性

性別で見ると、男性と女性ともに「商業地を増やす」が最も高く、次いで「現在の住宅地の質を高める」となっている。

年齢で見ると、75歳以上では「現在の住宅地の質を高める」、その他の年齢では「商業地を増やす」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区で「商業地を増やす」が最も高くなっている。

		調査数 (N)	住宅地を増やす	現在の住宅地の質を高める	工業地を増やす	商業地を増やす	緑地を増やす	農地の保全を進める	開発を抑制していく	現状のままでよい	その他	無回答
性別	全体	1,324	89	239	122	386	171	47	47	92	48	83
		100.0%	6.7%	18.1%	9.2%	29.2%	12.9%	3.5%	3.5%	6.9%	3.6%	6.3%
	男性	567	42	97	72	158	68	21	27	37	21	24
		100.0%	7.4%	17.1%	12.7%	27.9%	12.0%	3.7%	4.8%	6.5%	3.7%	4.2%
性別	女性	700	45	135	43	221	95	23	18	51	26	43
		100.0%	6.4%	19.3%	6.1%	31.6%	13.6%	3.3%	2.6%	7.3%	3.7%	6.1%
	無回答	57	2	7	7	7	8	3	2	4	1	16
		100.0%	3.5%	12.3%	12.3%	12.3%	14.0%	5.3%	3.5%	7.0%	1.8%	28.1%
年齢	18歳～19歳	42	3	8	2	14	6	1	1	7	0	0
		100.0%	7.1%	19.0%	4.8%	33.3%	14.3%	2.4%	2.4%	16.7%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	7	17	4	55	20	3	3	12	5	1
		100.0%	5.5%	13.4%	3.1%	43.3%	15.7%	2.4%	2.4%	9.4%	3.9%	0.8%
	30歳～39歳	166	8	35	8	68	15	7	1	14	9	1
		100.0%	4.8%	21.1%	4.8%	41.0%	9.0%	4.2%	0.6%	8.4%	5.4%	0.6%
	40歳～49歳	242	19	46	19	87	28	6	5	19	10	3
		100.0%	7.9%	19.0%	7.9%	36.0%	11.6%	2.5%	2.1%	7.9%	4.1%	1.2%
	50歳～59歳	187	18	36	15	53	21	8	9	12	7	8
		100.0%	9.6%	19.3%	8.0%	28.3%	11.2%	4.3%	4.8%	6.4%	3.7%	4.3%
年齢	60歳～64歳	82	12	12	10	26	8	2	2	5	2	3
		100.0%	14.6%	14.6%	12.2%	31.7%	9.8%	2.4%	2.4%	6.1%	2.4%	3.7%
	65歳～69歳	98	9	20	11	22	15	4	3	4	3	7
		100.0%	9.2%	20.4%	11.2%	22.4%	15.3%	4.1%	3.1%	4.1%	3.1%	7.1%
	70歳～74歳	113	5	21	14	22	17	5	5	6	7	11
		100.0%	4.4%	18.6%	12.4%	19.5%	15.0%	4.4%	4.4%	5.3%	6.2%	9.7%
	75歳以上	218	6	38	32	34	34	9	16	11	5	33
		100.0%	2.8%	17.4%	14.7%	15.6%	15.6%	4.1%	7.3%	5.0%	2.3%	15.1%
	無回答	49	2	6	7	5	7	2	2	2	0	16
		100.0%	4.1%	12.2%	14.3%	10.2%	14.3%	4.1%	4.1%	4.1%	0.0%	32.7%
地区	駅東側周辺	217	13	40	18	69	26	4	10	11	12	14
		100.0%	6.0%	18.4%	8.3%	31.8%	12.0%	1.8%	4.6%	5.1%	5.5%	6.5%
	駅西側周辺	266	20	56	31	68	35	6	8	19	12	11
		100.0%	7.5%	21.1%	11.7%	25.6%	13.2%	2.3%	3.0%	7.1%	4.5%	4.1%
	日出谷地区	283	9	58	24	84	40	8	11	28	7	14
		100.0%	3.2%	20.5%	8.5%	29.7%	14.1%	2.8%	3.9%	9.9%	2.5%	4.9%
	坂田地区	266	16	51	22	85	38	11	10	16	7	10
		100.0%	6.0%	19.2%	8.3%	32.0%	14.3%	4.1%	3.8%	6.0%	2.6%	3.8%
地区	加納地区	127	10	18	11	37	17	9	3	9	6	7
		100.0%	7.9%	14.2%	8.7%	29.1%	13.4%	7.1%	2.4%	7.1%	4.7%	5.5%
	川田谷地区	109	19	9	9	36	7	5	3	7	4	10
		100.0%	17.4%	8.3%	8.3%	33.0%	6.4%	4.6%	2.8%	6.4%	3.7%	9.2%
地区	無回答	56	2	7	7	7	8	4	2	2	0	17
		100.0%	3.6%	12.5%	12.5%	12.5%	14.3%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	30.4%

3. 桶川市のまちづくりについて

クロス【居住評価・居住意向】／今後の土地利用の方向性

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「商業地を増やす」が最も高くなっており、次いで「現在の住宅地の質を高める」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「商業地を増やす」が最も高くなっており、次いで「現在の住宅地の質を高める」となっている。

		調査数 (N)	住宅地を増やす	現在の住宅地の質を高める	工業地を増やす	商業地を増やす	緑地を増やす	農地の保全を進める	開発を抑制していく	現状のままでよい	その他	無回答
全体		1,324	89	239	122	386	171	47	47	92	48	83
		100.0%	6.7%	18.1%	9.2%	29.2%	12.9%	3.5%	3.5%	6.9%	3.6%	6.3%
居住評価	『住みよい』	684	47	131	63	190	98	27	22	47	19	40
		100.0%	6.9%	19.2%	9.2%	27.8%	14.3%	3.9%	3.2%	6.9%	2.8%	5.8%
	ふつう	310	15	58	24	92	40	13	9	32	10	17
		100.0%	4.8%	18.7%	7.7%	29.7%	12.9%	4.2%	2.9%	10.3%	3.2%	5.5%
	『住みにくい』	196	18	29	16	78	19	2	11	2	14	7
		100.0%	9.2%	14.8%	8.2%	39.8%	9.7%	1.0%	5.6%	1.0%	7.1%	3.6%
	わからない	13	2	3	1	2	1	2	1	0	1	0
		100.0%	15.4%	23.1%	7.7%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%
居住意向	無回答	121	7	18	18	24	13	3	4	11	4	19
		100.0%	5.8%	14.9%	14.9%	19.8%	10.7%	2.5%	3.3%	9.1%	3.3%	15.7%
	『住み続けたい』	1,069	73	192	99	299	149	41	32	85	36	63
		100.0%	6.8%	18.0%	9.3%	28.0%	13.9%	3.8%	3.0%	8.0%	3.4%	5.9%
	『転出したい』	228	15	44	18	85	18	6	15	7	10	10
		100.0%	6.6%	19.3%	7.9%	37.3%	7.9%	2.6%	6.6%	3.1%	4.4%	4.4%
	無回答	27	1	3	5	2	4	0	0	0	2	10
		100.0%	3.7%	11.1%	18.5%	7.4%	14.8%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	37.0%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

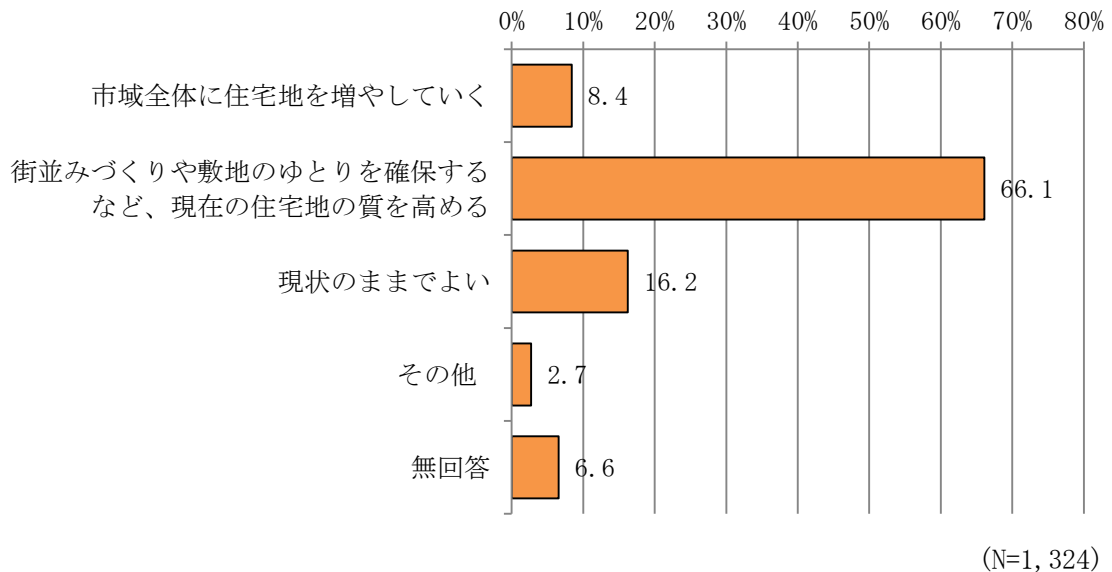
『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

(3) 今後の住宅地のあり方の方向性

問8 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

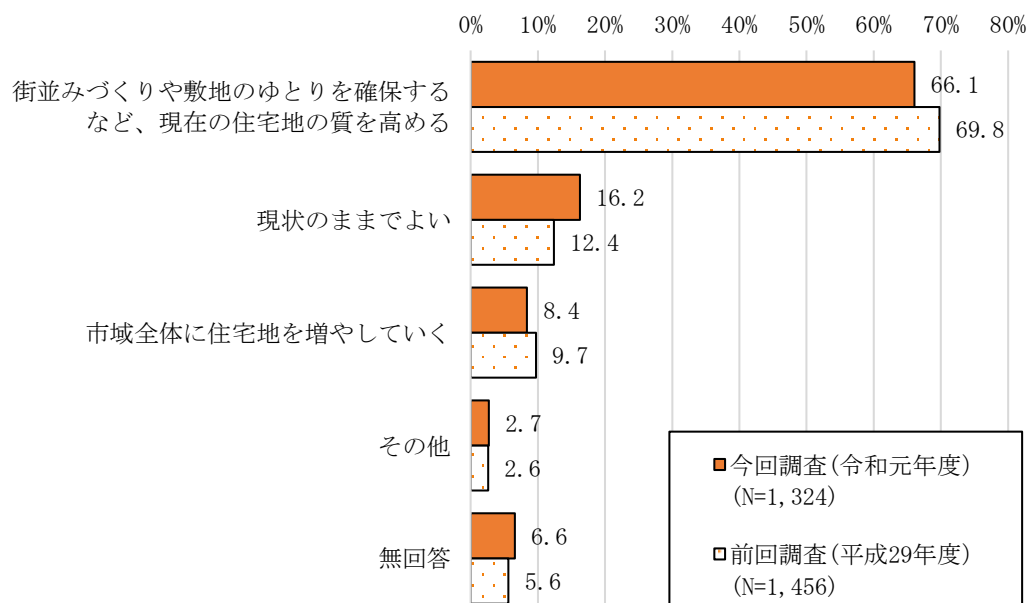
「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」の回答が66.1%と最も高くなっており、全体の約7割を占めている。次いで、「現状のままでよい」は16.2%、「市域全体に住宅地を増やしていく」が8.4%となっている。



【経年変化／今後の住宅地のあり方の方向性】

「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」、「市域全体に住宅地を増やしていく」が前回調査（平成29年度）より減少している。

一方で、「現状のままでよい」は増加している。



3. 桶川市のまちづくりについて

クロス／今後の住宅地のあり方の方向性

性別で見ると、男性・女性ともに「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」が6割以上を占めて最も高くなっており、次いで「現状のままでよい」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」が最も高くなっており、次いで「現状のままでよい」となっている。

地区で見ると、全地区において「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」が最も高くなっている。次いで、川田谷地区では「市域全体に住宅地を増やしていく」、その他の地区は「現状のままでよい」となっている。

		調査数 (N)	市域全体に住宅地を増やしていく	街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在のゆとりを高める	現状のままでよい	その他	無回答
	全体	1,324	111	875	215	36	87
		100.0%	8.4%	66.1%	16.2%	2.7%	6.6%
性別	男性	567	54	385	92	16	20
		100.0%	9.5%	67.9%	16.2%	2.8%	3.5%
	女性	700	54	468	113	19	46
		100.0%	7.7%	66.9%	16.1%	2.7%	6.6%
	無回答	57	3	22	10	1	21
		100.0%	5.3%	38.6%	17.5%	1.8%	36.8%
年齢	18歳～19歳	42	4	22	15	0	1
		100.0%	9.5%	52.4%	35.7%	0.0%	2.4%
	20歳～29歳	127	11	82	30	3	1
		100.0%	8.7%	64.6%	23.6%	2.4%	0.8%
	30歳～39歳	166	17	115	27	5	2
		100.0%	10.2%	69.3%	16.3%	3.0%	1.2%
	40歳～49歳	242	18	175	34	7	8
		100.0%	7.4%	72.3%	14.0%	2.9%	3.3%
	50歳～59歳	187	17	127	28	4	11
		100.0%	9.1%	67.9%	15.0%	2.1%	5.9%
	60歳～64歳	82	7	57	8	3	7
		100.0%	8.5%	69.5%	9.8%	3.7%	8.5%
地区	65歳～69歳	98	7	73	14	1	3
		100.0%	7.1%	74.5%	14.3%	1.0%	3.1%
	70歳～74歳	113	8	76	17	5	7
		100.0%	7.1%	67.3%	15.0%	4.4%	6.2%
	75歳以上	218	20	130	35	7	26
		100.0%	9.2%	59.6%	16.1%	3.2%	11.9%
	無回答	49	2	18	7	1	21
		100.0%	4.1%	36.7%	14.3%	2.0%	42.9%
	駅東側周辺	217	14	147	30	8	18
		100.0%	6.5%	67.7%	13.8%	3.7%	8.3%
	駅西側周辺	266	18	188	38	6	16
		100.0%	6.8%	70.7%	14.3%	2.3%	6.0%
	日出谷地区	283	21	190	57	6	9
		100.0%	7.4%	67.1%	20.1%	2.1%	3.2%
	坂田地区	266	11	195	42	9	9
		100.0%	4.1%	73.3%	15.8%	3.4%	3.4%
	加納地区	127	16	76	26	4	5
		100.0%	12.6%	59.8%	20.5%	3.1%	3.9%
	川田谷地区	109	29	57	13	2	8
		100.0%	26.6%	52.3%	11.9%	1.8%	7.3%
	無回答	56	2	22	9	1	22
		100.0%	3.6%	39.3%	16.1%	1.8%	39.3%

クロス【居住評価・居住意向】／今後の住宅地のあり方の方向性

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」が最も高くなっており、次いで『住みよい』、「ふつう」では「現状のままでよい」、『住みにくい』では「市域全体に住宅地を増やしていく」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める」が最も高くなっており、次いで『住み続けたい』では「現状のままでよい」、『転出したい』では「市域全体に住宅地を増やしていく」となっている。

		調査数 (N)	市域全体に住宅地を増やしていく	街並みづくりや現在の住宅地のゆとりを高める	現状のままでよい	その他	無回答
全体		1,324	111	875	215	36	87
		100.0%	8.4%	66.1%	16.2%	2.7%	6.6%
居住評価	『住みよい』	684	50	456	117	14	47
		100.0%	7.3%	66.7%	17.1%	2.0%	6.9%
	ふつう	310	17	217	56	6	14
		100.0%	5.5%	70.0%	18.1%	1.9%	4.5%
	『住みにくい』	196	29	133	15	11	8
		100.0%	14.8%	67.9%	7.7%	5.6%	4.1%
	わからない	13	2	9	0	2	0
		100.0%	15.4%	69.2%	0.0%	15.4%	0.0%
	無回答	121	13	60	27	3	18
		100.0%	10.7%	49.6%	22.3%	2.5%	14.9%
居住意向	『住み続けたい』	1,069	84	705	196	21	63
		100.0%	7.9%	65.9%	18.3%	2.0%	5.9%
	『転出したい』	228	24	163	16	15	10
		100.0%	10.5%	71.5%	7.0%	6.6%	4.4%
	無回答	27	3	7	3	0	14
		100.0%	11.1%	25.9%	11.1%	0.0%	51.9%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

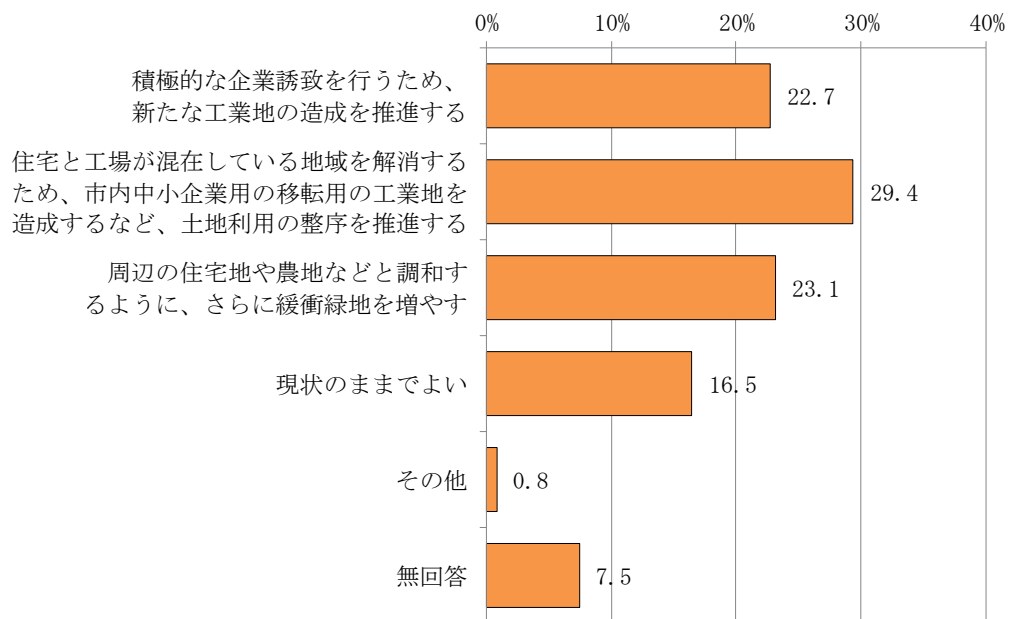
3. 桶川市のまちづくりについて

(4) 今後の工業地のあり方の方向性

問9 今後の工業地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

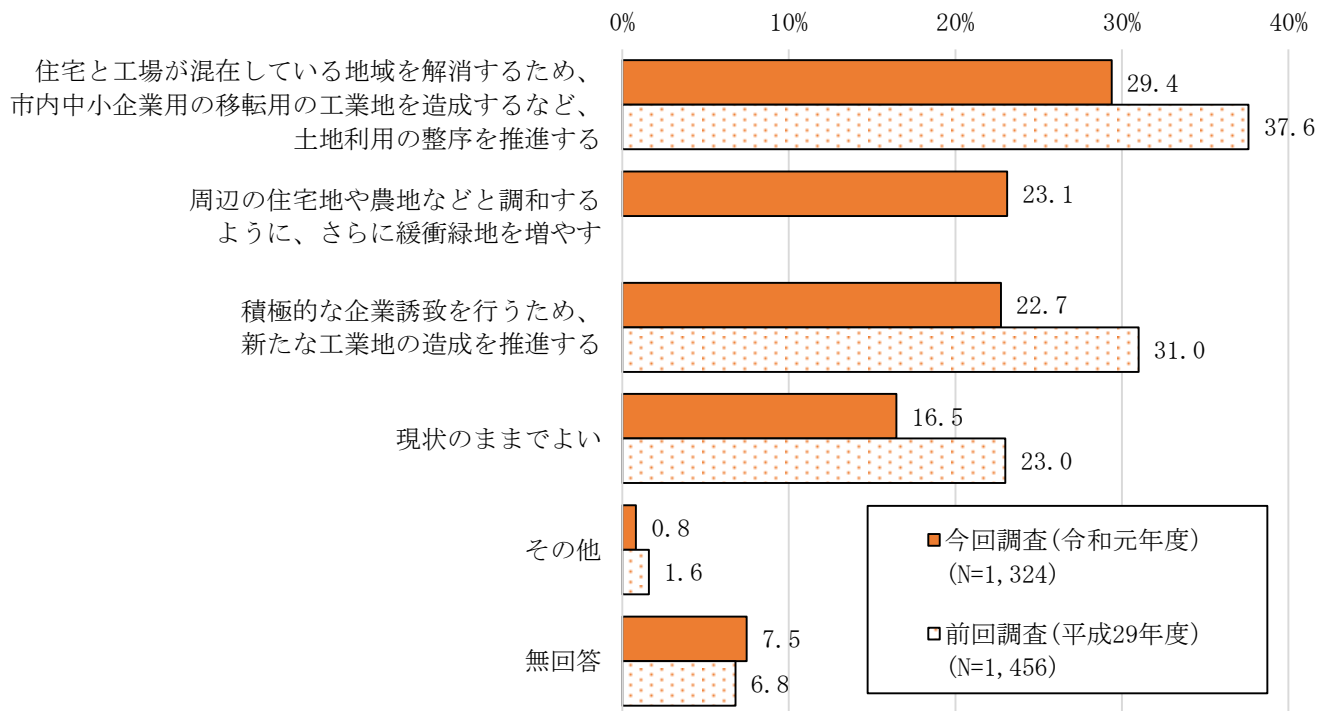
「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」が29.4%と最も高くなっており、次いで「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」が23.1%、「積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する」が22.7%となっている。



(N=1,324)

【経年変化／今後の工業地のあり方の方向性】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」、「積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する」、「現状のままでよい」が減少している。今回調査から追加した「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」の回答が23.1%で上位となっている。



3. 桶川市のまちづくりについて

クロス／今後の工業地のあり方の方向性

性別で見ると、男性・女性ともに「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」が最も高くなっており、次いで男性では「積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する」、女性では「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」、20～29歳では「現状のままでよい」、その他の年齢では「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」が、それぞれ最も高くなっている。

地区で見ると、日出谷地区、加納地区では「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」が、その他の地区では「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」が、それぞれ最も高くなっている。

		調査数 (N)	積極的な 工業地の 造成を推 進するた め、新た な工業地 の造成を 推進する	住宅と工 場の混在 している 地域を解 消するた め、市内 中小企業 用の移転 用の工業 地を造成 するなど 、土地利 用の整序 を推進す る	周辺の住 宅地や農 地などと 調和する ように、 さらに緩 衝緑地を 増やす	現状のま までもよ い	その他	無回 答
全体		1,324	301	389	306	218	11	99
		100.0%	22.7%	29.4%	23.1%	16.5%	0.8%	7.5%
性別	男性	567	143	173	139	85	3	24
		100.0%	25.2%	30.5%	24.5%	15.0%	0.5%	4.2%
	女性	700	151	203	160	126	8	52
		100.0%	21.6%	29.0%	22.9%	18.0%	1.1%	7.4%
	無回答	57	7	13	7	7	0	23
		100.0%	12.3%	22.8%	12.3%	12.3%	0.0%	40.4%
年齢	18歳～19歳	42	9	6	14	12	0	1
		100.0%	21.4%	14.3%	33.3%	28.6%	0.0%	2.4%
	20歳～29歳	127	26	33	28	38	0	2
		100.0%	20.5%	26.0%	22.0%	29.9%	0.0%	1.6%
	30歳～39歳	166	35	46	39	41	2	3
		100.0%	21.1%	27.7%	23.5%	24.7%	1.2%	1.8%
	40歳～49歳	242	63	79	48	44	0	8
		100.0%	26.0%	32.6%	19.8%	18.2%	0.0%	3.3%
	50歳～59歳	187	46	58	39	26	5	13
		100.0%	24.6%	31.0%	20.9%	13.9%	2.7%	7.0%
	60歳～64歳	82	18	29	25	4	0	6
		100.0%	22.0%	35.4%	30.5%	4.9%	0.0%	7.3%
地区	65歳～69歳	98	24	29	26	13	0	6
		100.0%	24.5%	29.6%	26.5%	13.3%	0.0%	6.1%
	70歳～74歳	113	30	34	29	11	3	6
		100.0%	26.5%	30.1%	25.7%	9.7%	2.7%	5.3%
	75歳以上	218	44	67	51	24	1	31
		100.0%	20.2%	30.7%	23.4%	11.0%	0.5%	14.2%
	無回答	49	6	8	7	5	0	23
		100.0%	12.2%	16.3%	14.3%	10.2%	0.0%	46.9%
	駅東側周辺	217	51	77	44	26	1	18
		100.0%	23.5%	35.5%	20.3%	12.0%	0.5%	8.3%
	駅西側周辺	266	56	96	58	37	2	17
		100.0%	21.1%	36.1%	21.8%	13.9%	0.8%	6.4%
地区	日出谷地区	283	67	72	73	57	1	13
		100.0%	23.7%	25.4%	25.8%	20.1%	0.4%	4.6%
	坂田地区	266	61	73	68	48	4	12
		100.0%	22.9%	27.4%	25.6%	18.0%	1.5%	4.5%
	加納地区	127	27	30	33	28	1	8
		100.0%	21.3%	23.6%	26.0%	22.0%	0.8%	6.3%
	川田谷地区	109	31	33	22	15	2	6
		100.0%	28.4%	30.3%	20.2%	13.8%	1.8%	5.5%
	無回答	56	8	8	8	7	0	25
		100.0%	14.3%	14.3%	14.3%	12.5%	0.0%	44.6%

クロス【居住評価・居住意向】／今後の工業地のあり方の方向性

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」が最も高くなっており、次いで『住みよい』、「ふつう」では「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」、『住みにくい』では「積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する」が最も高くなっており、次いで『住み続けたい』では「周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす」、『転出したい』では「積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する」となっている。

		調査数 (N)	の積極 造成を 推進す る企業 誘致を 行うた め、新 たな工 業地	すめ、住 宅と工 場が混 在して いるの を解消 するた め、土 地利用 の整序 を推進 する	さ、周 辺にの 緩衝緑 地や農 地など と調和 するよ うに、	現状の ままで よい	その他	無回 答
全体		1,324	301	389	306	218	11	99
		100.0%	22.7%	29.4%	23.1%	16.5%	0.8%	7.5%
居住評価	『住みよい』	684	149	200	155	126	3	51
		100.0%	21.8%	29.2%	22.7%	18.4%	0.4%	7.5%
	ふつう	310	63	87	85	53	2	20
		100.0%	20.3%	28.1%	27.4%	17.1%	0.6%	6.5%
	『住みにくい』	196	61	67	35	20	5	8
		100.0%	31.1%	34.2%	17.9%	10.2%	2.6%	4.1%
	わからない	13	3	2	7	1	0	0
		100.0%	23.1%	15.4%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	無回答	121	25	33	24	18	1	20
		100.0%	20.7%	27.3%	19.8%	14.9%	0.8%	16.5%
居住意向	『住み続けたい』	1,069	233	317	261	179	6	73
		100.0%	21.8%	29.7%	24.4%	16.7%	0.6%	6.8%
	『転出したい』	228	63	70	42	36	5	12
		100.0%	27.6%	30.7%	18.4%	15.8%	2.2%	5.3%
	無回答	27	5	2	3	3	0	14
		100.0%	18.5%	7.4%	11.1%	11.1%	0.0%	51.9%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

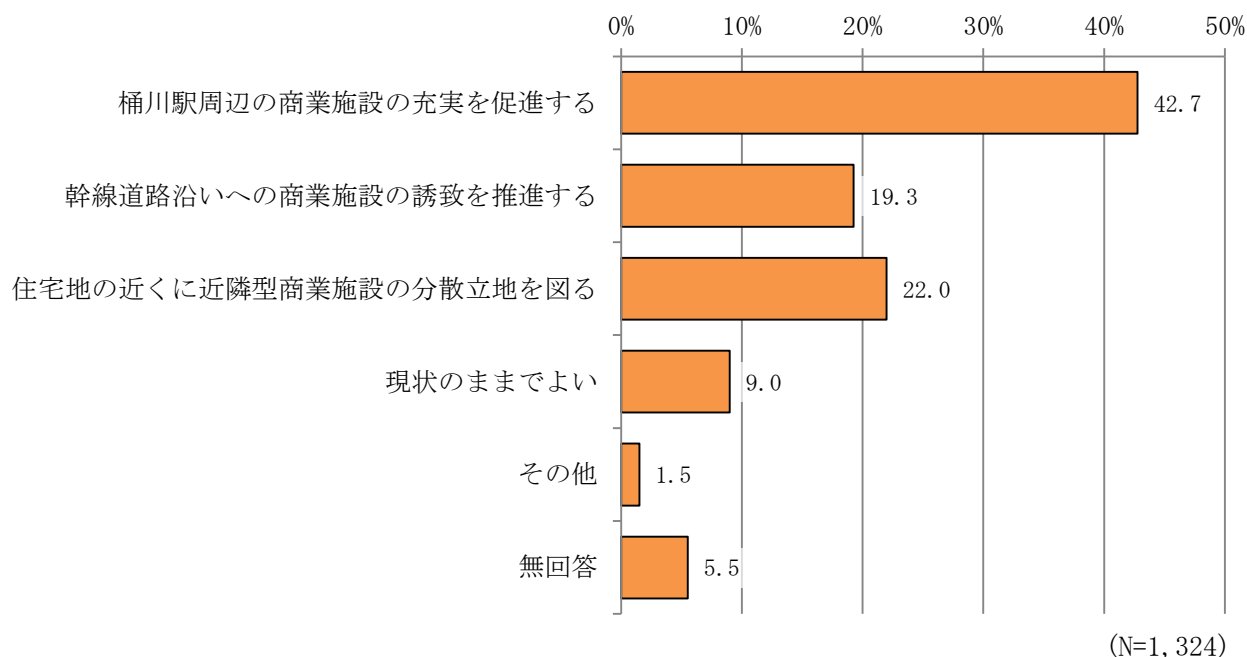
3. 桶川市のまちづくりについて

(5) 今後の商業地のあり方の方向性

問10 今後の商業地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

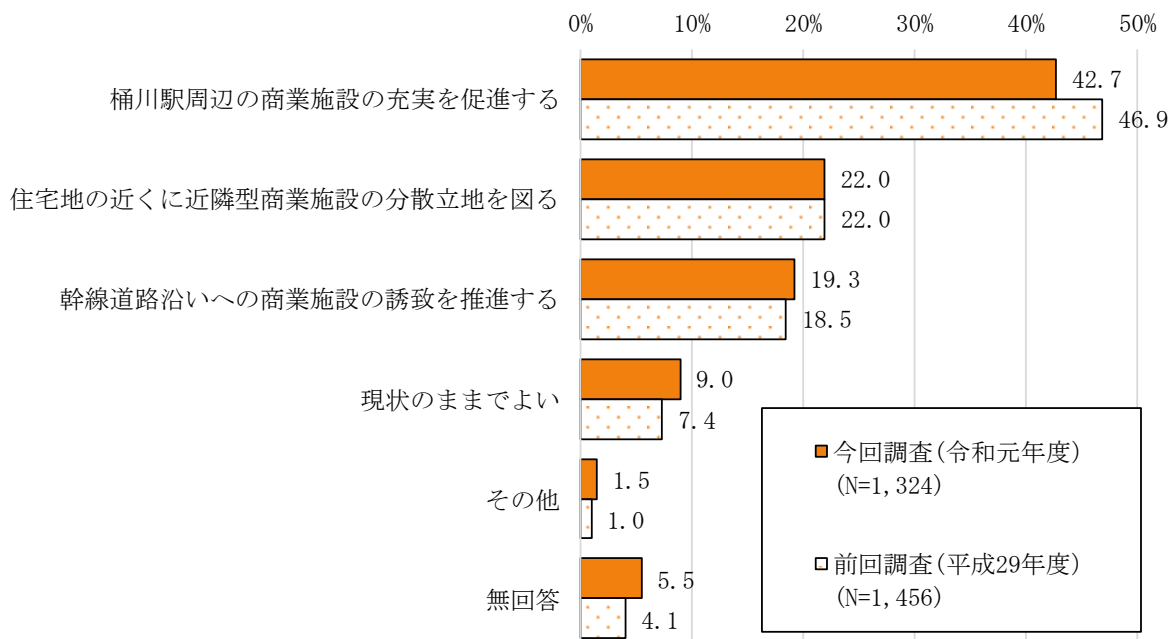
全 体

「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」の回答が42.7%と最も高くなっており、次いで「住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る」22.0%、「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」19.3%となっている。また、「現状のままでよい」は9.0%となっている。



【経年変化／今後の商業地のあり方の方向性】

「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」が前回調査（平成29年度）より減少している。一方で、「現状のままでよい」、「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」は増加している。



クロス／今後の商業地のあり方の方向性

性別で見ると、男性・女性ともに「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」が最も高くなっており、次いで男性では「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」、女性では「住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」が最も高くなっている。次いで、39歳以下、60歳～64歳、70歳以上では「住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る」が、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、65歳～69歳では「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」となっている。

地区で見ると、川田谷地区では「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」、その他の地区では「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」が最も高くなっている。次いで、加納地区では「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」、その他の地区では「住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る」となっている。

		調査数 (N)	桶川駅 周辺を 促進す る商業 施設の 充実	幹線道 路沿い への推 進	住宅地 の近く に近隣 型商業 施設の 分散立 地	現状の ままで よい	その他	無回答
性別	全体	1,324	566	255	291	119	20	73
		100.0%	42.7%	19.3%	22.0%	9.0%	1.5%	5.5%
	男性	567	240	130	121	49	9	18
		100.0%	42.3%	22.9%	21.3%	8.6%	1.6%	3.2%
性別	女性	700	308	119	164	64	11	34
		100.0%	44.0%	17.0%	23.4%	9.1%	1.6%	4.9%
	無回答	57	18	6	6	6	0	21
		100.0%	31.6%	10.5%	10.5%	10.5%	0.0%	36.8%
年齢	18歳～19歳	42	22	5	10	4	0	1
		100.0%	52.4%	11.9%	23.8%	9.5%	0.0%	2.4%
	20歳～29歳	127	68	19	24	13	1	2
		100.0%	53.5%	15.0%	18.9%	10.2%	0.8%	1.6%
	30歳～39歳	166	70	39	39	13	3	2
		100.0%	42.2%	23.5%	23.5%	7.8%	1.8%	1.2%
	40歳～49歳	242	96	62	46	27	5	6
		100.0%	39.7%	25.6%	19.0%	11.2%	2.1%	2.5%
	50歳～59歳	187	90	38	28	17	6	8
		100.0%	48.1%	20.3%	15.0%	9.1%	3.2%	4.3%
	60歳～64歳	82	36	14	20	6	0	6
		100.0%	43.9%	17.1%	24.4%	7.3%	0.0%	7.3%
地区	65歳～69歳	98	44	24	20	7	0	3
		100.0%	44.9%	24.5%	20.4%	7.1%	0.0%	3.1%
	70歳～74歳	113	45	16	33	12	2	5
		100.0%	39.8%	14.2%	29.2%	10.6%	1.8%	4.4%
	75歳以上	218	81	33	67	15	3	19
		100.0%	37.2%	15.1%	30.7%	6.9%	1.4%	8.7%
	無回答	49	14	5	4	5	0	21
		100.0%	28.6%	10.2%	8.2%	10.2%	0.0%	42.9%
	駅東側周辺	217	120	24	39	15	5	14
		100.0%	55.3%	11.1%	18.0%	6.9%	2.3%	6.5%
	駅西側周辺	266	140	39	47	26	3	11
		100.0%	52.6%	14.7%	17.7%	9.8%	1.1%	4.1%
	日出谷地区	283	94	68	83	27	2	9
		100.0%	33.2%	24.0%	29.3%	9.5%	0.7%	3.2%
	坂田地区	266	119	49	59	28	3	8
		100.0%	44.7%	18.4%	22.2%	10.5%	1.1%	3.0%
	加納地区	127	55	27	26	9	5	5
		100.0%	43.3%	21.3%	20.5%	7.1%	3.9%	3.9%
	川田谷地区	109	19	42	32	9	2	5
		100.0%	17.4%	38.5%	29.4%	8.3%	1.8%	4.6%
	無回答	56	19	6	5	5	0	21
		100.0%	33.9%	10.7%	8.9%	8.9%	0.0%	37.5%

3. 桶川市のまちづくりについて

クロス【居住評価・居住意向】／今後の商業地のあり方の方向性

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」、『住みにくい』では「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」が最も高くなっており、次いで「住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』、『転出したい』ともに「桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する」が最も高くなっており、次いで『住み続けたい』では「住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る」、『転出したい』では「幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する」となっている。

		調査数 (N)	桶川駅 周辺 の商業 施設の充 実	幹 線 道 路 沿 い の 商 業 施 設 の 推 進	住宅 地の 近 立 地 に 近 隣 型 商 業 施 設 の 分 散 立 地 を 図 る	現 状 の ま ま で よ い	そ の 他	無 回 答
全体		1,324	566	255	291	119	20	73
		100.0%	42.7%	19.3%	22.0%	9.0%	1.5%	5.5%
居住評価	『住みよい』	684	300	128	139	72	8	37
		100.0%	43.9%	18.7%	20.3%	10.5%	1.2%	5.4%
	ふつう	310	137	58	72	27	3	13
		100.0%	44.2%	18.7%	23.2%	8.7%	1.0%	4.2%
	『住みにくい』	196	78	44	56	7	5	6
		100.0%	39.8%	22.4%	28.6%	3.6%	2.6%	3.1%
	わからない	13	2	4	5	0	2	0
		100.0%	15.4%	30.8%	38.5%	0.0%	15.4%	0.0%
	無回答	121	49	21	19	13	2	17
		100.0%	40.5%	17.4%	15.7%	10.7%	1.7%	14.0%
居住意向	『住み続けたい』	1,069	465	190	243	107	12	52
		100.0%	43.5%	17.8%	22.7%	10.0%	1.1%	4.9%
	『転出したい』	228	96	60	45	11	8	8
		100.0%	42.1%	26.3%	19.7%	4.8%	3.5%	3.5%
	無回答	27	5	5	3	1	0	13
		100.0%	18.5%	18.5%	11.1%	3.7%	0.0%	48.1%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

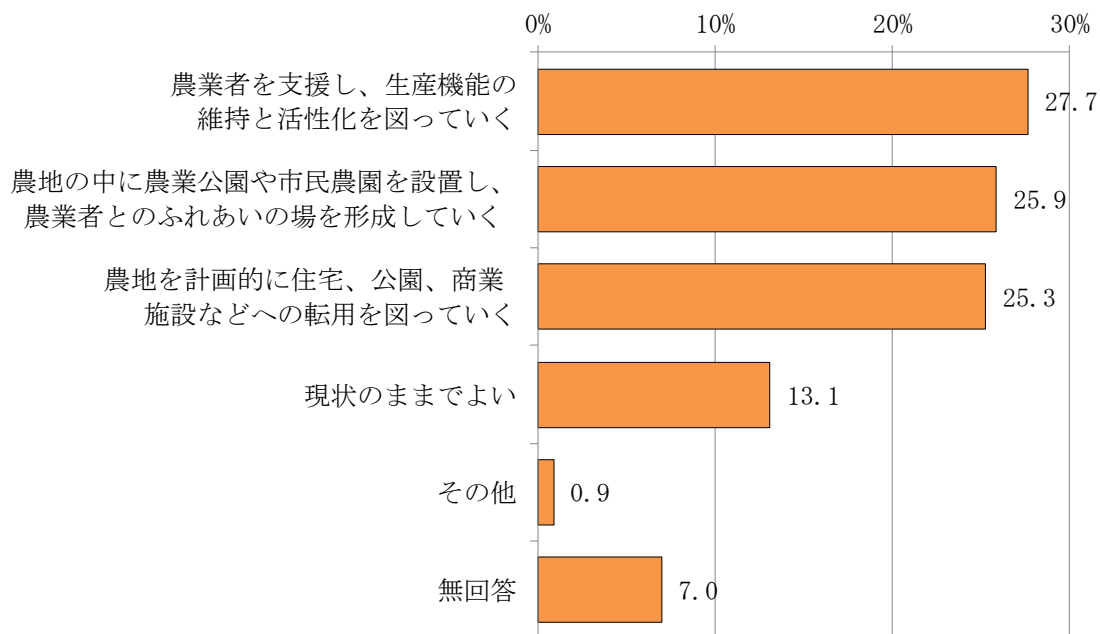
『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

(6) 今後の市街化調整区域のあり方の方向性

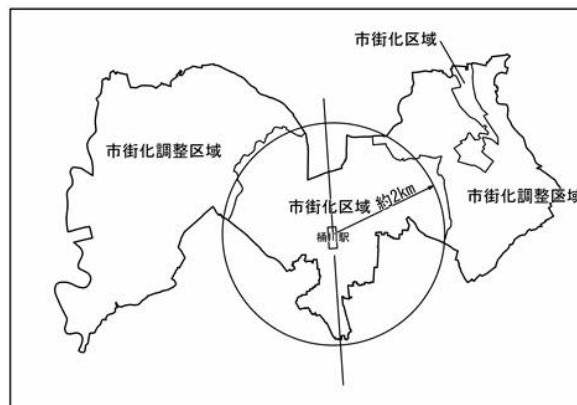
問11 今後の市街化調整区域※のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」の回答が27.7%と最も高くなっており、次いで「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」25.9%、「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」25.3%、「現状のままでよい」13.1%となっている。



※「市街化調整区域」とは「市街化を抑制すべき区域」であり、原則として開発など建築行為が制限されています。一方、市街化区域は、計画的に市街化を促進する区域です。桶川市では、主に駅を中心に2km程度の範囲を市街化区域（一部飛び地あり）、それ以外を市街化調整区域としています。（下図参照）

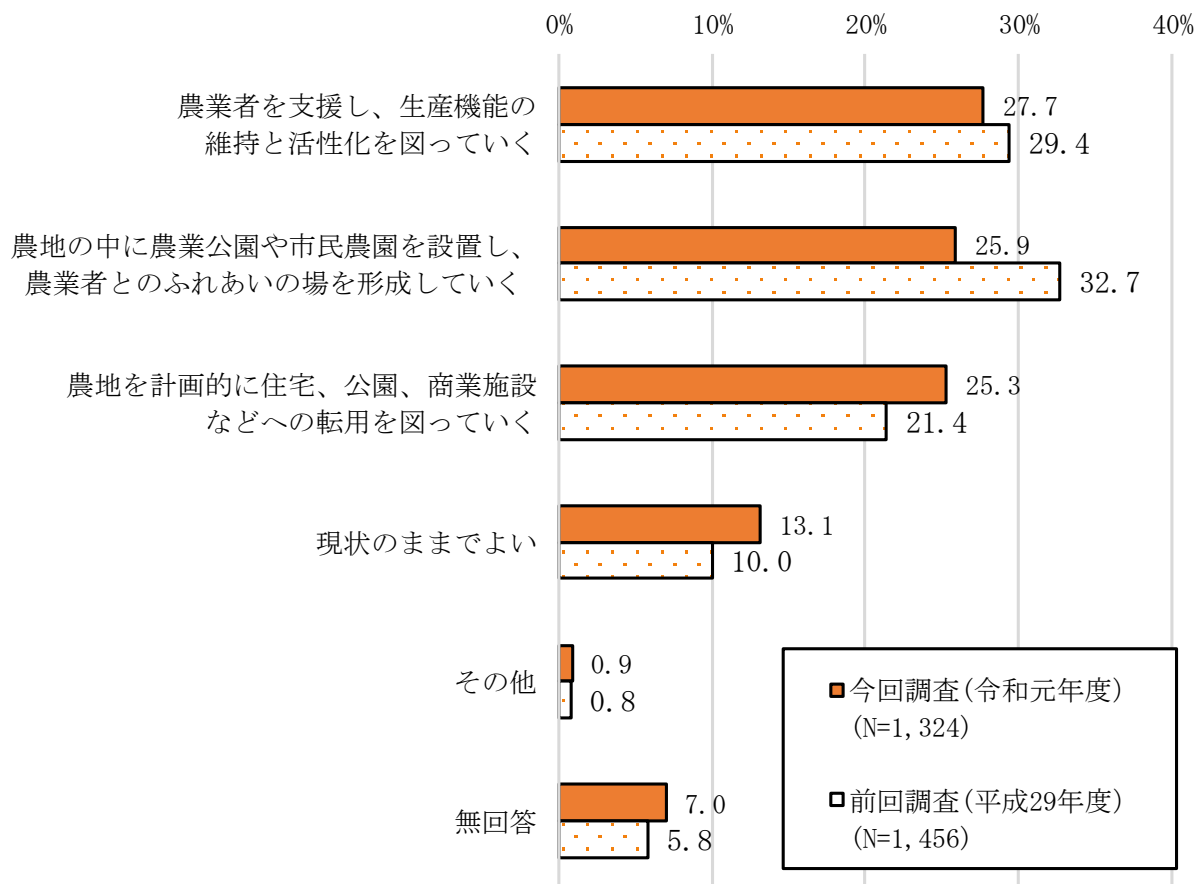


3. 桶川市のまちづくりについて

【経年変化／今後の市街化調整区域のあり方の方向性】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が減少している。

一方で、「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、「現状のままでよい」は増加している。



クロス／今後の市街化調整区域のあり方の方向性

性別で見ると、男性は「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、女性は「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が最も高く、次いで男性・女性ともに「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」となっている。

年齢で見ると、40歳～49歳、65歳～69歳では「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、60～64歳、70歳～74歳では「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、その他の年齢では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、30歳～49歳、65歳～69歳、75歳以上で「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、20歳～39歳、50歳～64歳で「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、40歳～49歳、70歳～74歳で「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」、日出谷地区、坂田地区では「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、加納地区、川田谷地区では「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、駅西側周辺においては「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、日出谷地区においては「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」、その他の地区においては「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」となっている。

		調査数 (N)	農業 者との ふれあ いの場 を形成 していく	農業 者との ふれあ いの場 を形成 していく	農業 者との ふれあ いの場 を形成 していく	農業 者との ふれあ いの場 を形成 していく	農業 者との ふれあ いの場 を形成 していく	農業 者との ふれあ いの場 を形成 していく
性別	全体	1,324	367	343	335	174	12	93
		100.0%	27.7%	25.9%	25.3%	13.1%	0.9%	7.0%
	男性	567	146	156	158	77	7	23
		100.0%	25.7%	27.5%	27.9%	13.6%	1.2%	4.1%
性別	女性	700	209	180	164	94	5	48
		100.0%	29.9%	25.7%	23.4%	13.4%	0.7%	6.9%
	無回答	57	12	7	13	3	0	22
		100.0%	21.1%	12.3%	22.8%	5.3%	0.0%	38.6%
年齢	18歳～19歳	42	15	11	5	10	0	1
		100.0%	35.7%	26.2%	11.9%	23.8%	0.0%	2.4%
	20歳～29歳	127	37	29	33	26	1	1
		100.0%	29.1%	22.8%	26.0%	20.5%	0.8%	0.8%
	30歳～39歳	166	49	44	44	24	3	2
		100.0%	29.5%	26.5%	26.5%	14.5%	1.8%	1.2%
	40歳～49歳	242	63	63	66	40	1	9
		100.0%	26.0%	26.0%	27.3%	16.5%	0.4%	3.7%
	50歳～59歳	187	66	43	44	22	2	10
		100.0%	35.3%	23.0%	23.5%	11.8%	1.1%	5.3%
	60歳～64歳	82	20	28	22	6	0	6
		100.0%	24.4%	34.1%	26.8%	7.3%	0.0%	7.3%
地区	65歳～69歳	98	20	26	34	11	0	7
		100.0%	20.4%	26.5%	34.7%	11.2%	0.0%	7.1%
	70歳～74歳	113	29	38	27	10	1	8
		100.0%	25.7%	33.6%	23.9%	8.8%	0.9%	7.1%
	75歳以上	218	56	55	53	23	4	27
		100.0%	25.7%	25.2%	24.3%	10.6%	1.8%	12.4%
	無回答	49	12	6	7	2	0	22
		100.0%	24.5%	12.2%	14.3%	4.1%	0.0%	44.9%
	駅東側周辺	217	72	53	49	24	2	17
		100.0%	33.2%	24.4%	22.6%	11.1%	0.9%	7.8%
	駅西側周辺	266	84	81	47	36	3	15
		100.0%	31.6%	30.5%	17.7%	13.5%	1.1%	5.6%
	日出谷地区	283	76	79	78	41	0	9
		100.0%	26.9%	27.9%	27.6%	14.5%	0.0%	3.2%
	坂田地区	266	67	80	65	39	2	13
		100.0%	25.2%	30.1%	24.4%	14.7%	0.8%	4.9%
	加納地区	127	34	25	38	19	4	7
		100.0%	26.8%	19.7%	29.9%	15.0%	3.1%	5.5%
	川田谷地区	109	21	17	49	12	1	9
		100.0%	19.3%	15.6%	45.0%	11.0%	0.9%	8.3%
	無回答	56	13	8	9	3	0	23
		100.0%	23.2%	14.3%	16.1%	5.4%	0.0%	41.1%

3. 桶川市のまちづくりについて

クロス【居住評価・居住意向】／今後の市街化調整区域のあり方の方向性

居住評価で見ると、『住みよい』、「ふつう」では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が、『住みにくい』では「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」が、それぞれ最も高くなっている。次いで『住みよい』、「ふつう」では「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、『住みにくい』では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」となっている。

居住意向で見ると、『住み続けたい』では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」が、『転出したい』では「農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく」が最も高くなっており、次いで『住み続けたい』では「農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく」、『転出したい』では「農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく」となっている。

		調査数 (N)	農業者を支援し、 生産機能の維持と 活性化	農地の中に農業公園 や市民農園を設置 し、農業者とのふれ あいの場を形成して いく	農地を計画的に住宅、 公園、商業施設など への転用を図っていく	現状のままでよい	その他	無 回 答
全体		1,324	367	343	335	174	12	93
		100.0%	27.7%	25.9%	25.3%	13.1%	0.9%	7.0%
居住評価	『住みよい』	684	194	182	166	89	7	46
		100.0%	28.4%	26.6%	24.3%	13.0%	1.0%	6.7%
	ふつう	310	94	87	60	51	1	17
		100.0%	30.3%	28.1%	19.4%	16.5%	0.3%	5.5%
	『住みにくい』	196	47	43	76	18	3	9
		100.0%	24.0%	21.9%	38.8%	9.2%	1.5%	4.6%
	わからない	13	4	3	5	0	0	1
		100.0%	30.8%	23.1%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%
	無回答	121	28	28	28	16	1	20
		100.0%	23.1%	23.1%	23.1%	13.2%	0.8%	16.5%
居住意向	『住み続けたい』	1,069	297	290	260	147	7	68
		100.0%	27.8%	27.1%	24.3%	13.8%	0.7%	6.4%
	『転出したい』	228	68	48	70	26	5	11
		100.0%	29.8%	21.1%	30.7%	11.4%	2.2%	4.8%
	無回答	27	2	5	5	1	0	14
		100.0%	7.4%	18.5%	18.5%	3.7%	0.0%	51.9%

*居住評価の『住みよい』は「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計を表す。

『住みにくい』は「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計を表す。

*居住意向の『住み続けたい』は「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計を表す。

『転出したい』は「事情が許せば転出したい」と「転出するつもりでいる」の合計を表す。

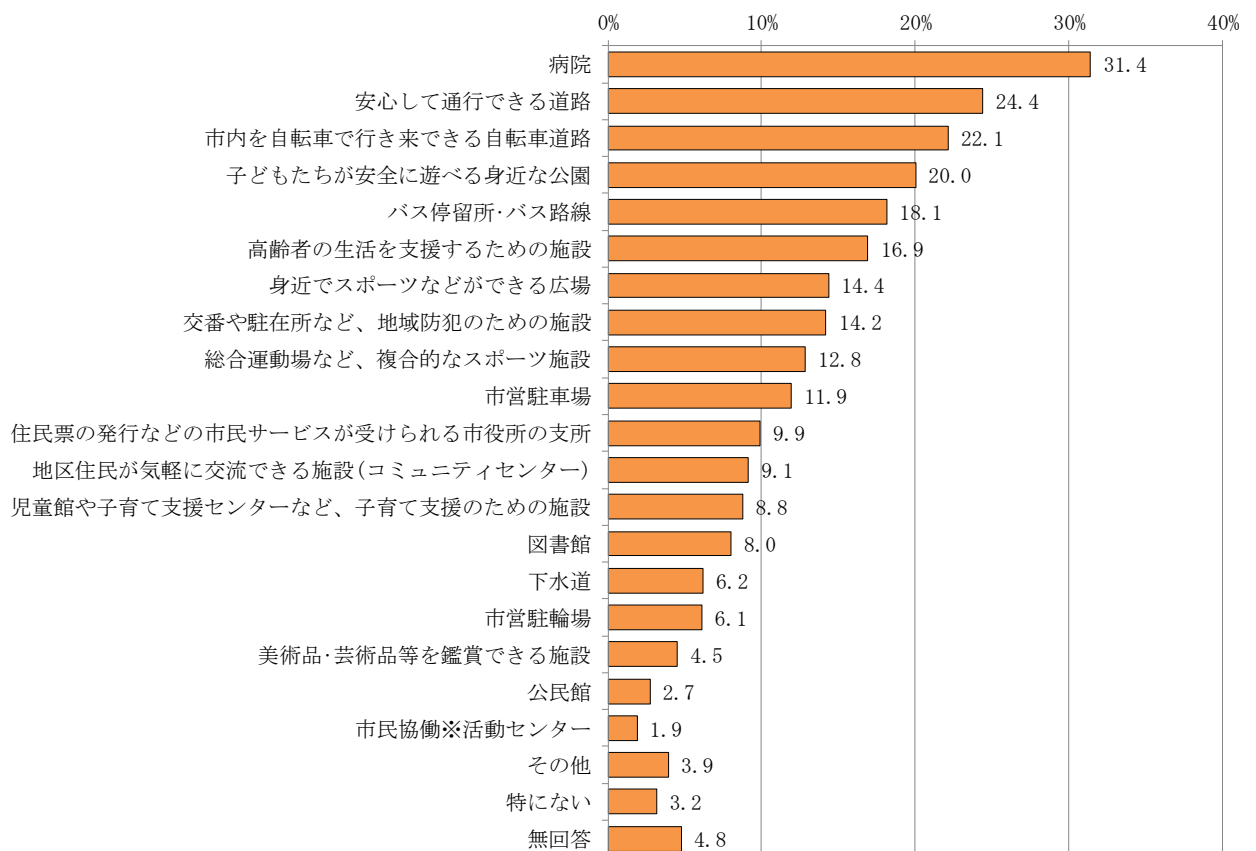
4. 分野ごとの状況について

(1) 都市整備

問12 お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設等がありますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「病院」の回答が31.4%と最も高くなっている。次いで、「安心して通行できる道路」24.4%、「市内を自転車で行き来できる自転車道路」22.1%となっている。



(N=1,324)

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

4. 分野ごとの状況について

【経年変化／都市整備】

市内で整備を望む公共施設について前回調査（平成29年度）と比較すると、「バス停留所・バス路線」、「身近でスポーツなどができる広場」、「交番や駐在所など、地域防犯のための施設」の順位が上がっている。また、上位全項目については前回調査（平成29年度）と同じ項目となっている。

上位10項目内での変動はあったが、11位以下との入れ替えはなかった。

前回調査 (平成29年度)			今回調査 (令和元年度)			H29との 順位比較
1位	病院	34.6%	1位	病院	31.4%	→
2位	安心して通行できる道路	26.2%	2位	安心して通行できる道路	24.4%	→
3位	市内を自転車で行き来できる自転車道路	21.0%	3位	市内を自転車で行き来できる自転車道路	22.1%	→
4位	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	19.9%	4位	子どもたちが安全に遊べる身近な公園	20.0%	→
5位	高齢者の生活を支援するための施設	18.2%	5位	バス停留所・バス路線	18.1%	↑
6位	バス停留所・バス路線	16.1%	6位	高齢者の生活を支援するための施設	16.9%	↓
7位	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	15.1%	7位	身近でスポーツなどができる広場	14.4%	↑
8位	身近でスポーツなどができる広場	13.9%	8位	交番や駐在所など、地域防犯のための施設	14.2%	↑
9位	交番や駐在所など、地域防犯のための施設	12.4%	9位	総合運動場など、複合的なスポーツ施設	12.8%	↓
10位	市営駐車場	11.7%	10位	市営駐車場	11.9%	→

4. 分野ごとの状況について

クロス／都市整備

性別で見ると、男性・女性ともに「病院」が最も高く、次いで「安心して通行できる道路」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「身近でスポーツなどができる広場」、20歳～29歳では「安心して通行できる道路」、30歳～39歳では「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」、70歳～74歳では「高齢者の生活を支援するための施設」、その他の年齢では「病院」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「総合運動場など、複合的なスポーツ施設」、20歳～29歳、40歳～49歳、65歳～69歳では「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」、30歳～64歳では「安心して通行できる道路」、60歳～64歳、75歳以上では「高齢者の生活を支援するための施設」、65歳～74歳では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」、65歳～69歳では「バス停留所・バス路線」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、加納地区では「安心して通行できる道路」、駅西側周辺、日出谷地区、坂田地区では「病院」、川田谷地区では「バス停留所・バス路線」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺及び川田谷地区では「病院」、駅西側周辺では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」、日出谷地区では「バス停留所・バス路線」、坂田地区では「市内を自転車で行き来できる自転車道路」及び「安心して通行できる道路」、加納地区では「子どもたちが安全に遊べる身近な公園」及び「市内を自転車で行き来できる自転車道路」となっている。

		調査数 (N)	市営駐 車場	市営駐 輪場	公民館	市民協 働活動セ ンター	地区住民が気軽に交流で きる施設（コミュニティ センター）	図書館	総合運 動場など、複 合的 なスポ ーツ施 設	身近でス ポーツな どがで きる広 場	子ど もたちが安全に遊 べる近 所公園	病 院	た めの施 設	高 齢者の生活を支援する ための施設	住 民票の発行などの市民 サービスの受けられる市 役所の支所	美 術品・芸術品等を鑑賞 できる施設	市内を自転車で行き来 できる自転車道路	防犯や駐在所など、地 域 交番のたの施設	バ ス停 留所・バ ス路 線	安 心して通行できる道 路	児 童館や子育て支援セン ターなど、子育て支援 のための施設	下 水道	そ の 他	特 に な い	無 回 答
性別	全体	1,324	158	81	36	25	121	106	170	190	265	416	224	131	60	293	188	240	323	116	82	52	42	63	
		100.0%	11.9%	6.1%	2.7%	1.9%	9.1%	8.0%	12.8%	14.4%	20.0%	31.4%	16.9%	9.9%	4.5%	22.1%	14.2%	18.1%	24.4%	8.8%	6.2%	3.9%	3.2%	4.8%	
	男性	567	78	39	14	13	60	51	93	93	93	163	102	55	31	124	82	91	137	38	30	31	17	16	
		100.0%	13.8%	6.9%	2.5%	2.3%	10.6%	9.0%	16.4%	16.4%	16.4%	28.7%	18.0%	9.7%	5.5%	21.9%	14.5%	16.0%	24.2%	6.7%	5.3%	5.5%	3.0%	2.8%	
	女性	700	78	38	21	12	60	49	74	90	163	241	118	71	27	160	102	141	181	76	50	19	23	27	
		100.0%	11.1%	5.4%	3.0%	1.7%	8.6%	7.0%	10.6%	12.9%	23.3%	34.4%	16.9%	10.1%	3.9%	22.9%	14.6%	20.1%	25.9%	10.9%	7.1%	2.7%	2.3%	3.9%	
	無回答	57	2	4	1	0	1	6	3	7	9	12	4	5	2	9	4	8	5	2	2	2	2	20	
		100.0%	3.5%	7.0%	1.8%	0.0%	1.8%	10.5%	5.3%	12.3%	15.8%	21.1%	7.0%	8.8%	3.5%	15.8%	7.0%	14.0%	8.8%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%	35.1%	
	18歳～19歳	42	2	0	3	0	0	10	12	14	11	7	3	4	0	0	8	4	8	8	3	3	5	2	0
		100.0%	4.8%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	23.8%	28.6%	33.3%	26.2%	16.7%	7.1%	9.5%	0.0%	19.0%	9.5%	19.0%	19.0%	7.1%	7.1%	11.9%	4.8%	0.0%	
年齢	20歳～29歳	127	25	15	5	2	5	16	23	27	29	26	8	6	6	21	16	21	37	17	3	9	7	1	
		100.0%	19.7%	11.8%	3.9%	1.6%	3.9%	12.6%	18.1%	21.3%	22.8%	20.5%	6.3%	4.7%	4.7%	16.5%	12.6%	16.5%	29.1%	13.4%	2.4%	7.1%	5.5%	0.8%	
	30歳～39歳	166	18	14	2	2	6	14	31	23	60	50	8	16	8	34	25	26	52	34	5	4	5	2	
		100.0%	10.8%	8.4%	1.2%	1.2%	3.6%	8.4%	18.7%	13.9%	36.1%	30.1%	4.8%	9.6%	4.8%	20.5%	15.1%	15.7%	31.3%	20.5%	3.0%	2.4%	3.0%	1.2%	
	40歳～49歳	242	31	20	3	3	13	21	40	42	54	69	24	28	9	44	39	53	54	17	17	14	10	7	
		100.0%	12.8%	8.3%	1.2%	1.2%	5.4%	8.7%	16.5%	17.4%	22.3%	28.5%	9.9%	11.6%	3.7%	18.2%	16.1%	21.9%	22.3%	7.0%	7.0%	5.8%	4.1%	2.9%	
	50歳～59歳	187	22	10	7	2	12	14	22	13	23	80	33	17	10	47	27	37	49	13	17	6	3	8	
		100.0%	11.8%	5.3%	3.7%	1.1%	6.4%	7.5%	11.8%	7.0%	12.3%	42.8%	17.6%	9.1%	5.3%	25.1%	14.4%	19.8%	26.2%	7.0%	9.1%	3.2%	1.6%	4.3%	
	60歳～64歳	82	7	3	3	5	12	4	9	9	12	34	20	7	5	19	12	14	20	6	8	1	2	5	
		100.0%	8.5%	3.7%	3.7%	6.1%	14.6%	4.9%	11.0%	11.0%	14.6%	41.5%	24.4%	8.5%	6.1%	23.2%	14.6%	17.1%	24.4%	7.3%	9.8%	1.2%	2.4%	6.1%	
65歳～69歳	98	12	3	2	1	11	7	10	17	23	35	21	15	5	23	12	23	22	7	10	3	2	1		
	100.0%	12.2%	3.1%	2.0%	1.0%	11.2%	7.1%	10.2%	17.3%	23.5%	35.7%	21.4%	15.3%	5.1%	23.5%	12.2%	23.5%	22.4%	7.1%	10.2%	3.1%	2.0%	1.0%		
地区	70歳～74歳	113	15	6	3	3	17	5	7	15	21	30	32	14	7	31	18	17	22	7	7	2	3	6	
		100.0%	13.3%	5.3%	2.7%	2.7%	15.0%	4.4%	6.2%	13.3%	18.6%	26.5%	28.3%	12.4%	6.2%	27.4%	15.9%	15.0%	19.5%	6.2%	6.2%	1.8%	2.7%	5.3%	
	75歳以上	218	24	8	7	7	44	12	14	24	22	76	72	19	9	58	32	35	54	10	9	6	8	13	
		100.0%	11.0%	3.7%	3.2%	3.2%	20.2%	5.5%	6.4%	11.0%	10.1%	34.9%	33.0%	8.7%	4.1%	26.6%	14.7%	16.1%	24.8%	4.6%	4.1%	2.8%	3.7%	6.0%	
	無回答	49	2	2	1	0	1	3	2	6	10	9	3	5	1	8	3	6	5	2	2	3	2	0	
		100.0%	4.1%	4.1%	2.0%	0.0%	2.0%	6.1%	4.1%	12.2%	20.4%	18.4%	6.1%	10.2%	2.0%	16.3%	6.1%	12.2%	10.2%	4.1%	6.1%	4.1%	0.0%	40.8%	
	駅東側 周辺	217	21	19	5	4	20	13	25	38	59	66	27	11	10	52	28	18	73	19	5	10	12	9	
		100.0%	9.7%	8.8%	2.3%	1.8%	9.2%	6.0%	11.5%	17.5%	27.2%	30.4%	12.4%	5.1%	4.6%	24.0%	12.9%	8.3%	33.6%	8.8%	2.3%	4.6%	5.5%	4.1%	
	駅西側 周辺	266	23	17	9	4	32	29	37	39	46	92	62	13	14	64	31	42	60	24	8	8	4	11	
		100.0%	8.6%	6.4%	3.4%	1.5%	12.0%	10.9%	13.9%	14.7%	17.3%	34.6%	23.3%	4.9%	5.3%	24.1%	11.7%	15.8%	22.6%	9.0%	3.0%	3.0%	1.5%	4.1%	
日出谷 地区	283	37	10	8	5	29	28	40	37	58	104	48	15	13	52	62	70	60	20	15	6	10	6		
	100.0%	13.1%	3.5%	2.8%	1.8%	10.2%	9.9%	14.1%	13.1%	20.5%	36.7%	17.0%	5.9%	4.6%	18.4%	21.9%	24.7%	21.2%	7.1%	5.3%	2.1%	3.5%	2.1%		
坂田 地区	266	47	23	10	9	17	18	36	35	46	89	40	55	14	65	36	48	65	30	7	11	4	7		
	100.0%	17.7%	8.6%	3.8%	3.4%	6.4%	6.8%	13.5%	13.2%	17.3%	33.5%	15.0%	20.7%	5.3%	24.4%	13.5%	18.0%	24.4%	11.3%	2.6%	4.1%	1.5%	2.6%		
加納 地区	127	19	9	2	2	14	9	16	23	28	26	17	18	4	28	17	20	32	11	18	6	5	5		
	100.0%	15.0%	7.1%	1.6%	1.6%	11.0%	7.1%	12.6%	18.1%	22.0%	20.5%	13.4%	14.2%	3.1%	22.0%	13.4%	15.7%	25.2%	8.7%	14.2%	4.7%	3.7%	3.9%		
川田谷 地区	109	7	0	1	1	6	6	14	11	16	29	25	14	4	22	10	35	25	10	26	9	7	4		
	100.0%	6.4%	0.0%	0.9%	0.9%	5.5%	5.5%	12.8%	10.1%	14.7%	26.6%	22.9%	12.8%	3.7%	20.2%	9.2%	32.1%	22.9%	9.2%	23.9%	8.3%	6.4%	3.7%		
無回答	56	4	3	1	0	3	3	2	7	12	10	5	5	1	10	4	7	8	2	3	2	0	21		
	100.0%	7.1%	5.4%	1.8%	0.0%	5.4%	5.4%	3.6%	12.5%	21.4%	17.9%	8.9%	8.9%	1.8%	17.9%	7.1%	12.5%	14.3%	3.6%	5.4%	3.6%	0.0%	37.5%		

4. 分野ごとの状況について

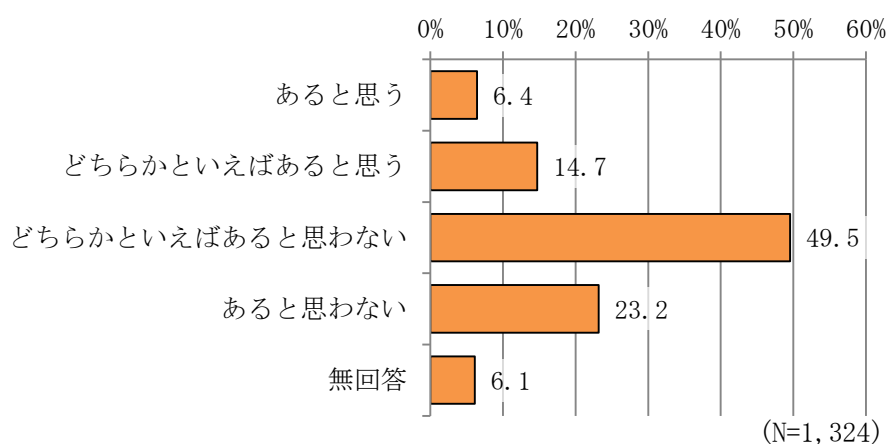
(2) 景観

問13 あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

全 体

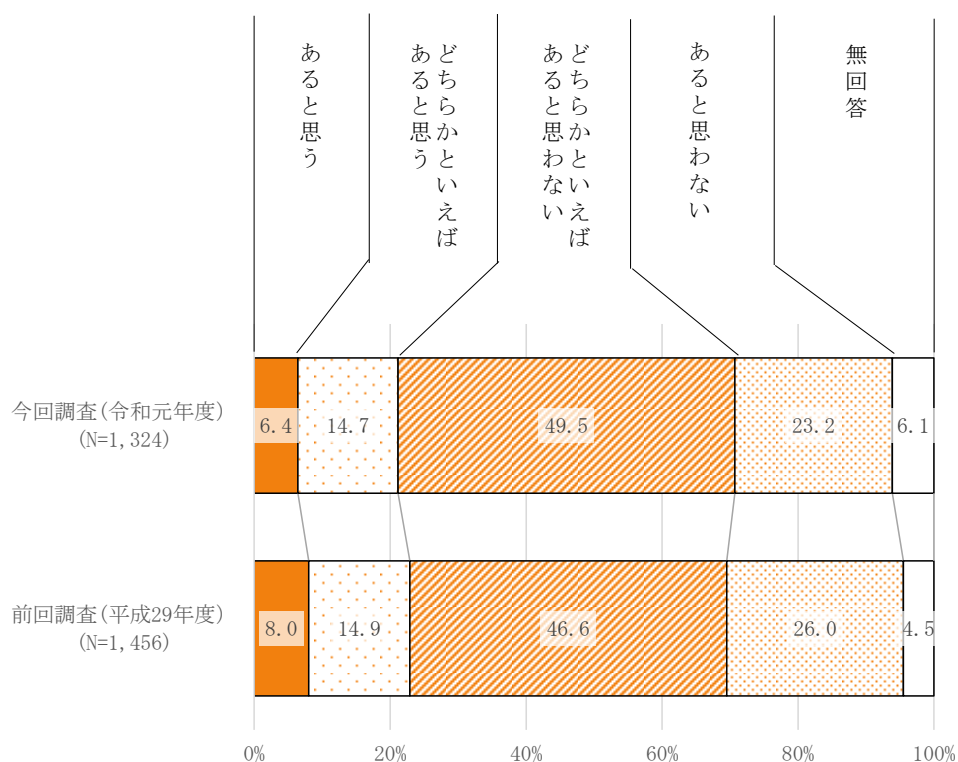
「どちらかといえばあると思わない」との回答が49.5%と最も高くなっており、次いで「あると思わない」23.2%、「どちらかといえばあると思う」14.7%となっている。

『あると思わない』（「どちらかといえばあると思わない」＋「あると思わない」）は、72.7%となっている。



【経年変化／景観】

「どちらかといえばあると思わない」が前回調査（平成29年度）より増加したものの、「あると思わない」は減少している。また、「あると思う」、「どちらかといえばあると思う」は減少している。



クロス／景観

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばあると思わない」が最も高くなっており、次いで「あると思わない」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばあると思わない」が最も多くなっており、次いで18～19歳、50歳～59歳、60歳～64歳では「どちらかといえばあると思う」、その他の年齢では「あると思わない」となっている。

地区で見ると、全地区で「どちらかといえばあると思わない」が最も多く、次いで川田谷地区では「どちらかといえばあると思う」、その他の地区では「あると思わない」となっている。

		調査数 (N)	ある と思う	あ ど ち ら か と い え ば	あ ど ち ら か と い え ば	ある と思 わ ない	無 回 答
全体		1,324	85	195	656	307	81
		100.0%	6.4%	14.7%	49.5%	23.2%	6.1%
性別	男性	567	43	85	276	142	21
		100.0%	7.6%	15.0%	48.7%	25.0%	3.7%
	女性	700	40	103	366	152	39
		100.0%	5.7%	14.7%	52.3%	21.7%	5.6%
	無回答	57	2	7	14	13	21
		100.0%	3.5%	12.3%	24.6%	22.8%	36.8%
年齢	18歳～19歳	42	0	9	25	7	1
		100.0%	0.0%	21.4%	59.5%	16.7%	2.4%
	20歳～29歳	127	7	22	72	25	1
		100.0%	5.5%	17.3%	56.7%	19.7%	0.8%
	30歳～39歳	166	9	20	76	57	4
		100.0%	5.4%	12.0%	45.8%	34.3%	2.4%
	40歳～49歳	242	18	30	134	51	9
		100.0%	7.4%	12.4%	55.4%	21.1%	3.7%
	50歳～59歳	187	13	34	100	31	9
		100.0%	7.0%	18.2%	53.5%	16.6%	4.8%
	60歳～64歳	82	10	14	40	13	5
		100.0%	12.2%	17.1%	48.8%	15.9%	6.1%
地区	65歳～69歳	98	6	16	54	19	3
		100.0%	6.1%	16.3%	55.1%	19.4%	3.1%
	70歳～74歳	113	4	11	61	31	6
		100.0%	3.5%	9.7%	54.0%	27.4%	5.3%
	75歳以上	218	16	34	82	63	23
		100.0%	7.3%	15.6%	37.6%	28.9%	10.6%
	無回答	49	2	5	12	10	20
		100.0%	4.1%	10.2%	24.5%	20.4%	40.8%
	駅東側周辺	217	13	32	92	63	17
		100.0%	6.0%	14.7%	42.4%	29.0%	7.8%
	駅西側周辺	266	13	38	148	54	13
		100.0%	4.9%	14.3%	55.6%	20.3%	4.9%
	日出谷地区	283	18	57	137	63	8
		100.0%	6.4%	20.1%	48.4%	22.3%	2.8%
	坂田地区	266	11	36	141	70	8
		100.0%	4.1%	13.5%	53.0%	26.3%	3.0%
	加納地区	127	12	6	71	30	8
		100.0%	9.4%	4.7%	55.9%	23.6%	6.3%
	川田谷地区	109	16	21	49	17	6
		100.0%	14.7%	19.3%	45.0%	15.6%	5.5%
	無回答	56	2	5	18	10	21
		100.0%	3.6%	8.9%	32.1%	17.9%	37.5%

4. 分野ごとの状況について

問14 問13で、「1. あると思う」あるいは「2. どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

全 体

市内各地から眺める富士山などの「眺望景観」に関する意見が最も多く、次いで「城山公園」に関して、桜堤や自然の豊かさなどといった「自然・河川」に関して、古い街並みが残る「中山道・宿場町」に関して、「荒川及びその周辺」に関することが主なところである。

【主な意見】

眺望景観について※富士山を除く（１０件）	
・滝の宮から見る夕日の素晴らしい景観 ・太郎右衛門橋から川島町に向いてみる秩父連山 ・サイクリングロードから見た秩父の山々 ・空が広い場所が多い	等
富士山に関する景観について（４６件）	
・近くで富士山が見える ・紅花陸橋や太郎衛門橋から見える富士山や秩父連山は最高です。 ・富士山が好きで、桶川から良く見える所が沢山あります。川田谷から… べにばな歩道橋… 上越新幹線の方は日光男体山、富士山となかなか桶川は景観の良い所だと思います。 ・市役所や紅花陸橋から見る富士山 ・川田谷地区からみた冬の富士山、秩父連山	等
城山公園について（３９件）	
・城山公園は広く自然が美しい。 ・城山公園の桜 ・城山公園周辺（川田谷）などの自然豊かな景観は心が和み、今後も守っていきべき景観（地域）だなと感じます。 ・城山公園の桜やチューリップ ・城山公園付近の河津桜	等
自然・河川について（３７件）	
・自然が豊かで野鳥がいる。この豊かさを失いたくない。 ・赤堀川や工業団地付近の散策路や桜 ・上日出谷と川田谷の間の江川のあたりは、いろいろな鳥などがいて、散歩するのにとても良い。川を少し広げてより散歩しやすいようにして欲しい。 ・篠津の桜堤が綺麗だと思います。	等
中山道・宿場町について（３１件）	
・桶川宿、夏祭りの中山道 ・宿場町の古い建築物群 ・旧中山道沿いの蔵、レンガ造りの建物、獅子舞 ・中仙道、祇園祭	等

荒川及びその周辺について（２８件）	
・荒川沿いの遊歩道（富士山が見える） ・荒川の流れ、田んぼ、富士山の美しさも良い。 ・荒川の土手、河川敷からの景色（空、富士山） ・荒川、元荒川の流れ及び川岸、堤	等
駅西口公園、市民ホールについて（１９件）	
・駅からすぐの西口公園ホールの景観 ・桶川駅西口の市民ホール付近の景観は素晴らしい ・桶川駅、クリスマスのライトアップが見事 ・駅前のイルミネーション。駅前ロータリーの花壇	等
田畑・田園風景について（１７件）	
・夕日が素晴らしい。田畑のカルガモに癒される。 ・べに花畑 ・田畑や川など自然が沢山ある。	等
ホンダエアポート・旧陸軍桶川飛行場について（１６件）	
・ホンダエアポート近辺の景観 ・熊谷飛行学校桶川分教場 ・飛行場付近など、緑の多さに桶川を感じる。 ・ホンダエアポート、天気の良い日、春など良い写真が撮れると思う。	等
川田谷・加納地区の景観について（１４件）	
・川田谷の消防署付近の高地からの眺めは良いと思います。 ・川田谷の荒川から見る秩父の山々や、春になると桜や菜の花が咲く景観 ・加納、川田谷地区などの季節感のある景色を残して欲しい。桜、紅葉を少しずつ増やして市民の憩いの場となっていくことを希望します。 ・早朝に氷川神社方面から見える山々が綺麗。川田谷など、まだまだ自然が沢山ある。	等
街並みについて（１３件）	
・工業地、商業地もありながら、且つ緑地域も残っていること ・高速道路のインターが２つあり、付近の道路は広く綺麗 ・駅東側と西側でのコンセプトの違いがある景観設定。東＝商店、大きい道路、活発なイメージ。西＝田舎、ゆったり、工業地 ・落ち着いた雰囲気と、夕暮れに照らされた街	等
道路・街路樹について（１２件）	
・市民ホールから桶川駅までの一本道 ・桶川駅（西口）を背にして市民ホール方面のケヤキがある街並み ・太郎右衛門橋の周辺など ・道路の脇に木々が植えてある	等

4. 分野ごとの状況について

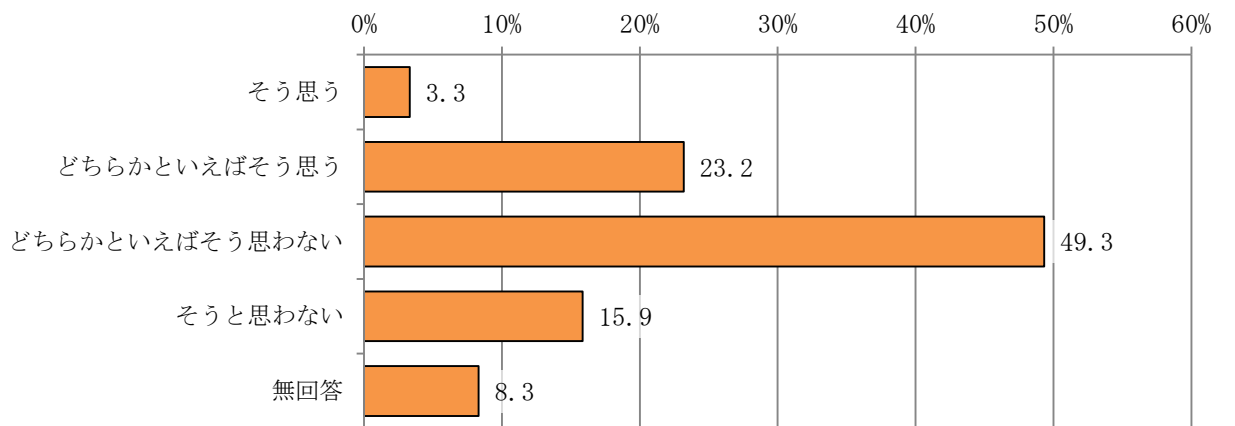
寺社仏閣について（１０件）	
・明星院、多気比売神社 ・普門寺のしだれ桜、原山古墳 ・明星院の桜 ・氷川神社と江川周辺の景色	等
泉福寺について（８件）	
・泉福寺周辺 ・川田谷泉福寺の庭園 ・泉福寺付近の広々とした雰囲気	等
べに花ふるさと館について（７件）	
・べに花ふるさと館	
公園・公共施設について（３件）	
・城山公園など自然と共に子供も大人もホッとできる公園を大切にしたいですね。 ・桜が綺麗な公園 ・公園の充実	

(3) 協働と参画のまちづくり

問15 あなたは、桶川市では、協働※のまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「どちらかといえばそう思わない」との回答が49.3%と最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思う」23.2%、「そうと思わない」15.9%となっている。「そう思う」との回答は3.3%である。『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そうと思わない」）は65.2%となっている。

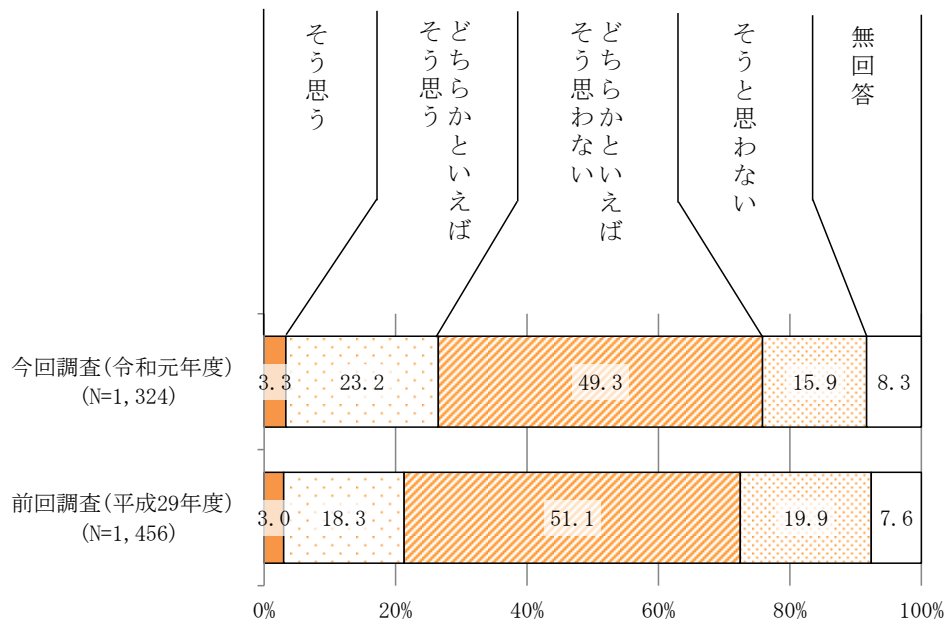


(N=1,324)

【経年変化／協働と参画のまちづくり】

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が前回調査（平成29年度）より増加している。

一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そうと思わない」は前回調査（平成29年度）より減少している。



※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

4. 分野ごとの状況について

クロス／協働と参画のまちづくり

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思わない」が半数程度と最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思う」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっており、次いで70歳～74歳では「そうと思わない」、それ以外の年齢では「どちらかといえばそう思う」となっている。

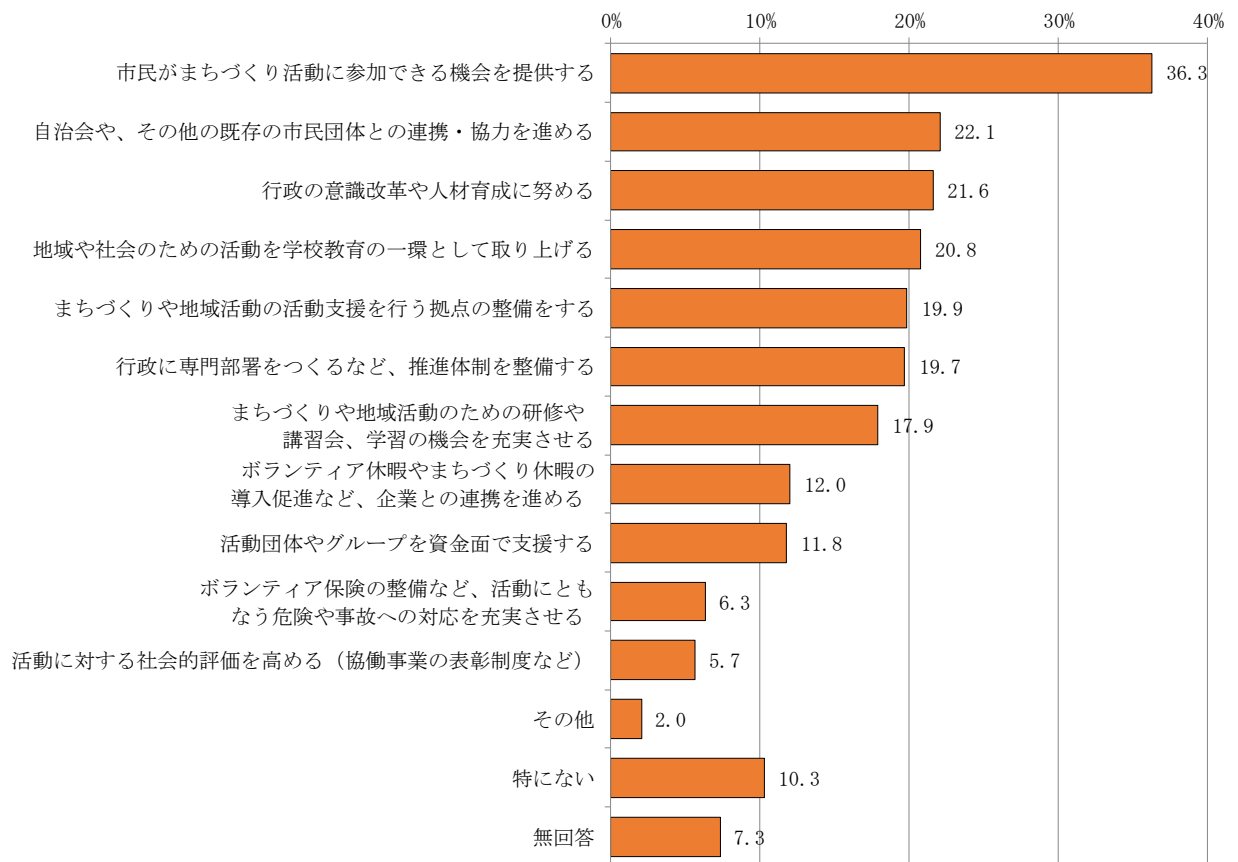
地区で見ると、全地区で「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっており、次いで駅東側周辺では「そうは思わない」、その他の地区では「どちらかといえばそう思う」となっている。

		調査数 (N)	そう 思う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う と 思 わ な い	無 回 答
全体		1,324	44	307	653	210	110
		100.0%	3.3%	23.2%	49.3%	15.9%	8.3%
性別	男性	567	21	136	277	96	37
		100.0%	3.7%	24.0%	48.9%	16.9%	6.5%
	女性	700	22	164	362	103	49
		100.0%	3.1%	23.4%	51.7%	14.7%	7.0%
	無回答	57	1	7	14	11	24
		100.0%	1.8%	12.3%	24.6%	19.3%	42.1%
年齢	18歳～19歳	42	3	12	22	4	1
		100.0%	7.1%	28.6%	52.4%	9.5%	2.4%
	20歳～29歳	127	4	44	67	8	4
		100.0%	3.1%	34.6%	52.8%	6.3%	3.1%
	30歳～39歳	166	4	37	90	33	2
		100.0%	2.4%	22.3%	54.2%	19.9%	1.2%
	40歳～49歳	242	7	61	126	41	7
		100.0%	2.9%	25.2%	52.1%	16.9%	2.9%
	50歳～59歳	187	4	42	104	28	9
		100.0%	2.1%	22.5%	55.6%	15.0%	4.8%
	60歳～64歳	82	3	17	46	13	3
		100.0%	3.7%	20.7%	56.1%	15.9%	3.7%
	65歳～69歳	98	3	20	50	16	9
		100.0%	3.1%	20.4%	51.0%	16.3%	9.2%
	70歳～74歳	113	2	21	49	23	18
		100.0%	1.8%	18.6%	43.4%	20.4%	15.9%
	75歳以上	218	14	47	87	36	34
		100.0%	6.4%	21.6%	39.9%	16.5%	15.6%
	無回答	49	0	6	12	8	23
		100.0%	0.0%	12.2%	24.5%	16.3%	46.9%
地区	駅東側周辺	217	10	40	103	45	19
		100.0%	4.6%	18.4%	47.5%	20.7%	8.8%
	駅西側周辺	266	7	61	146	37	15
		100.0%	2.6%	22.9%	54.9%	13.9%	5.6%
	日出谷地区	283	7	72	138	46	20
		100.0%	2.5%	25.4%	48.8%	16.3%	7.1%
	坂田地区	266	12	63	141	40	10
		100.0%	4.5%	23.7%	53.0%	15.0%	3.8%
	加納地区	127	5	33	62	18	9
		100.0%	3.9%	26.0%	48.8%	14.2%	7.1%
	川田谷地区	109	3	30	48	16	12
		100.0%	2.8%	27.5%	44.0%	14.7%	11.0%
	無回答	56	0	8	15	8	25
		100.0%	0.0%	14.3%	26.8%	14.3%	44.6%

問16 今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことはなんだと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」との回答が36.3%と最も高くなっている。次いで「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」22.1%、「行政の意識改革や人材育成に努める」21.6%、「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」20.8%となっている。



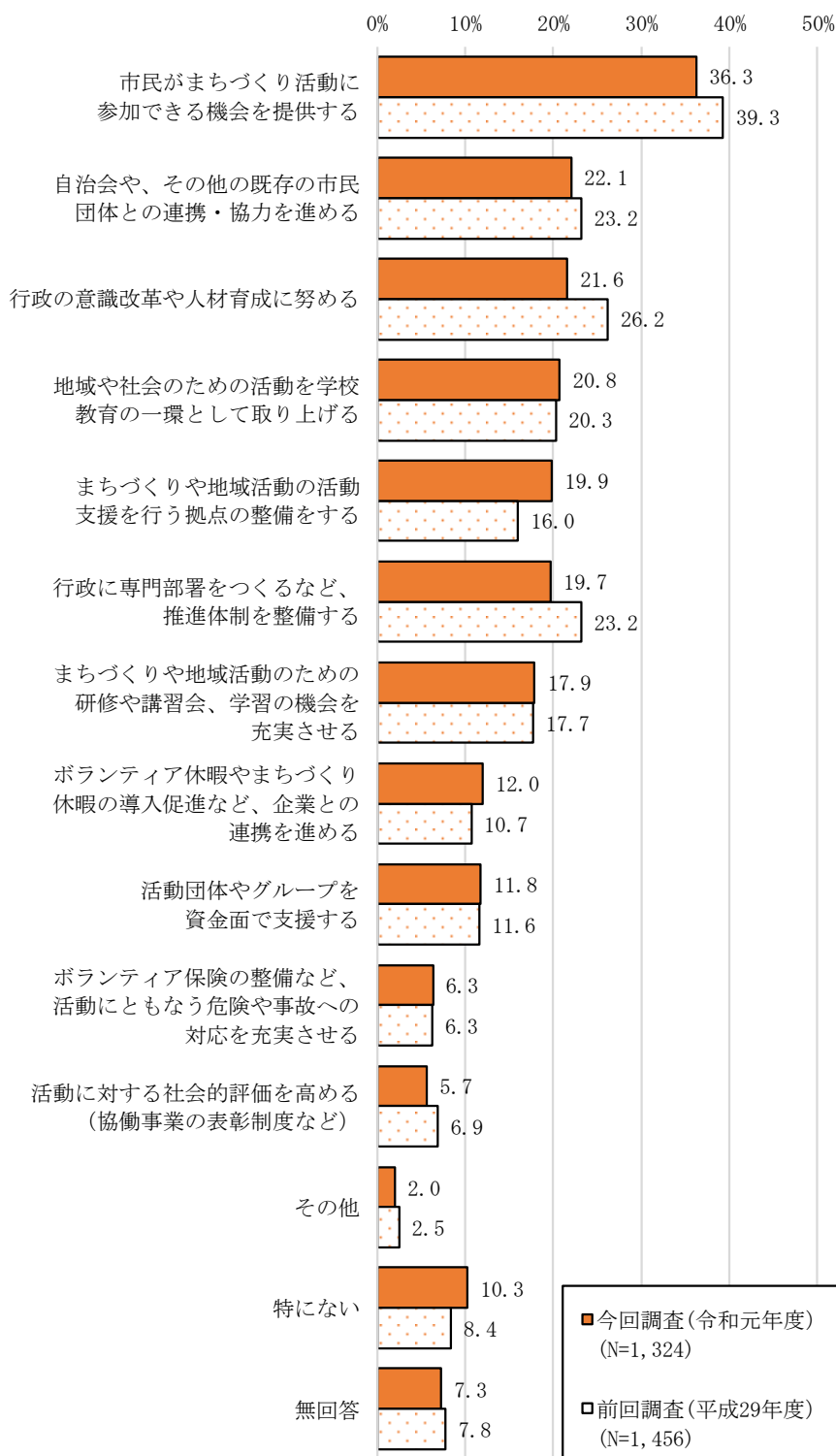
(N=1,324)

4. 分野ごとの状況について

【経年変化／「協働のまちづくり」を進める上で、市が取り組むべきこと】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「行政の意識改革や人材育成に努める」、「行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する」、「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」などが減少している。

一方で、「まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする」、「ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める」、「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」などは増加している。



クロス／「協働のまちづくり」を進める上で、市が取り組むべきこと

性別で見ると、男性・女性ともに「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。次いで、男性では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」及び「行政の意識改革や人材育成に努める」、女性では「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」となっている。

年齢で見ると、75歳以上では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」が最も高くなっており、その他の年齢では「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。次いで、49歳以下では「地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる」、50歳～59歳では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」及び「行政の意識改革や人材育成に努める」、60歳～64歳では「行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する」、65歳～69歳では「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」、70歳～74歳では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」、75歳以上では「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」となっている。

地区で見ると、全地区で「市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、川田谷地区では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」、坂田地区では「自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める」及び「行政の意識改革や人材育成に努める」、駅西側周辺では「まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる」、日出谷地区、加納地区では「行政の意識改革や人材育成に努める」となっている。

4. 分野ごとの状況について

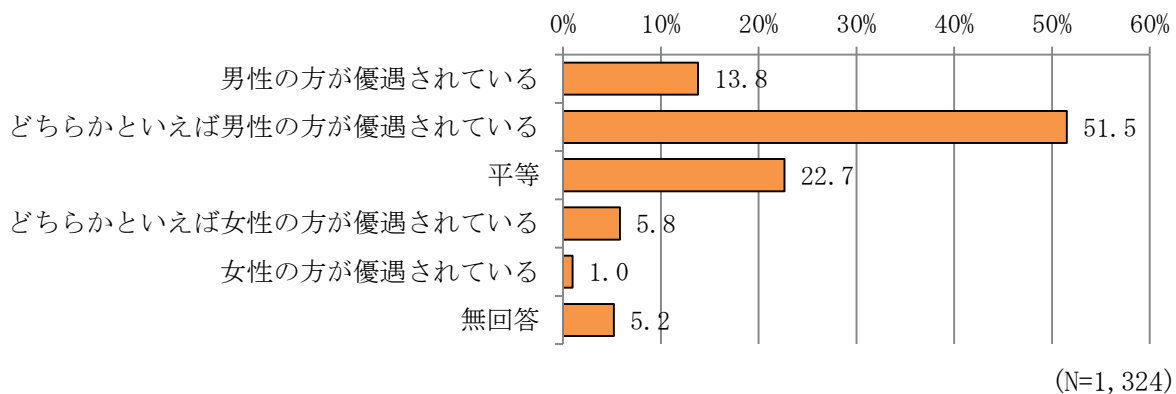
		調査数（N）	市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる	進める自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）	企業との連携を進める	ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる	活動団体やグループを資金面で支援する	行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する	行政の意識改革や人材育成に努める	その他	特にない	無回答
性別	全体	1,324 100.0%	480 36.3%	263 19.9%	237 17.9%	292 22.1%	275 20.8%	75 5.7%	159 12.0%	84 6.3%	156 11.8%	261 19.7%	286 21.6%	27 2.0%	136 10.3%	97 7.3%
	男性	567 100.0%	207 36.5%	130 22.9%	113 19.9%	133 23.5%	112 19.8%	43 7.6%	66 11.6%	35 6.2%	79 13.9%	124 21.9%	133 23.5%	15 2.6%	46 8.1%	27 4.8%
	女性	700 100.0%	261 37.3%	130 18.6%	116 16.6%	154 22.0%	155 22.1%	31 4.4%	91 13.0%	47 6.7%	73 10.4%	131 18.7%	147 21.0%	12 1.7%	85 12.1%	45 6.4%
	無回答	57 100.0%	12 21.1%	3 5.3%	8 14.0%	5 8.8%	8 14.0%	1 1.8%	2 3.5%	2 3.5%	4 7.0%	6 10.5%	6 10.5%	0 0.0%	5 8.8%	25 43.9%
年齢	18歳～19歳	42 100.0%	19 45.2%	12 28.6%	6 14.3%	8 19.0%	14 33.3%	3 7.1%	5 11.9%	5 11.9%	5 11.9%	1 2.4%	2 4.8%	0 0.0%	4 9.5%	1 2.4%
	20歳～29歳	127 100.0%	53 41.7%	22 17.3%	17 13.4%	24 18.9%	27 21.3%	10 7.9%	19 15.0%	7 5.5%	13 10.2%	15 11.8%	20 15.7%	3 2.4%	19 15.0%	4 3.1%
	30歳～39歳	166 100.0%	62 37.3%	40 24.1%	22 13.3%	21 12.7%	51 30.7%	11 6.6%	25 15.1%	10 6.0%	15 9.0%	28 16.9%	32 19.3%	4 2.4%	20 12.0%	3 1.8%
	40歳～49歳	242 100.0%	83 34.3%	46 19.0%	44 18.2%	46 19.0%	65 26.9%	22 9.1%	29 12.0%	14 5.8%	18 7.4%	49 20.2%	62 25.6%	4 1.7%	21 8.7%	6 2.5%
	50歳～59歳	187 100.0%	81 43.3%	42 22.5%	25 13.4%	47 25.1%	34 18.2%	10 5.3%	23 12.3%	10 5.3%	22 11.8%	44 23.5%	47 25.1%	7 3.7%	17 9.1%	8 4.3%
	60歳～64歳	82 100.0%	33 40.2%	20 24.4%	21 25.6%	14 17.1%	12 14.6%	4 4.9%	15 18.3%	4 4.9%	11 13.4%	30 36.6%	21 25.6%	1 1.2%	5 6.1%	3 3.7%
	65歳～69歳	98 100.0%	33 33.7%	24 24.5%	27 27.6%	22 22.4%	16 16.3%	2 2.0%	19 19.4%	6 6.1%	11 11.2%	21 21.4%	25 25.5%	1 1.0%	9 9.2%	7 7.1%
	70歳～74歳	113 100.0%	38 33.6%	20 17.7%	19 16.8%	36 31.9%	18 15.9%	3 2.7%	8 7.1%	9 8.0%	17 15.0%	21 18.6%	30 26.5%	3 2.7%	14 12.4%	11 9.7%
	75歳以上	218 100.0%	66 30.3%	36 16.5%	51 23.4%	70 32.1%	31 14.2%	9 4.1%	15 6.9%	19 8.7%	40 18.3%	50 22.9%	41 18.8%	4 1.8%	24 11.0%	29 13.3%
	無回答	49 100.0%	12 24.5%	1 2.0%	5 10.2%	4 8.2%	7 14.3%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	4 8.2%	2 4.1%	6 12.2%	0 0.0%	3 6.1%	25 51.0%
	駅東側周辺	217 100.0%	81 37.3%	42 19.4%	33 15.2%	54 24.9%	53 24.4%	15 6.9%	26 12.0%	17 7.8%	29 13.4%	47 21.7%	46 21.2%	3 1.4%	21 9.7%	13 6.0%
	駅西側周辺	266 100.0%	119 44.7%	52 19.5%	66 24.8%	58 21.8%	57 21.4%	17 6.4%	29 10.9%	16 6.0%	31 11.7%	57 21.4%	52 19.5%	3 1.1%	19 7.1%	14 5.3%
地区	日出谷地区	283 100.0%	95 33.6%	62 21.9%	47 16.6%	57 20.1%	56 19.8%	12 4.2%	43 15.2%	20 7.1%	36 12.7%	51 18.0%	63 22.3%	7 2.5%	32 11.3%	16 5.7%
	坂田地区	266 100.0%	95 35.7%	59 22.2%	46 17.3%	66 24.8%	60 22.6%	12 4.5%	39 14.7%	14 5.3%	25 9.4%	58 21.8%	66 24.8%	7 2.6%	26 9.8%	12 4.5%
	加納地区	127 100.0%	43 33.9%	24 18.9%	17 13.4%	25 19.7%	22 17.3%	7 5.5%	13 10.2%	13 10.2%	15 11.8%	25 19.7%	28 22.0%	5 3.9%	18 14.2%	6 4.7%
	川田谷地区	109 100.0%	33 30.3%	22 20.2%	22 20.2%	26 23.9%	20 18.3%	11 10.1%	8 7.3%	4 3.7%	16 14.7%	19 17.4%	25 22.9%	2 1.8%	16 14.7%	8 7.3%
	無回答	56 100.0%	14 25.0%	2 3.6%	6 10.7%	6 10.7%	7 12.5%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.1%	4 7.1%	6 10.7%	0 0.0%	4 7.1%	28 50.0%

問17 あなたは、社会全体における男女の地位について、どのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

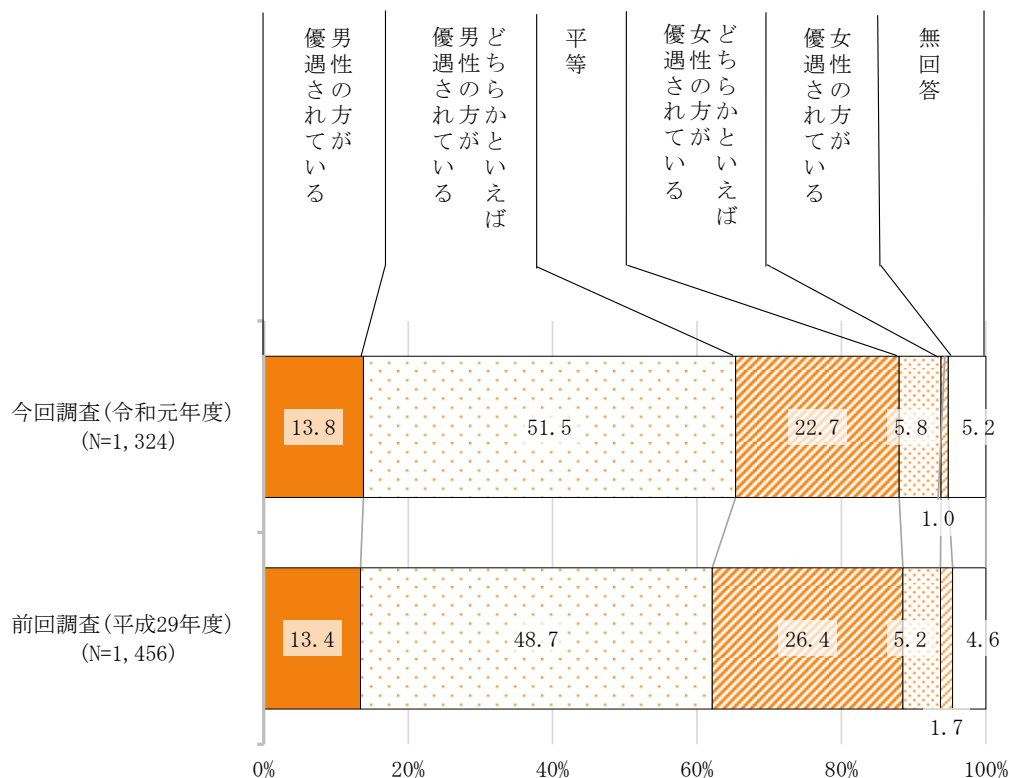
「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との回答が51.5%と最も高くなっている。次いで「平等」22.7%、「男性の方が優遇されている」13.8%となっている。

『女性が優遇』（「女性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）については6.8%となっている。



【経年変化／社会全体における男女の地位】

「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」が、前回調査（平成29年度）よりそれぞれ増加している。一方で、「平等」は減少している。



4. 分野ごとの状況について

クロス／社会全体における男女の地位

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっており、女性では半数を超えている。次いで、男性では「平等」、女性では「男性の方が優遇されている」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっており、次いで60歳～64歳では「男性の方が優遇されている」、それ以外の年齢では「平等」となっている。

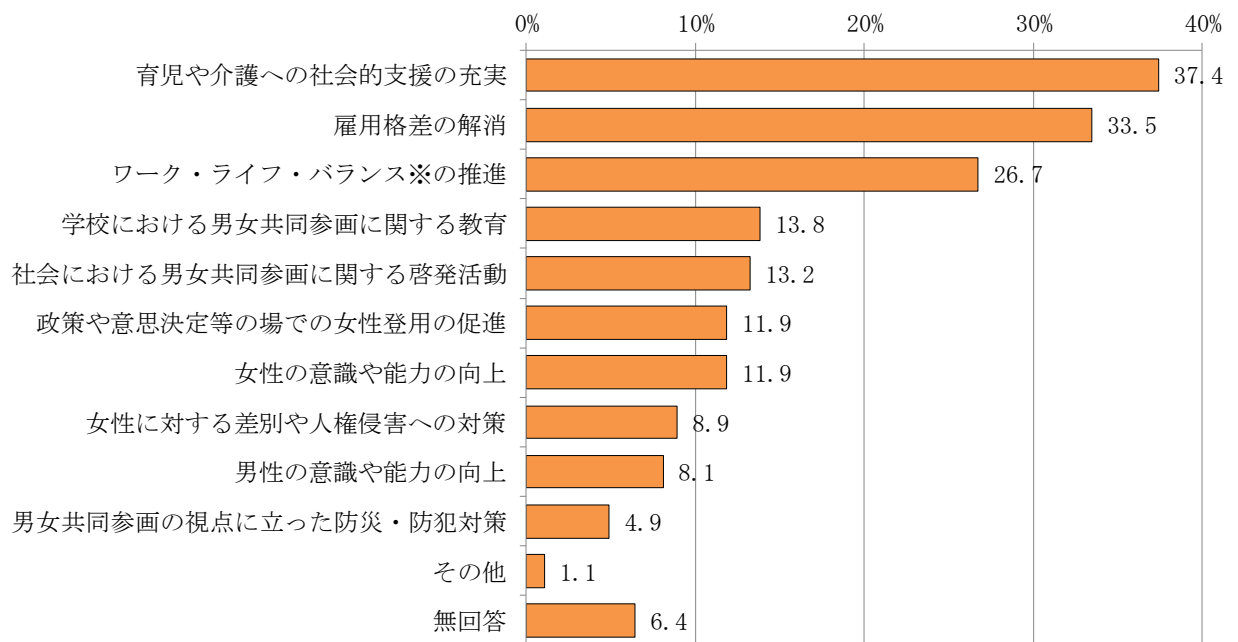
地区で見ると、全地区で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっており、次いで「平等」となっている。

		調査数 (N)	男性 の方が 優遇さ れる	男性 どちら かとい えば男 性の方 が優遇 さる	平等	女性 どちら かとい えば女 性の方 が優遇 さる	女性 の方が 優遇さ れる	無回 答
全体		1,324	183	682	300	77	13	69
		100.0%	13.8%	51.5%	22.7%	5.8%	1.0%	5.2%
性別	男性	567	48	267	173	50	9	20
		100.0%	8.5%	47.1%	30.5%	8.8%	1.6%	3.5%
	女性	700	123	405	121	25	2	24
		100.0%	17.6%	57.9%	17.3%	3.6%	0.3%	3.4%
	無回答	57	12	10	6	2	2	25
		100.0%	21.1%	17.5%	10.5%	3.5%	3.5%	43.9%
年齢	18歳～19歳	42	3	23	11	3	0	2
		100.0%	7.1%	54.8%	26.2%	7.1%	0.0%	4.8%
	20歳～29歳	127	17	55	43	9	0	3
		100.0%	13.4%	43.3%	33.9%	7.1%	0.0%	2.4%
	30歳～39歳	166	21	86	43	10	5	1
		100.0%	12.7%	51.8%	25.9%	6.0%	3.0%	0.6%
	40歳～49歳	242	28	148	41	23	1	1
		100.0%	11.6%	61.2%	16.9%	9.5%	0.4%	0.4%
	50歳～59歳	187	31	99	43	10	1	3
		100.0%	16.6%	52.9%	23.0%	5.3%	0.5%	1.6%
	60歳～64歳	82	18	44	16	0	1	3
		100.0%	22.0%	53.7%	19.5%	0.0%	1.2%	3.7%
地区	65歳～69歳	98	15	46	24	4	1	8
		100.0%	15.3%	46.9%	24.5%	4.1%	1.0%	8.2%
	70歳～74歳	113	13	68	23	2	2	5
		100.0%	11.5%	60.2%	20.4%	1.8%	1.8%	4.4%
	75歳以上	218	28	105	52	14	1	18
		100.0%	12.8%	48.2%	23.9%	6.4%	0.5%	8.3%
	無回答	49	9	8	4	2	1	25
		100.0%	18.4%	16.3%	8.2%	4.1%	2.0%	51.0%
	駅東側周辺	217	28	110	57	11	1	10
		100.0%	12.9%	50.7%	26.3%	5.1%	0.5%	4.6%
	駅西側周辺	266	35	156	53	13	3	6
		100.0%	13.2%	58.6%	19.9%	4.9%	1.1%	2.3%
地区	日出谷地区	283	39	144	77	12	1	10
		100.0%	13.8%	50.9%	27.2%	4.2%	0.4%	3.5%
	坂田地区	266	34	142	52	27	4	7
		100.0%	12.8%	53.4%	19.5%	10.2%	1.5%	2.6%
	加納地区	127	19	58	35	8	2	5
		100.0%	15.0%	45.7%	27.6%	6.3%	1.6%	3.9%
	川田谷地区	109	18	60	22	4	1	4
		100.0%	16.5%	55.0%	20.2%	3.7%	0.9%	3.7%
	無回答	56	10	12	4	2	1	27
		100.0%	17.9%	21.4%	7.1%	3.6%	1.8%	48.2%

問18 男女共同参画社会のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「育児や介護への社会的支援の充実」との回答が37.4%と最も高くなっており、次いで「雇用格差の解消」33.5%、「ワーク・ライフ・バランス※の推進」26.7%となっている。



(N=1,324)

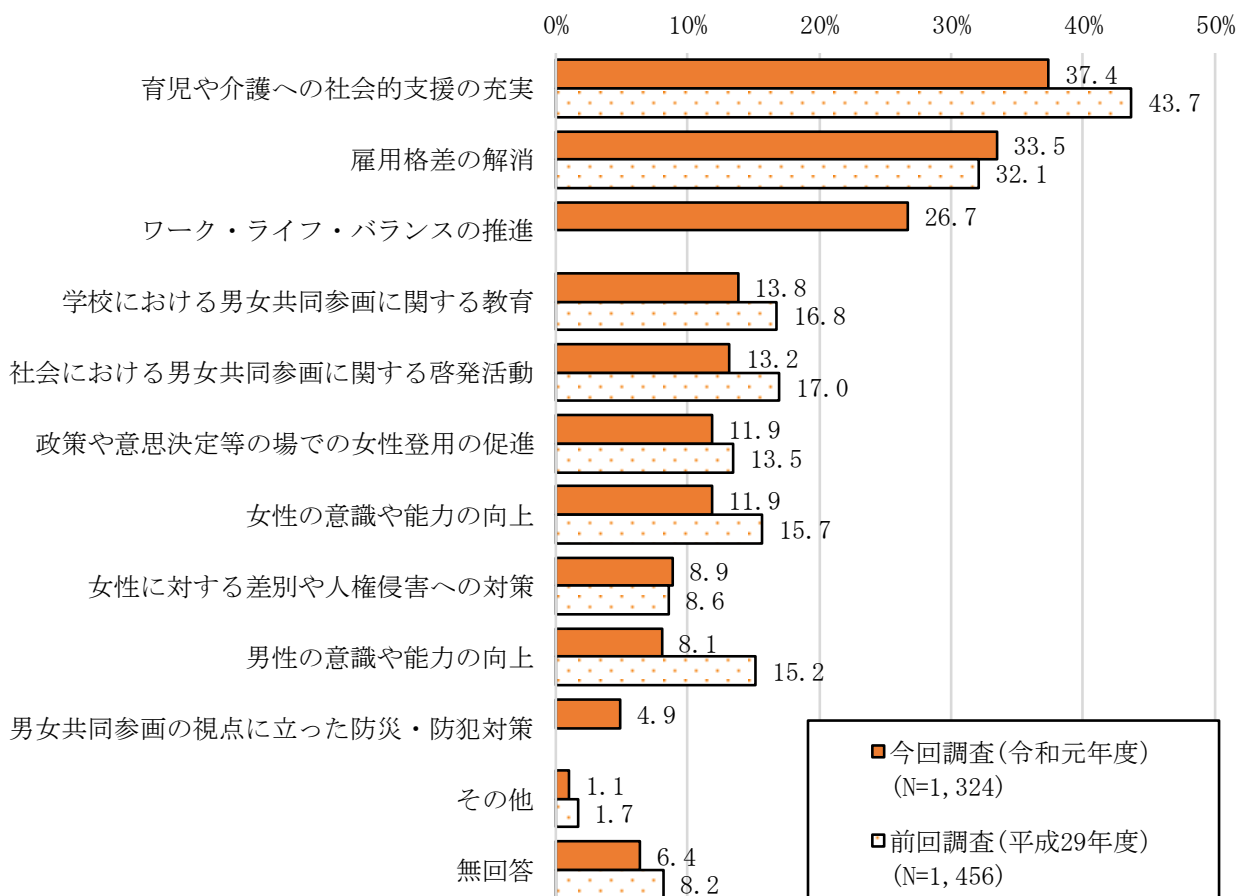
※「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えること。

4. 分野ごとの状況について

【経年変化／男女共同参画社会のために必要なこと】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「雇用格差の解消」、「女性に対する差別や人権侵害への対策」を除き減少している。

今回調査から追加した「ワーク・ライフ・バランスの推進」の回答は、26.7%で上位となっている。



4. 分野ごとの状況について

クロス／男女共同参画社会のために必要なこと

性別で見ると、男性では「雇用格差の解消」、女性では「育児や介護への社会的支援の充実」が最も高くなっており、次いで男性では「育児や介護への社会的支援の充実」、女性では「雇用格差の解消」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、60歳～64歳、75歳以上では「雇用格差の解消」、70歳～74歳では「雇用格差の解消」、「育児や介護への社会的支援の充実」が同率となっており、それ以外の年齢では「育児や介護への社会的支援の充実」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区で「育児や介護への社会的支援の充実」が最も高くなっており、次いで「雇用格差の解消」となっている。

		調査数（N）	社会における男女共同参画に関する啓発活動	学校における男女共同参画に関する教育	雇用格差の解消	政策や意思決定等の促進での女性登用の等	女性への意識や能力の向上	男性への意識や能力の向上	育児や介護への社会的支援の充実	女性に対する差別や人権侵害への対策	ワーク・ライフ・バランスの推進	男女共同参画の視点に立った防災・防犯対策	その他	無回答
全体		1,324	175	183	443	157	157	107	495	118	354	65	14	85
		100.0%	13.2%	13.8%	33.5%	11.9%	11.9%	8.1%	37.4%	8.9%	26.7%	4.9%	1.1%	6.4%
性別	男性	567	97	80	195	78	68	46	189	39	140	44	11	26
		100.0%	17.1%	14.1%	34.4%	13.8%	12.0%	8.1%	33.3%	6.9%	24.7%	7.8%	1.9%	4.6%
	女性	700	75	94	239	75	83	54	296	78	208	20	3	35
		100.0%	10.7%	13.4%	34.1%	10.7%	11.9%	7.7%	42.3%	11.1%	29.7%	2.9%	0.4%	5.0%
無回答		57	3	9	9	4	6	7	10	1	6	1	0	24
		100.0%	5.3%	15.8%	15.8%	7.0%	10.5%	12.3%	17.5%	1.8%	10.5%	1.8%	0.0%	42.1%
年齢	18歳～19歳	42	6	9	16	5	5	3	14	5	14	0	0	0
		100.0%	14.3%	21.4%	38.1%	11.9%	11.9%	7.1%	33.3%	11.9%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	16	13	44	12	12	12	53	15	46	9	0	3
		100.0%	12.6%	10.2%	34.6%	9.4%	9.4%	9.4%	41.7%	11.8%	36.2%	7.1%	0.0%	2.4%
	30歳～39歳	166	9	24	53	13	25	18	78	13	65	7	1	1
		100.0%	5.4%	14.5%	31.9%	7.8%	15.1%	10.8%	47.0%	7.8%	39.2%	4.2%	0.6%	0.6%
	40歳～49歳	242	17	27	84	21	31	21	109	21	90	5	4	3
		100.0%	7.0%	11.2%	34.7%	8.7%	12.8%	8.7%	45.0%	8.7%	37.2%	2.1%	1.7%	1.2%
	50歳～59歳	187	34	22	59	19	22	20	80	15	50	7	4	2
		100.0%	18.2%	11.8%	31.6%	10.2%	11.8%	10.7%	42.8%	8.0%	26.7%	3.7%	2.1%	1.1%
	60歳～64歳	82	8	11	35	12	6	9	29	11	21	4	1	2
		100.0%	9.8%	13.4%	42.7%	14.6%	7.3%	11.0%	35.4%	13.4%	25.6%	4.9%	1.2%	2.4%
	65歳～69歳	98	19	15	34	11	8	5	41	3	20	7	0	10
		100.0%	19.4%	15.3%	34.7%	11.2%	8.2%	5.1%	41.8%	3.1%	20.4%	7.1%	0.0%	10.2%
	70歳～74歳	113	17	17	38	22	11	4	38	14	18	11	2	10
		100.0%	15.0%	15.0%	33.6%	19.5%	9.7%	3.5%	33.6%	12.4%	15.9%	9.7%	1.8%	8.8%
75歳以上	218	46	38	71	39	31	10	46	21	26	15	2	30	
	100.0%	21.1%	17.4%	32.6%	17.9%	14.2%	4.6%	21.1%	9.6%	11.9%	6.9%	0.9%	13.8%	
無回答		49	3	7	9	3	6	5	7	0	4	0	0	24
		100.0%	6.1%	14.3%	18.4%	6.1%	12.2%	10.2%	14.3%	0.0%	8.2%	0.0%	0.0%	49.0%
地区	駅東側周辺	217	23	30	75	26	22	15	81	16	65	16	5	11
		100.0%	10.6%	13.8%	34.6%	12.0%	10.1%	6.9%	37.3%	7.4%	30.0%	7.4%	2.3%	5.1%
	駅西側周辺	266	41	37	94	37	25	17	103	25	85	11	2	13
		100.0%	15.4%	13.9%	35.3%	13.9%	9.4%	6.4%	38.7%	9.4%	32.0%	4.1%	0.8%	4.9%
	日出谷地区	283	37	36	101	28	41	19	109	28	75	12	4	14
		100.0%	13.1%	12.7%	35.7%	9.9%	14.5%	6.7%	38.5%	9.9%	26.5%	4.2%	1.4%	4.9%
	坂田地区	266	36	40	91	29	31	24	113	27	73	12	1	8
		100.0%	13.5%	15.0%	34.2%	10.9%	11.7%	9.0%	42.5%	10.2%	27.4%	4.5%	0.4%	3.0%
	加納地区	127	17	19	36	21	20	19	43	7	21	7	1	7
	100.0%	13.4%	15.0%	28.3%	16.5%	15.7%	15.0%	33.9%	5.5%	16.5%	5.5%	0.8%	5.5%	
川田谷地区	109	18	14	35	13	12	8	39	13	30	7	1	4	
	100.0%	16.5%	12.8%	32.1%	11.9%	11.0%	7.3%	35.8%	11.9%	27.5%	6.4%	0.9%	3.7%	
無回答		56	3	7	11	3	6	5	7	2	5	0	0	28
		100.0%	5.4%	12.5%	19.6%	5.4%	10.7%	8.9%	12.5%	3.6%	8.9%	0.0%	0.0%	50.0%

4. 分野ごとの状況について

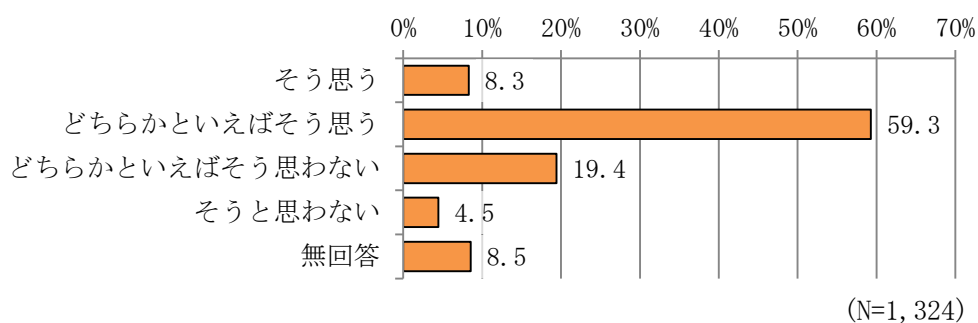
(4) 子育て支援

問19 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

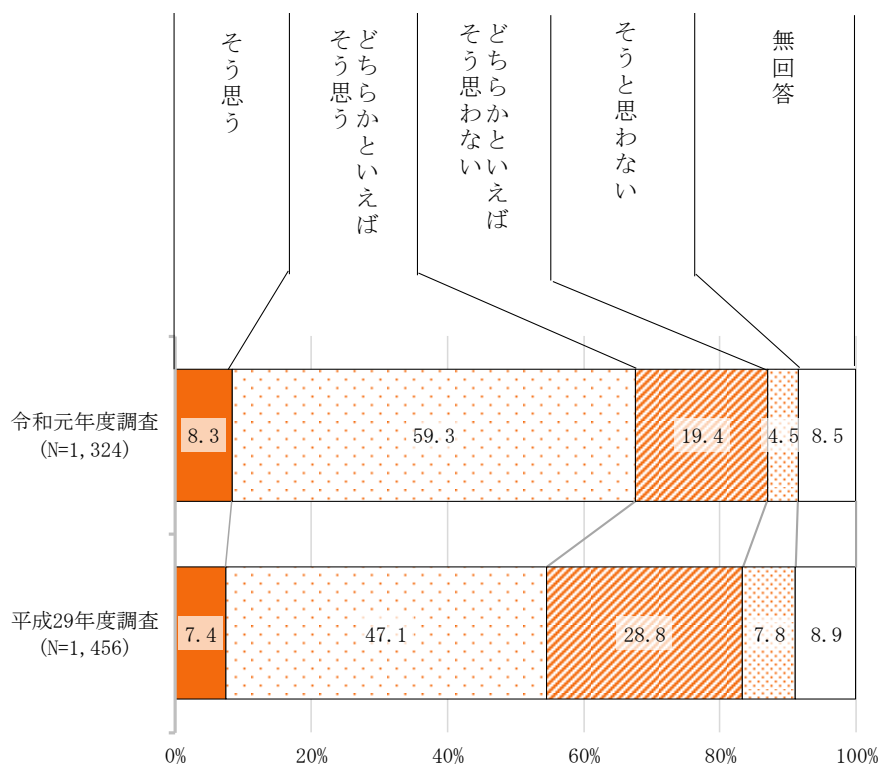
「どちらかといえばそう思う」との回答が59.3%で最も高くなっており、半数以上を占めている。次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.4%となっている。

『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答は67.6%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そうと思わない」）との回答は23.9%となっている。



【経年変化／子育て支援】

前回調査（平成29年度）より「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が増加している。一方で、「どちらかといえばそう思わない」、「そうと思わない」が減少している。



クロス／子育て支援

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで18歳～19歳では「そう思う」、その他の年齢では「どちらかといえばそう思わない」となっている。

地区で見ると、全地区で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

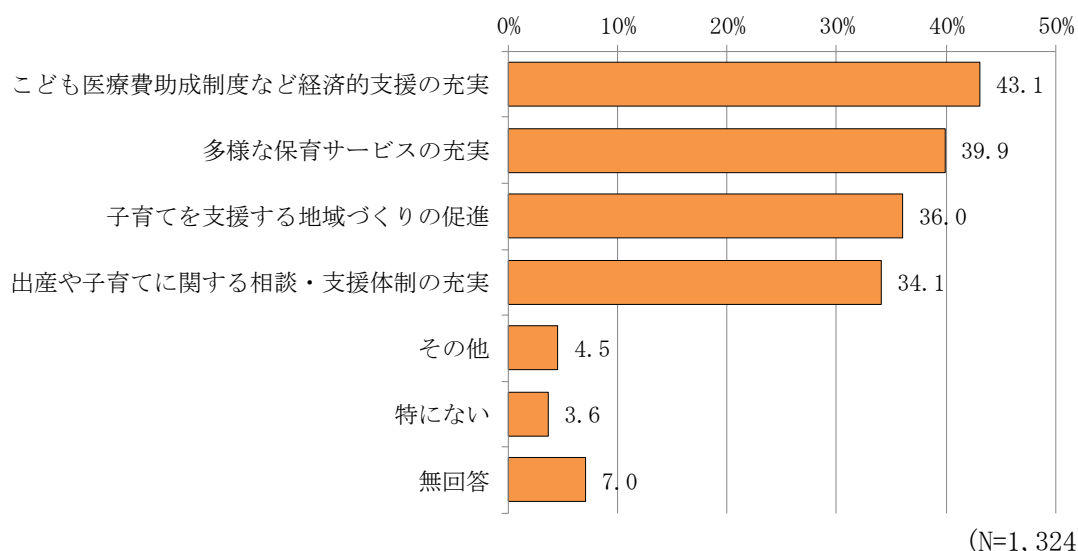
		調査数 (N)	そう 思う	ばど そち うら 思か う い え	ばど そち うら 思か わ と ない え	そう と 思 わ ない	無 回 答
全体		1,324	110	785	257	59	113
		100.0%	8.3%	59.3%	19.4%	4.5%	8.5%
性別	男性	567	58	327	115	32	35
		100.0%	10.2%	57.7%	20.3%	5.6%	6.2%
	女性	700	51	442	134	24	49
		100.0%	7.3%	63.1%	19.1%	3.4%	7.0%
	無回答	57	1	16	8	3	29
		100.0%	1.8%	28.1%	14.0%	5.3%	50.9%
年齢	18歳～19歳	42	7	29	5	1	0
		100.0%	16.7%	69.0%	11.9%	2.4%	0.0%
	20歳～29歳	127	10	84	25	4	4
		100.0%	7.9%	66.1%	19.7%	3.1%	3.1%
	30歳～39歳	166	12	104	37	13	0
		100.0%	7.2%	62.7%	22.3%	7.8%	0.0%
	40歳～49歳	242	24	147	53	9	9
		100.0%	9.9%	60.7%	21.9%	3.7%	3.7%
	50歳～59歳	187	9	123	38	10	7
		100.0%	4.8%	65.8%	20.3%	5.3%	3.7%
	60歳～64歳	82	4	54	17	2	5
		100.0%	4.9%	65.9%	20.7%	2.4%	6.1%
地区	65歳～69歳	98	6	63	18	1	10
		100.0%	6.1%	64.3%	18.4%	1.0%	10.2%
	70歳～74歳	113	14	63	19	4	13
		100.0%	12.4%	55.8%	16.8%	3.5%	11.5%
	75歳以上	218	23	106	39	12	38
		100.0%	10.6%	48.6%	17.9%	5.5%	17.4%
	無回答	49	1	12	6	3	27
		100.0%	2.0%	24.5%	12.2%	6.1%	55.1%
	駅東側周辺	217	19	120	46	14	18
		100.0%	8.8%	55.3%	21.2%	6.5%	8.3%
	駅西側周辺	266	18	183	42	6	17
		100.0%	6.8%	68.8%	15.8%	2.3%	6.4%
地区	日出谷地区	283	30	168	46	18	21
		100.0%	10.6%	59.4%	16.3%	6.4%	7.4%
	坂田地区	266	26	166	56	10	8
		100.0%	9.8%	62.4%	21.1%	3.8%	3.0%
	加納地区	127	7	77	31	2	10
		100.0%	5.5%	60.6%	24.4%	1.6%	7.9%
	川田谷地区	109	9	54	29	6	11
		100.0%	8.3%	49.5%	26.6%	5.5%	10.1%
	無回答	56	1	17	7	3	28
		100.0%	1.8%	30.4%	12.5%	5.4%	50.0%

4. 分野ごとの状況について

問20 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

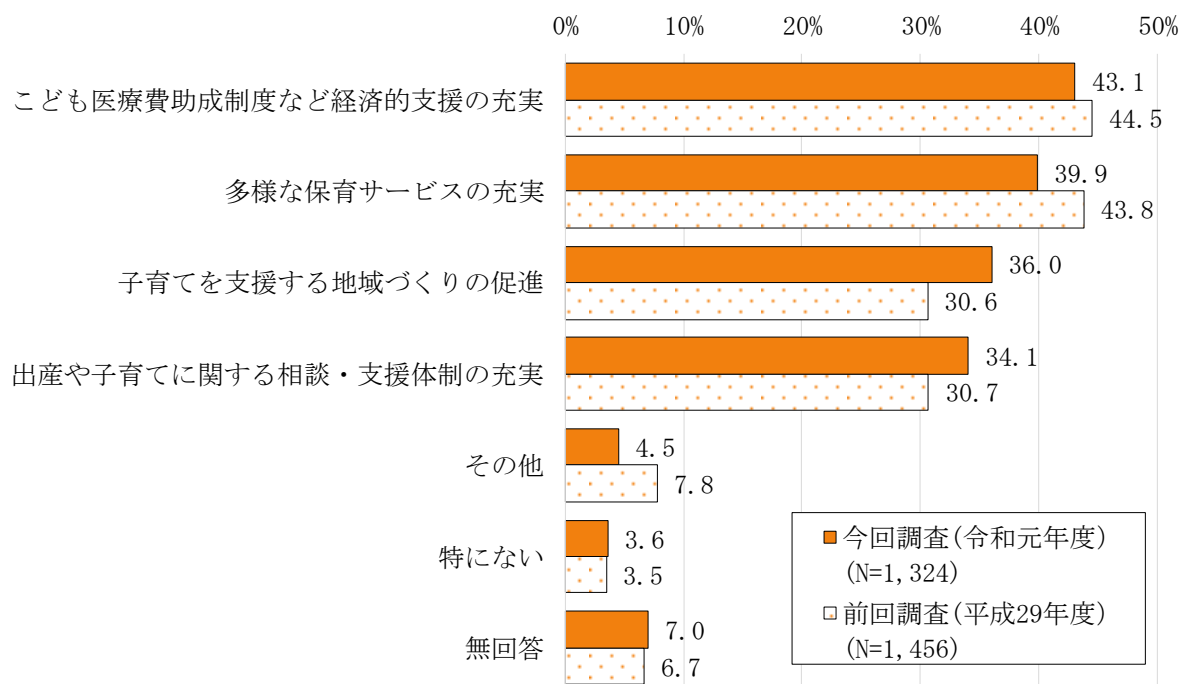
「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」との回答が43.1%と最も高くなっており、次いで「多様な保育サービスの充実」39.9%、「子育てを支援する地域づくりの促進」36.0%、「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」34.1%となっている。



【経年変化／安心して子どもを育てられるまちにするために、市が取り組むべきこと】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「子育てを支援する地域づくりの促進」、「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」が増加している。

一方で、「多様な保育サービスの充実」、「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」は減少している。



クロス／安心して子どもを育てられるまちにするために、市が取り組むべきこと

性別で見ると、男性・女性ともに「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」が最も高く、次いで「多様な保育サービスの充実」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」及び「多様な保育サービスの充実」、20歳～59歳、70歳～74歳では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、60歳～64歳では「多様な保育サービスの充実」、65歳～69歳、75歳以上では「子育てを支援する地域づくりの促進」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、20歳～59歳では「多様な保育サービスの充実」、60歳～64歳では「子育てを支援する地域づくりの促進」、65歳～69歳、75歳以上では「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」、70歳～74歳では「多様な保育サービスの充実」及び「子育てを支援する地域づくりの促進」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、日出谷地区、川田谷地区では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、駅西側周辺、坂田地区では「多様な保育サービスの充実」、加納地区では「子育てを支援する地域づくりの促進」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、川田谷地区では「多様な保育サービスの充実」、駅西側周辺、坂田地区、加納地区では「こども医療費助成制度など経済的支援の充実」、日出谷地区では「子育てを支援する地域づくりの促進」となっている。

4. 分野ごとの状況について

		調査数 (N)	出産や 子育てに 関する相 談・支援 体制の充 実	多様な 保育サー ビスの充 実	子育てを 支援する 地域づく り	こども医 療費助成 制度など 経済的支 援の充実	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1,324	451	528	477	570	60	48	93
		100.0%	34.1%	39.9%	36.0%	43.1%	4.5%	3.6%	7.0%
性別	男性	567	204	229	208	253	19	25	24
		100.0%	36.0%	40.4%	36.7%	44.6%	3.4%	4.4%	4.2%
	女性	700	239	288	261	302	36	22	40
		100.0%	34.1%	41.1%	37.3%	43.1%	5.1%	3.1%	5.7%
	無回答	57	8	11	8	15	5	1	29
		100.0%	14.0%	19.3%	14.0%	26.3%	8.8%	1.8%	50.9%
年齢	18歳～19歳	42	19	19	10	18	0	3	0
		100.0%	45.2%	45.2%	23.8%	42.9%	0.0%	7.1%	0.0%
	20歳～29歳	127	45	60	47	62	4	4	4
		100.0%	35.4%	47.2%	37.0%	48.8%	3.1%	3.1%	3.1%
	30歳～39歳	166	51	74	68	86	16	3	0
		100.0%	30.7%	44.6%	41.0%	51.8%	9.6%	1.8%	0.0%
	40歳～49歳	242	74	95	84	125	15	9	6
		100.0%	30.6%	39.3%	34.7%	51.7%	6.2%	3.7%	2.5%
	50歳～59歳	187	70	82	65	86	7	8	2
		100.0%	37.4%	43.9%	34.8%	46.0%	3.7%	4.3%	1.1%
	60歳～64歳	82	27	42	28	26	5	2	5
		100.0%	32.9%	51.2%	34.1%	31.7%	6.1%	2.4%	6.1%
地区	65歳～69歳	98	39	37	40	36	1	4	8
		100.0%	39.8%	37.8%	40.8%	36.7%	1.0%	4.1%	8.2%
	70歳～74歳	113	38	42	42	46	3	5	12
		100.0%	33.6%	37.2%	37.2%	40.7%	2.7%	4.4%	10.6%
	75歳以上	218	80	69	85	73	5	10	29
		100.0%	36.7%	31.7%	39.0%	33.5%	2.3%	4.6%	13.3%
	無回答	49	8	8	8	12	4	0	27
		100.0%	16.3%	16.3%	16.3%	24.5%	8.2%	0.0%	55.1%
	駅東側周辺	217	69	86	76	102	14	12	12
		100.0%	31.8%	39.6%	35.0%	47.0%	6.5%	5.5%	5.5%
	駅西側周辺	266	102	116	91	108	9	7	13
		100.0%	38.3%	43.6%	34.2%	40.6%	3.4%	2.6%	4.9%
	日出谷地区	283	91	108	111	133	14	11	14
		100.0%	32.2%	38.2%	39.2%	47.0%	4.9%	3.9%	4.9%
	坂田地区	266	108	114	100	110	8	10	9
		100.0%	40.6%	42.9%	37.6%	41.4%	3.0%	3.8%	3.4%
	加納地区	127	36	49	53	51	5	5	9
		100.0%	28.3%	38.6%	41.7%	40.2%	3.9%	3.9%	7.1%
	川田谷地区	109	34	45	35	50	6	3	8
		100.0%	31.2%	41.3%	32.1%	45.9%	5.5%	2.8%	7.3%
	無回答	56	11	10	11	16	4	0	28
		100.0%	19.6%	17.9%	19.6%	28.6%	7.1%	0.0%	50.0%

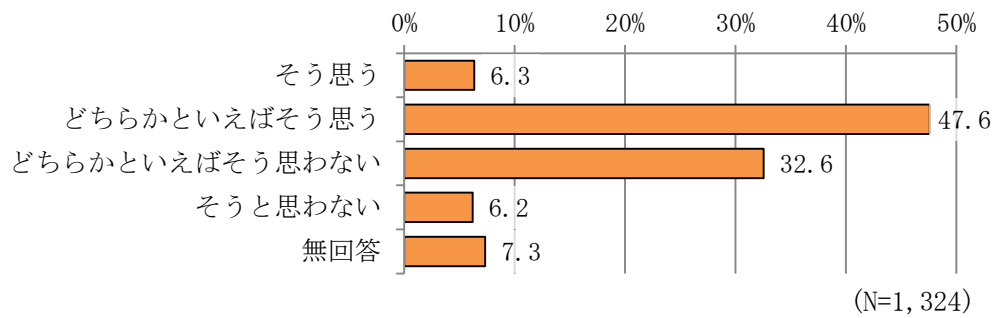
(5) 高齢者の生活

問21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

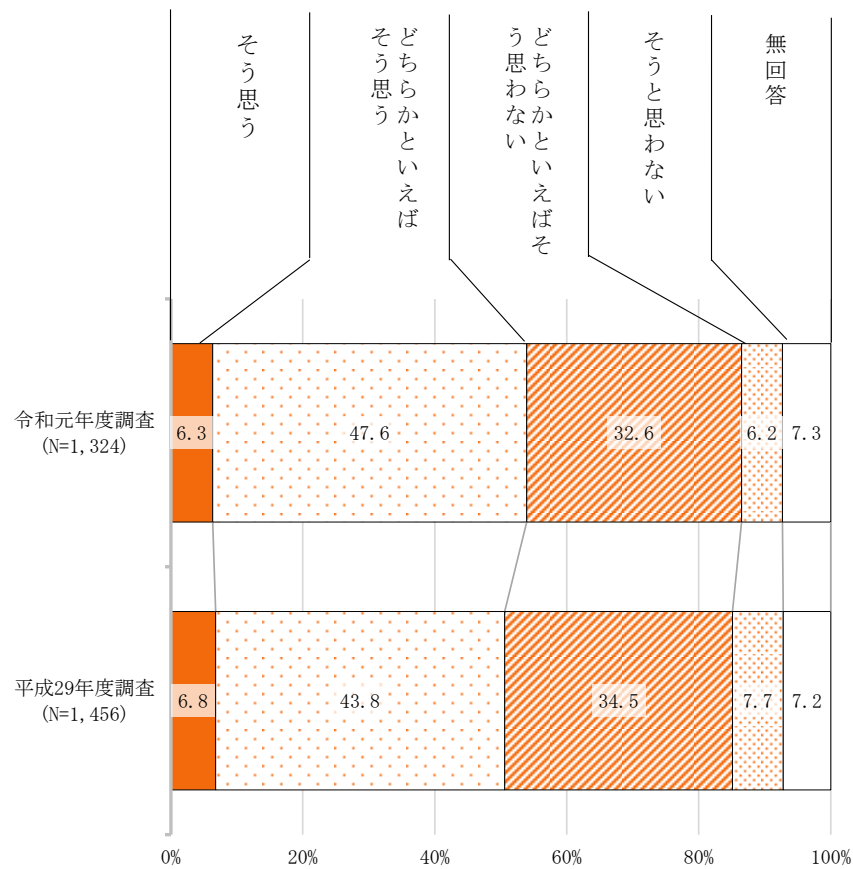
「どちらかといえばそう思う」との回答が47.6%で最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」が32.6%となっている。

『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）との回答が53.9%に対し、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そうと思わない」）は38.8%となっている。



【経年変化／高齢者の生活】

『思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が、前回調査（平成29年度）より増加している。



4. 分野ごとの状況について

クロス／高齢者の生活

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっており、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっている。

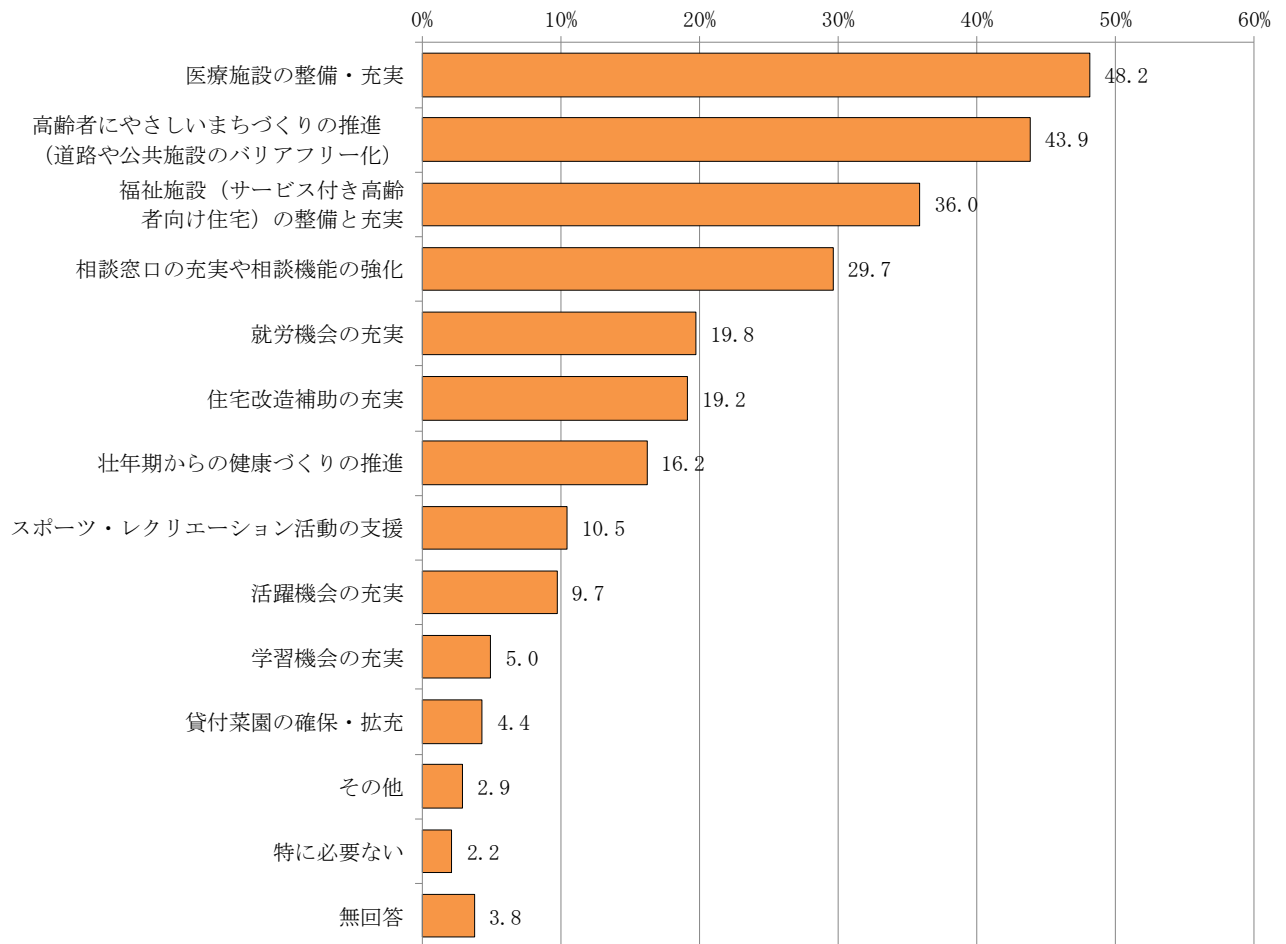
地区で見ると、川田谷地区では「どちらかといえばそう思わない」が、その他の地区では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。次いで、川田谷地区では「どちらかといえばそう思う」、その他の地区では「どちらかといえばそう思わない」となっている。

		調査数 (N)	そう 思う	ばど そち そう 思か うと いえ	ばど そち そう 思か わと ない え	そう と 思わ ない	無 回 答
	全体	1,324	84	630	431	82	97
		100.0%	6.3%	47.6%	32.6%	6.2%	7.3%
性別	男性	567	47	269	183	38	30
		100.0%	8.3%	47.4%	32.3%	6.7%	5.3%
	女性	700	36	347	238	41	38
		100.0%	5.1%	49.6%	34.0%	5.9%	5.4%
	無回答・不明	57	1	14	10	3	29
		100.0%	1.8%	24.6%	17.5%	5.3%	50.9%
年齢	18歳～19歳	42	6	20	14	1	1
		100.0%	14.3%	47.6%	33.3%	2.4%	2.4%
	20歳～29歳	127	13	74	33	5	2
		100.0%	10.2%	58.3%	26.0%	3.9%	1.6%
	30歳～39歳	166	12	86	60	7	1
		100.0%	7.2%	51.8%	36.1%	4.2%	0.6%
	40歳～49歳	242	12	115	93	14	8
		100.0%	5.0%	47.5%	38.4%	5.8%	3.3%
	50歳～59歳	187	5	88	66	16	12
		100.0%	2.7%	47.1%	35.3%	8.6%	6.4%
	60歳～64歳	82	5	38	25	7	7
		100.0%	6.1%	46.3%	30.5%	8.5%	8.5%
地区	65歳～69歳	98	4	45	33	5	11
		100.0%	4.1%	45.9%	33.7%	5.1%	11.2%
	70歳～74歳	113	9	52	36	5	11
		100.0%	8.0%	46.0%	31.9%	4.4%	9.7%
	75歳以上	218	17	103	63	20	15
		100.0%	7.8%	47.2%	28.9%	9.2%	6.9%
	無回答・不明	49	1	9	8	2	29
		100.0%	2.0%	18.4%	16.3%	4.1%	59.2%
	駅東側周辺	217	20	104	65	15	13
		100.0%	9.2%	47.9%	30.0%	6.9%	6.0%
	駅西側周辺	266	18	137	79	13	19
		100.0%	6.8%	51.5%	29.7%	4.9%	7.1%
地区	日出谷地区	283	16	134	102	18	13
		100.0%	5.7%	47.3%	36.0%	6.4%	4.6%
	坂田地区	266	8	149	89	14	6
		100.0%	3.0%	56.0%	33.5%	5.3%	2.3%
	加納地区	127	15	56	40	10	6
		100.0%	11.8%	44.1%	31.5%	7.9%	4.7%
	川田谷地区	109	6	38	45	10	10
		100.0%	5.5%	34.9%	41.3%	9.2%	9.2%
	無回答	56	1	12	11	2	30
		100.0%	1.8%	21.4%	19.6%	3.6%	53.6%

問22 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思われますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「医療施設の整備・充実」との回答が48.2%と最も高くなっており、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」43.9%、「福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実」36.0%、「相談窓口の充実や相談機能の強化」29.7%となっている。



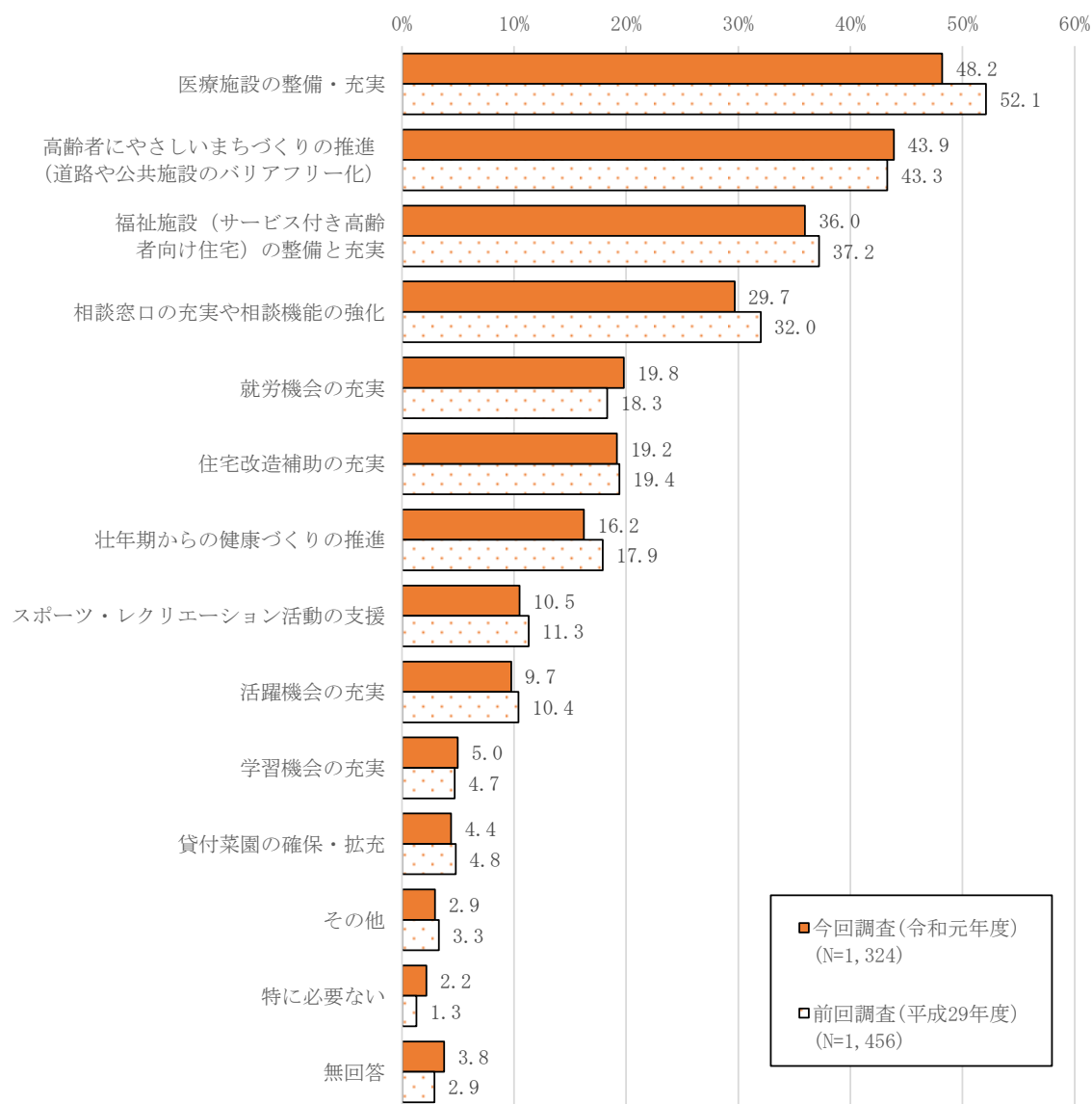
(N=1,324)

4. 分野ごとの状況について

【経年変化／高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が取り組むべきこと】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「医療施設の整備・充実」、「相談窓口の充実や相談機能の強化」など、ほとんどの項目で減少している。

一方で、「就労機会の充実」、「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」などは、前回調査（平成29年度）より増加している。



クロス／高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が取り組むべきこと

性別で見ると、男性・女性ともに「医療施設の整備・充実」が最も高くなっており、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20～29歳、30～39歳では「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」、その他の年齢では「医療施設の整備・充実」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、50歳～59歳、70歳～74歳では「福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実」、20歳～29歳、30歳～39歳では「医療施設の整備・充実」、40歳～49歳、60歳～69歳、75歳以上では「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

地区で見ると、全地区で「医療施設の整備・充実」が最も高くなっており、次いで「高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化）」となっている。

		調査数（N）	化相 談窓 口の 充実 や相 談機 能の 強	壮 年 期 か ら の 健 康 づ く り の 推 進	学 習 機 会 の 充 実	動 の 支 援 ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 活	就 労 機 会 の 充 実	活 躍 機 会 の 充 実	福 祉 施 設 （ サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 ） の 整 備 と 充 実	住 宅 改 造 補 助 の 充 実	推 進 高 齢 者 に や さ し い ま ち づ く り の 推 進 （ 道 路 や 公 共 施 設 の バ リ ア フ リー 化 ）	医 療 施 設 の 整 備 ・ 充 実	貸 付 菜 園 の 確 保 ・ 拡 充	そ の 他	特 に 必 要 な い	無 回 答
性別	全体	1,324	393	215	66	139	262	129	476	254	581	638	58	39	29	50
		100.0%	29.7%	16.2%	5.0%	10.5%	19.8%	9.7%	36.0%	19.2%	43.9%	48.2%	4.4%	2.9%	2.2%	3.8%
	男性	567	161	109	27	70	113	51	196	102	253	268	40	18	16	13
		100.0%	28.4%	19.2%	4.8%	12.3%	19.9%	9.0%	34.6%	18.0%	44.6%	47.3%	7.1%	3.2%	2.8%	2.3%
	女性	700	226	97	34	66	140	76	266	146	320	357	16	20	12	11
年齢		100.0%	32.3%	13.9%	4.9%	9.4%	20.0%	10.9%	38.0%	20.9%	45.7%	51.0%	2.3%	2.9%	1.7%	1.6%
	無回答	57	6	9	5	3	9	2	14	6	8	13	2	1	1	26
		100.0%	10.5%	15.8%	8.8%	5.3%	15.8%	3.5%	24.6%	10.5%	14.0%	22.8%	3.5%	1.8%	1.8%	45.6%
	18歳～19歳	42	6	9	2	8	4	4	15	6	23	14	2	3	5	0
		100.0%	14.3%	21.4%	4.8%	19.0%	9.5%	9.5%	35.7%	14.3%	54.8%	33.3%	4.8%	7.1%	11.9%	0.0%
	20歳～29歳	127	39	22	5	16	23	8	42	19	62	55	3	5	3	2
		100.0%	30.7%	17.3%	3.9%	12.6%	18.1%	6.3%	33.1%	15.0%	48.8%	43.3%	2.4%	3.9%	2.4%	1.6%
	30歳～39歳	166	35	27	7	18	51	16	51	32	88	67	5	8	4	0
		100.0%	21.1%	16.3%	4.2%	10.8%	30.7%	9.6%	30.7%	19.3%	53.0%	40.4%	3.0%	4.8%	2.4%	0.0%
	40歳～49歳	242	55	42	11	24	74	35	79	66	100	104	16	7	6	3
		100.0%	22.7%	17.4%	4.5%	9.9%	30.6%	14.5%	32.6%	27.3%	41.3%	43.0%	6.6%	2.9%	2.5%	1.2%
	50歳～59歳	187	62	25	10	13	40	30	79	36	75	106	4	7	1	2
		100.0%	33.2%	13.4%	5.3%	7.0%	21.4%	16.0%	42.2%	19.3%	40.1%	56.7%	2.1%	3.7%	0.5%	1.1%
	60歳～64歳	82	32	9	3	7	13	12	32	14	41	50	1	1	1	2
		100.0%	39.0%	11.0%	3.7%	8.5%	15.9%	14.6%	39.0%	17.1%	50.0%	61.0%	1.2%	1.2%	1.2%	2.4%
	65歳～69歳	98	40	15	3	12	16	5	33	19	44	55	3	2	1	5
		100.0%	40.8%	15.3%	3.1%	12.2%	16.3%	5.1%	33.7%	19.4%	44.9%	56.1%	3.1%	2.0%	1.0%	5.1%
	70歳～74歳	113	42	20	5	16	13	5	49	23	41	63	7	0	3	2
		100.0%	37.2%	17.7%	4.4%	14.2%	11.5%	4.4%	43.4%	20.4%	36.3%	55.8%	6.2%	0.0%	2.7%	1.8%
	75歳以上	218	77	39	18	23	22	11	84	34	98	115	16	5	5	9
		100.0%	35.3%	17.9%	8.3%	10.6%	10.1%	5.0%	38.5%	15.6%	45.0%	52.8%	7.3%	2.3%	2.3%	4.1%
	無回答	49	5	7	2	2	6	3	12	5	9	9	1	1	0	25
地区		100.0%	10.2%	14.3%	4.1%	4.1%	12.2%	6.1%	24.5%	10.2%	18.4%	18.4%	2.0%	2.0%	0.0%	51.0%
	駅東側周辺	217	63	34	12	25	42	25	74	45	100	108	9	6	7	6
		100.0%	29.0%	15.7%	5.5%	11.5%	19.4%	11.5%	34.1%	20.7%	46.1%	49.8%	4.1%	2.8%	3.2%	2.8%
	駅西側周辺	266	79	56	21	33	51	32	114	40	123	128	10	2	3	3
		100.0%	29.7%	21.1%	7.9%	12.4%	19.2%	12.0%	42.9%	15.0%	46.2%	48.1%	3.8%	0.8%	1.1%	1.1%
	日出谷地区	283	92	45	10	24	64	25	90	59	120	127	15	10	7	7
		100.0%	32.5%	15.9%	3.5%	8.5%	22.6%	8.8%	31.8%	20.8%	42.4%	44.9%	5.3%	3.5%	2.5%	2.5%
	坂田地区	266	94	40	10	27	50	25	96	53	129	141	13	6	4	3
		100.0%	35.3%	15.0%	3.8%	10.2%	18.8%	9.4%	36.1%	19.9%	48.5%	53.0%	4.9%	2.3%	1.5%	1.1%
	加納地区	127	33	19	2	18	23	12	45	21	50	62	6	8	7	3
川田谷地区		100.0%	26.0%	15.0%	1.6%	14.2%	18.1%	9.4%	35.4%	16.5%	39.4%	48.8%	4.7%	6.3%	5.5%	2.4%
	川田谷地区	109	22	13	9	10	25	7	41	29	47	61	4	6	1	2
		100.0%	20.2%	11.9%	8.3%	9.2%	22.9%	6.4%	37.6%	26.6%	43.1%	56.0%	3.7%	5.5%	0.9%	1.8%
	無回答	56	10	8	2	2	7	3	16	7	12	11	1	1	0	26
		100.0%	17.9%	14.3%	3.6%	3.6%	12.5%	5.4%	28.6%	12.5%	21.4%	19.6%	1.8%	1.8%	0.0%	46.4%

4. 分野ごとの状況について

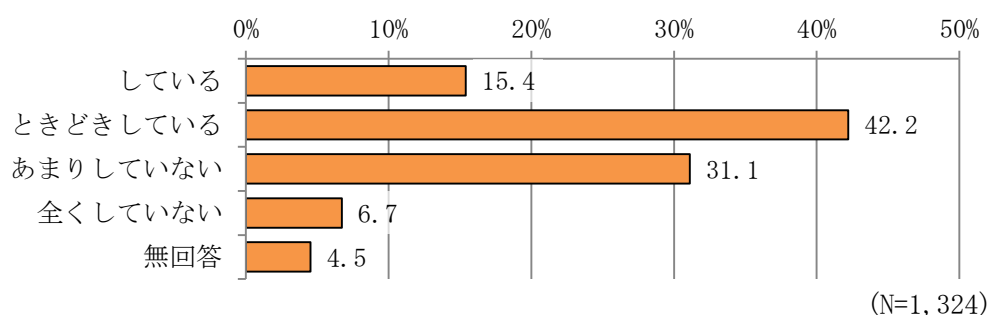
(6) 地球温暖化への取り組み

問23 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

全 体

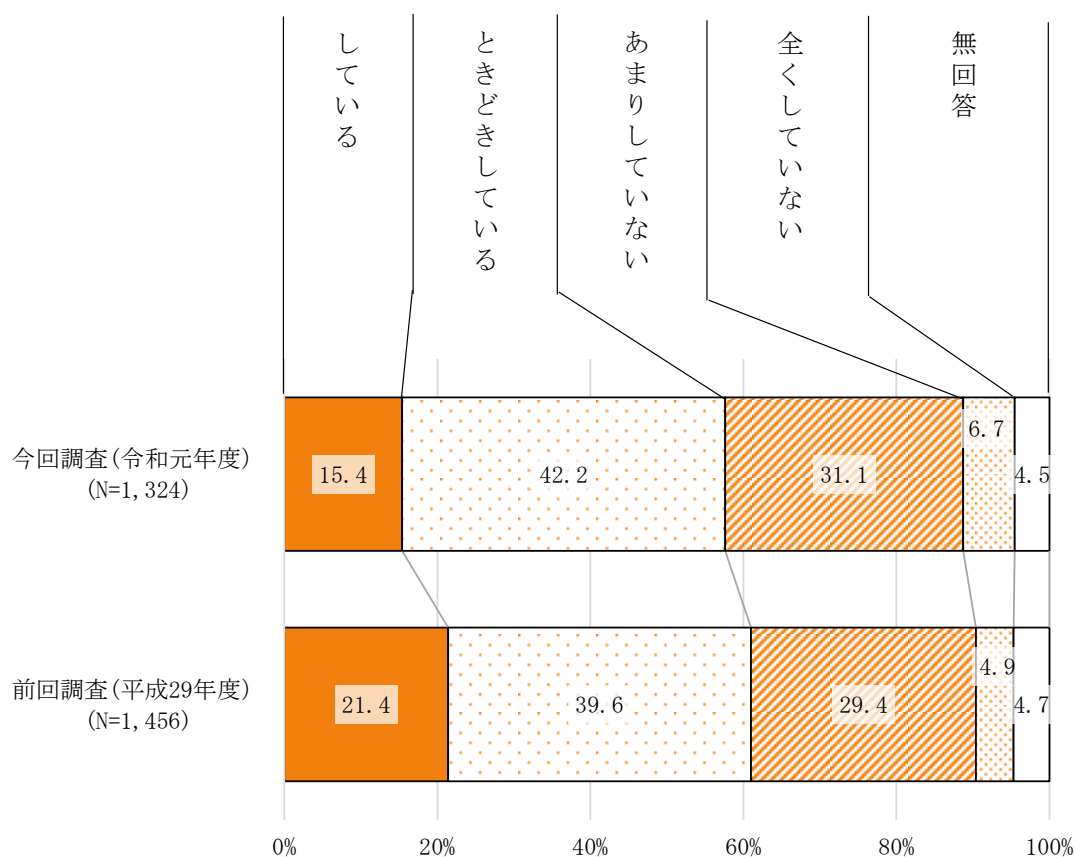
「ときどきしている」との回答が42.2%と最も高くなっており、次いで「あまりしていない」31.1%、「している」15.4%、「全くしていない」6.7%となっている。

一方で、『している』（「している」＋「ときどきしている」）は、全体の57.6%となっている。



【経年変化／地球温暖化への取り組み】

前回調査（平成29年度）と比較すると、『している』が減少している。



クロス／地球温暖化への取り組み

性別で見ると、男性・女性ともに「ときどきしている」が最も高くなっており、次いで「あまりしていない」となっている。

年齢で見ると、30歳～39歳では「あまりしていない」、その他の年齢では「ときどきしている」が最も高くなっている。次いで、30歳～39歳では「ときどきしている」、その他の年齢では「あまりしていない」となっている。

地区で見ると、全地区で「ときどきしている」が最も高くなっており、次いで「あまりしていない」となっている。

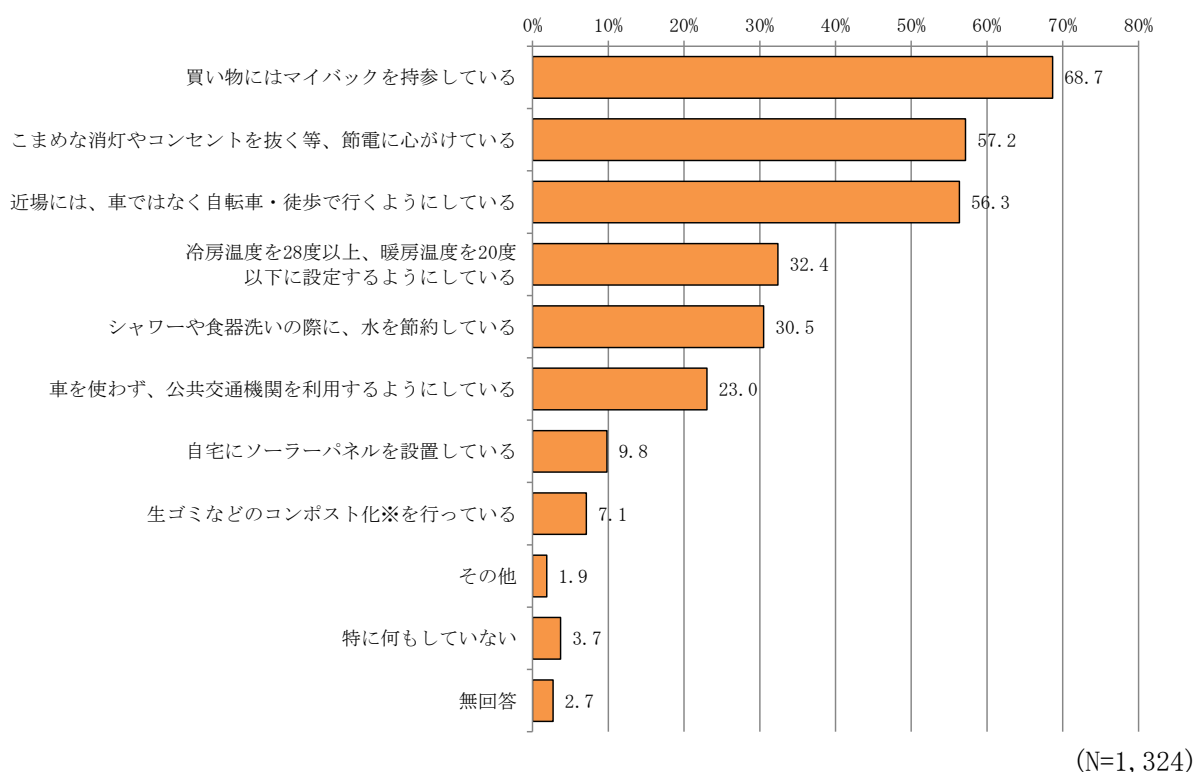
		調査数 (N)	している	ときどき している	あまり していない	全く していない	無 回答
	全体	1,324	204	559	412	89	60
		100.0%	15.4%	42.2%	31.1%	6.7%	4.5%
性別	男性	567	90	214	198	53	12
		100.0%	15.9%	37.7%	34.9%	9.3%	2.1%
	女性	700	109	333	204	36	18
		100.0%	15.6%	47.6%	29.1%	5.1%	2.6%
	無回答	57	5	12	10	0	30
		100.0%	8.8%	21.1%	17.5%	0.0%	52.6%
年齢	18歳～19歳	42	2	20	18	2	0
		100.0%	4.8%	47.6%	42.9%	4.8%	0.0%
	20歳～29歳	127	14	50	44	18	1
		100.0%	11.0%	39.4%	34.6%	14.2%	0.8%
	30歳～39歳	166	13	66	68	18	1
		100.0%	7.8%	39.8%	41.0%	10.8%	0.6%
	40歳～49歳	242	37	114	76	15	0
		100.0%	15.3%	47.1%	31.4%	6.2%	0.0%
	50歳～59歳	187	30	88	58	9	2
		100.0%	16.0%	47.1%	31.0%	4.8%	1.1%
	60歳～64歳	82	10	40	24	4	4
		100.0%	12.2%	48.8%	29.3%	4.9%	4.9%
地区	65歳～69歳	98	15	50	25	1	7
		100.0%	15.3%	51.0%	25.5%	1.0%	7.1%
	70歳～74歳	113	22	46	30	11	4
		100.0%	19.5%	40.7%	26.5%	9.7%	3.5%
	75歳以上	218	56	76	63	11	12
		100.0%	25.7%	34.9%	28.9%	5.0%	5.5%
	無回答	49	5	9	6	0	29
		100.0%	10.2%	18.4%	12.2%	0.0%	59.2%
	駅東側周辺	217	33	101	61	15	7
		100.0%	15.2%	46.5%	28.1%	6.9%	3.2%
	駅西側周辺	266	41	112	86	18	9
		100.0%	15.4%	42.1%	32.3%	6.8%	3.4%
地区	日出谷地区	283	41	113	103	21	5
		100.0%	14.5%	39.9%	36.4%	7.4%	1.8%
	坂田地区	266	44	123	75	23	1
		100.0%	16.5%	46.2%	28.2%	8.6%	0.4%
	加納地区	127	18	50	48	7	4
		100.0%	14.2%	39.4%	37.8%	5.5%	3.1%
	川田谷地区	109	19	49	32	5	4
		100.0%	17.4%	45.0%	29.4%	4.6%	3.7%
	無回答	56	8	11	7	0	30
		100.0%	14.3%	19.6%	12.5%	0.0%	53.6%

4. 分野ごとの状況について

問24 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

全 体

「買い物にはマイバッグを持参している」との回答が68.7%と最も高くなっており、次いで「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」57.2%、「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」56.3%、「冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている」32.4%、「シャワーや食器洗いの際に、水を節約している」30.5%となっている。

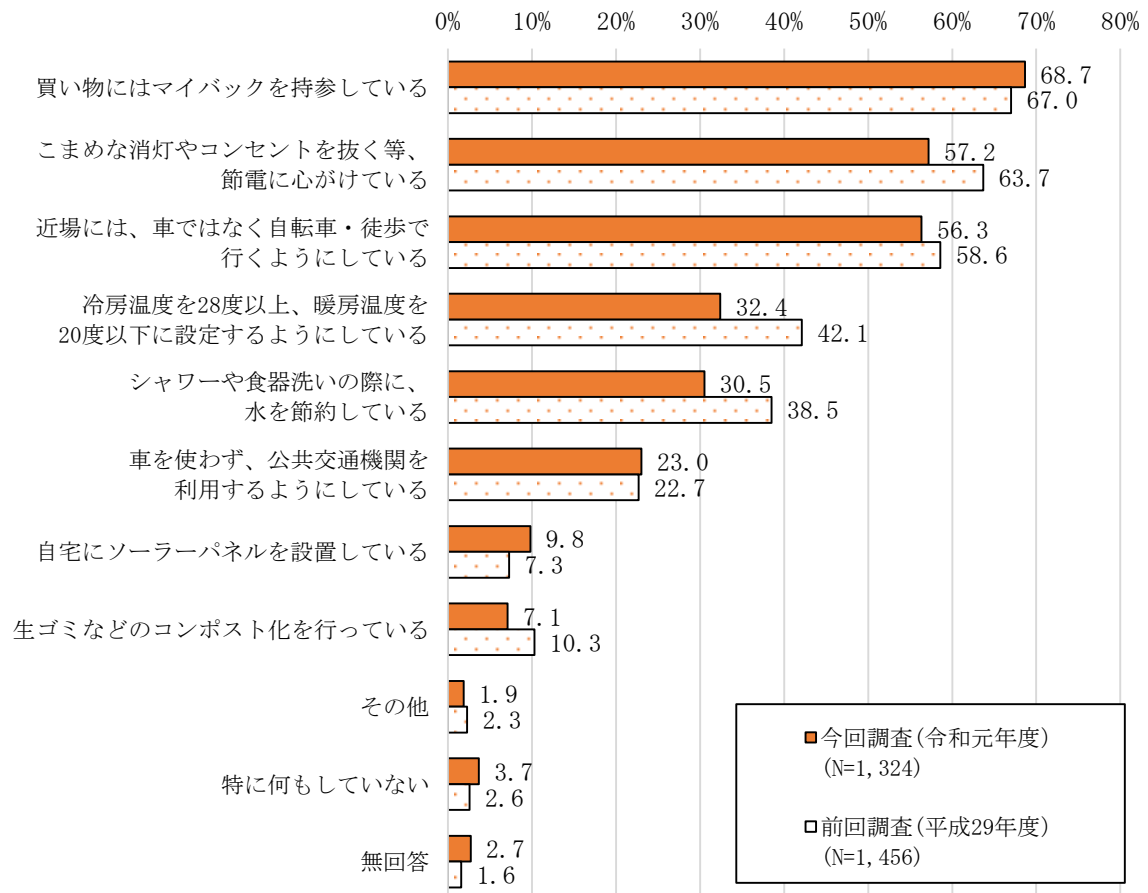


※「コンポスト化」とは、野菜くずや残飯などの生ゴミや、落ち葉などを堆肥に変えること。

【経年変化／具体的に取り組んでいるもの】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「自宅にソーラーパネルを設置している」、「買い物にはマイバッグを持参している」、「特に何もしていない」などが増加している。

一方で、「冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている」、「シャワーや食器洗いの際に、水を節約している」、「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」などは、前回調査（平成29年度）より減少している。



4. 分野ごとの状況について

クロス／具体的に取り組んでいるもの

性別で見ると、男性・女性ともに「買い物にはマイバッグを持参している」が最も高くなっており、次いで男性では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、女性では「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、20歳～74歳では「買い物にはマイバッグを持参している」、75歳以上では「買い物にはマイバッグを持参している」及び「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」が、それぞれ最も高くなっている。次いで18歳～19歳では「買い物にはマイバッグを持参している」、20歳～29歳、65歳～69歳では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、30歳～64歳では「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」、70歳～74歳では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」及び「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」となっている。

地区で見ると、全地区で「買い物にはマイバッグを持参している」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、駅西側周辺、坂田地区では「近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている」、その他の地区では「こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている」となっている。

4. 分野ごとの状況について

		調査数（N）	車を 利用 する よう にし て い る	近 場 に は、 車 で は な く は 自 転 車 ・ 徒 歩 で 行 く よ う に し て い る	買 い 物 に は マ イ バ ッ ク を 持 参 し て い る	冷 房 温 度 を 2 0 度 以 下 に 設 定 す る よ う に し て い る	こ ま め な 消 灯 や コ ン セ ン ト を 抜 く 等 、 節 電 に 心 が け て い る	自 宅 に ソ ー ラ ー パ ネ ル を 設 置 し て い る	シ ヤ ワ ー や 食 器 洗 い の 際 に、 水 を 節 約 し て い る	生 ゴ ミ な ど の コ ン ポ ス ト 化 を 行 っ て い る	そ の 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全体		1,324	305	746	909	429	757	130	404	94	25	49	36
		100.0%	23.0%	56.3%	68.7%	32.4%	57.2%	9.8%	30.5%	7.1%	1.9%	3.7%	2.7%
性別	男性	567	138	335	336	162	322	55	155	43	8	36	4
		100.0%	24.3%	59.1%	59.3%	28.6%	56.8%	9.7%	27.3%	7.6%	1.4%	6.3%	0.7%
	女性	700	157	393	548	254	421	73	235	49	16	12	5
		100.0%	22.4%	56.1%	78.3%	36.3%	60.1%	10.4%	33.6%	7.0%	2.3%	1.7%	0.7%
	無回答	57	10	18	25	13	14	2	14	2	1	1	27
		100.0%	17.5%	31.6%	43.9%	22.8%	24.6%	3.5%	24.6%	3.5%	1.8%	1.8%	47.4%
年齢	18歳～19歳	42	18	28	21	11	16	6	7	1	0	3	0
		100.0%	42.9%	66.7%	50.0%	26.2%	38.1%	14.3%	16.7%	2.4%	0.0%	7.1%	0.0%
	20歳～29歳	127	35	66	75	33	51	13	32	6	2	9	0
		100.0%	27.6%	52.0%	59.1%	26.0%	40.2%	10.2%	25.2%	4.7%	1.6%	7.1%	0.0%
	30歳～39歳	166	28	72	117	40	87	38	48	6	4	5	0
		100.0%	16.9%	43.4%	70.5%	24.1%	52.4%	22.9%	28.9%	3.6%	2.4%	3.0%	0.0%
	40歳～49歳	242	46	118	156	65	140	23	72	16	3	12	2
		100.0%	19.0%	48.8%	64.5%	26.9%	57.9%	9.5%	29.8%	6.6%	1.2%	5.0%	0.8%
	50歳～59歳	187	44	110	141	58	113	12	55	5	5	5	1
		100.0%	23.5%	58.8%	75.4%	31.0%	60.4%	6.4%	29.4%	2.7%	2.7%	2.7%	0.5%
	60歳～64歳	82	18	45	63	30	46	12	29	4	2	3	2
		100.0%	22.0%	54.9%	76.8%	36.6%	56.1%	14.6%	35.4%	4.9%	2.4%	3.7%	2.4%
	65歳～69歳	98	13	67	81	45	62	8	28	11	2	1	2
		100.0%	13.3%	68.4%	82.7%	45.9%	63.3%	8.2%	28.6%	11.2%	2.0%	1.0%	2.0%
	70歳～74歳	113	26	77	84	41	77	6	43	9	2	4	0
		100.0%	23.0%	68.1%	74.3%	36.3%	68.1%	5.3%	38.1%	8.0%	1.8%	3.5%	0.0%
	75歳以上	218	70	148	153	96	153	10	80	34	4	6	3
		100.0%	32.1%	67.9%	70.2%	44.0%	70.2%	4.6%	36.7%	15.6%	1.8%	2.8%	1.4%
	無回答	49	7	15	18	10	12	2	10	2	1	1	26
		100.0%	14.3%	30.6%	36.7%	20.4%	24.5%	4.1%	20.4%	4.1%	2.0%	2.0%	53.1%
地区	駅東側周辺	217	49	143	148	73	127	15	78	15	7	10	1
		100.0%	22.6%	65.9%	68.2%	33.6%	58.5%	6.9%	35.9%	6.9%	3.2%	4.6%	0.5%
	駅西側周辺	266	87	184	188	87	158	13	79	11	4	9	2
		100.0%	32.7%	69.2%	70.7%	32.7%	59.4%	4.9%	29.7%	4.1%	1.5%	3.4%	0.8%
	日出谷地区	283	62	139	201	83	166	35	84	19	7	6	3
		100.0%	21.9%	49.1%	71.0%	29.3%	58.7%	12.4%	29.7%	6.7%	2.5%	2.1%	1.1%
	坂田地区	266	56	168	195	99	147	19	73	10	4	10	3
		100.0%	21.1%	63.2%	73.3%	37.2%	55.3%	7.1%	27.4%	3.8%	1.5%	3.8%	1.1%
	加納地区	127	30	60	80	40	73	21	43	20	0	10	0
		100.0%	23.6%	47.2%	63.0%	31.5%	57.5%	16.5%	33.9%	15.7%	0.0%	7.9%	0.0%
	川田谷地区	109	12	32	74	33	68	25	34	16	2	3	1
		100.0%	11.0%	29.4%	67.9%	30.3%	62.4%	22.9%	31.2%	14.7%	1.8%	2.8%	0.9%
	無回答	56	9	20	23	14	18	2	13	3	1	1	26
		100.0%	16.1%	35.7%	41.1%	25.0%	32.1%	3.6%	23.2%	5.4%	1.8%	1.8%	46.4%

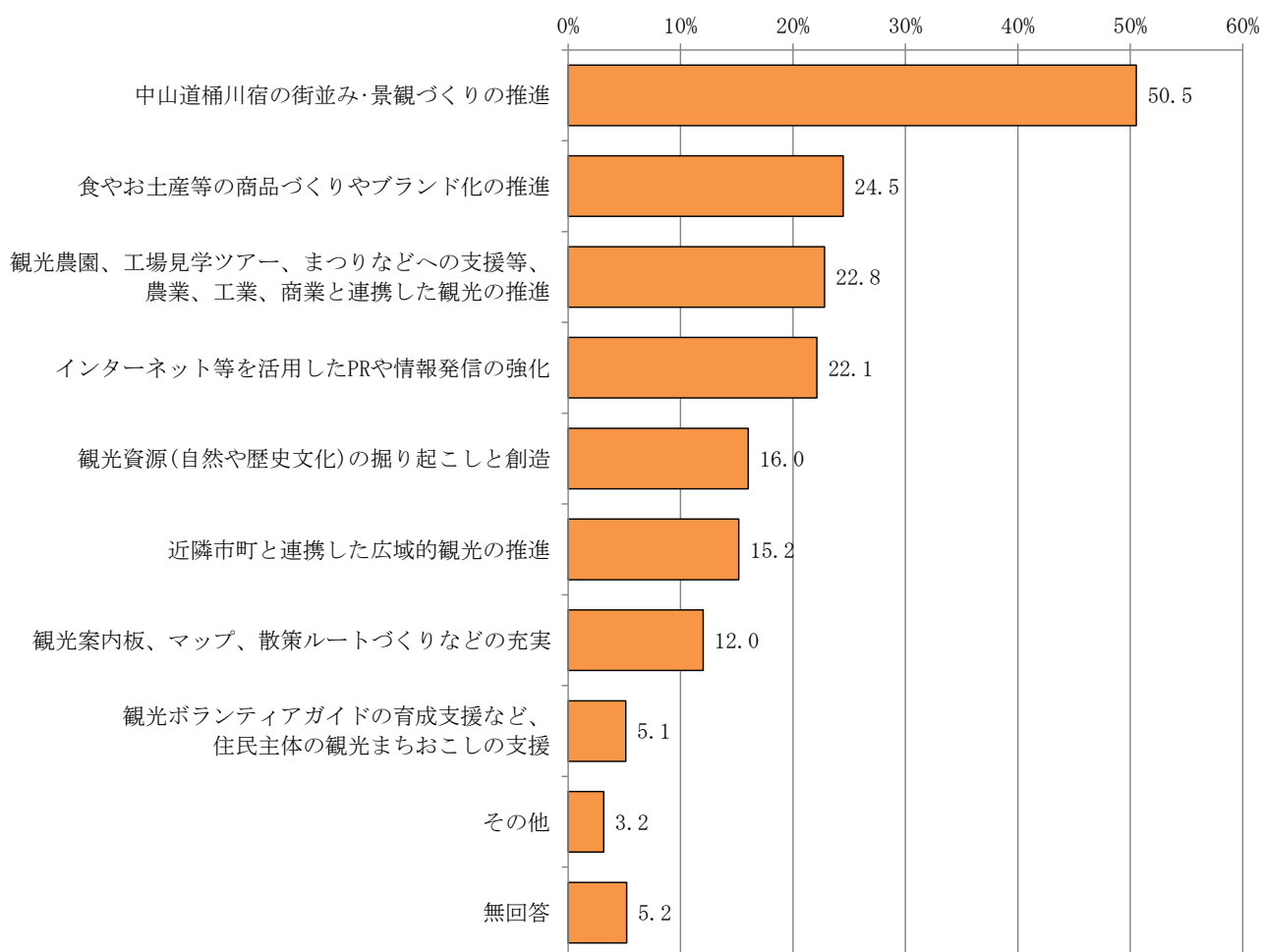
4. 分野ごとの状況について

(7) 観光振興

問25 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」との回答が50.5%と最も高くなっている。次いで「食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進」24.5%、「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」22.8%、「インターネット等を活用したPRや情報発信の強化」22.1%、「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」16.0%となっている。

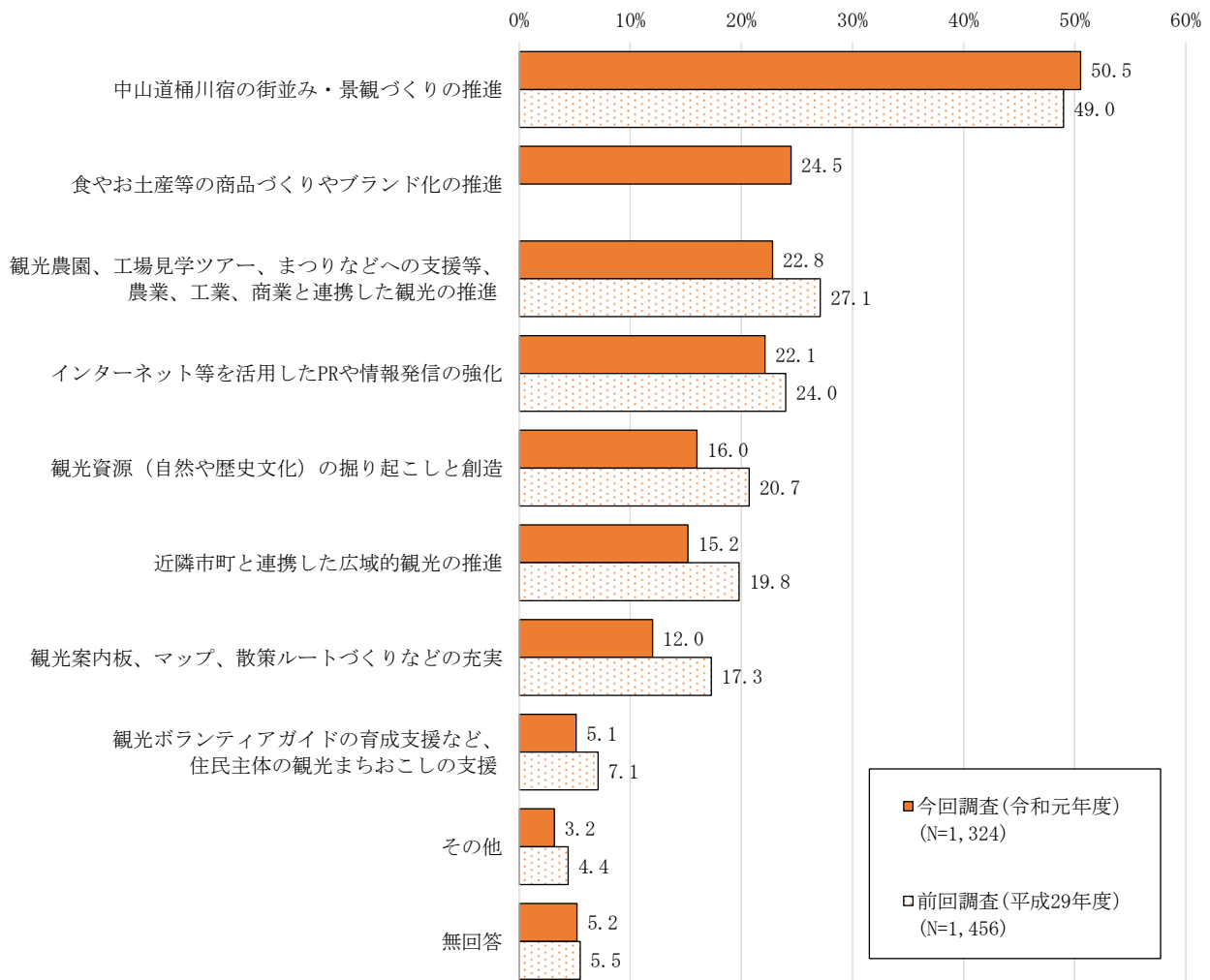


(N=1,324)

【経年変化／観光振興】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が増加している。一方で、「観光案内板、マップ、散策ルートづくりなどの充実」、「観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造」、「近隣市町と連携した広域的観光の推進」などは、前回調査（平成29年度）より減少している。

今回調査から追加した「食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進」の回答が24.5%で上位となっている。



4. 分野ごとの状況について

クロス／観光振興

性別で見ると、男性・女性ともに「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が最も高くなっており、次いで「食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が最も高くなっている。次いで18歳～19歳、50歳～59歳では「インターネット等を活用したPRや情報発信の強化」、20歳～29歳、40歳～49歳、70歳～74歳では「食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進」、60歳～64歳では「食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進」及び「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」、30歳～39歳では「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」、65歳～69歳では「観光案内板、マップ、散策ルートづくりなどの充実」、75歳以上では「近隣市町と連携した広域的観光の推進」となっている。

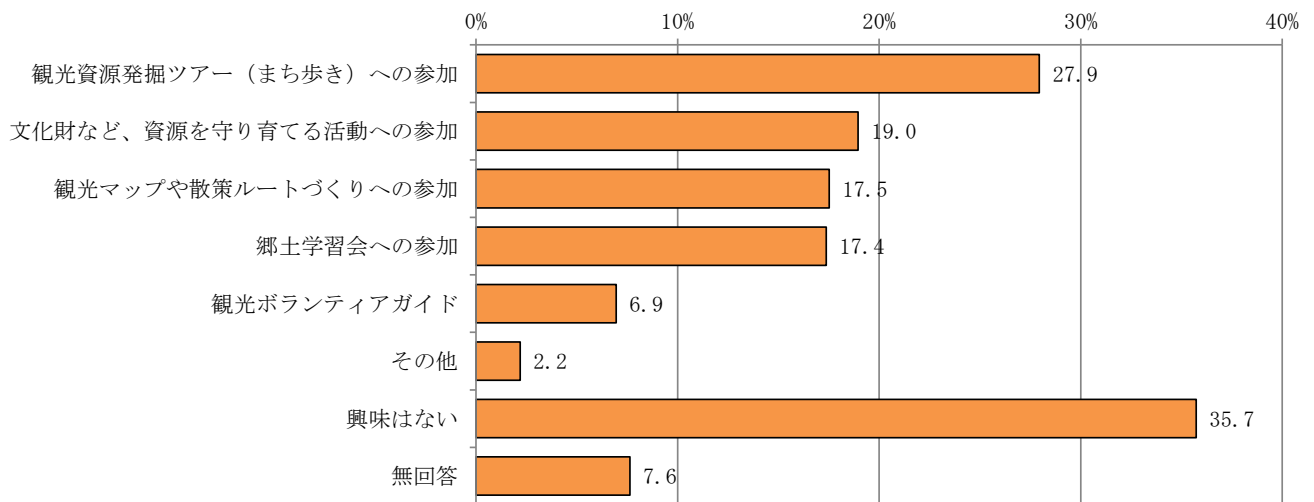
地区で見ると、全地区で「中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、日出谷地区、坂田地区、川田谷地区においては「食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進」、その他の地区では「観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進」となっている。

		調査数（N）	インターネット等を活用したPRや情報発信の強化	中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進	観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進	食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進	観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援	観光資源（自然や歴史文化）の掘り起こしと創造	近隣市町と連携した広域的観光の推進	観光案内板、マップ、散策ルートづくりなどの充実	その他	無回答
全体		1,324	293	669	302	324	68	212	201	159	42	69
		100.0%	22.1%	50.5%	22.8%	24.5%	5.1%	16.0%	15.2%	12.0%	3.2%	5.2%
性別	男性	567	128	293	117	137	20	119	86	74	28	13
		100.0%	22.6%	51.7%	20.6%	24.2%	3.5%	21.0%	15.2%	13.1%	4.9%	2.3%
	女性	700	161	362	180	182	45	91	112	79	12	25
		100.0%	23.0%	51.7%	25.7%	26.0%	6.4%	13.0%	16.0%	11.3%	1.7%	3.6%
無回答		57	4	14	5	5	3	2	3	6	2	31
		100.0%	7.0%	24.6%	8.8%	8.8%	5.3%	3.5%	5.3%	10.5%	3.5%	54.4%
年齢	18歳～19歳	42	16	22	12	8	3	2	5	3	0	0
		100.0%	38.1%	52.4%	28.6%	19.0%	7.1%	4.8%	11.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	39	68	31	52	7	14	7	9	1	1
		100.0%	30.7%	53.5%	24.4%	40.9%	5.5%	11.0%	5.5%	7.1%	0.8%	0.8%
	30歳～39歳	166	37	73	52	51	8	26	30	15	8	0
		100.0%	22.3%	44.0%	31.3%	30.7%	4.8%	15.7%	18.1%	9.0%	4.8%	0.0%
	40歳～49歳	242	55	122	67	70	6	39	37	24	6	5
		100.0%	22.7%	50.4%	27.7%	28.9%	2.5%	16.1%	15.3%	9.9%	2.5%	2.1%
	50歳～59歳	187	50	107	46	42	16	36	25	9	7	1
		100.0%	26.7%	57.2%	24.6%	22.5%	8.6%	19.3%	13.4%	4.8%	3.7%	0.5%
	60歳～64歳	82	14	47	18	18	4	14	13	12	2	5
		100.0%	17.1%	57.3%	22.0%	22.0%	4.9%	17.1%	15.9%	14.6%	2.4%	6.1%
	65歳～69歳	98	22	48	14	16	5	17	17	24	4	4
		100.0%	22.4%	49.0%	14.3%	16.3%	5.1%	17.3%	17.3%	24.5%	4.1%	4.1%
	70歳～74歳	113	25	56	19	29	8	25	18	19	3	6
		100.0%	22.1%	49.6%	16.8%	25.7%	7.1%	22.1%	15.9%	16.8%	2.7%	5.3%
75歳以上		218	31	116	39	32	10	38	46	40	8	19
		100.0%	14.2%	53.2%	17.9%	14.7%	4.6%	17.4%	21.1%	18.3%	3.7%	8.7%
無回答		49	4	10	4	6	1	1	3	4	3	28
		100.0%	8.2%	20.4%	8.2%	12.2%	2.0%	2.0%	6.1%	8.2%	6.1%	57.1%
地区	駅東側周辺	217	49	123	43	52	10	36	32	25	7	8
		100.0%	22.6%	56.7%	19.8%	24.0%	4.6%	16.6%	14.7%	11.5%	3.2%	3.7%
	駅西側周辺	266	60	140	70	62	16	49	45	26	5	10
		100.0%	22.6%	52.6%	26.3%	23.3%	6.0%	18.4%	16.9%	9.8%	1.9%	3.8%
	日出谷地区	283	66	124	58	83	13	42	48	41	12	8
		100.0%	23.3%	43.8%	20.5%	29.3%	4.6%	14.8%	17.0%	14.5%	4.2%	2.8%
	坂田地区	266	61	141	63	67	17	43	43	34	7	8
		100.0%	22.9%	53.0%	23.7%	25.2%	6.4%	16.2%	16.2%	12.8%	2.6%	3.0%
	加納地区	127	28	77	37	26	4	21	17	12	3	2
		100.0%	22.0%	60.6%	29.1%	20.5%	3.1%	16.5%	13.4%	9.4%	2.4%	1.6%
川田谷地区		109	22	51	27	28	3	20	11	17	5	4
		100.0%	20.2%	46.8%	24.8%	25.7%	2.8%	18.3%	10.1%	15.6%	4.6%	3.7%
無回答		56	7	13	4	6	5	1	5	4	3	29
		100.0%	12.5%	23.2%	7.1%	10.7%	8.9%	1.8%	8.9%	7.1%	5.4%	51.8%

問26 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「興味はない」との回答が35.7%と最も高くなっており、次いで「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」27.9%、「文化財など、資源を守り育てる活動への参加」19.0%、「観光マップや散策ルートづくりへの参加」17.5%、「郷土学習会への参加」17.4%となっている。



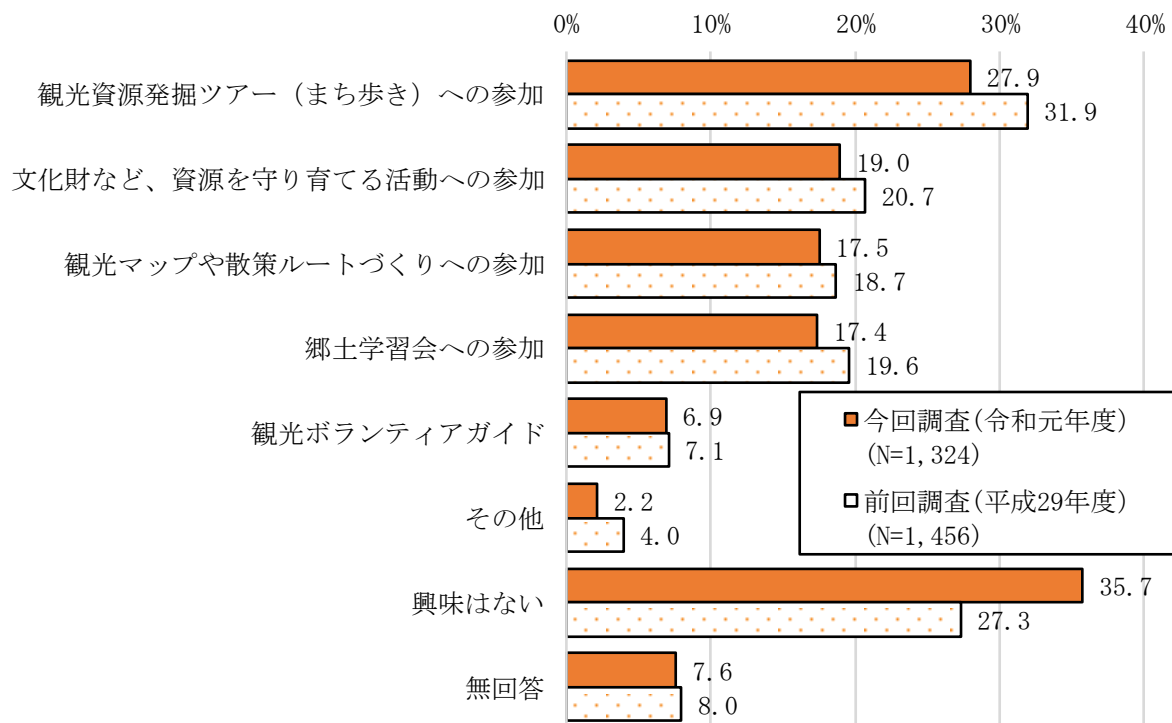
(N=1,324)

4. 分野ごとの状況について

【経年変化／観光振興にかかわる活動への参加】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「興味はない」が増加している。

一方で、「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」など他の項目は、前回調査（平成29年度）より減少している。



クロス／観光振興にかかわる活動への参加

性別で見ると、男性・女性ともに「興味はない」が最も高くなっており、次いで「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「興味はない」、50～59歳、65歳～69歳、70歳～74歳では「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」が、60歳～64歳では「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」及び「興味はない」、75歳以上では「郷土学習会への参加」が最も高くなっている。

地区で見ると、全地区で「興味はない」が最も高くなっており、次いで「観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加」となっている。

		調査数 (N)	郷土学習会への参加	観光資源発掘ツアー（まち歩き）への参加	観光マップや散策ルート	文化財など、資源を守り活動への参加	観光ボランティアガイド	その他	興味はない	無回答
性別	全体	1,324	230	370	232	251	92	29	473	101
		100.0%	17.4%	27.9%	17.5%	19.0%	6.9%	2.2%	35.7%	7.6%
	男性	567	99	173	104	114	34	17	214	25
		100.0%	17.5%	30.5%	18.3%	20.1%	6.0%	3.0%	37.7%	4.4%
	女性	700	126	192	122	131	53	12	248	47
年齢		100.0%	18.0%	27.4%	17.4%	18.7%	7.6%	1.7%	35.4%	6.7%
	無回答	57	5	5	6	6	5	0	11	29
		100.0%	8.8%	8.8%	10.5%	10.5%	8.8%	0.0%	19.3%	50.9%
	18歳～19歳	42	3	9	6	11	10	1	14	0
		100.0%	7.1%	21.4%	14.3%	26.2%	23.8%	2.4%	33.3%	0.0%
	20歳～29歳	127	12	26	28	28	14	2	60	1
		100.0%	9.4%	20.5%	22.0%	22.0%	11.0%	1.6%	47.2%	0.8%
	30歳～39歳	166	16	36	31	29	8	3	89	0
		100.0%	9.6%	21.7%	18.7%	17.5%	4.8%	1.8%	53.6%	0.0%
	40歳～49歳	242	27	63	40	57	16	5	103	6
地区		100.0%	11.2%	26.0%	16.5%	23.6%	6.6%	2.1%	42.6%	2.5%
	50歳～59歳	187	36	66	36	31	12	4	64	2
		100.0%	19.3%	35.3%	19.3%	16.6%	6.4%	2.1%	34.2%	1.1%
	60歳～64歳	82	18	27	14	17	6	1	27	4
		100.0%	22.0%	32.9%	17.1%	20.7%	7.3%	1.2%	32.9%	4.9%
	65歳～69歳	98	16	37	24	23	7	1	26	6
		100.0%	16.3%	37.8%	24.5%	23.5%	7.1%	1.0%	26.5%	6.1%
	70歳～74歳	113	30	42	17	15	8	4	30	12
		100.0%	26.5%	37.2%	15.0%	13.3%	7.1%	3.5%	26.5%	10.6%
	75歳以上	218	69	60	31	37	9	8	50	42
		100.0%	31.7%	27.5%	14.2%	17.0%	4.1%	3.7%	22.9%	19.3%
地区	無回答	49	3	4	5	3	2	0	10	28
		100.0%	6.1%	8.2%	10.2%	6.1%	4.1%	0.0%	20.4%	57.1%
	駅東側周辺	217	48	59	31	43	11	7	82	12
		100.0%	22.1%	27.2%	14.3%	19.8%	5.1%	3.2%	37.8%	5.5%
	駅西側周辺	266	52	84	45	46	29	7	86	18
		100.0%	19.5%	31.6%	16.9%	17.3%	10.9%	2.6%	32.3%	6.8%
	日出谷地区	283	48	82	51	57	24	4	104	16
		100.0%	17.0%	29.0%	18.0%	20.1%	8.5%	1.4%	36.7%	5.7%
	坂田地区	266	45	81	58	53	14	6	87	14
		100.0%	16.9%	30.5%	21.8%	19.9%	5.3%	2.3%	32.7%	5.3%
	加納地区	127	18	29	22	27	6	5	56	3
地区		100.0%	14.2%	22.8%	17.3%	21.3%	4.7%	3.9%	44.1%	2.4%
	川田谷地区	109	16	29	20	21	4	0	46	9
		100.0%	14.7%	26.6%	18.3%	19.3%	3.7%	0.0%	42.2%	8.3%
	無回答	56	3	6	5	4	4	0	12	29
地区		100.0%	5.4%	10.7%	8.9%	7.1%	7.1%	0.0%	21.4%	51.8%

4. 分野ごとの状況について

(8) 公共施設の利用

問27 現在、あなたは桶川市の公共施設を利用していますか。利用している場合、年間の利用頻度であてはまる番号 1 つに○印をおつけください。また、利用頻度が低い（4 または5 と回答した）場合は、その理由としてあてはまる番号 すべて に○印をおつけください。

利用頻度

全 体

「図書館」と「公園」を除く全ての施設で『利用頻度が低い』（「年に数回程度」＋「ほぼ利用していない」）が70%を超えている。

一方で、『定期的に利用している』（「ほぼ毎日」＋「週に1回以上」＋「月に1回以上」）の割合が高いのは「図書館」と「公園」であり、約4人に1人となっている。次いで「屋内スポーツ施設（桶川サン・アリーナ）」、「行政系施設（市庁舎など）」、「公民館」などとなっており、いずれも10%未満となっている。

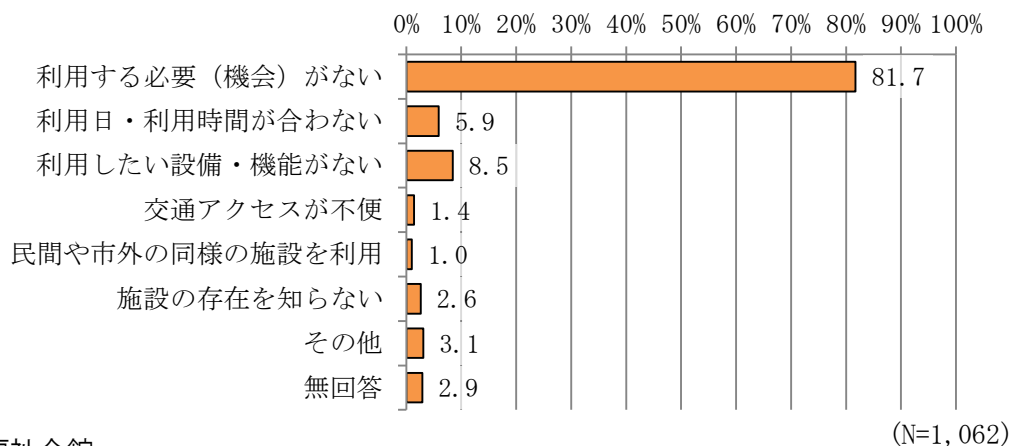
	調査数 (N)	ほぼ毎日	週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	い は ば お 利 用 し て い な い	無 回 答
桶川市民ホール	1,324	2	14	40	265	797	206
	100.0%	0.2%	1.1%	3.0%	20.0%	60.2%	15.6%
勤労福祉会館	1,324	0	8	17	48	1,015	236
	100.0%	0.0%	0.6%	1.3%	3.6%	76.7%	17.8%
市民活動サポートセンター	1,324	1	6	17	28	1,022	250
	100.0%	0.1%	0.5%	1.3%	2.1%	77.2%	18.9%
コミュニティセンター	1,324	3	15	52	58	956	240
	100.0%	0.2%	1.1%	3.9%	4.4%	72.2%	18.1%
公民館	1,324	3	24	60	102	913	222
	100.0%	0.2%	1.8%	4.5%	7.7%	69.0%	16.8%
図書館	1,324	4	72	259	299	484	206
	100.0%	0.3%	5.4%	19.6%	22.6%	36.6%	15.6%
歴史民俗資料館	1,324	1	0	13	53	1,007	250
	100.0%	0.1%	0.0%	1.0%	4.0%	76.1%	18.9%
屋内スポーツ施設（桶川サン・アリーナ）	1,324	7	50	55	129	855	228
	100.0%	0.5%	3.8%	4.2%	9.7%	64.6%	17.2%
屋外スポーツ施設（総合運動場など）	1,324	0	14	32	61	980	237
	100.0%	0.0%	1.1%	2.4%	4.6%	74.0%	17.9%
児童館	1,324	0	3	19	42	1,008	252
	100.0%	0.0%	0.2%	1.4%	3.2%	76.1%	19.0%
子育て支援センター	1,324	1	6	17	29	1,019	252
	100.0%	0.1%	0.5%	1.3%	2.2%	77.0%	19.0%
児童発達支援センター	1,324	0	2	8	14	1,047	253
	100.0%	0.0%	0.2%	0.6%	1.1%	79.1%	19.1%
保健センター	1,324	1	1	20	194	867	241
	100.0%	0.1%	0.1%	1.5%	14.7%	65.5%	18.2%
老人福祉センター	1,324	5	7	11	26	1,033	242
	100.0%	0.4%	0.5%	0.8%	2.0%	78.0%	18.3%
べに花ふるさと館	1,324	2	5	40	279	781	217
	100.0%	0.2%	0.4%	3.0%	21.1%	59.0%	16.4%
農業センター	1,324	0	0	18	46	1,014	246
	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	3.5%	76.6%	18.6%
行政系施設（市庁舎など）	1,324	1	4	84	469	533	233
	100.0%	0.1%	0.3%	6.3%	35.4%	40.3%	17.6%
公園	1,324	22	85	225	257	524	211
	100.0%	1.7%	6.4%	17.0%	19.4%	39.6%	15.9%

利用頻度が低い理由

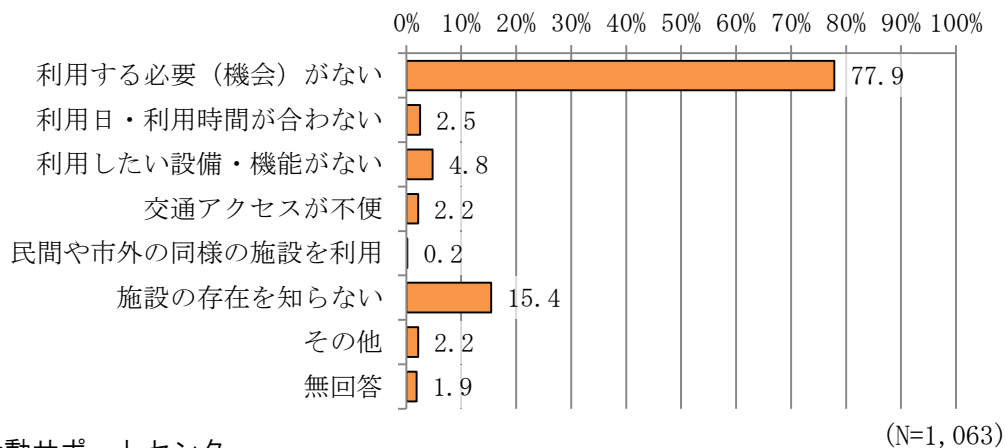
全 体

全ての項目で「利用する必要（機会）がない」が最も高くなっており、いずれも過半数を占めている。特に「桶川市民ホール」、「公民館」、「児童館」、「子育て支援センター」、「児童発達支援センター」、「保健センター」、「老人福祉センター」などで80%を超えている。「市民活動サポートセンター」では「施設の存在を知らない」が約20%と高くなっており、「勤労福祉会館」、「コミュニティセンター（スマイルピアザ坂田）」、「歴史民俗資料館」、「児童発達支援センター」、「農業センター」では10%を超えている。

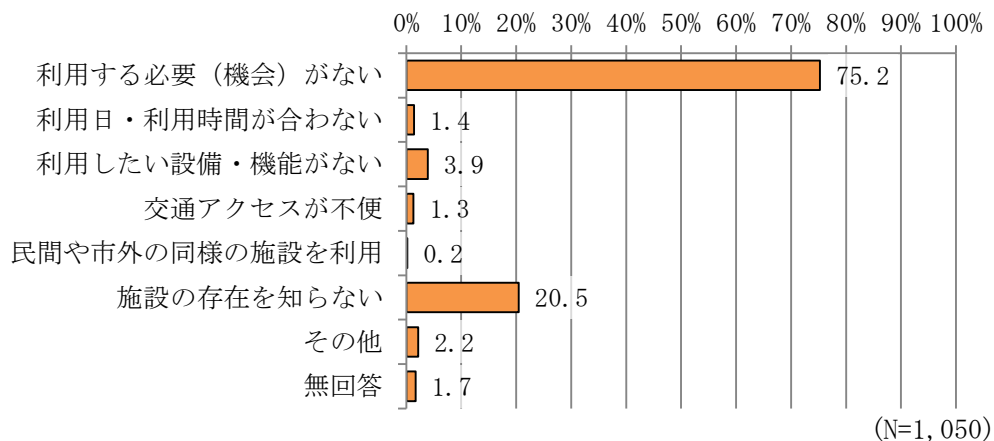
■ 桶川市民ホール



■ 勤労福祉会館

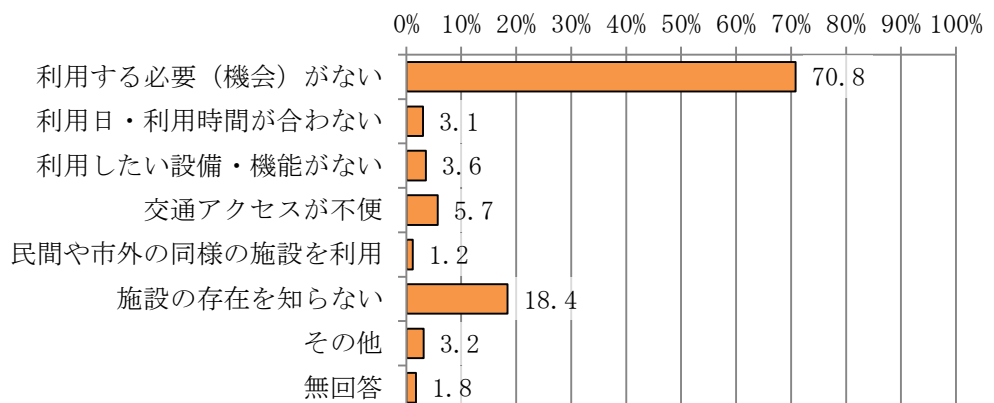


■ 市民活動サポートセンター



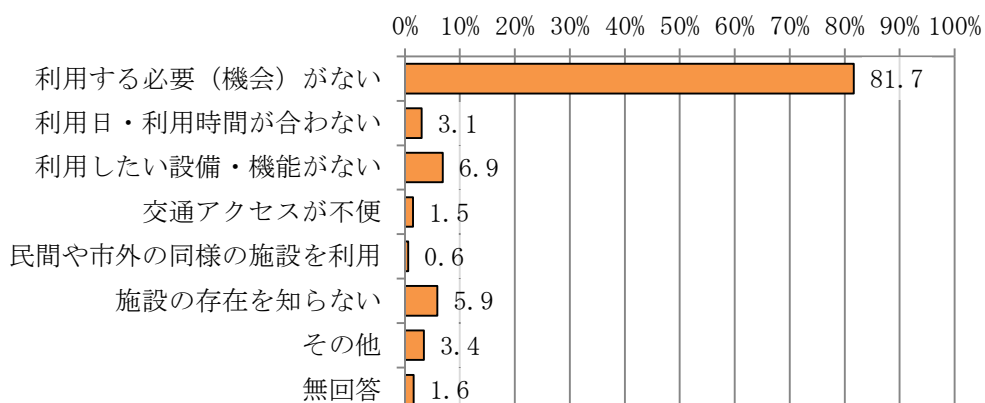
4. 分野ごとの状況について

■ コミュニティセンター（スマイルピアザ坂田）



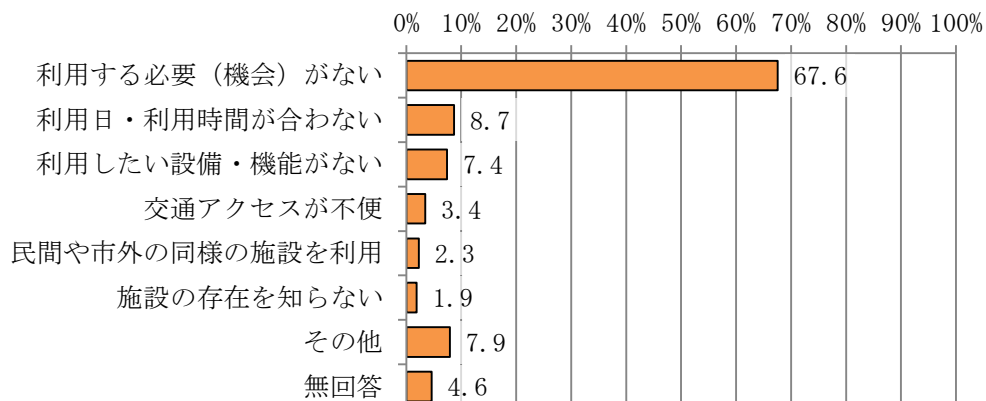
(N=1, 014)

■ 公民館



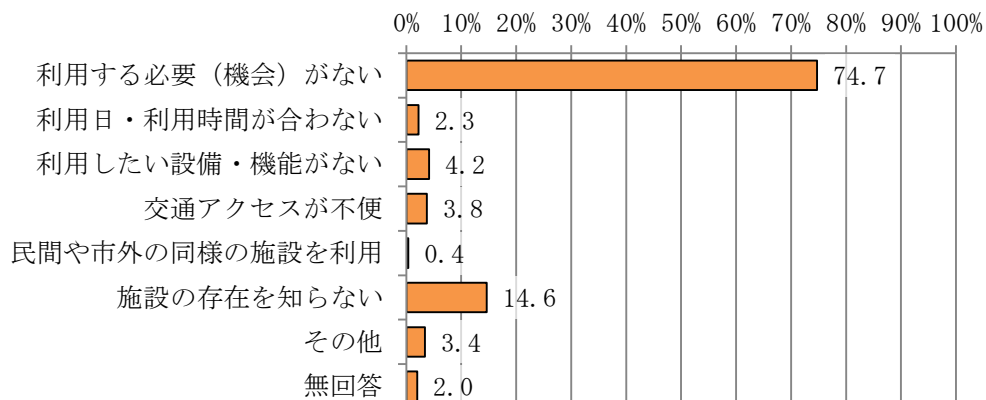
(N=1, 015)

■ 図書館



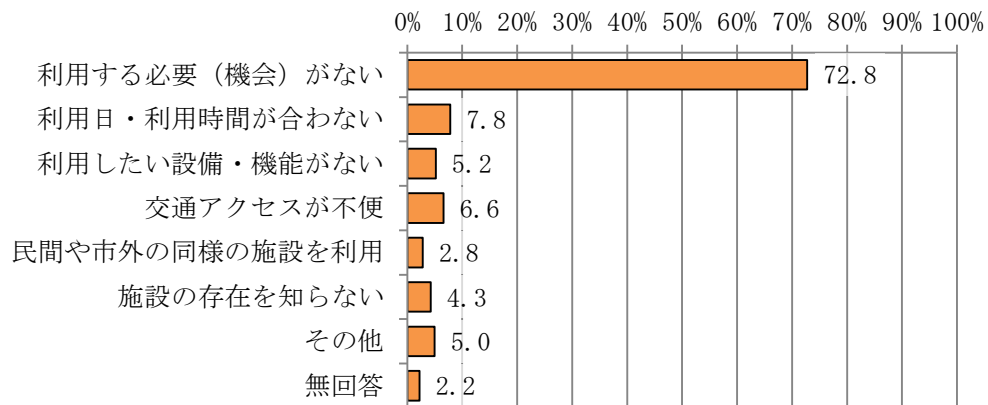
(N=783)

■ 歴史民俗資料館



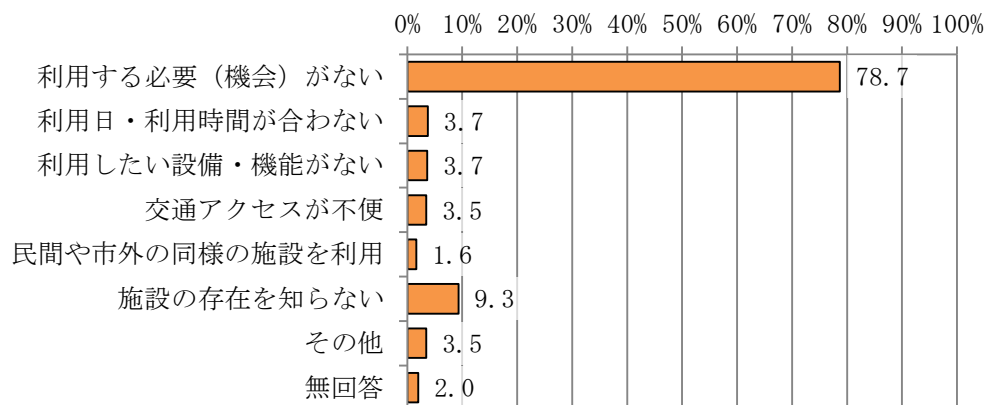
(N=1, 060)

■ 屋内スポーツ施設（桶川サン・アリーナ）



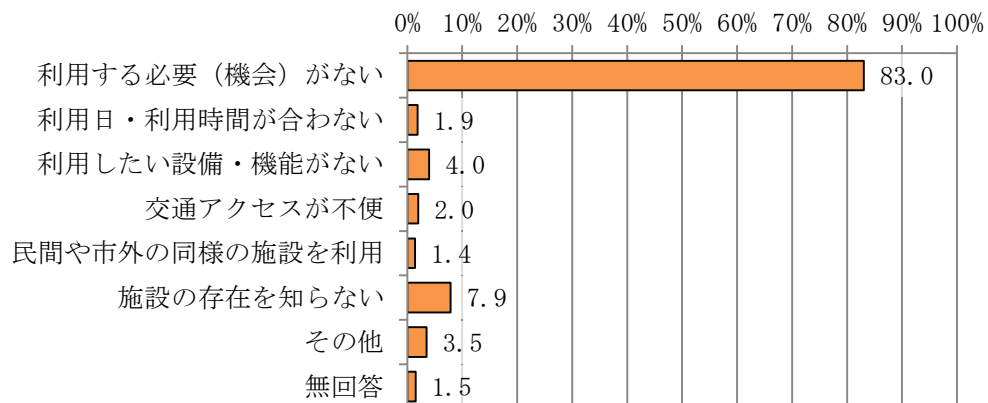
(N=984)

■ 屋外スポーツ施設（総合運動場など）



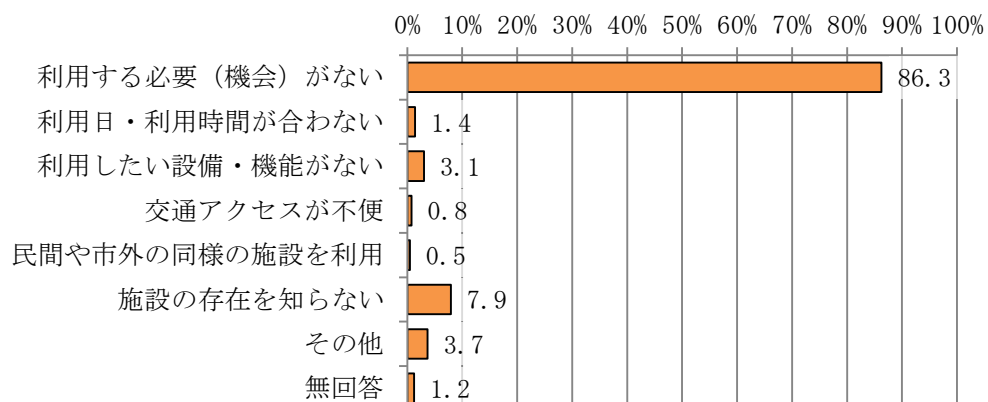
(N=1, 041)

■ 児童館



(N=1, 041)

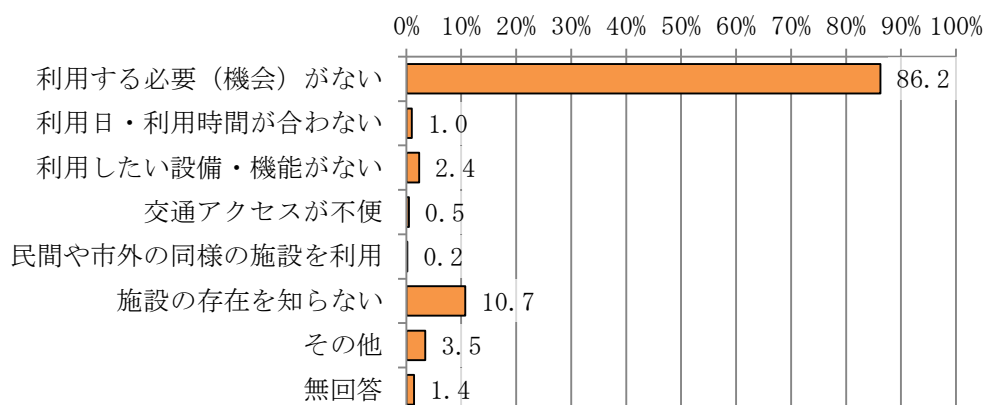
■ 子育て支援センター



(N=1, 048)

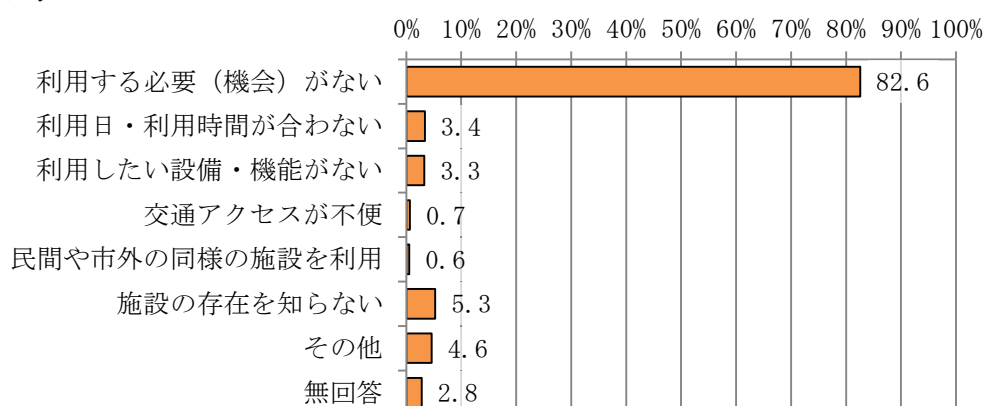
4. 分野ごとの状況について

■ 児童発達支援センター



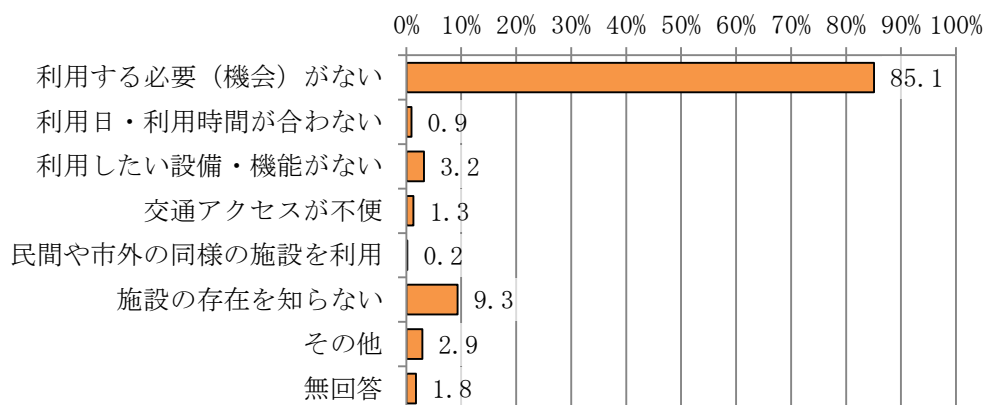
(N=1,061)

■ 保健センター



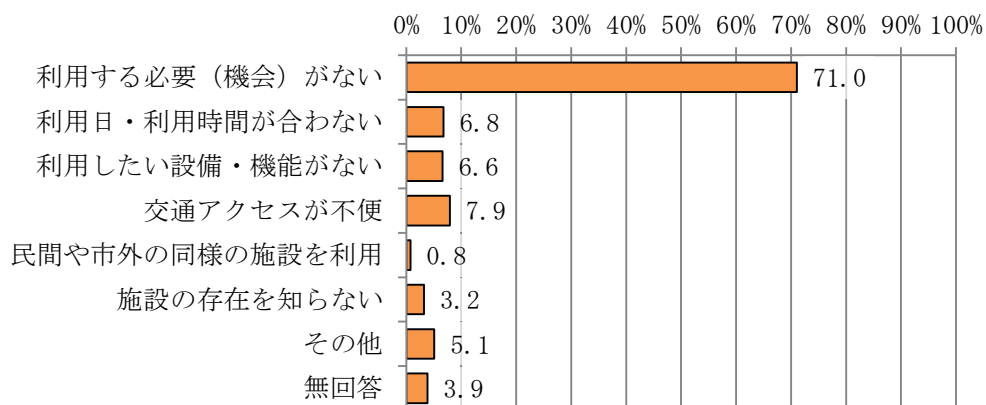
(N=1,061)

■ 老人福祉センター



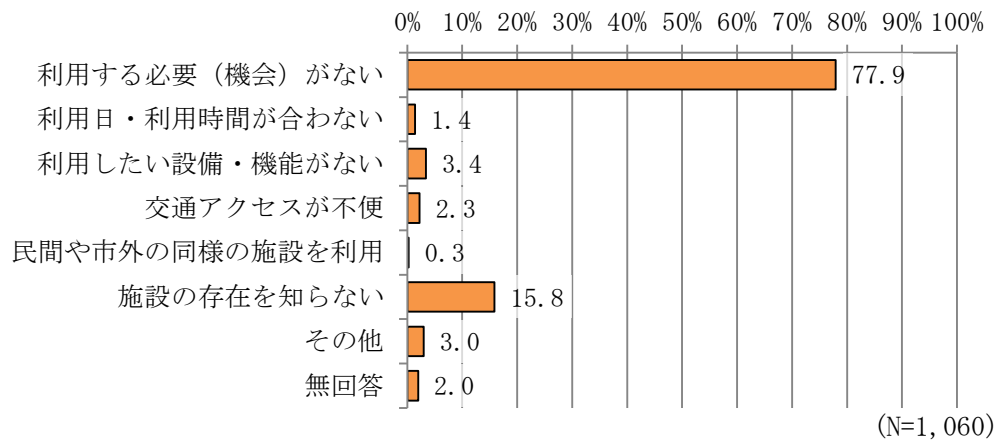
(N=1,059)

■ べに花ふるさと館

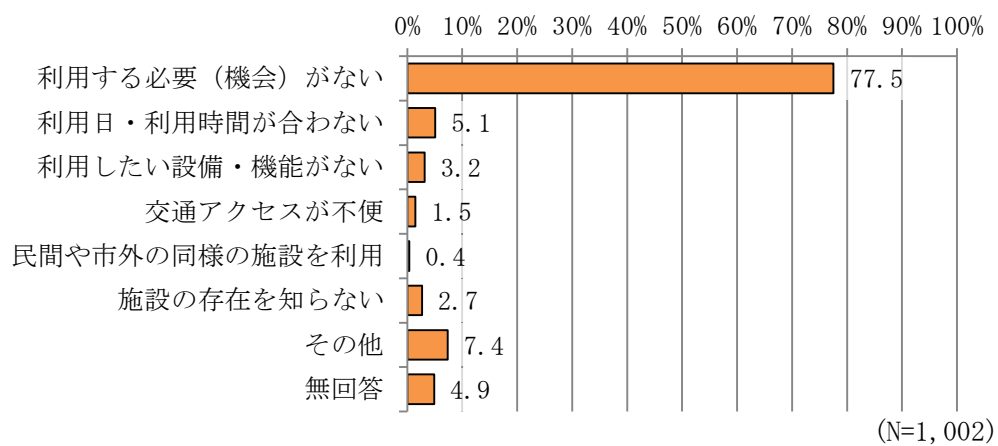


(N=1,060)

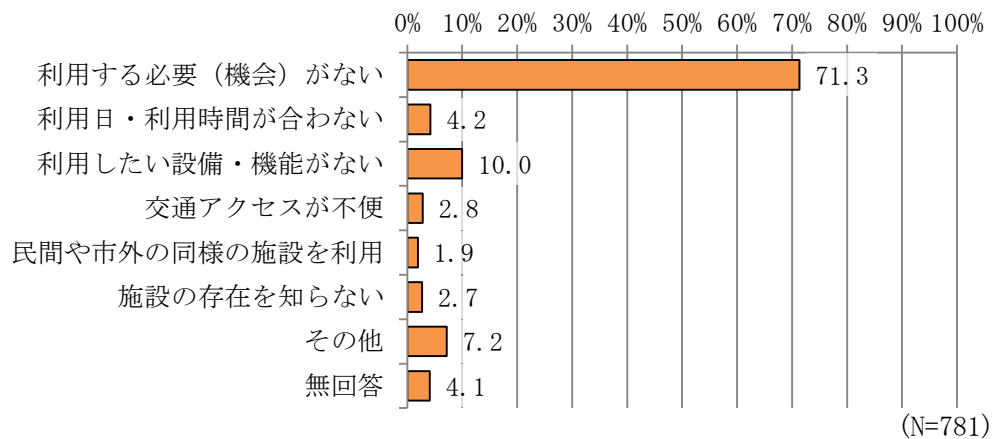
■ 農業センター



■ 行政系施設（市庁舎など）



■ 公園



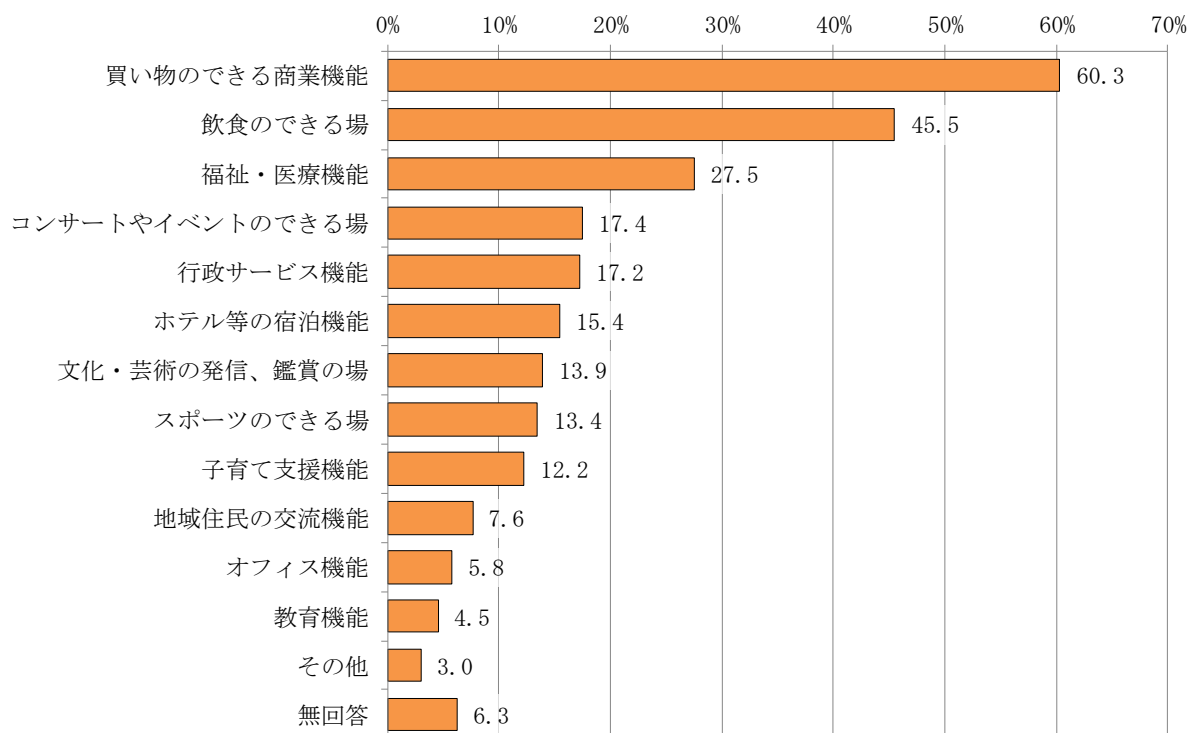
4. 分野ごとの状況について

(9) 桶川駅周辺の中心市街地

問28 あなたは、桶川駅周辺の中心市街地には、どのような機能や場を今後、充実させる必要があると思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「買い物のできる商業機能」との回答が60.3%と最も高くなっており、次いで「飲食のできる場」45.5%、「福祉・医療機能」27.5%となっている。



クロス／桶川駅周辺の中心市街地

性別で見ると、男性・女性ともに「買い物のできる商業機能」が最も高くなっており、次いで「飲食のできる場」となっている。

年齢で見ると、全年齢で「買い物のできる商業機能」が最も高くなっている。次いで、75歳以上では「福祉・医療機能」、その他の年齢では「飲食のできる場」となっている。

地区で見ると、全地区において「買い物のできる商業機能」が最も高くなっており、次いで「飲食のできる場」となっている。

		調査数 (N)	行政サービス機能	地域住民の交流機能	買い物のできる商業機能	福祉・医療機能	鑑賞・文化・芸術の発信、鑑賞の場	子育て支援機能	教育機能	スポーツのできる場	コンサートやイベントのできる場	飲食のできる場	オフィス機能	ホテル等の宿泊機能	その他	無回答
全体		1,324	228	101	798	364	184	162	60	178	231	602	77	204	40	83
		100.0%	17.2%	7.6%	60.3%	27.5%	13.9%	12.2%	4.5%	13.4%	17.4%	45.5%	5.8%	15.4%	3.0%	6.3%
性別	男性	567	117	46	334	150	85	63	28	91	94	248	41	108	26	16
		100.0%	20.6%	8.1%	58.9%	26.5%	15.0%	11.1%	4.9%	16.0%	16.6%	43.7%	7.2%	19.0%	4.6%	2.8%
	女性	700	106	54	452	206	94	95	31	84	134	349	32	92	14	32
		100.0%	15.1%	7.7%	64.6%	29.4%	13.4%	13.6%	4.4%	12.0%	19.1%	49.9%	4.6%	13.1%	2.0%	4.6%
	無回答	57	5	1	12	8	5	4	1	3	3	5	4	4	0	35
		100.0%	8.8%	1.8%	21.1%	14.0%	8.8%	7.0%	1.8%	5.3%	5.3%	8.8%	7.0%	7.0%	0.0%	61.4%
年齢	18歳～19歳	42	6	1	26	6	4	7	3	11	8	20	1	3	3	1
		100.0%	14.3%	2.4%	61.9%	14.3%	9.5%	16.7%	7.1%	26.2%	19.0%	47.6%	2.4%	7.1%	7.1%	2.4%
	20歳～29歳	127	14	6	89	23	17	26	7	22	26	70	6	25	4	1
		100.0%	11.0%	4.7%	70.1%	18.1%	13.4%	20.5%	5.5%	17.3%	20.5%	55.1%	4.7%	19.7%	3.1%	0.8%
	30歳～39歳	166	20	7	116	31	13	37	10	30	29	104	17	20	5	0
		100.0%	12.0%	4.2%	69.9%	18.7%	7.8%	22.3%	6.0%	18.1%	17.5%	62.7%	10.2%	12.0%	3.0%	0.0%
	40歳～49歳	242	32	11	163	58	30	32	16	42	44	120	18	39	8	3
		100.0%	13.2%	4.5%	67.4%	24.0%	12.4%	13.2%	6.6%	17.4%	18.2%	49.6%	7.4%	16.1%	3.3%	1.2%
	50歳～59歳	187	47	9	115	57	26	18	7	22	32	81	16	31	8	5
		100.0%	25.1%	4.8%	61.5%	30.5%	13.9%	9.6%	3.7%	11.8%	17.1%	43.3%	8.6%	16.6%	4.3%	2.7%
	60歳～64歳	82	15	9	51	27	13	7	2	9	19	39	3	13	2	2
		100.0%	18.3%	11.0%	62.2%	32.9%	15.9%	8.5%	2.4%	11.0%	23.2%	47.6%	3.7%	15.9%	2.4%	2.4%
	65歳～69歳	98	22	9	60	34	15	8	6	12	18	37	3	19	2	5
		100.0%	22.4%	9.2%	61.2%	34.7%	15.3%	8.2%	6.1%	12.2%	18.4%	37.8%	3.1%	19.4%	2.0%	5.1%
	70歳～74歳	113	25	18	58	41	26	8	3	12	17	47	2	18	1	7
		100.0%	22.1%	15.9%	51.3%	36.3%	23.0%	7.1%	2.7%	10.6%	15.0%	41.6%	1.8%	15.9%	0.9%	6.2%
	75歳以上	218	43	30	111	82	38	15	6	15	36	80	8	34	6	27
		100.0%	19.7%	13.8%	50.9%	37.6%	17.4%	6.9%	2.8%	6.9%	16.5%	36.7%	3.7%	15.6%	2.8%	12.4%
	無回答	49	4	1	9	5	2	4	0	3	2	4	3	2	1	32
		100.0%	8.2%	2.0%	18.4%	10.2%	4.1%	8.2%	0.0%	6.1%	4.1%	8.2%	6.1%	4.1%	2.0%	65.3%
地区	駅東側周辺	217	37	16	140	61	27	35	16	30	30	100	5	28	8	12
		100.0%	17.1%	7.4%	64.5%	28.1%	12.4%	16.1%	7.4%	13.8%	13.8%	46.1%	2.3%	12.9%	3.7%	5.5%
	駅西側周辺	266	40	20	150	92	45	35	13	44	51	120	13	38	7	8
		100.0%	15.0%	7.5%	56.4%	34.6%	16.9%	13.2%	4.9%	16.5%	19.2%	45.1%	4.9%	14.3%	2.6%	3.0%
	日出谷地区	283	38	19	183	81	40	37	9	38	57	125	20	42	9	13
		100.0%	13.4%	6.7%	64.7%	28.6%	14.1%	13.1%	3.2%	13.4%	20.1%	44.2%	7.1%	14.8%	3.2%	4.6%
	坂田地区	266	65	26	167	65	34	22	10	29	41	132	22	48	9	8
		100.0%	24.4%	9.8%	62.8%	24.4%	12.8%	8.3%	3.8%	10.9%	15.4%	49.6%	8.3%	18.0%	3.4%	3.0%
	加納地区	127	25	12	78	31	11	19	5	18	16	69	10	24	4	5
		100.0%	19.7%	9.4%	61.4%	24.4%	8.7%	15.0%	3.9%	14.2%	12.6%	54.3%	7.9%	18.9%	3.1%	3.9%
	川田谷地区	109	18	6	67	28	25	10	6	15	32	49	4	22	2	3
		100.0%	16.5%	5.5%	61.5%	25.7%	22.9%	9.2%	5.5%	13.8%	29.4%	45.0%	3.7%	20.2%	1.8%	2.8%
	無回答	56	5	2	13	6	2	4	1	4	4	7	3	2	1	34
		100.0%	8.9%	3.6%	23.2%	10.7%	3.6%	7.1%	1.8%	7.1%	7.1%	12.5%	5.4%	3.6%	1.8%	60.7%

4. 分野ごとの状況について

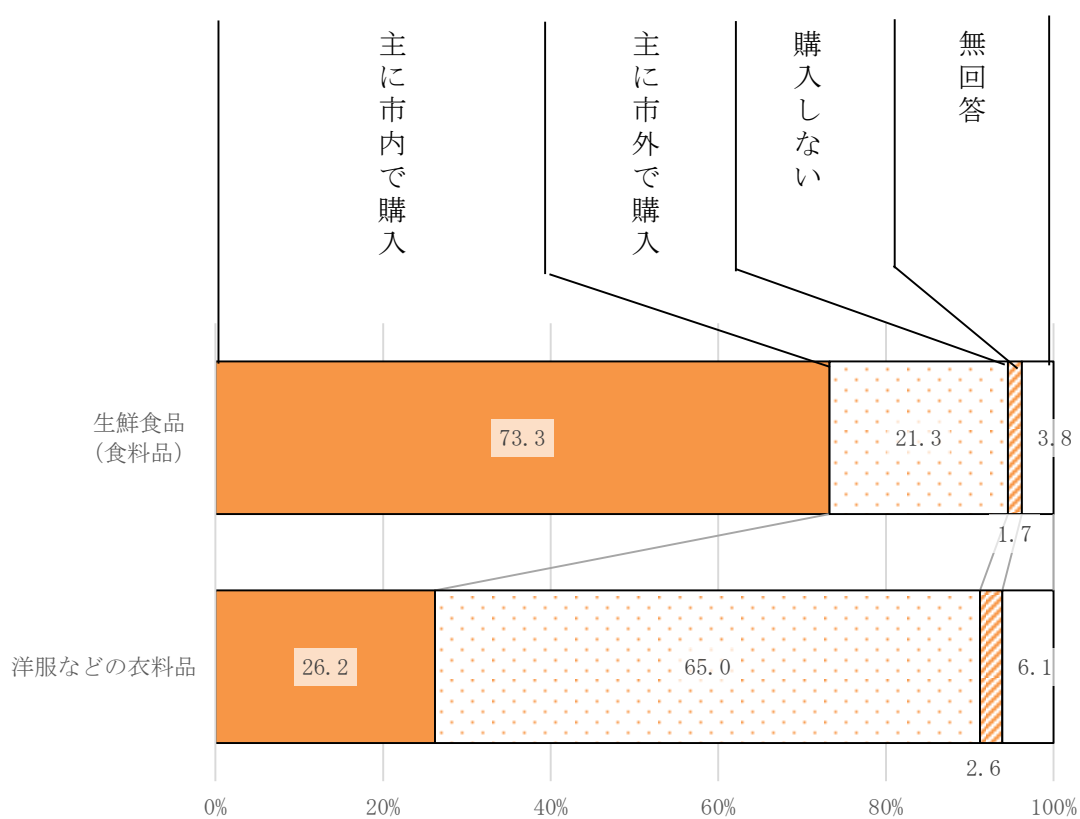
(10) 日常生活で利用する施設

問29 あなたが日常生活で利用する施設についてお伺いします。利用する施設について、それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を1つ選び、番号に○印をおつけください。

全体 ①日常の買い物

「生鮮食品（食料品）」については、「主に市内で購入」が73.3%、「主に市外で購入」が21.3%となっている。

「洋服などの衣料品」については、「主に市外で購入」が65.0%、「主に市内で購入」が26.2%となっている。



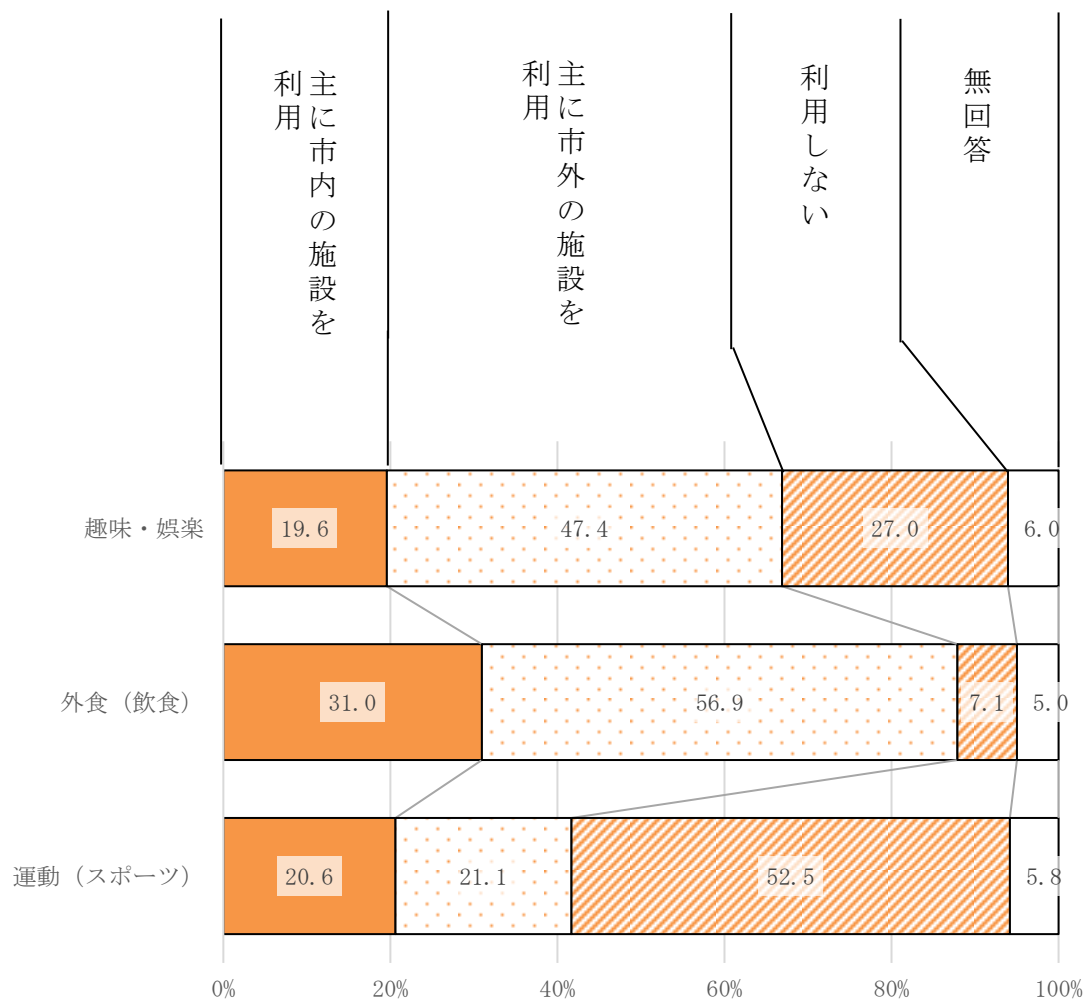
(N=1,324)

全体 ②施設の利用

「趣味・娯楽」については、「主に市外の施設を利用」が47.4%、「利用しない」が27.0%となっている。

「外食（飲食）」については、「主に市外の施設を利用」が56.9%、「主に市内の施設を利用」が31.0%となっている。

「運動（スポーツ）」については、「利用しない」が52.5%、「主に市外の施設を利用」が21.1%となっている。



(N=1, 324)

4. 分野ごとの状況について

クロス／①日常の買い物、生鮮食品（食料品）

性別、年齢、地区のいずれを見ても、「主に市内で購入」が最も高くなっており、次いで「主に市外で購入」となっている。

		(調査数)	主に市内で購入	主に市外で購入	購入しない	無回答
全体		1,324	970	282	22	50
		100.0%	73.3%	21.3%	1.7%	3.8%
性別	男性	567	425	121	12	9
		100.0%	75.0%	21.3%	2.1%	1.6%
	女性	700	523	158	9	10
		100.0%	74.7%	22.6%	1.3%	1.4%
	無回答	57	22	3	1	31
		100.0%	38.6%	5.3%	1.8%	54.4%
年齢	18歳～19歳	42	29	9	4	0
		100.0%	69.0%	21.4%	9.5%	0.0%
	20歳～29歳	127	98	23	6	0
		100.0%	77.2%	18.1%	4.7%	0.0%
	30歳～39歳	166	117	47	1	1
		100.0%	70.5%	28.3%	0.6%	0.6%
	40歳～49歳	242	163	74	4	1
		100.0%	67.4%	30.6%	1.7%	0.4%
	50歳～59歳	187	139	44	1	3
		100.0%	74.3%	23.5%	0.5%	1.6%
	60歳～64歳	82	57	23	1	1
		100.0%	69.5%	28.0%	1.2%	1.2%
	65歳～69歳	98	74	23	0	1
		100.0%	75.5%	23.5%	0.0%	1.0%
	70歳～74歳	113	95	16	1	1
		100.0%	84.1%	14.2%	0.9%	0.9%
	75歳以上	218	183	20	3	12
		100.0%	83.9%	9.2%	1.4%	5.5%
	無回答	49	15	3	1	30
		100.0%	30.6%	6.1%	2.0%	61.2%
地区	駅東側周辺	217	163	46	2	6
		100.0%	75.1%	21.2%	0.9%	2.8%
	駅西側周辺	266	197	64	3	2
		100.0%	74.1%	24.1%	1.1%	0.8%
	日出谷地区	283	226	51	5	1
		100.0%	79.9%	18.0%	1.8%	0.4%
	坂田地区	266	224	32	5	5
		100.0%	84.2%	12.0%	1.9%	1.9%
	加納地区	127	84	39	2	2
		100.0%	66.1%	30.7%	1.6%	1.6%
	川田谷地区	109	59	45	3	2
		100.0%	54.1%	41.3%	2.8%	1.8%
	無回答	56	17	5	2	32
		100.0%	30.4%	8.9%	3.6%	57.1%

クロス／①日常の買い物、洋服などの衣料品

性別で見ると、男性・女性ともに「主に市外で購入」が最も高くなっており、次いで「主に市内で購入」となっている。

年齢で見ると、75歳以上では「主に市内で購入」、その他の年齢では「主に市外で購入」が、それぞれ最も高くなっており、次いで、75歳以上では「主に市外で購入」、その他の年齢では「主に市内で購入」となっている。

地区で見ると、「主に市外で購入」が最も高くなっており、次いで「主に市内で購入」となっている。

		(調 査 数 N)	購 主 入 に 市 内 で	購 主 入 に 市 外 で	購 入 し な い	無 回 答
全体		1,324	347	861	35	81
		100.0%	26.2%	65.0%	2.6%	6.1%
性別	男性	567	154	367	22	24
		100.0%	27.2%	64.7%	3.9%	4.2%
	女性	700	190	473	11	26
		100.0%	27.1%	67.6%	1.6%	3.7%
	無回答	57	3	21	2	31
		100.0%	5.3%	36.8%	3.5%	54.4%
年齢	18歳～19歳	42	8	34	0	0
		100.0%	19.0%	81.0%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	19	102	5	1
		100.0%	15.0%	80.3%	3.9%	0.8%
	30歳～39歳	166	19	142	3	2
		100.0%	11.4%	85.5%	1.8%	1.2%
	40歳～49歳	242	47	185	5	5
		100.0%	19.4%	76.4%	2.1%	2.1%
	50歳～59歳	187	44	136	3	4
		100.0%	23.5%	72.7%	1.6%	2.1%
	60歳～64歳	82	24	54	2	2
		100.0%	29.3%	65.9%	2.4%	2.4%
地区	65歳～69歳	98	36	54	4	4
		100.0%	36.7%	55.1%	4.1%	4.1%
	70歳～74歳	113	46	57	2	8
		100.0%	40.7%	50.4%	1.8%	7.1%
	75歳以上	218	102	81	10	25
		100.0%	46.8%	37.2%	4.6%	11.5%
	無回答	49	2	16	1	30
		100.0%	4.1%	32.7%	2.0%	61.2%
	駅東側周辺	217	69	131	6	11
		100.0%	31.8%	60.4%	2.8%	5.1%
	駅西側周辺	266	64	188	5	9
		100.0%	24.1%	70.7%	1.9%	3.4%
地区	日出谷地区	283	85	179	8	11
		100.0%	30.0%	63.3%	2.8%	3.9%
	坂田地区	266	70	180	8	8
		100.0%	26.3%	67.7%	3.0%	3.0%
	加納地区	127	28	87	5	7
		100.0%	22.0%	68.5%	3.9%	5.5%
	川田谷地区	109	27	76	2	4
		100.0%	24.8%	69.7%	1.8%	3.7%
	無回答	56	4	20	1	31
		100.0%	7.1%	35.7%	1.8%	55.4%

4. 分野ごとの状況について

クロス／②施設の利用、趣味・娯楽

性別で見ると、男性・女性ともに「主に市外の施設を利用」が最も高くなっており、次いで「利用しない」となっている。

年齢で見ると、70歳～74歳では「利用しない」、75歳以上では「主に市内の施設を利用」、その他の年齢では「主に市外の施設を利用」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、70歳～74歳では「主に市外の施設を利用」、その他の年齢では「利用しない」となっている。

地区で見ると、全地区において「主に市外の施設を利用」が最も高くなっており、次いで駅西側周辺においては「主に市内の施設を利用」、その他の地区では「利用しない」となっている。

		調査数 (N)	施 主 設 に を 市 利 内 用 の	施 主 設 に を 市 利 外 用 の	利 用 し な い	無 回 答
全体		1,324	259	627	358	80
		100.0%	19.6%	47.4%	27.0%	6.0%
性別	男性	567	127	275	145	20
		100.0%	22.4%	48.5%	25.6%	3.5%
	女性	700	130	338	204	28
		100.0%	18.6%	48.3%	29.1%	4.0%
	無回答	57	2	14	9	32
		100.0%	3.5%	24.6%	15.8%	56.1%
年齢	18歳～19歳	42	4	27	11	0
		100.0%	9.5%	64.3%	26.2%	0.0%
	20歳～29歳	127	22	78	27	0
		100.0%	17.3%	61.4%	21.3%	0.0%
	30歳～39歳	166	20	115	30	1
		100.0%	12.0%	69.3%	18.1%	0.6%
	40歳～49歳	242	39	144	56	3
		100.0%	16.1%	59.5%	23.1%	1.2%
	50歳～59歳	187	23	94	66	4
		100.0%	12.3%	50.3%	35.3%	2.1%
	60歳～64歳	82	18	35	27	2
		100.0%	22.0%	42.7%	32.9%	2.4%
地区	65歳～69歳	98	20	40	36	2
		100.0%	20.4%	40.8%	36.7%	2.0%
	70歳～74歳	113	35	36	37	5
		100.0%	31.0%	31.9%	32.7%	4.4%
	75歳以上	218	77	48	61	32
		100.0%	35.3%	22.0%	28.0%	14.7%
	無回答	49	1	10	7	31
		100.0%	2.0%	20.4%	14.3%	63.3%
	駅東側周辺	217	48	87	73	9
		100.0%	22.1%	40.1%	33.6%	4.1%
	駅西側周辺	266	59	148	50	9
		100.0%	22.2%	55.6%	18.8%	3.4%
	日出谷地区	283	60	129	85	9
		100.0%	21.2%	45.6%	30.0%	3.2%
	坂田地区	266	55	129	74	8
		100.0%	20.7%	48.5%	27.8%	3.0%
	加納地区	127	21	64	35	7
		100.0%	16.5%	50.4%	27.6%	5.5%
	川田谷地区	109	14	58	33	4
		100.0%	12.8%	53.2%	30.3%	3.7%
	無回答	56	2	12	8	34
		100.0%	3.6%	21.4%	14.3%	60.7%

クロス／②施設の利用、外食（飲食）

性別で見ると、男性・女性ともに「主に市外の施設を利用」が最も高くなっており、次いで「主に市内の施設を利用」となっている。

年齢で見ると、75歳以上では「主に市内の施設を利用」、その他の年齢では「主に市外の施設を利用」が最も高くなっている。次いで、75歳以上では「主に市外の施設を利用」、その他の年齢では「主に市内の施設を利用」となっている。

地区で見ると、全地区において「主に市外の施設を利用」が最も高く、次いで「主に市内の施設を利用」となっている。

		調査数 (N)	施 主 設 に を 市 利 内 用 の	施 主 設 に を 市 利 外 用 の	利 用 し な い	無 回 答
全体		1,324	410	754	94	66
		100.0%	31.0%	56.9%	7.1%	5.0%
性別	男性	567	192	309	52	14
		100.0%	33.9%	54.5%	9.2%	2.5%
	女性	700	211	428	41	20
		100.0%	30.1%	61.1%	5.9%	2.9%
	無回答	57	7	17	1	32
		100.0%	12.3%	29.8%	1.8%	56.1%
年齢	18歳～19歳	42	12	30	0	0
		100.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	30	89	7	1
		100.0%	23.6%	70.1%	5.5%	0.8%
	30歳～39歳	166	35	123	7	1
		100.0%	21.1%	74.1%	4.2%	0.6%
	40歳～49歳	242	67	158	16	1
		100.0%	27.7%	65.3%	6.6%	0.4%
	50歳～59歳	187	53	120	10	4
		100.0%	28.3%	64.2%	5.3%	2.1%
	60歳～64歳	82	34	45	2	1
		100.0%	41.5%	54.9%	2.4%	1.2%
	65歳～69歳	98	35	49	11	3
		100.0%	35.7%	50.0%	11.2%	3.1%
	70歳～74歳	113	49	52	11	1
		100.0%	43.4%	46.0%	9.7%	0.9%
	75歳以上	218	91	76	28	23
		100.0%	41.7%	34.9%	12.8%	10.6%
	無回答	49	4	12	2	31
		100.0%	8.2%	24.5%	4.1%	63.3%
地区	駅東側周辺	217	75	112	20	10
		100.0%	34.6%	51.6%	9.2%	4.6%
	駅西側周辺	266	81	168	13	4
		100.0%	30.5%	63.2%	4.9%	1.5%
	日出谷地区	283	102	160	20	1
		100.0%	36.0%	56.5%	7.1%	0.4%
	坂田地区	266	89	143	26	8
		100.0%	33.5%	53.8%	9.8%	3.0%
	加納地区	127	30	84	9	4
		100.0%	23.6%	66.1%	7.1%	3.1%
	川田谷地区	109	28	72	4	5
		100.0%	25.7%	66.1%	3.7%	4.6%
	無回答	56	5	15	2	34
		100.0%	8.9%	26.8%	3.6%	60.7%

4. 分野ごとの状況について

クロス／②施設の利用、運動（スポーツ）

性別で見ると、男性・女性ともに「利用しない」が最も高くなっており、次いで男性では「主に市外の施設を利用」、女性では「主に市内の施設を利用」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「主に市外の施設を利用」、その他の年齢では「利用しない」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「利用しない」、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～64歳では「主に市外の施設を利用」、その他の年齢では「主に市内の施設を利用」となっている。

地区で見ると、全地区において「利用しない」が最も高くなっており、次いで駅東側周辺、駅西側周辺、日出谷地区、川田谷地区では「主に市内の施設を利用」、坂田地区、加納地区では「主に市外の施設を利用」となっている。

		(N 調査数)	施 主 に を 市 内 用 の	施 主 に を 市 外 用 の	利 用 し な い	無 回 答
全体		1,324	273	279	695	77
		100.0%	20.6%	21.1%	52.5%	5.8%
性別	男性	567	129	151	268	19
		100.0%	22.8%	26.6%	47.3%	3.4%
	女性	700	139	122	412	27
		100.0%	19.9%	17.4%	58.9%	3.9%
	無回答	57	5	6	15	31
		100.0%	8.8%	10.5%	26.3%	54.4%
年齢	18歳～19歳	42	10	17	14	1
		100.0%	23.8%	40.5%	33.3%	2.4%
	20歳～29歳	127	23	37	67	0
		100.0%	18.1%	29.1%	52.8%	0.0%
	30歳～39歳	166	28	48	89	1
		100.0%	16.9%	28.9%	53.6%	0.6%
	40歳～49歳	242	53	62	124	3
		100.0%	21.9%	25.6%	51.2%	1.2%
	50歳～59歳	187	28	43	113	3
		100.0%	15.0%	23.0%	60.4%	1.6%
	60歳～64歳	82	14	16	50	2
		100.0%	17.1%	19.5%	61.0%	2.4%
地区	65歳～69歳	98	22	19	54	3
		100.0%	22.4%	19.4%	55.1%	3.1%
	70歳～74歳	113	36	12	63	2
		100.0%	31.9%	10.6%	55.8%	1.8%
	75歳以上	218	55	23	108	32
		100.0%	25.2%	10.6%	49.5%	14.7%
	無回答	49	4	2	13	30
		100.0%	8.2%	4.1%	26.5%	61.2%
	駅東側周辺	217	40	39	125	13
		100.0%	18.4%	18.0%	57.6%	6.0%
	駅西側周辺	266	66	60	135	5
		100.0%	24.8%	22.6%	50.8%	1.9%
地区	日出谷地区	283	70	50	155	8
		100.0%	24.7%	17.7%	54.8%	2.8%
	坂田地区	266	44	62	151	9
		100.0%	16.5%	23.3%	56.8%	3.4%
	加納地区	127	17	39	65	6
		100.0%	13.4%	30.7%	51.2%	4.7%
	川田谷地区	109	31	26	48	4
		100.0%	28.4%	23.9%	44.0%	3.7%
	無回答	56	5	3	16	32
		100.0%	8.9%	5.4%	28.6%	57.1%

5. 市政について

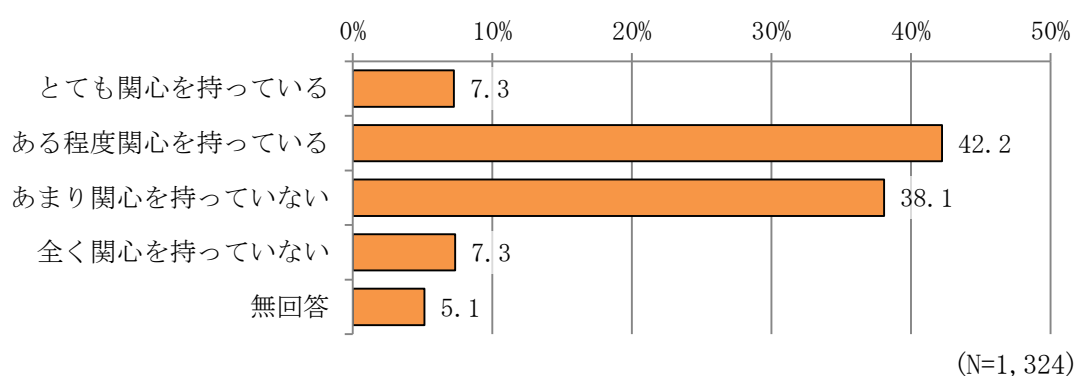
(1) 市政全般への関心度

問30 市政全般に対するあなたの関心度について、あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

全 体

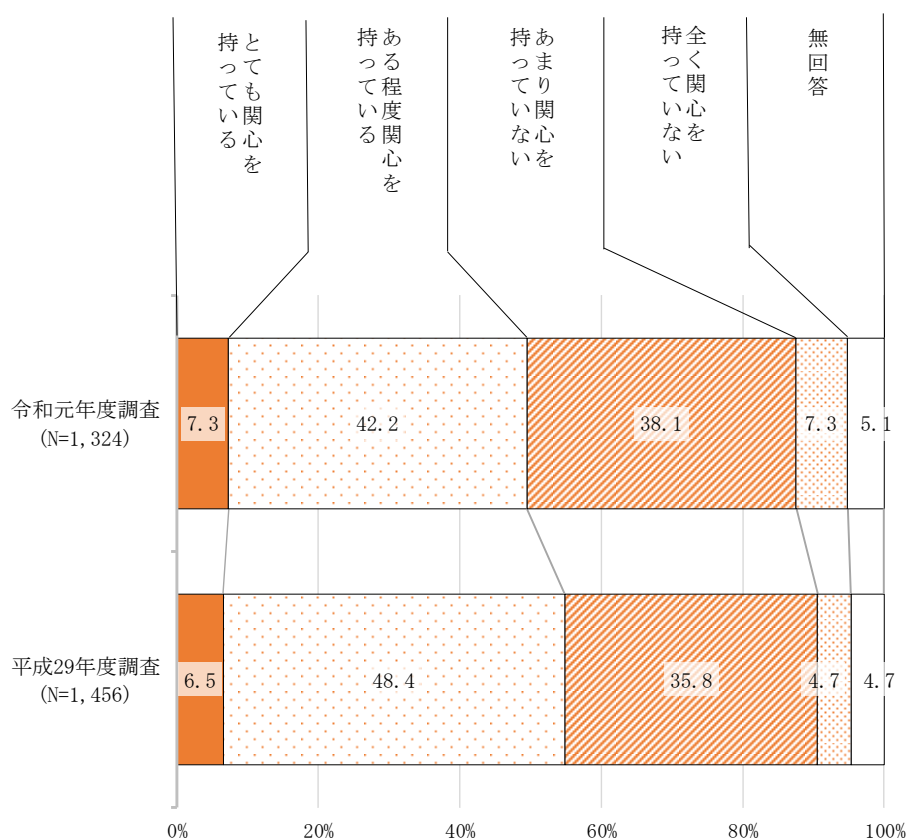
「ある程度関心を持っている」との回答が42.2%と最も高くなっており、次いで「あまり関心を持っていない」が38.1%となっている。

『関心を持っている』（「とても関心を持っている」＋「ある程度関心を持っている」）との回答は49.5%となっている。



【経年変化／市政全般への関心度】

『関心を持っている』（「とても関心を持っている」＋「ある程度関心を持っている」）は前回調査（平成29年度）と比べ減少している。ただし、「とても関心を持っている」は増加している。



5. 市政について

クロス／市政全般への関心度

性別で見ると、男性は「ある程度関心を持っている」、女性は「あまり関心を持っていない」が最も高くなっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳では「あまり関心を持っていない」、その他の年齢では「ある程度関心を持っている」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳では「ある程度関心を持っている」、その他の年齢では「あまり関心を持っていない」となっている。

地区で見ると、加納地区、川田谷地区では「あまり関心を持っていない」が、その他の地区では「ある程度関心を持っている」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、加納地区、川田谷地区では「ある程度関心を持っている」、その他の地区では「あまり関心を持っていない」となっている。

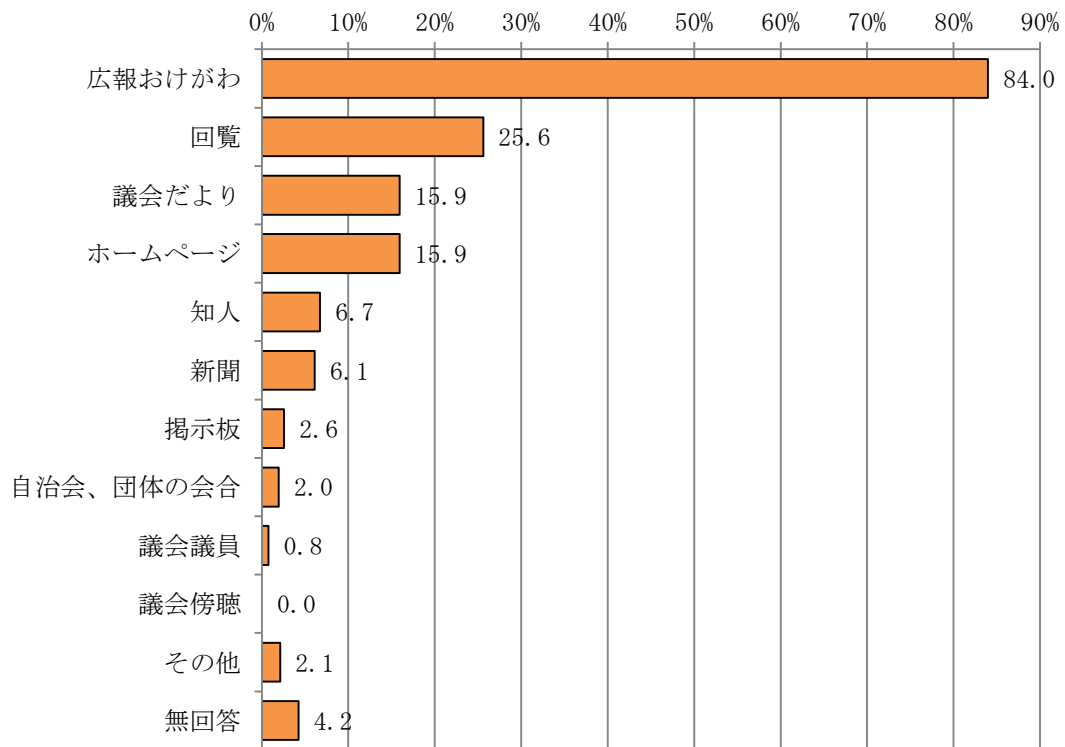
		調査数 (N)	とても 関心を持 つ	ある程 度関心 を持 つ	あまり 関心を持 つ	全く 関心を持 つて ない	無回 答
	全体	1,324	96	559	504	97	68
		100.0%	7.3%	42.2%	38.1%	7.3%	5.1%
性別	男性	567	61	256	195	41	14
		100.0%	10.8%	45.1%	34.4%	7.2%	2.5%
	女性	700	32	293	302	53	20
		100.0%	4.6%	41.9%	43.1%	7.6%	2.9%
	無回答	57	3	10	7	3	34
		100.0%	5.3%	17.5%	12.3%	5.3%	59.6%
年齢	18歳～19歳	42	2	12	24	4	0
		100.0%	4.8%	28.6%	57.1%	9.5%	0.0%
	20歳～29歳	127	7	38	61	19	2
		100.0%	5.5%	29.9%	48.0%	15.0%	1.6%
	30歳～39歳	166	11	52	83	19	1
		100.0%	6.6%	31.3%	50.0%	11.4%	0.6%
	40歳～49歳	242	12	97	110	21	2
		100.0%	5.0%	40.1%	45.5%	8.7%	0.8%
	50歳～59歳	187	10	88	76	11	2
		100.0%	5.3%	47.1%	40.6%	5.9%	1.1%
	60歳～64歳	82	5	28	43	5	1
		100.0%	6.1%	34.1%	52.4%	6.1%	1.2%
地区	65歳～69歳	98	4	60	31	1	2
		100.0%	4.1%	61.2%	31.6%	1.0%	2.0%
	70歳～74歳	113	11	54	38	5	5
		100.0%	9.7%	47.8%	33.6%	4.4%	4.4%
	75歳以上	218	31	124	33	9	21
		100.0%	14.2%	56.9%	15.1%	4.1%	9.6%
	無回答	49	3	6	5	3	32
		100.0%	6.1%	12.2%	10.2%	6.1%	65.3%
	駅東側周辺	217	21	92	81	14	9
		100.0%	9.7%	42.4%	37.3%	6.5%	4.1%
	駅西側周辺	266	23	121	104	14	4
		100.0%	8.6%	45.5%	39.1%	5.3%	1.5%
地区	日出谷地区	283	19	132	97	29	6
		100.0%	6.7%	46.6%	34.3%	10.2%	2.1%
	坂田地区	266	11	121	108	17	9
		100.0%	4.1%	45.5%	40.6%	6.4%	3.4%
	加納地区	127	10	48	57	8	4
		100.0%	7.9%	37.8%	44.9%	6.3%	3.1%
	川田谷地区	109	8	37	50	11	3
		100.0%	7.3%	33.9%	45.9%	10.1%	2.8%
	無回答	56	4	8	7	4	33
		100.0%	7.1%	14.3%	12.5%	7.1%	58.9%

(2) 市政情報

問31 市役所の市政情報（行政サービス）などについて、何から情報を得ていますか。次の中から主なもの2つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「広報おけがわ」との回答が84.0%と最も高くなっており、次いで「回覧」が25.6%、「議会だより」と「ホームページ」がそれぞれ15.9%となっている。



(N=1, 324)

【経年変化／市政情報】

市の行政サービスなどについての情報源について前回調査（平成29年度）と比較すると、「ホームページ」及び「掲示板」が上昇し、「自治会、団体の会合」の順位が下降した。それ以外は全体的に大きな変化はない。

	前回調査 (平成29年度)			今回調査 (令和元年度)		H29との 順位比較
1位	広報おけがわ	86.3%	1位	広報おけがわ	84.0%	→
2位	回覧	30.1%	2位	回覧	25.6%	→
3位	議会だより	17.2%	3位	議会だより	15.9%	→
4位	ホームページ	11.7%		ホームページ	15.9%	↑
5位	人づて	8.7%	5位	知人	6.7%	→
6位	新聞	3.6%	6位	新聞	6.1%	→
7位	自治会、団体の会合	2.5%	7位	掲示板	2.6%	↑
8位	掲示板	2.4%	8位	自治会、団体の会合	2.0%	↓
9位	議会議員	0.8%	9位	議会議員	0.8%	→
10位	議会傍聴	0.2%	10位	議会傍聴	0.0%	→

5. 市政について

クロス／市政情報

性別で見ると、男性・女性ともに「広報おけがわ」が8割台と高くなっており、次いで「回覧」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「広報おけがわ」が最も高くなっており、次いで30歳～39歳では「ホームページ」、その他の年齢では「回覧」となっている。

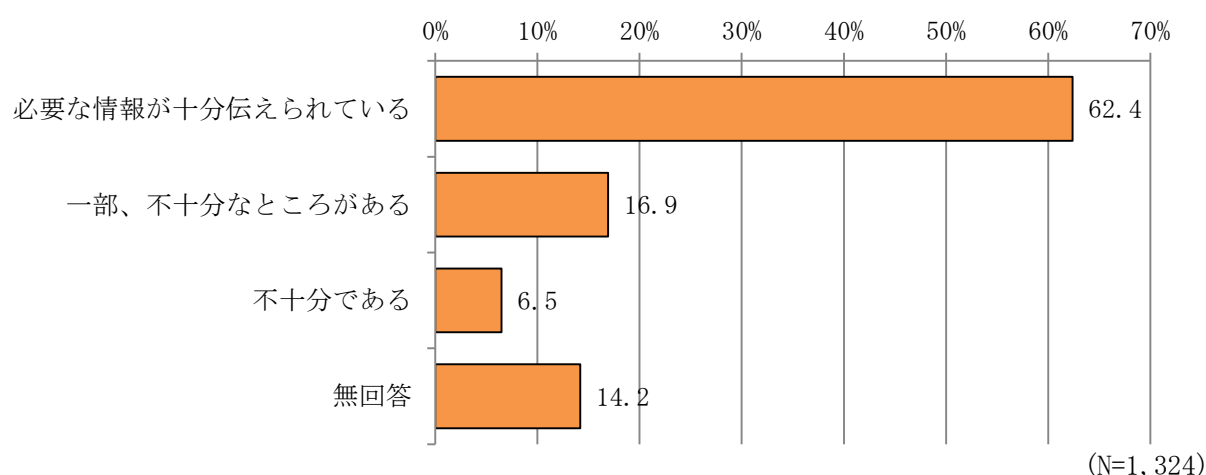
地区で見ると、全地区において「広報おけがわ」が最も高くなっており、次いで「回覧」となっている。

		調査数 (N)	広報 おけがわ	議会 だより	回 覧	新 聞	掲 示 板	ホ ー ム ペ ー ジ	議 会 傍 聴	議 会 議 員	の 自 治 会 、 団 体	知 人	そ の 他	無 回 答
全体		1,324	1,112	211	339	81	34	211	0	10	26	89	28	56
		100.0%	84.0%	15.9%	25.6%	6.1%	2.6%	15.9%	0.0%	0.8%	2.0%	6.7%	2.1%	4.2%
性別	男性	567	476	107	148	39	13	104	0	7	13	30	11	11
		100.0%	84.0%	18.9%	26.1%	6.9%	2.3%	18.3%	0.0%	1.2%	2.3%	5.3%	1.9%	1.9%
	女性	700	612	98	185	42	21	105	0	3	12	59	17	12
		100.0%	87.4%	14.0%	26.4%	6.0%	3.0%	15.0%	0.0%	0.4%	1.7%	8.4%	2.4%	1.7%
	無回答	57	24	6	6	0	0	2	0	0	1	0	0	33
		100.0%	42.1%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	57.9%
年齢	18歳～19歳	42	29	4	9	6	3	5	0	1	0	7	1	0
		100.0%	69.0%	9.5%	21.4%	14.3%	7.1%	11.9%	0.0%	2.4%	0.0%	16.7%	2.4%	0.0%
	20歳～29歳	127	79	11	32	10	4	28	0	2	1	18	7	2
		100.0%	62.2%	8.7%	25.2%	7.9%	3.1%	22.0%	0.0%	1.6%	0.8%	14.2%	5.5%	1.6%
	30歳～39歳	166	126	18	28	4	3	46	0	2	1	20	8	3
		100.0%	75.9%	10.8%	16.9%	2.4%	1.8%	27.7%	0.0%	1.2%	0.6%	12.0%	4.8%	1.8%
	40歳～49歳	242	214	25	60	8	8	49	0	2	2	15	6	2
		100.0%	88.4%	10.3%	24.8%	3.3%	3.3%	20.2%	0.0%	0.8%	0.8%	6.2%	2.5%	0.8%
	50歳～59歳	187	166	36	43	6	2	38	0	0	3	13	2	3
		100.0%	88.8%	19.3%	23.0%	3.2%	1.1%	20.3%	0.0%	0.0%	1.6%	7.0%	1.1%	1.6%
	60歳～64歳	82	77	10	23	2	1	15	0	0	3	1	2	1
		100.0%	93.9%	12.2%	28.0%	2.4%	1.2%	18.3%	0.0%	0.0%	3.7%	1.2%	2.4%	1.2%
地区	65歳～69歳	98	92	17	34	8	4	13	0	0	2	2	0	3
		100.0%	93.9%	17.3%	34.7%	8.2%	4.1%	13.3%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	3.1%
	70歳～74歳	113	108	27	43	9	5	7	0	0	3	6	0	2
		100.0%	95.6%	23.9%	38.1%	8.0%	4.4%	6.2%	0.0%	0.0%	2.7%	5.3%	0.0%	1.8%
	75歳以上	218	203	59	62	28	4	8	0	3	11	7	2	9
		100.0%	93.1%	27.1%	28.4%	12.8%	1.8%	3.7%	0.0%	1.4%	5.0%	3.2%	0.9%	4.1%
	無回答	49	18	4	5	0	0	2	0	0	0	0	0	31
		100.0%	36.7%	8.2%	10.2%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.3%
地区	駅東側周辺	217	185	33	56	5	12	32	0	4	6	13	7	7
		100.0%	85.3%	15.2%	25.8%	2.3%	5.5%	14.7%	0.0%	1.8%	2.8%	6.0%	3.2%	3.2%
	駅西側周辺	266	232	49	55	15	9	39	0	1	5	18	6	4
		100.0%	87.2%	18.4%	20.7%	5.6%	3.4%	14.7%	0.0%	0.4%	1.9%	6.8%	2.3%	1.5%
	日出谷地区	283	242	47	84	17	6	53	0	2	6	20	5	4
		100.0%	85.5%	16.6%	29.7%	6.0%	2.1%	18.7%	0.0%	0.7%	2.1%	7.1%	1.8%	1.4%
	坂田地区	266	237	41	69	26	5	48	0	2	4	12	6	3
		100.0%	89.1%	15.4%	25.9%	9.8%	1.9%	18.0%	0.0%	0.8%	1.5%	4.5%	2.3%	1.1%
地区	加納地区	127	101	19	35	12	0	24	0	0	2	11	2	3
		100.0%	79.5%	15.0%	27.6%	9.4%	0.0%	18.9%	0.0%	0.0%	1.6%	8.7%	1.6%	2.4%
	川田谷地区	109	92	15	35	4	2	13	0	1	3	14	2	3
		100.0%	84.4%	13.8%	32.1%	3.7%	1.8%	11.9%	0.0%	0.9%	2.8%	12.8%	1.8%	2.8%
	無回答	56	23	7	5	2	0	2	0	0	0	1	0	32
		100.0%	41.1%	12.5%	8.9%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	57.1%

問32 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけいただき、「不十分なところ」については（ ）内に具体的にお書きください。

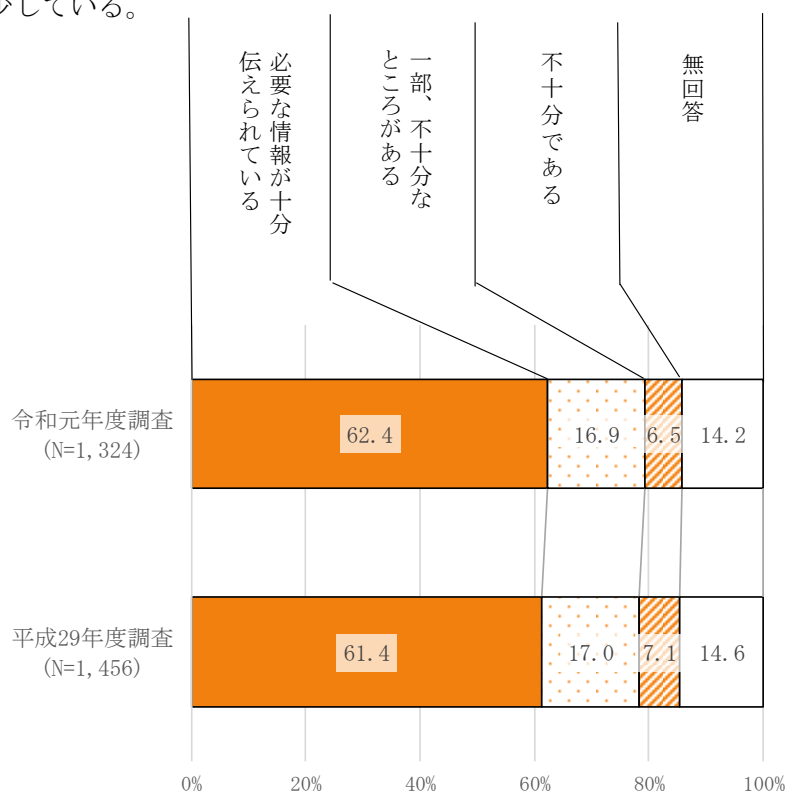
全 体

「必要な情報が十分伝えられている」との回答が62.4%と最も高くなっており、次いで「一部、不十分なところがある」16.9%、「不十分である」6.5%となっている。



【経年変化／市政情報の提供への評価】

市役所からの情報提供については、「必要な情報が十分伝えられている」が前回調査（平成29年度）と比較して増加している。一方、「一部、不十分なところがある」、「不十分である」は、前回調査（平成29年度）より減少している。



5. 市政について

クロス／市政情報の提供への評価

性別で見ると、男性・女性ともに「必要な情報が十分伝えられている」が6割以上と最も高くなっており、次いで「一部、不十分なところがある」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「必要な情報が十分伝えられている」が最も高くなっており、次いで18歳～64歳では「一部、不十分なところがある」、65歳以上では「無回答」となっている。

地区で見ると、全地区において「必要な情報が十分伝えられている」が最も高くなっており、次いで川田谷地区では「無回答」、それ以外の地区では「一部、不十分なところがある」となっている。

		調査数 (N)	必要な情報が十分伝 えられている	一部、不十分なところ がある	不十分である	無回答
	全体	1,324	826	224	86	188
		100.0%	62.4%	16.9%	6.5%	14.2%
性別	男性	567	361	110	42	54
		100.0%	63.7%	19.4%	7.4%	9.5%
	女性	700	457	108	42	93
		100.0%	65.3%	15.4%	6.0%	13.3%
	無回答	57	8	6	2	41
		100.0%	14.0%	10.5%	3.5%	71.9%
年齢	18歳～19歳	42	32	6	2	2
		100.0%	76.2%	14.3%	4.8%	4.8%
	20歳～29歳	127	96	20	4	7
		100.0%	75.6%	15.7%	3.1%	5.5%
	30歳～39歳	166	106	30	17	13
		100.0%	63.9%	18.1%	10.2%	7.8%
	40歳～49歳	242	153	49	26	14
		100.0%	63.2%	20.2%	10.7%	5.8%
	50歳～59歳	187	128	29	12	18
		100.0%	68.4%	15.5%	6.4%	9.6%
	60歳～64歳	82	50	18	2	12
		100.0%	61.0%	22.0%	2.4%	14.6%
地区	65歳～69歳	98	59	15	5	19
		100.0%	60.2%	15.3%	5.1%	19.4%
	70歳～74歳	113	74	15	5	19
		100.0%	65.5%	13.3%	4.4%	16.8%
	75歳以上	218	122	37	12	47
		100.0%	56.0%	17.0%	5.5%	21.6%
	無回答	49	6	5	1	37
		100.0%	12.2%	10.2%	2.0%	75.5%
	駅東側周辺	217	133	43	13	28
		100.0%	61.3%	19.8%	6.0%	12.9%
	駅西側周辺	266	171	49	19	27
		100.0%	64.3%	18.4%	7.1%	10.2%
	日出谷地区	283	187	45	19	32
		100.0%	66.1%	15.9%	6.7%	11.3%
	坂田地区	266	179	41	19	27
		100.0%	67.3%	15.4%	7.1%	10.2%
	加納地区	127	81	24	10	12
		100.0%	63.8%	18.9%	7.9%	9.4%
	川田谷地区	109	66	17	4	22
		100.0%	60.6%	15.6%	3.7%	20.2%
	無回答	56	9	5	2	40
		100.0%	16.1%	8.9%	3.6%	71.4%

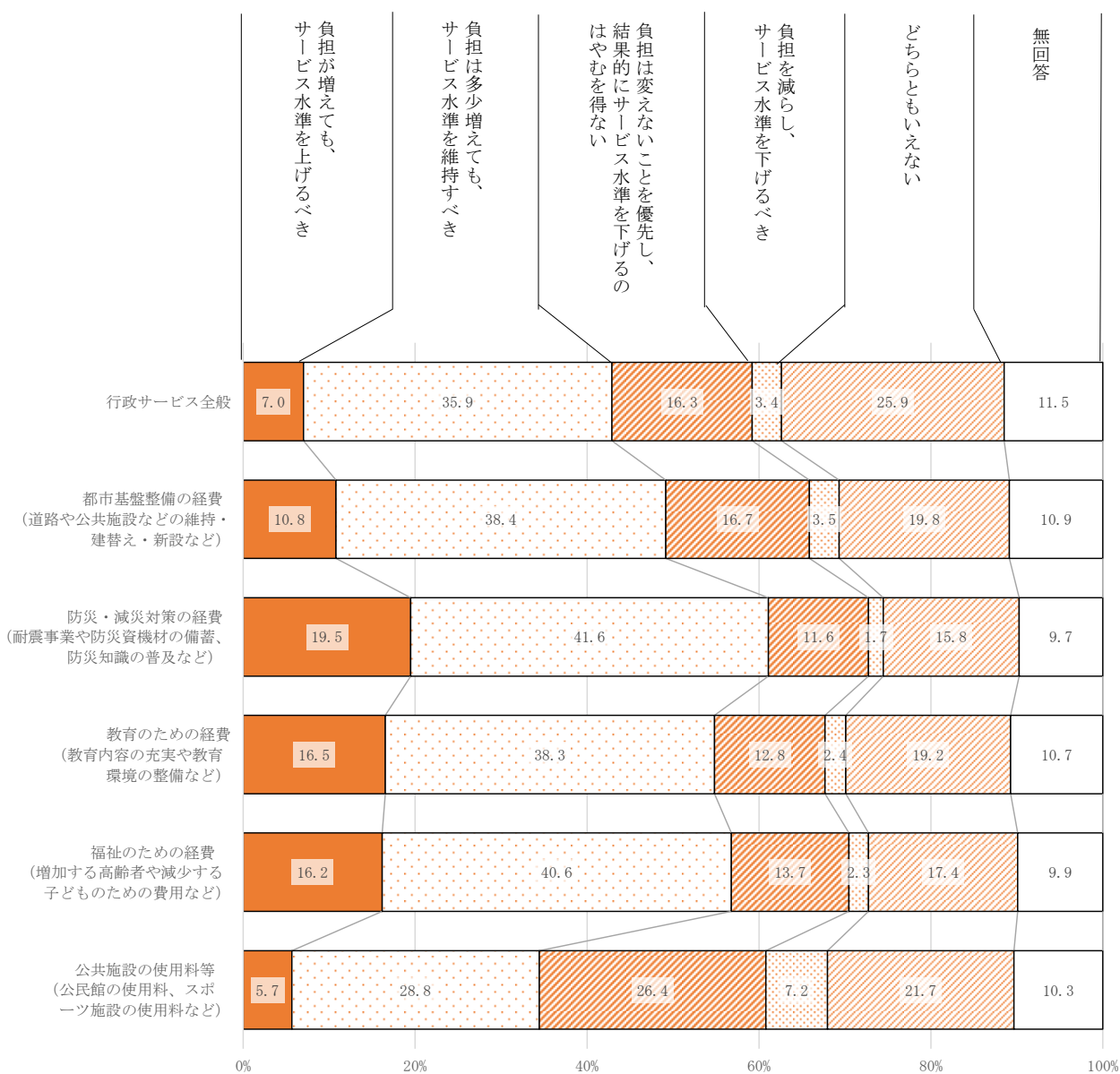
(3) 行政サービスと負担

問33 あなたは、今後の税の使途や負担について、どのようなお考えをお持ちですか。次の各項目について、最もあてはまると思われる番号1つに○印をおつけください。

全 体

「公共施設等の使用料等（公民館の使用料、スポーツ施設の使用料など）」については、「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が28.8%、「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」が26.4%で、ともに高くなっている。

その他の項目では、「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が3割から4割程度を占めている。

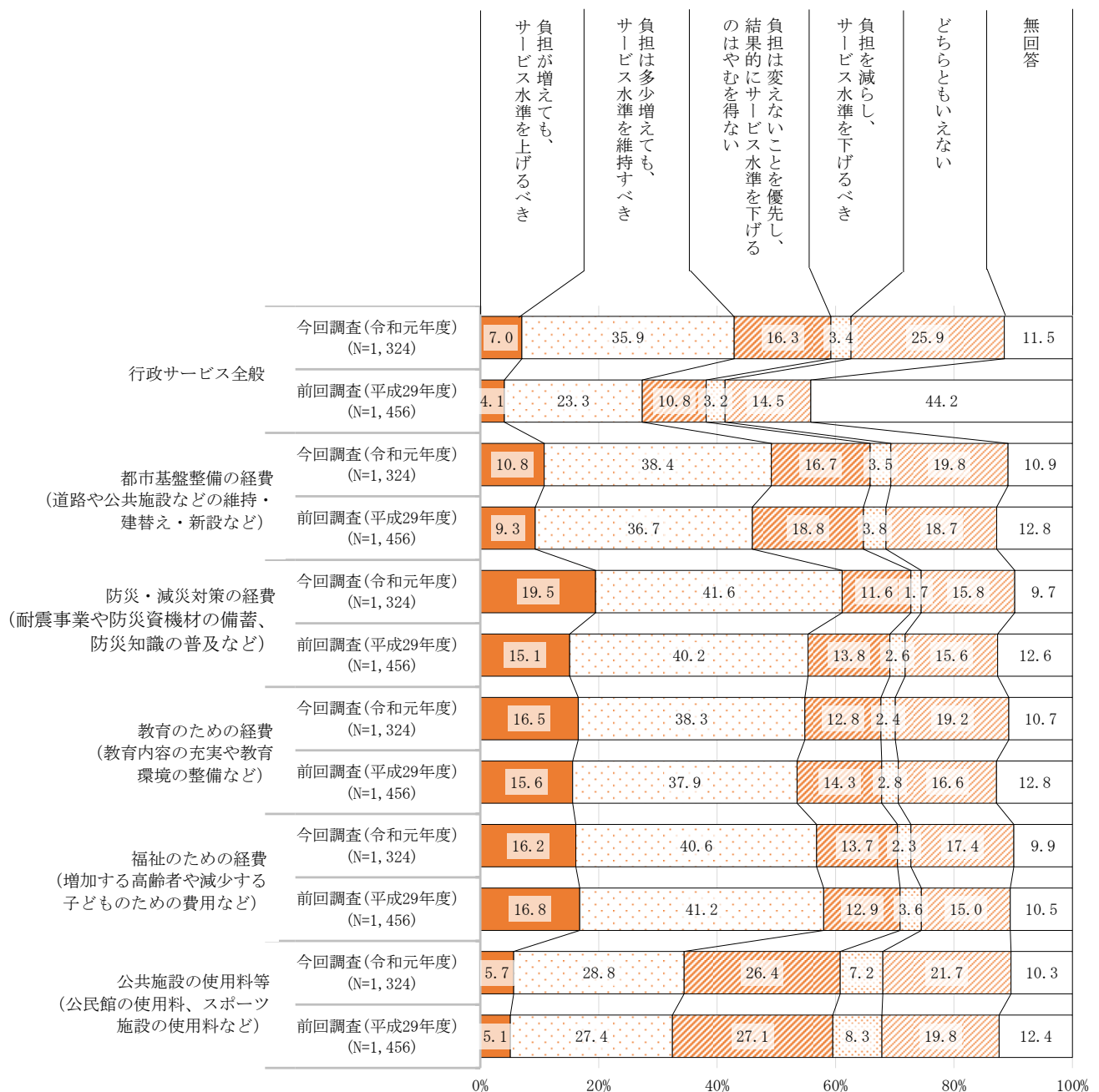


(N=1,324)

5. 市政について

【経年変化／行政サービスと負担】

前回調査（平成29年度）と比較すると、「負担が増えてもサービス水準を上げるべき」、「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」との回答は、「福祉のための経費」以外の項目で前回調査から増加している。一方で、「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」は、「行政サービス全般」、「福祉のための経費」以外の項目で減少している。また、「負担を減らし、サービス水準を下げるべき」は、「行政サービス全般」以外の項目で減少している。



クロス／行政サービスと負担

【行政サービス全般】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳では「どちらともいえない」、その他の年齢では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が、それぞれ最も高くなっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで「どちらともいえない」となっている。

		調査数 (N)	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのは結	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答
	全体	1,324	93	475	216	45	343	152
		100.0%	7.0%	35.9%	16.3%	3.4%	25.9%	11.5%
性別	男性	567	49	216	103	28	127	44
		100.0%	8.6%	38.1%	18.2%	4.9%	22.4%	7.8%
	女性	700	40	250	107	17	213	73
		100.0%	5.7%	35.7%	15.3%	2.4%	30.4%	10.4%
	無回答	57	4	9	6	0	3	35
		100.0%	7.0%	15.8%	10.5%	0.0%	5.3%	61.4%
年齢	18歳～19歳	42	7	13	5	1	15	1
		100.0%	16.7%	31.0%	11.9%	2.4%	35.7%	2.4%
	20歳～29歳	127	15	40	20	4	43	5
		100.0%	11.8%	31.5%	15.7%	3.1%	33.9%	3.9%
	30歳～39歳	166	12	58	32	8	46	10
		100.0%	7.2%	34.9%	19.3%	4.8%	27.7%	6.0%
	40歳～49歳	242	20	83	40	12	73	14
		100.0%	8.3%	34.3%	16.5%	5.0%	30.2%	5.8%
	50歳～59歳	187	14	66	36	8	47	16
		100.0%	7.5%	35.3%	19.3%	4.3%	25.1%	8.6%
	60歳～64歳	82	6	34	14	1	25	2
		100.0%	7.3%	41.5%	17.1%	1.2%	30.5%	2.4%
地区	65歳～69歳	98	1	37	17	5	27	11
		100.0%	1.0%	37.8%	17.3%	5.1%	27.6%	11.2%
	70歳～74歳	113	1	46	23	2	29	12
		100.0%	0.9%	40.7%	20.4%	1.8%	25.7%	10.6%
	75歳以上	218	14	89	25	4	37	49
		100.0%	6.4%	40.8%	11.5%	1.8%	17.0%	22.5%
	無回答	49	3	9	4	0	1	32
		100.0%	6.1%	18.4%	8.2%	0.0%	2.0%	65.3%
	駅東側周辺	217	15	67	39	4	64	28
		100.0%	6.9%	30.9%	18.0%	1.8%	29.5%	12.9%
	駅西側周辺	266	18	114	41	8	62	23
		100.0%	6.8%	42.9%	15.4%	3.0%	23.3%	8.6%
地区	日出谷地区	283	19	96	51	14	78	25
		100.0%	6.7%	33.9%	18.0%	4.9%	27.6%	8.8%
	坂田地区	266	19	106	42	10	69	20
		100.0%	7.1%	39.8%	15.8%	3.8%	25.9%	7.5%
	加納地区	127	8	44	20	3	41	11
		100.0%	6.3%	34.6%	15.7%	2.4%	32.3%	8.7%
	川田谷地区	109	11	37	18	6	26	11
		100.0%	10.1%	33.9%	16.5%	5.5%	23.9%	10.1%
	無回答	56	3	11	5	0	3	34
		100.0%	5.4%	19.6%	8.9%	0.0%	5.4%	60.7%

5. 市政について

【都市基盤整備の経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、女性では「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「どちらともいえない」、その他の年齢では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳は「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、60歳～64歳、70歳～74歳では「どちらともいえない」、その他の年齢では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。次いで、駅西側周辺では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、その他の地区では「どちらともいえない」となっている。

		調査数 (N)	負担が 増えても、 サービス 水準	負担は 多少増 えても、 サービ ス	負担は 変えな いこと を優先 し、 結果 的にサ ービス 水準を 下げる	負担を 減らし、 サービ ス水準 を	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全体		1,324	143	508	221	46	262	144
		100.0%	10.8%	38.4%	16.7%	3.5%	19.8%	10.9%
性別	男性	567	71	222	104	25	100	45
		100.0%	12.5%	39.2%	18.3%	4.4%	17.6%	7.9%
	女性	700	69	277	109	21	160	64
		100.0%	9.9%	39.6%	15.6%	3.0%	22.9%	9.1%
	無回答	57	3	9	8	0	2	35
		100.0%	5.3%	15.8%	14.0%	0.0%	3.5%	61.4%
年齢	18歳～19歳	42	8	12	5	0	15	2
		100.0%	19.0%	28.6%	11.9%	0.0%	35.7%	4.8%
	20歳～29歳	127	23	44	24	3	31	2
		100.0%	18.1%	34.6%	18.9%	2.4%	24.4%	1.6%
	30歳～39歳	166	21	66	34	6	36	3
		100.0%	12.7%	39.8%	20.5%	3.6%	21.7%	1.8%
	40歳～49歳	242	32	95	36	12	60	7
		100.0%	13.2%	39.3%	14.9%	5.0%	24.8%	2.9%
	50歳～59歳	187	18	82	35	11	32	9
		100.0%	9.6%	43.9%	18.7%	5.9%	17.1%	4.8%
	60歳～64歳	82	7	38	10	2	19	6
		100.0%	8.5%	46.3%	12.2%	2.4%	23.2%	7.3%
地区	65歳～69歳	98	5	44	19	4	17	9
		100.0%	5.1%	44.9%	19.4%	4.1%	17.3%	9.2%
	70歳～74歳	113	7	41	20	4	26	15
		100.0%	6.2%	36.3%	17.7%	3.5%	23.0%	13.3%
	75歳以上	218	18	80	32	4	25	59
		100.0%	8.3%	36.7%	14.7%	1.8%	11.5%	27.1%
	無回答	49	4	6	6	0	1	32
		100.0%	8.2%	12.2%	12.2%	0.0%	2.0%	65.3%
	駅東側周辺	217	22	94	30	7	44	20
		100.0%	10.1%	43.3%	13.8%	3.2%	20.3%	9.2%
	駅西側周辺	266	31	114	49	9	45	18
		100.0%	11.7%	42.9%	18.4%	3.4%	16.9%	6.8%
地区	日出谷地区	283	31	92	60	11	65	24
		100.0%	11.0%	32.5%	21.2%	3.9%	23.0%	8.5%
	坂田地区	266	29	118	34	9	53	23
		100.0%	10.9%	44.4%	12.8%	3.4%	19.9%	8.6%
	加納地区	127	11	46	23	5	32	10
		100.0%	8.7%	36.2%	18.1%	3.9%	25.2%	7.9%
	川田谷地区	109	15	36	18	5	21	14
		100.0%	13.8%	33.0%	16.5%	4.6%	19.3%	12.8%
	無回答	56	4	8	7	0	2	35
		100.0%	7.1%	14.3%	12.5%	0.0%	3.6%	62.5%

【防災・減災対策の経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高く、次いで「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。18歳～19歳では「どちらともいえない」が同率である。次いで、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～64歳、65歳～69歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」となっている。65～69歳では「どちらともいえない」が同率である。70歳～74歳では「どちらともいえない」、75歳以上では「無回答」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、加納地区では「どちらともいえない」、その他の地区においては「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」となっている。

		調査数 (N)	負担が 増えても、 サービス 水準	負担は 多少増 えても、 サービ ス水準	負担は 変えな いこと を優先 し、結 果的に サービ ス水準 を下げ る	負担を 減らし、 サービ ス水準 を	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全体		1,324	258	551	154	23	209	129
		100.0%	19.5%	41.6%	11.6%	1.7%	15.8%	9.7%
性別	男性	567	119	239	73	14	85	37
		100.0%	21.0%	42.2%	12.9%	2.5%	15.0%	6.5%
	女性	700	130	307	75	9	122	57
		100.0%	18.6%	43.9%	10.7%	1.3%	17.4%	8.1%
	無回答	57	9	5	6	0	2	35
		100.0%	15.8%	8.8%	10.5%	0.0%	3.5%	61.4%
年齢	18歳～19歳	42	12	13	3	0	13	1
		100.0%	28.6%	31.0%	7.1%	0.0%	31.0%	2.4%
	20歳～29歳	127	30	53	14	2	26	2
		100.0%	23.6%	41.7%	11.0%	1.6%	20.5%	1.6%
	30歳～39歳	166	38	72	23	3	27	3
		100.0%	22.9%	43.4%	13.9%	1.8%	16.3%	1.8%
	40歳～49歳	242	52	102	30	6	44	8
		100.0%	21.5%	42.1%	12.4%	2.5%	18.2%	3.3%
	50歳～59歳	187	37	85	23	4	30	8
		100.0%	19.8%	45.5%	12.3%	2.1%	16.0%	4.3%
	60歳～64歳	82	15	37	9	2	14	5
		100.0%	18.3%	45.1%	11.0%	2.4%	17.1%	6.1%
	65歳～69歳	98	14	51	11	1	14	7
		100.0%	14.3%	52.0%	11.2%	1.0%	14.3%	7.1%
	70歳～74歳	113	12	56	12	3	19	11
		100.0%	10.6%	49.6%	10.6%	2.7%	16.8%	9.7%
	75歳以上	218	41	77	25	2	21	52
		100.0%	18.8%	35.3%	11.5%	0.9%	9.6%	23.9%
	無回答	49	7	5	4	0	1	32
		100.0%	14.3%	10.2%	8.2%	0.0%	2.0%	65.3%
地区	駅東側周辺	217	38	93	24	2	39	21
		100.0%	17.5%	42.9%	11.1%	0.9%	18.0%	9.7%
	駅西側周辺	266	46	130	40	4	32	14
		100.0%	17.3%	48.9%	15.0%	1.5%	12.0%	5.3%
	日出谷地区	283	69	109	30	4	52	19
		100.0%	24.4%	38.5%	10.6%	1.4%	18.4%	6.7%
	坂田地区	266	50	125	24	7	40	20
		100.0%	18.8%	47.0%	9.0%	2.6%	15.0%	7.5%
	加納地区	127	15	54	20	3	27	8
		100.0%	11.8%	42.5%	15.7%	2.4%	21.3%	6.3%
	川田谷地区	109	32	35	10	3	17	12
		100.0%	29.4%	32.1%	9.2%	2.8%	15.6%	11.0%
	無回答	56	8	5	6	0	2	35
		100.0%	14.3%	8.9%	10.7%	0.0%	3.6%	62.5%

5. 市政について

【教育のための経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」と「どちらともいえない」、女性では「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳では「どちらともいえない」、20歳～29歳では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」及び「どちらともいえない」、その他の年齢では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」及び「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」、30歳～39歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」、50歳～59歳では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」及び「どちらともいえない」、75歳以上では「無回答」、その他の年齢では「どちらともいえない」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。次いで、川田谷地区では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」、その他の地区では「どちらともいえない」となっている。

		調査数（N）	負担が増えるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答
全体		1,324	219	507	170	32	254	142
		100.0%	16.5%	38.3%	12.8%	2.4%	19.2%	10.7%
性別	男性	567	106	211	85	15	106	44
		100.0%	18.7%	37.2%	15.0%	2.6%	18.7%	7.8%
	女性	700	109	286	79	17	146	63
		100.0%	15.6%	40.9%	11.3%	2.4%	20.9%	9.0%
	無回答	57	4	10	6	0	2	35
		100.0%	7.0%	17.5%	10.5%	0.0%	3.5%	61.4%
年齢	18歳～19歳	42	11	11	6	0	13	1
		100.0%	26.2%	26.2%	14.3%	0.0%	31.0%	2.4%
	20歳～29歳	127	30	36	19	3	36	3
		100.0%	23.6%	28.3%	15.0%	2.4%	28.3%	2.4%
	30歳～39歳	166	42	74	16	4	28	2
		100.0%	25.3%	44.6%	9.6%	2.4%	16.9%	1.2%
	40歳～49歳	242	54	93	25	6	56	8
		100.0%	22.3%	38.4%	10.3%	2.5%	23.1%	3.3%
	50歳～59歳	187	22	81	35	5	35	9
		100.0%	11.8%	43.3%	18.7%	2.7%	18.7%	4.8%
	60歳～64歳	82	11	33	14	0	19	5
		100.0%	13.4%	40.2%	17.1%	0.0%	23.2%	6.1%
地区	65歳～69歳	98	9	45	11	3	19	11
		100.0%	9.2%	45.9%	11.2%	3.1%	19.4%	11.2%
	70歳～74歳	113	7	48	16	2	26	14
		100.0%	6.2%	42.5%	14.2%	1.8%	23.0%	12.4%
	75歳以上	218	29	78	24	9	21	57
		100.0%	13.3%	35.8%	11.0%	4.1%	9.6%	26.1%
	無回答	49	4	8	4	0	1	32
		100.0%	8.2%	16.3%	8.2%	0.0%	2.0%	65.3%
	駅東側周辺	217	33	92	26	6	38	22
		100.0%	15.2%	42.4%	12.0%	2.8%	17.5%	10.1%
	駅西側周辺	266	44	108	42	6	50	16
		100.0%	16.5%	40.6%	15.8%	2.3%	18.8%	6.0%
	日出谷地区	283	58	108	30	8	60	19
		100.0%	20.5%	38.2%	10.6%	2.8%	21.2%	6.7%
	坂田地区	266	45	106	32	6	52	25
		100.0%	16.9%	39.8%	12.0%	2.3%	19.5%	9.4%
	加納地区	127	11	45	22	5	32	12
		100.0%	8.7%	35.4%	17.3%	3.9%	25.2%	9.4%
	川田谷地区	109	23	38	14	1	20	13
		100.0%	21.1%	34.9%	12.8%	0.9%	18.3%	11.9%
	無回答	56	5	10	4	0	2	35
		100.0%	8.9%	17.9%	7.1%	0.0%	3.6%	62.5%

5. 市政について

【福祉のための経費】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで男性では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」、女性では「どちらともいえない」となっている。

年齢で見ると、全年齢において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。18歳～19歳では「どちらともいえない」が同率となっている。次いで、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、65歳～69歳では「どちらともいえない」となっている。50歳～59歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」が同率となっている。60歳～64歳では「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」、70歳～74歳では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、75歳以上では「無回答」となっている。

地区で見ると、全地区において「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、坂田地区、加納地区においては「どちらともいえない」、その他の地区では、「負担が増えても、サービス水準を上げるべき」となっている。

		調査数 (N)	負担が増えるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答
全体		1,324	214	538	181	30	230	131
		100.0%	16.2%	40.6%	13.7%	2.3%	17.4%	9.9%
性別	男性	567	97	227	88	17	96	42
		100.0%	17.1%	40.0%	15.5%	3.0%	16.9%	7.4%
	女性	700	113	301	87	13	130	56
		100.0%	16.1%	43.0%	12.4%	1.9%	18.6%	8.0%
	無回答	57	4	10	6	0	4	33
		100.0%	7.0%	17.5%	10.5%	0.0%	7.0%	57.9%
年齢	18歳～19歳	42	9	13	4	0	13	3
		100.0%	21.4%	31.0%	9.5%	0.0%	31.0%	7.1%
	20歳～29歳	127	24	47	22	3	29	2
		100.0%	18.9%	37.0%	17.3%	2.4%	22.8%	1.6%
	30歳～39歳	166	29	70	30	4	32	1
		100.0%	17.5%	42.2%	18.1%	2.4%	19.3%	0.6%
	40歳～49歳	242	51	98	30	4	53	6
		100.0%	21.1%	40.5%	12.4%	1.7%	21.9%	2.5%
	50歳～59歳	187	32	79	28	7	32	9
		100.0%	17.1%	42.2%	15.0%	3.7%	17.1%	4.8%
	60歳～64歳	82	19	35	8	1	15	4
		100.0%	23.2%	42.7%	9.8%	1.2%	18.3%	4.9%
地区	65歳～69歳	98	9	50	13	4	14	8
		100.0%	9.2%	51.0%	13.3%	4.1%	14.3%	8.2%
	70歳～74歳	113	7	52	21	1	19	13
		100.0%	6.2%	46.0%	18.6%	0.9%	16.8%	11.5%
	75歳以上	218	31	85	22	6	21	53
		100.0%	14.2%	39.0%	10.1%	2.8%	9.6%	24.3%
	無回答	49	3	9	3	0	2	32
		100.0%	6.1%	18.4%	6.1%	0.0%	4.1%	65.3%
	駅東側周辺	217	23	94	36	4	41	19
		100.0%	10.6%	43.3%	16.6%	1.8%	18.9%	8.8%
	駅西側周辺	266	47	118	37	6	43	15
		100.0%	17.7%	44.4%	13.9%	2.3%	16.2%	5.6%
	日出谷地区	283	58	107	36	9	53	20
		100.0%	20.5%	37.8%	12.7%	3.2%	18.7%	7.1%
	坂田地区	266	49	112	25	8	50	22
		100.0%	18.4%	42.1%	9.4%	3.0%	18.8%	8.3%
	加納地区	127	12	53	24	2	25	11
		100.0%	9.4%	41.7%	18.9%	1.6%	19.7%	8.7%
	川田谷地区	109	21	44	19	1	15	9
		100.0%	19.3%	40.4%	17.4%	0.9%	13.8%	8.3%
	無回答	56	4	10	4	0	3	35
		100.0%	7.1%	17.9%	7.1%	0.0%	5.4%	62.5%

5. 市政について

【公共施設の使用料等】

性別で見ると、男性・女性ともに「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっており、次いで「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

年齢で見ると、20歳～29歳、30歳～39歳、50歳～59歳では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、その他の年齢では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」がそれぞれ最も高くなっている。次いで、18歳～19歳においては「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」及び「どちらともいえない」、20歳～29歳では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」及び「どちらともいえない」、30歳～39歳では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」、40歳～49歳においては「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、50歳～59歳においては「負担は多少増えても、サービス水準は維持すべき」、60歳～64歳においては「どちらともいえない」、65歳～69歳、70歳～74歳では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、75歳以上では「無回答」となっている。

地区で見ると、加納地区では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」、その他の地区では「負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき」が最も高くなっている。川田谷地区では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」が同率となっている。次いで、加納地区では「どちらともいえない」、その他の地区では「負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない」となっている。

		調査数 (N)	負担が増えるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	無回答
全体		1,324	75	381	349	95	287	137
		100.0%	5.7%	28.8%	26.4%	7.2%	21.7%	10.3%
性別	男性	567	42	162	157	48	115	43
		100.0%	7.4%	28.6%	27.7%	8.5%	20.3%	7.6%
	女性	700	32	211	183	47	168	59
		100.0%	4.6%	30.1%	26.1%	6.7%	24.0%	8.4%
	無回答	57	1	8	9	0	4	35
		100.0%	1.8%	14.0%	15.8%	0.0%	7.0%	61.4%
年齢	18歳～19歳	42	4	13	12	0	12	1
		100.0%	9.5%	31.0%	28.6%	0.0%	28.6%	2.4%
	20歳～29歳	127	11	34	36	10	34	2
		100.0%	8.7%	26.8%	28.3%	7.9%	26.8%	1.6%
	30歳～39歳	166	13	41	53	17	40	2
		100.0%	7.8%	24.7%	31.9%	10.2%	24.1%	1.2%
	40歳～49歳	242	20	73	62	24	56	7
		100.0%	8.3%	30.2%	25.6%	9.9%	23.1%	2.9%
	50歳～59歳	187	7	57	62	11	43	7
		100.0%	3.7%	30.5%	33.2%	5.9%	23.0%	3.7%
	60歳～64歳	82	3	26	20	4	24	5
		100.0%	3.7%	31.7%	24.4%	4.9%	29.3%	6.1%
	65歳～69歳	98	4	33	22	10	19	10
		100.0%	4.1%	33.7%	22.4%	10.2%	19.4%	10.2%
地区	70歳～74歳	113	3	35	29	8	24	14
		100.0%	2.7%	31.0%	25.7%	7.1%	21.2%	12.4%
	75歳以上	218	10	62	45	11	33	57
		100.0%	4.6%	28.4%	20.6%	5.0%	15.1%	26.1%
	無回答	49	0	7	8	0	2	32
		100.0%	0.0%	14.3%	16.3%	0.0%	4.1%	65.3%
	駅東側周辺	217	11	60	55	18	53	20
		100.0%	5.1%	27.6%	25.3%	8.3%	24.4%	9.2%
	駅西側周辺	266	13	91	75	16	55	16
		100.0%	4.9%	34.2%	28.2%	6.0%	20.7%	6.0%
	日出谷地区	283	23	78	76	22	65	19
		100.0%	8.1%	27.6%	26.9%	7.8%	23.0%	6.7%
	坂田地区	266	14	85	68	23	56	20
		100.0%	5.3%	32.0%	25.6%	8.6%	21.1%	7.5%
	加納地区	127	6	30	37	8	34	12
		100.0%	4.7%	23.6%	29.1%	6.3%	26.8%	9.4%
	川田谷地区	109	8	29	29	8	21	14
		100.0%	7.3%	26.6%	26.6%	7.3%	19.3%	12.8%
	無回答	56	0	8	9	0	3	36
		100.0%	0.0%	14.3%	16.1%	0.0%	5.4%	64.3%

5. 市政について

(4) 施策の満足度と充実希望度

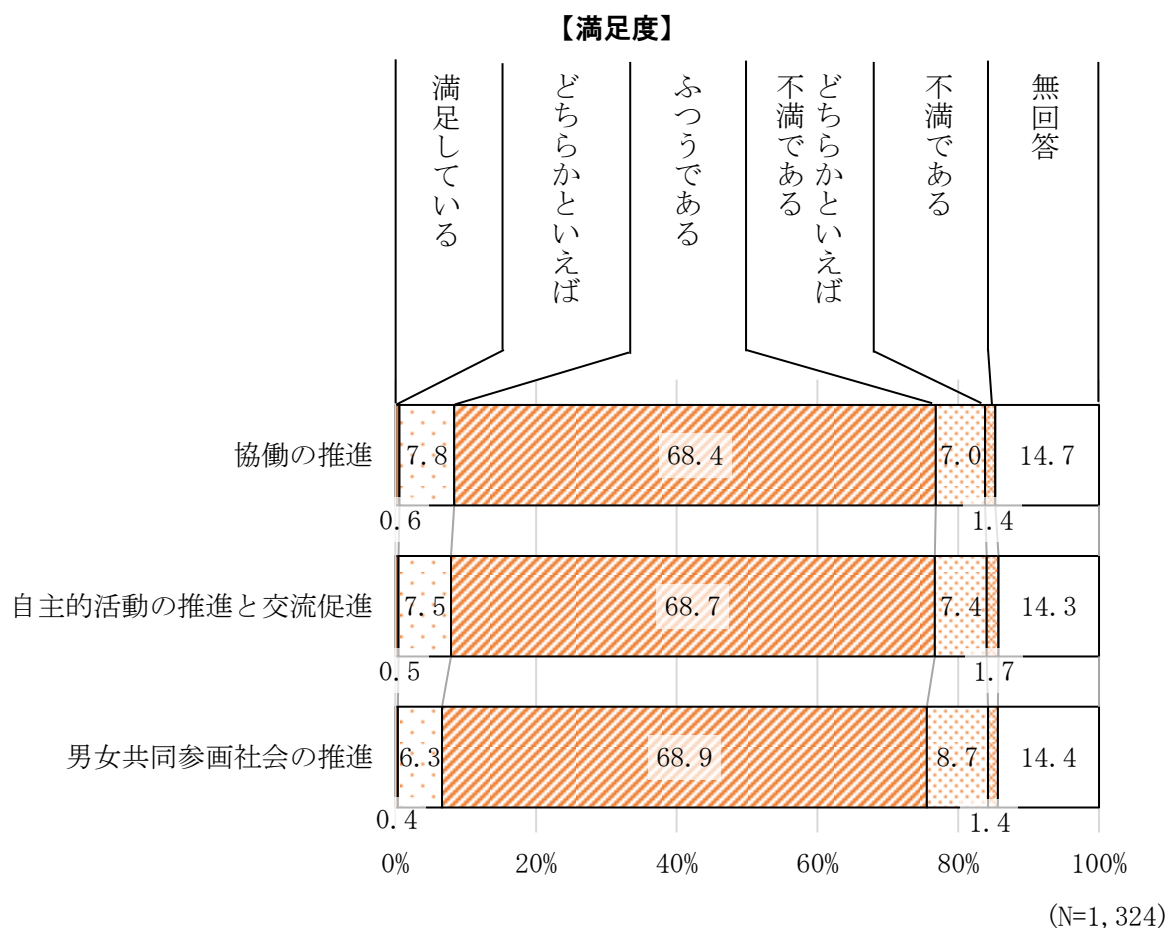
問34 「桶川市第五次総合振興計画」の施策に関する以下の40項目について、「満足度」と「充実希望度」を、それぞれ回答してください。「満足度」と「充実希望度」を5段階で評価したときのあなたの考えに最も近いものそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

なお、「充実希望度」は「今後、桶川市がどの程度充実していくべきか」という観点でお答えください。

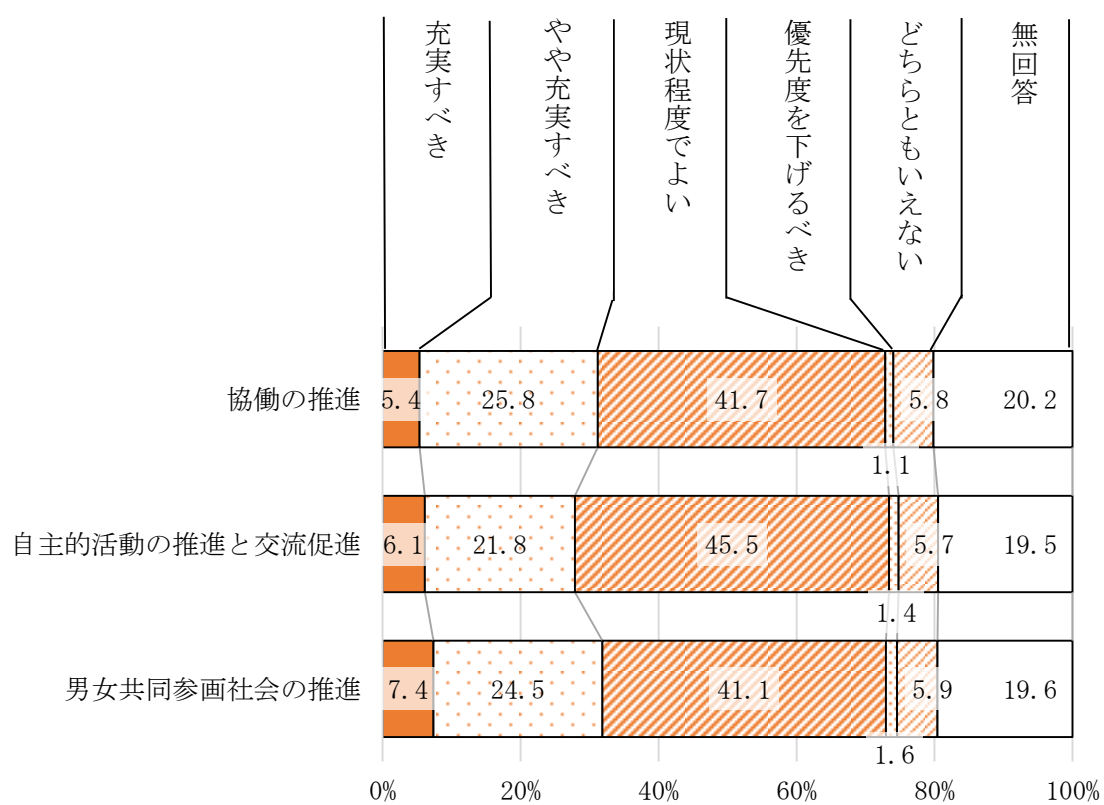
①参画・協働

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が6割台を占めている。「男女共同参画社会の推進」においては、『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）が約1割となっている。

充実希望度において、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「男女共同参画社会の推進」となっており、次いで「協働の推進」となっている。また、それぞれの項目において、「現状程度でよい」が最も高い割合を占めている。



【充実希望度】



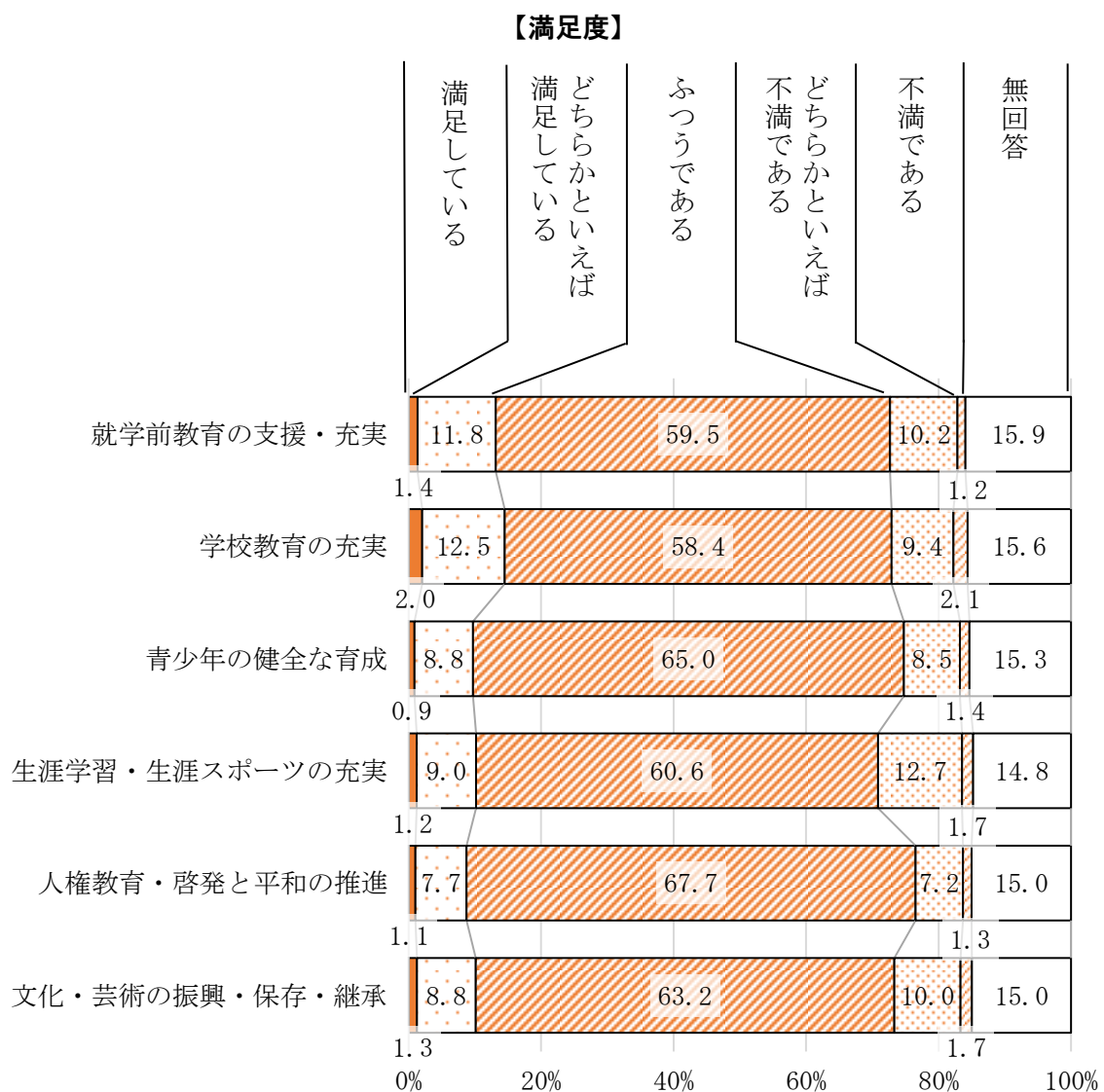
(N=1, 324)

5. 市政について

②教育・文化

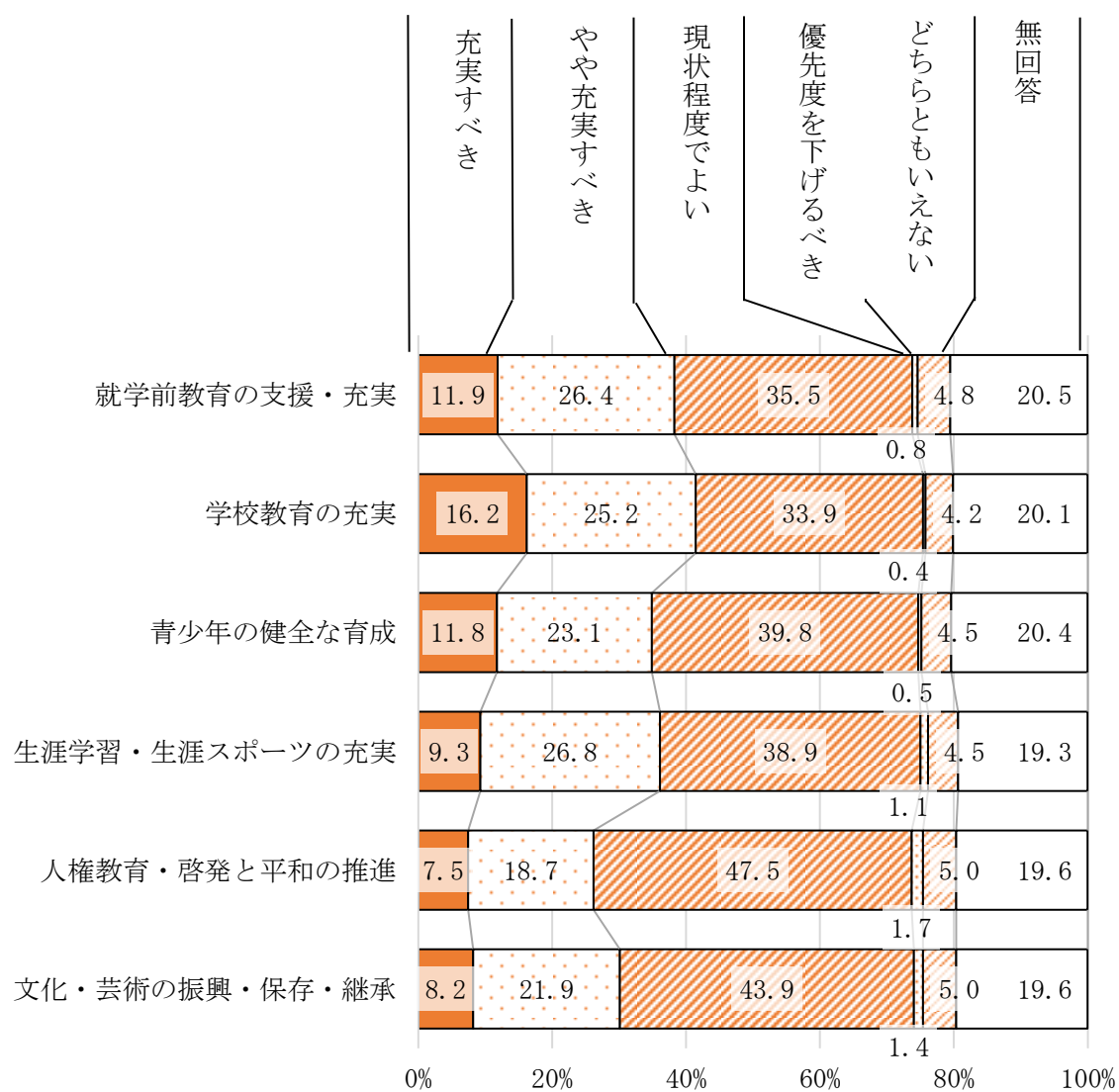
全ての項目で満足度は、「ふつうである」が5～6割台を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いものは「学校教育の充実」となっており、次いで「就学前教育の支援・充実」となっている。一方で、「生涯学習・生涯スポーツの充実」は『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が最も高くなっている。

充実希望度において、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「学校教育の充実」となっており、次いで「就学前教育の支援・充実」、「生涯学習・生涯スポーツの充実」、「青少年の健全な育成」となっている。また、「人権教育・啓発と平和の推進」、「文化・芸術の振興・保存・継承」は「現状程度でよい」が4割台を占めている。



(N=1,324)

【充実希望度】



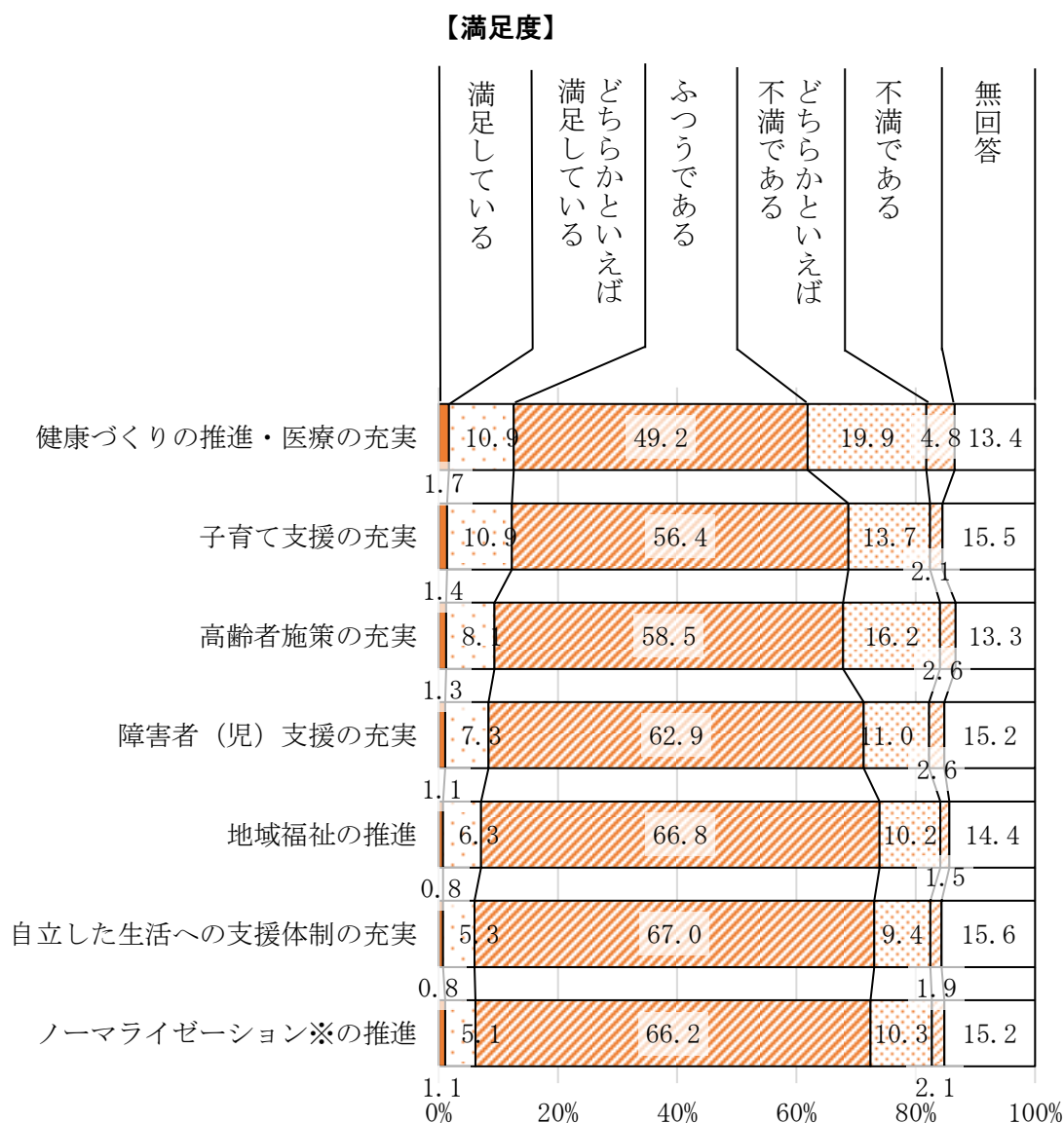
(N=1, 324)

5. 市政について

③健康・福祉

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が5割弱～6割台を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いのは「健康づくりの推進・医療の充実」となっており、次いで「子育て支援の充実」となっている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が最も高いものとしては、「健康づくりの推進・医療の充実」となっており、次いで「高齢者施策の充実」となっている。

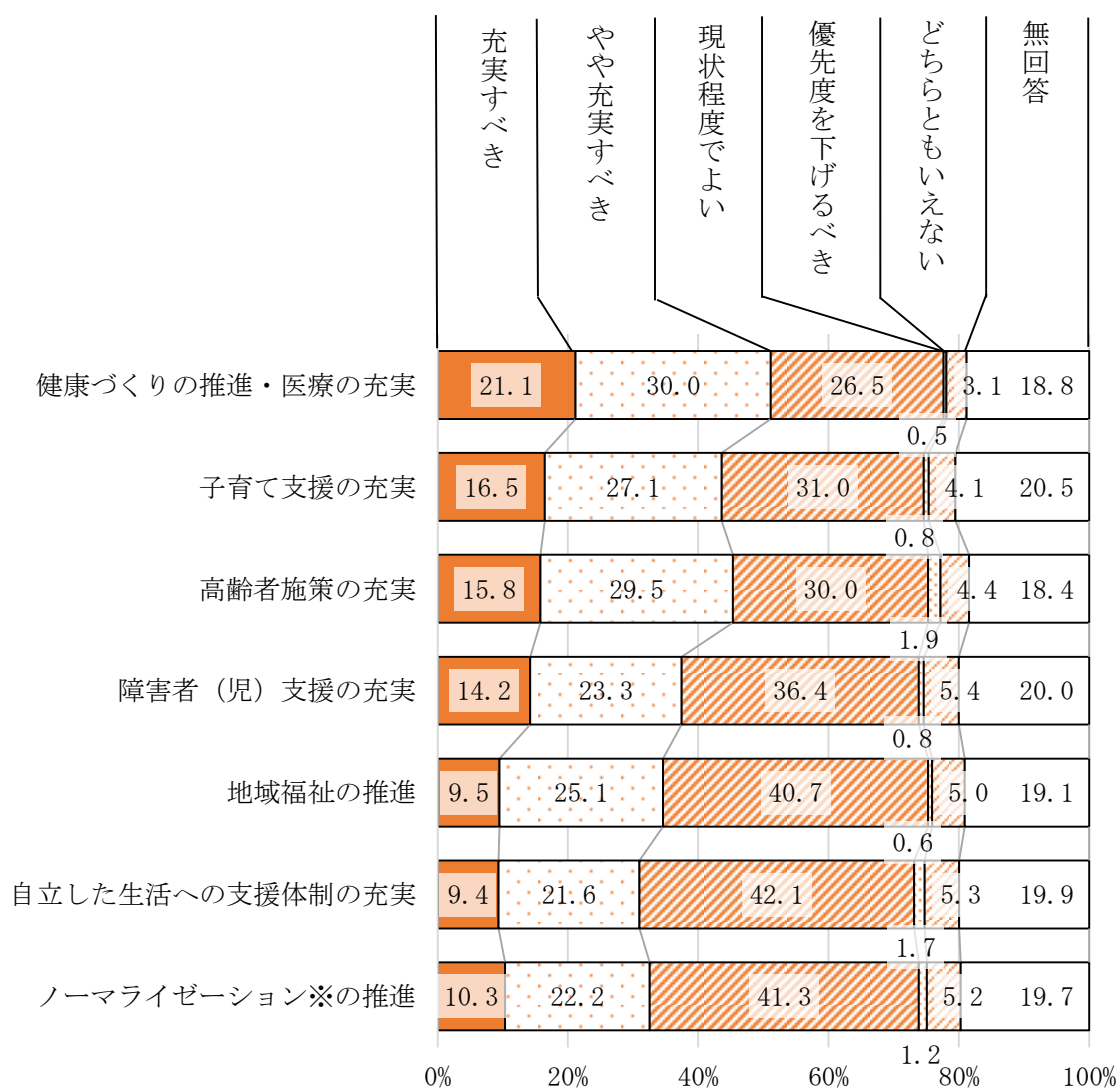
充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「健康づくりの推進・医療の充実」となっており、次いで「高齢者施策の充実」となっている。



(N=1,324)

※「ノーマライゼーション」とは、高齢者や障害者であっても、地域で普通（ノーマル）の生活ができ、かつ、差別されることのない社会が通常であるという考え方のこと。

【充実希望度】



(N=1,324)

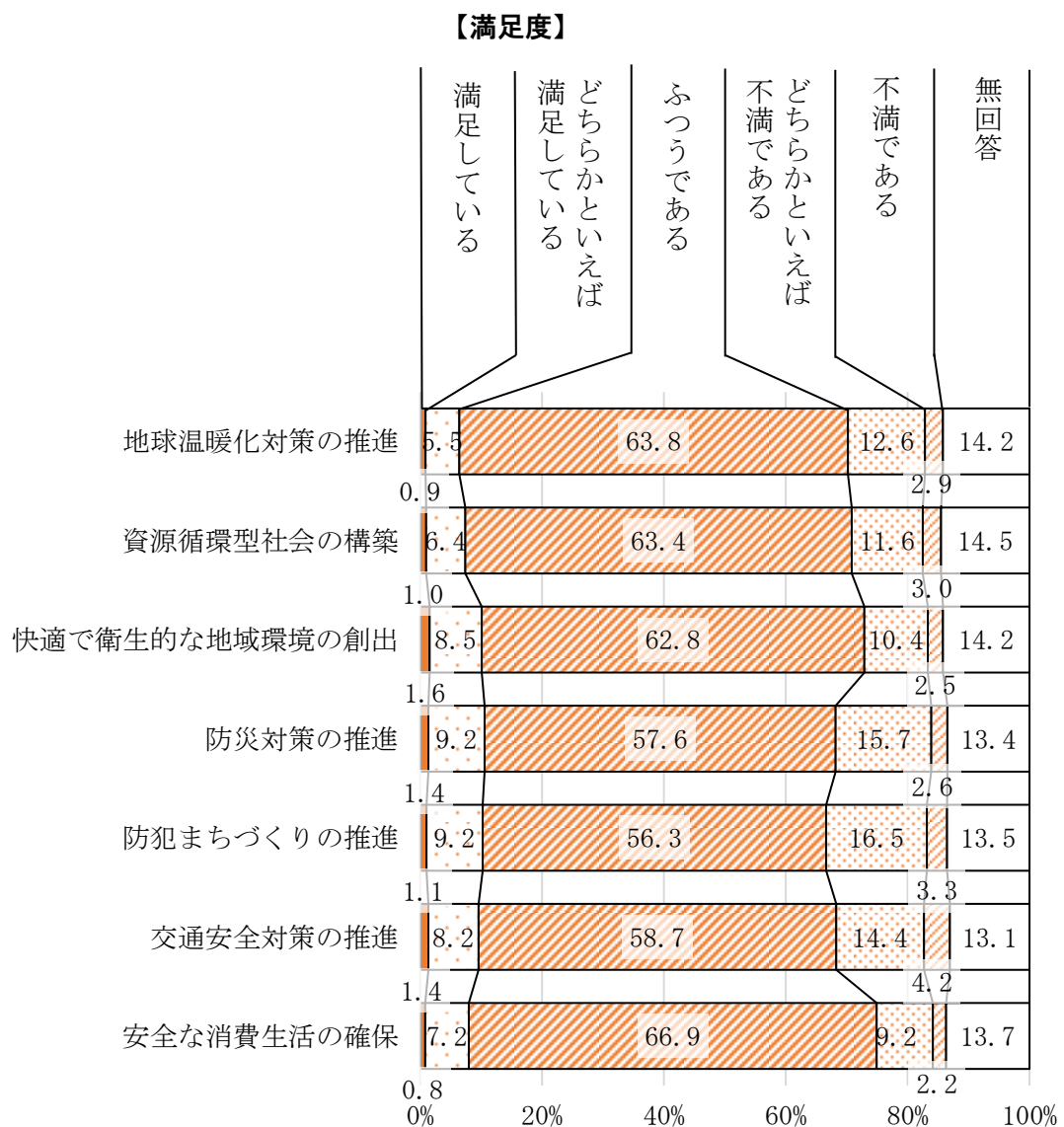
※「ノーマライゼーション」とは、高齢者や障害者であっても、地域で普通（ノーマル）の生活ができ、かつ、差別されることのない社会が通常であるという考え方のこと。

5. 市政について

④市民生活

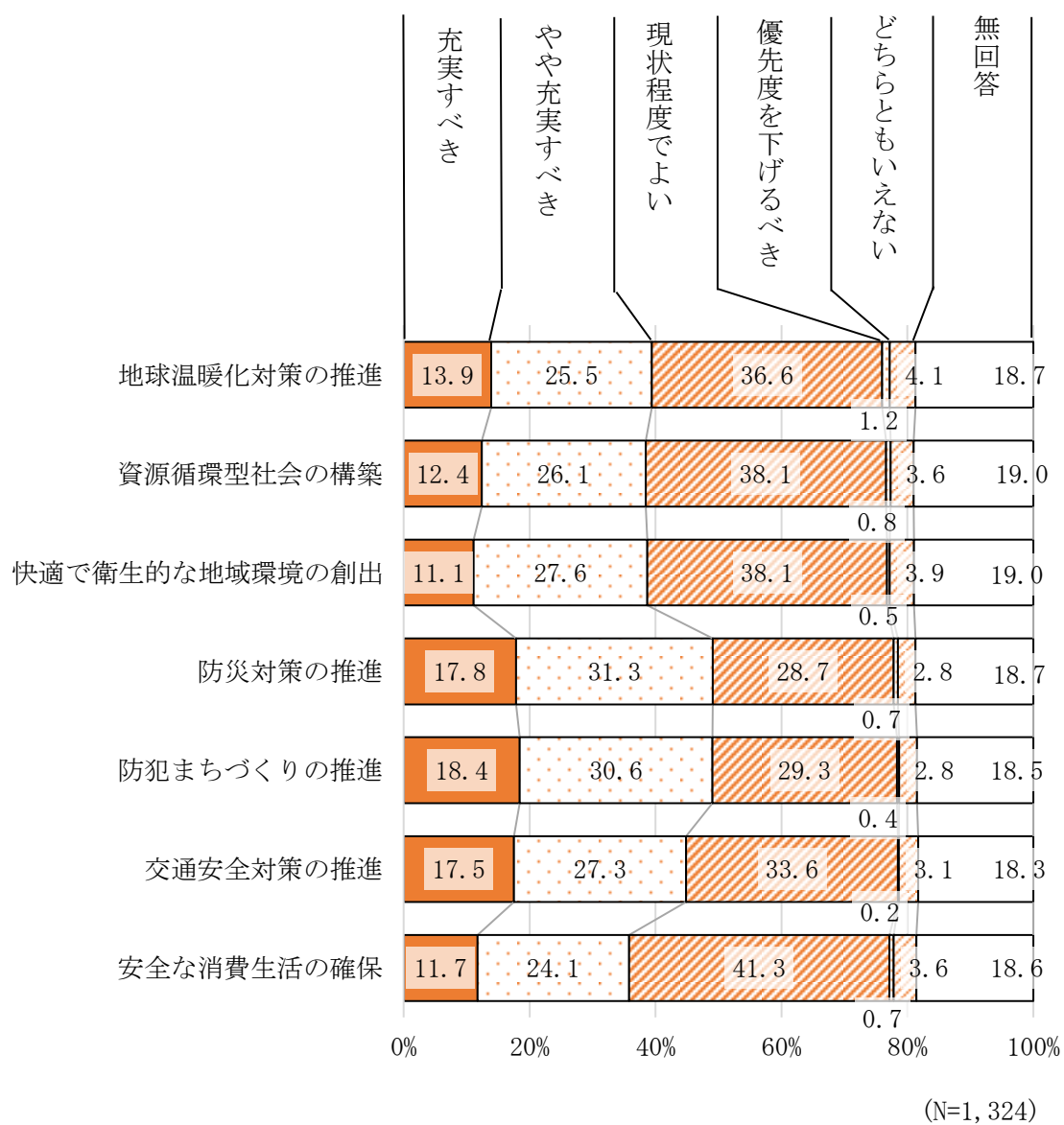
全ての項目で満足度は、「ふつうである」が5割～6割台を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いものは「防災対策の推進」となっており、次いで「防犯まちづくりの推進」となっている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が最も高いのは「防犯まちづくりの推進」であり、次いで「交通安全対策の推進」となっている。

充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「防災対策の推進」であり、次いで「防犯まちづくりの推進」、「交通安全対策の推進」となっている。また、「安全な消費生活の確保」は「現状程度でよい」が4割以上を占めている。



(N=1,324)

【充実希望度】



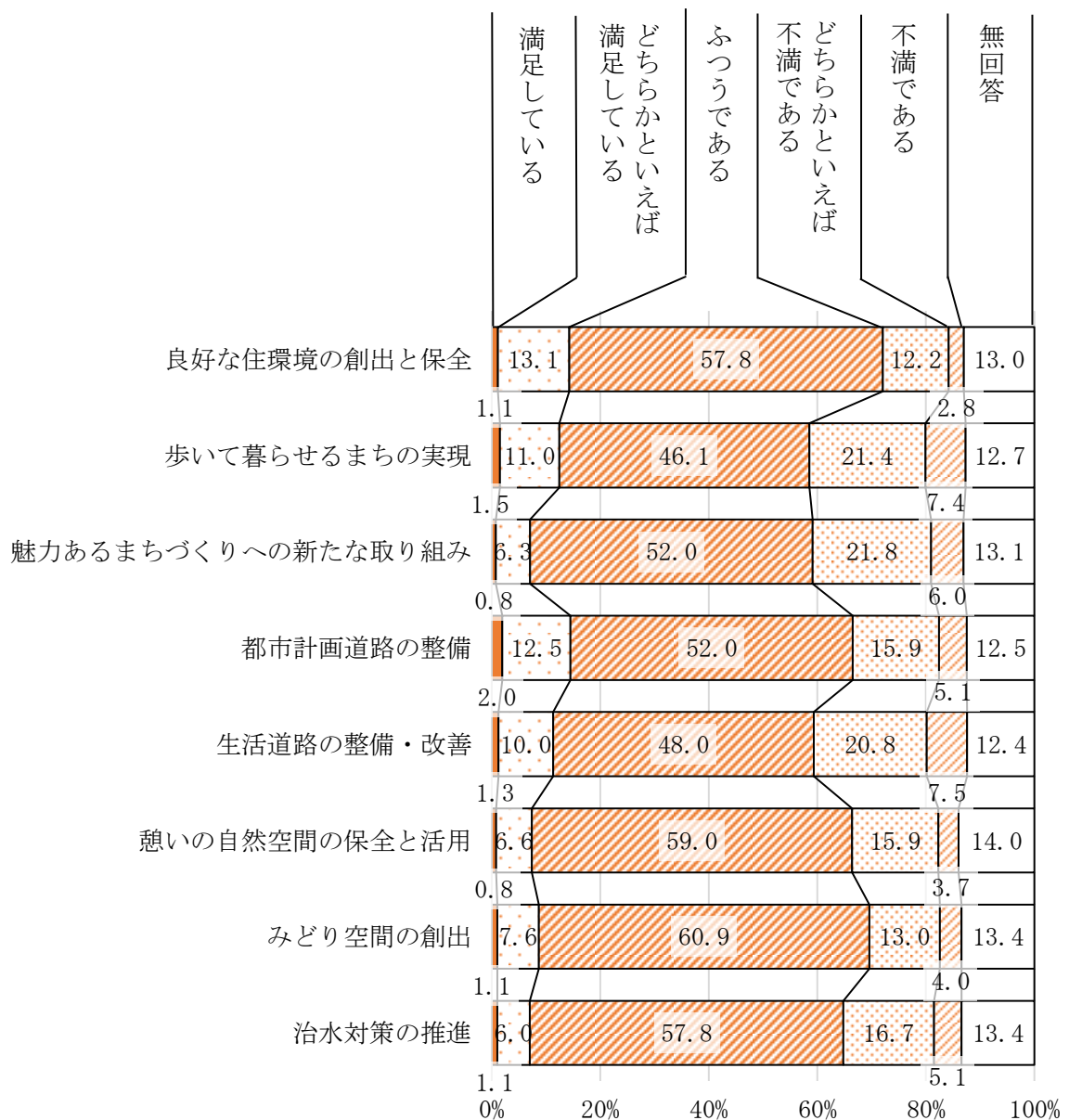
5. 市政について

⑤みどり・都市基盤

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が4割～6割台を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いのは「都市計画道路の整備」となっており、次いで「良好な住環境の創出と保全」となっている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いのは、「歩いて暮らせるまちの実現」となっており、次いで「生活道路の整備・改善」、「魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」と続いている。

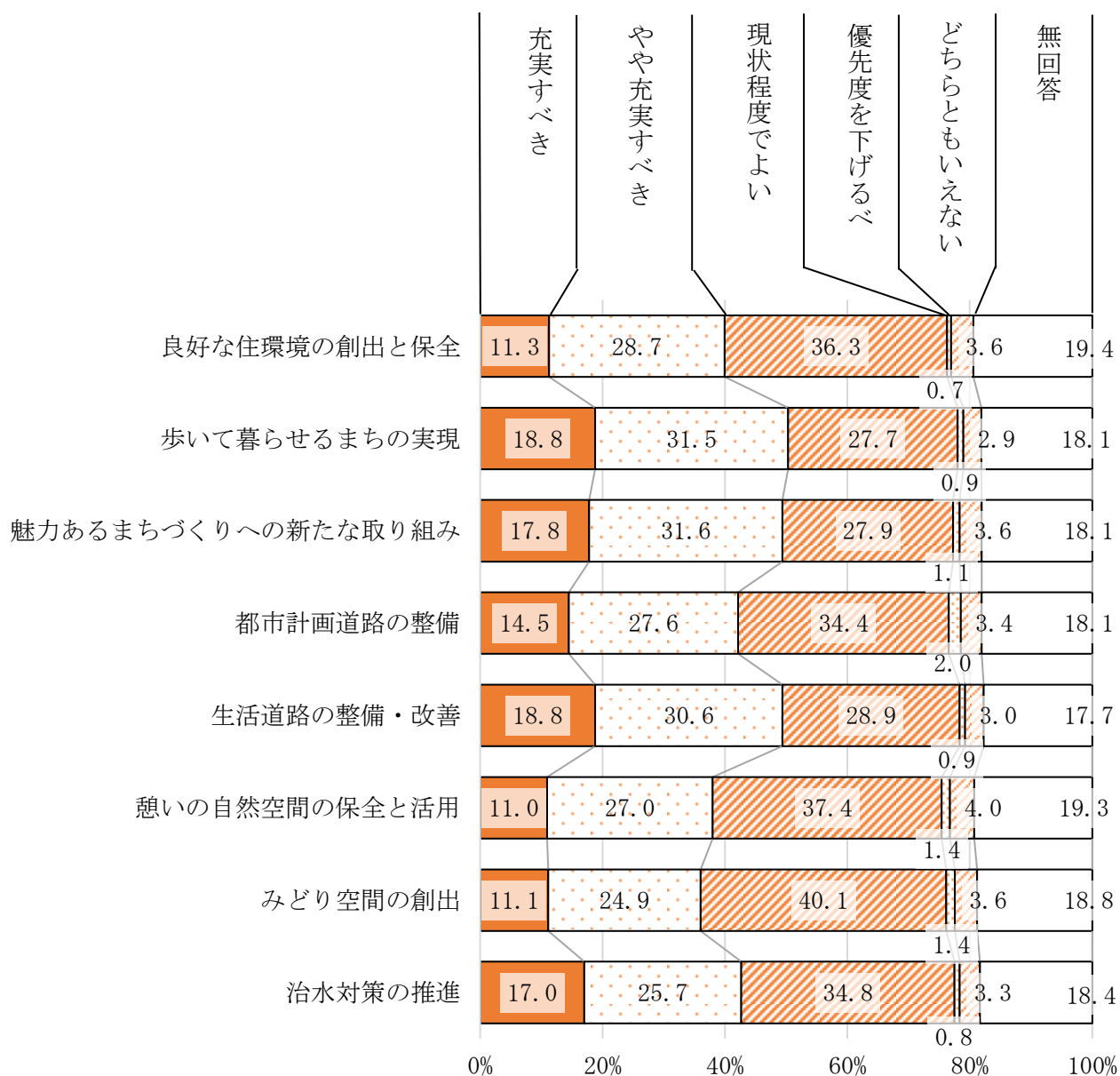
充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「歩いて暮らせるまちの実現」となっており、次いで「魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」及び「生活道路の整備・改善」となっている。また、「みどり空間の創出」は「現状程度でよい」が4割近くを占めている。

【満足度】



(N=1,324)

【充実希望度】



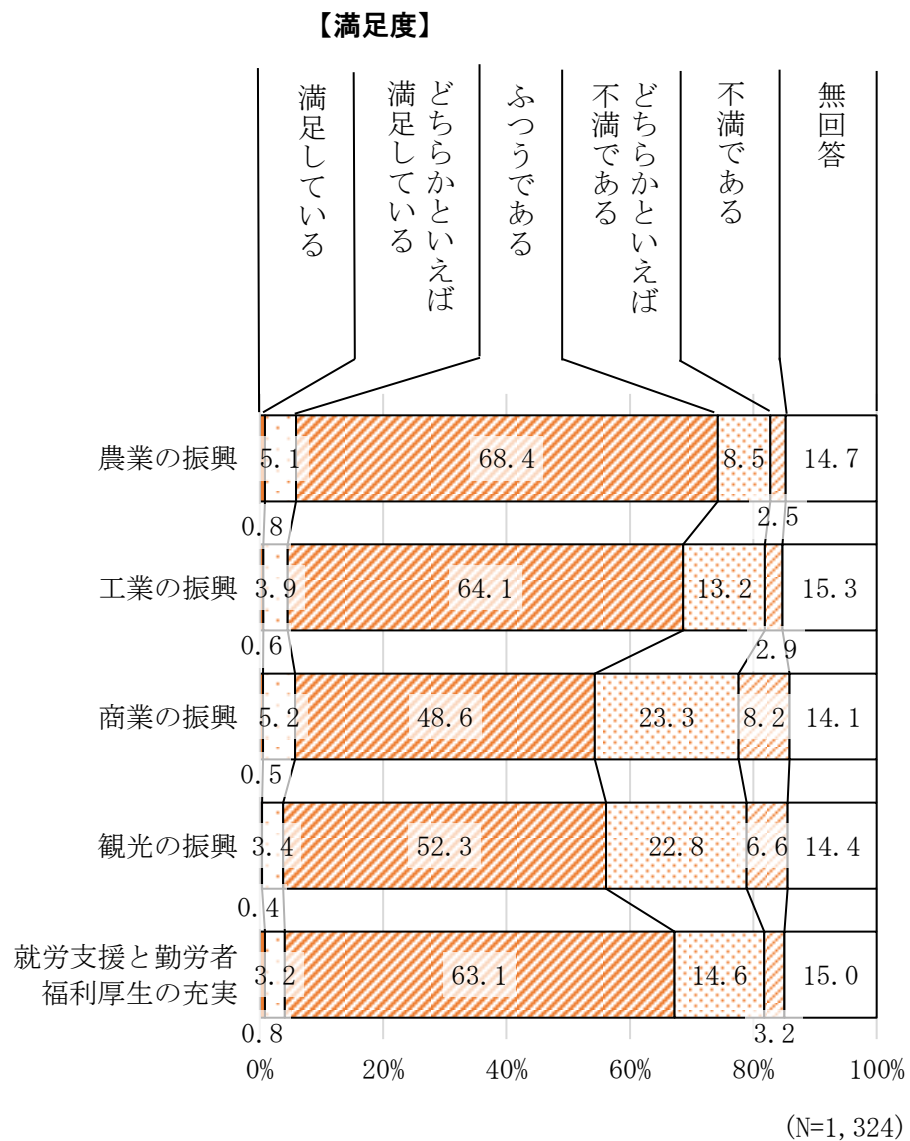
(N=1,324)

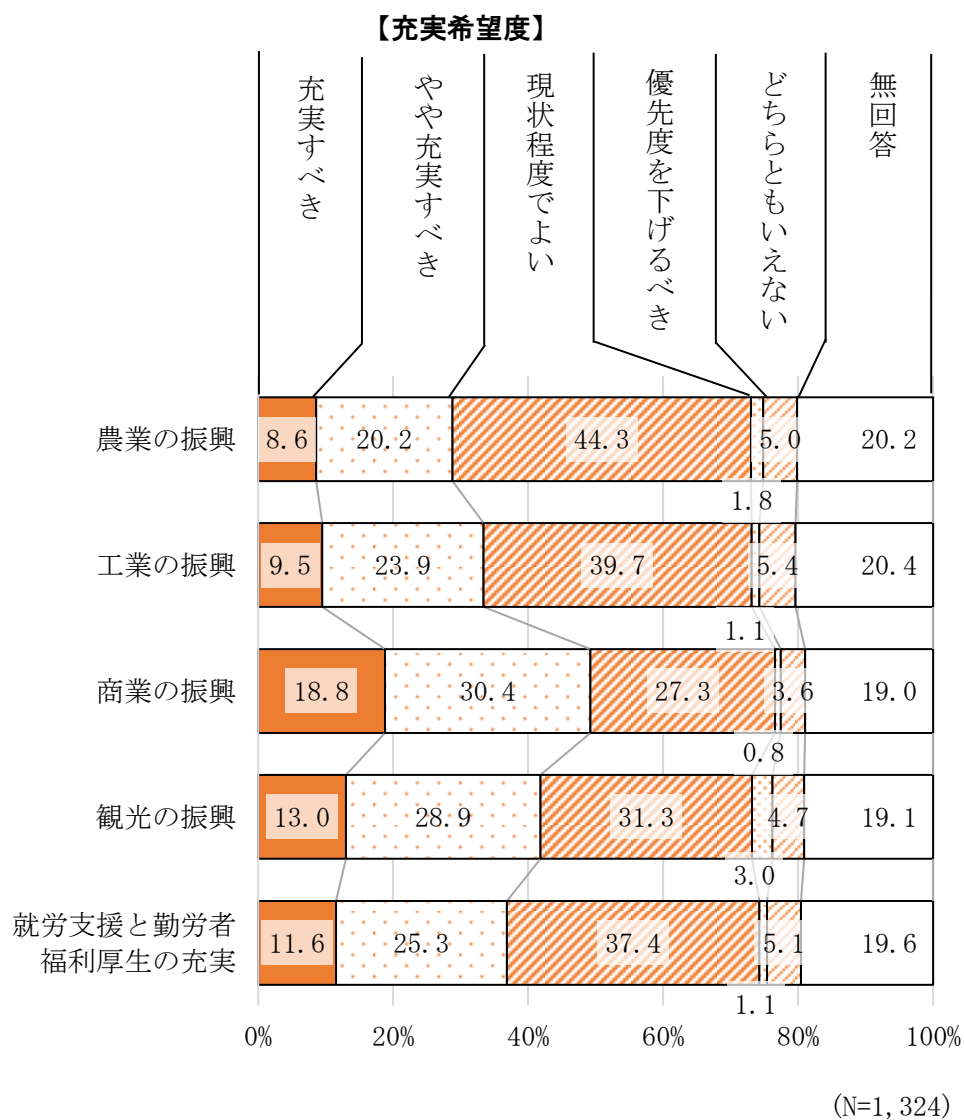
5. 市政について

⑥産業

全ての項目で満足度は、「ふつうである」が4割～6割台を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いのは「農業の振興」となっており、次いで「商業の振興」となっている。『不満』（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「商業の振興」となっており、次いで「観光の振興」となっている。

充実希望度においては、『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が最も高いのは「商業の振興」となっており、次いで「観光の振興」、「就労支援と勤労者福利厚生の実」となっている。また、「農業の振興」は「現状程度でよい」が4割以上を占めている。



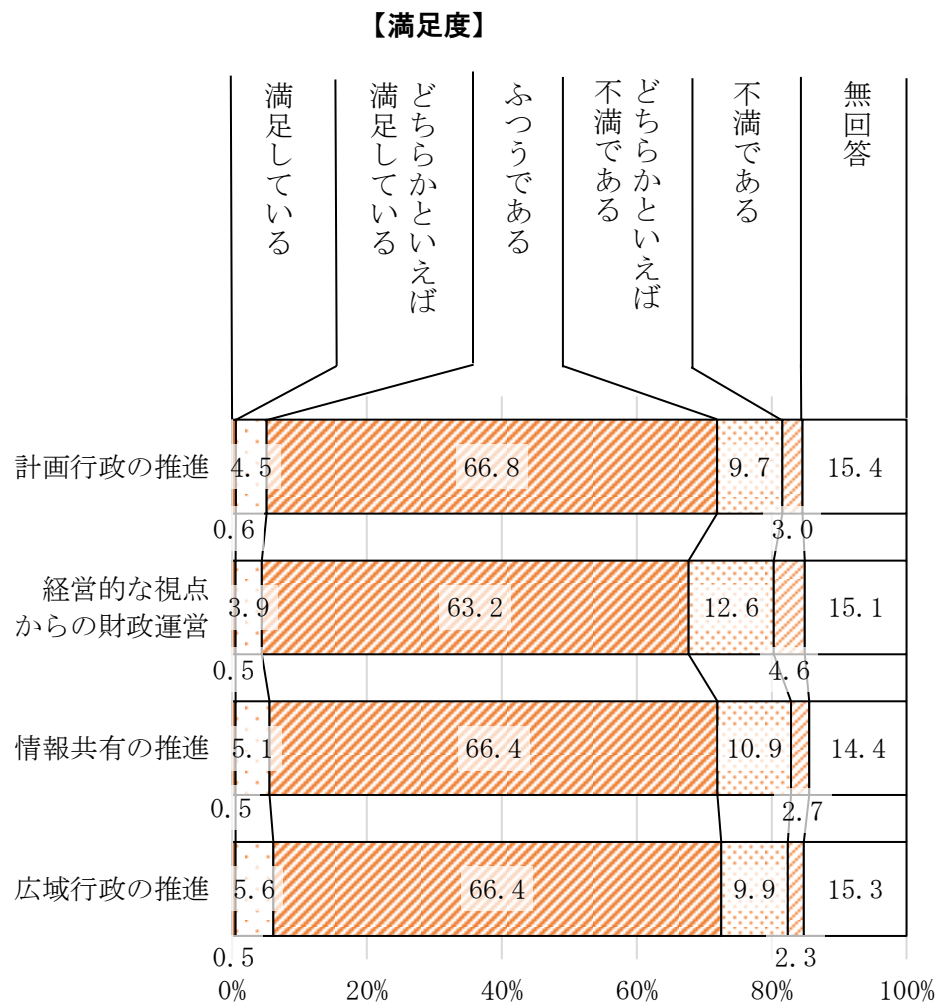


5. 市政について

⑦行財政運営

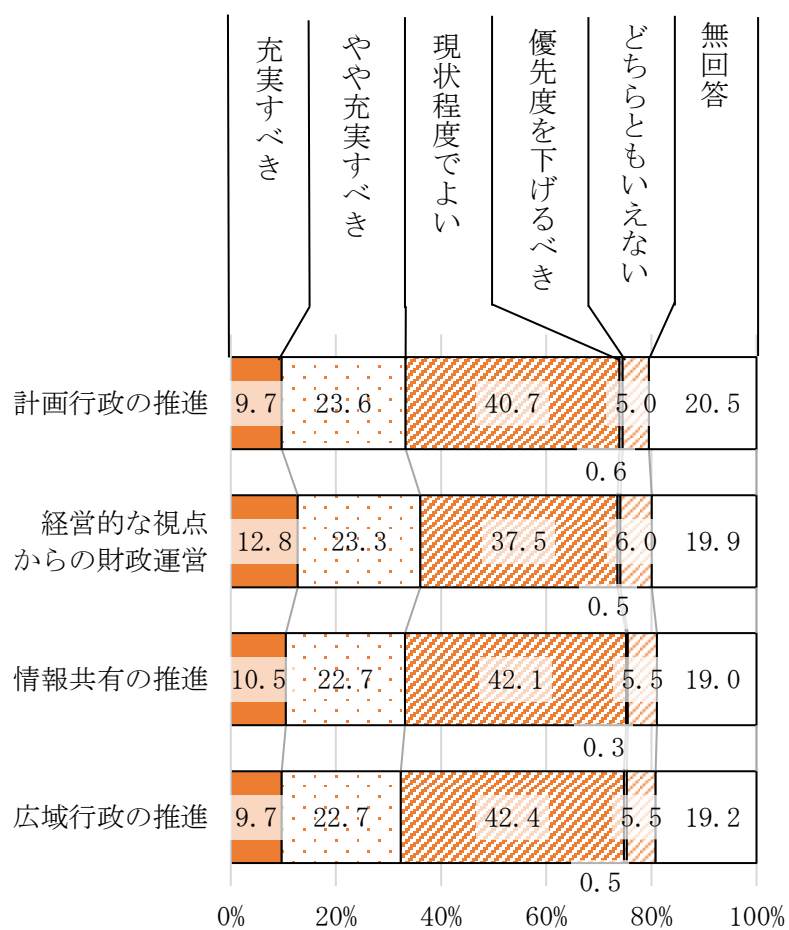
全ての項目で満足度は、「ふつうである」が6割以上を占めている。『満足』（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）の割合が最も高いのは「広域行政の推進」であり、次いで「情報共有の推進」となっている。「不満」（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）の割合が高いものとしては、「経営的な視点からの財政運営」となっており、次いで「情報共有の推進」となっている。

充実希望度においては、全ての項目で『充実すべき』（「充実すべき」＋「やや充実すべき」）の割合が3割以上となっている。最も高いのは「経営的な視点からの財政運営」となっており、次いで「計画行政の推進」となっている。



(N=1,324)

【充実希望度】



(N=1, 324)

5. 市政について

【満足度と充実希望度の関係】

桶川市第五次総合振興計画後期基本計画の施策に関する40項目の満足度、充実希望度について指数化し、相関関係を4象限で表した。

指数の計算方法、図の見かたなどは以下のとおりである。

□ 指標の算出について

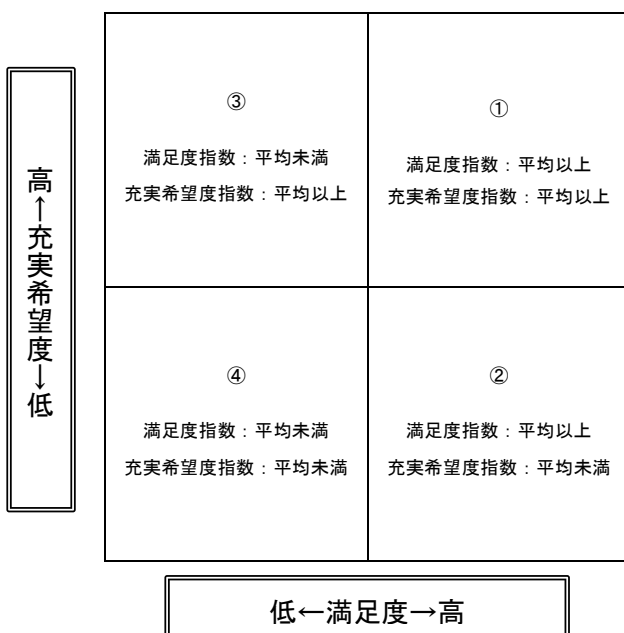
- ✓ 満足度指数は各項目の回答を、満足している（5点）、どちらかといえば満足している（4点）、ふつうである（3点）、どちらかといえば不満である（2点）、不満である（1点）として、その項目に対する回答者数の合計で除した。

（例）「協働の推進」について、8人は「満足している」、103人は「どちらかといえば満足している」、906人は「ふつうである」、93人は「どちらかといえば不満である」、19人は「不満である」、195人は「無回答」と回答した。回答者数は1,324人中1,129人である。この場合、満足度指数は…

$$(8人 \times 5点 + 103人 \times 4点 + 906人 \times 3点 + 93人 \times 2点 + 19人 \times 1点) \div 1,129人 = \text{約}2.99$$

- ✓ 充実希望度指数は各項目の回答を、充実すべき（5点）、やや充実すべき（4点）、現状程度でよい（3点）、優先度を下げるべき（2点）、どちらともいえない（1点）として、その項目に対する回答者数の合計で除した。
- ✓ 図の原点は各指標の平均値となっている。

□ 図の見かた 1



①満足度・充実希望度ともに高い

満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性がある。

②満足度は高く、充実希望度が低い

社会的意義や法律的な義務付け等への配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性がある。

③満足度が低く、充実希望度は高い

住民の期待に対して十分対応できていないことが考えられ、住民満足度を向上するために優先して取り組まなければならない可能性がある。

④満足度・充実希望度ともに低い

充実希望度（住民の期待）が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性がある。

□ 図の見かた2

図中の番号と40項目との関係は以下のとおりである。

参画・ 協働	1	協働の推進	市民生活	21	防犯まちづくりの推進
	2	自主的活動の推進と交流促進		22	交通安全対策の推進
	3	男女共同参画社会の推進		23	安全な消費生活の確保
教育・文化	4	就学前教育の支援・充実	みどり・都市基盤	24	良好な住環境の創出と保全
	5	学校教育の充実		25	歩いて暮らせるまちの実現
	6	青少年の健全な育成		26	魅力あるまちづくりへの新たな取り組み
	7	生涯学習・生涯スポーツの充実		27	都市計画道路の整備
	8	人権教育・啓発と平和の推進		28	生活道路の整備・改善
健康・福祉	9	文化・芸術の振興・保存・継承		29	憩いの自然空間の保全と活用
	10	健康づくりの推進・医療の充実		30	みどり空間の創出
	11	子育て支援の充実	産業	31	治水対策の推進
	12	高齢者施策の充実		32	農業の振興
	13	障害者（児）支援の充実		33	工業の振興
	14	地域福祉の推進		34	商業の振興
	15	自立した生活への支援体制の充実		35	観光の振興
市民生活	16	ノーマライゼーションの推進		36	就労支援と勤労者福利厚生の実施
	17	地球温暖化対策の推進	行財政運営	37	計画行政の推進
	18	資源循環型社会の構築		38	経営的な視点からの財政運営
	19	快適で衛生的な地域環境の創出		39	情報共有の推進
	20	防災対策の推進		40	広域行政の推進

※図中の番号「0」は、40項目全ての平均を算出しているものであり、小数第3位を四捨五入している。

5. 市政について

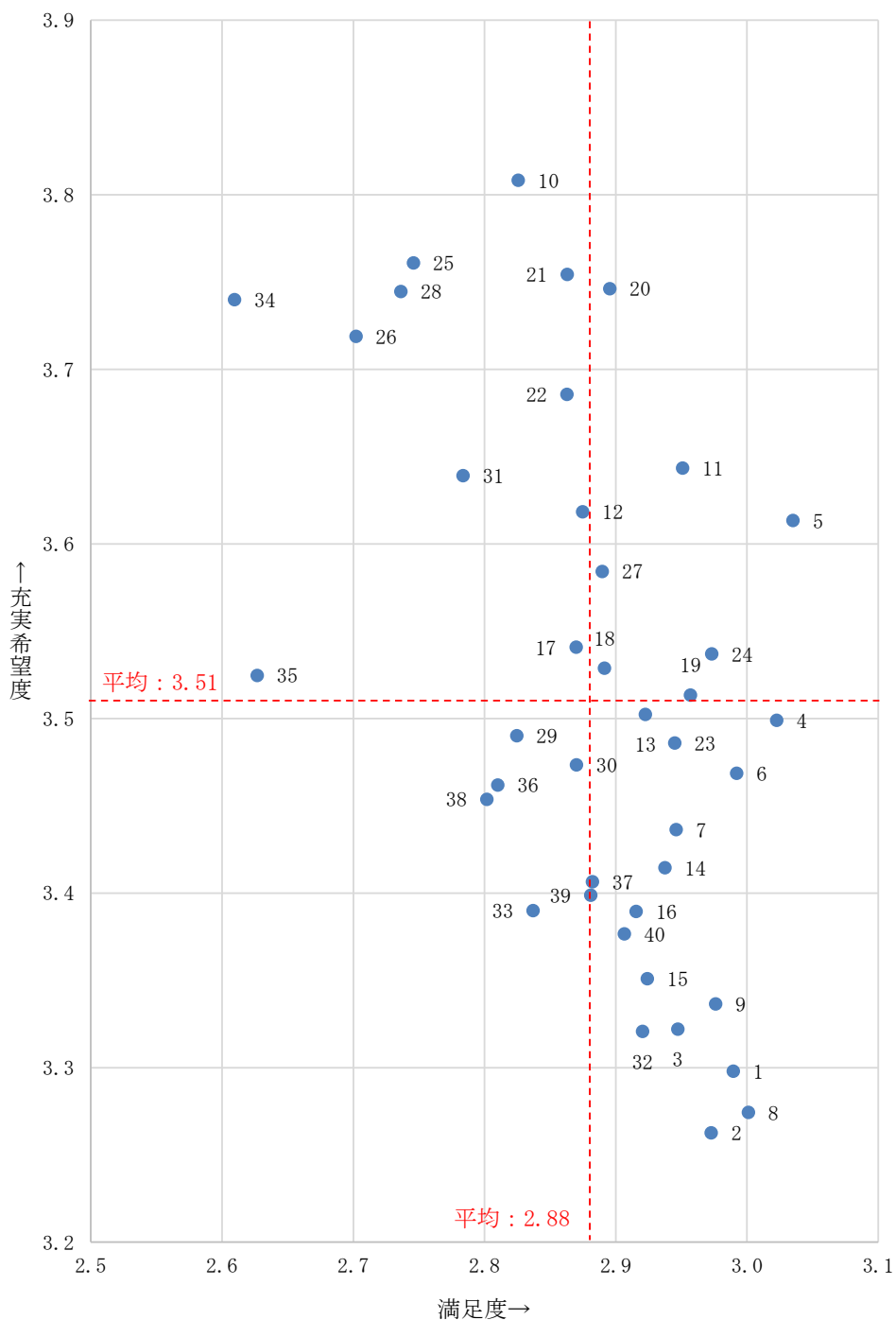
総合／施策の満足度と充実希望度の関係

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「11 子育て支援の充実」、「24 良好な住環境の創出と保全」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「1 協働の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「33 工業の振興」、「38 経営的な視点からの財政運営」、「36 就労支援と勤労者福利厚生」の充実」などである。



クロス／施策の満足度と充実希望度の関係

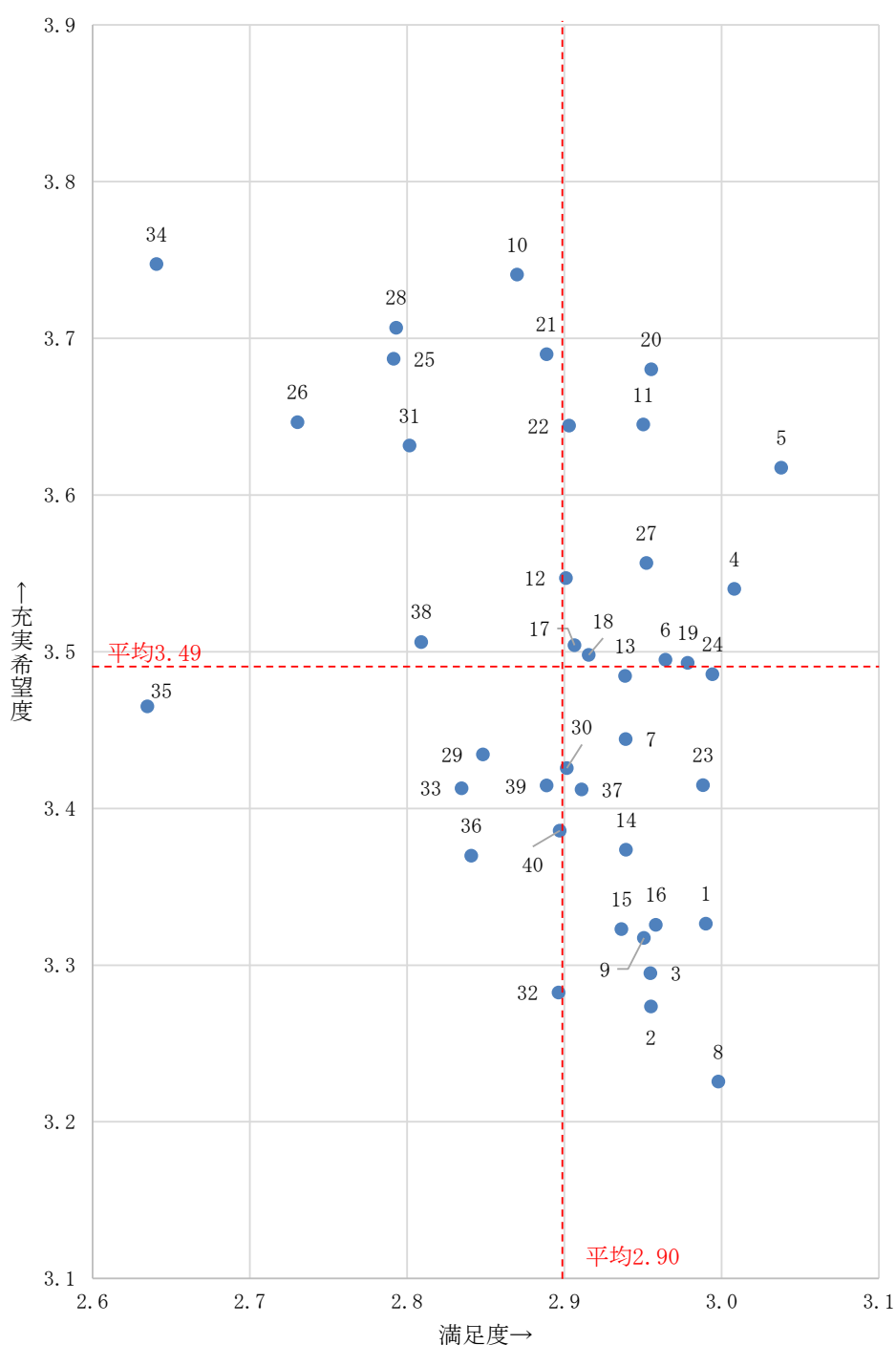
【性別：男性】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「20 防災対策の推進」、「11 子育て支援の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「3 男女共同参画社会の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」、「28 生活道路の整備・改善」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「35 観光の振興」、「36 就労支援と勤労者福利厚生の実現」、「33 工業の振興」などである。



5. 市政について

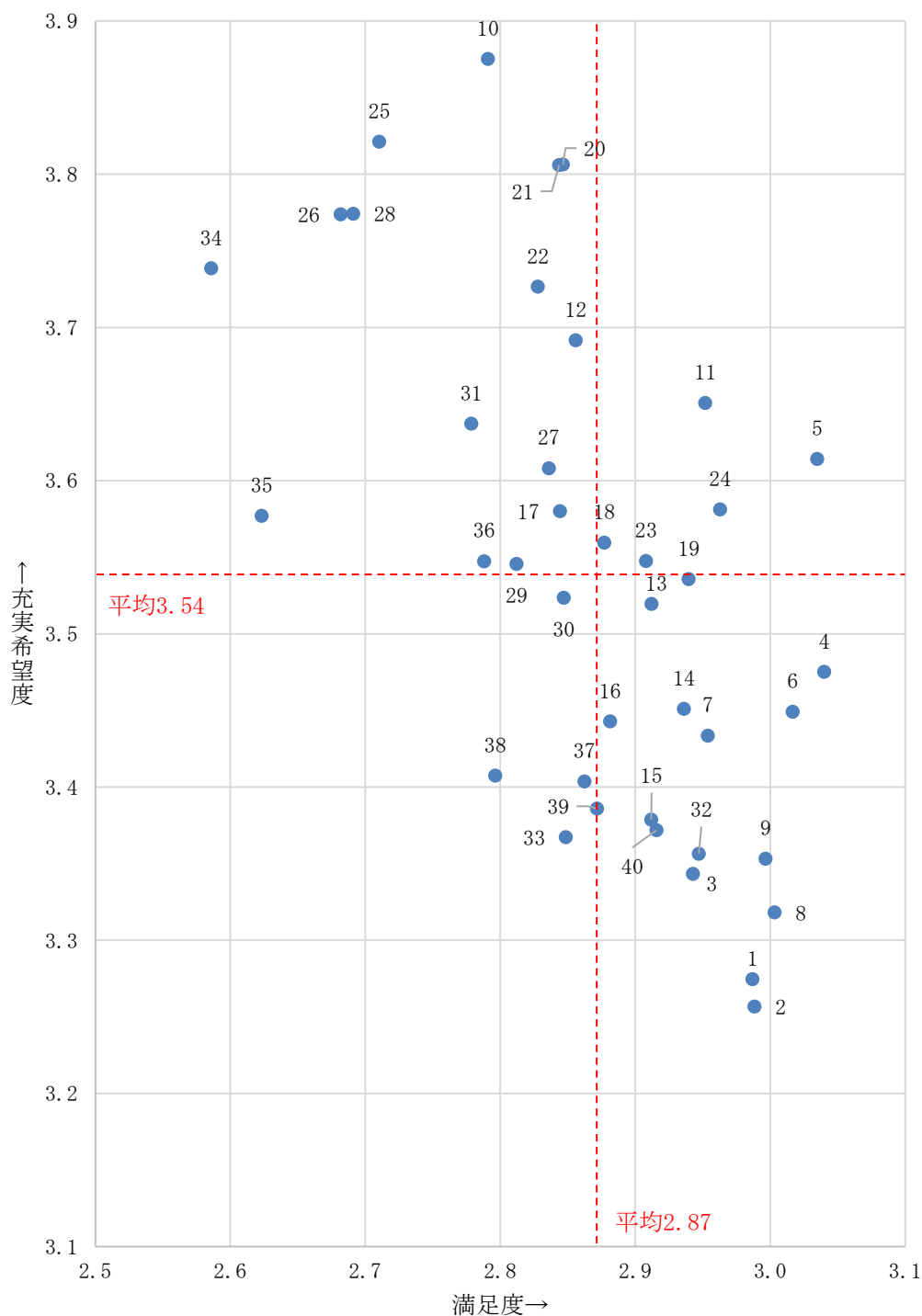
【性別：女性】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「11 子育て支援の充実」、「24 良好な住環境の創出と保全」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「1 協働の推進」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「38 経営的な視点からの財政運営」、「33 工業の振興」、「37 計画行政の推進」などである。



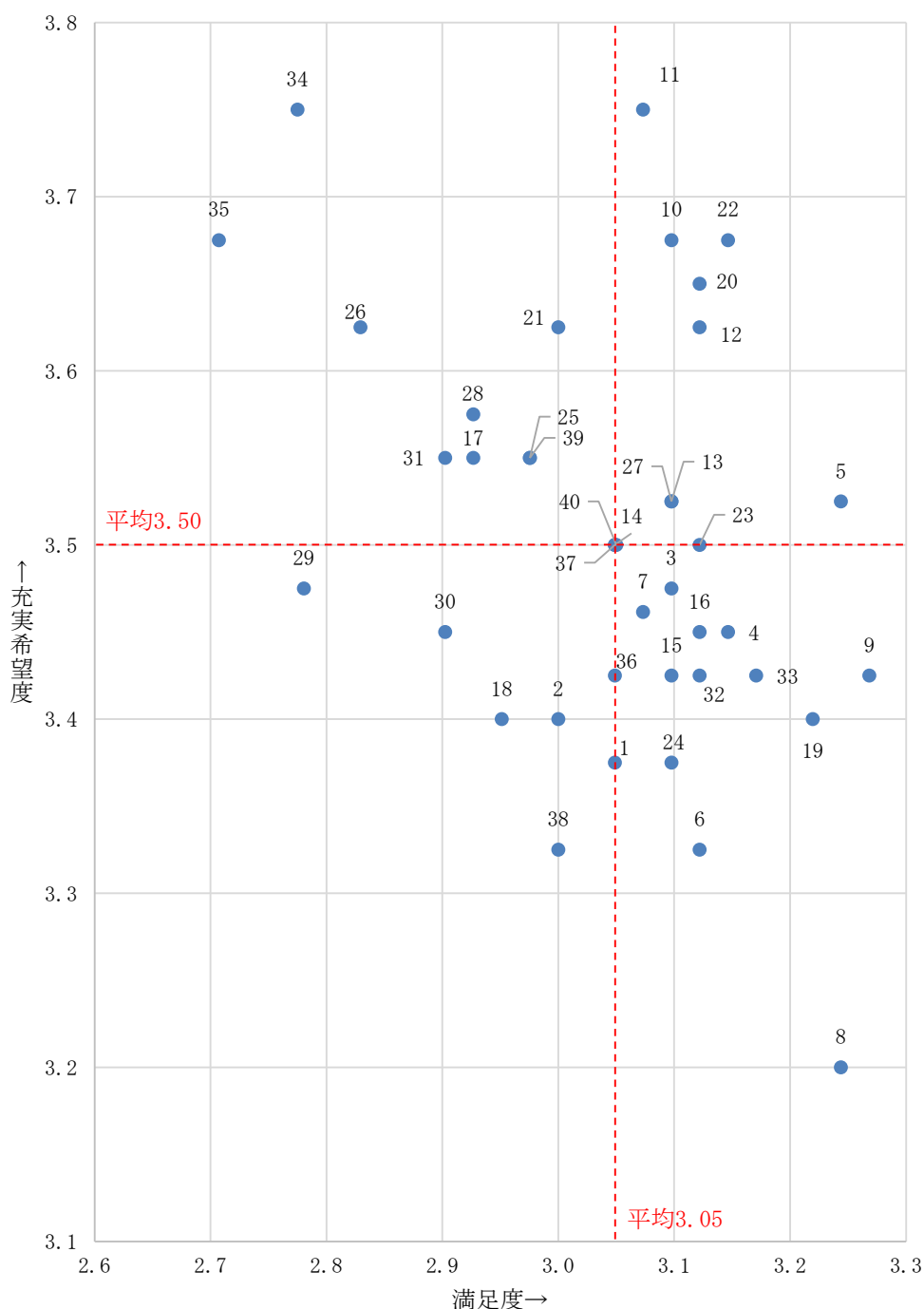
【年齢：18～19歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「22 交通安全対策の推進」、「11 子育て支援の充実」、「10 健康づくりの推進・医療の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「19 快適で衛生的な地域環境の創出」、「6 青少年の健全な育成」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「35 観光の振興」、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「29 憩いの自然空間の保全と活用」、「38 経営的な視点からの財政運営」、「18 資源循環型社会の構築」などである。



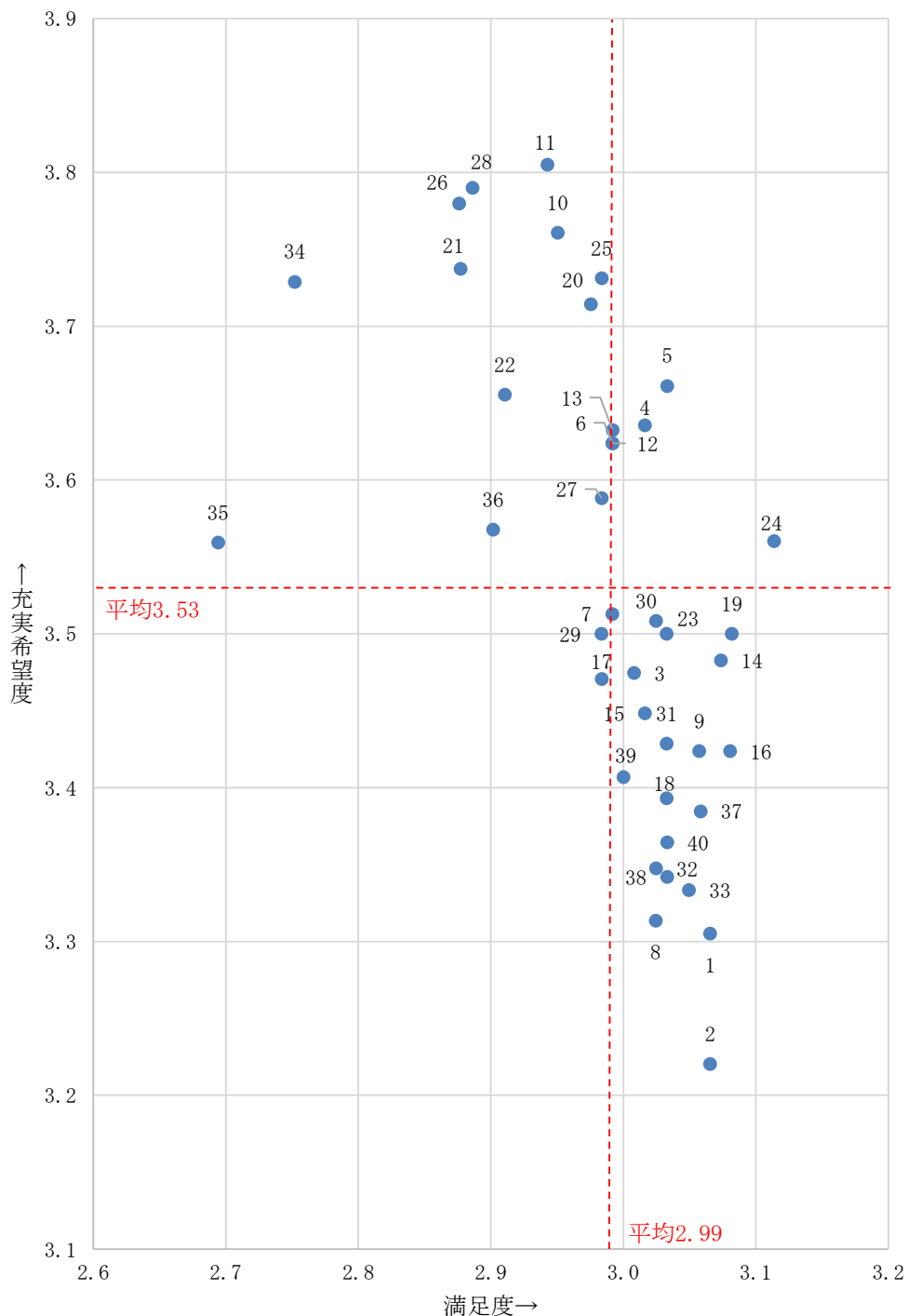
5. 市政について

【年齢：20～29歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「24 良好な住環境の創出と保全」、「5 学校教育の充実」、「4 就学前教育の支援・充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「1 協働の推進」、「33 工業の振興」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「35 観光の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。



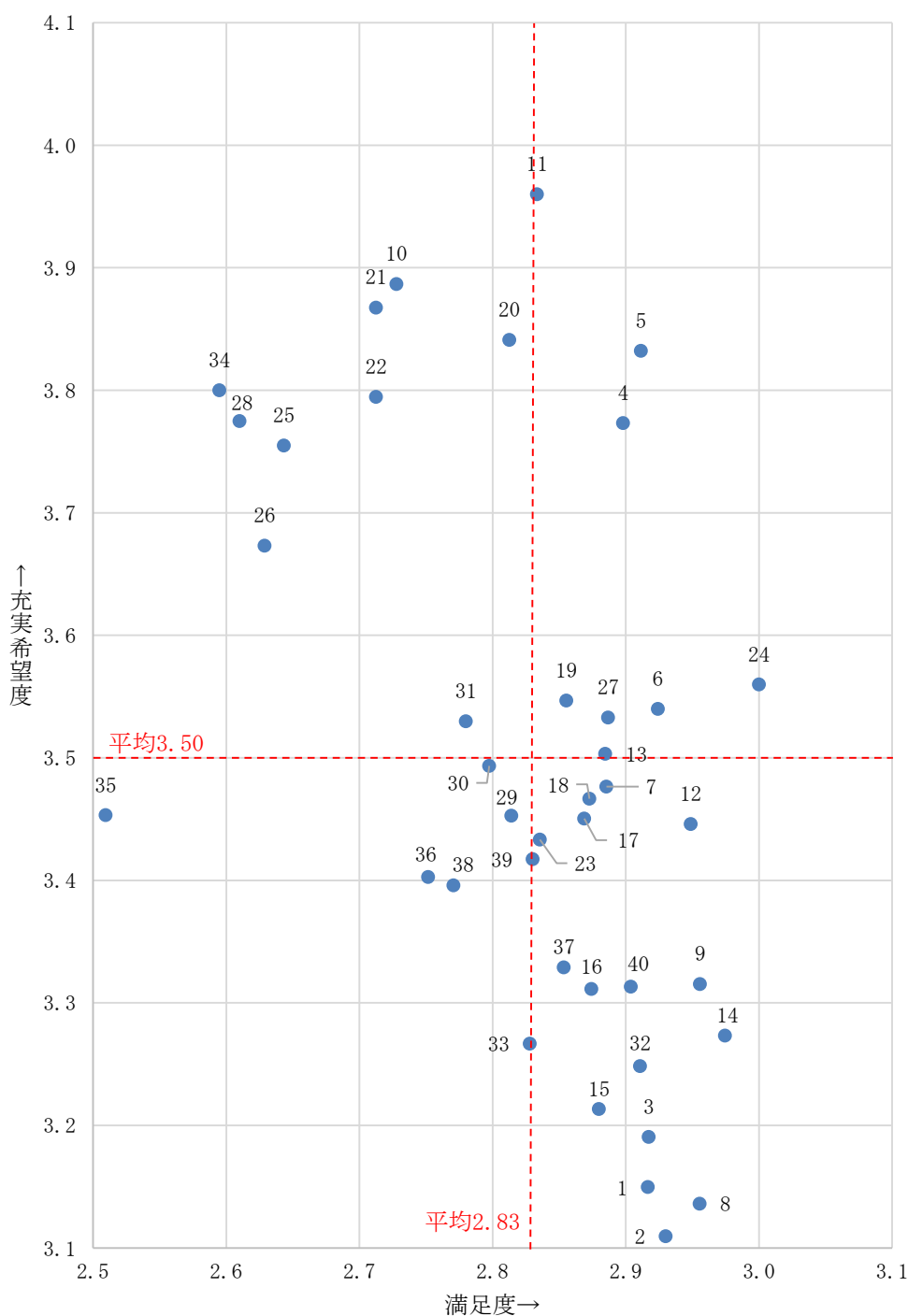
【年齢：30～39歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「11 子育て支援の充実」、「4 就学前教育の支援・充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「1 協働の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「28 生活道路の整備・改善」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「35 観光の振興」、「36 就労支援と勤労者福利厚生の実現」、「38 経営的な視点からの財政運営」などである。



5. 市政について

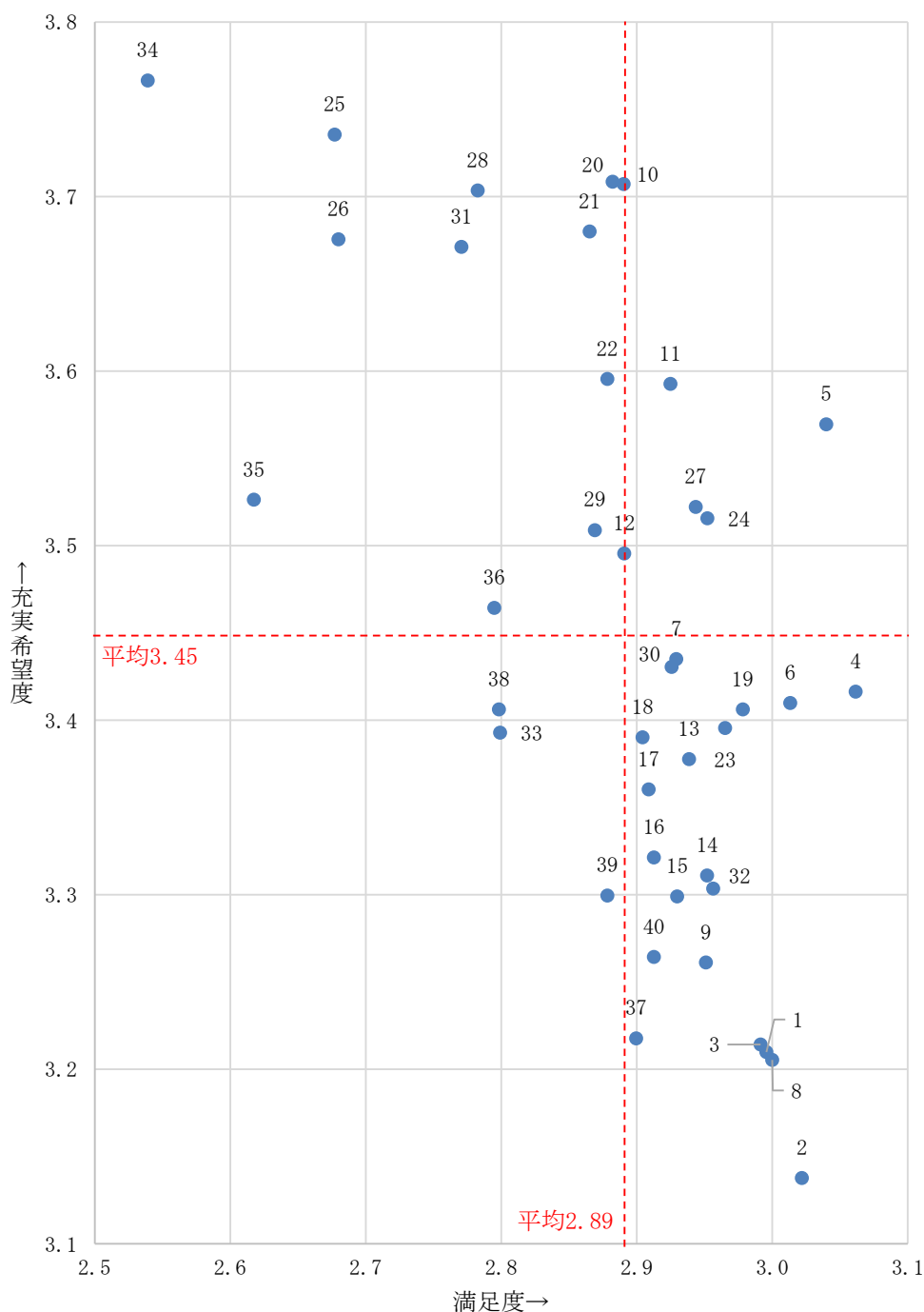
【年齢：40～49歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「11 子育て支援の充実」、「24 良好な住環境の創出と保全」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「1 協働の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「33 工業の振興」、「38 経営的な視点からの財政運営」、「39 情報共有の推進」などである。



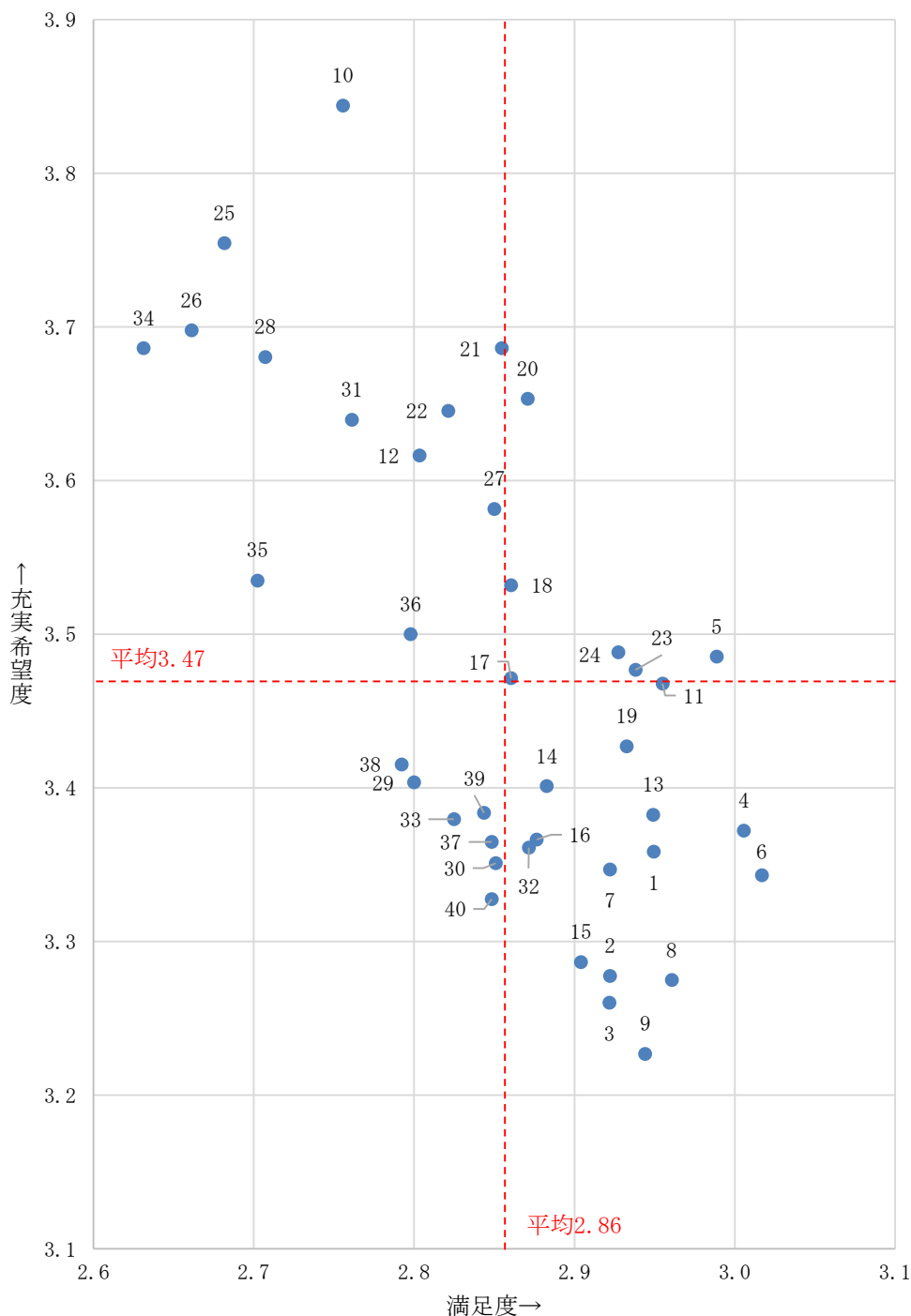
【年齢：50～59歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「20 防災対策の推進」、「5 学校教育の充実」、「24 良好な住環境の創出と保全」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「9 文化・芸術の振興・保存・継承」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「6 青少年の健全な育成」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「29 憩いの自然空間の保全と活用」、「38 経営的な視点からの財政運営」、「33 工業の振興」などである。



5. 市政について

【年齢：60～64歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「27 都市計画道路の整備」、「19 快適で衛生的な地域環境の創出」、「5 学校教育の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「1 協働の推進」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「10 健康づくりの推進・医療の充実」、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「35 観光の振興」、「38 経営的な視点からの財政運営」、「33 工業の振興」などである。



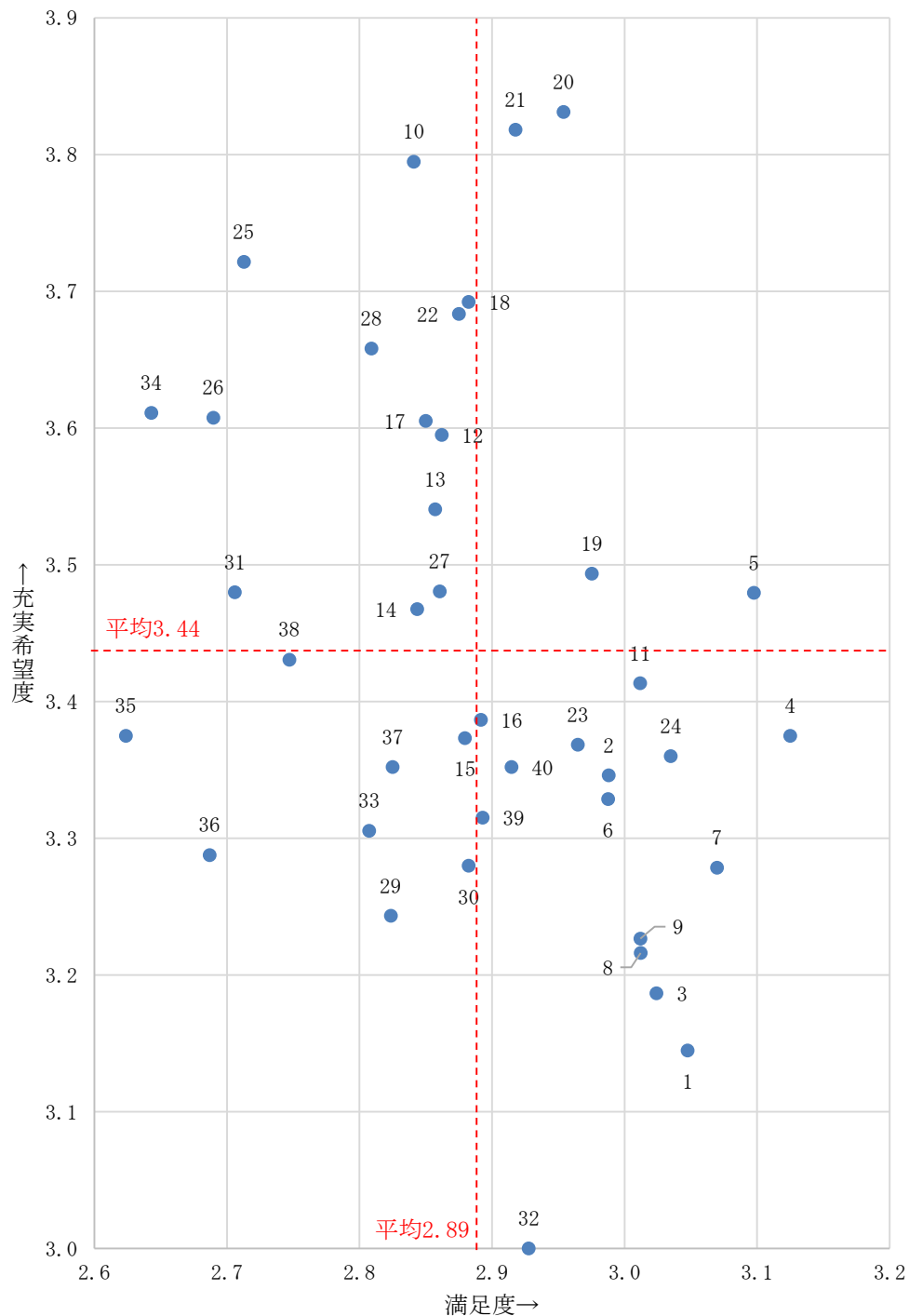
【年齢：65～69 歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「20 防災対策の推進」、「21 防犯まちづくりの推進」、「5 学校教育の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「1 協働の推進」、「32 農業の振興」「3 男女共同参画社会の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「25 歩いて暮らせるまちの実現」、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「36 就労支援と勤労者福利厚生の実現」、「35 観光の振興」、「29 憩いの自然空間の保全と活用」などである。



5. 市政について

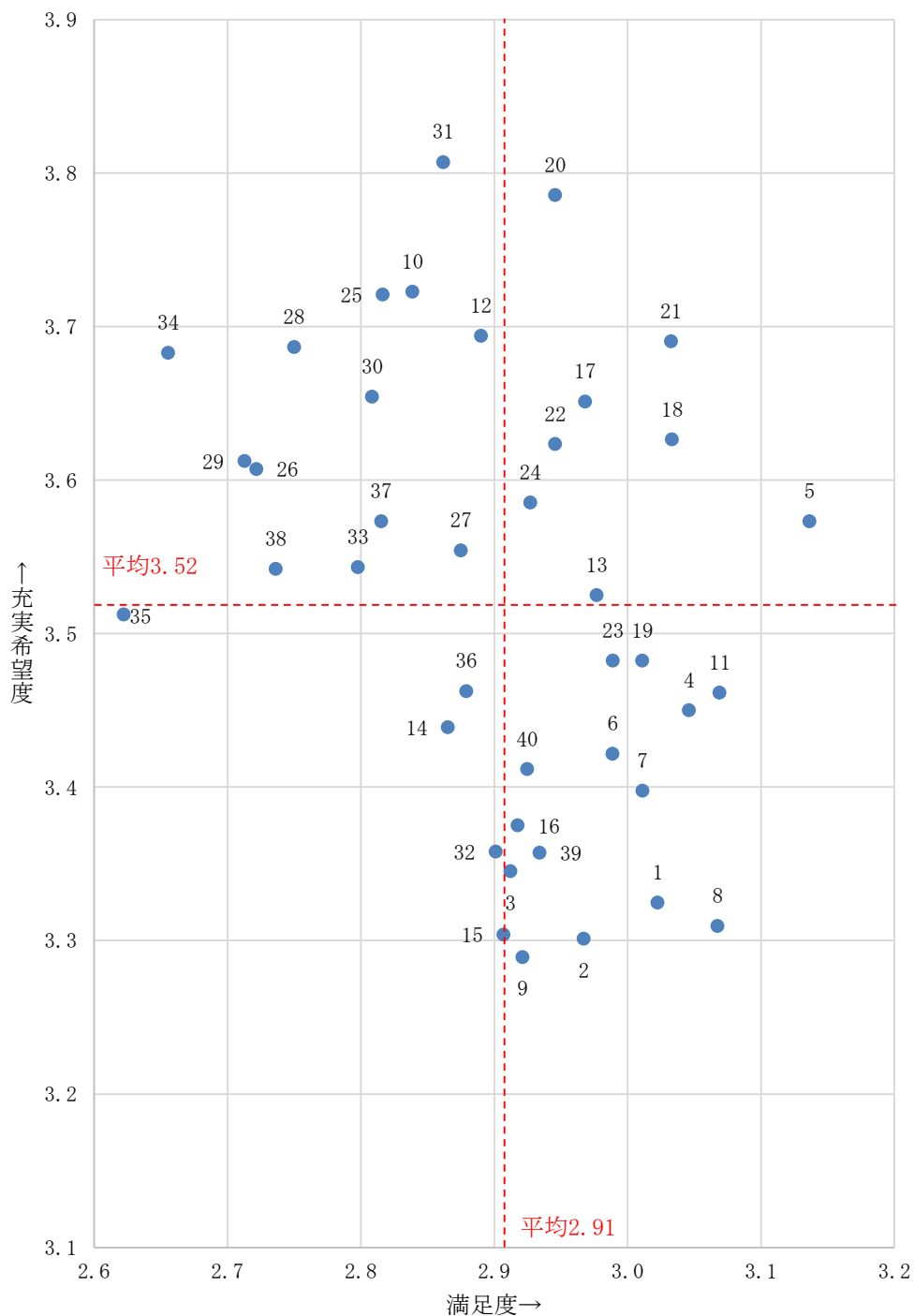
【年齢：70～74歳】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「21 防犯まちづくりの推進」、「20 防災対策の推進」、「5 学校教育の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「1 協働の推進」、「2 自主的活動の推進と交流促進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「28 生活道路の整備・改善」、「29 憩いの自然空間の保全と活用」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「35 観光の振興」、「14 地域福祉の推進」、「36 就労支援と勤労者福利厚生の実現」などである。



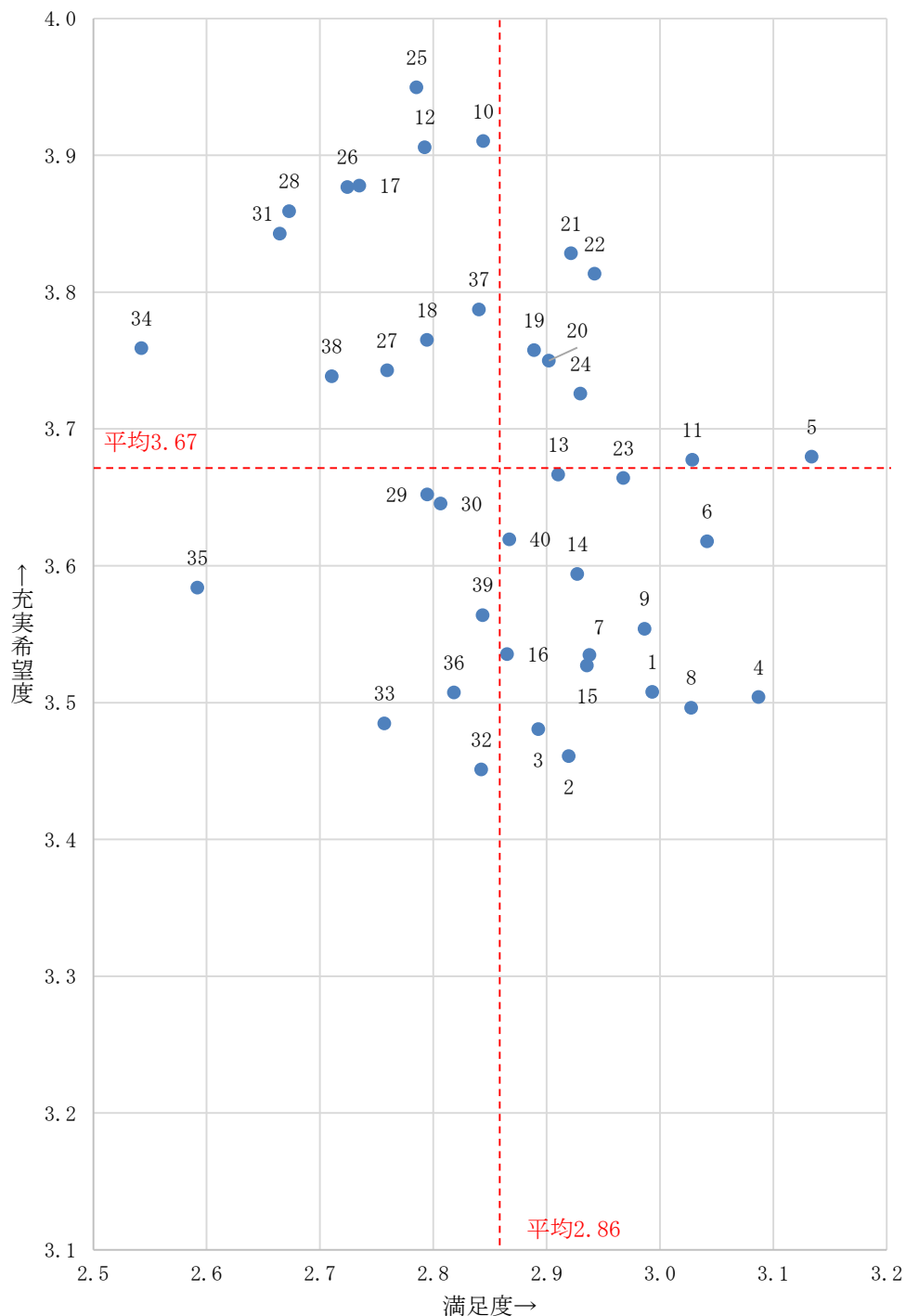
【年齢：75歳以上】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 教育の充実」、「22 交通安全対策の推進」、「21 防犯まちづくりの推進」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「4 就学前教育の支援・充実」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「1 協働の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「28 生活道路の整備・改善」、「31 治水対策の推進」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「35 観光の振興」「33 工業の振興」、「32 農業の振興」などである。



5. 市政について

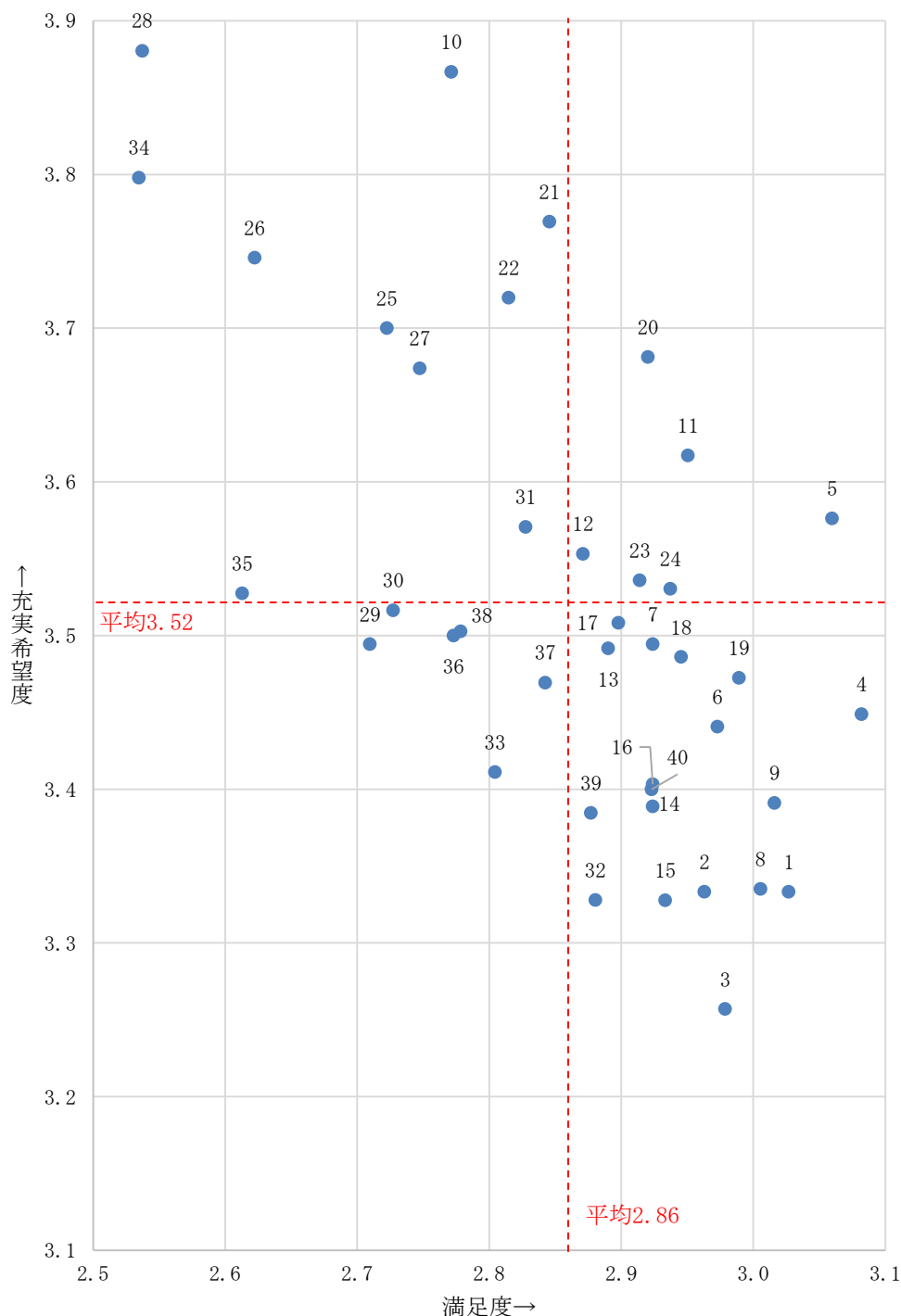
【地区：駅東側周辺】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「20 防災対策の推進」、「11 子育て支援の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「3 男女共同参画社会の推進」、「1 協働の推進」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「28 生活道路の整備・改善」、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は「29 憩いの自然空間の保全と活用」、「33 工業の振興」、「30 みどり空間の創出」などである。



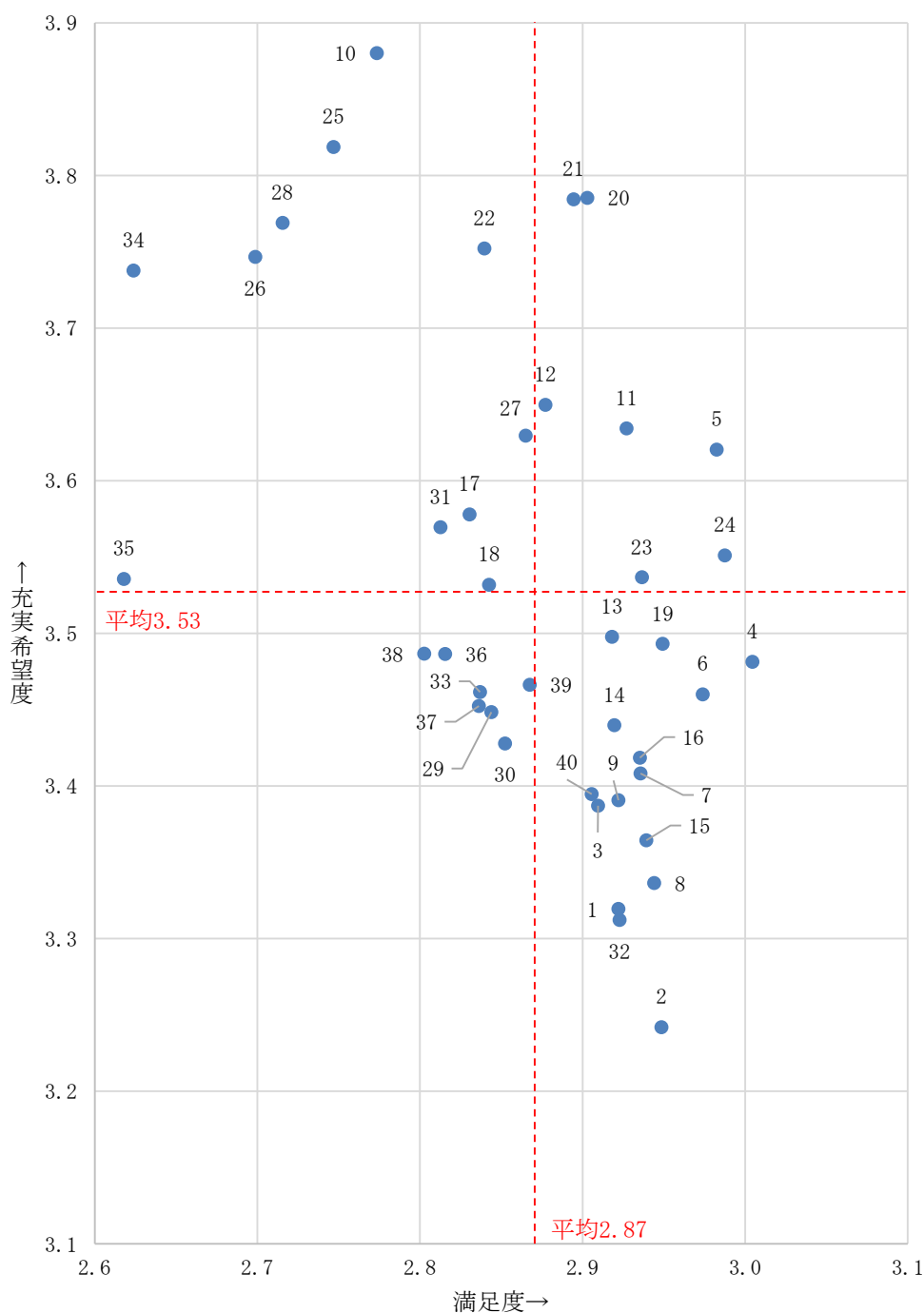
【地区：駅西側周辺】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「20 防災対策の推進」、「21 防犯まちづくりの推進」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「1 協働の推進」、「2 自主的活動の推進と交流促進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」、「10 健康づくりの推進・医療の充実」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「38 経営的な視点からの財政運営」、「33 工業の振興」、「40 広域行政の推進」などである。



5. 市政について

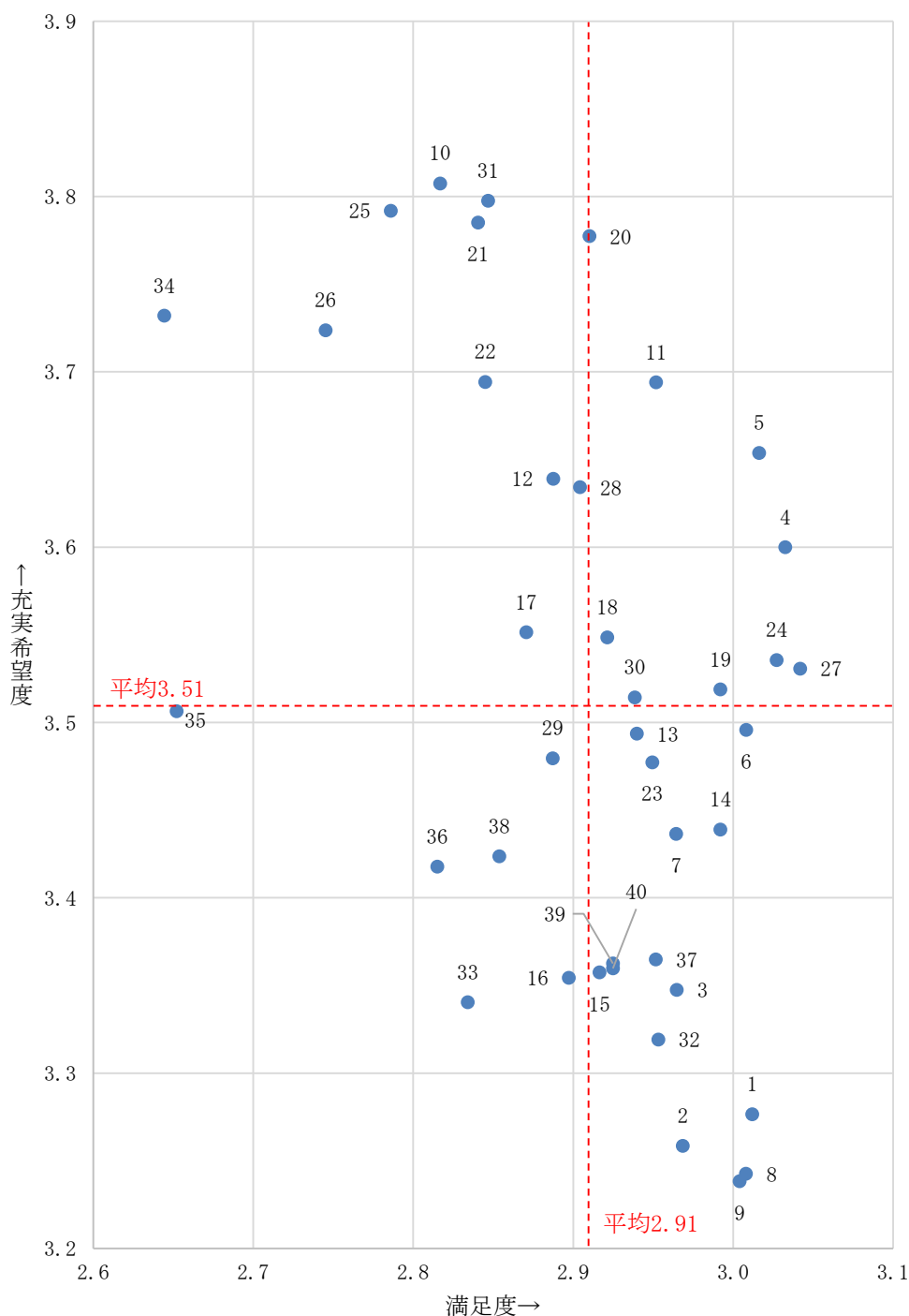
【地区：日出谷地区】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「20 防災対策の推進」、「11 子育て支援の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「9 文化・芸術の振興・保存・継承」、「1 協働の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「35 観光の振興」、「33 工業の振興」、「36 就労支援と勤労者福利厚生の実現」などである。



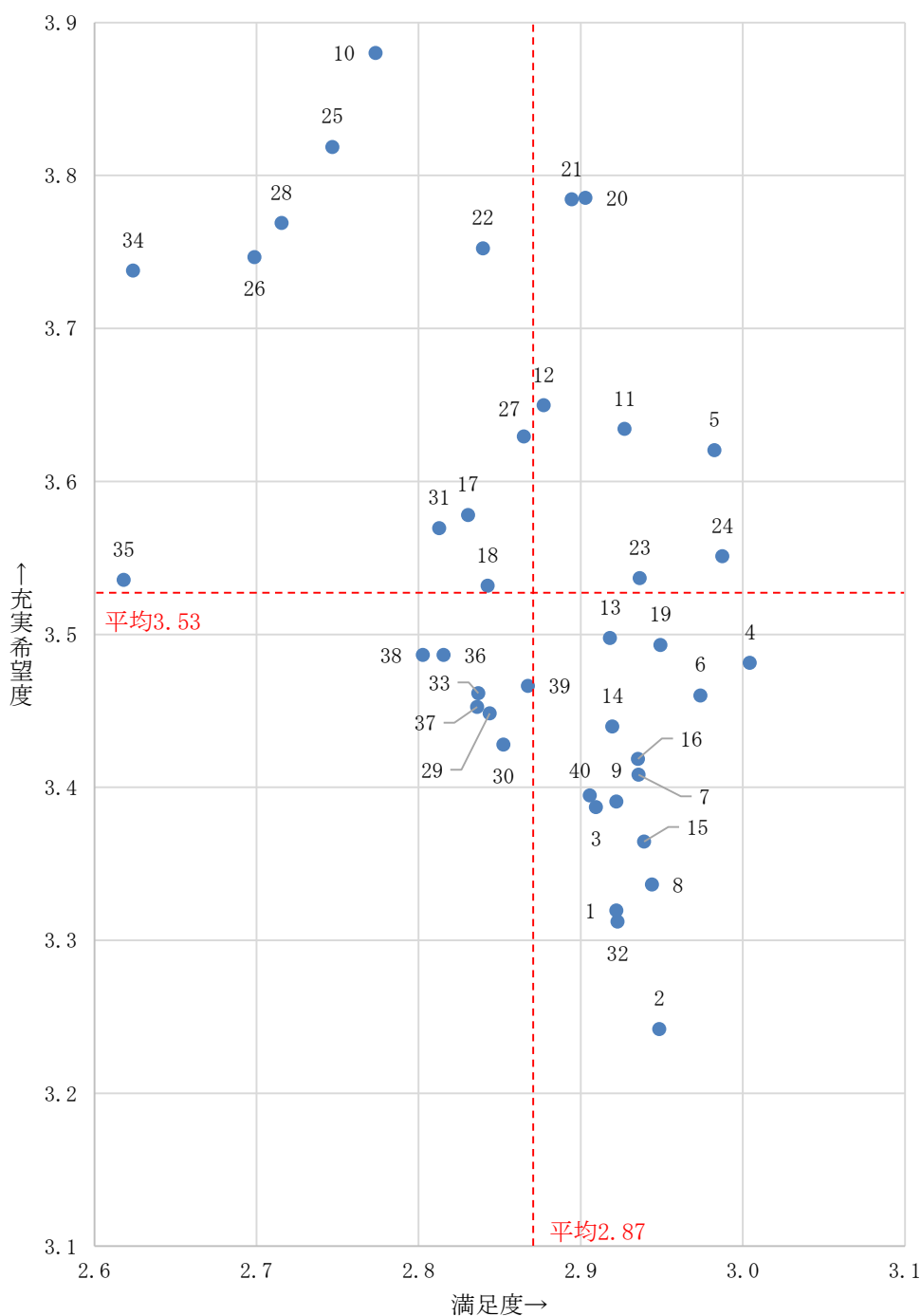
【地区：坂田地区】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「20 防災対策の推進」、「21 防犯まちづくりの推進」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「32 農業の振興」、「8 人権教育・啓発と平和の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「10 健康づくりの推進・医療の充実」、「25 歩いて暮らせるまちの実現」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「38 経営的な視点からの財政運営」、「30 みどり空間の創出」、「37 計画行政の推進」などである。



5. 市政について

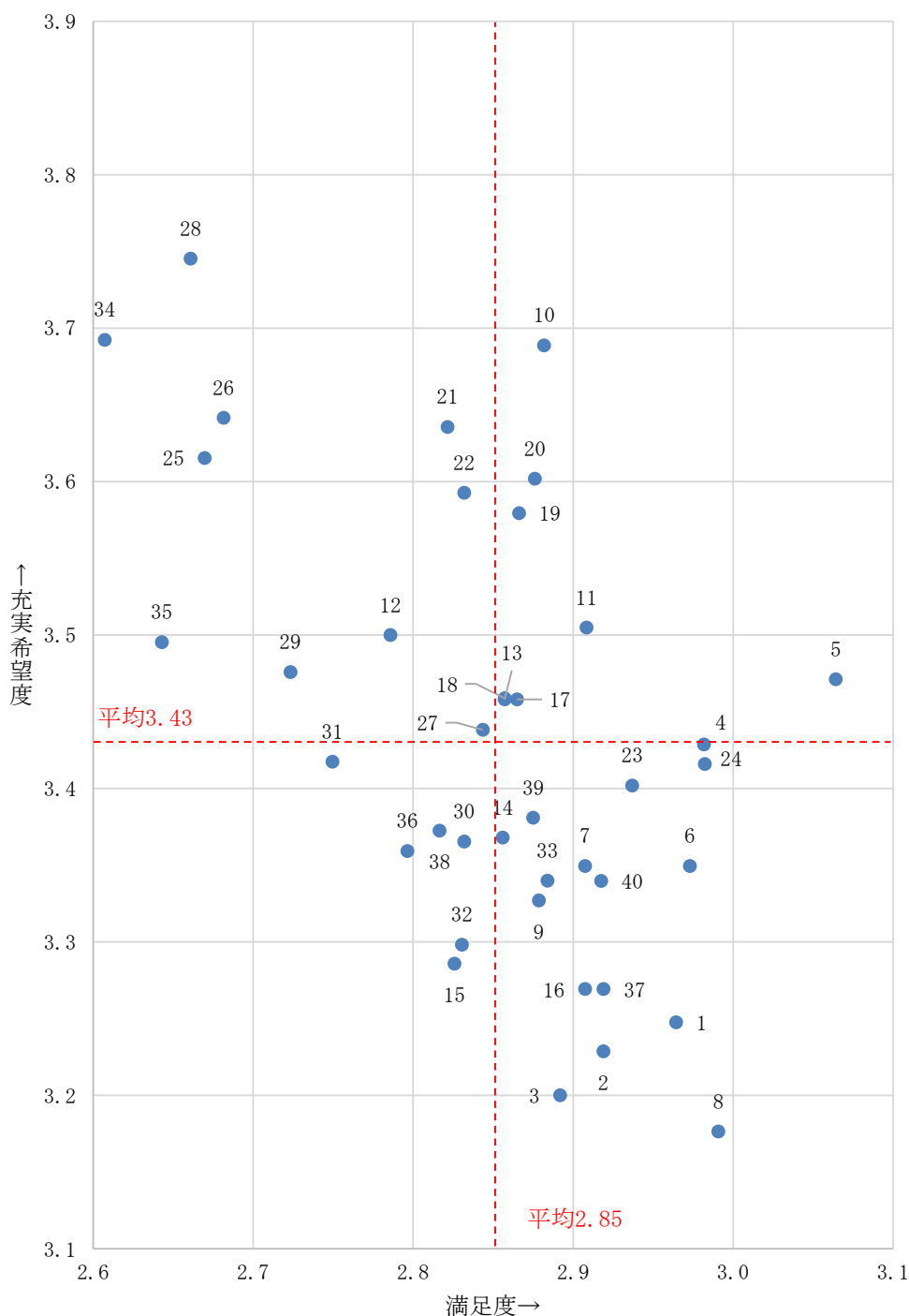
【地区：加納地区】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「5 学校教育の充実」、「10 健康づくりの推進・医療の充実」、「20 防災対策の推進」である。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「8 人権教育・啓発と平和の推進」、「1 協働の推進」、「2 自主的活動の推進と交流促進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「34 商業の振興」、「28 生活道路の整備・改善」、「26 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「15 自立した生活への支援体制の充実」、「32 農業の振興」、「36 就労支援と勤労者福利厚生 of 充実」などである。



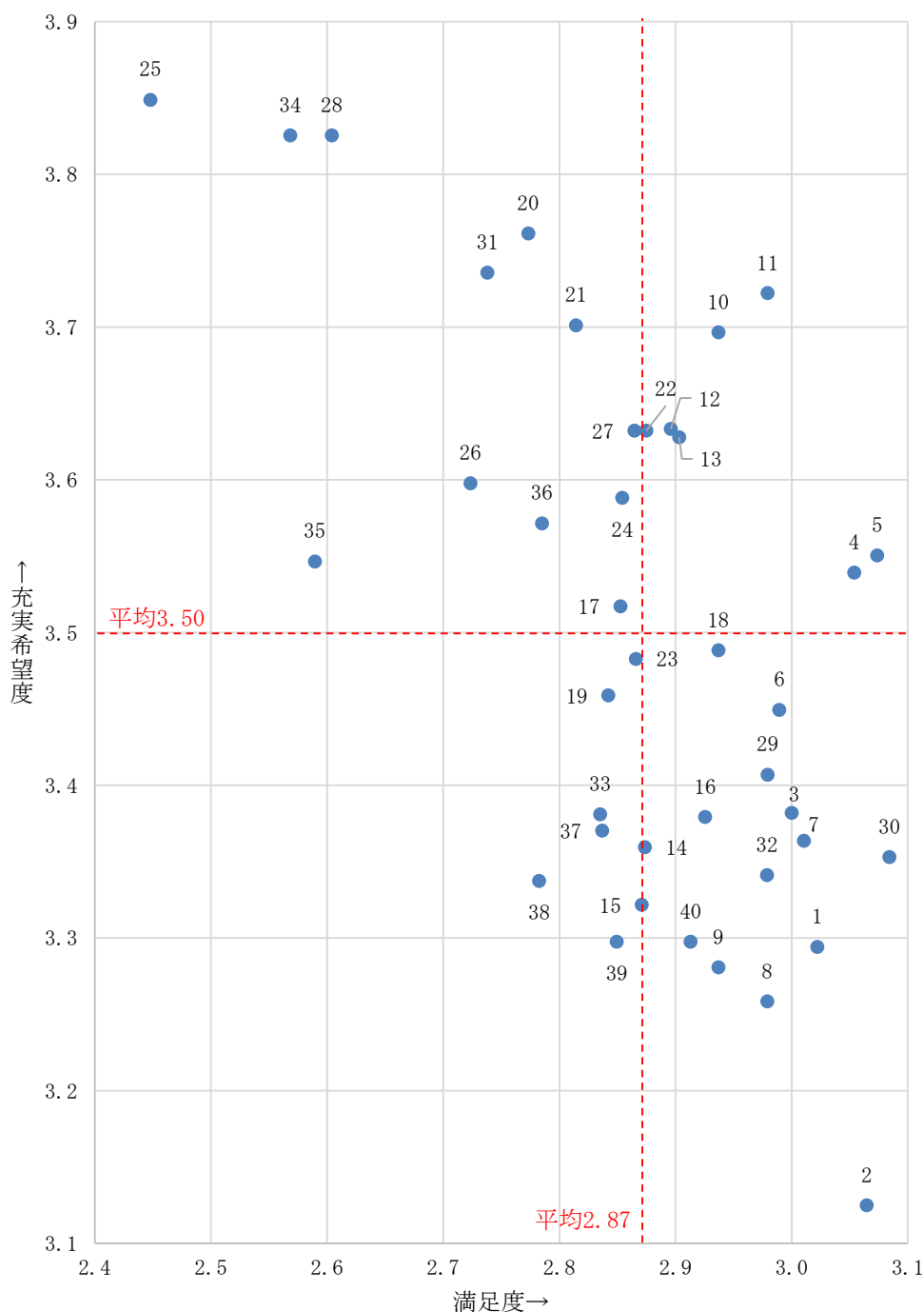
【地区：川田谷地区】

満足度、充実希望度ともに高い項目は、「11 子育て支援の充実」、「10 健康づくりの推進・医療の充実」、「5 学校教育の充実」などである。

満足度は高く、充実希望度が低い項目は、「2 自主的活動の推進と交流促進」、「30 みどり空間の創出」、「1 協働の推進」などである。

満足度が低く、充実希望度は高い項目は、「25 歩いて暮らせるまちの実現」、「34 商業の振興」、「28 生活道路の整備・改善」などである。

満足度、充実希望度ともに低い項目は、「38 経営的な視点からの財政運営」、「39 情報共有の推進」、「37 計画行政の推進」などである。



6. イメージや将来像などについて

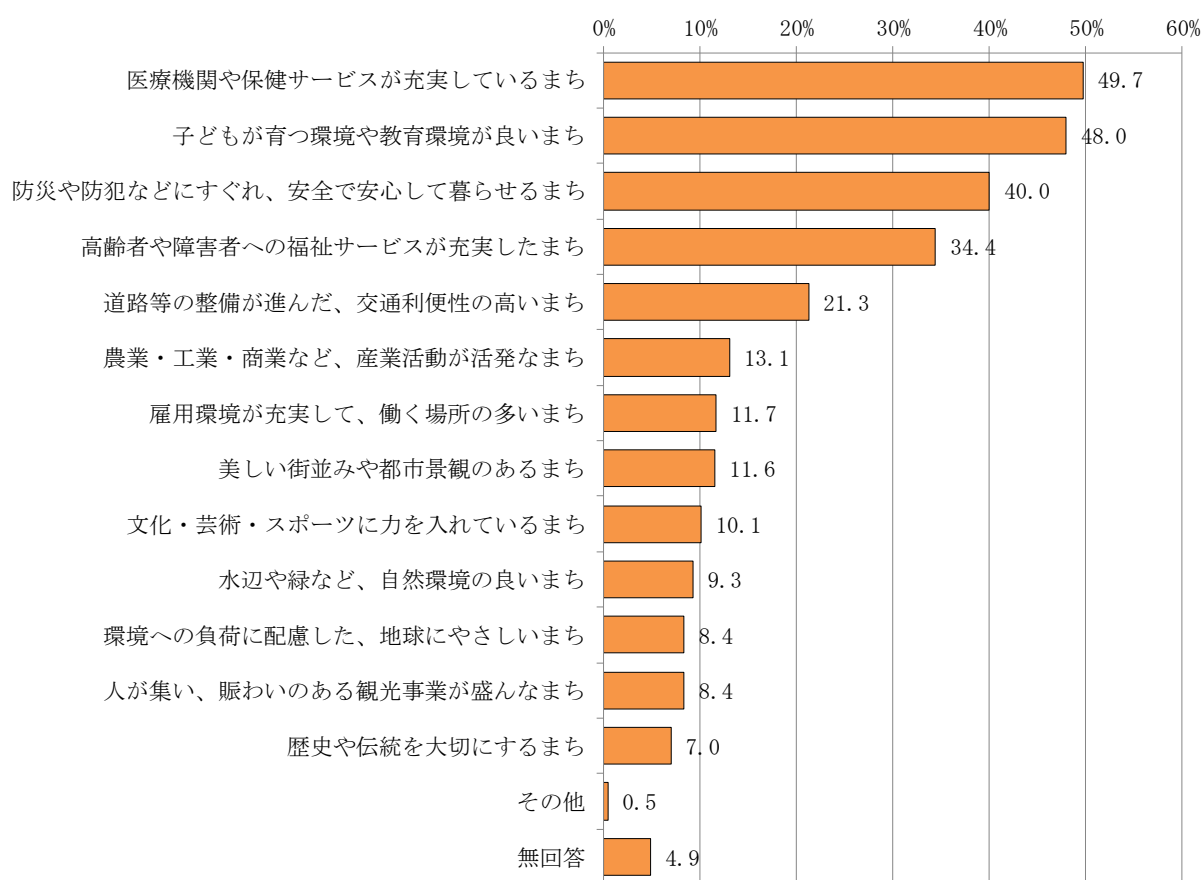
6. イメージや将来像などについて

(1) 桶川市の将来像

問35 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「医療機関や保健サービスが充実しているまち」との回答が49.7%と最も高くなっており、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」48.0%、「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」40.0%、「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」34.4%となっている。



(N=1,324)

【経年変化／桶川市の将来像】

前回調査（平成29年度）と比較すると、上位5項目においては順位の変化がないが、「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」については、いずれも前回調査より割合が増加している。

	前回調査 (平成29年度)		今回調査 (令和元年度)		H29との 順位比較
1位	医療機関や保健サービスが充実しているまち	50.5%	医療機関や保健サービスが充実しているまち	49.7%	→
2位	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	45.3%	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	48.0%	→
3位	防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち	39.9%	防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち	40.0%	→
4位	高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち	36.6%	高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち	34.4%	→
5位	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	23.7%	道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち	21.3%	→
6位	美しい街並みや都市景観のあるまち	13.0%	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	13.1%	↗
7位	水辺や緑など、自然環境の良いまち	12.9%	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	11.7%	↗
8位	雇用環境が充実して、働く場所の多いまち	12.4%	美しい街並みや都市景観のあるまち	11.6%	↘
9位	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	11.2%	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	10.1%	↗
10位	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	8.4%	水辺や緑など、自然環境の良いまち	9.3%	↘

6. イメージや将来像などについて

クロス／桶川市の将来像

性別で見ると、男性では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」及び「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっている。女性では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっており、次いで「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、40歳～49歳、65歳～69歳では「子供が育つ環境や教育環境が良いまち」及び「医療機関や保健サービスが充実しているまち」、50歳～59歳、60歳～64歳、70歳～74歳、75歳以上では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」及び「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」、20歳～29歳、30歳～39歳では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」、50歳～59歳では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、60歳～64歳、70歳～74歳では「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」、75歳以上では「高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち」及び「防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺、日出谷地区において「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が最も高く、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、駅西側周辺、日出谷地区では「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「医療機関や保健サービスが充実しているまち」となっている。

6. イメージや将来像などについて

		調査数（N）	子どもが育つ環境や教育環境が良いまち	文化・芸術・スポーツに力を入れているまち	歴史や伝統を大切にしているまち	医療機関や保健サービスが充実しているまち	高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち	環境への負荷に配慮した、地球にやさしいまち	防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち	美しい街並みや都市景観のあるまち	道路等の整備が進んだ、交通便利性の高いまち	水辺や緑など、自然環境の良いまち	農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち	観光事業が盛んなまち	人が集い、賑わいのあるまち	働く場所の多いまち	その他	無回答
全体		1,324	635	134	93	658	456	111	530	153	282	123	173	111	155	6	65	
		100.0%	48.0%	10.1%	7.0%	49.7%	34.4%	8.4%	40.0%	11.6%	21.3%	9.3%	13.1%	8.4%	11.7%	0.5%	4.9%	
性別	男性	567	273	77	54	273	189	43	230	79	132	65	86	44	62	2	6	
		100.0%	48.1%	13.6%	9.5%	48.1%	33.3%	7.6%	40.6%	13.9%	23.3%	11.5%	15.2%	7.8%	10.9%	0.4%	1.1%	
	女性	700	358	57	38	378	264	67	294	73	147	56	85	67	91	4	14	
		100.0%	51.1%	8.1%	5.4%	54.0%	37.7%	9.6%	42.0%	10.4%	21.0%	8.0%	12.1%	9.6%	13.0%	0.6%	2.0%	
	無回答	57	4	0	1	7	3	1	6	1	3	2	2	0	2	0	45	
		100.0%	7.0%	0.0%	1.8%	12.3%	5.3%	1.8%	10.5%	1.8%	5.3%	3.5%	3.5%	0.0%	3.5%	0.0%	78.9%	
年齢	18歳～19歳	42	24	10	1	15	9	4	15	7	12	2	7	6	3	0	0	
		100.0%	57.1%	23.8%	2.4%	35.7%	21.4%	9.5%	35.7%	16.7%	28.6%	4.8%	16.7%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	
	20歳～29歳	127	80	22	10	54	28	14	40	17	40	10	21	14	13	0	0	
		100.0%	63.0%	17.3%	7.9%	42.5%	22.0%	11.0%	31.5%	13.4%	31.5%	7.9%	16.5%	11.0%	10.2%	0.0%	0.0%	
	30歳～39歳	166	113	18	6	79	32	10	73	17	45	19	21	20	20	3	0	
		100.0%	68.1%	10.8%	3.6%	47.6%	19.3%	6.0%	44.0%	10.2%	27.1%	11.4%	12.7%	12.0%	12.0%	1.8%	0.0%	
	40歳～49歳	242	119	28	19	119	77	19	106	40	51	22	41	15	34	0	2	
		100.0%	49.2%	11.6%	7.9%	49.2%	31.8%	7.9%	43.8%	16.5%	21.1%	9.1%	16.9%	6.2%	14.0%	0.0%	0.8%	
	50歳～59歳	187	80	18	17	103	78	16	68	26	37	20	20	14	33	1	2	
		100.0%	42.8%	9.6%	9.1%	55.1%	41.7%	8.6%	36.4%	13.9%	19.8%	10.7%	10.7%	7.5%	17.6%	0.5%	1.1%	
	60歳～64歳	82	32	4	5	49	42	6	38	5	16	10	10	7	9	1	2	
		100.0%	39.0%	4.9%	6.1%	59.8%	51.2%	7.3%	46.3%	6.1%	19.5%	12.2%	12.2%	8.5%	11.0%	1.2%	2.4%	
	65歳～69歳	98	53	7	8	53	44	13	45	13	15	9	9	9	10	0	0	
		100.0%	54.1%	7.1%	8.2%	54.1%	44.9%	13.3%	45.9%	13.3%	15.3%	9.2%	9.2%	9.2%	10.2%	0.0%	0.0%	
	70歳～74歳	113	47	7	7	72	55	14	50	7	24	10	11	9	11	0	1	
		100.0%	41.6%	6.2%	6.2%	63.7%	48.7%	12.4%	44.2%	6.2%	21.2%	8.8%	9.7%	8.0%	9.7%	0.0%	0.9%	
	75歳以上	218	85	20	19	113	91	14	91	21	40	21	31	17	22	1	14	
		100.0%	39.0%	9.2%	8.7%	51.8%	41.7%	6.4%	41.7%	9.6%	18.3%	9.6%	14.2%	7.8%	10.1%	0.5%	6.4%	
無回答	49	2	0	1	1	0	1	4	0	2	0	2	0	0	0	44		
	100.0%	4.1%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%	2.0%	8.2%	0.0%	4.1%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	89.8%		
地区	駅東側周辺	217	97	27	18	121	76	13	93	33	57	22	18	18	26	1	3	
		100.0%	44.7%	12.4%	8.3%	55.8%	35.0%	6.0%	42.9%	15.2%	26.3%	10.1%	8.3%	8.3%	12.0%	0.5%	1.4%	
	駅西側周辺	266	141	30	21	150	107	22	110	31	32	20	32	21	29	0	4	
		100.0%	53.0%	11.3%	7.9%	56.4%	40.2%	8.3%	41.4%	11.7%	12.0%	7.5%	12.0%	7.9%	10.9%	0.0%	1.5%	
	日出谷地区	283	139	29	15	140	108	28	121	29	59	33	39	18	43	1	4	
		100.0%	49.1%	10.2%	5.3%	49.5%	38.2%	9.9%	42.8%	10.2%	20.8%	11.7%	13.8%	6.4%	15.2%	0.4%	1.4%	
	坂田地区	266	135	23	17	134	93	24	120	36	59	22	35	24	36	2	4	
		100.0%	50.8%	8.6%	6.4%	50.4%	35.0%	9.0%	45.1%	13.5%	22.2%	8.3%	13.2%	9.0%	13.5%	0.8%	1.5%	
	加納地区	127	70	12	7	64	37	11	38	17	40	12	23	20	9	1	2	
		100.0%	55.1%	9.4%	5.5%	50.4%	29.1%	8.7%	29.9%	13.4%	31.5%	9.4%	18.1%	15.7%	7.1%	0.8%	1.6%	
	川田谷地区	109	48	12	14	45	33	11	42	7	33	14	24	8	11	1	2	
		100.0%	44.0%	11.0%	12.8%	41.3%	30.3%	10.1%	38.5%	6.4%	30.3%	12.8%	22.0%	7.3%	10.1%	0.9%	1.8%	
無回答	56	5	1	1	4	2	2	6	0	2	0	2	2	1	0	46		
	100.0%	8.9%	1.8%	1.8%	7.1%	3.6%	3.6%	10.7%	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%	1.8%	0.0%	82.1%		

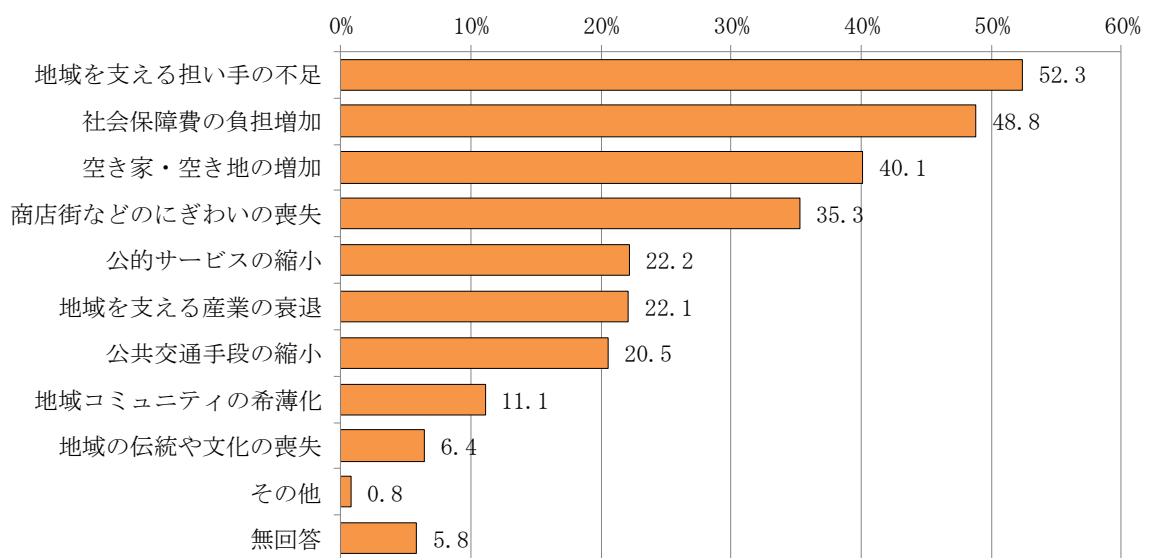
6. イメージや将来像などについて

(2) 将来の不安

問36 あなたは、将来の人口減少社会に向けてどのようなところに不安を感じていますか。
次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

全 体

「地域を支える担い手の不足」との回答が52.3%と最も高くなっており、次いで「社会保障費の負担増加」48.8%、「空き家・空き地の増加」40.1%、「商店街などのにぎわいの喪失」35.3%、「公的サービスの縮小」22.2%となっている。



(N=1,324)

クロス／将来の不安

性別で見ると、男性・女性ともに「地域を支える担い手の不足」が最も高くなっており、次いで「社会保障費の負担増加」となっている。

年齢で見ると、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「社会保障費の負担増加」が最も高くなっており、50歳～59歳では「地域を支える担い手の不足」が同率となっている。18歳～19歳、20歳～29歳、60歳以上では「地域を支える担い手の不足」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「商店街などのにぎわいの喪失」及び「社会保障費の負担増加」、20歳～29歳、60歳～64歳では「社会保障費の負担増加」、30歳～39歳、40歳～49歳では「地域を支える担い手の不足」、65歳以上では「空き家・空き地の増加」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「地域を支える担い手の不足」が最も高くなっており、駅西側周辺、日出谷地区では「社会保障費の負担増加」が最も高い。次いで、駅東側周辺、坂田地区、加納地区、川田谷地区では「社会保障費の負担増加」、駅西側周辺、日出谷地区では「地域を支える担い手の不足」となっている。

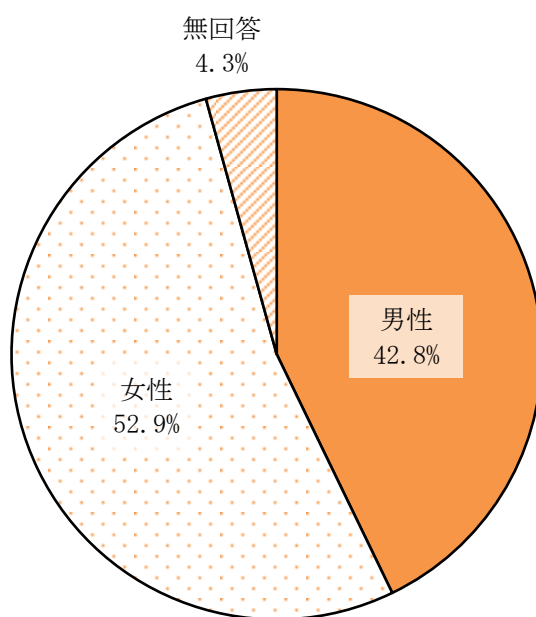
		調査数 (N)	地域を支える担 い手の不足	業 域の 衰 退 を 支 え る 産	ぎ 商 店 街 の 喪 失 の に	テ イ 域 の 希 薄 化	の 空 家 ・ 空 地 の 増 加	化 域 の 伝 統 や 文	縮 小 的 サ ー ビ ス の	縮 小 公 共 交 通 手 段 の	担 社 会 保 障 費 の 負 担 増 加	そ の 他	無 回 答
性 別	全体	1,324	693	293	467	147	531	85	294	272	646	10	77
		100.0%	52.3%	22.1%	35.3%	11.1%	40.1%	6.4%	22.2%	20.5%	48.8%	0.8%	5.8%
	男性	567	303	144	229	50	255	39	135	106	277	4	13
		100.0%	53.4%	25.4%	40.4%	8.8%	45.0%	6.9%	23.8%	18.7%	48.9%	0.7%	2.3%
性 別	女性	700	382	146	235	95	271	45	156	166	366	6	18
		100.0%	54.6%	20.9%	33.6%	13.6%	38.7%	6.4%	22.3%	23.7%	52.3%	0.9%	2.6%
	無回答	57	8	3	3	2	5	1	3	0	3	0	46
		100.0%	14.0%	5.3%	5.3%	3.5%	8.8%	1.8%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	80.7%
年 齢	18歳～19歳	42	31	6	17	2	16	5	10	8	17	0	0
		100.0%	73.8%	14.3%	40.5%	4.8%	38.1%	11.9%	23.8%	19.0%	40.5%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	57	29	48	16	38	16	25	32	55	2	1
		100.0%	44.9%	22.8%	37.8%	12.6%	29.9%	12.6%	19.7%	25.2%	43.3%	1.6%	0.8%
	30歳～39歳	166	80	49	64	18	49	9	46	41	91	0	0
		100.0%	48.2%	29.5%	38.6%	10.8%	29.5%	5.4%	27.7%	24.7%	54.8%	0.0%	0.0%
	40歳～49歳	242	119	61	79	32	93	20	55	53	130	2	5
		100.0%	49.2%	25.2%	32.6%	13.2%	38.4%	8.3%	22.7%	21.9%	53.7%	0.8%	2.1%
	50歳～59歳	187	107	39	59	24	78	3	52	39	107	2	2
		100.0%	57.2%	20.9%	31.6%	12.8%	41.7%	1.6%	27.8%	20.9%	57.2%	1.1%	1.1%
	60歳～64歳	82	44	17	30	8	37	4	26	17	41	2	3
		100.0%	53.7%	20.7%	36.6%	9.8%	45.1%	4.9%	31.7%	20.7%	50.0%	2.4%	3.7%
地 区	65歳～69歳	98	55	17	34	14	50	4	24	28	49	0	2
		100.0%	56.1%	17.3%	34.7%	14.3%	51.0%	4.1%	24.5%	28.6%	50.0%	0.0%	2.0%
	70歳～74歳	113	65	19	52	11	59	9	21	19	55	0	4
		100.0%	57.5%	16.8%	46.0%	9.7%	52.2%	8.0%	18.6%	16.8%	48.7%	0.0%	3.5%
	75歳以上	218	132	54	83	22	108	15	35	33	100	2	16
		100.0%	60.6%	24.8%	38.1%	10.1%	49.5%	6.9%	16.1%	15.1%	45.9%	0.9%	7.3%
	無回答	49	3	2	1	0	3	0	0	2	1	0	44
		100.0%	6.1%	4.1%	2.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	4.1%	2.0%	0.0%	89.8%
地 区	駅東側周辺	217	128	42	104	26	83	19	49	32	112	2	4
		100.0%	59.0%	19.4%	47.9%	12.0%	38.2%	8.8%	22.6%	14.7%	51.6%	0.9%	1.8%
	駅西側周辺	266	134	62	95	29	119	19	66	52	144	1	8
		100.0%	50.4%	23.3%	35.7%	10.9%	44.7%	7.1%	24.8%	19.5%	54.1%	0.4%	3.0%
	日出谷地区	283	138	66	96	25	119	13	62	68	153	4	6
		100.0%	48.8%	23.3%	33.9%	8.8%	42.0%	4.6%	21.9%	24.0%	54.1%	1.4%	2.1%
	坂田地区	266	151	60	105	31	111	14	76	52	123	2	7
		100.0%	56.8%	22.6%	39.5%	11.7%	41.7%	5.3%	28.6%	19.5%	46.2%	0.8%	2.6%
地 区	加納地区	127	71	35	38	17	54	6	24	30	62	1	1
		100.0%	55.9%	27.6%	29.9%	13.4%	42.5%	4.7%	18.9%	23.6%	48.8%	0.8%	0.8%
	川田谷地区	109	65	25	27	17	39	13	17	36	48	0	5
		100.0%	59.6%	22.9%	24.8%	15.6%	35.8%	11.9%	15.6%	33.0%	44.0%	0.0%	4.6%
	無回答	56	6	3	2	2	6	1	0	2	4	0	46
		100.0%	10.7%	5.4%	3.6%	3.6%	10.7%	1.8%	0.0%	3.6%	7.1%	0.0%	82.1%

7. 回答者の属性

7. 回答者の属性

問－1 性別

男性が42.8%（567人）、女性が52.9%（700人）となっている。



(N=1,324)

クロス／性別

年齢で見ると、75歳以上では「男性」の割合が高くなっている。

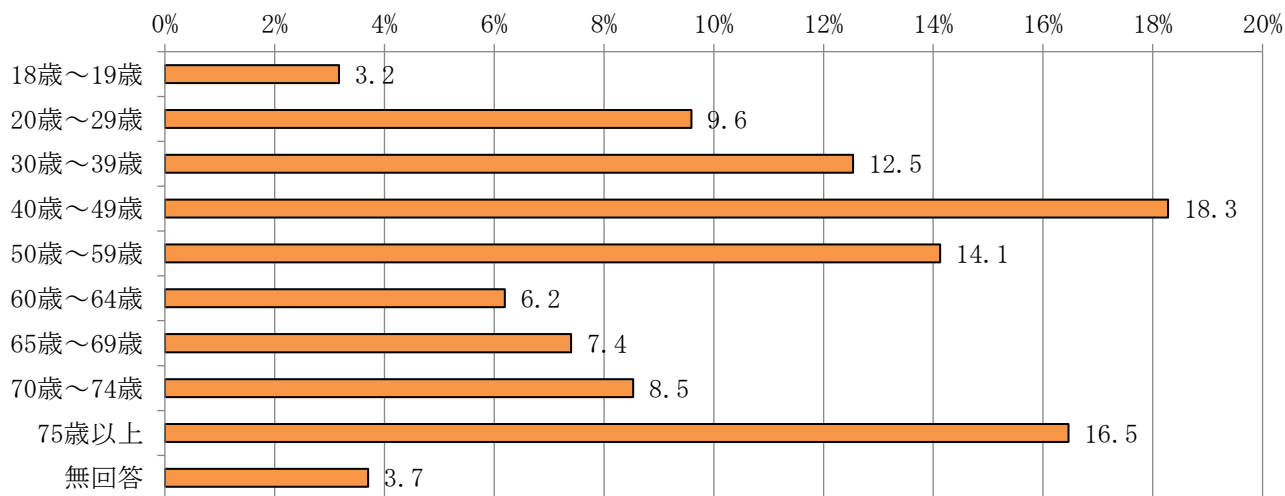
地区で見ると、全地区において「女性」の割合が高くなっている。

		調査数 (N)	男性	女性	無回答
全体		1,324	567	700	57
		100.0%	42.8%	52.9%	4.3%
年齢	18歳～19歳	42	17	25	0
		100.0%	40.5%	59.5%	0.0%
	20歳～29歳	127	60	67	0
		100.0%	47.2%	52.8%	0.0%
	30歳～39歳	166	67	99	0
		100.0%	40.4%	59.6%	0.0%
	40歳～49歳	242	98	144	0
		100.0%	40.5%	59.5%	0.0%
	50歳～59歳	187	76	109	2
		100.0%	40.6%	58.3%	1.1%
	60歳～64歳	82	31	49	2
		100.0%	37.8%	59.8%	2.4%
地区	65歳～69歳	98	46	49	3
		100.0%	46.9%	50.0%	3.1%
	70歳～74歳	113	55	57	1
		100.0%	48.7%	50.4%	0.9%
	75歳以上	218	116	100	2
		100.0%	53.2%	45.9%	0.9%
	無回答	49	1	1	47
		100.0%	2.0%	2.0%	95.9%
	駅東側周辺	217	93	121	3
		100.0%	42.9%	55.8%	1.4%
	駅西側周辺	266	115	149	2
		100.0%	43.2%	56.0%	0.8%
地区	日出谷地区	283	131	151	1
		100.0%	46.3%	53.4%	0.4%
	坂田地区	266	120	145	1
		100.0%	45.1%	54.5%	0.4%
	加納地区	127	62	63	2
		100.0%	48.8%	49.6%	1.6%
	川田谷地区	109	43	65	1
		100.0%	39.4%	59.6%	0.9%
地区	無回答	56	3	6	47
		100.0%	5.4%	10.7%	83.9%

7. 回答者の属性

問－2 年齢

「40歳～49歳」が18.3%（242人）と最も高く、次いで「75歳以上」の16.5%（218人）、「50歳～59歳」の14.1%（187人）、「30歳～39歳」の12.5%（166人）、「20歳～29歳」の9.6%（127人）となっている。



(N=1,324)

クロス／年齢

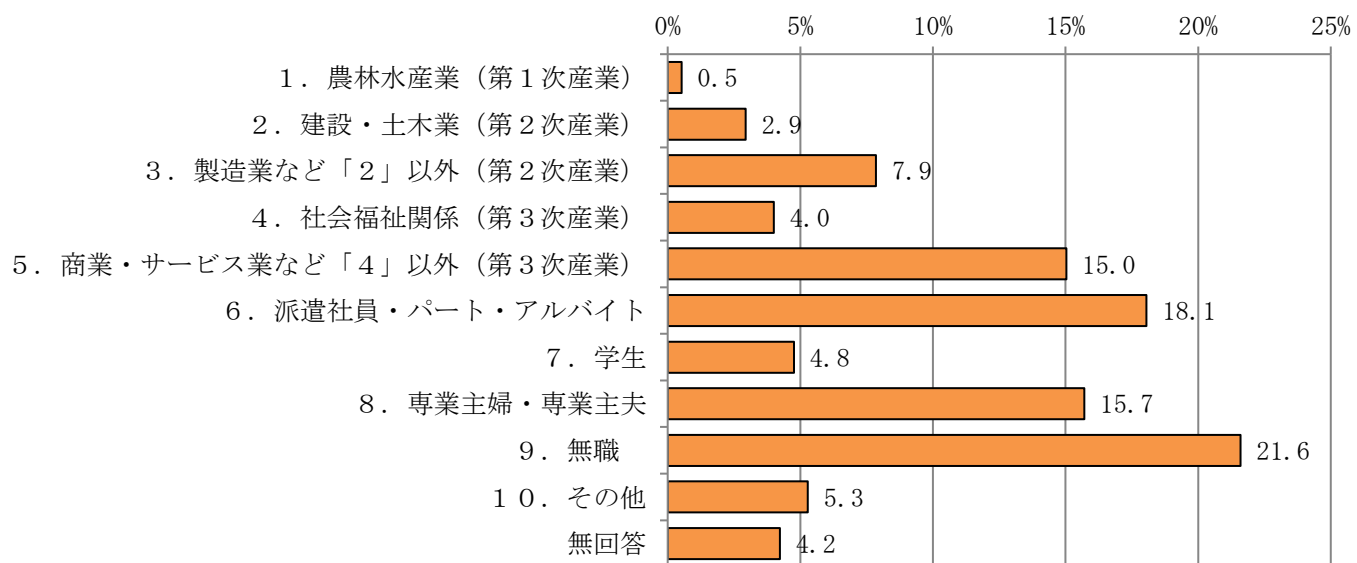
性別で見ると、男性では「75歳以上」、女性では「40歳～49歳」が最も高くなっており、次いで男性では「40歳～49歳」、女性では「50歳～59歳」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺では「75歳以上」が、その他の地区では「40歳～49歳」が、それぞれ最も高くなっている。次いで、駅東側周辺では「40歳～49歳」、駅西側周辺では「40歳～49歳」及び「50歳～59歳」、川田谷地区では「30歳～39歳」、その他の地区では「75歳以上」となっている。

		調査数 (N)	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 以上	無回答
性別	全体	1,324	42	127	166	242	187	82	98	113	218	49
		100.0%	3.2%	9.6%	12.5%	18.3%	14.1%	6.2%	7.4%	8.5%	16.5%	3.7%
	男性	567	17	60	67	98	76	31	46	55	116	1
		100.0%	3.0%	10.6%	11.8%	17.3%	13.4%	5.5%	8.1%	9.7%	20.5%	0.2%
性別	女性	700	25	67	99	144	109	49	49	57	100	1
		100.0%	3.6%	9.6%	14.1%	20.6%	15.6%	7.0%	7.0%	8.1%	14.3%	0.1%
	無回答	57	0	0	0	0	2	2	3	1	2	47
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	3.5%	5.3%	1.8%	3.5%	82.5%
地区	駅東側周辺	217	5	24	21	42	34	14	15	16	46	0
		100.0%	2.3%	11.1%	9.7%	19.4%	15.7%	6.5%	6.9%	7.4%	21.2%	0.0%
	駅西側周辺	266	9	26	34	42	42	19	15	33	46	0
		100.0%	3.4%	9.8%	12.8%	15.8%	15.8%	7.1%	5.6%	12.4%	17.3%	0.0%
	日出谷地区	283	12	24	41	51	42	18	27	22	46	0
		100.0%	4.2%	8.5%	14.5%	18.0%	14.8%	6.4%	9.5%	7.8%	16.3%	0.0%
	坂田地区	266	10	25	32	59	38	15	23	22	42	0
		100.0%	3.8%	9.4%	12.0%	22.2%	14.3%	5.6%	8.6%	8.3%	15.8%	0.0%
地区	加納地区	127	4	15	19	23	16	9	11	9	21	0
		100.0%	3.1%	11.8%	15.0%	18.1%	12.6%	7.1%	8.7%	7.1%	16.5%	0.0%
	川田谷地区	109	2	12	18	25	15	7	7	10	13	0
		100.0%	1.8%	11.0%	16.5%	22.9%	13.8%	6.4%	6.4%	9.2%	11.9%	0.0%
地区	無回答	56	0	1	1	0	0	0	0	1	4	49
		100.0%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	7.1%	87.5%

問－3 職業

「9. 無職」が21.6%（286人）と最も高く、次いで「6. 派遣社員・パート・アルバイト」の18.1%（239人）、「8. 専業主婦・専業主夫」の15.7%（208人）、「5. 商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」の15.0%（199人）となっている。



(N=1,324)

7. 回答者の属性

クロス／職業

性別で見ると、男性は「無職」、女性は「専業主婦・専業主夫」が最も高くなっており、次いで男性では「商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」、女性では「派遣社員・パート・アルバイト」となっている。

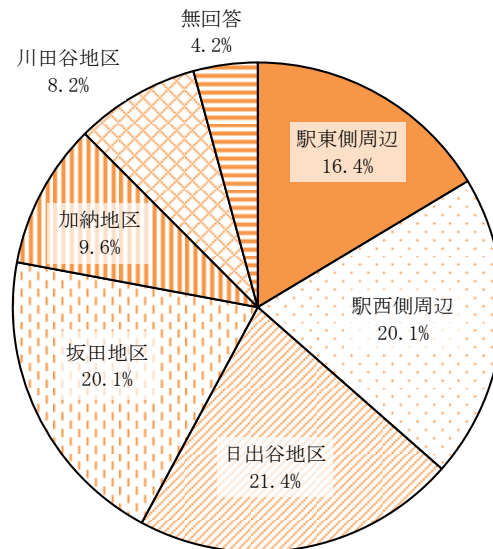
年齢で見ると、18歳～19歳では「学生」、20歳～29歳では「商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「派遣社員・パート・アルバイト」、60歳～64歳、65歳～69歳では「専業主婦・専業主夫」、70歳以上では「無職」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「製造業など建設・土木業以外（第2次産業）」、20歳～29歳では「学生」、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳では「商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」、60歳～64歳では「派遣社員・パート・アルバイト」、65歳～69歳では「無職」、70歳～74歳、75歳以上では「専業主婦・専業主夫」となっている。

地区で見ると、駅東側周辺、駅西側周辺、坂田地区では「無職」、日出谷地区、加納地区、川田谷地区では「派遣社員・パート・アルバイト」が最も高くなっている。次いで、駅東側周辺、坂田地区では「派遣社員・パート・アルバイト」、駅西側周辺では「商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）」、その他の地区では「無職」となっている。

		調査数（N）	農林水産業（第1次産業）	建設・土木業（第2次産業）	製造業など建設・土木業以外（第2次産業）	社会福祉関係（第3次産業）	商業・サービス業など社会福祉関係以外（第3次産業）	派遣社員・パート・アルバイト	学生	専業主婦・専業主夫	無職	その他	無回答
性別	全体	1,324	7	39	104	53	199	239	63	208	286	70	56
		100.0%	0.5%	2.9%	7.9%	4.0%	15.0%	18.1%	4.8%	15.7%	21.6%	5.3%	4.2%
	男性	567	5	33	81	15	132	49	27	3	182	35	5
		100.0%	0.9%	5.8%	14.3%	2.6%	23.3%	8.6%	4.8%	0.5%	32.1%	6.2%	0.9%
性別	女性	700	2	5	23	37	64	189	36	205	100	35	4
		100.0%	0.3%	0.7%	3.3%	5.3%	9.1%	27.0%	5.1%	29.3%	14.3%	5.0%	0.6%
	無回答	57	0	1	0	1	3	1	0	0	4	0	47
		100.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	5.3%	1.8%	0.0%	0.0%	7.0%	0.0%	82.5%
年齢	18歳～19歳	42	0	0	2	0	1	0	38	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	2.4%	0.0%	90.5%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%
	20歳～29歳	127	0	3	16	15	29	17	25	4	7	9	2
		100.0%	0.0%	2.4%	12.6%	11.8%	22.8%	13.4%	19.7%	3.1%	5.5%	7.1%	1.6%
	30歳～39歳	166	1	5	29	7	39	43	0	23	5	14	0
		100.0%	0.6%	3.0%	17.5%	4.2%	23.5%	25.9%	0.0%	13.9%	3.0%	8.4%	0.0%
	40歳～49歳	242	2	11	30	14	62	63	0	36	8	16	0
		100.0%	0.8%	4.5%	12.4%	5.8%	25.6%	26.0%	0.0%	14.9%	3.3%	6.6%	0.0%
	50歳～59歳	187	0	11	19	11	42	53	0	25	9	15	2
		100.0%	0.0%	5.9%	10.2%	5.9%	22.5%	28.3%	0.0%	13.4%	4.8%	8.0%	1.1%
	60歳～64歳	82	1	5	3	2	8	23	0	26	8	5	1
		100.0%	1.2%	6.1%	3.7%	2.4%	9.8%	28.0%	0.0%	31.7%	9.8%	6.1%	1.2%
	65歳～69歳	98	2	2	2	2	5	19	0	32	30	4	0
		100.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	5.1%	19.4%	0.0%	32.7%	30.6%	4.1%	0.0%
	70歳～74歳	113	1	2	2	0	6	14	0	28	56	3	1
		100.0%	0.9%	1.8%	1.8%	0.0%	5.3%	12.4%	0.0%	24.8%	49.6%	2.7%	0.9%
	75歳以上	218	0	0	1	2	6	7	0	34	162	4	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%	2.8%	3.2%	0.0%	15.6%	74.3%	1.8%	0.9%
	無回答	49	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	48
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.0%
地区	駅東側周辺	217	0	12	12	6	34	42	8	32	58	13	0
		100.0%	0.0%	5.5%	5.5%	2.8%	15.7%	19.4%	3.7%	14.7%	26.7%	6.0%	0.0%
	駅西側周辺	266	0	4	20	15	53	37	16	49	60	11	1
		100.0%	0.0%	1.5%	7.5%	5.6%	19.9%	13.9%	6.0%	18.4%	22.6%	4.1%	0.4%
	日出谷地区	283	2	9	21	14	43	61	13	46	56	16	2
		100.0%	0.7%	3.2%	7.4%	4.9%	15.2%	21.6%	4.6%	16.3%	19.8%	5.7%	0.7%
	坂田地区	266	1	6	24	10	43	46	15	41	66	13	1
		100.0%	0.4%	2.3%	9.0%	3.8%	16.2%	17.3%	5.6%	15.4%	24.8%	4.9%	0.4%
	加納地区	127	4	4	17	2	12	27	6	23	26	6	0
		100.0%	3.1%	3.1%	13.4%	1.6%	9.4%	21.3%	4.7%	18.1%	20.5%	4.7%	0.0%
	川田谷地区	109	0	4	10	6	12	24	5	17	19	11	1
		100.0%	0.0%	3.7%	9.2%	5.5%	11.0%	22.0%	4.6%	15.6%	17.4%	10.1%	0.9%
	無回答	56	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	51
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	91.1%

問－4 居住地区

「日出谷地区」が21.4%（283人）と最も高く、次いで「駅西側周辺」と「坂田地区」が20.1%（266人）、「駅東側周辺」の16.4%（217人）、「加納地区」の9.6%（127人）、「川田谷地区」の8.2%（109人）となっている。



(N=1,324)

クロス／居住地区

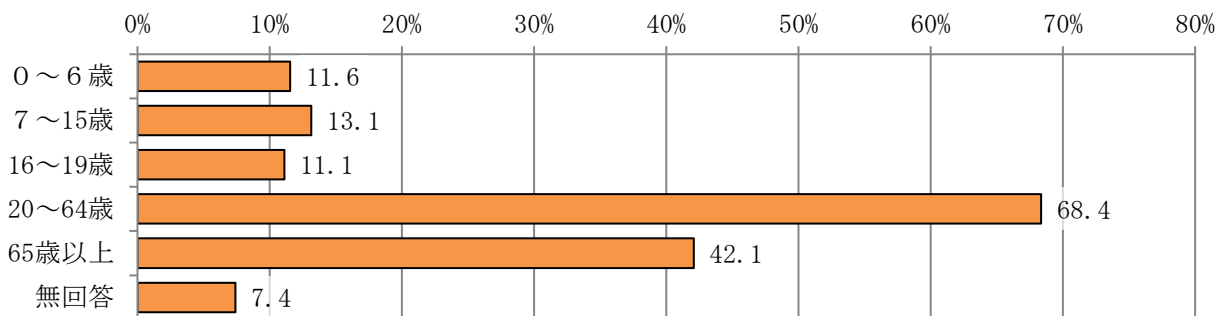
性別で見ると、男性・女性ともに「日出谷地区」が最も高くなっている。年齢で見ると、18歳～19歳、30歳～39歳、65歳～69歳では「日出谷地区」、20歳～29歳、60歳～64歳、70歳～74歳では「駅西側周辺」、40歳～49歳では「坂田地区」、50歳～59歳では「駅西側周辺」及び「日出谷地区」、75歳以上では「駅東側周辺」、「駅西側周辺」、「日出谷地区」が最も高くなっている。

		調査数 (N)	駅東側 周辺	駅西側 周辺	日出 谷地区	坂田 地区	加納 地区	川田 谷地区	無回 答
性別	全体	1,324	217	266	283	266	127	109	56
		100.0%	16.4%	20.1%	21.4%	20.1%	9.6%	8.2%	4.2%
	男性	567	93	115	131	120	62	43	3
		100.0%	16.4%	20.3%	23.1%	21.2%	10.9%	7.6%	0.5%
性別	女性	700	121	149	151	145	63	65	6
		100.0%	17.3%	21.3%	21.6%	20.7%	9.0%	9.3%	0.9%
	無回答	57	3	2	1	1	2	1	47
		100.0%	5.3%	3.5%	1.8%	1.8%	3.5%	1.8%	82.5%
年齢	18歳～19歳	42	5	9	12	10	4	2	0
		100.0%	11.9%	21.4%	28.6%	23.8%	9.5%	4.8%	0.0%
	20歳～29歳	127	24	26	24	25	15	12	1
		100.0%	18.9%	20.5%	18.9%	19.7%	11.8%	9.4%	0.8%
	30歳～39歳	166	21	34	41	32	19	18	1
		100.0%	12.7%	20.5%	24.7%	19.3%	11.4%	10.8%	0.6%
	40歳～49歳	242	42	42	51	59	23	25	0
		100.0%	17.4%	17.4%	21.1%	24.4%	9.5%	10.3%	0.0%
	50歳～59歳	187	34	42	42	38	16	15	0
		100.0%	18.2%	22.5%	22.5%	20.3%	8.6%	8.0%	0.0%
	60歳～64歳	82	14	19	18	15	9	7	0
		100.0%	17.1%	23.2%	22.0%	18.3%	11.0%	8.5%	0.0%
	65歳～69歳	98	15	15	27	23	11	7	0
		100.0%	15.3%	15.3%	27.6%	23.5%	11.2%	7.1%	0.0%
	70歳～74歳	113	16	33	22	22	9	10	1
		100.0%	14.2%	29.2%	19.5%	19.5%	8.0%	8.8%	0.9%
	75歳以上	218	46	46	46	42	21	13	4
		100.0%	21.1%	21.1%	21.1%	19.3%	9.6%	6.0%	1.8%
	無回答	49	0	0	0	0	0	0	49
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

7. 回答者の属性

問－5 同居家族（回答者含む）

「20～64歳」が68.4%（905人）と最も高く、次いで「65歳以上」の42.1%（557人）、「7～15歳」の13.1%（174人）、「0～6歳」の11.6%（153人）、「16～19歳」の11.1%（147人）となっている。



(N=1,324)

クロス／同居家族（回答者含む）

性別で見ると、男性・女性ともに「20～64歳」が最も高くなっており、次いで「65歳以上」となっている。

年齢で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、60歳～64歳では「20～64歳」、それ以外の年齢では「65歳以上」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳では「16～19歳」、20歳～29歳では「65歳以上」、30歳～39歳では「0～6歳」、40歳～49歳では「7～15歳」、50歳～59歳、60歳～64歳では「65歳以上」、それ以外の年齢では「20～64歳」となっている。

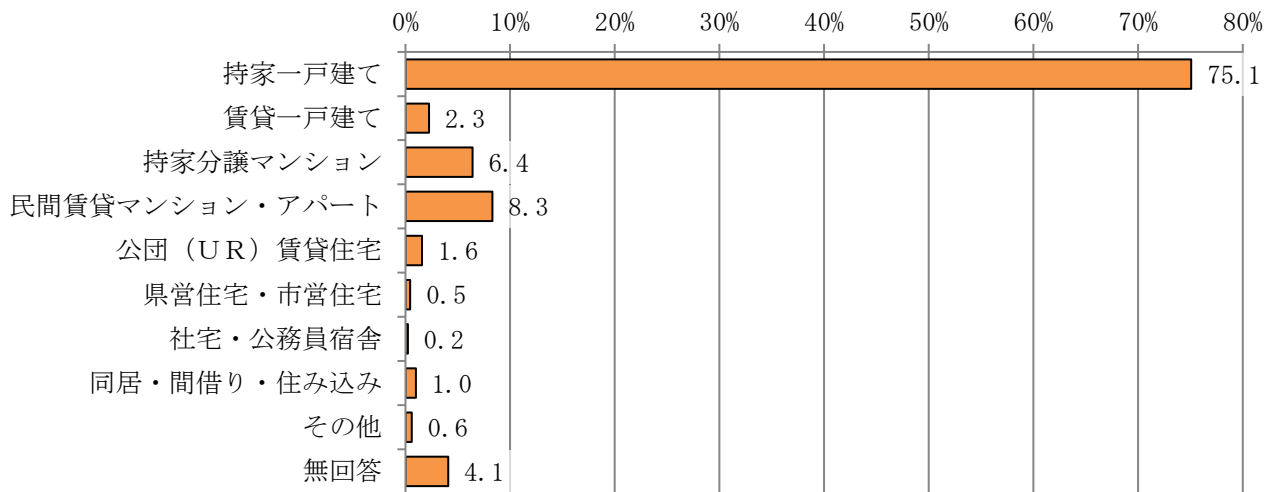
地区で見ると、全地区において「20～64歳」が最も高く、次いで「65歳以上」となっている。

		調査数 (N)	0 ～ 6 歳	7 ～ 15 歳	16 ～ 19 歳	20 ～ 64 歳	65 歳 以上	無 回 答
性別	全体	1,324	153	174	147	905	557	98
		100.0%	11.6%	13.1%	11.1%	68.4%	42.1%	7.4%
	男性	567	60	62	58	381	269	27
		100.0%	10.6%	10.9%	10.2%	67.2%	47.4%	4.8%
性別	女性	700	93	112	89	519	281	23
		100.0%	13.3%	16.0%	12.7%	74.1%	40.1%	3.3%
	無回答	57	0	0	0	5	7	48
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	12.3%	84.2%
年齢	18歳～19歳	42	1	9	24	42	11	0
		100.0%	2.4%	21.4%	57.1%	100.0%	26.2%	0.0%
	20歳～29歳	127	8	5	19	120	30	5
		100.0%	6.3%	3.9%	15.0%	94.5%	23.6%	3.9%
	30歳～39歳	166	88	30	2	145	33	7
		100.0%	53.0%	18.1%	1.2%	87.3%	19.9%	4.2%
	40歳～49歳	242	33	95	54	207	73	4
		100.0%	13.6%	39.3%	22.3%	85.5%	30.2%	1.7%
	50歳～59歳	187	7	17	37	162	46	3
		100.0%	3.7%	9.1%	19.8%	86.6%	24.6%	1.6%
年齢	60歳～64歳	82	5	4	1	65	35	3
		100.0%	6.1%	4.9%	1.2%	79.3%	42.7%	3.7%
	65歳～69歳	98	4	3	0	40	72	5
		100.0%	4.1%	3.1%	0.0%	40.8%	73.5%	5.1%
	70歳～74歳	113	5	7	5	49	94	4
		100.0%	4.4%	6.2%	4.4%	43.4%	83.2%	3.5%
	75歳以上	218	2	4	5	75	162	19
		100.0%	0.9%	1.8%	2.3%	34.4%	74.3%	8.7%
	無回答	49	0	0	0	0	1	48
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	98.0%
地区	駅東側周辺	217	19	25	28	151	93	10
		100.0%	8.8%	11.5%	12.9%	69.6%	42.9%	4.6%
	駅西側周辺	266	27	33	30	184	117	9
		100.0%	10.2%	12.4%	11.3%	69.2%	44.0%	3.4%
	日出谷地区	283	37	43	27	201	112	8
		100.0%	13.1%	15.2%	9.5%	71.0%	39.6%	2.8%
	坂田地区	266	34	34	28	189	121	11
		100.0%	12.8%	12.8%	10.5%	71.1%	45.5%	4.1%
地区	加納地区	127	13	19	16	96	58	7
		100.0%	10.2%	15.0%	12.6%	75.6%	45.7%	5.5%
	川田谷地区	109	23	19	17	81	52	2
		100.0%	21.1%	17.4%	15.6%	74.3%	47.7%	1.8%
地区	無回答	56	0	1	1	3	4	51
		100.0%	0.0%	1.8%	1.8%	5.4%	7.1%	91.1%

問－6 住居形態

「持家一戸建て」が75.1%（994人）と最も高く、全体の約4分の3を占めている。

次いで「民間賃貸マンション・アパート」の8.3%（110人）、「持家分譲マンション」の6.4%（85人）などとなっている。



(N=1,324)

クロス／住居形態

性別で見ると、男性・女性ともに「持家一戸建て」が7割台と最も高くなっており、次いで「民間賃貸マンション・アパート」となっている。

年齢、地区、同居家族の年齢で見ると、いずれも「持家一戸建て」が最も高くなっている。

次いで、年齢でみると18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳では「民間賃貸マンション・アパート」、それ以外の年齢では「持家分譲マンション」となっている。

地区で見ると駅西側周辺では「持家分譲マンション」、川田谷地区では「貸家一戸建て」、その他の地区では「民間賃貸マンション・アパート」となっている。同居家族の年齢で見ると、0～6歳、7～15歳、16～19歳、20～64歳では「民間賃貸マンション・アパート」、7～15歳においては「賃貸一戸建て」が同率、65歳以上においては「持家分譲マンション」となっている。

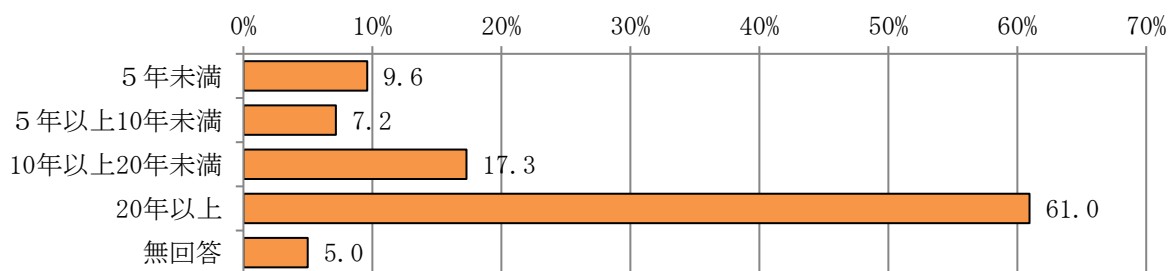
	調査数（N）	持家一戸建て	賃貸一戸建て	持家分譲マンション	民間賃貸マンション・アパート	公団（UR）賃貸住宅	県営住宅・市営住宅	社宅・公務員宿舎	同居・間借り・住み込み	その他	無回答
全体	1,324	994	30	85	110	21	6	3	13	8	54
性別	男性	567	436	17	36	49	9	4	2	7	2
	女性	700	552	13	46	61	12	2	1	6	5
	無回答	57	6	0	3	0	0	0	0	1	47
年齢	18歳～19歳	42	34	2	1	3	1	0	0	0	1
	20歳～29歳	127	87	6	7	19	4	0	1	3	0
	30歳～39歳	166	119	4	4	29	2	0	1	5	1
	40歳～49歳	242	182	9	12	29	5	0	0	3	2
	50歳～59歳	187	138	4	22	18	2	1	1	0	1
	60歳～64歳	82	70	0	9	1	2	0	0	0	0
	65歳～69歳	98	84	0	5	4	0	1	0	1	2
	70歳～74歳	113	91	2	15	1	2	1	0	0	1
	75歳以上	218	188	3	10	6	3	3	0	1	3
	無回答	49	1	0	0	0	0	0	0	0	48
		100.0%	75.1%	2.3%	6.4%	8.3%	1.6%	0.5%	0.2%	1.0%	4.1%
地区	駅東側周辺	217	150	7	25	28	2	0	0	4	1
	駅西側周辺	266	163	0	46	36	17	0	1	2	1
	日出谷地区	283	246	7	1	19	0	4	0	3	2
	坂田地区	266	218	8	13	23	1	0	0	1	2
	加納地区	127	116	2	0	3	0	2	1	2	1
	川田谷地区	109	98	6	0	0	0	1	1	2	1
	無回答	56	3	0	0	1	1	0	0	0	51
		100.0%	86.9%	2.5%	0.4%	6.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.1%	0.7%
		100.0%	82.0%	3.0%	4.9%	8.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.8%
		100.0%	91.3%	1.6%	0.0%	2.4%	0.0%	1.6%	0.8%	0.8%	0.0%
同居家族の年齢	0～6歳	153	121	5	1	21	2	1	0	1	0
	7～15歳	174	141	10	9	10	4	0	0	0	0
	16～19歳	147	119	7	9	10	0	0	0	1	0
	20～64歳	905	702	26	53	89	13	1	2	12	3
	65歳以上	557	481	7	33	11	7	4	1	9	2
	無回答	98	24	2	5	11	3	0	0	3	50
		100.0%	86.4%	1.3%	5.9%	2.0%	1.3%	0.7%	0.2%	1.6%	0.4%

7. 回答者の属性

問－7 居住年数

「20年以上」が61.0%（807人）と最も高く、全体の6割以上を占めている。

次いで「10年以上20年未満」の17.3%（229人）、「5年未満」の9.6%（127人）などとなっている。



(N=1,324)

クロス／居住年数

性別で見ると、男性・女性ともに「20年以上」が6割台と最も高くなっており、次いで「10年以上20年未満」となっている。

年齢で見ると18歳～19歳では「10年以上20年未満」、その他の年齢では「20年以上」が最も高くなっている。次いで、18歳～19歳、30～39歳では「5年未満」、その他の年齢では「10年以上20年未満」となっている。

地区で見ると、全地区において「20年以上」が最も高くなっており、次いで「10年以上20年未満」となっている。

同居家族の年齢で見ると、0～6歳では「5年未満」、7～15歳、16～19歳では「10年以上20年未満」、20～64歳、65歳以上では「20年以上」が最も高くなっている。次いで、同居家族が0～6歳、7～15歳、16～19歳では「20年以上」、同じく20～64歳、65歳以上では「10年以上20年未満」となっている。

	(調査数)	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全体	1,324	127	95	229	807	66
	100.0%	9.6%	7.2%	17.3%	61.0%	5.0%
性別	男性	567	46	45	88	378
		100.0%	8.1%	7.9%	15.5%	66.7%
	女性	700	80	50	139	420
	100.0%	11.4%	7.1%	19.9%	60.0%	1.6%
	無回答	57	1	0	2	9
	100.0%	1.8%	0.0%	3.5%	15.8%	78.9%
年齢	18歳～19歳	42	4	1	37	0
		100.0%	9.5%	2.4%	88.1%	0.0%
	20歳～29歳	127	20	3	24	78
		100.0%	15.7%	2.4%	18.9%	61.4%
	30歳～39歳	166	49	36	14	67
		100.0%	29.5%	21.7%	8.4%	40.4%
	40歳～49歳	242	35	31	81	95
		100.0%	14.5%	12.8%	33.5%	39.3%
	50歳～59歳	187	5	8	38	135
		100.0%	2.7%	4.3%	20.3%	72.2%
地区	60歳～64歳	82	3	3	11	65
		100.0%	3.7%	3.7%	13.4%	79.3%
	65歳～69歳	98	5	2	7	82
		100.0%	5.1%	2.0%	7.1%	83.7%
	70歳～74歳	113	2	5	10	95
		100.0%	1.8%	4.4%	8.8%	84.1%
	75歳以上	218	4	6	6	187
		100.0%	1.8%	2.8%	2.8%	85.8%
	無回答	49	0	0	1	3
	100.0%	0.0%	0.0%	2.0%	6.1%	91.8%
同居家族の年齢	駅東側周辺	217	21	16	40	135
		100.0%	9.7%	7.4%	18.4%	62.2%
	駅西側周辺	266	23	17	48	175
		100.0%	8.6%	6.4%	18.0%	65.8%
	日出谷地区	283	31	24	51	175
		100.0%	11.0%	8.5%	18.0%	61.8%
	坂田地区	266	35	20	48	158
		100.0%	13.2%	7.5%	18.0%	59.4%
同居家族の年齢	加納地区	127	10	10	25	78
		100.0%	7.9%	7.9%	19.7%	61.4%
	川田谷地区	109	7	7	16	78
		100.0%	6.4%	6.4%	14.7%	71.6%
	無回答	56	0	1	1	8
		100.0%	0.0%	1.8%	1.8%	14.3%
	0～6歳	153	47	40	20	44
		100.0%	30.7%	26.1%	13.1%	28.8%
同居家族の年齢	7～15歳	174	11	37	77	49
		100.0%	6.3%	21.3%	44.3%	28.2%
	16～19歳	147	6	6	75	60
		100.0%	4.1%	4.1%	51.0%	40.8%
	20～64歳	905	110	78	208	502
		100.0%	12.2%	8.6%	23.0%	55.5%
	65歳以上	557	13	13	55	464
		100.0%	2.3%	2.3%	9.9%	83.3%
	無回答	98	11	5	2	33
	100.0%	11.2%	5.1%	2.0%	33.7%	48.0%

8. 自由意見

問37 これからの桶川市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。

自由意見の掲載方法について

- ・自由意見は、第五次総合振興計画の項目別に記載しています（以下、施策別件数を記載した一覧表は、同計画の項目となっています）。
- ・原則、原文のまま掲載しています。ただし、個人等を特定できる情報については削除しています。
- ・一人の回答者が複数の項目について述べている自由意見のうち、可能なものについてはそれぞれを一つの意見として施策別に分けて掲載しています。なお、一つの意見に複数の施策が含まれている場合は、意見の中で最初に述べられている施策の欄に掲載し、その意見の終わりに、含まれる施策の番号を記載しています。

施策の大綱	施策	件数
1. だれもが主役の桶川をつくる 【参画・協働】	101 協働の推進	4
	102 自主的活動の推進と交流促進	11
	103 男女共同参画社会の推進	1
2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる 【教育・文化】	201 就学前教育の支援・充実	0
	202 学校教育の充実	8
	203 青少年の健全な育成	1
	204 生涯学習・生涯スポーツの充実	14
	205 人権教育・啓発と平和の推進	0
	206 文化・芸術の振興・保存・継承	2
3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる 【健康・福祉】	301 健康づくりの推進・医療の充実	28
	302 子育て支援の充実	22
	303 高齢者施策の充実	12
	304 障害者（児）支援の充実	4
	305 地域福祉の推進	6
	306 自立した生活への支援体制の充実	0
	307 ノーマライゼーションの推進	5
4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる 【市民生活】	401 地球温暖化対策の推進	0
	402 資源循環型社会の構築	2
	403 快適で衛生的な地域環境の創出	19
	404 防災体制の充実	6
	405 防犯まちづくりの推進	12
	406 交通安全対策の推進	10
	407 安全な消費生活の確保	0
5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる 【みどり・都市基盤】	501 良好な住環境の創出と保全	21
	502 歩いて暮らせるまちの実現	74
	503 魅力あるまちづくりへの新たな取組	15
	504 都市計画道路の整備	31
	505 生活道路の整備・改善	24
	506 憩いの自然空間の保全と活用	10
	507 みどり空間の創出	16
	508 治水対策の推進	4
6. にぎわいと活力ある桶川をつくる 【産業】	601 農業の振興	4
	602 工業の振興	11
	603 商業の振興	38
	604 観光の振興	34
	605 就労支援と勤労者福利厚生への充実	1
7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる 【行財政運営】	701 計画行政の推進	6
	702 経営的な視点からの財政運営	22
	703 情報共有の推進	3
	704 広域行政の推進	6
その他のご意見等	800 その他のご意見等	53
合計		540

8. 自由意見

1. だれもが主役の桶川をつくる【参画・協働】

施策101 協働の推進 (4件)

1. 町内会への加入が減少している昨今、まずは桶川市の一員としての第一歩である町内会への参加を呼びかけ、若い人達が率先して地域行事に参加できる様にしていきたい。桶川市の足元である町内会の充実が町づくりの第一歩ではないかと感じます。(女性/50歳～59歳)
2. 昭和52年桶川市の住民となり約44年間住民として生活をし、まず市の行事などに参加し、地域を知る事から始めましたが、参加する度に充実感が得られず、朝は地区にあった灌木の林をよく散歩しました。今84歳を迎えようとしていますが、何にしても住民一人一人の意識の高さが一番必要だと感じてまいりました。行政のご努力をお願い致します。(女性/75歳以上)
3. 道路標識の停まれなどは地域住民のボランティアで書く事が出来る。専門的な技術など学べばできと思う。業者に頼む金が無くてやらないより、ボランティアでできと思う！！(男性/65歳～69歳)
4. これからのまちづくりは若い人達。若い人達の発言の場を作り、老若男女さまざまな人達のディスカッションの場があると良いと思います。永年この街で活躍されている長老の方達の意見もとても重要ですが、あまり前向きの視点が無いのでは？現在、東口が少し整備され、特にエレベーターは高齢者には救いです。階段の昇降が足腰の故障で恐怖です。10年先、20年先には街並みは明るい（今は薄暗く、バラバラの色・形）街で……。北本のように中山道の道幅が広くスッキリされれば……。不動産を動かす事は至難な事。一歩ずつ快適な街に進んでと祈ります。(施策307、504/女性/75歳以上)

施策102 自主的活動の推進と交流促進 (11件)

1. 小学生などの通学路を地域で見守れると良いと思う。(お年寄りとか)(施策405、施策406/女性/50歳～59歳)
2. 休日にできるボランティア活動があれば学生も参加しやすいです。(女性/20歳～29歳)
3. 市役所を市民に開放して、高齢者、健康体操、地域活動等活用できる様にしてほしい。(女性/75歳以上)
4. 住民同士の話し合いの場がほとんどない。共通の話題がない。めんどくさい。気を遣うのが嫌だ……。理由は色々ある。祭やイベントなどで仲間を作ることも考えられるが、年寄りがやっていることでつまらない。日頃から話せる場を作ることが必要。近隣の人々とコミュニケーションをとるスキルがない……。当面は年寄り達にあてはまる事であるが、スマホや携帯でしか話が出来ないということは、いずれ若い人達もこんなことになるだろう。共通の話題の一例として、草花等の苗を多量に購入して分け合って、各戸の庭やプランター、歩道脇の花壇に植えて楽しむ等もいかがでしょうか。子供達との話題の一つになるだろうし、ご近所さんと植物を育てるための工夫について話題が広がるのではないのでしょうか。(女性/75歳以上)
5. とある公園で、高齢者たちが我が物顔でグランドゴルフに興じています。公園使用の届出はもちろんされているのですが、小さな子供たちが知らずに公園に入っていくと激怒して威嚇してきます。話し合いにも応じてもらえないそうで、近所のママたちも誰もその公園に行かなくなりました。あくまで一例ですが、現役世代と高齢者との溝が深まる事例だと思います。公園使用者（代表者）にしっかりと責任を持ってもらう様な方法があればいいと思います。同様のクレーム

が〇〇件きたら今後の使用を禁止するなど。「公」園ですからみんなで譲り合って遊べればいいと思います。(男性/40歳～49歳)

6. 1. 市が率先して市内で働く若者が集う場所、アイディアを出してほしい。2. ボランティア活動の推進。(男性/75歳以上)
7. 近所付き合い厚くして、安心できる環境づくり、助け合い。(男性/75歳以上)
8. ITを活用し、市民のネットワークを広げられるようにしてほしい。例えばランニングをしていますが、一緒に走れる仲間を探せなくて困っている。趣味が合う人を探せると地域の広がりも年代関係なく広がるのではないのでしょうか。(男性/40歳～49歳)
9. “明るく楽しい街”の原点はまず、明るい家族、家庭と隣人同士のコミュニケーションがうまくいっているか否かです。特に近年は新しい住宅に伴い、新しい方々が住まわれても朝の挨拶すらも交わさない、また、交わさなくても済む世の中になっているのが残念です。人と人との繋がりはやはり挨拶が基本です。老いも若きも小さなお子さんも自然に笑顔で挨拶できる社会作りに努めたいと心がけています。まずは年輩者の方から小さなお子さんにも口を開けるようにすれば簡単なことですよ！(男性/70歳～74歳)
10. 人口減少が心配される中では、外国人との交流も考える必要があると考えます。現在、日本語ボランティアの活動をしているのですが、日本語を学習しようと訪れる外国人はあまりいません。日本語で困っている事はないのでしょうか。退職したので、地元で役に立つ活動をしたいと考えていたのですが、残念に思っています。上尾市では国際交流会が年に数回行われているようです。桶川市は外国人が少ないということでしょうか。文化交流会など楽しい企画があるとよいのではないかと考えます。(女性/60歳～64歳)
11. 外国人労働者は必ず増加すると思うので、彼らと共に快適な暮らしが出来る様、行政も積極的に関わって行ってほしいと思います。(男性/30歳～39歳)

施策103 男女共同参画社会の推進 (1件)

1. 女性が市議会議員の25%以上を占めるクォーター制度の導入や、審議会の女性の比率を上げ、参画できる様な条例の制定。(男性/60歳～64歳)

2. 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる【教育・文化】

施策201 就学前教育の支援・充実 (0件)

施策202 学校教育の充実 (8件)

1. 桶川市でも受験できる中高一貫校を増やしてほしいです。(女性/40歳～49歳)
2. 子供が学習できるスペースを増やしてほしい。(女性/50歳～59歳)
3. 子供の教育への力を入れるべきである。特に近年情報化社会であるため、パソコン（パワーポイント、エクセル、ワード）やプログラミング教育の充実をさせるべきだ。また、小中学校の時には、数、英のレベル別対策授業（速習できる子には3年生の時に4、5年生の内容をやり、苦手な子には3年の時に2年、3年の復習の時間を設ける）。このようにすれば勉強が得意な子はより得意になり、苦手な子は勉強の抵抗がなくなるはずだ。塾に行く子と行かない子での格差軽減にもなるのでは？(男性/20歳～29歳)
4. 英語に力を入れて欲しい。(男性/30歳～39歳)

8. 自由意見

5. 小学校7校体育大会を、5、6年生合同に戻して欲しい。(男性/30歳～39歳)
6. 加納、川田谷が市街化調整区域の為か、生徒数が少なく部活動が十分に行えてない様に思える。(男性/40歳～49歳)
7. 学校に個人用の清掃用具(例えばダスキンハンディモップ)を配布し、児童、生徒様の労働負担を減らす。効率的に行えるようにして清掃活動の不公平感(やらないヤツがいる)を減らす。(男性/50歳～59歳)
8. 日本人としての資質向上が急務であり、日本の復興はこれしかない。桶川だけでやれる項目を絞り、実行あるのみ。まずは小中高校(桶川だけの)の資質向上。いじめ等の対応に優れた先生のみを集めて情熱的教育を他に先駆けてやるべき。まずは良い先生、教育委員会の改善等、やるべきことは多いし、結果出るまで時間かかるが我慢比べだと思う。(男性/75歳以上)

施策203 青少年の健全な育成 (1件)

1. 子育て世代が安心して暮らせる街、地域で子育てに取り組めるような環境であるといいなと思います。親以外の大人の目があることや、親が子育てに集中しすぎないで市の活動に参加したり、趣味を楽しめること。(女性/30歳～39歳)

施策204 生涯学習・生涯スポーツの充実 (14件)

1. 上日出谷地区に図書館がほしい。なぜ仮市役所をそのまま残し図書館にしてくれなかったのか……。おそらく勉強をする場所や、読書ができる環境を整えるだけで、桶川市の小中高生の学力は上がり、未来の担い手として立派に努めることができるのに。By 高三女子(女性/18歳～19歳)
2. サンアリーナ辺りに屋内プールがあると嬉しいです(桶川にないので今は上尾のわくわくランドという所に行っています)。(女性/18歳～19歳)
3. コミュニティセンターの近くの空いている場所に運動する施設を作って欲しい。(女性/30歳～39歳)
4. 歴史もあり、便利で住みやすく、都心にも近いのに緑もあふれる桶川が大好きです。桶川で育った人はスポーツもでき、勉学もできる人が多いと感じます。もっと図書館など充実して勉強できる場が欲しい。(女性/30歳～39歳)
5. 西武ライオンズなど応援している感じがあるが、実際球場までは地理的に移動が不便。浦和レッズなど他の競技も一緒に楽しめると良いと感じる。(女性/30歳～39歳)
6. 駅前の整備に関してマインがリニューアルオープンした際、図書館、書店がオープンしたのは本当に画期的なことだったと思う。図書館があることで子供達の居場所ができて、子育て支援+教育啓発にもなっている。ただ、まだロビーが十分に活用されておらず、私もあまり利用できていない(期日前投票は有り難い)。大型書店があることで他市からの来店もあると聞く。経営的には難しいのではないと思うが「急に閉店」なんてことがないように市としても助成して頂きたいと思う。桶川市の知的レベルが下がらない様に……。(女性/50歳～59歳)
7. 駅東側もフレスポ桶川ができたことでずいぶん利便性が良くなり、賑わいの場が出来ました。さらに、スマイルピアザでサンアリーナのようなトレーニングジムや運動の教室を開設して欲しいです。高齢化が進む中、高齢者の健康維持のためにも、駅東側の人も徒歩や自転車で通え、気軽に運動できる整備をお願いします。また、スマイルピアザで活動するサークルを一般公開し、気

軽にグループに参加できるようにして欲しいです。(市内の公民館が行っているのと同様に)(女性/50歳～59歳)

8. また、サンアリーナで武道場を個人で利用しようとしたところ、なかなかハードルが高くて「果たして本当に市民に利用してもらいたいのか」と疑問に感じた。古武術(真剣を用いない剣術です)を嗜んでおり、公園などでは稽古が憚れるので、是非サンアリーナの武道場を少しのスペースで構わないので個人でも利用しやすいように善処していただきたい。(男性/20歳～29歳)
9. 小・中・高校生、社会人のスポーツ活動にもっと力を入れて、団体、施設を充実させ、桶川市育ちの全国、世界に通用するアスリートを育てて欲しい。(男性/65歳～69歳)
10. 市の所有する総合グラウンドがないのは、人口7万を超える市民としておかしい事だと思う。どうして、桶川警察署が無いのか昔から不思議に感じていた。(施策 704/男性/75歳以上)
11. 足湯や室内のプールなどがあったら、遠くからでも車で来る事が出来る。緑の公園でアスレチックが出来る様になったら嬉しいです。沢山の人が集まる様に。(女性/65歳～69歳)
12. 西口方面には筋トレルーム(サンアリーナ)があるが、東口方面にはない！健康増進のためにも充実させてほしい！(男性/18歳～19歳)
13. 市民プールが必要。公営キャンプ場を作る。(施策 507/男性/50歳～59歳)
14. 図書館の開館時間を長くして下さい(ビジネスマンや夜遅い学生などが全く利用出来ません)。今あるものをまずは更に充実させるべきです。(女性/40歳～49歳)

施策205 人権教育・啓発と平和の推進 (0件)

施策206 文化・芸術の振興・保存・継承 (2件)

1. 現代の若い家庭は外国の行事は派手にしますが、日本の古来からの行事(月見や、七夕、正月飾り)等をしない方が増えています。なるべく日本古来の文化行事を大切にする様、機会があれば学校や広報等でも啓発や発信してほしいです。駅前の電飾もクリスマス用の他に正月用の松飾や羽子板等かたどった電飾もあれば楽しいと思います。(女性/70歳～74歳)
2. レトロの財産を活用して、全国にアピール、市民参加型プロモーション。(男性/65歳～69歳)

3. 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる【健康・福祉】

施策301 健康づくりの推進・医療の充実 (28件)

1. 総合医療機関の誘致と市街化調整区域の整備と有効活用。(施策 503/男性/60歳～64歳)
2. 大型総合病院、大型商業施設の誘致(施策 603/女性/20歳～29歳)
3. 総合病院や産婦人科、ホームセンターを造って欲しいです。(施策 603/女性/30歳～39歳)
4. 75歳以上で介護保険利用されていない人を市でポイント？一人でも自立され桶川に住んでいて良かったと～。のまちづくりを望んでいます。(性別無回答/年齢無回答)
5. 病院が少ない(女性/20歳～29歳)
6. 子供を産める病院も桶川にはなく、子育てしにくいと思う為、転出する人が多いと思う。(女性/20歳～29歳)
7. 子宮がん検診で自己負担(オプション)でもいいので超音波もやってほしい。婦人科に行くのはとても勇気がいります。行きたくありません(早期に実現してほしい)。大宮、上尾、北本子宮がん検診、乳がん検診(マンモグラフィ)ができる施設(桶川以外も含め)、HPや広報おけがわに

8. 自由意見

一度だけではなく2か月に一度ぐらい掲載したらどうですか。調べ方がわからない人ってたくさんいると思うのです。私は婦人科に行きたくないので保健センターの集団検診に2回行きました。(女性/30歳～39歳)

8. 医療機関が少ないので地域毎にもう少し増やした方がいいと思う。(女性/30歳～39歳)
9. 小さい子供がいる家庭にとって、内科小児科ではなく、子供クリニックなどの専門院がなさすぎるのが不便です。耳鼻科と皮膚科も少なすぎて上尾に行くしかありません。夜間病院も不便だし、出産できる医院もありません。子育てに関しての医療機関の見直しをした方が人口も増えると思います。市の毎年の検診も見直して欲しいです。子宮頸がん、乳がんの検診は年齢問わず年一回やれる様にして欲しい。2年またいで検診する安心感と年1回では全然違います。(女性/30歳～39歳)
10. 医療機関の充実化。(女性/50歳～59歳)
11. 高齢者になった場合、総合病院を作ってほしいです。(女性/50歳～59歳)
12. 市内に大きい総合病院があったら良い。(女性/50歳～59歳)
13. 医療施設の充実を求む。(女性/50歳～59歳)
14. 医療（病院の建設）高齢化対応の施設と連携。(女性/50歳～59歳)
15. お産を含め、信頼できる救急病院が無いので、大きな総合病院が身近に欲しい。(女性/50歳～59歳)
16. 医療の充実、総合病院の誘致をお願いしたい。(女性/65歳～69歳)
17. 総合病院を作ってください。(女性/70歳～74歳)
18. 南小跡地に総合病院を希望する。(女性/75歳以上)
19. 医療が必要な年齢になって桶川市に病院がなく北本市や上尾市に行くという。いくら隣の市とはいえ自分の住んでいる市に無いという不安感。体も動かなくなる日々、とても不安です。空き家の見直しを徹底してほしい。(女性/75歳以上)
20. 産科が欲しい(男性/30歳～39歳)
21. 不妊治療を専門的にやっている病院、クリニックがない。(男性/40歳～49歳)
22. 地域密着コミュニティ情報発信の充実(男性/50歳～59歳)
23. 総合病院を作ってほしい。たとえば上尾中央病院のような大きな病院を。(男性/50歳～59歳)
24. 高齢者で健康な人を広報等で紹介やアピールする。(男性/60歳～64歳)
25. 産婦人科等の病院。(男性/70歳～74歳)
26. 駅東口小学校跡地に病院をつくる。(1) 土地は市で所有する。(2) 建物は進出する病院の希望に合わせてつくる(市所有)(3) 大学病院ではなく、例えば鴨川市の亀田病院の分院が良い。
(現在亀田病院は3つ分院を持っている。) 亀田病院は国公立ではなく、民間としては最高のレベルにあると言われている。(男性/75歳以上)
27. 医療の充実を(経験談を記します)。突然歯痛が起こり、かかりつけの歯科院に電話しました。返答は「予約が入っていないのでダメ」とのこと。執っこくお願いしましたが、ダメの一点張り。新規の病院に行くよりはと考え、押しかけ治療していただきました。後日、職員の方と話した所、混雑の原因として、必要のない患者さんも再々予約を入れて来院するとの事でした。誰が悪いとかではなく病院の絶対数が不足しているように思えます。(男性/75歳以上)
28. 総合病院を希望します。(男性/75歳以上)

施策302 子育て支援の充実 (22件)

1. 子供の医療費無料サービスを近隣の市町村と連携して欲しい。(川島町、上尾市など)(女性/18歳～19歳)
2. 就労環境、育児環境、教育環境を主軸に据え、子供をもつ家族が多く魅力を感じる様な町になれば、町全体の長期的且つ持続的な活性化につながると思います。(女性/20歳～29歳)
3. 子育て支援など充実すれば市外からパパママが増えるのではないかなと思う。例えば18歳未満の子がいる家庭には家賃の20%の援助とか。(女性/20歳～29歳)
4. 個人的には、細かい事ですが子供の医療費受給資格証をラミネート加工してもらいたいです。子供が3歳になりますが、しょっちゅう病院に行ってるので、ラミネート加工されていないカードは、もう印刷が薄れて名前や住所が見づらいです。とても18歳まで持てるとは思えません。この度令和になったので新しくカードが発行された時に、自分でラミネート加工しました。やはりカバーされているといつまでも綺麗で見やすく長持ちです。(女性/20歳～29歳)
5. 保育園も大事だけど、小学生低学年くらいの子が安心して遊べたり預けられる場所があると良い。学童とかではなく児童館などでそういう所があれば仕事を無理なくできるのになと思います。(女性/30歳～39歳)
6. 桶川に住んで1年足らずですが、正直住み続けたいと思える点は少ないです。未就学児がいるのでどうしても子育ての点での不便さや前に住んでいた地域との差を感じます。子供を連れて遊ばせるのは上尾か北本まで行きます。桶川に支援センターはありますが、少ないし、施設が小さく走り回るような子になると物足りないようです。また、一時保育の金額も高く、特に0歳、1歳代のお母さんがリフレッシュに気軽に預けられるものではなく、子育てにあまり力をいれていないのかなという印象を持ちました。前に住んでいた地域では12時間程のリフレッシュ利用券があり、2歳までの子供がいるお母さんに無料で一時保育が使える制度があり、とても助かりました。また、住みやすさとしてもインターが近く、便利なのはありますが、市内で休日を過ごすのは公園くらいでほとんど市外や県外へ行ってしまいます。また、食料品も駐車場からすぐ店(複合施設ではないということ)がなく、子供を連れてささっと買物がしにくいです。(女性/30歳～39歳)
7. こども医療費。支給の方式が申請書用紙に領収書を貼付して翌月に提出することとなっているが、医療機関受診時に支払う必要がなく窓口で精算が完了するようにしてほしい。(女性/40歳～49歳)
8. 桶川市の子育て支援(18歳まで医療費無料など)他より良い面が沢山あります。「子育てしやすい町」をもっとアピールしても良いと思います(うちの子の場合、さいたま市の小学校よりも給食が美味しい、地域の方々が登下校に付き添って下さる安心感、親しみやすい先生が多い・・・など、桶川に来てよかったと常々言っています)。(女性/40歳～49歳)
9. 子供達が子供らしく遊べる場所(主に室内)が少ない。あったとしても声がうるさいなど言われる。坂田コミュニティセンターで小さい体育館を借りた時もそのように言われ、これからは全面借りて配慮してほしいと言われ・・・言いたいことはわかりますが、行政が中立の立場ではなく、一方にだけ配慮、負担(金銭的にも)を求め、子供が遊ぶ声をうるさいと捉えられたことに子育てをする窮屈さを感じてしまう。(女性/40歳～49歳)
10. 少子高齢化、不妊治療など力を入れて欲しいと思っています(無料にするとか?10回まで)。(女性/40歳～49歳)
11. こども医療費が18歳まで無料になってとても助かります。できれば、市外の病院の費用の申請

8. 自由意見

を簡略化（ネット利用）、もしくは支払いなしにしてもらえると有難いです。毎度紙に書くのは大変。上尾中央や小児医セなど、他市でも支払いなしの提携をしている所もあるので、桶川も検討してもらえると嬉しいです。（女性/40 歳～49 歳）

12. 上尾、北本の様に日曜、祝日でも遊べる児童館を作って欲しい。（女性/40 歳～49 歳）
13. 仕事と介護を両立できる環境作りを強化して欲しいです。（女性/40 歳～49 歳）
14. 天気が悪い時など遊んだりできる屋内の場所があるとホッとしますね。子供が小さい時など充実できる所がいいですね。（女性/60 歳～64 歳）
15. 若い人がたくさん桶川市に住んでくれる町づくり。（女性/65 歳～69 歳）
16. 孫達の勉強がゆとりなし、空家の家を活用して楽しくいじめなどが無くなるように子供達が遊べる環境がほしい。（女性/65 歳～69 歳）
17. 千葉県の流山市の子育ての町のように、特徴のある町づくりを目指してほしい。全方向にまんべんなくレベルを上げるやり方では、新たに転入する人への訴求力向上には繋がれないと感じる。（男性/40 歳～49 歳）
18. 人口を増やす。子作り支援をもっと多く。（男性/50 歳～59 歳）
19. 安心して女性が子供を預けられる保育所、学童保育が充実していること。（男性/60 歳～64 歳）
20. 北本市や上尾市に負けないように施設、サービスの充実をお願いします。桶川市はずば抜けて自慢できるものが無いと感じます。北本はベビーベッドやベビーバスのレンタルを始めました。これは子育て世代にとって大変有り難いです。桶川市もマネてください。他の市をマネてやるのではなく、他の市から羨ましがられるような制度をもっと作っていただけたら嬉しいです。（女性/20 歳～29 歳）
21. 周辺市町村在住も含めた周りのママ友で「周辺市町村に引越したい」という人はいても、「桶川に移住したい」という人はいない。桶川からわざわざ上尾や川島の児童センターに通う人も多く、買い物も高齢者ばかりの桶川マインやベニバナウォークより、子連れが多い市外のショッピングセンターに行く。せっかく縁があって住んでいる桶川市が、子育てしやすい街になっていくことを望んでいます。（女性/30 歳～39 歳）
22. 桶川市に暮らして 40 年が経ちました。普段あまり不自由を感じることがないので、改めて考え直す機会を頂きました。まずは 60 代の自分がこの先どういう生活をしていくのか、何を行政にお願いしなくては生きていけないのかを考えました。高齢者ばかりを優遇するのではなく、それを支える若い世代が増えて、子供を育てながら働きやすく暮らしやすいまちを作りたいと思います。（女性/60 歳～64 歳）

施策303 高齢者施策の充実 （12件）

1. 高齢者のサービスに手を入れなさい！！（女性/20 歳～29 歳）
2. 高齢になって運転しなくても（通勤や業務において）仕事ができる、社会の役に立てる、趣味活動やスポーツができる、お金を得ることができるシステムがある街づくり。（女性/40 歳～49 歳）
3. 高齢者にとって住みやすい町づくりに力を入れるべきです。現在、8050 問題も深刻化していると思います。高齢者が身近に家族、親族がいなくても豊かに安心して住める環境があれば、高齢化社会になっても人が集まり、衰退化は防げると思います。（女性/40 歳～49 歳）
4. AI 時代（時代の変化）に向けて、高齢者の為のやさしい勉強会の充実。（女性/50 歳～59 歳）
5. 高齢者の医療の削減。（女性/60 歳～64 歳）

6. 高齢者が安心して住める町づくり。(女性/65 歳～69 歳)
7. 私は高齢者なので今のままで満足しています。(女性/75 歳以上)
8. 年々高齢者が増えております。安心して過ごせる施設がほしいと思っております。(女性/75 歳以上)
9. 車の免許証を返納した後に、徒歩で生活できる環境が望ましい。(女性/75 歳以上)
10. 市内を含め高齢者の自動車運転が目立つ(乗用車無しでは生活が不便)。バスの路線整備を進めない限り、免許返納は難しいのではないかと思います。市内バスはあまりにも稼働本数が少なくとても不便。高齢になっても住みやすい街であって欲しい。(男性/20 歳～29 歳)
11. 駅東口に地域的な支援センターの設置と、介護ショップ(民間)の併設。(男性/40 歳～49 歳)
12. 高齢者に優しい街。現在、各種手続き、案内、説明は SNS やインターネット化になっているが、高齢者には難しい。また、技術進化に対応できない。特に老人世帯、身内に若い世代がいない場合、私も将来的に不安である。アナログ的サービスの継続と SNS 等の高齢者への教育、説明会の実施(サギ防止の観点からも)。(男性/60 歳～64 歳)

施策304 障害者(児)支援の充実 (4 件)

1. 障がい者(児)への意識が低いような気がします。(女性/18 歳～19 歳)
2. 川越市の話ですが、病気(統合失調症)の母について保険所、市役所の障害福祉課、かかりつけの病院、精神保健福祉センター(伊奈町)等、色々な機関に相談しましたがあまり力にはなってもらえず、たらい回しに近い状態でした。母が自殺したらと思うと不安です。桶川市には障害福祉等に力を入れて頂きたいです。母がもし桶川市に引っ越してきた時に障害福祉サービスが充実していると嬉しいです。(女性/20 歳～29 歳)
3. 同じ敷地内に子供(0～5 歳児)の保育所や子供デイサービスの設置。(男性/40 歳～49 歳)
4. 発達障害、身体的、知的障害を持つ子供が生まれても安心して子育てできる環境の整備。(男性/60 歳～64 歳)

施策305 地域福祉の推進 (6 件)

1. 出来るだけこの町で暮らして行けるよう、子どもから祖父母になるまでの全年齢に対する支援を充実していただけたらと思います。(女性/20 歳～29 歳)
2. 育児や子育てへの協力が出来るような環境を増やせば、両親共働きや一人親でも安心して預けられたり、働ける。学童代わりの施設などがあれば子供も一人で過ごす時間が少なくなるのでは。また、高齢者も孤立化しにくくなるのでは。老々介護になることが多いので、若い時から介護の仕方などが学べる場の提供があれば自宅介護への負のイメージも減るし、若い人にも将来的な生活のイメージがしやすくなるのでは。(女性/30 歳～39 歳)
3. 子育て世代や高齢者等の世代とミーティング等を重ねて、それぞれの希望が届くまちづくりを期待したい。(女性/50 歳～59 歳)
4. お年寄りを障害者も安心して暮らせる町づくりを希望します。保育園と老人ホームの一体化など。(女性/65 歳～69 歳)
5. 子育てがしやすくて、高齢者や障がい者が住みやすい街づくりをお願いします。(男性/50 歳～59 歳)
6. さらに子供達やお年寄りまで、やさしい街桶川になって下さい。(男性/50 歳～59 歳)

8. 自由意見

施策306 自立した生活への支援体制の充実 (0件)

施策307 ノーマライゼーションの推進 (5件)

1. 桶川駅と桶川マインを繋ぐ橋に屋根の設置と、マイン側がバリアフリーになるといいと思います。(女性/20歳～29歳)
2. 桶川駅にエスカレーターの設置。(女性/30歳～39歳)
3. 桶川駅が綺麗になったこと、東口側のエレベーターが設置されて嬉しいです。・希望は駅前子育て支援センターを桶川マインの中、もしくは市民ホールなどに新設して頂きたい。利用者が多いのに関わらず、現状の様な狭い空間なのが残念。・西口公園に大きい遊具の導入を希望します。新しい遊具が小さいものばかりになりとてもがっかりしました。・桶川マインがもっと子ども連れでも楽しめる場所にしてほしい。現状はお年寄りのたまり場としか思えない。・東口商店街もとにかく寂しいので、もっと活性化してほしい！私は生まれも育ちもこの桶川です。これからもここで住み続けたいけれど、これ！という魅力がない。もっともっと子育てが楽しめる桶川にしてほしいです。(施策302/女性/30歳～39歳)
4. 桶川マインの駅から2階の入口が階段しかなく、ベビーカーや、車イスの人がスムーズに移動できない事がとても不便です。(女性/40歳～49歳)
5. 桶川駅の西口階段にエスカレーターを設置することと、西側のトイレをバリアフリーに改修することを近々に実施してもらいたい。桶川駅より乗降客の少ない北本駅と北上尾駅は既に整備されている。隣市よりはやく近々の要所としてノーマライゼーションを推進してほしい。(男性/40歳～49歳)

4. 環境にやさしく安全・安心に住み続けられる桶川をつくる【市民生活】

施策401 地球温暖化対策の推進 (0件)

施策402 資源循環型社会の構築 (2件)

1. さいたま市から1年前に桶川市に越して来ました。緑豊かな所で気に入っています。ゴミの分別について、さいたま市ではペットボトルの日があったのですが、桶川市ではプラゴミと一緒にに入れて出す事に抵抗があり、スーパーで買った肉や魚のトレイ、卵パック、ペットボトルはスーパー等の専用のリサイクルボックスに捨てる様にしています。プラゴミは量も多いので、トレイやペットボトル等リサイクル可能なものは、別に分けて回収するのは如何でしょうか。ゴミの問題は桶川市でも重要な課題だと思うので、是非ご検討下さい。(女性/30歳～39歳)
2. リサイクルに力を入れて欲しい。家の不用品や学校で使う教材、家にあるもらい物の食品など、0円から100円で買えたら良いと思う。ベニバナウォークの空き店舗を使って、手軽に利用できたら良いなと思う。(女性/50歳～59歳)

施策403 快適で衛生的な地域環境の創出 (19件)

1. 他市の様に焼却(ゴミ)について、市の人が楽しめる施設を作る。(女性/65歳～69歳)
2. 緑あふれる地球に優しい街並みのある豊かな市。(女性/20歳～29歳)
3. 畑を利用してモノを燃やすことがなくなってほしい。臭いが気になって洗濯物を外に干す事ができません。(女性/20歳～29歳)

4. ゴミ袋が有料なのは少し不満です。また、ゴミ当番がありますが、仕事をしている、子供が小さいなどの理由ですぐに出来ないという区長がインターホンを押しに来ます。理解の無い老人が多い。その辺、どこに相談できるのか分からない。もう少し子育て支援に力を入れて欲しい。支援センター、コープ広場の先生はお話ししやすい方が多いが、児童館の先生はこちらから声を掛けないと話さないし、中でお茶を飲みながら先生同士でわちゃわちゃしているだけ。オムツ代への支援があると嬉しい。育児に困っても相談先が無い。(女性/20歳～29歳)
5. 桶川はストーカー事件からイメージが悪く、ゴミの分別も他に比べて細かく好まれないので改善してほしい。(女性/30歳～39歳)
6. 駅周辺等一部で路上タバコ禁止区域がありますが、全然周知されていないように思います。いつそ市全域で路上タバコ全面禁止にしてもらいたい。(女性/40歳～49歳)
7. ゴミ自市専用処理場の充実。(女性/50歳～59歳)
8. マインの中に保護猫カフェを作る。生き物を大切にする街にする。(女性/50歳～59歳)
9. ゴミの処理場の老朽化が進むと新しい安全に処理することが出来るのか？処理場の建設が将来的に必要なのでは？(女性/50歳～59歳)
10. ゴミ問題、プラの処理は全国的にリサイクルするのに採算が合わなく、山積みされています。焼却場の建立はどうでしょうか？上尾の件など参考されては、いかがでしょうか（プール、風呂など）。福祉（高齢）など財政も大変ですが、いずれいなくなりますのでもう少し許して下さい。(女性/70歳～74歳)
11. 桶川市家庭ごみ処理場を早く建設へ。(女性/75歳以上)
12. 環境センター方面の東京ガスから新幹線あたりの田んぼが荒れて、そこにゴミが多く捨てられています。生ごみ、プラゴミ、大型ごみは冷蔵庫やベッド、家の解体したトタンや樋、扇風機他、色々なゴミが捨てられ、農水路はいっぱい大雨が降ったら道路は冠水し、通る事ができません。夜に車で捨てに来るようです。監視カメラでも付けて、取り締まり出来ないでしょうか。お願いします。(女性/75歳以上)
13. ゴミの分別について再検討すべきである。(男性/40歳～49歳)
14. 空家、空地の家主や地主への維持、条例で強化する。罰金などを設ける。管理を。(男性/60歳～64歳)
15. ゴミ処理場を桶川市自前で整備を進めて下さい。(男性/75歳以上)
16. さいたま市や川口市と同等のごみ焼却施設の設置は急務である。最優先事項として取り上げてほしい。桶川市内の設置を希望。収入源になるのなら広域からの受け入れも賛成です。(男性/75歳以上)
17. 外でタバコ禁止区域なのに子供などの近くで吸っている人が多いと感じました。(女性/20歳～29歳)
18. 家の周りは防犯については見通し良く安心してはいますが、近隣の木の枝が伸びすぎて2階の屋根の瓦まで壊れるのではと心配です。年に3～4回は枝を切らせていただいています、すぐに伸びるので困っています。この件は他の家でも結構あるのでは、と思います。良い方法はないでしょうか。(女性/75歳以上)
19. ごみの集積所について、以前は集積所が数多くあったけれど、2～3年前に集約されて、遠いから自転車でゴミ出ししている家もある。効率化と経費削減から仕方ないと思っている。しかし最近、数戸の建売住宅や一棟の共同住宅が新築されると、そこに集積所も設置されている。かもが

8. 自由意見

わ保育所の北側に大きな集積所があるのに、そこに最近できた共同住宅用の集積所が隣に作られた。おかしいと思う役所の人はいない？集積所がどんどん増えるので回収車が来る時刻もどんどん早くなる。非効率、経費の無駄で、遠くまで出しに行く人と、すぐそばに出せばいい人との不公平・・・こんな事を知らないルールですからの役人仕事。市民に不公平な所は無いのか、経費の無駄は無いのか？それをチェックして正すのが市役所の人々の努めだと思います。(男性/65歳～69歳)

施策404 防災体制の充実 (6件)

1. “桶川”と“川”という字がつくので、水害について、いつも心配になる。どこがどのくらい土地の高さがある。ここは低いというのをもっと細かく知りたい。どの位で避難すべきか判断がしにくい。桶川で同じ中学校の同級生は桶川に住んでおり、住みやすさを感じる。より良くなるために、できることがあるならしていきたい。(女性/30歳～39歳)
2. 今災害は全国どこでおきるか分からない環境になりました。災害時には避難の方の相互扶助の意味からも桶川として協力できたらと思います(公民館などの受け入れ態勢、ボランティアの募集など)。(女性/50歳～59歳)
3. 自然災害の少なさをアピールし、移住者を増やすのが良いと思う。(女性/60歳～64歳)
4. 防災対策、現在の防災無線は家の中にいる場合、聞こえない。令和元年の台風被害でも早期の情報提供、避難指示の徹底のためにも各家に防災無線の受信機の設置(過去、各戸(アパート賃貸含む)に防災無線設置自治体に居住経験あり。大変便利で安全安心な生活を過ごせた)。また、SNS、インターネットによる防災情報提供は高齢者には難しいため、防災無線等のアナログ的な処置は高齢者等のためにも継続して設置してほしい。予算削減で縮小しないでほしい。予算の確保希望。(男性/60歳～64歳)
5. 防災無線が聞きづらい(音が小さい)。(男性/65歳～69歳)
6. 身近な防災拠点の充実。(男性/75歳以上)

施策405 防犯まちづくりの推進 (12件)

1. 子供達が安心して学校へ行ける環境。(施策406、施策505/女性/60歳～64歳)
2. 安心して暮らせる治安のいい市であって欲しいです。(女性/18歳～19歳)
3. 街灯が少なく夜道を歩くのが怖いので街灯を増やして欲しい(女性/20歳～29歳)
4. また街灯を増やして欲しい。(女性/20歳～29歳)
5. 子供達の安全確保の為に、防犯カメラを増やして欲しい。(女性/30歳～39歳)
6. とにかく暗い。街灯が少なく暗い。駅から東側、北1～2丁目、桶川小学校横を歩くのも怖いし、自転車でも怖い。桶川市役所に勤めている人が桶川駅、桶川市に住んでみたいと思っていますか。思えるような提案を自ら考えて下さい。市民に意見を聞く前に自分が住んでいると思って業務に取り組んで下さい。今までの良いのではなく変化です。(女性/40歳～49歳)
7. 子供、高齢者に安全・安心な街。治安の良い、住みやすい桶川市である様、お願いします。(女性/50歳～59歳)
8. 防犯カメラを設置したり、地域で巡回するなどして、防犯対策を実施してほしい(早い程良い)。(女性/60歳～64歳)
9. 駅から離れた地域の街灯が少なく、陽が落ちるととても暗いです。防犯にもつながる事ですし、安心して歩ける街づくりのためにも対策をして欲しいです。(男性/30歳～39歳)

10. 放火が多いので防犯面強化をお願いします。監視カメラ設置等。(男性/30 歳～39 歳)
11. 川田谷地区は不便です。防犯面で不安、夜暗い。防犯カメラを付けてほしい。日常の買物が不便。荒川の側にはすべて土手などを作ってほしい。水害が怖い（江川も）。道路も汚い。狭い。道路がボコボコ。歩道や車道に雑草が生えて使えない所も。駅の周りの道路が狭い。桶川は好きなので、不安のない、綺麗な町になってほしいです。(施策 603、508、505/男性/40 歳～49 歳)
12. あと、防犯カメラの設置をして欲しい！（事故や犯人の情報になる為）。(女性/30 歳～39 歳)

施策406 交通安全対策の推進 (10 件)

1. 高齢者ドライバーが増えて来ているので子供達の通学路にガードレール等安全に歩ける歩道になってほしい。(女性/30 歳～39 歳)
2. 夜は道が暗く、移動時が安心できない（夜はバスも無く、タクシーも待ちの列が多い）。(女性/30 歳～39 歳)
3. 桶川西中学校周辺、交差点の事故が多い。調査し、市民の声を聞いて欲しい。(女性/40 歳～49 歳)
4. 道路等の整備は良いが、利用している市民の交通ルールを守らない等違反が多すぎるので、意識が変われば安全なまちになると思う。(男性/30 歳～39 歳)
5. 街灯が少ない。(男性/30 歳～39 歳)
6. 自転車や車などで移動している時、他の車や自転車がいろんな方向に行ったり、左右に曲がる時に見ない為、危険を感じることがあります。(男性/75 歳以上)
7. 街路灯が少なく道路が暗い。(男性/60 歳～64 歳)
8. べに花GOを利用した時、バス停近くに横断歩道や信号がない。そのため違法横断せざるを得ない。また、これに関わらず、街灯が少ない（川田谷など）道が多い事等、歩き、自転車のみの高齢者や子供の安全が著しく軽視されている。弱者目線の整備にお金を使ってほしい。(女性/50 歳～59 歳)
9. 朝日バスの上り天神バス停に設置してあるボロボロの椅子は使い物にならないのでプラスチック製（雨に濡れても大丈夫な物）に変えておいてほしいです。桶川加納インターができて新しく出来た道路に街灯を設置してほしい。場所は天神バス停から桶川団地に向かう所に一か所で良いのです。転倒した人もいます。若い女性は携帯電灯を照らし歩いている為。(女性/60 歳～64 歳)
10. 通学路の交差点、道路にガードレールやポールがあまりにも少なすぎる！！高齢者が多く、見ても運転が上手くない人が多い！！子供を守るために医療と共に重要だと思います。(男性/60 歳～64 歳)

施策407 安全な消費生活の確保 (0 件)

5. みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる【みどり・都市基盤】

施策501 良好な住環境の創出と保全 (21 件)

1. 空家や使用していない土地を売ってほしい。(女性/20 歳～29 歳)
2. 駅から徒歩圏内の住宅地に空家が多くあるのが勿体ないと思う。桶川は都内へ通勤できる距離にあり、若い家庭をもっと呼んで地域を活性化させてほしいです（空家問題はこれから年を経るごとに深刻化していく事は分かっているので、行政の後押しで早急に片づけて行って頂きたいです）。(女性/40 歳～49 歳)

8. 自由意見

3. 緑地と商業施設が共に形成される商業区域（地区）づくり。窮屈に造らず、ゆとりをもった設備。（四谷かどこかに造っているようなイメージのもの）（女性/40歳～49歳）
4. マンションや住宅が増えて、人口が増える事より、住みやすい町づくりに力を入れてほしい。（女性/60歳～64歳）
5. 畑や田んぼをつくる人がいなくて、そのままとか、草が生えない様にしている所の活用をしていく。（女性/65歳～69歳）
6. 人口増のための駅付近へのマンション建設。（男性/30歳～39歳）
7. ・安心して散歩が出来る市街地・気持ちよくサイクリングが出来る周辺地域・中山道沿線のリノベーション・子供のみえるまちづくり（男性/50歳～59歳）
8. 景観の良い街。電柱が地下など。（男性/70歳～74歳）
9. 主人の実家が川田谷にあります。最近では上尾道路が出来ました。せっかく大きな道路が出来たので、道路付近にショッピングモールがあると便利だと思います。川田谷の住民はほとんどが高齢者です。車や自転車などでベニバナウォークや日出谷のスギ薬局まで行かなければなりません。その負担を軽減するためにも買い物が出来る場所が必要だと思います。そうでなくても今は高齢者の事故が増えています。空家や土地もかなりあるので、空家は住めるように市が改善し、土地は家が建てられる様に農地転換などして川田谷に人口を増やすのは如何でしょうか？それから意外と高齢者もコインランドリーを使用しています。ショッピングモールにコインランドリー、入院可能な病院が出来れば、もっと充実した時間が過ごせるのではないかと考えます。どうぞご検討宜しくお願い致します。（女性/50歳～59歳）
10. 町に統一感を持たせる。若い人達が行きたくくなるような洋服店や飲食店を置く。マインを年齢毎で分ける（近代ゾーン、江戸ゾーンなど）。マインは中が綺麗になったので外も綺麗にしてほしい。西口公園も整備、市民ホールにもコンセプトを！！お風呂屋さん下さい。コインランドリーも。インターを降りてすぐあれば人が入るのではないのでしょうか。小野市長さんのおかげで随分良くなっていると思います。ありがとうございます。これからも宜しくお願いします。（施策 603/女性/50歳～59歳）
11. 開発地域にばかり力を入れず、高齢化して住む人が居なくなるであろう地域は下水道を整備し、近隣にコンパクトなスーパーを作り、自然もあり、住みよい地区にしていく事により、若い世代が定住し、過疎化を防げると思います。駅までの交通の便も更に充実させると良いかと（車なしでは生活出来ず）。駅前の商店街ももっと購買意欲の出る店を入れ、若い方が「桶川駅に降りて買物したい」街に。今の桶川は「高齢者の街」といったイメージです。（施策 502/女性/50歳～59歳）
12. J R の線路から東側の開発がされていない。工業団地だけでなく、商業施設など作ってもらえれば買物難民もなくなるはず。（施策 603/女性/50歳～59歳）
13. もう少し景気あふれる町がいいと思う。少し寂しい町になっている。（女性/75歳以上）
14. 子供から高齢者まで住みやすい環境、安心して暮らせる町づくりが大切だと考えます。（男性/20歳～29歳）
15. ベッドタウンとしての価値を高めることで発展する余地を見出せるので、交通、商業、保育園の充実と駅の充実が第一だと思う。（施策 502、603、302/男性/20歳～29歳）
16. 施設の整備が西口側に寄っている気がする。もっと広域にしないと不備を感じることもある。（男性/30歳～39歳）
17. 桶川市何もない町だけど交通の利便性が高く、通勤通学、空港、交通インフラ整備し、町のブラ

ンド化。住みやすく子供を育てやすい環境。助成金を増やして桶川市の人口を増やすべきだと思う。東は成田へ、西は八王子方面へ鉄道を作るべきだと思う。(男性/40歳～49歳)

18. 駅から離れたエリアではなく、駅周辺の利便性の高いエリアの住宅地の整備や利用規制の緩和を実施し、活性化する方が良いのではないかと。(男性/40歳～49歳)
19. 桶川市の西側、東側の計画的な発展を望みます。(男性/40歳～49歳)
20. ベニバナウォーク周辺にもっと病院や保育所、商業施設を誘致して活性化してほしい。(施策 301、302、603/男性/60歳～64歳)
21. 市役所の回りが発展しない。公共施設は今後発展する様な場所に作る事が市が発展する事につながる。(女性/65歳～69歳)

施策502 歩いて暮らせるまちの実現 (74件)

1. バスのルートを増やしてほしい(巡回バス逆回りがあったらと思う。坂田から駅まで時間がかかるので)。(女性/30歳～39歳)
2. 高齢者が増えるので公共機関の充実(車の免許返納も今後増えると思うので、身分証明になるようなツールの検討)。(女性/30歳～39歳)
3. コミュニティバスを増やす。例えば病院通いするようなバスの運行とか。(女性/30歳～39歳)
4. コミュニティバスに乗ってみたいけど機会がないので、市民無料デーなどで一度乗車しやすい「きっかけ」があるといいなと思っています。(女性/40歳～49歳)
5. 川田谷在住です。川田谷に住んでいると「歩いて暮らせるまちづくり」は理想であって、現実には程遠いと感じます。今後、高齢者が安心して暮らせるように、歩いて暮らせるようなまちづくりをして欲しいと切に願います。ですが、農業や自然等、確かに守っていかなくていけないこともあるので、その狭間で実現は難しいとは思いますが、少しでも両方を維持できるようなまちづくりを今後期待します。(施策 501/女性/40歳～49歳)
6. 川田谷地区の不便さがどうにかなったら良い。(女性/50歳～59歳)
7. 市内循環バスが、一方向だけでなく、両方向に運行してほしい。(女性/75歳以上)
8. 高齢化が進み、車の運転に不安を覚えます。高齢者の方々が車を使用しなくても用が足りる街作りをして頂きたいと考えています。(男性/30歳～39歳)
9. 調査項目にもあった歩ける範囲内で生活できる諸々の施設などの一層の充実を願っています。(男性/75歳以上)
10. 桶川駅東口の再開発。(女性/40歳～49歳)
11. 巡回バスの時間を遅くまでやって欲しい。(女性/40歳～49歳)
12. 泉一丁目は市役所もあり、桶川市の中心でありながら市内循環バスが通っていない。陸の孤島です。高齢化が進む中、もう少し考えて皆が快適な生活が出来るよう、要望します。(女性/75歳以上)
13. 桶川駅東口の再開発は有効なものにして欲しい。協働など、初めて知ったことも多く、他市と比べ、桶川市のいいところ、そうでないところの比較を意識したこともなかったので分からないまま回答したところです。(施策 101/女性/40歳～49歳)
14. 最近では桶川駅の整備が進んだりと改善が見られ嬉しく思います。しかし前ページでも述べたように特に東口の環境について不満を感じます。まず子供達が遊ぶ公園がないということ。南小跡地はありますが、遊具等全くなし。隅の方にでもいくつか遊具があればいいなと思ってしまいま

8. 自由意見

す。また東口すぐの商店街も古い機能していない建物ばかりで新しくなったと思えばまた駐輪場……。恥ずかしささえ感じてしまいます。昔からある和菓子系のお店があってもちょっとここなら……と思える洋菓子のお店等もなく、人をお迎えするのも、お出かけするのもこじやれたお店がなく、遠くまで買いに行く始末です。コーギーコーナーの様なお店でなく、「ここ美味しいのよ」とオススメできるようなお店や、ちょっと気分転換ができるオシャレなランチできる場等もできてほしいです。越してきてまず思ったのは、特に東口は街が死んでいる様に感じました。もっと活性化され、人通りが増える事を望みます。川越とまでは言いませんが、もっともっと魅力的な街になってほしいです。(施策 603/女性/30 歳～39 歳)

15. お年寄りに優しい街ではありますが、もう少し若者にも目を向けて頂きたいです。市内で服を買っている若者は0に等しいかと……。駅前ショッピングセンターが婦人服だらけで市外在住の友達に引かれました。東口駅前のロータリーも危険すぎます。立ち退きをお願いするのは大変かと思いますが、頑張ってください！(施策 603/男性/20 歳～29 歳)
16. もっと人が遊びに来れるように駅周辺の活性化に力を入れて欲しいです。(女性/18 歳～19 歳)
17. 桶川駅東口の活性化東口の駅前ロータリーが狭すぎる。また、駅前なのに活気が無さすぎるため桶川祇園祭りなどで駅から向かう他の市から来た人からの印象が悪くなってしまう。この件については早急に対処すべきだと思う。(女性/18 歳～19 歳)
18. 駅周辺の古い商店街について、時代の流れをくみ取り、土地の有効活用のためにも地域が団結し発展していくべき。(女性/20 歳～29 歳)
19. とにかく駅前整備を宜しくお願いします。(女性/20 歳～29 歳)
20. また、バスの停車場を増加させるか、バスの本数を増加して頂けると助かります。(女性/20 歳～29 歳)
21. 人口減少の社会とはいえ、桶川の市に住む方は増加してくると思うので、電車が止まる駅になれば良いと思います。あと、街灯が少なすぎるので、夜道危ないと思います。(施策 405/女性/20 歳～29 歳)
22. 駅直結施設を増やせたら…(女性/20 歳～29 歳)
23. 桶川北本の間に駅が欲しい…いま一度協議していただきたい(女性/20 歳～29 歳)
24. もっと東口の歩道や公園を整備してほしい。また少し時間をつぶしたり、待ち合わせ、買い足しの出来る店がないのももっとカフェ、コンビニ、ファミリーレストラン、昔ながらのパン屋や花屋などあったら賑わうのではないかなと思う。電車で桶川で降りる人はすごく多いのに駅に人が残らなさすぎなのではないかなと思う。(女性/30 歳～39 歳)
25. 東口駅周辺整備強化。(女性/30 歳～39 歳)
26. 桶川駅西口のイルミネーションをより綺麗に華やかにする。(女性/30 歳～39 歳)
27. 西口、日出谷周辺、坂田の開発でとても住みやすそうなので、是非東口の開発にも力を入れて頂きたいです。駅前の開発楽しみにしています！！道が狭く、とても怖い思いをしたことがあるので、車と人と、バスが心地よく通れる道路を期待しています！(女性/30 歳～39 歳)
28. 駅まで遠く不便なため、ニューシャトルが鴻巣方面まで延びて欲しい。バス停も遠い。(女性/30 歳～39 歳)
29. 東口はちょっと残念なので、思い切って大きなショッピングモールにするか、桶川宿の再現するなどして、観光に力をいれるか。(女性/30 歳～39 歳)
30. 高崎線が機能しないと、動きがとれなくなり不便。しかし、羽田空港へのバスが増えてから、旅

行も増え楽しい時間が増えた。(女性/30 歳～39 歳)

31. J R が運休すると通勤、通学する手段が無い。桶川駅→上尾駅や大宮駅、他の路線への振替ができるような手段の検討。(女性/30 歳～39 歳)
32. デマンドバスの運行があると嬉しいです。(女性/30 歳～39 歳)
33. 自宅の最寄りのバス停からどのバスに乗れば駅に最短でいけるのか？逆もあり、駅から自宅の最寄りのバス停へは最短のルートはどのバスで料金がいくらかかるのか？が、わかりにくいので、利用していない。バスの種類が多すぎる。東循環とか西循環とか書かれても地域の名前でははっきりいって知らない。(女性/40 歳～49 歳)
34. これから（自分も）高齢者になっていく上で、自分のことは自力で出来ることが大切だと思います。仕事や日常生活での病院や買物。（高齢ドライバーが問題になるように）バスやタクシーなど自力で行ける事によって体力維持、コミュニケーションなど元気に生きていく上で大事なことだと思います。足腰の為に家にも閉じ籠らず、日常の生活が送れる様に移動手段となる安全な乗り物に力を入れて頂きたいです。まずは循環バスの増便を検討して頂けないでしょうか？せめて東西循環外内回りも 1 時間に 1 本に増やしてほしいです。もしくは川田谷地区一駅一加納地区の便など新たな路線も考えて頂きたいです（もちろん区間途中の停留所も設けて）。(女性/40 歳～49 歳)
35. 駅、幹線道路周辺に大きな商業施設を増やし、郊外には自然に触れ合える場所を沢山増やし、市外から訪れる人が増える市になればいいと思います。(施策 603、507 女性/40 歳～49 歳)
36. 100 円バスをもっと便利にして下さい（夜遅くに女性や学生が、安心して家に帰れる様に）。(女性/40 歳～49 歳)
37. とにかく東口駅周辺の道が狭くて使いづらいです。中山道も狭いし、車で行きにくい上に駐車場も高い、自転車も駐輪場も少ないし、よく分からないので整備して欲しい。(女性/40 歳～49 歳)
38. 駅東口の送迎場ですが、駅に近い所が入口なので、先頭の車が駅から遠のいていくようなので、車が移動しても前に進めない車がいるのがとても目立ちます。先頭の車が駅に近づくようにすると、前の車が移動した時に次の車が前に進んでいくと思います。また、雨の日は送迎場の台数が少なくとても混んでいます。もう少し使いやすくなるととても助かります。(女性/50 歳～59 歳)
39. 桶川駅周辺の活性化（東口）。(女性/50 歳～59 歳)
40. 桶川駅東口を明るい駅、活気ある駅になればいいなと思います。駅は桶川市の玄関口なので、そこから明るくして行けたらと思います。具体的でなくてすみません。(女性/50 歳～59 歳)
41. ・駅周辺をどうにかしてほしい（東口）。お店も食べておいしい所もない。・バスが少ない。・駅の周りから見て、ここに住みたいと思えるといいですね……。・大きい病院も少なく、老後心配。何かあるといいです。・折角のベニバナウォークも残念になってきている。・桶川のアピールできる場所は何ですか？・ずっとこんなことを言っていて、進歩がみられません。一応貧乏ですが、税金払っています。市民税払っています。桶川に住んで良かったと思いたいです。(女性/50 歳～59 歳)
42. 上尾駅は駐輪場がとても少なくとても不便だと私は思いますが、桶川は駅前に駐輪場があり、とても便利で良いと思います。(女性/50 歳～59 歳)
43. 駅を中心に交通、商業などにぎわいのある街づくりをしてほしい。今の桶川は 10 年前とあまり変わらない。上尾や北本は変化があるのに、変わらない桶川は住みやすいが、桶川市内でお金を使う人が減っていくことになる。他人に品物をあげたい時に桶川では買う場所がない。(施策 603/

8. 自由意見

女性/50 歳～59 歳)

44. 駅から直結しているマインの通路に屋根があると雨の日などロータリーが車で混雑するのでマインの駐車場が 1 時間無料なので利用者が増えスーパーの収益が上がるので良くなると思います。
(女性/50 歳～59 歳)
45. 西口に住んでいるので、駅からベニバナウォークまでバスが利用出来たら良いと思う。(女性/50 歳～59 歳)
46. 駅東口の開発。(女性/50 歳～59 歳)
47. 駅の東口の開発を進めて、駅前を整備してほしい。(女性/60 歳～64 歳)
48. 駅東口の活性化、中山道の整備。(女性/60 歳～64 歳)
49. 東口商店街の充実。(女性/60 歳～64 歳)
50. 桶川東口、中山道の開発。(女性/65 歳～69 歳)
51. 鉄道網がもっと発展すると人口も増え、大型商業施設が出来たら街も同時に発展すると思う。(女性/65 歳～69 歳)
52. どこの地域からも利用し易い交通手段を。(女性/70 歳～74 歳)
53. 駅前開発や中山道の整備を一刻も早く！！あと何年かかるのですか？(高齢化が進み、昔の人が少なくなっている中、新しい桶川市を見ずに消えていくのが淋しい・・・)。(女性/70 歳～74 歳)
54. 浦和駅前のパルコの 9 階、10 階など会議ができる場所は研修会や小グループの話し合い活動には大変便利です。桶川市も駅に近い所で無料で活動できる場所が必要に思われます。東口もこれから発展させるためには何か大きな商業施設の中にパルコの 9 階のようなコミュニティがとれる場所が考慮されると良いと思います。(女性/75 歳以上)
55. 西口からベニバナ号のコースが変わってしまい不便を感じています。西口～北上尾～上尾と定期バスが通ったら助かるのですが。勝手すぎますか？(女性/75 歳以上)
56. 駅東口の整備を早くすべきだと思う。元南小の跡地がいつまでも空地ではせっかくの駅近の土地がもったいないので、マンション等を建設して新規住民を増やすなどすべきだろう。高崎線沿線で東口と西口にここまで格差のある自治体はないと思う。(男性/18 歳～19 歳)
57. 夜遅くまで働く人のために、バスを 11 時～12 時台にも走らせていただけると幸いです。(男性/20 歳～29 歳)
58. 桶川駅東口の開発をすすめて欲しいです。道路渋滞を無くしてほしいです。(男性/30 歳～39 歳)
59. 鉄道路線の拡充をした方が良いと思う。(男性/30 歳～39 歳)
60. 駅の東口をはやく再開発して欲しい。駅前がそのような状態の街は高崎線沿線でもなかなかない。桶川に住んでいるというのがはずかしくて言えないし、初めて来た人はどうしたんだこの街と感じると思う。(男性/30 歳～39 歳)
61. 駅前周辺の活性化。(男性/30 歳～39 歳)
62. 桶川駅東口駅前近辺の印象からか、高齢者の街というイメージが強いです。「駅前」はその街の顔だと思いますので、東口駅前を改修し、新たな商業施設やオフィスなどを誘致、建設し、現役世代や若者、子供たちにとっても平日、休日共に寄りたくなる中心街になる事を望みます。(男性/40 歳～49 歳)
63. 駅東口、旧桶川南小を含めた再開発。使われていない土地(荒れ地)の有効活用。大型バス→コミュニティバスに切り替えて増発。(男性/50 歳～59 歳)
64. 桶川駅前の広場を広げてもっと車が一時停車できるようにしてもらいたい。駅への送迎で車を利

用する人が多くなっている。駅前の広場は早く整備すべきである。そうすれば多くの人たちが車を利用して駅へ送迎できる。一日でも早い対応をお願いしたい（駅を利用しやすくなればもっと住みよい街になると思う）。（男性/50 歳～59 歳）

65. 駅東側の街づくり（道路整備、南小跡地整備など）を進め、魅力のある街にならないといけないと思う。（男性/60 歳～64 歳）
66. 桶川駅東口の町づくり。（男性/70 歳～74 歳）
67. 住みよい街として浦和大宮が人気が出て来ました。最近川口も人気。それは中心が区画整理されてきたからだと思います。高崎沿線も桶川～東京一直線で駅西東の区画整理を最優先して始めればまず東口始めて下さい。（男性/75 歳以上）
68. 歴史ある桶川が上尾と比較し開発が遅れています。駅前開発早く実施し、誰がみても魅力的だとすべきです。（男性/75 歳以上）
69. 東口の区画整理や中山道の整備が非常に遅れている様に思います。何故でしょうか？行政に携わる人達がサラリーマン化しているのでは？北本市、鴻巣市の東口を参考にされては。例えばですけど商店街の人達の考え方も古いので大変だと思いますが頑張ってください。好きです桶川！（男性/75 歳以上）
70. 駅東口の開発に何年過ぎてますか。ますます町全体、特に中山道が廃れ、上尾、北本に差がつき、廃れていく。少し強硬にしては？道の駅は反対です。市民の大半が結果的に栄えないと言っています。市民の声を一度聞いて下さい。（男性/75 歳以上）
71. 今までの項目中に時々書いていますが、1. 東口の改造で商業、観光センター的ビルを造って下さい。2. このビルの中に安く良い飲食店を入れる様に（西口のマインの中に以前ありましたが、皆飲食は家賃が高くてやめたそうです）そうならない様に市で支援して人が集まる様にして下さい。（男性/75 歳以上）
72. 駅の新設（桶川駅と北本駅の間に新駅を設置すること）。（男性/75 歳以上）
73. 桶川市も参画して、北本駅と桶川駅の間に新駅を作ってほしかった。土地利用が進まない桶川駅よりも新駅を充実させて、桶川市民を増やしてほしかった。（男性/75 歳以上）
74. コミュニティセンター前にポストをお願い致します（坂田地区）。コミュニティセンター内で住民票、印鑑証明等が取れる様に！支所を希望。（女性/70 歳～74 歳）

施策503 魅力あるまちづくりへの新たな取組 （15件）

1. 生まれ育って見慣れた桶川市の街並みの変化に少し寂しさはありますが、より住みやすく、賑わう街になればと思っています。（女性/18 歳～19 歳）
2. 上尾道路周辺の活性化。何もなさすぎる。（女性/30 歳～39 歳）
3. 草ボウボウの荒れている大きな土地、何か利用する方法はないのでしょうか。夜自転車で通るのが怖いです。映画館等があると良いです。バス（ベニバナ号）もう少し本数増えないかな。通勤するのに不便です。北本の駅出来ていればもう少し住みよかったと思います。（施策 502/女性/40 歳～49 歳）
4. せっかく桶川北本の高速があるのに企業誘致が下手。周りにインター近くには企業が沢山ある。川田谷は畑ばかりで何もしていなく雑草ばかり生えている土地が多すぎ。土地があるのに農地指定だかなんかがあるから建物は建てられないと聞いた事がある。このままでは桶川北本インター近くに何もできない。道の駅が出来るとは聞いているが、果たしてどうなのか？普段生活してい

8. 自由意見

くにはもっとスーパー等ができるようにしてほしい。特に桶川北本インター近く。本当に不便すぎる。何とかしてほしい。(女性/40 歳～49 歳)

5. インターチェンジ周辺を開発して人口を増やす。(女性/40 歳～49 歳)
6. 荒川に面した地域として治水を進める一方で、都市近郊の緑の多い地域としていたずらに都市化を図るのではなく、緑のあふれる市としての特色を持たせていく方向に力を入れるべきではないかと思う。圏央道ができたので陸路での他県からのアクセスもしやすくなったので、何か特色が必要だと思う。(女性/50 歳～59 歳)
7. 川田谷地区居住なので市街化調整区域をもう少し緩やかにし、新しい人達が気軽に転入出来る様になると良いと思います。車所有がほとんどなので、生活できると思います。欲を言えば大型商業施設か工場が増えると交通の便が不便でも生活できるのではないのでしょうか？交通の便が良くなればなお良いのですが・・・。(女性/65 歳～69 歳)
8. 川田谷地区は、圏央道、上尾道路周辺を開発し、雇用が出来る建物、例えば倉庫、流通関係のもの等と呼び発展活性化する事を望みます。また、農地を住宅に、人口を増やす事も必要ではないかと思います。(女性/70 歳～74 歳)
9. 中山道にある古民家をリノベーションして活用。若手のショップとして利用。宿として海外からの旅行者を呼び寄せる。都内から 1 時間程の利便性はよい。鉄道でも 1 本で来れる。高速も 2 か所 I C があり、直通で来れる。茨城空港との交通網の充実。国内外への行き来が鍵。海外からの旅行者が増えると外貨が流入し、経済の潤い、雇用の安定が町を活性化させる。10 年構想を今からすれば、ミドル層の活躍の場ができる。海外交流がなければ、発展は厳しいと思う。(男性/40 歳～49 歳)
10. 駅前に空地进行をさんざん作ってからこんなアンケートを取る事はどうかと思う。計画が無いなら古い町並みを残す方がよい。(男性/60 歳～64 歳)
11. 桶川インター付近の開発。大型スーパーショッピングモールの誘致、公共施設等、土地利用を考えて桶川市の発展に努めてもらいたい。(施策 501/男性/60 歳～64 歳)
12. 全体的に戦後の古い風景というのが桶川の第一印象です。ですが、市役所の方や、保育所、小学校、中学校等々、働いている方と触れ合うと優しくて素敵な方が多いのと、物価が安定しているところが住み続ける動機になっています。道路や排水路のまわりの危険な場所を減らしていければ、もっと住み易く、安全になると思います。(小さい子が落ちそうな場所が多いです。)(施策 505、508/女性/40 歳～49 歳)
13. 町並の景観や建物、桶川を代表できる物ができるといいなと思います。(男性/20 歳～29 歳)
14. 中山道や歴史のある建物や景観を大事にしながら街の景観を近代的に。(男性/30 歳～39 歳)
15. 中山道宿場町の歴史を生かした景観づくりと町づくりの推進。(男性/65 歳～69 歳)

施策504 都市計画道路の整備 (31件)

1. 道路ばかり作っていると人が通り抜けるだけの宮原みたいな場所になってしまいます。その昔秩父が発展したのは行き止まりの場所だったからとも言われています。市などの行政は道路によって人がたまる地域にすることもできる力があります。ザルにならないように計画して頂きたいと願っています。(施策 501/女性/40 歳～49 歳)
2. 桶川駅東口、駅前通り、中山道の整備と商業施設の充実。(施策 603/男性/70 歳～74 歳)
3. 東口駅前通りの迅速な整備拡充。駅前の通りなのに道路 1 車線でバス同士が上下行き交うことが

できない現状。この1本の道路を歩行者、自転車、駅へ向かう車、駅を背に進む車、危険この上ないシャッター街。上尾、北上尾／北本に挟まれ一番整備遅れている。地域に人や企業を呼び込むにはこの東口整備は避けてはいけないのではないかと。古くより寺から土地を借り受け、今休眠している家々、ある程度思い切った施策をもって、人が行き交う街づくり、西口だけではない駅前通りの整備を防災面も含めて期待します。(女性/50歳～59歳)

4. 桶川駅の東口のロータリーを整備すべき。自転車に乗っていると車とぶつかりそうになって危ないことが何度もあった。(女性/20歳～29歳)
5. 17号の整備を早くして欲しい！！(女性/30歳～39歳)
6. 東口駅前の道路をなんとかして欲しいです。道が狭く、子供と歩くと危険です。ベビーカーでも、通りづらく、バスのロータリーの所は、どこが歩道なのかすらわかりません。(女性/30歳～39歳)
7. 川田谷から駅に向かう道の冠水。道を直したのにいまだに冠水する。毎回取り残された気分になる。直したにも関わらず、すぐに冠水。お金の無駄な気がします。12号線はメイン道路だと思うので、冠水しない対策して欲しいです。(女性/40歳～49歳)
8. 大雨、台風、大雪の雪解け水で県道12号が通れなくなるのが困ります。(女性/40歳～49歳)
9. 桶川駅東口が寂れてきている。夜、駅から17号まで歩く際、不安である。女性が安心して歩ける街づくりをお願いしたい。(女性/50歳～59歳)
10. 桶川駅東口付近の道路の整備を早急に進めて欲しいです。(女性/50歳～59歳)
11. 中仙道の道路の拡張や歩道の整備を進めて安全に通行出来るようにしてほしい。住宅地に街灯も少なく危険。(施策405/女性/50歳～59歳)
12. べにばな老人ホームより北の信号交差点下デコボコが酷いのでアスファルト工事をお願い致します。特に大型車が通ると家が揺れるなど区長にも話が。また、議員さん2名ともお願いしているとかですがなかなかですね！（工業団地の大型車両が通行するため）。(女性/70歳～74歳)
13. 都市計画税をまちづくりに使って下さい。駅東口駅前（広場）と道路の拡張整備の早期解決。全体に道路が狭いです。是非意見をまちづくりに生かして下さい。(女性/75歳以上)
14. 桶川駅東口から中山道にかけての道が狭く自転車が通りにくい。(男性/20歳～29歳)
15. 駅前が早く綺麗になり子供が安全に歩ける様に道路と歩道が分かれ広くなるといいと思います。(男性/30歳～39歳)
16. 17号まで出る道が狭い自転車と車の距離が近いのでなんとかするべき。あと東口にロータリーを作る桶川を発展させるのなら駅前を充実させるべき正直言って田舎の駅と変わらない。むしろひどい駅前なんてマンションと駐輪場しかない帰宅時にどっか寄ろうなんて気が起きないし今住んでるところなんて近場にスーパーがあるぐらいで後は何も無い。自転車で駅まで行ってるので桶川で呑んだ事は一度も無い全てが中途半端な印象。(男性/30歳～39歳)
17. 県道が通行止めにならないようにしてほしい。(男性/40歳～49歳)
18. あと送迎で車両の通行が多いので、再開発が終わるまで、一方通行に出来ないのか検討してほしい。(男性/50歳～59歳)
19. 旧一二三屋食堂跡交差点の駅ー川田谷方面が渋滞する。右折を作してほしい。市民の提案に早く対応してほしい。事故がおきてからでは遅い。(男性/75歳以上)
20. 上尾市、北本市、隣接の行政の執行と比較して非常に道路整備が遅れている。特に東口の開発。必要に応じて土地収用事業も要する事を真剣に考えるべきである。(男性/75歳以上)
21. 桶川東口の整備、中山道をもう少し広く。シャッター通りと言われているが、人が集い、賑わい

8. 自由意見

のある道路商店に改善してほしい。(施策 502/男性/75 歳以上)

22. 早く東口の道路を広げて下さい。(男性/75 歳以上)
23. 駅前通りの整備、中山道の活性化、南小跡の整備を希望しますが、具体的にどうすればよいか提案できません。残念ですが・・・。(施策 502/女性/75 歳以上)
24. 駅前（東口）の道路を拓けてほしい。(女性/20 歳～29 歳)
25. 桶川駅東口にもエレベーターができたこと、とても嬉しく思っています。西口みたいに、東口も子供と手をつないで歩ける広い歩道を早く作って頂けると大変ありがたいです。(女性/30 歳～39 歳)
26. 桶川東口駅前の道路が狭く、通学、通勤にとっても不便。駅前のお店たち、いりません。早く道路を整備して下さい。大多数の人々の不満を早く解消して下さい。(女性/40 歳～49 歳)
27. 桶川駅ロータリーの整備。(男性/20 歳～29 歳)
28. 桶川駅ロータリー（東口、西口共に）の整備が他市に比べ水準が低いと思う。ロータリーの整備が進めば久喜方面、伊奈方面、川島方面、吉見方面からの利用者也増えて環境が良くなると思う。(男性/40 歳～49 歳)
29. 東口のロータリーを早く完成させてください。(男性/40 歳～49 歳)
30. 東側の道路拡張を早めに。駅周辺を離れると飲食店が不足。(男性/70 歳～74 歳)
31. 駅周辺の道路など整備されてきているのですが、歩道に低い場所や窪みが多く、雨で大きな水たまりが出来て靴がビチャビチャになるのが困ります。水たまりを避けるにはどうしても車道に出なければならぬので危ないです。駅前の通りは道が狭いのに路駐の車が多く、邪魔です。駅前にできたお迎え用の？車のロータリーのようなところは、車には便利でしょうが、ずっと車がグルグル出入りしていて、特に夜は危ないですし、待ってる車が並んでるのも道を狭めて邪魔です。(女性/20 歳～29 歳)

施策505 生活道路の整備・改善 (24件)

1. 稲荷通りの道が狭いので自転車でも安全に通れる様にして頂きたいです。(女性/18 歳～19 歳)
2. 滝の宮の所が雨が降るたびに水が溢れて通行止めになってしまうので、土地を高くしたり、水が道路のほうに入ってこないように早急に整備してほしい。(女性/20 歳～29 歳)
3. 駅周辺の道路の状態が悪い（タイルがボコボコで歩きにくい、垣根と街灯の少なさのせいで夜は足元が暗くて全く見えない）。駅が綺麗になったり、東口にもエレベーターが出来たのは嬉しい。マインへつながるデッキがあるのに、車椅子やベビーカーは、マイン 2 階入り口部分に階段があって、遠回りしなくてはいけないので、スロープを設置してほしい。(施策 307/女性/30 歳～39 歳)
4. お年寄りや子どもが歩道を歩いているのを見ると危ないと感じるので拡張をした方がいいと思う。(女性/30 歳～39 歳)
5. 自転車専用道路ができて安心して自転車にのれる道路。(女性/30 歳～39 歳)
6. 歩道が狭い所があり、事故がいつも不安。桶川の安心安全課からメールが来るのは無線が聞こえにくいので有難い。同様にもっと情報があるとよい。紙媒体のものはなかなか見ない。(施策 703/女性/30 歳～39 歳)
7. 歩きたくなるような歩道の整備。自転車のマナーが悪すぎるので、完全分離。歩道と自転車専用の道を話題になるくらい大胆に整備。緑がたくさんで安全に歩けば魅力充分。(女性/30 歳～39 歳)

歳)

8. とにかく車の往来のある道路なのに狭い、一方通行が多い。車でも自転車でも徒歩でも行動しにくい。駅の東側、西側に自転車で行き来するのが大変。長久保踏切は利用者も多く、ご年配の方は後ろの自転車や車に煽られていて見ていて怖いです。ベニバナ陸橋の自転車の通路は上りも下りも急で、途中で休んでいる方、下りで自転車にひっぱられ転ばれている方がいます。マルサンの裏の方の踏切はぐるっと回らないといけません。ベニバナ陸橋の下のところを人と自転車だけ通れると東側、西側の行き来が楽になり、子育て中のママ達やご年配の方の行動範囲も広がり、桶川が少し活性すると思います。(女性/40歳～49歳)
9. 上尾市が行ったような車道に自転車専用レーンを作るとは、桶川市にはやめて欲しいです。毎日自転車を利用していますが、車道を飛ばす車が多いため、車道を通るのはとても怖いです。(女性/40歳～49歳)
10. 小中学校通学路周辺の歩道整備。(女性/60歳～64歳)
11. 自転車道路を整備してほしい。(女性/75歳以上)
12. 市街地は道路整備され道幅も広いが、街内地を整備してほしい。(女性/75歳以上)
13. 花水木の下の花壇の草刈ですが、枠のある中だけしか草刈をしていません。草がほけていてもそのままです。周りの草も刈っていただけないのでしょうか。自転車で通る時困ります。溝石の周りに草が生えていても残っています。(女性/75歳以上)
14. 近所の道路がでこぼこしているなど、10年ほど前から変わっていなかったりと、もう少し道路の整備に力を入れてもいいのかなと思います。(男性/18歳～19歳)
15. 道路のひびがひどい。(男性/20歳～29歳)
16. 対向車が来たらバックして戻らないといけない道は大変なので、わんぱく村の横の道を広くして欲しいです。(男性/20歳～29歳)
17. 日出谷小学校前のカーブの道が歩行者にとってあぶない。(男性/30歳～39歳)
18. 一部の渋滞を対策してほしい。(男性/40歳～49歳)
19. 旧一二三屋食堂近くの道を一方通行にして欲しい。自動車が飛び出してきて自転車乗っている時危うくひかれそうになったことが数回あった。(男性/60歳～64歳)
20. 高齢者や子ども、障害者が歩く道(歩道)が少ないように感じる。凹凸や雨が降ったら水たまりが出来る歩道があるのが気になる。歩道が狭いのもすれ違いするのに衝突しないようにしてほしい。空家があるの危険と思う。(施策501/男性/70歳～74歳)
21. 人の歩く通路が広いこと。(男性/75歳以上)
22. 家族が安心して散歩や街探索が出来る街。歩道等の整備。(男性/50歳～59歳)
23. 横移動の手段が少ない。また、道路が狭い。散歩道を含めて整備する。(男性/70歳～74歳)
24. 市役所へのアクセス路の歩道が狭く、庁舎の入口が極めて分かりづらい。市の施設へのアクセス路が全般的に狭く、また案内標識も出ていないため分かりづらい。(男性/40歳～49歳)

施策506 憩いの自然空間の保全と活用 (10件)

1. 桶川市で生まれ育ちましたが、とても良い町だと思っております。桶川に帰ってくるととても安心するので、今のあたたかい景観を守りつつ、商業施設などが増えると良いと思います。広い公園がたくさんあるところも良いです。(女性/20歳～29歳)
2. 雑木林が点在していて、動植物のすみかとなっているにもかかわらず、氷川神社横の木々がいき

8. 自由意見

なり切られ、必要性の低い道路が作られていて、環境への配慮を欠くとともに税の無駄遣いと感じた。その景色を楽しみに散歩していたのに本当に残念である。北本市のように、地域のポケット的な雑木林を伐るのではなく手入れをし、身近に小さな林（緑）のある町、鳥や動物と共存できる。目立たないが自然と仲良くできる町であってほしい。地元の農産物も多く、地産地消もできるので、小さくても心豊かに住める町であってほしい。（女性/40歳～49歳）

3. 高齢化社会に向けてウォーキングなどができる整備された公園やべに花ウォークの屋上など庭園にするなど空いているスペースを利用すると良いと思います。（施策 507/女性/50歳～59歳）
4. 桶川に住まわせていただいて、もう30年以上になります。家の前は草地が広がり、向こうを見れば樹々が繁っていました。今でも6月頃になると郭公が鳴く素敵な所だと思います。近年、草地はなくなり家が建ち、樹々も切られつつあります。蝉が鳴き、雉が鳴き、小鳥達が庭に遊びに来ます。この前は猪も見ました。鼯も時々見かけます。人間だけでなく、緑が生き、様々な生き物が暮らしていけることが大事だと思います。箱物は要りません。その中で運動もしたくありません。自然な環境が有難いです。西中の前の工事の堀には様々な鳥が来て遊んでいます。ビオトープみたいでいいと思いますが、完成形はどうなるのでしょうか。せめて、遊んでいる鴨が追い出されないことを祈っています。（女性/70歳～74歳）
5. 荒川河川敷等の利用（公園等）。圏央道、桶川ICに道の駅を作る。（男性/50歳～59歳）
6. 荒川沿いの河川を利用したリクレーション場整備。釣り場、マリンスポーツ（カヌー、ボート等）、アウトドア。（施策 204/男性/65歳～69歳）
7. 夜景やビル街などではなく、自然の景観こそが人が美しいと感じる原点の風景であって、同時に頂点であるということをもっと市民の方々に分かってほしい。（男性/20歳～29歳）
8. 自然を大切に。また、農業支援の充実化。（施策 601/女性/60歳～64歳）
9. 圏央道によって多くの緑が失われました。駅東口の古い町並みもなくなる見込みですが、こうした地域資源を守っていくことも大切と考えます。これからは雑木林などの自然や農業体験を活用した観光が市の魅力となると思います。自然が豊かで環境に配慮している町を若い人達は選ぶようになると思うので、ハードの整備よりこうしたことに力を入れることが流入人口を増加させます。（男性/60歳～64歳）
10. 桶川市内には以前は雑木林がいっぱいあり、その先に富士山や秩父連山が見えて、それが武蔵野の風景と思ってしていました。今はそういう場所がなくなりつつあります。昔からあって良いものは残してもらいたいと思います。乱筆で失礼します。（男性/75歳以上）

施策507 みどり空間の創出 （16件）

1. 都内から電車で桶川までのアクセスは昔より全然良くなっていますが、駅周辺は全く変わらないのでもっと駅を綺麗にしたり、駅前公園を全面芝にして明るく若い親子や老人などが安心して過ごせる公園にしてみたらどうでしょうか。最近ではペットを連れて散歩する人も多いので、ペットも散歩できるゾーンもあればとても嬉しいと思います。（女性/50歳～59歳）
2. 公園が多い。緑が多い。（男性/70歳～74歳）
3. 南小跡地を緑の多い憩いの場所に残してほしいと思います。（男性/75歳以上）
4. 子供を連れて暮らしていると、温かい言葉をたくさんかけてくれる。温かい街だなあと感じています。ここで子供が安心して大きくなっていけるよう、更に人が増え、店も増えながらも、今ある公園や自然が守られていくことを願います。街灯があと少し増えて欲しいです。（施策 405/女性

/30 歳～39 歳)

5. 北浜こども冒険広場(品川区)のような場所、若者が運動で遊べる場所(トランポランドなど)(女性/18 歳～19 歳)
6. 加納地区に公園を増やして欲しい…(女性/20 歳～29 歳)
7. 駅前東口の寿広場に子供が遊べるブランコや滑り台のある公園や森を作ってほしいです。(女性/30 歳～39 歳)
8. 公園が多くあるのに子供の姿がほとんどありません。遊具、ベンチなども古くどんよりした雰囲気です。もう少し明るい雰囲気になると嬉しいです。産後 3 か月頃までは体、精神的にも大変な時期なので赤ちゃんとも母親が利用できる産後ケア利用施設があると嬉しいです。(深谷市の産後ケア事業がとてもいいと思います。)(施策 302/女性/30 歳～39 歳)
9. わんぱく村の再開発をしてみたいかでしょうか。駐車場が狭い、遊具が汚いので行く気にならない。(女性/30 歳～39 歳)
10. 子供が下校してから遊ぶような普通の公園が欲しい。桶川に引っ越してから公園の少なさに驚いた。徒歩で行ける公園が西口公園しかない。子供が自転車を練習したり、縄跳びをしたり、鬼ごっこをしたり、外遊びが気軽に出来る様に、何 km おきなど、偏らずに公園を作ってほしい。(女性/40 歳～49 歳)
11. 西口公園の遊具がさらに増えて子供達がもっと楽しめる公園に変わるといいなと思っています。(女性/40 歳～49 歳)
12. 公園の遊具が老朽化してそのままだったり、撤去したまま何もない状態なのに困っています。わんぱく村や坂田原公園など。(女性/40 歳～49 歳)
13. 小さい子供が遊べるような公園が少ない様に思う(最近の新しい住宅地にはあるが、昔からの住宅地にはなく、子供を遊ばせるのに遠いので大きくなくても良いので公園がほしいです。)(女性/60 歳～64 歳)
14. 人工芝がある公園が欲しい。(男性/30 歳～39 歳)
15. 北 2 丁目に住んでおりますが、とにかく公園・広場が少ない。子供が伸び伸び遊べる環境作りを早急をお願いします。(男性/40 歳～49 歳)
16. 子供が遊べる公園、雑木林、河川の保存をすすめる。(施策 506/男性/60 歳～64 歳)

施策508 治水対策の推進 (4 件)

1. 近所に大雨やゲリラ豪雨があると冠水する道路があります。今後の温暖化による大雨等の増加を考えると、早々に対策をして欲しいです。被害地域が拡大される前に縮小して下さい。(女性/30 歳～39 歳)
2. 江川周辺の整備をきちんとして欲しい。水害の不安がある。(女性/40 歳～49 歳)
3. 江川付近の治水対策。(女性/65 歳～69 歳)
4. 幸い、桶川市は(一部を除く)自然災害に遭遇していないが、昨今の異常気候変動を見る時、従来の降雨量の数倍の雨が降っていた場合に市内及び住宅街が河川の氾濫により甚大な被害が想定されないか心配である。防災マップの見直し、一層の災害対策が必要であると考えます。(施策 404/男性/75 歳以上)

8. 自由意見

6. にぎわいと活力ある桶川をつくる【産業】

施策601 農業の振興 (4件)

1. オーガニック農業をさかんにする。自給自足の農業。自然と一体化した未来の子供たちに安全な町作り。(女性/40歳～49歳)
2. 元からある農業を大切にしたい地域アピール。(女性/50歳～59歳)
3. 中山道等で毎週日曜日(AM)朝市?を開催し活性化をはかる。(女性/65歳～69歳)
4. 農地の地権者は雑草地にしないで有効に活用して欲しい。(女性/75歳以上)

施策602 工業の振興 (11件)

1. 企業誘致(女性/50歳～59歳)
2. グリコ第二工場の誘致。(女性/50歳～59歳)
3. 圏央道を利点とした、民間の物流拠点(ハブ)の誘致巨大倉庫を圏央道からアクセスがよい場所に設置し、海上コンテナの40ftトレーラが難なく出入りできる道路環境の構築物が動くことによる、雇用の創出(男性/20歳～29歳)
4. 郊外への企業誘致。(男性/30歳～39歳)
5. 企業誘致の強化、市の発展のために地元企業にこだわらない企業との協業を強化すべきだと思う。特にネットに関係する企業との協業が必要だと思う。(男性/40歳～49歳)
6. 市内に2つあるインターを活用した工業団地や集積施設の拡大。(男性/65歳～69歳)
7. 工業など産業活動を活発にして、そこで働く人口を増加すること。何はともあれ人口減少が一番悪いことだと思います。(男性/75歳以上)
8. 優良企業の誘致を実現してもらいたい。(男性/75歳以上)
9. ・桶川市にしかない商品、製品等を作り出す。・鹿児島県のある町では地元で採れる果実(ゆずに似たもの)により、まんじゅう、ケーキを作り、これが一日3,000～5,000個売れて、市内だけでなく県外市内外の人が買いに訪れて町はみんなそのおかげで豊かな暮らしをしている。・岡山県真庭市は生ごみで肥料を作り農業に役立てる。森林があるので未利用木材でバイオマス発電→売電する。・北海道の鹿追町は牛の糞をメタンガスにして肥料も作り、発電して売電する。その余熱を使ってチョウザメを養殖してキャビア、マンゴーを作っている。水素を製造して燃料電池車1台分の水素を作り出している。・桶川市は資源はないが、地域全体で知恵を出して特許により桶川市にしかない製品、商品、食品を作り出す事をする。・市全体に特許を募り、特許の町にする(子供～大人)。・AI化を推進する。企業民間と合同で行う。補助金で支援する。(男性/75歳以上)
10. また、圏央道のインターが市内に2か所もあり、スペースもあるのに、商業化及び工業化が進んでいないと感じる。税収アップと財政安定化のためにも道路の整備とともに誘致をお願いしたい。(男性/75歳以上)
11. 人口流入を考えると仕事がある、仕事の場所から近いことが重要。公的施設より民間事業の招致を。(女性/50歳～59歳)

施策603 商業の振興 (38件)

1. 大きなショッピングモールや商業施設を作り、人を多く呼び、夜でも道が明るく、安全な町にしてほしい。(施策405/女性/40歳～49歳)
2. 商業施設の誘致を推進し、高齢者等の交通手段を充実させる。(施策503/男性/40歳～49歳)

3. 映画館が欲しいです。(女性/18 歳～19 歳)
4. 桶川駅前に商店街があると観光客なども来やすくなると思います。(女性/18 歳～19 歳)
5. ベニバナウォークの中に映画館を作ったら地域が活性化すると思う。前は桶川マインにあったし、周りの上尾市や北本市には無い機能なのでベニバナウォークへの直通バスを復活させて映画の上映を始めたらいと思う。(女性/18 歳～19 歳)
6. 大型の商業施設（例えば I K E A やコストコ、アウトレットパーク）など、土地を有効活用してほしい。(女性/20 歳～29 歳)
7. 今回の調査について、年代や結婚しているか、子供がいるか、分けて調査をした方が良いと思います。20 代前半未婚の私としては問に対して該当しないものが多いので、問2 など項目に「該当しない」などがあると良いです。桶川市のまちづくりに関しては、駅周辺だけではなく今無いところに商業施設がつくられることを願います。(女性/20 歳～29 歳)
8. 商業施設を充実させてください。せっかく市内に2つもインターチェンジがあるのだから、その付近に温泉施設や飲食、観光、買い物ができる施設を作るべきだと思います。他県や遠くから来られる方をもっと取り込んでいけるような魅力的なイベントもどんどん実施していくべきだと思います。その際もただ作るのではなく、TV で取り上げられるような他とはちょっと違った魅力的なものを期待しております。(女性/20 歳～29 歳)
9. ルミネみたいなのがあると便利で嬉しいです。マインが綺麗になったのは嬉しいですが、服屋や靴屋が高齢者向けのお店ばかりになってしまっているのがなくなってしまいました。桶川は今くらいの人口でうるさすぎず静かすぎずちょうど良いと思います。(女性/20 歳～29 歳)
10. コストコなど大型のお店などをいれて買物客などを増やし、他の人にも桶川を見てもらい、わかってもらい、桶川の良さをわかってもらい、人口を増やすなどしてみてはどうでしょうか。(女性/30 歳～39 歳)
11. ベニバナウォークが空テナントだらけなので、家賃交渉してでも活用してほしい。選挙の時にマインで投票できますが、ベニバナウォークも使った方がいい。駅前に幼児連れでも入りやすいショッピング施設が欲しい。マインには幼児が遊べる場所がないので、遠方から親や友人が電車に来る時は、自宅かベニバナに行くかの2択しかありません。(女性/30 歳～39 歳)
12. ベニバナウォーク付近にもう少し商業施設がほしい。モラージュの様にその近辺に行けば何でも揃うような。これ以上、上日出谷付近からスーパーがなくなならないように、ベニバナウォーク付近にたくさんの人が来てもらえる様になったらいいなと思います。(女性/30 歳～39 歳)
13. 市民の生活に必要な大きなショッピングモールが桶川に欲しい。うちはほとんど遠くで買物をするので、身近に欲しいです。ほとんど市外で買い物をする現状です。⇒遠くまで行かないと欲しい物が無い。ベニバナウォークだと不十分です。(女性/30 歳～39 歳)
14. 楽しめる街にして欲しい(女性/30 歳～39 歳)
15. テレビで見る様な商店街が欲しいです。お惣菜とか頑張って欲しい。(女性/40 歳～49 歳)
16. スーパーがなくなり不便です。フリーマーケットなどもやっている所がありますが、桶川ではあまり見ないような気がします。もう少し回数を増やしてみてもいい？(女性/40 歳～49 歳)
17. 家の近所のスーパーが少ない！買い物に車で行かなければならない！ホームセンターもない！薬局もない！(女性/40 歳～49 歳)
18. 桶川西方面はスーパー買い物に不便であり、お店を増やして欲しい。(女性/40 歳～49 歳)
19. 駅東口方面をアーケードにして買物のしやすい、もっと人が集まる場を作れば明るく賑やかな町

8. 自由意見

になると思います。(女性/60歳～64歳)

20. 駅東側の市街化調整区域にも駅西側にあるような商業施設が欲しい。(女性/60歳～64歳)
21. 桶川駅東口前通りに商店街を大きな店や飲食店、衣料品店等の利用し易い施設を増やしてほしい。(女性/75歳以上)
22. 商業施設を作してほしい。映画、DVD／CDレンタル、洋服も買えるところ。(男性/18歳～19歳)
23. 住宅街の近くに商業サービスを提供してほしい。(男性/18歳～19歳)
24. 買い物に行くのにも市外に行っているのでもう少し充実してもいいと思いました。(男性/18歳～19歳)
25. 商業施設を増やしもっと住みやすく、賑わう街になってほしいので、その取り組みをしてほしい。(男性/20歳～29歳)
26. ベニバナウォークに空店舗が多く、潰れないか心配です。ららぽーとの真似をして、人が来る店を入れて欲しいです。(男性/30歳～39歳)
27. 駅前周辺の飲食店の充実。(男性/30歳～39歳)
28. 商業施設が少ないと思います。とりわけ、飲食店などが少ないと思います。ベニバナウォーク周りの開発が商業施設であることを希望しています。また、駅東口の開発に思い切ったメスを入れていただけないと、いつまでたっても駐輪場の利権者が立ち退いてくれません。何とかしてください。(男性/40歳～49歳)
29. 駅東側の商店街が寂れている。昔の活気ある状態にはもう戻らないのでしょうか。また、障害者が安心して暮らしていける社会を築いて欲しい。グループホームの創設等。医療機関の充実を望みます。(施策304、301 男性/50歳～59歳)
30. ショッピングモールなどの大型商業施設（ベニバナウォーク）があるが、市外の施設に比べて小さい為、利用価値がなく、市外へ買物などに行ってしまうので増設の検討をお願いしたい。(男性/50歳～59歳)
31. 桶川駅東口の再開発を進めて、商店街の活気を取り戻さないと、桶川のイメージが悪くなっていく。(男性/50歳～59歳)
32. 駅周辺に飲食店がほしい（食事処が少ない）。ディスカウント店舗の誘致。(男性/75歳以上)
33. 何といっても商店街等が早くから電気等が消えて町全体が暗い、活気が無い。(男性/75歳以上)
34. ベニバナウォークに映画館がほしい。家族で年間5回くらい映画を見る機会があるが、菖蒲のモラージュでいつも見ている。桶川市でお金払って映画見たいのにできない。(女性/40歳～49歳)
35. ホームセンターカインズによく行く。北本や上尾でいつも買う。桶川にもカインズやセキチューがあつたら良い。(女性/40歳～49歳)
36. 駅周辺を含め、食事のできる所（特に夜の時間帯）がとても少なく感じます。桶川マインガリニューアルされ、少し改善しましたが、東口側にはほとんどない状況が続いているので行政サイドでも出来る事を模索してほしいです。(男性/30歳～39歳)
37. シャッター通りをなくす。(男性/70歳～74歳)
38. スーパー、コンビニが近くに無し。(男性/70歳～74歳)

施策604 観光の振興（34件）

1. 中山道、べに花等、観光についてしっかりパンフレットつくる桶川市の観光のアピール(女性/65

歳～69 歳)

2. 観光について、観光客を集めようにも観光資源が無さすぎる。桶川宿などといっても日本人観光客は見込めないし、外国人観光客が来るとも考えにくい。ならまだ、北本のグリコ工場のような、見学ができる施設の方が人が来るのではと思う。どの年代に観光に来て欲しいのかを明確にしてから考えるべきだと思う。(女性/18 歳～19 歳)
3. 桶川に飲食店を増やしたほうがいいと思う。現在外食すると言っても、北本や上尾に行ってしまうことが多い。本格的に中山道あたりを観光地にしたいのなら、川越あたりを参考にするといいと思う。(女性/20 歳～29 歳)
4. 桶川駅に到着した際に「桶川はこんな町なんだ」と初めて来た人でも分かる様にデザインを工夫し、西口や東口に行く際にも文化的な紹介をそれぞれしていけば桶川市をアピールできると考えます。何も印象に残らないのが今の現状だと思いますので。(女性/30 歳～39 歳)
5. 潜在した能力（主婦や個人営業の店、商店街）などの魅力を発信し続けたい。市外、県外からも来たいと思える町づくりをしたい。(女性/30 歳～39 歳)
6. また、比較的できて新しいベニバナウォークですら閑散としてますし、道の駅をつくっても人を呼ぶことはできないのではないのでしょうか？桶川を今さら観光都市にするのは、無理があるように感じます。内装がオシャレ？な市役所や、人が来るかもわからない道の駅より、住んでる人が快適で安全に暮らせる街づくりに注力して欲しいです。(女性/30 歳～39 歳)
7. 広報誌などではなく、国道や市道、県道などに桶川市の売りになることを看板にして設置すべき。(女性/40 歳～49 歳)
8. 圏央道により、人・モノ・カネが以前より流入しやすい環境になっていると思います。それを活かして、物流拠点や工場の誘致などを積極的に行い、市の税収が増えるようにして欲しいです。また、桶川には、外から見てははっきりわかる特徴がないと思います。ゆるキャラサミットの羽生や、ゼリーフライの行田、トマトカレー、川幅うどん・・・どんな形でもいいので、もう少し桶川の知名度を上げる取り組みを行って欲しいです。「紅花の里」はキラーコンテンツではありません。桶川の人以外誰も知らないと思います。オケちゃんも、ゆるキャラグランプリの順位がまだまだ低いので、とても認知されているとは思えません。中山道も、今更ですが、桶川宿として、古い町並み（または、古い町並み風）が残っていればまだよかったと思いますが、何の特徴もありませんので、宿場桶川と言われても、「ふ～ん」というレベルです。できるなら、金沢のひがし茶屋街や、川越みたいな景観に少しずつ変えていけるといいのに、と思います。(女性/40 歳～49 歳)
9. 特産品の充実。(女性/50 歳～59 歳)
10. ハコモノや土建に頼らない、観光。(女性/50 歳～59 歳)
11. ベにばな重視をやめる。(女性/50 歳～59 歳)
12. 近隣の市と連携し、中山道を歩行者、自転車専用にして、ウォーキングイベントをしてみたい。高崎線と並行しているので電車を利用すれば無理のないウォーキングができる。定着して中山道の商店が活性化してくれたら嬉しい。日本橋からスタートしても、防災帰宅訓練にも、健康づくりにも。(女性/50 歳～59 歳)
13. スーパー銭湯を作る（宿泊可能）(女性/50 歳～59 歳)
14. 全国から注目されるような桶川ならではの何か（産業・農業など）を発掘できればと思う（何かの発祥の地になりたい）。桶川って言うと、ストーカー殺人の件がイメージとして残っている人も

8. 自由意見

多く、あまり知られていないのが残念です。ベニバナウォークだけでは多くの人を集めるには力不足のような・・・あの周りをもっと充実させる？(女性/50 歳～59 歳)

15. 桶川のお土産が見当たりません。名物、特産品など多く有ると便利ですし、桶川の自慢もできます。(女性/60 歳～64 歳)
16. 周りの市から見て、桶川市はおとなしいと感じます。もっと活性化する様イベント等で人を呼び、皆で楽しんだり、若い人達の力が発揮できるような場を設けたりしてほしいです。どうしてもお年寄りが多く、若者のセンスやアイディアが必要だと思います。(女性/60 歳～64 歳)
17. 桶川の観光スポットをもっとアピールする。グルメもアピールする。まずは市民を対象にして、お花の見ごろに合わせて市内の観光スポットツアー（バス）を計画して、桶川の良い所を確認してもらおう。(女性/60 歳～64 歳)
18. 市民祭りでの皇女和宮のパレードは費用が高い上、毎年行われているが、無駄遣いではないでしょうか。市外からの観光客を呼ぶような企画を希望します。(女性/60 歳～64 歳)
19. 桶川市の特徴、誇れる物が無い。人も何も無いのが桶川であるが、しかし災害もない・・・これは安心して暮らせます。PRが不足している。市外の人々がべに花が咲いている時期に見学に行きましたが、花一輪売っている人も、所もなく、商売っ気がないねと言われました。桶川＝紅花、駅に行っても紅花どこにあるの？戸惑います。駅東口の開発、整備をされて、住民が増加、人が集まれる街づくりを希望します。専門分野の方々と構築されて、未来ある明るい街づくりに期待致します（街おこし成功した事例を参考に、それらに携わった方々と）。(女性/65 歳～69 歳)
20. 犬も連れていけるディズニーランド的な場所があるといいです。(男性/20 歳～29 歳)
21. 桶川市には観光資源や特徴が無いに等しい現実がございます。せっかく桶川宿という歴史的な建物が残っているのだから、東口の駅前や中山道の景観をお金をかけて桶川宿を再現してみたら面白いかなと思います。今後、全国的に人口減少が進む中、桶川市には特徴的なオリジナリティあふれる政策を望んでおります。他の市ではできないことを桶川市で実践することが、20 年後に「桶川市に住んでいて良かった」に繋がると信じております。(施策 503/男性/20 歳～29 歳)
22. 観光について。市のホームページにも掲載されている、フィルムコミッションの活動をより積極的に行ってはいかがでしょうか。私の故郷の大阪府堺市は、社会の教科書にも載るほどの「歴史の街」ですが、そんな街ですら集客には苦勞しています。とにかく歴史的資源と、観光客を迎えるハコモノが要るのです。コンテンツツーリズムはそれらの障害をカットできます。無論、景観が他の街と似たり寄ったりでは周辺都市と競合するでしょう。そこで積極的な市内景観の画像、動画のネットでの発信、またロケのための施設貸切、道路封鎖等のサポート体制の強化による差別化をご提案します。(男性/20 歳～29 歳)
23. 桶川市は圏央道のインターが 2 つあるので、観光地としても選ばれるように、特産物や特産品の販売など力を入れてほしい。(男性/20 歳～29 歳)
24. 加納城は良い城だと思うので、もっと整備を行い、公園などにすればよい観光資源になると思う。・熊谷飛行学校桶川分教場に戦闘機などのレプリカを置けば観光資源となるのではないかと。(男性/30 歳～39 歳)
25. 川田谷の旧飛行学校の見学は、非常に感動しました。あの施設は整備して有料の観光スポットにした方がよいと思います。(男性/40 歳～49 歳)
26. 何か名物がほしい（観光客が増える様な）。(男性/50 歳～59 歳)
27. 飛行学校や道の駅の設置など、大変な赤字、負債が見込まれると思う。運営費の補填や業務赤字

を市民に負担させない努力、方策を示してほしい。※飛行学校に観光客は殆ど来ない。道の駅運営者の撤退など。(男性/65歳～69歳)

28. 桶川市と言えば「これだ」という何かシンボルとなるものがあればいいと思います。例えば町並、景観、建物、商店街等、行けば必ず見たいもの等。(男性/75歳以上)
29. ・落ち着いた歴史を感じさせる町と機能的な現代的雰囲気との調和した町であってほしい。・桶川の目玉となる(特徴)もの(場所)の再評価(関東、全国レベルで誇れる物)。(男性/75歳以上)
30. 道の駅は不要です(やっても赤字です)。(男性/75歳以上)
31. 利便性が求められる世の中で、市の入口の駅前の風景を重要視すべき。観光業が発達している場所は駅前の充実により再び訪れたいと思える場所になっている。桶川駅前、何十年も変わらない店、営業していない店など多すぎる。変わらない物、伝統や習慣を守る事も必要だが、変化をする事は大胆に変えていくべき。(女性/30歳～39歳)
32. 道の駅を川田谷に作り、中途半端な市、また、考えから脱却して、若い世代の意見を聞き人口増加につながる町づくりを考えて欲しい。(女性/65歳～69歳)
33. 交差点にある青い案内標識を観光に活用してみてもいいのではないのでしょうか。金沢では道路標識に観光名所が載っています。桶川でも標識に市内の地名(小針領家、川田谷等)や観光スポットを書けば多くの人の目に止まると思います。観光地図は興味のある人しか見ないけれど、標識は通り過ぎるだけの人にも桶川のPRが出来ると思います。国道や県道は国と県と協議し、市道はそもそも標識が少ないので、これを機に増やせば道路を利用する人の利便性も向上します。最近さいたま市では中山道と交差する道の標識に「中山道」と表示される様になりました。桶川でも県道12号の標識に「中山道」と書き加えれば桶川に中山道が通っていることをアピールできると思います。また市役所入口交差点を「上の木戸」、大塚屋の角を「下の木戸」という名前にでもすればより宿場だったことを知ってもらえるのではないのでしょうか。(男性/30歳～39歳)
34. 加納地区の地名が複雑で不便です。特に電建団地や17号西側で同じ街区なのに隣同士で地名が違う所が多く、分かりにくいです。昔の名残と思われそうですが、例えば電建団地はまとめて「電建町」とするなど、現在の道路や河川で区切る町名の整理をした方がいいと思います。細谷、大加納などのバス停の地名を活用するといいいのではないのでしょうか。また、最近各地で昔の町名を復活させる活動が行われています。合わせて桶川でも中山道沿いの町名を現在の境界線を維持しつつ、相生町や桶川本町等の名前を復活させれば観光振興にも繋がると思います。(男性/30歳～39歳)

施策605 就労支援と勤労者福利厚生の実施 (1件)

1. 高齢者の人が働く場所は少ない。シルバーサービスではコスト面と仕事内容が合わない。体がついていけない場合もあると思うので、より様々な種類、時間(短時間)の仕事の検討。(女性/30歳～39歳)

7. 計画的で将来を見据えた桶川をつくる【行財政運営】

施策701 計画行政の推進 (6件)

1. 街づくり教育の充実と、各年齢層からの意見を集め、参画を行う。街作りの計画を幅広く伝える継続的な教育。行政にありがちな上から目線は街づくりにはタブーです。(女性/65歳～69歳)
2. 現在の桶川市の政策は子育て中の方や高齢者に対するものばかりで独身者や子供のいない夫婦に

8. 自由意見

はほぼ恩恵がありません。結婚したくない人や子供が欲しくても授からない人もいるのだから子持ち夫婦や高齢者を優遇するだけでなく、全ての人にそれぞれ必要としている支援をしていくべきです。(男性/30歳～39歳)

3. バランスは良いが「一押し」できるものが無いように思う。昔からあること、ものを生かすのも有効だと思うが、新たに「桶川市の押しは〇〇です。」と言えるものを作るのも良いと思う。(千葉県流山市では出産、子育て支援を重要な柱(押しポイント)とした結果、人口増加したという話も聞くので。)(男性/40歳～49歳)
4. 窓口業務(総合受付)を充実させ、対応内容を厚くする。スタッフの研修(受付対応)を充実させ対応で気分悪くさせない。まちづくりとは直接関係なくて申し訳ありません。さいたま市の電話対応はレベルが高いと思います。行政のレベルが上がれば、他に頼らなくても桶川のイメージアップになると思います。(例:朝霞市)(男性/50歳～59歳)
5. 今後高齢化が進み、市の活動低下が心配です。大型店舗や商業施設の誘致を地元の地権者の協力を仰ぎ(株式化などによって利益還元など)、他の市との競争で桶川の価値を上げる様、説得して欲しい。これからは都市間の競争であるとの認識を市役所、市議会は十分に理解し、戦略的な行動、政策をとって欲しい。今までの様な“ただ金を集め適当に(悪い意味ではなく)消費するのではなく、“都市間競争”の戦略的立場に立って政策を立て、市民にも十分に構想を説明して、未来の子孫に残す桶川市を作るよう、前向きな話し合いの場を作って欲しい。これからは都市間競争力の格差が自分の住む町にとって重大な影響力を持つので、“共栄”のために協力していこうという雰囲気を作って欲しい。このままで行けば桶川は“通り過ぎるだけの町”となってしまう、住民にとっても重大な影響を及ぼすので、旧住民(元々の住民)もここに新たに住居を構えた人々にも協力してほしいと十分に訴えて欲しい。市役所の方々にも一層の努力をお願い致します。(施策101/男性/70歳～74歳)
6. 子ども達に希望を持ってもらえる街にするために子ども達からもアイデアをどんどん出してもらうのはどうでしょう。また、逆に高齢者に意見を聞き、不自由な所を改善していくなど、出来たら良いと思います。(女性/50歳～59歳)

施策702 経営的な視点からの財政運営 (22件)

1. 無駄な税金の使い道を見直し、医療機関等へ充実した町づくりの資金として役立てて頂きたい。(男性/65歳～69歳)
2. 人口減少は避けられないので色々な所で人省化をしていける様に工夫していけたら人件費の削減になると思います。(女性/20歳～29歳)
3. 水道代を paypay 等で払えるようにキャッシュレス化してほしいです。2021年頃から子育てを開始したいと思っていますので、教育機関をより充実させてほしいです。令和婚をし、桶川市に引っ越してきたのですが5月1日の市役所の職員の方の対応が素晴らしかったです!! オケちゃんのぬいぐるみを持たせてくれ、写真撮ってください夫婦の思い出となりました。今後の市の活性化をより期待しております!(施策202/女性/20歳～29歳)
4. 目先の負担減を推し進めるのではなく、適切な負担を市民から得て、関わる方に適切な賃金や休養を与えてほしい。保育無料化は不要。適切な金額は払うので、見てくれている保育士さん達にもっとお金を回してほしい。子供にお金がかかるのは小学校高学年から。そちらで何かしらの援助があれば、教育格差の幅が狭まるのでは?と周りでも話題になっています。(女性/30歳～39歳)

5. 過剰な保護や支援をなくし、各自が“自己責任”という考えを持つ様な体制をつくって欲しいです。(女性/40 歳～49 歳)
6. 財源は限りがあるのだから、優先する事を正しく選択してほしい。大勢の人が駅を利用するのに駅の側に店がない。だから他所でお金を使う。勿体ないと思う。ほぼ無人バス化しているあのバスに自分の税金が使われていると思うと本当に嫌になる。(女性/40 歳～49 歳)
7. 新市役所を建てるのにお金をかけすぎ。税金をどれだけかけているのか。新市役所にお金をかけるよりも市民の安全や要望にお金をかけて欲しい。(女性/40 歳～49 歳)
8. 現状にほぼ満足していますが、老朽化している場所については少しずつでも整備して、穏やかで温かい住みやすい町を希望します。(女性/50 歳～59 歳)
9. 土建屋ばかりに利益を出す様な政策はやめる。(女性/50 歳～59 歳)
10. ガラス張りの予算と決算の開示。(女性/50 歳～59 歳)
11. 子供達にとって、また、その親たちにとって幸せに過ごせる町をつくる事はとても大切なことだと思う。保育園、中学校の設置など、老朽化は目に余るものが有り、地震の時など子供が怯えていたと聞いています。何を優先させるのか？よく考え、皆で話し合うべきだと思う。(女性/50 歳～59 歳)
12. この先、今の子供達が安全、安心、負担の少ない生活維持を考えて大切な税金を使って欲しいです。(女性/60 歳～64 歳)
13. オケちゃんが可愛いので、もっと全国的にアピールできると良いと思うふるさと納税にもっと積極的に参加してほしい(女性/60 歳～64 歳)
14. 桶川市の人口は横ばいで減少してはいませんが、将来的に子ども達が成人になり地元桶川に住んでもらわなければ意味がありません。隣の北本市では人口が減ってはいますが、オムツの無料配布など家族単位で満足度が高いサービスを提供しています。桶川市も 10 年後、20 年後でも安心して定住したいと思うような政策がもっと必要だと考えます。個人的に思うことは、高齢者や障がい者の方からバスの運賃など、普通に徴収したらどうかと思っております。これは、別に差別ではありません。バリアフリーなど健常者と同じ視点で活動したいと言っておきながら料金は払わないというのは矛盾してはいないでしょうか？使ったらお金を払うは市民の義務でありそこに優劣があってはいけないと思います。(男性/20 歳～29 歳)
15. 税金は高いのに何もない都市であり、そのうち出ていきます。(男性/40 歳～49 歳)
16. 市長、市議会議員など、もう少し給与を削減するべきだと思います。(男性/60 歳～64 歳)
17. 行政が最優先すべきは税収を上げる事。教育の向上、特に小学生に重点を置き、高学年への基礎を道徳面を含め指導する。高齢者への行き過ぎた福祉は問題。市議会議員は権力に見合った仕事をして欲しい。市民へのサービスは議員の責務。(施策 202/男性/70 歳～74 歳)
18. 今後の生活に不安。収入源、支出増の対策は？総花的政策でなく強弱を。(男性/75 歳以上)
19. 人口減少化に関して桶川市を活性化する為に、財政の余裕を希望しますが、今が大事に思います。まだ先の事と考えずに今から財政の健全化に努めて余裕のある未来像であることを希望しています。(男性/75 歳以上)
20. 行政経費を圧縮して、市の財政健全化。(男性/75 歳以上)
21. 医療等社会保障関連費は、所得格差つけない。(男性/75 歳以上)
22. 施設を作る場合、利便性を考え、余裕のある大きさにしていくべきで、中途半端な大きさは税金の無駄使いになるのでは。車が移動の中心となることは見えており、駐車スペースも考慮してほ

8. 自由意見

しい。道路も途中まで進み、その後放置されている箇所が見かけられ計画が十分に検討されているのか疑問に思うことがある。少子高齢化は進み、益々財政が厳しくなる中、お金を有効に使用していく様検討してもらいたい。(男性/70 歳～74 歳)

施策703 情報共有の推進 (3 件)

1. 市議会議内容はオープンに。市民が興味を持ち、参加型の様な環境づくり。(女性/60 歳～64 歳)
2. 情報(男性/65 歳～69 歳)
3. 今回の調査票を見て、昨年の市会議員選挙にて議員さん達が抱負として挙げていた内容にも見える。全国でも地方自治体初の議員がいるとして新聞報道された市議会の行動、言動を注視していきたいと思います。なお、今回の調査結果、広報等で開示して下さい。(男性/65 歳～69 歳)

施策704 広域行政の推進 (6 件)

1. 桶川市だけでゴミ処理や公共サービスの充実ができるのか？今後に向けて、規模を拡大して、上尾市との合併など視野に入れる必要があると思う。(女性/60 歳～64 歳)
2. 埼玉高速鉄道は最終的に蓮田まで延びるそうですが、そこからさらに桶川方面に延ばしてほしいです。また、西武新宿線は川越で止まっていますが、桶川まで延びたらいいと思います。(男性/30 歳～39 歳)
3. 他の市と合併してほしい。(男性/50 歳～59 歳)
4. 近隣市町村との情報、サービスなどの共有化、あるいは合併を視野に。(男性/50 歳～59 歳)
5. 上尾市、伊奈町、北本市と共通する問題多し。合併すれば解決するのではないか。(男性/75 歳以上)
6. 広域行政をすすめるべきだ。周囲の市町村との協調で。(男性/75 歳以上)

その他のご意見等 (53 件)

1. 回答者自身の情報は非公開とします。(性別無回答/年齢無回答)
2. 民生委員の配置等を少し考えて下さい。(性別無回答/年齢無回答)
3. アンケート項目が多すぎる。答えにくい質問が多すぎる。(女性/60 歳～64 歳)
4. 毎日ご苦労様です。今よりも安全に暮らせて行ければ良いなと思っております。(女性/20 歳～29 歳)
5. 現段階では思いつかない。(女性/20 歳～29 歳)
6. この調査がどう活用されるのか？結構時間かかりました。集計も大変ですよ。どこかに委託しているのですか？市の職員が集計ですか？なんか、時間と費用のムダのようにも思います。市民の声を聞くなら、もっとオープンな形で生の声を聞く方法が良いと思います。(女性/20 歳～29 歳)
7. このアンケート自体も項目が被っていたり、質問項目が多く回答しにくかったので、次にアンケートを実施する時はもう少し項目を絞り、分かり易くしてほしいです。(女性/30 歳～39 歳)
8. この様な市民レベルの生活環境調査は今後も定期的にあると良い。是非今回調査の集計を地域別に分けて発表してもらいたいです。(女性/30 歳～39 歳)
9. 今後桶川市に暮らしていて長く安心して暮らしていきたいと思える町づくりを目指してほしい。(女性/30 歳～39 歳)
10. 転勤が多く色々な都市に住んできましたが、はっきり申し上げますと桶川市がこんな不便な町だ

と思わなかった。コンビニ少ない、商業施設は少ない、バスの本数は少ない。関東だし期待していましたががっかりです。今回の転勤は下見が出来なかったのですが、桶川市に決めたのは失敗だと心底思います。頑張ってください。勿体ない。(女性/40歳～49歳)

11. 埼玉県職員は、桶川を良くしたい、皆の税金をもらって働いている意識をしっかりとって仕事して下さい。昔より変わっているが、まだまだ古い人達の力が強いのか、変わっていないので若い人達が年寄りの人達より頑張ってください。(女性/40歳～49歳)
12. アンケートのⅠの問2の項目には、「分からない」を入れてもらえると答えやすいです。自分と違う世代の状況が(充実度などは)分からないため。(女性/40歳～49歳)
13. 桶川は住みやすい町なのに、何故だかそう思われてないのが不思議です。アイデアは今は思い浮かびませんが何かあればいつかお伝えしたいです(女性/40歳～49歳)
14. 特になし(女性/40歳～49歳)
15. 子供達が郷土愛を育めるような特色と魅力のある所であって欲しいです。(女性/50歳～59歳)
16. 調査票の項目が多いと思います。直ぐに終わるかと思ったら思った以上に時間がかかりました。また、感想等自由意見を書けるスペースが欲しいです。(女性/50歳～59歳)
17. 昭和の世代は家族が暮らす家庭は安全な場所だと思っていましたから、ニュースで虐待や暴力があると聞くと信じられません。誰かが困っていたら無意識に体が動く・・・そんな優しい桶川の町に・・・。(女性/65歳～69歳)
18. このアンケート用紙の配布は40代～60代位の年齢層にした方がもっと活発な意見が出そうに思います。(女性/75歳以上)
19. 仕事中心の生活でまちづくりまで気が回らない。(男性/20歳～29歳)
20. 朝日に住んでいますが選挙で北上尾駅に誰も来ません。いつも見捨てられた気がして悲しいです。上尾の立候補者や市議会議員の方はよく北上尾駅に通勤時間帯に立っています。北上尾駅利用する桶川市民を見捨てないでください。(男性/30歳～39歳)
21. 自分の作品をいつか展示したい。(男性/30歳～39歳)
22. 頑張ってください。(男性/30歳～39歳)
23. このようなアンケートをたくさんの市民に実施して声をたくさん集めることがまちづくりに重要だとおもいます！(男性/30歳～39歳)
24. 目指せ！10万都市！（まずは）(男性/40歳～49歳)
25. 満足しています。(男性/40歳～49歳)
26. 今はない(男性/40歳～49歳)
27. 桶川市に住んでいる子供や大人、高齢者、障害者等、すべての住民が幸せな生活ができる町になってほしい。(男性/50歳～59歳)
28. 日本一の手話を推進する市町村。在住年数に応じた特典制度。(男性/50歳～59歳)
29. 移住したい町にするにはどうしたら良いのかの視点で施策を考えてみては。(男性/50歳～59歳)
30. アンケートに答えるのは大変でした。「問34」については白紙にしたいと思いました。(男性/65歳～69歳)
31. 地球の温暖化による気候変動問題。人口の減少による社会問題の増加など、将来に向けた問題もあります。私が気になるのは、国の借金の増加です。借金しても、誰も痛みを感じません。恐ろしいことです。やがて経済の状況がひっ迫した時に本当に苦しむのは結局国民です。政治を行う方々には将来の財政のことを真剣に考えながら、政治を行っているとは到底感じられません。一

8. 自由意見

家の子供はお父さんがお金を借りている事を知らずにいて、やがて子供は苦渋を強いられるようなもの。(男性/70 歳～74 歳)

32. この町に来て、ウン十年。初っ端から、挨拶が遅いと村八分刑にされ、6、7人集まって、毎日アハハハとこっちを見ながら笑って見られてた。何年続いたっけ。小、中学校長に、こういう風ですから、子供のクラスは同じくはしないで下さいと話した。どこに行っても同じでしょう・・・。数人集まってはコソコソ～そういった人物はいまだに健在で変わらない。ここに来て一番期待されたのが、圏央道が出来る・・・聞かされて何十年で出来て、その最後桶川の人が粘ってきて、やっと開通。駅でも町でも今後桶川が一番にしてほしい。東口駅前発展は今後最低20年は今と変わらなんでしょうね。望みあって、望みなし。失礼。(男性/70 歳～74 歳)
33. 市の各称変えたい。イメージ悪い。(男性/75 歳以上)
34. 1. 全ての事がそうであるように、街作りは一朝一夕にて出来るものではありません。市長（その関係者）が少なくとも月1回市内を巡回すれば何が欠けているか何が必要か分かってくるはずです。机上の空論よりまず見る事です。一度見て駄目なら何度も見ることです。計画はそれからです。庁舎の中には何も分かりませんよ。見ていると反論されるかもしれませんが、見方が十分ですか？2. 広報おけがわで市長によるイベント参加報告等が掲載されておりますが、市政について（現在取り組んでいる事業など）の報告はありません。毎月でなくてもいいから報告してほしい。3. 5～6年経過すれば空家になる高齢者ブロックが沢山ありますよ。今から対策をして下さい。また、買物難民になる高齢者も増加します。(男性/75 歳以上)
35. 当該アンケートを読んで現在桶川市役所全体が将来の桶川の在り方について懸命に考えているという事は十分感じます。(男性/75 歳以上)
36. 住みやすい日々を送っております。職員の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。さて、今取り組まなければならない事として、温暖化対策、災害対策（地震）、耐性菌も・・・人間関係も大きく変わってきています。まずは人づくりとして、道沿いの花壇に「花を咲かせる」取り組みはどうでしょう。小さな自己実現として希望を募り、区画を決めて・・・。出来栄を競うのもあるかも。隣の鴻巣市（一部接している）〒365 にちなんだ（からんで）、間の北本市も、一年中花のある地域づくりもあるのでは。(男性/75 歳以上)
37. アンケートから一つでも実行する覚悟があるかどうか。(男性/75 歳以上)
38. このアンケートは何の目的か、要望を出したからと言って希望があるのか。新しい公共施設が出来ても中途半端、コミュニティセンターが出来たらそこに市役所の出張所とか作ってくれればいいものを中学校の脇にあったのをつぶし、我々が住む所より遠くになり不便を感じます（住民票など取る際）。まして郵便ポストは近くにあってもいいのに無い。皆さん老人は大変な思いをしているのを御存知ですか。コープにポストがあっても今はカスミ等が出来て、利用しません。至急カスミ、コミュニティの所に設置して下さい。街づくりをするならそれなりの物を造ってもらわないとありがたみは少ないです。(男性/75 歳以上)
39. 総合自市専用葬祭センターの建設。(女性/50 歳～59 歳)
40. 市が提供する墓地を造って下さい。現在いいところが無くて困っています。(男性/75 歳以上)
41. 今の桶川市は他所から他所への通り道。誰も足を止めないし、現状魅力もない。観光事業はバサリ切り捨て、農業は現状維持しつつ、力を入れるべきは工業、商業だと思う。地方に比べれば人もいるし、商業施設を充実させて人の集まる街にしてほしい。モラージュとムサシがあんなに元気なのに市内はただ渋滞してるだけじゃつまらないでしょ。まずは駅周辺を再開発して時代錯

誤の宿場町はなくしていいと思う。年寄りと商工会に反感くらっても押し切る覚悟で改革してほしい。市役所だけあんなにキラキラしてても1円にもなりませんよ。本気出せばPAPAなんて一瞬で潰せる。頑張ってください。文句ばかり言ってますが応援しています。いい街になればいいね。(男性/30歳～39歳)

42. 宿場町や歴史遺産の呪縛から開放、未来志向の街づくりを推進し、ソフト面においてもコト消費を喚起できる商品や環境を開発。儲かる仕組みができる街づくりをすることにより、活性化に繋がればイイと思います！(男性/50歳～59歳)
43. 隣市の上尾市、北本市との比較をどうしてもしてしまいます。駅前の整備状況ひとつとっても、桶川市は遅れており、道路整備状況も桶川から北本に一步入った中山道の整備状況を見れば明らかで、若い方々は桶川市の「ダサさ」に嫌気がさしていると思います。(男性/50歳～59歳)
44. 市役所職員、市議会議員等がアイデアを提案し、市民に協力してもらう事が大事です。アンケートだけでは市民は納得するのでしょうか？(男性/50歳～59歳)
45. 桶川市を有名にすることが大事です。有名になれば住んでみようかってなる。(男性/65歳～69歳)
46. 桶川市は都内通勤に良い所。保守的に考えず、未来を考え（20年、30年、50年）政策すべき。近隣の市に遅れをとっているのは何か？(女性/65歳～69歳)
47. 桶川市は他の市町村と比較して生活保護の対象となる基準が緩やかであると聞いたが、それはどうしてなのか？現状、実際に他の市町村よりも基準は緩やかなのか？(女性/18歳～19歳)
48. 市役所の人間に「無理だからできません」と言わせない教育。(女性/50歳～59歳)
49. 今後の急速に進む高齢化、国際化に対応できる桶川市になる為に、近隣の上尾市を参考にして、役所間での情報交換も含め（このアンケート結果も含めて）予算プランナー的なポジションを設け、逆にこうすればこんな風に展開できますという情報開示をして頂きたいと思います。現役世代はなかなか日々の余裕がない為、具体的な提案が出来にくいと考えるからです。(女性/50歳～59歳)
50. 苦情を電話するが「予算がなくて出来ない」と言われる事数回ありました。この様な回答はしないでほしい予算のせいにしないで下さい。(女性/75歳以上)
51. 企業OBの活用。市職員の一般家庭への訪問。待ち活動から攻めの活動。市議会議員と市職員の活動の明確化。(男性/65歳～69歳)
52. 上尾市のように街のブランディングの向上を図る。以上がより良い桶川市にする為の私が思う改善点です。(男性/30歳～39歳)
53. 活性化のため、イメージをよくする日本一の桶川ブランドが欲しい。(宿場町であったことを活かした、周辺地域の交流機会が多い情報の発信など)（または、交流手段の一つとして、食品ロスを減らすリサイクルをテーマとして、企業、商業施設の誘致など）人の集まる仕組みとして、圏央道が開通したこともあり、埼玉県内の東西に弱い公共交通を補完する手段として、久喜～桶川～川越を結ぶ高速バスを低価格で提供し、桶川にて定期的なイベントを開催して、桶川周辺からも集客力を高めていくことも検討して欲しい。(男性/40歳～49歳)

参考資料

依頼文及び調査票

【調査票】 桶川市のまちづくりについて ご意見をお聞かせください

市民意識調査へのご協力をお願い

平素から市民の皆様には、市政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

桶川市では、平成23年に策定した第五次総合振興計画に掲げたまちの将来像「みんなで つくり 育む 活気あふれる交流拠点都市 おけがわ」の実現に向け、総合的かつ計画的なまちづくりを進めております。この計画の進行状況を把握するとともに、令和3年度から始まる次期総合計画の策定に向けた基礎資料とするため、このたび、市民意識調査を実施することにいたしました。

この調査票は、桶川市に住民登録をされている18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、お送りしています。

なお、この調査票は統計的に処理し、目的以外には利用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

令和元年12月 桶川市長 小野克典

ご記入にあたってのお願い

- あて名のご本人がご自分の考えでお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族などがご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
- 選択する○の数や、次の問への進み方にご注意ください。

令和2年1月17日（金）まで に、下の①または

②どちらかの方法でご回答をお寄せください。なお、調査票及び封筒には、

住所・氏名をお書きにならなくて結構です。

- ご不明な点がございましたら、以下のお問合せ先までお問合せください。

①郵送で ご回答の場合	この調査票に直接ご回答をご記入いただき、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご投函ください。
②インターネット でご回答の場合	下のQRコードまたはURLアドレスから、ご回答サイトへお進みください。なお、二重回答を防ぐため、次のコードをご入力ください。  URL: https://jp.surveymonkey.com/r/okegawa_eng ○コード: aaaaaaa ※英小文字のみ6桁 ※このコードにより、ご回答者が特定されることはありません。

＜お問合せ先＞桶川市役所 企画財政部 企画調整課
〒363-8501 埼玉県桶川市泉1-3-28
電話：048-788-4903/FAX：048-787-5409
E-mail：kikaku@city.okegawa.lg.jp

I

住みやすさや生活環境、定住意向についておたずねします

問1 あなたは、今住んでいる桶川市を住みよい所であると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 住みよい 2. どちらかといえば住みよい 3. ふつう	4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい 6. わからない
--	--

問1-1 「1.住みよい」「2.どちらかといえば住みよい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

1. 自然環境がよい
2. 道路の状況がよい
3. 都市基盤施設や公共施設が充実している
4. 住宅(生活)環境がよい
5. 通勤、通学、買い物の便がよい
6. 子どもの教育環境がよい
7. 地域コミュニティがよい
8. 住み慣れている
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がない
10. 災害の心配が少ない
11. 商売や事業がしやすい
12. 防犯面で安全・安心である
13. 高齢者に対する支援が充実している
14. 医療機関が充実している
15. 障害者に対する支援が充実している
16. 文化活動の内容が充実している
17. その他 ()

問1-2 「4.どちらかといえば住みにくい」「5.住みにくい」を選んだ理由として最も近いものは何ですか。(○は2つまで)

1. 自然環境がよくない
2. 道路の状況がよくない
3. 都市基盤施設や公共施設が充実していない
4. 住宅(生活)環境がよくない
5. 通勤、通学、買い物に不便
6. 子どもの教育環境がよくない
7. 地域コミュニティがよくない
8. 住み慣れていない
9. 騒音、振動、大気汚染等の公害がある
10. 災害が心配である
11. 商売や事業がしにくい
12. 防犯面で不安を感じる
13. 高齢者に対する支援が充実していない
14. 医療機関が充実していない
15. 障害者に対する支援が充実していない
16. 文化活動の内容が充実していない
17. その他 ()

問2 あなたは、次に示す桶川市の生活環境について、どのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつふつである	どちらかといえば不満である	不満である
(1)地域社会について					
ア. 近所づきあいや地域のつながり	1	2	3	4	5
イ. 自治会・町内会等の地域活動	1	2	3	4	5
ウ. 子どもを育てる場所として	1	2	3	4	5
エ. 高齢者が生活する場所として	1	2	3	4	5
(2)教育・文化について					
オ. 図書館や公民館などにおける社会教育活動	1	2	3	4	5
カ. 文化・芸術活動	1	2	3	4	5
キ. スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	5
ク. 生涯学習の機会・内容	1	2	3	4	5
ケ. 国際交流の推進	1	2	3	4	5
(3)保健医療・福祉について					
コ. 健康診断などの保健活動	1	2	3	4	5
サ. 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
シ. 保育所・放課後児童クラブなどにおける子育て支援サービス	1	2	3	4	5
ス. 高齢者福祉サービス	1	2	3	4	5
セ. 障害者福祉サービス	1	2	3	4	5
(4)衛生について					
リ. 家庭ゴミの収集・処理	1	2	3	4	5
ロ. し尿や家庭雑排水の処理	1	2	3	4	5
(5)安全性について					
チ. 信号機・ガードレールなどの交通安全施設	1	2	3	4	5
ツ. 地震や風水害などへの災害対策	1	2	3	4	5
テ. 防犯灯などの防犯施設	1	2	3	4	5
(6)便利さについて					
ト. バスの利用（市内循環バス「べにばなGO」）	1	2	3	4	5
ナ. バスの利用（路線バス）	1	2	3	4	5
ニ. 鉄道の利用	1	2	3	4	5
ヌ. 買い物・金融機関などの利用	1	2	3	4	5

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である
(7)快適さについて					
ネ. みどりの豊かさなどの自然環境	1	2	3	4	5
ノ. 川などの水辺と親しめる環境	1	2	3	4	5
ハ. 音や振動のない静けさ	1	2	3	4	5
ヒ. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
(8)公共施設等について					
フ. 保育所や幼稚園などの施設	1	2	3	4	5
ヘ. 小学校や中学校などの施設	1	2	3	4	5
ホ. 子どもの遊び場や公園など	1	2	3	4	5
マ. 道路の整備状況	1	2	3	4	5
ミ. 下水道の整備状況	1	2	3	4	5
ム. 趣味や学習のための施設	1	2	3	4	5
メ. グラウンドなどのスポーツ施設	1	2	3	4	5
(9)市政について					
モ. 窓口・電話口での職員の対応	1	2	3	4	5
ヤ. 住民票等、各種証明書発行サービスの利便性	1	2	3	4	5
1. 広報「おけがわ」の内容	1	2	3	4	5
3. 市のホームページの内容	1	2	3	4	5
ウ. 行政のスリム化	1	2	3	4	5
リ. 市民意見・要望の市政への反映	1	2	3	4	5

問3 あなたは、今後も桶川市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 住み続けるつもりでいる | 3. 事情が許せば転出したい |
| 2. 事情が許せば住み続けたい | 4. 転出するつもりでいる |

1. 家族構成が変わったから
2. 家賃や地価が高いから
3. 仕事の都合で
4. 通勤・通学する際に不便だから
5. 日常の買い物が不便だから
6. 知人や親戚がいない、少ないから
7. 教育環境がよくないから
8. 高齢者の介護サービスなどがよくないから
9. 自然環境がよくないから
10. 道路などの都市基盤が整っていないから
11. 公共施設が不足しているから
12. 災害などの発生時に不安があるから
13. 子育て環境がよくないから
14. その他 ()
15. 特に理由はない

問5 あなたは、平日の自由時間や、週末などの休日の自由時間に、現在どのように過ごしていますか。また、どのような過ごし方をしたいと希望していますか。次の中から主なもの5つまで選び、番号に○印をおつけください。

	現在の過ごし方 (〇は5つまで)	希望の過ごし方 (〇は5つまで)
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など	1	1
パソコン、スマートフォン、ゲームなど	2	2
家族とのだんらん	3	3
友人などとのつきあい	4	4
軽い運動	5	5
市内でのスポーツ活動	6	6
市外でのスポーツ活動	7	7
市内での文化・芸術活動	8	8
市外での文化・芸術活動	9	9
ボランティア・社会参加活動	10	10
スポーツ観戦、観測など	11	11
趣味・娯楽	12	12
学習活動	13	13
ショッピング、飲食	14	14
行楽、旅行	15	15
何もしないでのんびり過ごす	16	16
その他	17	17

桶川市のまちづくりについておたずねします

まちづくり全般について

問6 次の項目のうち、ここ数年で（桶川市に転入して間もない方は、お住まいになってから）よくなったと感じる項目を3つ選んで、その番号を「回答欄ア」にご記入ください。また、もっと住みよいまちにするために、これからの市政において特に力を入れるべき項目を次の中から3つ選び、その番号を「回答欄イ」にご記入ください。

回答欄	ア. よくなったもの 3つ			
	イ. 力をいれてほしいもの 3つ			

1. 土地利用の適正化
2. 市街地の整備
3. 桶川駅の整備
4. 市内と周辺地域を結ぶ地域幹線道路整備
5. 身近な生活道路の整備
6. 上水道の整備
7. 公共下水道の整備
8. 治水・親水機能に配慮した河川・水路の整備
9. 自然環境の保全
10. 良好な住宅地の整備
11. 街並み・景観づくり
12. 信号機など交通安全施設整備
13. 公害防止対策
14. 消防、防災、防犯対策の充実
15. 公園・緑地の整備
16. ゴミの減量化やリサイクルの推進
17. 保健や医療の充実
18. 高齢者福祉サービスの充実
19. 障害者福祉サービスの充実
20. 出産・子育て支援サービスの充実
21. こども医療費の無料化の充実
22. 女性の地位向上（男女共同参画）
23. 情報提供の充実
24. 国際交流の推進
25. ボランティア活動の支援育成
26. 農業の振興
27. 工業の活性化、企業誘致
28. 地元商業の振興
29. 雇用対策
30. 桶川駅周辺の中心市街地の活性化
31. 観光振興
32. スポーツ・レクリエーションの振興
33. 学校教育の充実
34. 生涯学習の振興
35. 地域文化の振興
36. 広域行政の推進
37. 公共施設の市町間の相互利用の推進
38. 行政のスリム化
39. その他（ ）
40. 特になし

問8 今後の住宅地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 市域全体に住宅地を増やしていく	3. 現状のままでよい
2. 街並みづくりや敷地のゆとりを確保するなど、現在の住宅地の質を高める	4. その他 ()

問9 今後の工業地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 積極的な企業誘致を行うため、新たな工業地の造成を推進する
2. 住宅と工場が混在している地域を解消するため、市内中小企業用の移転用の工業地を造成するなど、土地利用の整序を推進する
3. 周辺の住宅地や農地などと調和するように、さらに緩衝緑地を増やす
4. 現状のままでよい
5. その他 ()

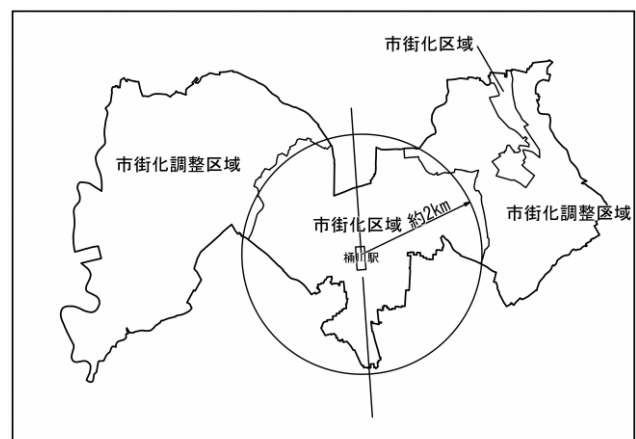
問10 今後の商業地のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 桶川駅周辺の商業施設の充実を促進する
2. 幹線道路沿いへの商業施設の誘致を推進する
3. 住宅地の近くに近隣型商業施設の分散立地を図る
4. 現状のままでよい
5. その他 ()

問11 今後の市街化調整区域※のあり方について、あなたはどのような方向が望ましいとお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 農業者を支援し、生産機能の維持と活性化を図っていく
2. 農地の中に農業公園や市民農園を設置し、農業者とのふれあいの場を形成していく
3. 農地を計画的に住宅、公園、商業施設などへの転用を図っていく
4. 現状のままでよい
5. その他 ()

※「市街化調整区域」とは「市街化を抑制すべき区域」であり、原則として開発など建築行為が制限されています。一方、市街化区域は、計画的に市街化を促進する区域です。桶川市では、主に駅を中心に2km程度の範囲を市街化区域（一部飛び地あり）、それ以外を市街化調整区域としています。（右図参照）



Ⅲ

分野ごとの状況についておたずねします

都市整備について

問１２ お住まいの地域や市内に特に整備を望む公共施設等がありますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 市営駐車場	13. 美術品・芸術品等を鑑賞できる施設
2. 市営駐輪場	14. 市内を自転車で行き来できる自転車道路
3. 公民館	15. 交番や駐在所など、地域防犯のための施設
4. 市民協働*活動センター	16. バス停留所・バス路線
5. 地区住民が気軽に交流できる施設 (コミュニティセンター)	17. 安心して通行できる道路
6. 図書館	18. 児童館や子育て支援センターなど、 子育て支援のための施設
7. 総合運動場など、複合的なスポーツ施設	19. 下水道
8. 身近でスポーツなどができる広場	20. その他（ ）
9. 子どもたちが安全に遊べる身近な公園	21. 特にない
10. 病院	
11. 高齢者の生活を支援するための施設	
12. 住民票の発行などの市民サービスが受け られる市役所の支所	

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

景観について

問１３ あなたは、桶川市には優れた景観があると思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. あると思う	3. どちらかといえばあると思わない
2. どちらかといえばあると思う	4. あると思わない

問１４ 問１３で、「1.あると思う」あるいは「2.どちらかといえばあると思う」を選んだ方におたずねします。特に優れた景観として挙げられるものを具体的にお書きください。

協働(※)と参画のまちづくりについて

問15 あなたは、桶川市では、協働※のまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

※「協働」とは、市民と行政が対等な立場で協力し、互いに同じ目的意識を持ちながら目的達成に向けてまちづくりに取り組んでいくこと。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない |

問16 今後さらに「協働のまちづくり」を進める上で、市が特に取り組むべきことはなんだと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | |
|---|
| 1. 市民がまちづくり活動に参加できる機会を提供する |
| 2. まちづくりや地域活動の活動支援を行う拠点の整備をする |
| 3. まちづくりや地域活動のための研修や講習会、学習の機会を充実させる |
| 4. 自治会や、その他の既存の市民団体との連携・協力を進める |
| 5. 地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる |
| 6. 活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など） |
| 7. ボランティア休暇やまちづくり休暇の導入促進など、企業との連携を進める |
| 8. ボランティア保険の整備など、活動にともなう危険や事故への対応を充実させる |
| 9. 活動団体やグループを資金面で支援する |
| 10. 行政に専門部署をつくるなど、推進体制を整備する |
| 11. 行政の意識改革や人材育成に努める |
| 12. その他（ ） |
| 13. 特にない |

問17 あなたは、社会全体における男女の地位について、どのようにお考えですか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が優遇されている | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている | 5. 女性の方が優遇されている |
| 3. 平等 | |

問18 男女共同参画社会のために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 社会における男女共同参画に関する啓発活動 | 7. 育児や介護への社会的支援の充実 |
| 2. 学校における男女共同参画に関する教育 | 8. 女性に対する差別や人権侵害への対策 |
| 3. 雇用格差の解消 | 9. ワーク・ライフ・バランス※の推進 |
| 4. 政策や意思決定等の場での女性登用の促進 | 10. 男女共同参画の視点に立った防災・防犯対策 |
| 5. 女性の意識や能力の向上 | 11. その他（ ） |
| 6. 男性の意識や能力の向上 | |

※「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えること。

子育て支援について

問19 あなたは、桶川市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない |

問20 安心して子どもを育てられるまちにするために、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 出産や子育てに関する相談・支援体制の充実 | 4. こども医療費助成制度など経済的支援の充実 |
| 2. 多様な保育サービスの充実 | 5. その他（ ） |
| 3. 子育てを支援する地域づくりの促進 | 6. 特にない |

高齢者の生活について

問21 あなたは、桶川市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうと思わない |

問22 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりとして、市が特に取り組むべきことは何だと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 相談窓口の充実や相談機能の強化 | 8. 住宅改造補助の充実 |
| 2. 壮年期からの健康づくりの推進 | 9. 高齢者にやさしいまちづくりの推進（道路や公共施設のバリアフリー化） |
| 3. 学習機会の充実 | 10. 医療施設の整備・充実 |
| 4. スポーツ・レクリエーション活動の支援 | 11. 貸付菜園の確保・拡充 |
| 5. 就労機会の充実 | 12. その他（ ） |
| 6. 活躍機会の充実 | 13. 特に必要ない |
| 7. 福祉施設（サービス付き高齢者向け住宅）の整備と充実 | |

地球温暖化への取り組みについて

問23 あなたは、普段の生活の中で、地球温暖化への取り組みをしていますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. ときどきしている | 4. 全くしていない |

問24 次のうち、あなたが取り組んでいるものはありますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

1. 車を使わず、公共交通機関を利用するようにしている
2. 近場には、車ではなく自転車・徒歩で行くようにしている
3. 買い物にはマイバックを持参している
4. 冷房温度を28度以上、暖房温度を20度以下に設定するようにしている
5. こまめな消灯やコンセントを抜く等、節電に心がけている
6. 自宅にソーラーパネルを設置している
7. シャワーや食器洗いの際に、水を節約している
8. 生ゴミなどのコンポスト化(※)を行っている
9. その他 ()
10. 特に何もしていない

※「コンポスト化」とは、野菜くずや残飯などの生ゴミや、落ち葉などを堆肥に変えること。

観光振興について

問25 あなたは、桶川市の更なる観光振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. インターネット等を活用したPRや情報発信の強化
2. 中山道桶川宿の街並み・景観づくりの推進
3. 観光農園、工場見学ツアー、まつりなどへの支援等、農業、工業、商業と連携した観光の推進
4. 食やお土産等の商品づくりやブランド化の推進
5. 観光ボランティアガイドの育成支援など、住民主体の観光まちおこしの支援
6. 観光資源(自然や歴史文化)の掘り起こしと創造
7. 近隣市町と連携した広域的観光の推進
8. 観光案内板、マップ、散策ルートづくりなどの充実
9. その他 ()

問26 あなたは、観光振興にかかわる、次のどの活動への参加に興味がありますか。次の中から2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 郷土学習会への参加 | 5. 観光ボランティアガイド |
| 2. 観光資源発掘ツアー(まち歩き)への参加 | 6. その他 () |
| 3. 観光マップや散策ルートづくりへの参加 | 7. 興味はない |
| 4. 文化財など、資源を守り育てる活動への参加 | |

公共施設の利用について

問27 現在、あなたは桶川市の公共施設を利用していますか。利用している場合、年間の利用頻度であてはまる番号1つに○印をおつけください。

また、利用頻度が低い（4または5と回答した）場合は、その理由としてあてはまる番号すべてに○印をおつけください。

施設	利用頻度 (1つ選び、番号に○)					利用頻度が低い理由 (左表④・⑤の場合、 あてはまる番号 <u>すべて</u> に○)						
	① ほぼ毎日	② 週に1回以上	③ 月に1回以上	④ 年に数回程度	⑤ ほぼ利用していない	① 利用する必要(機会)がない	② 利用日・利用時間が合わない	③ 利用したい設備・機能がない	④ 交通アクセスが不便	⑤ 民間や市外の同様の施設を利用	⑥ 施設の存在を知らない	⑦ その他
桶川市民ホール	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
勤労福祉会館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
市民活動サポートセンター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
コミュニティセンター (スマイルピアザ坂田)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
公民館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
図書館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
歴史民俗資料館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
屋内スポーツ施設(桶川サン・アリーナ)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
屋外スポーツ施設(総合運動場など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
児童館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
子育て支援センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
児童発達支援センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
保健センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
老人福祉センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
べに花ふるさと館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
農業センター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
行政系施設(市庁舎など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
公園	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7

※左表で④・⑤の場合は右表も回答

桶川駅周辺の中心市街地について

問28 あなたは、桶川駅周辺の中心市街地には、どのような機能や場を今後、充実させる必要があると思いますか。次の中から**3つまで**選び、番号に○印をおつけください。

1. 行政サービス機能	8. スポーツのできる場
2. 地域住民の交流機能	9. コンサートやイベントのできる場
3. 買い物のできる商業機能	10. 飲食のできる場
4. 福祉・医療機能	11. オフィス機能
5. 文化・芸術の発信、鑑賞の場	12. ホテル等の宿泊機能
6. 子育て支援機能	13. その他（ ）
7. 教育機能	

日常生活で利用する施設について

問29 あなたが日常生活で利用する施設についてお伺いします。利用する施設について、それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を1つ選び、番号に○印をおつけください。

①日常の買い物	
生鮮食品（食料品）	1. 主に市内で購入 2. 主に市外で購入 3. 購入しない
洋服などの衣料品	1. 主に市内で購入 2. 主に市外で購入 3. 購入しない
②施設の利用	
趣味・娯楽	1. 主に市内の施設を利用 2. 主に市外の施設を利用 3. 利用しない
外食（飲食）	1. 主に市内の施設を利用 2. 主に市外の施設を利用 3. 利用しない
運動（スポーツ）	1. 主に市内の施設を利用 2. 主に市外の施設を利用 3. 利用しない

IV

市政についておたずねします

問30 市政全般に対するあなたの関心度について、あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. とても関心を持っている | 3. あまり関心を持っていない |
| 2. ある程度関心を持っている | 4. 全く関心を持っていない |

問31 市役所の市政情報（行政サービス）などについて、何から情報を得ていますか。次の中から主なもの2つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | | | |
|-----------|-----------|--------------|------------|
| 1. 広報おけがわ | 4. 新聞 | 7. 議会傍聴 | 10. 知人 |
| 2. 議会だより | 5. 掲示板 | 8. 議会議員 | 11. その他（ ） |
| 3. 回覧 | 6. ホームページ | 9. 自治会、団体の会合 | |

問32 あなたは市役所からの市政情報の提供についてどのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○印をおつけいただき、「不十分なところ」については（ ）内に具体的にお書きください。

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 必要な情報が十分伝えられている | |
| 2. 一部、不十分なところがある → （不十分なところ： ） | |
| 3. 不十分である → （不十分なところ： ） | |

問33 あなたは、今後の税の使途や負担について、どのようなお考えをお持ちですか。次の各項目について、最もあてはまると思われる番号1つに○印をおつけください。

	負担が増えても、サービス水準を上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持すべき	負担は変えないことを優先し、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない
1. 行政サービス全般	1	2	3	4	5
2. <u>都市基盤整備の経費</u> （道路や公共施設などの維持・建替え・新設など）	1	2	3	4	5
3. <u>防災・減災対策の経費</u> （耐震事業や防災資機材の備蓄、防災知識の普及など）	1	2	3	4	5
4. <u>教育のための経費</u> （教育内容の充実や教育環境の整備など）	1	2	3	4	5
5. <u>福祉のための経費</u> （増加する高齢者や減少する子どものための費用など）	1	2	3	4	5
6. <u>公共施設の使用料等</u> （公民館の使用料、スポーツ施設の使用料など）	1	2	3	4	5

問34 「桶川市第五次総合振興計画」の施策（詳細は、P.21、22をご覧ください。）に関する以下の40項目について、「満足度」と「充実希望度」を、それぞれ回答してください。
「満足度」と「充実希望度」を5段階で評価したときのあなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。
なお、「充実希望度」は「今後、桶川市がどの程度充実していくべきか」という観点でお答えください。

		満足度					充実希望度				
		満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	充実すべき	やや充実すべき	現状程度でよい	優先度を下げるべき	どちらともいえない
回答例 ○○の整備		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
参画・協働	1. 協働の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 自主的活動の推進と交流促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	4. 就学前教育の支援・充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 生涯学習・生涯スポーツの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 人権教育・啓発と平和の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 文化・芸術の振興・保存・継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 健康づくりの推進・医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉	11. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 障害者（児）支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 自立した生活への支援体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. ノーマライゼーション※の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 地球温暖化対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民生活	18. 資源循環型社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19. 快適で衛生的な地域環境の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 防災対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 防犯まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 安全な消費生活の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					充実希望度				
		満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	充実すべき	やや充実すべき	現状程度でよい	優先度を下げるべき	どちらともいえない
みどり・都市基盤	24. 良好な住環境の創出と保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. 歩いて暮らせるまちの実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 魅力あるまちづくりへの新たな取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 都市計画道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. 生活道路の整備・改善	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 憩いの自然空間の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. みどり空間の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 治水対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業	32. 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36. 就労支援と勤労者福利厚生の実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行財政運営	37. 計画行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 経営的な視点からの財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39. 情報共有の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. 広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※「ノーマライゼーション」とは、高齢者や障害者であっても、地域で普通（ノーマル）の生活ができ、かつ、差別されることのない社会が通常であるという考え方のこと。

V

イメージや将来像などについておたずねします

問35 あなたは、10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. 子どもが育つ環境や教育環境が良いまち
2. 文化・芸術・スポーツに力を入れているまち
3. 歴史や伝統を大切にしているまち
4. 医療機関や保健サービスが充実しているまち
5. 高齢者や障害者への福祉サービスが充実したまち
6. 環境への負担に配慮した、地球にやさしいまち
7. 防災や防犯などにすぐれ、安全で安心して暮らせるまち
8. 美しい街並みや都市景観のあるまち
9. 道路等の整備が進んだ、交通利便性の高いまち
10. 水辺や緑など、自然環境の良いまち
11. 農業・工業・商業など、産業活動が活発なまち
12. 人が集い、賑わいのある観光事業が盛んなまち
13. 雇用環境が充実して、働く場所の多いまち
14. その他

()

問36 あなたは、将来の人口減少社会に向けてどのようなところに不安を感じていますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をおつけください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 地域を支える担い手の不足 | 6. 地域の伝統や文化の喪失 |
| 2. 地域を支える産業の衰退 | 7. 公的サービスの縮小 |
| 3. 商店街などのにぎわいの喪失 | 8. 公共交通手段の縮小 |
| 4. 地域コミュニティの希薄化 | 9. 社会保障費の負担増加 |
| 5. 空き家・空き地の増加 | 10. その他 () |

問37 これからの桶川市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。

VI

最後に、あなた（回答者）ご自身のことについておたずねします

問一1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 男性

2. 女性

問一2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 18歳～19歳

6. 60歳～64歳

2. 20歳～29歳

7. 65歳～69歳

3. 30歳～39歳

8. 70歳～74歳

4. 40歳～49歳

9. 75歳以上

5. 50歳～59歳

問一3 あなたのご職業をおたずねします。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 農林水産業（第1次産業）

6. 派遣社員・パート・アルバイト

2. 建設・土木業（第2次産業）

7. 学生

3. 製造業など「2」以外（第2次産業）

8. 専業主婦・専業主夫

4. 社会福祉関係（第3次産業）

9. 無職

5. 商業・サービス業など「4」以外（第3次産業）

10. その他（具体的に： ）

問一4 あなたは、どの地区にお住まいですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 駅東側周辺（東1・2丁目、西1・2丁目、南1・2丁目、北1・2丁目、寿1・2丁目、神明1・2丁目）

2. 駅西側周辺（泉1・2丁目、若宮1・2丁目、鴨川1・2丁目、朝日1～3丁目）

3. 日出谷地区（上日出谷、下日出谷、下日出谷西1～3丁目）

4. 坂田地区（末広1～3丁目、坂田、坂田東1～3丁目、坂田西1～3丁目）

5. 加納地区（加納、篠津、五町台、舎人新田、小針領家、倉田、赤堀1・2丁目）

6. 川田谷地区（川田谷）

問一5 あなた自身を含め、同居されているご家族には何歳の方がいますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。

1. 0～6歳

3. 16～19歳

5. 65歳以上

2. 7～15歳

4. 20～64歳

問一6 あなたの現在のお住まいはどれですか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

1. 持家一戸建て	6. 県営住宅・市営住宅
2. 賃貸一戸建て	7. 社宅・公務員宿舎
3. 持家分譲マンション	8. 同居・間借り・住み込み
4. 民間賃貸マンション・アパート	9. その他
5. 公団（UR）賃貸住宅	（具体的に： ）

問一 7 あなたは桶川市に何年お住まいになっていますか。あてはまる番号 1 つ に○印をおつけください。

1. 5年未満	3. 10年以上20年未満
2. 5年以上10年未満	4. 20年以上

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

郵送でご回答される場合は、**令和2年1月17日（金）までに**、
同封の返信用封筒に本調査票を入れ、切手を貼らずに投函ください。

《参考》「桶川市第五次総合振興計画」の施策の概要

施策名		目指す姿	対象
参画・協働	1. 協働の推進	・協働の手法やルールが確立され、市民が主体的にまちづくりに関わり活動している	市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等
	2. 自主的活動の推進と交流促進	・まちづくりへの理解を深め、ボランティア活動等を通して参画している ・いろいろな団体が交流しながらまちづくり活動を行っている ・多様な国際交流活動を展開している	市民、ボランティア団体、NPO 法人、自治会
	3. 男女共同参画社会の推進	・男女が互いに理解し、それぞれの生き方や価値観を尊重しながら、社会のあらゆる分野で活躍している	市民、市民団体、企業、ドメスティック・バイオレンス（DV）被害者
教育・文化	4. 就学前教育の支援・充実	・心身共に健やかに成長している ・子どもの成長を相談する環境が整っている	未就学児、保護者
	5. 学校教育の充実	・生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身に付けている	小・中学生、学校、保護者、地域
	6. 青少年の健全な育成	・基本的な社会生活習慣を身に付けている ・家庭と地域が連携して安心・安全な生活を営んでいる	青少年、保護者、地域
	7. 生涯学習・生涯スポーツの充実	・いつでも、どこでも、学習する場がある ・年齢や体力などに応じてスポーツに取り組んでいる	市民
	8. 人権教育・啓発と平和の推進	・人権と平和に対する理解と認識が深まっている ・人権と平和が尊重される社会づくりのために行動している	市民
	9. 文化・芸術の振興・保存・継承	・多様な文化芸術にふれ親しんでいる ・地域の歴史や文化財を大切にしている	市民、文化財
健康・福祉	10. 健康づくりの推進・医療の充実	・生涯にわたり健康な生活を送ることができる ・身近な地域で医療を受けることができる ・安定した医療保険制度により医療を受けることができる	市民
	11. 子育て支援の充実	・子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられる環境となっている	子ども（出生前を含む）、保護者、ひとり親家庭
	12. 高齢者施策の充実	・意欲や能力に応じて社会参加をしている ・地域で生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っている	高齢者及びその家族
	13. 障害者（児）支援の充実	・自立に向けた支援やサービスを身近な地域で受けている ・意欲や能力に応じて社会参加をしている ・地域で活動できる環境が整っている	障害のある人
	14. 地域福祉の推進	・市民・地域・行政等が協働で取り組むことができる ・相互理解と支えあいを育てることができる ・市民・地域の意欲と力を生かすことができる ・だれもが安心していきいきと暮らすことができる	市民、地域、行政等
	15. 自立した生活への支援体制の充実	・経済的に自立した生活を送ることができる	生活困窮者、生活保護受給者
	16. ノーマライゼーションの推進	・ノーマライゼーションの意識が育まれている ・公共施設などを安全かつ快適に利用している	市民

施策名		目指す姿	対象
市民生活	17. 地球温暖化対策の推進	・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる	市民、企業、市全域
	18. 資源循環型社会の構築	・ごみの発生抑制に努めるとともに、資源として循環的に利用している ・適正な一般廃棄物処理を行っている	市民、企業、市全域
	19. 快適で衛生的な地域環境の創出	・日常生活や企業活動のあらゆる場面で、環境に配慮した取り組みを行っている ・生活排水を適正に処理している	市民、企業、市全域
	20. 防災対策の推進	・災害等に対して安心で安全な基盤や体制づくりに取り組んでいる ・防災に関する正しい知識を身に付けている ・災害発生時に防災情報を迅速・的確に入手し、的確な行動をとることができる	市民、地域、企業、市全域
	21. 防犯まちづくりの推進	・一人ひとりの防犯意識が高まる ・安心で安全な地域社会実現のため、防犯組織と連携した防犯活動の充実強化を図っている	市民、地域、関係機関、市全域
	22. 交通安全対策の推進	・交通安全意識を高め、安全で安心な交通社会で生活している ・交通安全施設が整備されることによって、安心して通行することができる	市民、地域
	23. 安全な消費生活の確保	・自立した消費活動を行うための正しい知識、情報を持っている ・被害を回避、または予防している	市民
みどり・都市基盤	24. 良好な住環境の創出と保全	・住環境に配慮され、かつ、災害に強く、安心して住み続けられるよう計画的に整備が進められている	市全域
	25. 歩いて暮らせるまちの実現	・まちの顔としてにぎわっている ・生活に必要な機能が備わり、暮らしやすいまちになっている ・安全で利便性の高い交通網が整備され、円滑に移動できる	中心市街地、新市街地、田園地域
	26. 魅力あるまちづくりへの新たな取組	・市街地では統一感のあるまち並みについて、郊外では豊かな田園の景観について、保全・活用するための取組がなされている	市全域
	27. 都市計画道路の整備	・市内外とのアクセスが向上し、安全かつ快適に道路を利用することができる	道路を利用する人
	28. 生活道路の整備・改善	・いつでも安全で快適に道路を利用することができる	道路を利用する人
	29. 憩いの自然空間の保全と活用	・保全・再生され、身近に触れあう機会がある ・活用されることによって、日常生活に潤いを与えている	樹林地・雑木林、耕作地（田畑、河川、水路）
	30. みどり空間の創出	・市民活動などによって守られ、育まれている ・市民の憩いの場になるとともに、防災拠点としての機能も備えている	まちなかのみどり、公園など
	31. 治水対策の推進	・冠水などによる被害から守られている	市全域
産業	32. 農業の振興	・効率的で安定的な経営を行っている ・安定した生産基盤が整っている ・安心・安全な食べものを手に入れることができる ・地産の農畜産物を積極的に購入している ・農業を理解し、親しんでいる	農業者、消費者
	33. 工業の振興	・事業活動の維持・発展に必要な経営基盤を確保・確立している ・企業が進出しやすい環境が整っている	企業、起業家

施策名		目指す姿	対象
	34. 商業の振興	・適切な経営支援を受けることによって、消費者のニーズに合った商業活動を行っている ・市内で多様な買い物サービスが提供され、買い物客で賑わっている	商業者、消費者、起業家
	35. 観光の振興	・地域資源を発掘・活用することによって、多くの人が訪れ、楽しむ事ができる ・観光情報が市内外に発信されることによって、多くの人の関心が集まっている	市内の観光地、市内外の人
	36. 就労支援と勤労者福利厚生の実現	・就労に関する情報提供や相談を受ける体制が整っている ・健康で安心して働ける体制が整っている	働く意欲のある人、勤労者
行財政運営	37. 計画行政の推進	・計画に基づき的確に推進されている ・効果的・効率的な組織を構築している ・質の高い行政サービスを提供している	行政、職員
	38. 経営的な視点からの財政運営	・計画に沿って、持続可能な財政運営が行われている	財政
	39. 情報共有の推進	・市政に関するさまざまな情報が共有されている	市民、行政
	40. 広域行政の推進	・広域的な課題に取り組み、市民サービスの拡充や行政サービスの効率化・安定化が図られている	桶川市及び近隣自治体